

【表紙】	
【提出書類】	有価証券報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年6月27日
【事業年度】	自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日
【会社名】	スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ))
【代表者の役職氏名】	ベント・エドホルム (Bengt Edholm) シニア・ヴァイス・プレジデント (Senior Vice President) トーマス・オーマン (Thomas Åhman) シニア・ヴァイス・プレジデント (Senior Vice President)
【本店の所在の場所】	スウェーデン王国 SE-106 70 ストックホルム クングストラッ ドゴードシュガータン 2 (Kungsträdgårdsgatan 2, SE-106 70 Stockholm, Sweden)
【代理人の氏名又は名称】	弁護士 多賀 大輔
【代理人の住所又は所在地】	東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー アンダーソン・毛利・友常法律事務所
【電話番号】	03-6888-1181
【事務連絡者氏名】	弁護士 根本 伸毅 弁護士 木下 岳人 弁護士 宮本 武明
【連絡場所】	東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー アンダーソン・毛利・友常法律事務所
【電話番号】	03-6888-4784 03-6894-4073 03-6894-5015
【縦覧に供する場所】	該当事項なし。

注記：

(注1) 本書において、別段の記載がある場合を除いて、下記の用語は下記の意味を有するものとする。

「当行」とは、	スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトをいう。
「当行グループ」とは、	スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト及びその連結子会社をいう。
「北欧諸国」又は「北欧」とは、	スウェーデン、デンマーク、フィンランド及びノルウェーをいう。
「スウェーデン」とは、	スウェーデン王国をいう。

(注2) 別段の記載がある場合を除き、「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを、「米ドル」はアメリカ合衆国ドルを、「円」は日本円を、「英ポンド」は英貨ポンドを、「デンマーク・クローネ」はデンマーク・クローネを、「ノルウェー・クローネ」はノルウェー・クローネを、「ユーロ」は欧州連合の機能に関する条約(その後の改正を含む。)に基づき単一通貨を採用する又は採用した欧州連合の加盟国の通貨を指す。2017年5月24日現在(日本時間)、株式会社三菱東京UFJ銀行が提示した対顧客電信売買相場の仲値は、1スウェーデン・クローネ=12.84円であった。本書におけるスウェーデン・クローネから日本円への換算額は、読者の便宜のためにのみ記載するものであり、スウェーデン・クローネ額が上記レートで日本円に換算されることを示すものと解してはならない。

(注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。

(注4) 本書には、将来の事象、財務及び経営成績並びに将来の市場の状況についての経営陣の現在の予測を反映した、将来の見通しに関する記述が含まれている。「確信している」、「期待している」、「予想している」、「目指す」、「見積もっている」、「意図している」、「見通しである」、「目標としている」、「と思われる」、「可能性がある」、「想定する」、「場合がある」、「予定である」及び「はずである」等の語句又はその他の変化形若しくは類似的用語は、将来の見通しに関する記述であることを明確にすることを意図している。将来の見通しに関する記述は本書中、複数箇所に登場する(「第一部―第3―4 事業等のリスク」並びに「第一部―第3―7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を含むが、これらに限られない。)

将来の見通しに関する記述は、将来起こることも起こらないこともある事象に関連し、またかかる状況に依拠するものであるため、本来的にリスク及び不確実性を伴う。当行グループ及び当行は誠実に、かつ合理的と信じる想定に基づいて、上述の将来の見通しに関する記述を記載したが、かかる将来の見通しに関する記述のいずれも、将来の実績を確約又は保証するものではない。当行グループ及び当行の実際の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー並びに当行グループ及び当行が事業を行っている市場の動向は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述において明示又は示唆された内容とは大幅に異なる可能性がある。「第一部―第3―4 事業等のリスク」並びに「第一部―第3―7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」におけるすべての将来の見通しに関する記述は、本有価証券報告書提出日現在で見積もられたものである。

将来の見通しに関する記述に依拠する場合、読者は、前述の要素、その他の不確定要素及び事象、特に当行グループ及び当行が事業を行う環境における政治的、経済的、社会的及び法律的な要因について慎重に検討するべきである。かかる将来の見通しに関する記述は、それらの記述がなされた日現在における記述に過ぎない。したがって、当行グループ又は当行のいずれも、それらの記述について、新たな情報、将来の事象又はその他の要因にかかわらず、更新又は修正する義務を負わない。当行グループ及び当行は、かかる将来の見通しに関する記述により期待される結果が達成されると表明し、保証し又は予想するものではなく、また、将来の見通しに関する記述は、いずれの場合も、多くの想定されるシナリオのうちの一つを示しているに過ぎず、もっとも可能性の高いシナリオ又は標準的なシナリオと考えられるべきではない。

(注5) 当行は、いかなる場合においても、本書において税制上、法律上又は規制上の助言を行うものではない。

(注6) 当行グループ及び当行の事業年度は暦年である。

第一部【企業情報】

第1【本国における法制等の概要】

日本において得られた判決の効力

外国の裁判所が民事及び商事事件について下した判決のスウェーデンにおける執行可能性は、当該判決の執行可能性がスウェーデンの法律に明示的に定められていること又は判決の相互承認及び執行を定める条約を条件とする。日本とスウェーデンは、民事及び商事事件の判決の相互承認及び執行を定める条約を締結していない。したがって、民事責任に基づいて日本の裁判所が下した判決は、スウェーデンにおいて直接執行できない。

有利な最終判決を得た者が管轄権のあるスウェーデンの裁判所に新規に提訴する場合、その者は日本の裁判所によるかかる最終判決をスウェーデンの裁判所に提出することができる。かかる最終判決は、スウェーデンの裁判所においては、かかる判決が関係する紛争の結果に関する証拠としてしか扱われず、スウェーデンの裁判所は、新規にかかる紛争について審理することができる。

1【会社制度等の概要】

(1)【提出会社の属する国・州等における会社制度】

(i)概要

関係法令及び自主規制

当行のようなスウェーデンで設立された公開有限責任会社である銀行(publikt bankaktiebolag)は、主として、すべての有限責任会社に適用されるスウェーデン会社法(aktiebolagslagen (2005:551))(以下「会社法」という。)、スウェーデンにおける銀行・金融業を規制するスウェーデン銀行・金融業法(lag (2004:297) om bank- och finanseringsrörelse)(以下「銀行法」という。)及び証券業を規制するスウェーデン証券市場法(lag (2007:528) om värdepappersmarknaden)(以下「証券市場法」という。)により規制される。有限責任会社である銀行の年次会計は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次会計法(lag (1995:1559) om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag)により規制される。当行はナスダック スtockホルムに上場しているため、ナスダックの上場規則(発行会社のための規則集)及び自主規制の基礎であり、「遵守するか、そうでない場合は説明をする(comply or explain)」の原則に基づくスウェーデンコーポレート・ガバナンス・コード(以下「コーポレート・ガバナンス・コード」という。)も遵守しなければならない。

当行は、スウェーデン金融監督庁(Finansinspektionen)(以下「SFSA」という。)から、銀行法に基づく銀行業を営む免許及びとりわけ証券市場法に基づく証券業を営む免許を取得している。そのため、当行は、SFSAの規則及びSFSAが発表する一般指針の適用を受ける。さらに、当行の子会社の多くは金融機関及び保険会社を規制するスウェーデン及び外国の法律により規制されており、またSFSA又は他の法域における類似機関の監督に服している。当行は、当行が事業を営むすべての市場において、消費者保護をはじめとする広範な規制に服している。

銀行法の規定のうち特筆すべきは、当行の株式を取得しようとする株主の持分が一定の基準(当行の資本又は議決権の10、20、30若しくは50%又は結果的に当行が取得者の子会社となるような数)に達するか若しくはそれを超えることとなる場合、又は株主がその他の方法により当行の経営に重要な影響力を持つこととなる場合には、SFSAの事前の承認が必要であるとする規定をはじめとする、所有及び経営評価に関する規則である。さらに、当行の取締役会の構成員及びその代理並びに経営責任者及び経営責任者代理の任命については、経営評価に関するスウェーデンの規則に基づき、SFSAの承認を得なければならない。

設立

当行は、公開有限責任会社である銀行(publikt bankaktiebolag)である。

有限責任会社の設立には、発起人が特に会社の定款(bolagsordning)を含む設立証書(stiftelseurkund)を作成することを要する。定款は、とりわけ、会社の商号及び事業活動に関する情報を含むことを要する。

設立証書には、会社の株式を引き受ける発起人の名前及び各発起人の引受株式数が記載される。引受株式の支払いは、現金又は現物(apportegendom)によりなすことができる。会社は、会社登記番号を交付するスウェーデン会社登記所(Bolagsverket)(以下「SCRO」という。)に登録することにより設立される。登記の申請は、設立証書の作成後6ヶ月以内にSCROに対してなされなければならない。

非公開有限責任会社の資本金は50,000スウェーデン・クローネ以上、公開有限責任会社の資本金は500,000スウェーデン・クローネ以上であることを要する。一般に、銀行法に従い、銀行はその事業開始にあたり、SFSAからの免許取得時に5百万ユーロ以上の当初資本金を有していなければならない。

定款

定款は、すべての有限責任会社の基本的な統治書類である。定款には、とりわけ、会社の事業内容、資本金及び株主の株主総会出席権が記載される。定款は公的記録上に保存され、SCROにおいて入手可能である。

資本金及び株式

資本金

会社法に従い、公開有限責任会社の資本金は500,000スウェーデン・クローネ以上であることを要する。銀行法には、銀行の資本規模は銀行の事業の範囲及び性質に基づき決定されなければならない旨を定める追加の規定がある。有限責任会社の定款には、資本金の最低額及び最高額を定めなければならない。有限責任会社の現在の登録資本金は公的記録事項であり、SCROにおいて入手可能である。

議決権

有限責任会社の定款に別段の定めのない限り、1株は1議決権を有する。定款には、他の株式の10倍超の議決権を有する種類株式について定めることはできない。当行の定款の下では、A種株式及びB種株式の2種類の株式を発行することができ、A種株式には1株につき1議決権が、B種株式には1株につき10分の1の議決権が付される。

配当

スウェーデン法に基づき、配当は株主総会での承認を得なければならない。配当は、分配可能額の範囲内であることに加えて、事業の性質、範囲及びリスク並びに会社の財務体質、流動性及び財政状態を強化する必要性から課される株主資本の大きさに関する要請に照らして、妥当な範囲内である場合に限られる。さらに、株主は、一般のルールとして、取締役会で提案又は承認された額を上回る額の配当の決定をすることはできない。

スウェーデン法においては、当行の発行済株式総数の10分の1以上を保有する株主には、当行の利益から配当金の支払いを要求する権利がある。かかる要求がなされたら、年次株主総会では、(i)非制限準備金を超える繰越損失の超過額、(ii)法律又は定款により、制限資本に繰入れなければならない額、及び(iii)定款上、当行の株主資本の5%を超えて充当されるべきとされている額を控除の上、承認された貸借対照表に従い当期の残存利益の2分の1相当額の配当を決議する。さらに、株主総会では、分配可能額を上回る配当又は上述の妥当な範囲を超えた配当を行うことはできない。

株主総会は、有限責任会社における上位機関であり、株主への配当の分配を決定する権利を有する唯一の機関である。

配当は、通常、ユーロクリアを通じて1株毎に現金で支払われるが、現物により支払われることもある(現物配当)。株主総会において決定された基準日において、ユーロクリアが保管する株主名簿に株式所有者として登録されている者が、配当を受領する権利を有する。ユーロクリアを通じて株主と連絡を取ることができない場合も、当該株主は配当金額に係る当行への請求権を保持し、かかる権利は時効によってのみ制限される。請求権が時効になった場合、配当金額は当行が没収する。

当行株式の取引

当行の株式は、ナスダック スtockホルムでの取引が認められている。

ナスダック スtockホルム等の取引所における取引を認められた株式の譲渡は、ユーロクリアのシステムを通じて清算及び決済される。

ライツ・イシュー

既存株主は、スウェーデン法の主要規則として、株式、ワラント及び転換可能証券の新規発行の場合と同様に、その保有株式数に応じて新株式の優先的引受権を有する。但し、株主総会は株主の優先的引受権を制限する決議をすることができる。かかる決議は、投票総数及び総会出席者の保有株式数の各々3分の2以上を保有する株主の賛成がある場合にのみ有効である。さらに、発行される有価証券の対価が現金以外で払い込まれる場合、株主は優先的引受権を有しない。会社又はその子会社が保有する株式には、優先的引受権は付されない。

株主総会、取締役会及び経営責任者

株主及び株主総会

株主は、有限責任会社における最上位の意思決定機関である有限責任会社の株主総会(bolagsstämma)においてその権利を行使する。年次株主総会(årsstämma)に加えて、臨時株主総会(extra bolagsstämma)が招集される場合もある。株主総会は、特に、定款又は資本金の変更及び利益配分を決議し、取締役会の構成員を任命し、取締役会の構成員及び経営責任者の免責を決議し、取締役会の報酬を決議し、経営責任者及び上級経営陣の報酬原則を承認する。

株主総会出席権

当行のような会社の株主名簿はユーロクリアが保管しているが、株主総会の5営業日前の日において株主名簿に直接登録されており、かつ株主総会招集通知に記載の日において当行に出席の意思を通知した株主は、株主総会に出席する権利を有する。株主は、本人又は代理人により株主総会に出席することができる。株主は、2名以下の同伴者を同行させることができる。株主は通常、複数の異なる方法により株主総会のための登録をなすことができる。株主総会招集通知には、株主総会への出席権を得るために株主が登録を行い当行への通知をなすべき方法及びその期限が記載されている。

取締役会

銀行法及び会社法に基づき、取締役会は、当行のような会社の組織及び経営につき最終的な責任を負う。年次株主総会は、会長を含む取締役会の構成員を選任し、監査人の選任が予定された場合は、監査人を選任する。コーポレート・ガバナンス・コードに従い、会長を含む取締役会の構成員及び監査人の指名は、指名委員会が行うものとする。指名委員会の任命原則は、株主総会において決議される。

SCROが例外を認める場合を除き、スウェーデン法の下では、経営責任者及び半数以上の取締役が欧州経済領域に属する国の居住者であることを要する。有限責任会社の定款は、通常、株主総会で選任された取締役会の構成員の任期を次回の年次株主総会の時までとする旨定めている。株主により選任された取締役会の構成員

は、株主総会により随時解任することが可能であり、取締役会の欠員は株主総会の決議によってのみ補充される。スウェーデン法の下では、公開有限責任会社の経営責任者は、取締役会会長を務めることができない。さらに、公開有限責任会社である銀行においては、取締役会のすべての構成員につきSFSAの承認を得なければならない。

経営責任者

公開有限責任会社である銀行においては、取締役会は経営責任者を任命しなければならない。会社法に従い、経営責任者は、取締役会が出した指針及び指図に従って会社の日常的な経営につき責任を負う。さらに、経営責任者は、法に従って会社の計算を管理し、健全な資金運営が行われるよう必要な措置を講じなければならない。経営責任者は、SCROに登録される。さらに、公開有限責任会社である銀行においては、経営責任者につきSFSAの承認を得なければならない。

損害賠償責任

会社法に従い、自らの職務の遂行にあたり故意又は過失により会社に損害を及ぼした発起人、取締役会の構成員又は経営責任者は、かかる損害を賠償しなければならない。会社法、適用ある年次報告関係法令又は会社の定款に違反した結果、株主又はその他の者に損害を及ぼした場合も同様である。さらに、有限責任会社である銀行については、銀行法、金融機関及び投資機関の特別監督に関する法律(lag (2014:968) om särskild tillsyn över kreditinstitut och värdepappersbolag)、資本バッファに関する法律(lag (2014:966) om kapitalbuffertar)並びにEUの所要自己資本規制(EU)575/2013に違反した場合も上記と同様である。

損害は、作為又は不作為の性質、損害の程度及び一般的な状況を考慮の上、合理的に調整されることがある(jämkas)。同一の損害につき複数の者が責任を負う場合、それらの者のいずれかの責任が上記に従い調整されない限り、かかる者は連帯して責任を負う。これらの者のいずれかが損害を賠償した場合、かかる者は他の当事者に対して状況に応じて合理的に求償権を行使することができる。

会社への損害に関する訴訟は、株主総会において、過半数又は会社の全株式の10分の1以上を保有する少数株主が、損害に関する訴訟の提起の決議に賛成した場合又は取締役会の構成員若しくは経営責任者の免責の決議に反対した場合にのみ提起することができる。

法定監査人

銀行法に従い、有限責任会社である銀行は、1名以上の監査人を置かなければならず、選任される監査人の1名以上は、認可公認会計士(auktoriserad revisor)であることを要する。

年次計算書類

スウェーデンの会計関連法令は、会計に関する強制法により構成され、そのうち最も重要なものが年次報告法(årsredovisningslagen)及び簿記法(bokföringslagen)である。年次報告法及び簿記法は、会計の一般的な枠組みであり、いずれも「一般に公正妥当と認められた会計原則」を定めるものである。信用機関は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法の適用を受ける。

規制市場(ナスダック スtockホルム等)における取引を認められた株式の発行会社は、IFRSに従って連結年次計算書類を作成しなければならない。

年次株主総会においては、損益計算書及び貸借対照表の承認決議がなされ、グループ全体の財務書類を作成しなければならない親会社の年次株主総会においては、連結損益計算書及び連結貸借対照表の承認決議がなされる。前事業年度の年次報告書は、当該年次報告書に対応すべき年次株主総会よりも前に監査人に提出されなければならない。

会社は、すべての事業年度につきSCR0に年次報告書を提出しなければならない。その結果、年次報告書は一般に閲覧可能なものとなる。

(ii)規制環境及び資本基盤

規制環境

1世紀以上の間、スウェーデンにおける銀行業は政府の厳密な検査及び管理に服してきた。SFSAは、スウェーデンの金融機関の監督当局である。SFSAの監督責任は、銀行及びその他の金融機関から、保険会社、証券業者、ファンドの運用会社及びナスダック スtockホルムにまで及んでいる。かかる監督責任は、スウェーデンの銀行の国外支店にも及ぶ。SFSAの総合的な目的は、金融システムの安定化及び効率性に貢献するとともに消費者保護を促進することである。

SFSAの監督は、とりわけ、自己資本比率、大口エクスポージャー及び財務書類に関する報告書の分析、並びに各銀行の業務がスウェーデンの銀行法規を遵守することを確実にするための実地検査を通して行われる。

SFSAは法律により授權された規制権限を有しており、これには、会計規制を発令し、銀行に対し月次財務書類及び様々なリスク報告書の提出を求め、各銀行の業務が銀行業務を規制する法律及び各銀行の定款を遵守することを確実にするための定期的な検査を実施する権限が含まれる。SFSAは、各銀行の年次株主総会において株主により選任される監査人とともに当該銀行の財務書類及び業務運営を調査する1名以上の監査人を任命する権限を有する。SFSAは、2008年度から2016年度の会計年度については当行の監査人を任命しなかった。

監督機能に加えて、SFSAは、スウェーデンの金融市場で事業を営む会社に対する義務的規制及び一般指針の両方を公表している。

銀行法は、すべての銀行に対し、SFSAの与える免許に基づいて営業するよう求めている。かかる免許は無期限であるが、SFSAによる制限付取消権に服する。

当行の存続期間は無期限である。

リクスバンク

リクスバンクは、スウェーデンの中央銀行であり、スウェーデン議会(リクスダーグ)の機関である。リクスバンクは、金融政策を決定し、スウェーデンの為替政策の実施に責任を負い、スウェーデンの通貨準備を管理し、一定の場合における銀行への最後の貸手として待機している。また、リクスバンクは、銀行間の決済手続を行う。

所要自己資本

2013年6月27日、バーゼルIII合意に基づく、改定された欧州における自己資本比率及び流動性の枠組が正式に発表された。この新しい枠組は、2014年8月2日に2つの新たな法律(スウェーデンの資本バッファーに関する法律(2014:966)及びスウェーデンの金融機関及び投資機関の特別監督に関する法律(2014:968))を通じてスウェーデンにおいて国内法化された1つの指令2013/36/EU(以下「CRD IV」という。)、並びにすべてのEU加盟国で直接適用される1つの規制(EU)575/2013(以下「CRR」という。)を含んでいる。この自己資本比率の枠組に関する変更は、最高の質を有する自己資本(すなわち普通株式等Tier 1資本及びTier 1資本)の構成要素に対するより厳格な最低所要自己資本を含んでいる。この最低所要自己資本に加えて、新しいバッファー要件((i)困難な時期に銀行が所要自己資本に違反しないように好業績の時期に設定される資本維持バッファー及び(ii)過剰な与信額の増加を防ぐため景気のサイクルに応じて規模が変動するカウンターシクリカル・バッファー)が導入される。この枠組はまた、金融システム上重要な機関に対するバッファー要件及び金融システム上のリスクに対する追加的バッファー要件を国として課す可能性も含んでいる。結合バッファー要件に違反した場合、普通株式

等Tier 1資本及びTier 1資本商品に係る配当及び利払い等の銀行からの一定の資本分配が規制されることとなる。

新しい自己資本比率の枠組に従って、当行グループは、信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに関するリスク加重エクスポージャー金額合計の4.5%以上の普通株式等Tier 1資本、6%以上のTier 1資本及び8%以上の自己資本合計を保有しなければならない。

当行グループは、最低所要自己資本を満たす資本を維持することに加え、スウェーデンにおいては2.5%の資本維持バッファ、2.5%までのカウンターシクリカル・バッファ及び3%のシステミック・リスク・バッファの合計により構成される結合バッファ要件に従うための普通株式等Tier 1資本も維持しなければならない。

2017年3月19日現在、2.0%のカウンターシクリカル・バッファがスウェーデンにおいて適用されている。ノルウェーにおいては、バッファは現在1.5%であるが、2017年12月31日から2.0%に引き上げられる予定である。スウェーデン国外のエクスポージャーに対するカウンターシクリカル・バッファ要件に関して、SFSAは、その他の国の所轄当局がその国のエクスポージャーに関して決定する2.5%までのバッファ水準を認めることとなる。

上記の要件に加えて、当行グループは、規制の第二の柱に基づく要件のための資本を保有していなければならない。これらの要件は、各金融機関に特有のものであり、監督機関により決定される。集中リスク、年金リスク、その他の事業における金利リスク、追加的金融システム上のリスクの要請等の様々な要因が第二の柱において評価される。SFSAはまた、資本計画バッファを保有する必要性を算定している。資本計画バッファが資本維持バッファより大きくならない限り、資本計画バッファにより当行に対し所要自己資本がこれ以上発生することはない。

第二の柱の枠組には、2%の金融システム上のリスクに対するバッファ要件及び25%のスウェーデンの住宅ローンに対するリスク加重のフロアがある。住宅ローンのフロアは、ノルウェーの住宅ローンへのエクスポージャーにも適用されることとなる。これによって2016年については、第二の柱における所要自己資本は、当行グループの年度末の住宅ローンの量に基づき、約22.2十億スウェーデン・クローネである。2007年のバーセルⅡの導入以降、自己資本比率の内部評価の過程において、当行グループは、第一の柱に基づき正式に求められているよりもかなり多くの住宅ローンのための資本を保有している。

当行グループはまた、自己資本比率の内部評価を行わなければならない。2016年に採用された当行グループの最新の資本方針は、自己資本比率の内部評価に関するガイドラインを規定している。当行グループはまた、スウェーデンの金融コングロマリット(特別監督)法(2006:531)に基づき、金融コングロマリットレベルでの所要自己資本にも従わなければならない。

第二の柱の枠組におけるすべての追加は、包括的な資本評価、すなわち当行の所要自己資本へのSFSAの個別評価において行われる。この評価は第一の柱において設定された最低所要自己資本に加えたもので、通常、SFSAは第二の柱の要件を正式に決定しない。正式な決定ではないため、SFSAの包括的な資本評価は配当等に対する自動的な規制が効力を発生する水準には影響しない。

2016年3月1日、SFSAは、主に内部格付手法を用いる銀行に適用される、企業へのエクスポージャーに対しての所要自己資本の増加の提案に関する2つの協議覚書を発表した。提案された改訂は、デフォルトの可能性を算定する新しい方法及び満期のフロアの導入を含んでいる。2016年5月24日、SFSAは内部モデルの監督及び当行の法人エクスポージャーに導入される満期のフロアのために使用する方法を正式に採用した。要約すると、これらの方法は、(1)デフォルトの可能性に対する当行の推定は、より高いデフォルト率とともに、より高い比率で景気低迷を予期したものでなければならず、(2)2.5年の満期のフロアは、第二の柱に基づき、先進的なIRBアプローチを用いる権限を持つ銀行について実施されなければならない。一定の例外は認められている。SFSAによ

る新しい方法の採用に従い、当行グループは、法人エクスポージャーにおけるデフォルトの可能性を見積もる新しい方法を適用する承認を求めた。かかる承認は2017年3月末に得られた。

2017年2月に、SFSAは、当行グループの2016年第4四半期末の普通株式等Tier 1資本に対する要件は、普通株式等Tier 1資本比率21.4%に相当すると評価することを当行に通達した。2016年に当行グループは、規制上の最低水準及びバッファ水準を余裕をもって満たした。

上記の要件に加えて、2016年11月23日、欧州委員会は、3%の拘束力のあるレバレッジ比率の要件についての法案を含む、現行の規制を明確化、変更及び追加する法案を発表した。レバレッジ比率は、CRRに定義される自己資本比率である。かかる法案は、最終的に適用されるまでに加盟国及び欧州議会の手続を経なければならない。

2016年12月31日現在の当行グループの自己資本についての詳細情報については、下記「第6-1-(1) 連結財務書類-注記G51」を参照のこと。

「ベイルイン」を含む金融機関及び投資会社の再生及び破綻処理

2014年5月6日、欧州理事会は、金融機関及び投資会社の再生及び破綻処理に関するEU全体にわたる枠組みの設定を定める指令(Bank Recovery and Resolution Directive、以下「BRRD」という。)を採択した。BRRDは、金融の安定を守り、納税者の損失エクスポージャーを最小限に抑えるために、当局に対して金融危機に先制的に対応するための一連の手段及び権限を与えることを目的としている。

BRRDは、2015年1月1日からEU加盟国により適用されることを定めている(但し、2016年1月1日から適用されることになる一般的ベイルイン・ツールを除く。)。スウェーデンにおいてBRRDを実施する国内法は、2016年2月1日に効力が発生した。

この指令に基づき当局に与えられた権限は、予防権限、早期介入権限及び破綻処理権限に分類される。SFSA及びスウェーデン国債局(Riksgäldskontoret)(National Debt Office、以下「NDO」という。)は、スウェーデンにおいてBRRDを実施する国内法に基づき権限が与えられる。破綻処理権限を行使する主な責任は、破綻処理機関であるNDOが負う。最終的に、当局は、例えば民間の買主又は民間部門の取り決めまでの間、公的管理事業体(いわゆる「ブリッジ金融機関」)に銀行を譲渡することができる。この指令は、また、損失を銀行の株主及び債権者に対し負担させることを確実にするために、株式資本の削減並びに未払債務(資本基盤に加算される債務及びその他の債務の両方を含む。)の削減及び/又は銀行の資本への転換を行う広範な権限を含んでいる。このメカニズムを、一般的に「ベイルイン」という。破綻している銀行のかかる債務のほとんどが、ベイルインの対象となる(預金及び担保付負債等の一定の例外を除く。)。BRRDの実施に伴い、欧州の銀行は、自己資本及び適格債務の最低基準(Minimum Requirement for own funds and Eligible Liabilities、以下、「MREL」という。)を満たすため、ベイルインの実施が可能となるリソースを保有することが求められている。

ベイルイン・ツールは、破綻しているか又は破綻寸前である機関の資本再構築のために用いられ、当局が、破綻処理プロセスを通じて当該機関を再建し、その組織改編及び再編後の持続性を回復させることを可能にする。その結果、ベイルイン・ツールは、債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)の保有者に損失を負担させるために利用することができる。これにより債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)の保有者は、その投資額の一部又は全部を失う結果になる可能性がある。さらに、当局はベイルイン・ツールを用いて、とりわけ、債務証券にかかる債務者としての発行体を置換え又は代替し、債務証券の条件を変更(満期の変更及び/若しくは支払われるべき利息の金額の変更並びに/又は支払の一時停止の強制を含む。)する可能性がある。したがって、かかる権限の行使又は行使の提案若しくは予測は、発行済みの社債(日本で発行された未償還の社債を含む。)の価値に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

大口エクスポージャー

信用機関及び投資会社の健全性要件に関する2013年6月26日付欧州議会・理事会規制(EU)575/2013並びに修正規制(EU)648/2012に基づき、顧客又は関連するグループ顧客に対する金融機関のエクスポージャーが当該金融機関の適格資本の10%を超えると、かかるエクスポージャーは「大口」とみなされる。かかるエクスポージャーは、所轄官庁に報告されなければならない。金融機関はまた、自身の大口エクスポージャーが「適格資本の10%を超えるエクスポージャー」という定義による大口エクスポージャーには当てはまらない場合でも、大口エクスポージャーの上位20件を報告するよう求められる場合がある。金融機関はまた、他の金融機関に対する大口エクスポージャー上位10件及び規制を受けない金融会社に対する大口エクスポージャー上位10件を報告しなければならない。

これらの規制の下では、1人の顧客に対するエクスポージャーが金融機関の適格資本の25%を超えることは認められない。一定の場合には、これを下回る上限が適用される。金融機関が規則を遵守しない場合、所轄官庁は、当該金融機関に是正を命じることができる。かかる命令は、罰金を伴うことがある。

スウェーデン国内預金保証

EU指令を受け、スウェーデンは、預金保証法(lag (1995:1571) om insättningsgaranti)の可決により1996年に預金保護スキームを確立した。スキームの対象となる各金融機関は、かかるスキームに基づいて行われる可能性のある支払いの原資となる基金を維持するために、関連する保証機関(ND0)に年間手数料を支払わなければならない。改正預金保証指令は、2014年にEUレベルにおいて採択され、2016年7月1日にスウェーデン法において組み入れられた。特に、新しい指令は、保証が発動した際により早期の支払いがなされること(従来の20日ではなく7日以内)、及びEUの加盟諸国はユーロ以外の通貨で保証の額を設定することができるようにすることを定めた。スウェーデン国内預金保証に基づく保証の上限額は、現在、950,000スウェーデン・クローネである。しかしながら、保証の額は、預金保証法に記載のとおり、住宅用不動産の売却又はその他の「ライフ・イベント」に関連した預金については一時的に引き上げられ、5百万スウェーデン・クローネとなっている。かかる保証は、その他の銀行、証券会社、保険会社、年金ファンド及び公的機関を除くすべての分野の預金顧客に適用される。保証には一定の制限があり、保険契約、有価証券による貯蓄又は個人年金貯蓄制度等は対象ではない。

スウェーデン安定化基金

2008年、スウェーデンは、スウェーデンの金融制度の安定性を高め、世界金融危機がスウェーデン経済に及ぼす悪影響に対処するため、スウェーデン政府金融機関支援法(lag (2008:814) om statligt stöd till kreditinstitut)の可決により安定化基金を設立した。金融機関は、安定化基金に年間手数料を支払ってきた。BRRDのスウェーデンにおける施行に関連して、スウェーデン政府金融機関支援法は廃止され、スウェーデン破産処理法((lag (2015:1016) om resolution)(危機管理条項を含む。))及びスウェーデン予防的状態支援法(lag (2015:1017) om förebyggande statligt stöd till kreditinstitut)(安定した金融機関への支援に関する条項を含む。))に置き換えられた。この破産処理法に基づき、危機的状況にある銀行への対処の財源は、第一に、バイリン等を通じて株主及び債権者が負担する資本再構成のための損失及び費用によってまかなわれる。しかしながら、特別な状況下においては国家的な支援が認められる。破産処理準備金がこの目的のために設定され、2016年から安定化手数料は、破産処理準備金手数料に置き換えられた。したがって金融機関からの手数料は、今後、安定化基金の代わりに破産処理準備金に寄与することとなる。現行の安定化基金の一部は、破産処理準備金に移された。残りの安定化基金は、予防的状態支援法に基づく予防的状態への支援に使用されることとなる。

取締役兼任の制限

スウェーデンにおいて、システム上重要であるとみなされる一定の金融機関(当行を含む。)に関して、ある者が取締役を務める会社の数を最大4社までとするEUの規定が施行された。この要件は、2014年8月2日より効力が発生している。

(2) 【提出会社の定款等に規定する制度】

以下は、2015年3月25日の年次株主総会において採択された当行の定款の抜粋である。

資本金及び株式数

当行の資本金は、2,325,000,000スウェーデン・クローネ以上、9,300,000,000スウェーデン・クローネ以下とする。

株式数は、1,500,000,000株以上、6,000,000,000株以下とする。

A種株式及びB種株式の2種類の株式を発行することができる。A種株式の発行可能株式総数は6,000,000,000株であり、B種株式の発行可能株式総数は150,000,000株である。

A種株式は1株につき1議決権が付され、B種株式は1株につき10分の1の議決権が付される。

増資に際する株主の権利

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、新たにA種株式及びB種株式を発行することを決定した場合、A種株式及びB種株式の保有者は、従前の保有株式数の割合に応じて同種の新株を引き受ける優先権(第一優先権)を有する。第一優先権により引き受けられなかった株式は、すべての株主に対し引受けの募集が行われる(第二優先権)。かかる募集株式数が第二優先権による引受けに不足した場合、株式は引受人の保有株式数の割合に応じて分配されるか、また、これが不可能な場合は抽選により分配される。

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、A種株式又はB種株式のいずれか一方のみを発行することを決定した場合、すべての株主はその保有株式がA種株式であるかB種株式であるかにかかわらず、従前の保有株式数の割合に応じて新株を引き受ける優先権を有する。

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、ワラント又は転換可能証券を発行することを決定した場合、株主は、ワラントの行使によりその新たな引受けの対象となる株式にかかる発行が適用される場合と同様にワラントを引き受ける優先権を有し、又は転換可能証券の転換により発行される株式にかかる発行が適用される場合と同様に転換可能証券を引き受ける優先権を有する。

上記は、当行が株主の優先権を排除して現金による払込み又は債務の相殺による株式発行を決定する機会を制限することを示唆するものではない。

取締役

法律に基づき株主総会以外の者により任命される取締役に加え、取締役会は8名以上15名以下の取締役に構成されるものとする。

監査人

法律に基づき株主総会以外の者により任命される監査人に加え、当行は1名若しくは2名の監査人及びこれに応じた数の代理監査人、又は1社若しくは2社の登録監査法人を置くものとする。

株主の株主総会出席に関する権利

株主総会に参加を希望する株主は、総会の5日前の状況を示した株主名簿全体の写しに記載されていなくてはならず、また、総会の招集通知に指定された日にちまでに当行本店に通知を行わなくてはならない。日曜日、

その他の祝日、土曜日、夏至祭前日、クリスマスイブ又は大晦日を当該日として設定してはならず、また、総会から5営業日より前に設定してはならない。

株主は最大2名のアドバイザーを帯同することができるが、前段落に記載の要領でアドバイザーの人数を通知していた場合に限る。

株主総会の議長、議決権

株主総会は、取締役会会長又は当該目的のために取締役会が任命した者により開会される。

株主総会の議長は出席株主により選任される。

当行の発行済株式に付帯する議決権総数の10%を超す議決権を有する者は、発言も議決権の行使も行っていない。

年次株主総会

以下の項目が、年次株主総会の議題となる。

1. 総会の議長の選任
2. 議決権行使者リストの作成及び承認
3. 議題の承認
4. 2名の議事録署名者の選任
5. 総会招集の適法性の判断
6. 年次計算書類及び監査報告書並びに連結年次計算書類及び連結計算書類に対する監査報告書の提示
7. 決議事項
 - a) 損益計算書及び貸借対照表並びに連結損益計算書及び連結貸借対照表の承認
 - b) 承認済み貸借対照表に基づく当行の利益又は損失の処分
 - c) 取締役及び最高経営責任者の責任免除
8. 取締役並びに、適用ある場合、監査人及び代理監査人の員数の決定
9. 取締役及び、適用ある場合、監査人の報酬の決定
10. 取締役並びに、適用ある場合、監査人及び代理監査人又は登録監査法人の選任

総会の管轄に服するその他の事項は、会社法又は定款に従うものとする。

2【外国為替管理制度】

1989年以降、スウェーデンにおいて有効な外国為替管理制度は存在しない。スウェーデン政府は、スウェーデン為替・クレジット規制法(lag (1992:1602) om valuta - och kreditreglering)により、スウェーデンが戦争中の場合又は戦争、戦争の脅威、深刻な事故若しくは特に大規模な短期資本移動による例外的な状況が存在する場合は、リクスバンクと協議の上で、外国為替管理を実施する権限を与えられている。また、スウェーデン政府は、外国為替管理が導入された場合、リクスバンクの要請により信用管理を実施する権限を与えられている。かかる管理の実施に関する一切の決議は、承認のために、決議から1ヶ月以内にスウェーデン議会に提出されなければならない。定められた期間内にかかる提出がなされない場合、当該決議はその効力を失う。

3【課税上の取扱い】

(1)スウェーデンにおける課税上の取扱い

スウェーデンの租税

以下の概要は、スウェーデンの税法上又は欧州連合貯蓄指令(欧州理事会指令2003/48/EC)の規定に従いスウェーデンの居住者とはみなされない当行によって日本で発行された社債(以下「本社債」という。)の所持人に関する一定のスウェーデンの課税上の影響について要約したものである。当該概要は、本有価証券報告書の日付現在有効なスウェーデンの法律に基づいており、一般的な情報提供のみを目的としている。当該概要は、本社債が貯蓄投資勘定(investeringssparkonto)において保有される場合、本社債の削減若しくは転換の課税上の影響、かかる削減若しくは転換を行う関連規制当局の能力の存在、又は利息の支払人等の報告義務に関する規則についてはとりわけ対応していない。さらに、当該概要は、外国税の控除にも対応していない。投資家は、各々の個別の状況に応じて、スウェーデンの租税並びに本社債の取得、保有及び処分に係るその他の課税上の影響(二重課税回避のための租税条約の適用可否及び影響を含む。)について、専門の税務アドバイザーに相談すべきである。

スウェーデンの税法上居住者でない本社債の所持人

本社債の所持人に対する元本又はスウェーデンの税法上利息とみなされる金額の支払いについては、スウェーデンの所得税は課税されない。但し、かかる所持人が(i)スウェーデンの税法上居住者でなく、かつ、(ii)本社債が有効に関連性を有する恒久的施設をスウェーデン国内に有しない場合に限る。

スウェーデンの税法上居住者でない本社債の所持人に対する元本又はスウェーデンの税法上利息とみなされる金額の支払いについては、スウェーデンの源泉徴収税又はスウェーデンの課税控除は適用されない。

スウェーデンの税法上居住者であった本社債の所持人

本社債が株式として課税される有価証券とみなされる場合、処分若しくは償還が行われた暦年中又は処分若しくは償還が行われた年に先立つ10暦年間のいずれかの時点においてスウェーデンにおける常用の住居又はスウェーデンにおける継続した滞在により、税法上スウェーデンの居住者であった個人については、当該本社債の処分又は償還に際し、スウェーデンのキャピタルゲイン税が課される。しかしながら多くの場合、当該規則の適用は、適用ある二重課税回避のための租税条約により制限されている。

(2)日本における課税上の取扱い

- (i)日本の居住者が支払いを受ける本社債の利息は、日本の租税に関する現行法令(以下「日本の税法」という。)上20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の源泉所得税を課される。さらに、日本の居住者は、申告不要制度又は申告分離課税を選択することができ、申告分離課税を選択した場合、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率が適用される。日本の内国法人が支払いを受ける本社債の利息は、日本の税法上15.315%(所得税及び復興特別所得税の合計)の源泉所得税を課される。当該利息は当該法人の課税所得に含められ、日本の所得に関する租税の課税対象となる。但し、当該法人は当該源泉所得税額を、一定の制限の下で、日本の所得に関する租税から控除することができる。
- (ii)本社債の譲渡又は償還による損益のうち、日本の居住者に帰属する譲渡益又は償還差益は、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率による申告分離課税の対象となる。但し、特定口座のうち当該口座内で生じる所得に対する源泉徴収を日本の居住者が選択したもの(源泉徴収選択口座)における本社債の譲渡又は償還による所得は、確定申告を不要とすることができ、その場合の源泉徴収税率は、申告分離課税における税率と同じである。日本の内国法人に帰属する譲渡損益又は償還差損益は当該法人のその事業年度の日本の租税の課税対象となる所得の金額を構成する。

- (iii)日本の居住者は、本社債の利息、譲渡損益及び償還差損益について、一定の条件で、他の債券や上場株式等の譲渡所得、利子所得及び配当所得と損益通算及び繰越控除を行うことができる。
- (iv)本社債に係る利息及び償還差益並びに本社債の譲渡により生ずる所得で、日本に恒久的施設を持たない日本の非居住者及び外国法人に帰属するものは、日本の所得に関する租税は課されない。

4【法律意見】

当行の法律顧問であるマルティン・ウェイストソン氏より、大要、以下の趣旨の法律意見書が出されている。

- (イ)当行は、スウェーデン法に基づく公開有限責任会社である銀行として適法に設立され、かつ有効に存続しており、本書に記載された事業を営み、その財産を所有及び運用するすべての権限及び権能を与えられている。
- (ロ)本書中のスウェーデンの法令に関するすべての記述は、すべての重要な点において真実かつ正確である。

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

連結－当行グループの5年間の概要

連結損益計算書					
(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
純利息収益	27,943	27,740	27,244	26,669	26,081
純手数料及びコミッション収益	9,156	9,320	8,556	7,804	7,369
金融取引による純損益	3,066	2,608	1,777	1,357	1,120
保険リスク	142	157	165	142	196
その他配当金収益	228	281	251	161	152
関連会社の持分利益	25	17	18	9	8
その他収益	203	213	303	185	136
収益合計	40,763	40,336	38,314	36,327	35,062
人件費	-12,542	-12,581	-11,766	-11,404	-11,167
その他費用	-5,401	-5,203	-5,099	-5,181	-5,069
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-495	-487	-462	-476	-464
費用合計	-18,438	-18,271	-17,327	-17,061	-16,700
貸倒損失控除前利益	22,325	22,065	20,987	19,266	18,362
正味貸倒損失	-1,724	-1,597	-1,781	-1,195	-1,251
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	32	7	6	17	-3
営業利益	20,633	20,475	19,212	18,088	17,108
法人税等	-4,401	-4,277	-4,069	-3,915	-3,092
継続事業からの当期利益	16,232	16,198	15,143	14,173	14,016
非継続事業に関連する当期利益、税引後	13	145	41	122	22
当期利益	16,245	16,343	15,184	14,295	14,038
帰属先：					
当行の株主	16,244	16,342	15,183	14,295	14,037
少数株主持分	1	1	1	0	1
継続事業からの一株当たり利益					
(単位：スウェーデン・クローネ)	8.42	8.49	7.94	7.45	7.44
－希薄化後	8.30	8.32	7.82	7.36	7.27
非継続事業からの一株当たり利益					
(単位：スウェーデン・クローネ)	0.01	0.08	0.02	0.06	0.01

－希薄化後	0.01	0.07	0.02	0.06	0.01
事業合計からの一株当たり利益					
(単位：スウェーデン・クローネ)	8.43	8.57	7.96	7.51	7.45
－希薄化後	8.31	8.39	7.84	7.42	7.28

連結包括利益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
当期利益	16,245	16,343	15,184	14,295	14,038

その他包括利益**損益計算書に組み替えられない項目**

確定給付年金制度	3,993	-3,152	-2,699	1,402	2,583
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-876	688	592	-307	-568
損益計算書に組み替えられない項目合計	3,117	-2,464	-2,107	1,095	2,015

その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目

キャッシュフロー・ヘッジ	-3,145	-501	8,772	-3,410	2,390
売却可能金融商品	-1,160	682	295	535	984
当期為替換算差額	1,183	-1,713	5,924	763	-126
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-142	-394	2,558	767	486
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	833	215	-2,501	514	-913
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	692	110	-1,924	744	-565
うち、売却可能金融商品	110	18	-14	-61	-248
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	31	87	-563	-169	-100

その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計

	-2,289	-1,317	12,490	-1,598	2,335

その他包括利益合計

	828	-3,781	10,383	-503	4,350

当期包括利益合計

	17,073	12,562	25,567	13,792	18,388

帰属先：

当行の株主	17,072	12,562	25,566	13,792	18,387
少数株主持分	1	0	1	0	1

連結貸借対照表

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
資産					
現金及び中央銀行 ¹	224,889	236,748	505,579	369,954	248,915
一般顧客への貸出金	1,963,622	1,866,467	1,807,836	1,696,339	1,680,479
その他金融機関への貸出金	31,347	49,656	70,339	62,898	89,511

利付証券	161,114	119,290	141,944	121,576	117,260
その他資産	246,608	249,972	290,978	233,954	247,786
資産合計	2,627,580	2,522,133	2,816,676	2,484,721	2,383,951
負債及び資本					
一般顧客からの預金及び借入金	829,336	753,855	1,022,267	825,205	682,223
金融機関からの預り金	178,781	163,770	200,074	171,624	183,945
発行済証券	1,261,765	1,245,367	1,212,613	1,150,641	1,151,426
劣後負債	33,400	34,216	30,289	15,965	21,167
その他負債	187,917	196,657	224,606	209,947	241,340
資本	136,381	128,268	126,827	111,339	103,850
負債及び資本合計	2,627,580	2,522,133	2,816,676	2,484,721	2,383,951

¹ この項目は、「現金及び中央銀行預け金」並びに「中央銀行へのその他の貸出金」の合計を示している。

当行グループの主要指標	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
継続事業からの貸倒損失控除前利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	22,325	22,065	20,987	19,266	18,362
正味貸倒損失 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	-1,724	-1,597	-1,781	-1,195	-1,251
継続事業からの営業利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	20,633	20,475	19,212	18,088	17,108
継続事業からの当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	16,232	16,198	15,143	14,173	14,016
非継続事業に関連する当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	13	145	41	122	22
事業合計からの当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	16,245	16,343	15,184	14,295	14,038
資産合計(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2,627,580	2,522,133	2,816,676	2,484,721	2,383,951
資本(単位：百万スウェーデン・クローネ)	136,381	128,268	126,827	111,339	103,850
事業合計からの株主資本利益率(単位：%)	13.1	13.5	13.4	13.9	14.9
継続事業からの株主資本利益率(単位：%)	13.1	13.4	13.3	13.8	14.8
使用資本利益率(単位：%)	0.58	0.58	0.57	0.59	0.57
継続事業からの収益に対する費用の比率(以下 「C/I比率」という。)(単位：%)	45.2	45.3	45.2	47.0	47.6
貸倒損失を含む継続事業からのC/I比率(単 位：%)	49.5	49.3	49.9	50.3	51.2
貸倒実績率(単位：%)	0.09	0.09	0.10	0.07	0.08

減損貸出金引当率(単位：％)	59.9	54.5	47.2	56.2	56.4
減損貸出金の割合(単位：％)	0.16	0.21	0.25	0.18	0.18
一株当たり利益 (単位：スウェーデン・クローネ)	8.43	8.57	7.96	7.51	7.45
－希薄化後	8.31	8.39	7.84	7.42	7.28
一株当たり普通配当金 (単位：スウェーデン・クローネ)	5.00	4.50	4.17	3.83	3.58
一株当たり配当金合計 (単位：スウェーデン・クローネ)	5.00	6.00	5.83	5.50	3.58
一株当たり調整後資本 (単位：スウェーデン・クローネ)	69.28	65.14	64.13	59.24	54.21
12月31日現在の株式数(単位：百万株)	1,944.2	1,907.0	1,907.0	1,906.9	1,898.4
うち、発行済株式数	1,944.2	1,907.0	1,907.0	1,906.9	1,898.4
発行済株式の平均株式数(単位：百万株)	1,927.1	1,907.0	1,907.0	1,904.4	1,885.5
－希薄化後	1,972.7	1,971.9	1,959.0	1,942.6	1,949.8
バーゼルⅡによる普通株式等Tier 1資本比率 (単位：％)				19.2	17.9
CRRによる普通株式等Tier 1資本比率(単位：％)	25.1	21.2	20.4		
バーゼルⅡによるTier 1自己資本比率(単位：％)				21.5	20.4
CRRによるTier 1自己資本比率(単位：％)	27.9	23.8	22.1		
バーゼルⅡによる自己資本比率(単位：％)				21.6	20.7
CRRによる自己資本比率合計(単位：％)	31.4	27.2	25.6		
平均従業員数	11,759	11,819	11,692	11,503	11,192
スウェーデン国内における支店及び会議施設数	435	474	478	474	473
英国国内における支店及び会議施設数	207	198	179	161	133
デンマーク国内における支店数	57	57	57	56	54
フィンランド国内における支店数	45	46	46	45	45
ノルウェー国内における支店数	50	50	51	49	49
オランダ国内における支店数	25	23	20	18	13
その他の国における支店数	13	13	17	19	19

非連結－当行の5年間の概要

非連結損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
純利息収益	15,011	15,250	16,082	15,962	16,431
受取配当金	17,045	11,978	9,664	8,995	9,152
純手数料及びコミッション収益	6,509	6,778	6,112	5,649	5,724
金融取引による純損益	3,076	2,349	1,117	589	3,994

その他営業収益	1,647	1,644	2,188	1,953	758
営業収益合計	43,288	37,999	35,163	33,148	36,059
一般管理費用					
人件費	-10,427	-10,904	-10,441	-9,977	-9,808
その他管理費用	-5,224	-5,040	-5,006	-5,075	-5,157
不動産及び器具備品、リース並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-591	-507	-478	-498	-518
貸倒損失控除前費用合計	-16,242	-16,451	-15,925	-15,550	-15,483
貸倒損失控除前利益	27,046	21,548	19,238	17,598	20,576
正味貸倒損失	-1,730	-1,614	-1,825	-1,189	-1,154
金融資産の減損損失	-20	-15	-	-29	-820
営業利益	25,296	19,919	17,413	16,380	18,602
繰入	-193	100	111	4,267	-4,065
税引前利益	25,103	20,019	17,524	20,647	14,537
法人税等	-4,503	-4,176	-3,823	-4,619	-2,985
当期利益	20,600	15,843	13,701	16,028	11,552
当期配当金	9,721	11,442	11,124	10,488	6,804

包括利益計算書					
(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
当期利益	20,600	15,843	13,701	16,028	11,552
その他包括利益					
キャッシュフロー・ヘッジ	-1,882	195	3,249	-3,009	2,522
売却可能金融商品	-1,152	694	295	534	983
当期為替換算差額	387	-1,155	5,634	879	-10
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-65	-444	2,675	901	481
その他包括利益に関する税金	538	73	-1,311	397	-962
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	414	-43	-709	656	-608
うち、売却可能金融商品	110	18	-14	-61	-248
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	14	98	-588	-198	-106
その他包括利益合計	-2,109	-193	7,867	-1,199	2,533
当期包括利益合計	18,491	15,650	21,568	14,829	14,085

非連結貸借対照表

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
資産					
一般顧客への貸出金	763,567	733,988	737,483	685,372	731,967
金融機関への貸出金	593,125	596,441	568,589	475,440	422,897
利付証券	154,547	112,410	134,014	112,728	108,198
その他資産	383,465	397,219	695,709	533,321	461,704
資産合計	1,894,704	1,840,058	2,135,795	1,806,861	1,724,766
負債及び資本					
一般顧客からの預金及び借入金	827,753	755,066	1,020,962	814,227	668,683
金融機関からの預り金	189,176	173,533	210,099	226,631	243,332
発行済証券	648,977	676,950	633,128	532,607	531,284
劣後負債	33,400	34,216	30,289	15,965	21,167
その他負債	77,963	92,611	138,033	125,900	173,030
非課税剰余金	793	570	699	773	5,038
資本	116,642	107,112	102,585	90,758	82,232
負債及び資本合計	1,894,704	1,840,058	2,135,795	1,806,861	1,724,766

当行の主要指標	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
減損貸出金引当率(単位：％)	60.1	54.3	46.6	58.0	56.0
減損貸出金の割合(単位：％)	0.23	0.30	0.36	0.24	0.28
CRRによる普通株式等Tier 1資本比率(単位：％)	23.4	19.9	18.5		
バーゼルIIによるTier 1自己資本比率(単位：％)				20.5	19.0
CRRによるTier 1自己資本比率(単位：％)	26.3	22.6	20.2		
バーゼルIIによる自己資本比率(単位：％)				21.4	20.6
CRRによる自己資本比率合計(単位：％)	30.0	26.1	23.9		
使用資本利益率(単位：％)	0.99	0.74	0.70	0.91	0.64

2【沿革】

当行は、ストックホルムズ・ハンデルズバンクとして、1871年にストックホルムにおいて当初設立された。ストックホルムズ・ハンデルズバンクは1873年に株式をストックホルム証券取引所に上場させ、1919年にスヴェンスカ・ハンデルスバンケンに名称を変更した。

当行は当初、地元のストックホルム市場に重点を置き、かかる市場において確固たる地位を築いた。20世紀の初めの10年間に於いて、当行は、最初にスウェーデンの北部、次いで南部における複数の地方銀行を買収することによって成長した。

第二次世界大戦後の期間において、当行は統合が進んだスウェーデンの銀行市場において拡大を続けた。1955年に当行は、モーゲージ会社であるSIGAB(後にハンデルスバンケン・フィポテックに名称を変更。)を買収した。1963年に当行は、スウェーデンの最初の金融会社であるスヴェンスカ・フィナンス(後のハンデルスバンケン・フィナンス)と合併した。1971年に当行は、一定のミューチュアル・ファンドを販売する総代理店を買収し、同社は当行のファンド管理会社であるハンデルスバンケン・フォンデルとなった。長期にわたった地方銀

行の買収は、1990年のスカンスカ・バンケンの買収により完了した。モーゲージ会社であるスタッドフィポテックは、1997年に買収された。

当行の現在の組織構造は、1969年に当行が分権化した際に確立し、かかる組織構造において当行の支店は当行グループの地域銀行の傘下に再編成され、各地域銀行は高度な自治権を与えられ、営業を行っている。当行グループは、規模よりも利益率、またその他のスウェーデンの上場銀行の平均を上回る株主資本利益率を達成することに焦点を移した。かかる企業の構造及び戦略的目標は、今も継続している。この期間中、現在当行の主要株主の一つとなった従業員利益分配基金のオクトゴーネン・ファウンデーションが設立された。

1990年代に当行は、小規模の買収及び内部成長の組合せを通じて、その他の北欧諸国における活動を増やし始めた。今日、当行は、北欧諸国、英国及び2013年1月1日以降はオランダを当行の本拠地市場であると考えている。英国については、とりわけ21世紀の最初の10年間における成長を目標としていた。

1992年に当行は、生命保険相互会社であるRKA(後のハンデルスバンケン・リヴ)を買収することにより、保険業界に進出した。2001年に当行は、生命保険会社であるSPPを買収し、これにより当行はスウェーデンにおける生命保険会社最大手の1社となった。SPPは、2007年12月21日にストアブランド・エイ・エス・エイに売却された。

3【事業の内容】

当行グループは、総合的なサービスを提供するスウェーデンの主力銀行グループであり、国内外で、個人顧客及び法人顧客に対し、幅広い従来の銀行サービスに加え様々な投資サービス及びその他の金融サービスを提供している。かかるサービスには、預金の受入れ、貸出し、不動産担保、支払決済、投資銀行業務、ファクタリング、リース及び生命保険が含まれる。当行グループは、北欧諸国において相当なプレゼンスを有している。当行グループは、北欧諸国、英国及びオランダを本拠地市場であると考え、当該地域において行われる業務は国内業務であると考えている。2016年12月31日現在、当行グループは、スウェーデンに435の支店及び会議施設、ノルウェーに50支店、フィンランドに45支店、デンマークに57支店、英国に207の支店及び会議施設並びにオランダに25支店を有していた。当行グループは、ヨーロッパのその他の地域、アジア及びアメリカ合衆国においても限定的な業務を行っている。2016年12月31日に終了した事業年度において、当行グループの世界における平均従業員数は、11,759名であった。

当行グループは本書提出日現在、以下の7つの主要な事業セグメントから成る。

・ハンデルスバンケン・スウェーデン

地域銀行5行及びそれらのスウェーデン国内における関連支店に加え、スウェーデンにおけるスタッドフィポテック及びハンデルスバンケン・フィナンスの業務により構成される。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。地域銀行は、それらの支店及び会議施設においてスウェーデン全体で幅広い銀行サービスを提供している。スタッドフィポテックは当行グループのモーゲージ会社であり、当行の支店業務に完全に統合されている。ハンデルスバンケン・フィナンスは、当行の支店を通じてアセット・ファイナンス及び業務を提供している。

・ハンデルスバンケン英国

地域銀行5行及び英国におけるハンデルスバンケン・フィナンスの業務に加え、資産運用会社であるハートウッドにより構成される。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。地域銀行は、その支店及び会議施設において英国全体で銀行サービスを提供している。

・ハンデルスバンケン・デンマーク

地域銀行に加え、デンマークにおけるスタッドフィポテックの業務により構成されている。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。地域銀行は、その支店においてデンマーク全体でアセット・ファイナンスを含む幅広い銀行サービスを提供している。

・ハンデルスバンケン・フィンランド

地域銀行に加え、フィンランドにおけるスタッドフィポテックの業務により構成されている。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。地域銀行は、その支店においてフィンランド全体でアセット・ファイナンスを含む幅広い銀行サービスを提供している。

・ハンデルスバンケン・ノルウェー

地域銀行に加え、ノルウェーにおけるスタッドフィポテックの業務により構成されている。支店はすべての業務の基盤であり、すべての顧客に対して責任を負う。地域銀行は、その支店においてノルウェー全体でアセット・ファイナンスを含む幅広い銀行サービスを提供している。

・ハンデルスバンケン・ネザーランド

地域銀行に加え、オプティミクス・ベルモーゲンズベヒールにおける資産運用業務により構成されている。地域銀行は、その支店においてオランダ全体で幅広い銀行サービスを提供している。

・ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケッツ

市場及び資産運用部門、年金及び生命保険部門、ハンデルスバンケン・インターナショナル並びに事業支援部門により構成される。21ヶ国において従業員を有している。

上記の事業セグメントに加え、「その他の部門」には、財務部門及び本店部門に加え、オクトゴーネン利益分配基金への拠出も含まれている。いずれのセグメントにも帰属しないキャピタルゲイン／ロス、配当金並びに収益及び費用もまた、ここに計上される。

当行グループの事業は分権的であり、各支店が個別に、世界各地で必要に応じ、地域及び中央組織の専門家の協力体制の下、顧客へのサービスを調整する責任を有している。このため、当行グループでは、中央の業務部門よりは支店が、各個別顧客向けに当行グループの商品及びサービスのマーケティングを行う責任を有している。但し、かかる分権体制は一元化されたリスク管理により支えられている。

当行は、スウェーデンの銀行法に基づき設立された公開有限責任会社であり、ストックホルム県において登記されている。当行の登録事務所の所在地は、スウェーデン王国 SE-106 70 スtockホルム クングストラッドゴードシュガータン2である。

4【関係会社の状況】

2016年12月31日現在、当行は、21の直接所有子会社及び連結会計において持分法に基づく6つの直接所有関連会社を有している。

当行グループの主要な子会社は、以下のとおりである。

ハンデルスバンケン・フォンドヴォラッグスフォルヴァルトニング・エイ・ビー及びその子会社(以下「ハンデルスバンケン・フォンデル」と総称する。)は、当行グループのミューチュアル・ファンドの運用及び管理並びに顧客のために資金の一任的な運用及び管理を行っている。ハンデルスバンケン・フォンデルは、スウェーデン、デンマーク、ノルウェー及びルクセンブルグで活動をしており、それらの国々において自社のミューチュアル・ファンドを販売している。

ハンデルスバンケン・フィナンス・エイ・ビー及びその子会社(以下「ハンデルスバンケン・フィナンス」と総称する。)は、スウェーデンにおける当行の支店を通じてリース、条件付売買、自動車ローン及び債権回収を提供している。ハンデルスバンケン・フィナンスは、また、英国及びポーランドにおいてアセット・ファイナンスを提供している。ハンデルスバンケン・フィナンスは再編中であり、その過程においてスウェーデンの顧客及び小売業者に対する販売金融は当行に異動し、フィンランドについては、必要な承認を得られた後にフィンランドの子会社であるラホイトスが当行に異動する予定である。

当行の完全所有子会社であるハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー及びその子会社(以下「ハンデルスバンケン・リヴ」と総称する。)は、定期生命保険、終身生命保険及び一定の貯蓄商品を含

む、完全な一連の生命保険商品を提供している。ハンデルスバンケン・リヴは、スウェーデン、フィンランド及びノルウェーにおいて営業しており、その商品は、当行の支店網を通じてかかる国々で販売されている。同社は、スウェーデンの生命保険市場において、主要な参加者の1社である。

スタッドフィポテック・エイ・ビー(以下「スタッドフィポテック」という。)は、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク及びフィンランドにおける当行グループのモーゲージ貸付業務に責任を負う当行グループの主要な事業体である。スタッドフィポテックは、一世帯用住宅及び二世帯用住宅、セカンドハウス、持ち家アパート及び集合アパートにおける住宅持分、農業／林業用地、集合住宅、商業施設及びオフィスビルのための住宅ローンを提供している。スタッドフィポテックの活動は、スウェーデンに集中しているが、近年はノルウェー、デンマーク及びフィンランド各国において支店を設立している。北欧諸国におけるスタッドフィポテックの業務は、かかる国々における当行の支店業務に完全に統合されている。

当行には、親会社はない。

以下の表は、当行の重要な子会社を示している。持分法適用関連会社についての特定の情報については、下記「第6-1-(2) 個別財務書類－注記P16」を参照のこと。

会社名	住所	株式資本 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	保有比率
子会社			
ハンデルスバンケン・フィナンス・エイ・ビー ¹	ストックホルム	155	100%
スタッドフィポテック・エイ・ビー ^{1, 2}	ストックホルム	4,050	100%
ハンデルスバンケン・フォンドヴォラッグスフォルヴァルトニング・エイ・ビー	ストックホルム	1	100%
ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー	ストックホルム	100	100%

¹ 金融機関

² 2016年12月31日現在の当行グループの連結財務書類に記載の収益合計に対するスタッドフィポテック・エイ・ビーの非連結基準の営業収益合計の割合は、10%を超過する。

2016年12月31日現在及び同日に終了した事業年度におけるスタッドフィポテック・エイ・ビーの非連結基準の損益等に係る主な情報は、以下のとおりである。

- (i) 営業収益合計： 12,415百万スウェーデン・クローネ
- (ii) 当期利益： 8,857百万スウェーデン・クローネ
- (iii) 資産合計： 1,187,525百万スウェーデン・クローネ
- (iv) 資本合計： 33,018百万スウェーデン・クローネ

5【従業員の状況】

2016年12月31日に終了した事業年度において、当行グループは、22ヶ国にわたり平均11,759名の従業員を有していた。

2016年12月31日に終了した事業年度における当行グループの各事業セグメント毎の従業員数は、以下のとおりである。

平均従業員数

スウェーデンにおける支店業務	4,293
英国における支店業務	1,959
デンマークにおける支店業務	624
フィンランドにおける支店業務	491
ノルウェーにおける支店業務	668
オランダにおける支店業務	206
ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット	1,678
その他の部門	1,840
合計	11,759

第3【事業の状況】

1【業績等の概要】

下記「第3-7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

2【生産、受注及び販売の状況】

該当事項なし。

3【対処すべき課題】

当行グループの目的は、大規模商業銀行グループとしての当行グループの現在の地位に基づいて、本拠地市場において収益性の高い総合サービス銀行事業を発展させることである。本拠地市場以外では、当行の事業は、主として、本拠地市場における当行グループの顧客の国際事業の支援に集中している。2016年12月31日現在、当行グループは、本拠地市場以外において合計13の支店(そのほとんどが欧州に所在する。)及び7の駐在員事務所を有していた。

当行グループの全体的な戦略上の目的は、本拠地市場における同業銀行の平均を上回る水準の収益性を達成し、これによりこれらの銀行の平均を上回る配当の増加を株主にもたらすことである。かかる目的を実現するため、当行グループは、支店網を通じた顧客への高品質なサービスの提供、質の高い貸出金ポートフォリオの維持及びコスト効率の確保に力を注いでいる。当行グループは、かかる戦略の一環として、貸出金額の大きさよりも信用の質を重視している。

4【事業等のリスク】

本項に含まれる将来の見通しに関する記述は、本書の提出日現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づくものである。

当行は、以下のリスク要因が当行の本社債に基づく債務を履行する能力に影響を及ぼす可能性があると考えている。これらの要因はすべて、発生するかどうか分からない偶発事象であり、当行はかかる偶発事象が発生する可能性の程度につき見解を表明する立場にない。

当行は、現在入手可能な情報に基づき当行が重要でないとするその他の理由又は現在予測不能なその他の理由によっても、利息、元本又はその他本社債に関する金額を支払うことができない可能性がある。本社債への投資を予定する投資家は、本書の他の部分に記載する詳細情報も精読し、投資の判断を行う前に投資家自身の見解を確定すべきである。

以下のリスクの記載順は、当該リスクの発生可能性又はその潜在的な影響の重大性を示すものではない。

本社債に基づく当行の債務の履行能力に影響を及ぼす要因

信用リスク

信用リスクとは、当行のカウンターパーティが契約上の債務を履行できないことにより生じる当行が経済的損失に直面するリスクである。当行は、貸付、保証の発行並びに外国為替市場及び証券市場におけるカウンターパーティとの取引を実行する結果、信用リスクにさらされる。信用エクスポージャーは、取締役会が定める与信方針に従って管理される。

当行の信用エクスポージャーにつき責任を負うのは、その支店である。与信決定の責任は、当該顧客との関係を管理する支店に存する。支店長及び大部分のアカウント・マネージャーについては、個別の決定上限額が定められており、これらの者は、かかる上限額の範囲においてのみ与信決定につき単独で責任を負う。かかる

個別上限額により、特定の支店長又はアカウント・マネージャーが顧客に与えることのできる与信の総額が定められている。与信限度額を上回る決定については、地域及び中央での決定レベルがある。より上位のそれぞれの意思決定レベルにおいては、与信に関する専門的見解が加えられ、それぞれの意思決定レベルは、自らの意思決定レベルに関して、また、より上位のレベルで決定される与信に関しても、与信を拒否する権限を有している。グループ与信部で審査された案件の場合、最大与信限度額は、取締役会の与信委員会で決定されるか、又は取締役会全体で決定される。但し、その与信の責任を負う支店長の推薦がなければ、当行において与信申請が処理されることはない。当行は、この分権的な手法により与信が延長される時及び与信の期間中の両方において、それぞれの個人の顧客の信用リスクをより正確に評価できるようになると考えている。

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、不十分な若しくは誤った内部手続、人為的ミス、システムの誤り又は外的要因により生じる損失のリスクをいう。かかる定義には、法的リスクが含まれる。

オペレーショナル・リスクは、当行グループのあらゆる業務において生じる。したがって、オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理の責任は、事業のあらゆるレベルにおける経営上の責任の一部である。当行グループの業務の分権的な手法は、日常的な手続及び事由における潜在的な損失のリスクに注意を払うことにつながるコスト意識を通じて、オペレーショナル・リスクの良好な管理を推進している。業務上の誤謬及び欠陥は可能な限り削減されている。当行グループの良好な業務運営体制に重点的に集中することはまた、事業のあらゆる部分につき、そのリスクを当行グループのリスクに対する厳密な見解に沿うレベルに保つことに貢献している。このようにオペレーショナル・リスクの管理は事業活動において行われ、その業務は地域リスク・コントロール部及びグループ・リスク・コントロール部により確認されている。

特別に任命されたオペレーショナル・リスクの地域コーディネーターは、マネージャーがオペレーショナル・リスクを処理することを補助するため、地域銀行、主要な部門、子会社及び当行グループの本拠地市場外の部署に配置される。これらのコーディネーターは、オペレーショナル・リスクの既存の管理方法及び管理手続が事業活動において使用されることを確実にするように責任を負う。彼らはまた、事業活動が適切な予防策を採り、実施していることの監視にも責任を負う。

地域銀行、主要な部門、子会社及び当行グループの本拠地市場外の部署における地域リスク・コントロール部は、オペレーショナル・リスクの管理が正しく行われているか確認する。これは、オペレーショナル・リスクを抱える事業活動の定例の質の保証及び評価という手段により行われている。

グループ・リスク・コントロール部は、オペレーショナル・リスクの特定、助言、管理及び報告に用いられる方法及び手続並びに当行グループ全体レベルでのフォローアップにつき包括的な責任を負う。グループ・リスク・コントロール部は、オペレーショナル・リスクの地域コーディネーター及び地域リスク・コントロール部の両方と定期的に緊密な連携を取っている。また、グループ・リスク・コントロール部は、経営陣及び取締役会に対する当行グループのオペレーショナル・リスクの分析及び報告にも責任を負う。

持続的なオペレーショナル・リスクの特定、対処及び管理の助けとして、当行は事故の報告及び事例管理制度、自己評価手続並びに重要リスク指標(以下「KRI」という。)を有している。KRIは初期段階でオペレーショナル・リスクを特定する方法であり、2015年に導入された。

流動性リスク

流動性リスクとは、許容できない費用又は損失なくして当行グループが期日の到来した支払債務を履行することができないリスクである。当行グループの流動性への需要は、予想支払額が予想支払受領額を上回る場合に発生する。かかる差額の程度は、限度額により制限されている。流動性リスクは、様々な満期及びあらゆる通貨に関するキャッシュ・フローのギャップ分析並びに通貨グループのギャップ分析の実施により測定及び制

限される。一般に、流動性の高い通貨については、流動性の低い通貨と比較して大きなエクスポージャーが認められている。

グループ財務部は、当行の流動性及び資金調達につき包括的な責任を負う。グループ財務部は、当行がその貸借対照表を継続的に管理し、実際の資金調達費用が組織の中で配分されることを確保する。

当行グループは、様々な混乱の可能性に備えるために日常的な流動性管理を流動性準備金の管理と組み合わせることにより、自らが流動性管理につき慎重な手法をとっていると考えている。当行グループは、この手法に従い、当行グループが流動性への需要を満たせるよう、中央銀行との間で又は資本市場において、レポ取引を通じて、即時現金化可能な資産を保有している。

スウェーデンの金融機関の監督当局であるSFSaは、100%超の流動性カバレッジ比率(以下「LCR」という。)の要件を設定しており、かかる要件は2013年よりスウェーデンの銀行に対して拘束力を有している。SFSaにより設定されたLCRは、総計レベル並びに別途米ドル及びユーロについて、当行グループの流動性バッファと30日間のストレス・シナリオにおける当行グループの正味キャッシュフローとの比率を示しており、特に預金及び流動性ポートフォリオの構成に関する流出の仮定という点で、2015年10月1日に欧州委員会により導入されたLCR(その最低要件比率は2016年中は70%であり、2018年までに段階的に100%まで引き上げられる。)よりも相当程度大きなストレスのかかった仮定に基づいている。当年度末において、SFSaの定義に基づく当行グループの総計のLCRは、126%であり、このことは、当行グループが資金調達市場における短期の混乱に対して強い耐性があることを示している。欧州委員会の定義に基づき計算した当行グループのLCRは、142%であった。

当行グループは、通貨、市場及び資金調達金融商品に関して、十分に多様な資金源を維持するよう努めている。当行グループは、海外及びスウェーデンの資本市場から即時に資金を調達できるよう、様々なプログラムを維持している。短期資金は、スウェーデン、アメリカ合衆国及び欧州における有効なコマーシャル・ペーパー・プログラムを通じて調達される。長期資金は、主にスウェーデン・クローネ建てのカバード・ボンドの発行及び当行グループのその他の資金調達プログラムの利用を通じて調達される。グループ財務部は、資産と負債の満期の適切な均衡を維持する責任を負う。

市場リスク

市場リスクとは、金融市場における価格の変化及びボラティリティに関連する損失のリスクである。当行グループは、市場リスクを、金利リスク、為替リスク、株価リスク及びコモディティ価格リスクに分類している。市場リスクは、固定利付商品、通貨及び資本性金融商品のマーケット・メーカーとしての顧客主導の取引の結果として、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの事業において主に発生する。市場リスクは、当行グループの資金調達を通じてグループ財務部、当行グループの保険事業及びスタッドフィポテック並びに程度は限られるが当行グループの地域銀行においても発生する。

グループ・リスク・コントロール部は、市場リスクに関する方針及び手続の確立並びに適切な報告制度の実施につき責任を負う。また、同部門は、当行グループにおける市場リスクの管理を監督する責任を負う。市場リスクは、最高リスク管理責任者を委員長とする当行グループのリスク委員会により定期的に評価され、同委員会は、その結果を上級経営陣及び取締役会に報告する。

金利リスク

金利リスクは、主として、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、グループ財務部及び当行グループの貸出事業において発生する。貸出事業における金利リスクは、当該貸出の資金源に適用されるものと異なる金利、金額及び満期で顧客及び他行への貸出しを行うことにより発生する。当行グループは、金利スワップ契約の締結により、かかるリスクの相当な部分を排除しようとしている。一般に、金利リスクへのエクスポージャーは、流動性の高さを特徴とする市場において生じる。

当行は、一般的な金利リスク、特定の金利リスク及び非線形金利リスクを捉える方法により、金利リスクを測定及び制限している。

株価リスク

株価リスクとは、市場価格の変動に起因する株式関連ポジションの市場価値の変化による損失のリスク及び市場価格のボラティリティに起因する損失のリスクである。当行グループの株価リスクへのエクスポージャーは、主としてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットのマーケット・メーカーとしての活動を通じて並びにその証券及びオプションのポートフォリオにおいて生じる。当行グループは、株価リスクを測定し妥当な上限を設定するために、原株式価格及びボラティリティの大幅な変動を想定して事前に設定したストレス・シナリオを用いている。

為替リスク

当行グループは、スウェーデン以外を拠点とする市場を有しており、他の複数の国においても事業を行っている。したがって、当行グループの勘定がスウェーデン・クローネで表示されていることにより為替エクスポージャーが間接的に生じる。構造上のリスクは、同一通貨で資産と負債のマッチングを行うことによって、最小限に抑えられる。

当行の直接的な為替エクスポージャーは、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおいて行われる国際為替市場における顧客主導の取引の結果として生じる。顧客の支払フローの管理の一環としての通常の銀行業務及びグループ財務部の資金調達業務においても、ある程度のが為替エクスポージャーが生じる。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、これらのリスクに対して、ポジション限度額を設定している。

コモディティ価格リスク

コモディティ価格リスクは、国際コモディティ市場における顧客主導の取引の結果としてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットのみに生じる。

当行は、コモディティ価格リスク及び非線形リスクの双方を効果的に捉える方法により、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットのコモディティ価格リスクを制限及び測定しており、またかかるリスクは、当行がさらされているあらゆるコモディティのリスクの絶対合計として測定される。

保険リスク

保険リスクとは、被保険者の余命又は健康状態によって変動する保険の結果のリスクである。ハンデルスバンケン・リヴにおける保険リスクは、以下の事象に関連している。

- ・死亡－被保険者の死亡時に保険金受取人に支払われる。
- ・余命－被保険者の生存に応じて(例えば年金支給)支払われる。
- ・疾病－病気又は就業不能の際に支払われる。
- ・事故－事故の際に支払われる。

各保険契約は、これら4つの保険リスクの複数へのエクスポージャーを含む可能性がある。当行グループの保険会社であるハンデルスバンケン・リヴは、利益分配を行う保険会社であるため、これらのリスクをはらんでいる。したがって、保険の購入予定者に対しては、医学的リスクの評価が行われる。

報酬制度に関するリスク

報酬リスクとは、報酬制度の結果として生じる損失又はその他の損害のリスクである。

業務に対する報酬は、従業員毎に個別に設定され、固定給、慣行的な諸手当及び年金の形態で支払われる。当行グループでは、給与は現地水準で設定される。給与は、従業員と直属のマネージャーとの間で行われる給与の見直しを経て設定される。これらの原則は何年もの間、適用されている。これらは、あらゆる階層のマネージャーが定期的に給与プロセスに参加し、当行の給与方針に対する責任を持ち、各自の部門の人件費の増加に責任を持つことを意味している。

報酬リスクに対する当行グループの許容性は低く、当行グループは、かかるリスクを低い水準に維持するよう努めている。これは、極めて限られた程度においてのみ変動報酬を用いることにより、部分的に達成されている。変動報酬があるときは、繰延支払いの規制に服する。

コンプライアンス・リスク

コンプライアンス・リスクとは、当行グループが法令、規制及び内部規則、又は認められている事業慣行若しくは基準を遵守しないリスクをいい、これによりオペレーショナル・リスク、法的リスク、レピュテーション・リスク及び監督当局による介入のリスクが増加する可能性がある。コンプライアンス業務は、コンプライアンス・リスクを特定し、それらのリスクを管理するため必要な措置が行われることを目的としている。

当行グループのコンプライアンス部は、グループ・コンプライアンス部、並びにすべての事業分野、地域銀行及び中央部門並びに当行グループが地域業務を行っているすべての国における地域コンプライアンス担当役員及び地域コンプライアンス部で組織される。グループ・コンプライアンス部は、当行グループのすべてのコンプライアンス業務の機能的及び運営上の責任を負う。地域コンプライアンス部は、各部において運営上の責任を負う。地域コンプライアンス部は、十分に独立し、十分に量的及び質的に資源を有しているか判断するため、グループ・コンプライアンス部によって評価される。

最高コンプライアンス責任者は特定したコンプライアンス・リスク及び行った措置を四半期毎に最高経営責任者に、半期毎に取締役会のリスク委員会に、1年毎に取締役会に報告する。

世界金融市場の現状及び世界の経済状況に伴うリスク

当行グループの各事業部門は、市況の影響を受け、これにより年間及び長期の業績が変動する可能性がある。かかる市況には、市場価格の不安定な動向を含む金融市場のサイクル及び銀行業界のサイクル等の経済サイクルが含まれる。当行グループの業績は、金利及び為替、金融方針及び財政政策、消費者支出及び事業支出、人口動態並びに競争上の要因及びその他の要因の変動によっても影響を受ける。

短中期的な世界経済の見通しは、依然として厳しいものである。特にユーロ圏の経済における構造上の課題が最も厳しいものとして際立っている。2007年8月から2010年にかけて世界の金融システムが経験した信用及び流動性の状況は前例のないものであり、世界中の金融市場が深刻な混乱に陥った。世界金融危機により引き起こされた市場の混乱及びボラティリティの水準は緩和したが、このような悪化した市場状況が反復しないという保証、又は金融市場に同じような影響を及ぼす同様の事象が生じないという保証はない。この場合、当行グループは、事業活動の縮小、資金調達費用の増大、流動性の低下、資産価値の下落、追加的な信用減損損失の発生並びに収益性及び収入の低下を被る可能性がある。前述のいずれの要因も、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

2016年6月23日、英国は、英国がEUを離脱するか又は加盟国として残留するかを決めるため国民投票を行い、過半数が離脱することに賛成票を投じた。かかる国民投票後、英国の首相は、2009年のリスボン条約第50条(以下「リスボン条約第50条」という。)を発動し、EUと離脱の交渉を始めた。リスボン条約第50条に基づき、離脱協定が締結された場合、又は締結されなかった場合は(欧州理事会及び英国が全会一致で当該期間を延長しない限り)リスボン条約第50条の発動から2年後、英国は加盟国ではなくなる。英国のEUからの離脱の条件及び時期

がより明確になるまで、国民投票又は英国のEUからの離脱がヨーロッパの経済又は金融市場にどのような影響を及ぼすかを判断することはできない。

これらの事項の結果として当行グループが直面するリスク及び不確実性の正確な本質を予測することは不可能であり、これらのリスクの多くは、当行グループの統制が及ばないものである。しかしながら、市場の混乱及びボラティリティが当行グループの事業、経営成績及び財政状態並びに社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

重大な悪影響を及ぼす規制上の進展により、当行グループは悪影響を受ける可能性がある。

当行グループの事業は、スウェーデン及び当行グループが事業を行うその他の国々の法律、規制、方針及び／又はそれらの各解釈の変化の影響を含む、現行の規制及び関連する規制上のリスクに服している。法律及び規制並びに法律及び規制の施行又は解釈の方法は、ともに予測不可能であり、当行グループの制御の及ぶものではなく、当行グループの事業、経営成績若しくは財政状態又は社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行グループの業務の多くは、現地の監督当局による監督に服している。当行グループはまた、直接適用されるEU規則及び現地の法律を通して施行されるEU指令に服している。当行グループは、欧州連合、EU離脱後の英国又はSFSAによる規制上の取組みの結果として、将来どのような規制上の変更が課されるか予測することができない。

当行グループが効果的に規制上のリスクを管理できない場合、当行グループの事業、経営成績若しくは財政状態又は社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

5【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

6【研究開発活動】

該当事項なし。

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

本セクションに含まれる将来の見通しに関する記述は、本書提出日現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づいている。

2016年12月31日終了事業年度

業績報告

当行グループの営業利益は、1%増加して20,633百万スウェーデン・クローネ(前年度は20,475百万スウェーデン・クローネ)となった。事業合計からの税引後当期利益は、1%減少して16,245百万スウェーデン・クローネ(前年度は16,343百万スウェーデン・クローネ)となり、一株当たり利益は8.43スウェーデン・クローネ(前年度は8.57スウェーデン・クローネ)であった。普通株式等Tier 1資本比率は25.1%(前年度は21.2%)に増加し、事業合計からの株主資本利益率は13.1%(前年度は13.5%)に減少した。C/I比率は、わずかに減少して45.2%(前年度は45.3%)となった。

収益

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

当行グループ収益	2016年度(通年)	2015年度(通年)	変動
純利息収益	27,943	27,740	1%
純手数料及びコミッション収益	9,156	9,320	-2%
金融取引による純損益	3,066	2,608	18%
その他の収益	598	668	-10%
収益合計	40,763	40,336	1%

収益合計は、1%増加して40,763百万スウェーデン・クローネ(前年度は40,336百万スウェーデン・クローネ)となった。

純利息収益は、1%増加して27,943百万スウェーデン・クローネ(前年度は27,740百万スウェーデン・クローネ)となった。-489百万スウェーデン・クローネの為替の影響の調整後、純利息収益は前年度と比較して2%増加した。

純利息収益は、貸出高の増加により1,512百万スウェーデン・クローネ増加した。支店業務における貸出金の利鞘により-568百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた一方、資金調達費用の減少により947百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。スウェーデンにおけるマイナス金利の結果、預金高の変動により純利息収益に-109百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。預金の利鞘は、短期金利の低下により1,015百万スウェーデン・クローネ縮小した。

スタッドフィポテックにおけるベンチマーク効果は-8百万スウェーデン・クローネ(前年度は-105百万スウェーデン・クローネ)であり、破綻処理基金に係る費用は合計で-976百万スウェーデン・クローネ(前年度は-804百万スウェーデン・クローネ)であった。その他の様々な預金保証に係る手数料を含めて、公的な手数料は182百万スウェーデン・クローネ増加して-1,300百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,118百万スウェーデン・クローネ)となった。

一般顧客への貸出金の平均額は、5%増加して1,937十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,847十億スウェーデン・クローネ)となった。為替変動により、貸出高に-24十億スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。個人への貸出金は7%増加して1,000十億スウェーデン・クローネ(前年度は932十億スウェーデン・クローネ)となり、法人への貸出金は2%増加して937十億スウェーデン・クローネ(前年度は915十億スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、貸出金はすべての本拠地市場で増加した。

預金及び借入金の平均額は、2%減少して983十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,008十億スウェーデン・クローネ)となった。個人からの預金の平均額は13%増加して381十億スウェーデン・クローネ(前年度は338十億スウェーデン・クローネ)となった一方、法人からの預金は10%減少して603十億スウェーデン・クローネ(前年度は670十億スウェーデン・クローネ)となった。

純手数料及びコミッション収益は、2%減少して9,156百万スウェーデン・クローネ(前年度は9,320百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に仲介収益の減少及び支払事業からの正味収益の減少によるものであった。かかる減少は、資産運用及び貸付業務からの手数料の増加によって相殺された。

仲介収益は、14%減少して916百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,071百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に取引額の減少によるものであった。純コミッションは、131百万スウェーデン・クローネすなわち6%減少して1,896百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,027百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる減少は、主に2015年12月に設定されたインターチェンジ・フィーの上限によるものであり、これはクレジットカード事業からの純手数料及びコミッション収益が152百万スウェーデン・クローネ減少して1,248百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,400百万スウェーデン・クローネ)となったことの一因であった。ファンド運用手数料は1%増加したと同時に、その他のコストディ及び資産管理手数料は4%増加した。

金融取引による純損益は、18%増加して3,066百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,608百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は主に株式売却によるキャピタルゲインの増加によるものであり、かかるキャピタルゲインは当年度中、合計1,689百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,229百万スウェーデン・クローネ)であった。

その他の収益は、598百万スウェーデン・クローネ(前年度は668百万スウェーデン・クローネ)に減少した。かかる減少は、主に株式保有の減少の結果、配当金収益が減少したことによるものであった。

費用

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

当行グループ費用	2016年度(通年)	2015年度(通年)	変動
人件費	-12,542	-12,581	0%
その他費用	-5,401	-5,203	4%
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損費用	-495	-487	2%
費用合計	-18,438	-18,271	1%

費用合計は、1%増加して-18,438百万スウェーデン・クローネ(前年度は-18,271百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、費用合計は305百万スウェーデン・クローネ減少した。

人件費は、わずかに減少して-12,542百万スウェーデン・クローネ(前年度は-12,581百万スウェーデン・クローネ)となった。為替変動により人件費は222百万スウェーデン・クローネ減少した一方、IAS第19号に基づく予測年金費用は227百万スウェーデン・クローネ増加した。当年度中、オクトゴネンへの拠出引当金はなかった(前年度は-858百万スウェーデン・クローネ)。上記の項目及び2016年第1四半期における主に早期退職に充てられた拠出引当金-700百万スウェーデン・クローネを調整後、人件費は1%増加した。

社会保障費用及びその他の給与に関する間接費を含む変動報酬は、-102百万スウェーデン・クローネ(前年度は-114百万スウェーデン・クローネ)に減少した。

平均従業員数は、11,759名(前年度は11,819名)に減少した。英国及びオランダにおける業務の拡大を除くと、平均従業員数は2%強減少した。効率性を改善するための継続的な取組みは計画に従って続いている。

その他費用は、4%増加して-5,401百万スウェーデン・クローネ(前年度は-5,203百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に外部IT費用の増加及び購入したサービス費用の増加によるものであった。為替の影響により、その他費用は77百万スウェーデン・クローネ減少した。

貸倒損失

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

当行グループ貸倒損失	2016年度(通年)	2015年度(通年)	変動
正味貸倒損失	-1,724	-1,597	127
承認済貸出金に対する貸倒実績率(単位：%)	0.09	0.09	0.00
減損貸出金純額	3,103	4,028	-23%
減損貸出金の割合(単位：%)	0.16	0.21	-0.05

正味貸倒損失は、8%増加して-1,724百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,597百万スウェーデン・クローネ)となり、貸倒実績率は0.09%(前年度も0.09%)であった。減損貸出金純額は、23%減少して3,103百万

スウェーデン・クロネ(前年度は4,028百万スウェーデン・クロネ)となり、貸出金の0.16%(前年度は0.21%)に相当した。

資金調達及び流動性

当年度に発行された社債額は、198十億スウェーデン・クロネ(前年度は181十億スウェーデン・クロネ)に増加し、そのうち148十億スウェーデン・クロネ(前年度は139十億スウェーデン・クロネ)はカバード・ボンド、50十億スウェーデン・クロネ(前年度は32十億スウェーデン・クロネ)はシニア債であった。

当行には、多くの流動資金、住宅ローン及び担保に供されていないその他の資産があり、したがって当行のシニアレンダーが保護されることを示している。当年度末、すべての市場からの無担保資金調達に対する担保に供されていない資産の割合は、210%(2015年度末は203%)であった。

当行は依然として高い流動性の状況を有している。中央銀行に預け入れられた現金資金及び流動資産は225十億スウェーデン・クロネであったと同時に、流動債券及びその他の流動資産の額は合計で158十億スウェーデン・クロネであった。

2013年1月からのスウェーデンにおける現行の定義によると、2016年12月末における当行グループのLCRは126%(前年度は137%)であった。米ドルではLCRは322%(前年度は429%)であり、ユーロでは136%(前年度は161%)であった。欧州委員会による委任立法に基づき計算された当行グループのLCRは、142%(前年度は140%)であった。当年度末、安定調達比率(NSFR)は102%(前年度は100%)であった。

資本

当行グループの目標は、通常状況下において当行の普通株式等Tier 1資本比率が、スウェーデン金融監督庁から当行グループに対して伝達された普通株式等Tier 1資本要件を1から3パーセント・ポイント上回ることである。スウェーデン金融監督庁は、2016年第3四半期末における当行グループの普通株式等Tier 1資本要件は、21.3%相当になると算出した。すでに発表されたカウンター・シクリカル・バッファの引き上げは、かかる要件を2017年第1四半期に0.5パーセント・ポイント引き上げると見込まれている。当年度末、当行グループの普通株式等Tier 1資本比率は25.1%であった。当行グループは、法人エクスポージャーへの新たなデフォルト確率のモデルに関する申請を行った。それが承認された場合、当行グループの法人エクスポージャーに対するリスク加重は増加することとなる。提案された新規モデルが当年度末に使用されていた場合、普通株式等Tier 1資本比率は23.3%に減少したであろう。同時に、当行グループは、カウンター・シクリカル・バッファの将来における引き上げを含んだ2016年度末のスウェーデン金融監督庁の資本要件は、20.3%となったであろうと見積もっている。これらの変更を考慮し、当年度末現在の当行グループの普通株式等Tier 1資本比率は、スウェーデン金融監督庁の要件の水準を1から3パーセント・ポイント上回る範囲の最上位となった。当行グループは貸付業務に成長の可能性を見ているため、自己資本比率を目標範囲の上層に維持することを選んでいる。

オクトゴーネン

2016年度のオクトゴーネンへの拠出引当金を設定しない決定は、2016年初めにスウェーデン金融監督庁より発表された当行の資本要件が急激に上昇したことによるものである。当年度中、当行は引き続き資本を生み出した。スウェーデン金融監督庁による資本評価の結果を鑑み、当行の評価はオクトゴーネンへの拠出引当金が2017年度中に再び設定されることもあるというものである。

2015年12月31日現在と比較した2016年12月31日現在の資本状況

(単位：百万スウェーデン・クロネ)

資本関連項目	2016年12月31日現在	2015年12月31日現在	変動
普通株式等Tier 1資本比率、CRD IV	25.1%	21.2%	3.9
自己資本比率合計、CRD IV	31.4%	27.2%	4.2
リスク・エクスポージャー金額、CRD IV	458,787	473,132	-3%
普通株式等Tier 1資本	115,240	100,535	15%
自己資本合計	144,233	128,489	12%
所要自己資本、バーゼル I フロア	98,235	94,833	4%
自己資本合計、バーゼル I フロア	145,760	129,884	12%

自己資本合計は144十億スウェーデン・クローネ(前年度は128十億スウェーデン・クローネ)に増加し、当行の自己資本比率合計は、31.4%(前年度は27.2%)に増加した。

普通株式等Tier 1資本は、115十億スウェーデン・クローネ(前年度は101十億スウェーデン・クローネ)に増加し、普通株式等Tier 1資本比率は3.9パーセント・ポイント上昇して25.1%(前年度は21.2%)となった。2011年の従業員向け転換可能社債の転換によってかかる比率は0.5パーセント・ポイント上昇した。当年度における利益は、発生した配当金の控除後、AFS株式の売却によるキャピタルゲインを除いて、2.0パーセント・ポイント寄与した。かかる影響は、ハンデルスバンケン・リヴからの合計4.1十億スウェーデン・クローネの配当金を含んでいる。

普通株式等Tier 1資本比率は、貸出高の増加及び貸出金ポートフォリオにおける信用リスクの移転により、それぞれ-0.1パーセント・ポイント及び-0.5パーセント・ポイントの影響を受けた。新規貸出高は信用ポートフォリオの平均よりリスクが低い(貸出高の移転として知られる。)という事実の効果により、普通株式等Tier 1資本比率は0.8パーセント・ポイント上昇した。

IAS第19号の影響により普通株式等Tier 1資本比率は0.8パーセント・ポイント増加したが、これは資産価値の上昇及び割引率の増加の両方によるものであった。

AFS株式の売却により、0.6パーセント・ポイントのプラスの影響が生じた。為替変動はなく、その他の要因の正味の影響により普通株式等Tier 1資本比率は-0.2パーセント・ポイント減少した。

経済資本及び利用可能な財源

当行グループの所要自己資本の内部評価は、当行グループの所要自己資本、ストレステスト及び当行グループの経済資本(EC)に係るモデルに基づいている。経済資本は当行グループの利用可能な財源(AFR)に関連して測定される。取締役会は、当行グループのAFR/EC比率は120%を上回らなければならない旨を定めている。2016年第4四半期末、当行グループのECは合計で54.2十億スウェーデン・クローネであったと同時に、AFRは146.0十億スウェーデン・クローネであった。したがってAFR/EC比率は269%であった。親会社につき、ECは合計で46.6十億スウェーデン・クローネであり、AFRは127.4十億スウェーデン・クローネであった。

連結では、ECは合計で29.1十億スウェーデン・クローネであり、AFRは145.6十億スウェーデン・クローネであった。

報告期間後の事象を含むその他の事項

ビザ

2015年11月、ビザ・インク(Visa Inc.)とビザ・ヨーロッパ・リミテッド(Visa Europe Limited)は、ビザ・インクがビザ・ヨーロッパ・リミテッドを買収する契約を締結した。当行は、ビザ・ヨーロッパ・リミテッドの株主であり、構成員である。かかる取引は2016年第2四半期中に完了し、当行はそれによって69百万スウェー

デン・クローネの現金及び12百万スウェーデン・クローネ相当のビザ・インクの優先株式を受け取った。これにより金融取引による純損益にプラスの影響が生じた。さらに、ビザ・ノルウェーより64百万スウェーデン・クローネの配当金を受け取り、これはその他配当金収益として計上された。さらにビザ・スウェーデン・エコノミック・アソシエーション(Visa Sweden Economic Association)に係る当行の株式の価値は上昇し、これにより当年度中、その他包括利益に624百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。かかる保有は、売却可能金融資産に区分された。間接的なスウェーデンの構成員に対する配当指数が得られたとき、当該価額は損益計算書に計上される。

事業セグメント

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

2016年度 における 事業セグメント報告	本拠地市場						キャピタル・ マーケット	そ の 他	調整 及び 消去	合計
	スウェーデン	英国	デンマーク	フィンランド	ノルウェー	オランダ				
収益合計	20,524	5,155	2,155	1,734	3,931	521	4,772	1,971		40,763
費用合計	-7,536	-2,903	-1,150	-843	-1,269	-354	-3,371	-599	-413	-18,438
貸倒損失控除前利益	12,988	2,252	1,005	891	2,662	167	1,401	1,372	-413	22,325
営業利益	12,572	2,094	296	855	2,315	167	1,352	1,395	-413	20,633
利益配分後の営業利益	13,569	2,129	381	986	2,406	170	10	1,395	-413	20,633

セグメント報告並びにその他並びに調整及び消去の列の項目の記載に適用される原則は、下記「第6－1－(1) 連結財務書類－注記G45」で詳述される。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

2015年度 における 事業セグメント報告	本拠地市場						キャピタル・ マーケット	そ の 他	調整 及び 消去	合計
	スウェーデン	英国	デンマーク	フィンランド	ノルウェー	オランダ				
収益合計	20,341	5,223	2,208	1,831	3,768	356	5,006	1,603		40,336
費用合計	-7,466	-2,784	-1,101	-788	-1,303	-282	-3,469	-954	-124	-18,271
貸倒損失控除前利益	12,875	2,439	1,107	1,043	2,465	74	1,537	649	-124	22,065
営業利益	12,110	2,203	816	960	2,249	72	1,533	656	-124	20,475
利益配分後の営業利益	13,045	2,237	888	1,070	2,306	72	324	657	-124	20,475

ハンデルスバンケン・スウェーデン

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2016年度合計	2015年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	15,519	15,278	2
純手数料及びコミッション収益	4,233	4,619	-8
金融取引による純損益	725	383	89
その他の収益	47	61	-23
収益合計	20,524	20,341	1
人件費	-3,671	-3,620	1
その他費用	-1,153	-1,163	-1
内部購入及び売却されたサービス	-2,645	-2,595	2
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-67	-88	-24
費用合計	-7,536	-7,466	1
貸倒損失控除前利益	12,988	12,875	1
正味貸倒損失	-416	-763	-45
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	-2	
営業利益	12,572	12,110	4
利益配分	997	935	7
利益配分後の営業利益	13,569	13,045	4
内部収益	116	46	
C/I比率(単位：%)	35.0	35.1	
貸倒実績率(単位：%)	0.03	0.07	
資産	1,572,446	1,488,781	6
負債	1,494,646	1,416,887	5
割当済資本	77,800	71,894	8
割当済資本に係る利益率(単位：%)	14.7	14.7	
平均従業員数	4,293	4,468	-4
支店及び会議施設数	435	474	-8

(単位：十億スウェーデン・クローネ)

取引額、スウェーデン国内の平均額	2016年度	2015年度	変動
			(単位：％)
一般顧客への貸出金 ¹	1,219	1,165	5
個人	740	688	8
うち住宅ローン	687	633	9
法人	479	477	0
うち住宅ローン	271	270	0
一般顧客からの預金	496	456	9
うち個人	295	263	12
うち法人	201	193	4

¹ 国債局に対する貸出金を除く。

業績

営業利益は、4%増加して12,572百万スウェーデン・クローネ(前年度は12,110百万スウェーデン・クローネ)となった。

純利息収益は、2%増加して15,519百万スウェーデン・クローネ(前年度は15,278百万スウェーデン・クローネ)となった。金利の低下した環境により、預金の利鞘が-1,119百万スウェーデン・クローネ縮小した。同時に、預金高の増加により、純利息収益に-188百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。貸出金の利鞘の拡大により純利息収益は20百万スウェーデン・クローネ改善し、貸出高の増加により純利息収益は688百万スウェーデン・クローネ増加した。破綻処理基金及び預金保証の手数料は、わずかに減少して-659百万スウェーデン・クローネ(前年度は-671百万スウェーデン・クローネ)となった。残りの純利息収益の変動は、主に資金調達費用が減少したことによるものであった。

純手数料及びコミッション収益は、8%減少して4,233百万スウェーデン・クローネ(前年度は4,619百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる減少は、主にクレジットカード事業からのインターチェンジ・フィーの減少並びにファンド運用手数料及び仲介収益の減少によるものであった。

金融取引による純損益は、89%増加して725百万スウェーデン・クローネ(前年度は383百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は、主に外国為替事業からの利益が増加したことによるものであった。

費用合計は、1%増加して-7,536百万スウェーデン・クローネ(前年度は-7,466百万スウェーデン・クローネ)となった。人件費は、1%増加して-3,671百万スウェーデン・クローネ(前年度は-3,620百万スウェーデン・クローネ)となった。平均従業員数は、4%すなわち175名減少して4,293名(前年度は4,468名)となった。C/I比率は、35.0%(前年度は35.1%)であった。

正味貸倒損失は、45%減少して-416百万スウェーデン・クローネ(前年度は-763百万スウェーデン・クローネ)となり、貸倒実績率は0.03%(前年度は0.07%)に減少した。

事業の展開

当年度中、スウェーデンにおける当行のミューチュアル・ファンドへの新規資金流入額は、市場シェアの22%(前年度は31%)に相当する11.9十億スウェーデン・クローネ(前年度は26.5十億スウェーデン・クローネ)であった。

個人からの預金の平均額は、12%増加して295十億スウェーデン・クローネ(前年度は263十億スウェーデン・クローネ)となった。個人への住宅ローンの平均額は、9%増加して687十億スウェーデン・クローネ(前年度は633十億スウェーデン・クローネ)となったと同時に、法人への貸出金の平均額は、479十億スウェーデン・クローネ(前年度は477十億スウェーデン・クローネ)に増加した。

当年度中、とりわけデジタル化による顧客動向の変化の結果として、継続的調整が支店業務において行われた。当行のいくつかの主要都市における支店は、1階の店舗からより目的にかなっている数階高い店舗に移転した。同時に当行のいくつかの小都市における支店は、より中心部から離れた新たな店舗に移転した。ストックホルム、ヨーテボリ及びマルメにおける都心の9つの支店の営業活動及びその他の場所の30の支店の営業活動は、隣接する大型の支店に統合された。当年度中、2つの新たな支店がアレナスターデン及びエルヴスボリにおいて開設された。これにより支店及び会議施設数は、当年度末において435(前年度は474)となった。

ハンデルスバンケン英国

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2016年度合計	2015年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	4,414	4,570	-3
純手数料及びコミッション収益	519	452	15
金融取引による純損益	219	194	13
その他の収益	3	7	-57
収益合計	5,155	5,223	-1
人件費	-1,849	-1,870	-1
その他費用	-463	-429	8
内部購入及び売却されたサービス	-545	-455	20
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-46	-30	53
費用合計	-2,903	-2,784	4
貸倒損失控除前利益	2,252	2,439	-8
正味貸倒損失	-160	-224	-29
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	2	-12	
営業利益	2,094	2,203	-5
利益配分	35	34	3
利益配分後の営業利益	2,129	2,237	-5
内部収益	-1,195	-1,481	19
C/I比率(単位：%)	55.9	53.0	
貸倒実績率(単位：%)	0.08	0.13	
資産	316,732	302,077	5
負債	305,306	291,625	5
割当済資本	11,426	10,452	9
割当済資本に係る利益率(単位：%)	15.4	16.8	
平均従業員数	1,959	1,794	9
支店及び会議施設数	207	198	5

(単位：百万英ポンド)

取引額、英国の平均額	変動		
	2016年度	2015年度	(単位：%)
一般顧客への貸出金	16,534	14,834	11
うち個人	5,527	4,809	15
うち法人	11,007	10,025	10
一般顧客からの預金	9,787	8,323	18
うち個人	2,569	1,747	47
うち法人	7,218	6,576	10

業績

営業利益は、5%減少して2,094百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,203百万スウェーデン・クローネ)となった。為替変動により営業利益は-220百万スウェーデン・クローネ減少したが、現地通貨では営業利益は6%増加した。

割当済資本に係る利益率は、15.4%(前年度は16.8%)であった。

収益合計は1%減少したが、これはすべて英ポンドの下落によるものであった。現地通貨では、収益合計は10%増加した。

純利息収益は、3%減少して4,414百万スウェーデン・クローネ(前年度は4,570百万スウェーデン・クローネ)となった。為替変動により、純利息収益は-463百万スウェーデン・クローネ減少したが、現地通貨では純利息収益は利鞘の圧力が上昇したにもかかわらず8%増加した。かかる増加は主に取引額が増加したことによるものであり、貸出金は360百万スウェーデン・クローネ、預金高は82百万スウェーデン・クローネ寄与している。貸出金の利鞘の縮小により純利息収益に-79百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた一方、預金の利鞘には大きな変動はなかった。

純手数料及びコミッション収益は、15%増加して519百万スウェーデン・クローネ(前年度は452百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨ではかかる増加は28%であり、これは主に貸出手数料の増加によるものであった。

金融取引による純損益は、219百万スウェーデン・クローネ(前年度は194百万スウェーデン・クローネ)に増加した。

費用合計は、4%増加して-2,903百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,784百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では費用合計は16%増加したが、これはすべて事業の拡大によるものであった。

平均従業員数は、9%増加して1,959名(前年度は1,794名)となった。

正味貸倒損失は-160百万スウェーデン・クローネ(前年度は-224百万スウェーデン・クローネ)に減少し、貸倒実績率は0.08%(前年度は0.13%)に減少した。

事業の展開

取引額は引き続き増加した。個人からの預金の平均額は当年度中に47%増加したと同時に、個人への貸出金は15%増加した。全体として、貸出金の平均額は11%増加して16.5十億英ポンドとなったと同時に、預金合計は18%増加して9.8十億英ポンドとなった。

ハートウッドの運用資産は、当年度初めの2.5十億英ポンドと比較して合計で2.9十億英ポンドとなった。

当年度中、9つの新たな支店が開設され、英国における支店及び会議施設数は合計207となった。

ハンデルスバンケン・デンマーク

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2016年度合計	2015年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	1,686	1,678	0
純手数料及びコミッション収益	379	436	-13
金融取引による純損益	75	77	-3
その他の収益	15	17	-12
収益合計	2,155	2,208	-2
人件費	-655	-629	4
その他費用	-194	-178	9
内部購入及び売却されたサービス	-287	-279	3
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-14	-15	-7
費用合計	-1,150	-1,101	4
貸倒損失控除前利益	1,005	1,107	-9
正味貸倒損失	-716	-299	139
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	7	8	-13
営業利益	296	816	-64
利益配分	85	72	18
利益配分後の営業利益	381	888	-57
内部収益	-334	-295	-13
C/I比率(単位：%)	51.3	48.3	
貸倒実績率(単位：%)	0.85	0.37	
資産	108,299	94,037	15
負債	102,078	87,818	16
割当済資本	6,221	6,219	0
割当済資本に係る利益率(単位：%)	4.8	11.2	
平均従業員数	624	631	-1
支店数	57	57	0

(単位：十億デンマーク・クローネ)

取引額、デンマークの平均額	変動		
	2016年度	2015年度	(単位：%)
一般顧客への貸出金	69.6	65.6	6
うち個人	40.8	36.7	11
うち法人	28.8	28.9	0
一般顧客からの預金	27.6	28.0	-1
うち個人	11.9	11.1	7
うち法人	15.7	16.9	-7

業績

営業利益は296百万スウェーデン・クローネ(前年度は816百万スウェーデン・クローネ)に減少したが、これは主に貸倒損失の増加によるものであった。

割当済資本に係る利益率は、4.8%(前年度は11.2%)であった。

純利息収益は、わずかに増加して1,686百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,678百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響の調整後、純利息収益は1%減少した。貸出高の増加により78百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じたが、これは貸出金の利鞘の縮小によって相殺され、純利息収益は-91百万スウェーデン・クローネ減少した。預金の利鞘の縮小により、純利息収益に-15百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。

スウェーデンの破綻処理基金及び預金保証の手数料により、純利息収益は-43百万スウェーデン・クローネ(前年度は-56百万スウェーデン・クローネ)減少した。

純手数料及びコミッション収益は、13%減少して379百万スウェーデン・クローネ(前年度は436百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に仲介収益及び資産管理手数料の減少によるものであった。

金融取引による純損益は、合計で75百万スウェーデン・クローネ(前年度は77百万スウェーデン・クローネ)であった。

費用合計は、4%増加して-1,150百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,101百万スウェーデン・クローネ)となった。為替変動の調整後、かかる増加は3%であった。これは主に金融会社の業務の再編成に関連した費用によるものであった。

正味貸倒損失は、-716百万スウェーデン・クローネ(前年度は-299百万スウェーデン・クローネ)に増加したが、これは主に単一顧客のエクスポージャーへの抛出引当金の増加によるものであった。貸倒実績率は0.85%(前年度は0.37%)に増加した。

事業の展開

当行には、引き続き新規顧客が安定的に流入し、取引額は引き続き増加した。個人への貸出金の平均額は、当年度中に11%増加したと同時に、個人からの預金は7%増加した。法人への貸出金は変動しないままであった一方、法人からの預金は7%減少した。貸出金の平均額は6%増加して69.6十億デンマーク・クローネ(前年度は65.6十億デンマーク・クローネ)となった一方、預金は27.6十億デンマーク・クローネ(前年度は28.0十億デンマーク・クローネ)であった。

ハンデルスバンケン・フィンランド

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2016年度合計	2015年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	1,218	1,361	-11
純手数料及びコミッション収益	419	387	8
金融取引による純損益	87	60	45
その他の収益	10	23	-57
収益合計	1,734	1,831	-5
人件費	-380	-369	3
その他費用	-210	-161	30
内部購入及び売却されたサービス	-239	-247	-3
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-14	-11	27
費用合計	-843	-788	7
貸倒損失控除前利益	891	1,043	-15
正味貸倒損失	-36	-83	-57
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	0	
営業利益	855	960	-11
利益配分	131	110	19
利益配分後の営業利益	986	1,070	-8
内部収益	-262	-367	29
C/I比率(単位：%)	45.2	40.6	
貸倒実績率(単位：%)	0.03	0.07	
資産	178,132	168,403	6
負債	171,880	162,217	6
割当済資本	6,252	6,186	1
割当済資本に係る利益率(単位：%)	13.0	13.8	
平均従業員数	491	496	-1
支店数	45	46	-2

(単位：百万ユーロ)

取引額、フィンランドの平均額	2016年度	2015年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	12,736	12,566	1
うち個人	3,975	3,947	1
うち法人	8,761	8,619	2
一般顧客からの預金	3,442	3,593	-4
うち個人	1,451	1,367	6
うち法人	1,991	2,226	-11

業績

営業利益は、11%減少して855百万スウェーデン・クローネ(前年度は960百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、営業利益は11百万スウェーデン・クローネ増加した。割当済資本に係る利益率は13.0%(前年度は13.8%)であった。

収益合計は5%減少した。純利息収益は、11%減少して1,218百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,361百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる減少はすべて貸出金の利鞘の縮小によるもので、純利息収益に167百万スウェーデン・クローネのマイナスの影響が生じた。破綻処理基金及び預金保証への公的な手数料は、-53百万スウェーデン・クローネ(前年度は-51百万スウェーデン・クローネ)であった。

純手数料及びコミッション収益は、コミッションの増加により8%増加して419百万スウェーデン・クローネ(前年度は387百万スウェーデン・クローネ)となり、金融取引による純損益は87百万スウェーデン・クローネ(前年度は60百万スウェーデン・クローネ)に増加した。

費用合計は、7%増加して-843百万スウェーデン・クローネ(前年度は-788百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に2016年第1四半期中における費用の増加によるものであった。人件費は3%増加したが、このうち半分は為替変動によるものであった。平均従業員数は491名(前年度は496名)に減少した。

正味貸倒損失は-36百万スウェーデン・クローネ(前年度は-83百万スウェーデン・クローネ)に減少し、貸倒実績率は0.03%(前年度は0.07%)であった。

事業の展開

当年度中の個人からの預金の平均額は6%増加したと同時に、個人への貸出金は1%増加した。

法人への貸出金の平均額は2%増加した一方、法人からの預金は11%減少したが、これは大企業からの預金の減少によるものであった。

ハンデルスバンケン・ノルウェー

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2016年度合計	2015年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	3,355	3,248	3
純手数料及びコミッション収益	381	395	-4
金融取引による純損益	114	94	21
その他の収益	81	31	161
収益合計	3,931	3,768	4
人件費	-676	-713	-5
その他費用	-206	-207	0
内部購入及び売却されたサービス	-379	-370	2
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-8	-13	-38
費用合計	-1,269	-1,303	-3
貸倒損失控除前利益	2,662	2,465	8
正味貸倒損失	-347	-222	56
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	6	
営業利益	2,315	2,249	3
利益配分	91	57	60
利益配分後の営業利益	2,406	2,306	4
内部収益	-2,463	-2,805	12
C/I比率(単位：%)	31.6	34.1	
貸倒実績率(単位：%)	0.17	0.11	
資産	246,940	211,360	17
負債	231,057	198,394	16
割当済資本	15,883	12,966	22
割当済資本に係る利益率(単位：%)	13.3	13.6	
平均従業員数	668	676	-1
支店数	50	50	0

(単位：十億ノルウェー・クローネ)

取引額、ノルウェーの平均額	2016年度	2015年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	229.0	201.8	13
うち個人	85.9	81.3	6
うち法人	143.1	120.5	19
一般顧客からの預金	65.6	68.4	-4
うち個人	19.3	17.3	12
うち法人	46.3	51.1	-9

業績

営業利益は、3%増加して2,315百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,249百万スウェーデン・クローネ)となったが、ノルウェー・クローネの下落により前年度と比較してマイナスの影響を受けた。現地通貨では、営業利益は6%改善した。

割当済資本に係る利益率は13.3%(前年度は13.6%)であった。

収益合計はほとんど変動しなかったが、為替の影響の調整後、7%増加した。純利息収益は、3%増加して3,355百万スウェーデン・クローネ(前年度は3,248百万スウェーデン・クローネ)となった。貸出金の利鞘は236百万スウェーデン・クローネ縮小した一方、貸出高の増加により純利息収益に261百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。貸出金の利鞘の縮小は、預金の利鞘が125百万スウェーデン・クローネ拡大したことにより一部相殺された。スウェーデンの破綻処理基金及び預金保証の手数料によって、純利息収益は-98百万スウェーデン・クローネ(前年度は-101百万スウェーデン・クローネ)減少した。

純手数料及びコミッション収益は、4%減少して381百万スウェーデン・クローネ(前年度は395百万スウェーデン・クローネ)となった。為替変動の調整後、純手数料及びコミッション収益は1%減少したが、これは主に手数料及びコミッション費用が増加したことによるものであった。

金融取引による純損益は、2016年第2四半期におけるビザ・ヨーロッパの株式売却によるキャピタルゲインを含めて、21%増加して114百万スウェーデン・クローネ(前年度は94百万スウェーデン・クローネ)となった。

その他の収益は、81百万スウェーデン・クローネ(前年度は31百万スウェーデン・クローネ)に増加した。かかる増加は、ビザ・インクがビザ・ヨーロッパ・リミテッドを買収したことに起因して、2016年第2四半期にビザ・ノルウェー・エフエルアイ(Visa Norway FLI)から配当金を受け取ったことによるものであった。

費用合計は、3%減少して-1,269百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,303百万スウェーデン・クローネ)となった。為替変動の影響により、費用合計は32百万スウェーデン・クローネ減少した。人件費は現地通貨で3%減少し、平均従業員数は668名(前年度は676名)に減少した。

正味貸倒損失は、-347百万スウェーデン・クローネ(前年度は-222百万スウェーデン・クローネ)に増加し、貸倒実績率は0.17%(前年度は0.11%)であった。

事業の展開

2016年度、個人からの預金の平均額は前年度と比較して12%増加したと同時に、個人への貸出金は6%増加した。法人への貸出金の平均額は19%増加した一方、法人からの預金は前年度から9%減少した。

貸出金の平均額の合計は13%増加して229.0十億ノルウェー・クローネ(前年度は201.8十億ノルウェー・クローネ)となった一方、預金の合計は法人からの預金の減少により4%減少した。

ハンデルスバンケン・ネザーランド

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2016年度合計	2015年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	438	328	34
純手数料及びコミッション収益	75	23	226
金融取引による純損益	5	5	0
その他の収益	3	-	
収益合計	521	356	46
人件費	-210	-158	33
その他費用	-60	-37	62
内部購入及び売却されたサービス	-77	-84	-8
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-7	-3	133
費用合計	-354	-282	26
貸倒損失控除前利益	167	74	126
正味貸倒損失	0	-2	-100
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-	-	
営業利益	167	72	132
利益配分	3	0	
利益配分後の営業利益	170	72	136
内部収益	-210	-175	-20
C/I比率(単位：%)	67.6	79.2	
貸倒実績率(単位：%)	0.00	0.01	
資産	35,293	24,514	44
負債	34,042	23,663	44
割当済資本	1,251	851	47
割当済資本に係る利益率(単位：%)	12.5	6.4	
平均従業員数	206	159	30
支店数	25	23	9

(単位：百万ユーロ)

取引額、オランダの平均額	変動		
	2016年度	2015年度	(単位：%)
一般顧客への貸出金	2,953	2,171	36
うち個人	1,434	1,022	40
うち法人	1,519	1,149	32
一般顧客からの預金	482	750	-36
うち個人	62	47	32
うち法人	420	703	-40

業績

営業利益は、132%増加して167百万スウェーデン・クローネ(前年度は72百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に取引額が引き続き増加したことによるものであった。収益合計は46%増加した一方、費用合計は26%増加した。割当済資本に係る利益率は12.5%(前年度は6.4%)であった。

純利息収益は、34%増加して438百万スウェーデン・クローネ(前年度は328百万スウェーデン・クローネ)となった。貸出高の増加は115百万スウェーデン・クローネ寄与した一方、貸出金の利鞘の縮小により純利息収益は-15百万スウェーデン・クローネ減少した。預金の利鞘の拡大により、純利息収益は5百万スウェーデン・クローネ改善した。

純手数料及びコミッション収益は、75百万スウェーデン・クローネ(前年度は23百万スウェーデン・クローネ)に増加したが、これは主に資産運用会社であるオプティミクス(Optimix)を買収したことによるものであり、同社は2016年9月1日からハンデルスバンケン・ネザーランドの一部となり、53百万スウェーデン・クローネ寄与した。

費用合計は、26%増加して-354百万スウェーデン・クローネ(前年度は-282百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは引き続き事業が拡大したことによるものであった。C/I比率は67.6%(前年度は79.2%)に改善し、平均従業員数は30%増加して206名(前年度は159名)となった。

過去の貸倒損失への拠出引当金の正味回収額は0(前年度は-2百万スウェーデン・クローネ)であり、貸倒実績率は0.00%(前年度は0.01%)であった。

事業の展開

個人への貸出金の平均額は40%増加して1,434百万ユーロ(前年度は1,022百万ユーロ)となったと同時に、個人からの預金は32%増加して62百万ユーロ(前年度は47百万ユーロ)となった。法人への貸出金は、32%増加して1,519百万ユーロ(前年度は1,149百万ユーロ)となった。いくつかの大企業からの取引額が減少した結果、法人からの預金の平均額は40%減少して420百万ユーロ(前年度は703百万ユーロ)となった。中小企業との取引額は引き続き増加した。

当年度中、当行は2つの新たな支店を開設し、これにより当行のオランダにおける支店数の合計は当年度末に25となった。

2016年4月、当行は、オランダの資産運用会社であるオプティミクスを買収する契約を締結した。同社は主に一任的資産運用を行っており、自らのミューチュアル・ファンドを含めて20億ユーロの運用資産を有している。かかる取引は、2016年9月1日に完了した。

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット

資産管理手数料及び為替交換からの収益を含むハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの商品からの収益の大部分は、顧客への責任を有する支店における支店業務に直接計上されており、したがって以下の損益計算書には含まれていない。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2016年度合計	2015年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	557	641	-13
純手数料及びコミッション収益	3,081	2,972	4
金融取引による純損益	984	1,226	-20
保険リスク	142	157	-10
その他の収益	8	10	-20
収益合計	4,772	5,006	-5
人件費	-2,368	-2,447	-3
その他費用	-871	-857	2
内部購入及び売却されたサービス	-56	-86	-35
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損損失	-76	-79	-4
費用合計	-3,371	-3,469	-3
貸倒損失控除前利益	1,401	1,537	-9
正味貸倒損失	-49	-4	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	0	
営業利益	1,352	1,533	-12
利益配分	-1,342	-1,209	11
利益配分後の営業利益	10	324	-97
内部収益	-2,851	-2,347	-21
C/I比率(単位：%)	98.3	91.4	
貸倒実績率(単位：%)	0.10	0.01	
資産	279,905	284,166	-1
負債	274,872	278,495	-1
割当済資本	5,033	5,671	-11
割当済資本に係る利益率(単位：%)	0.2	4.5	
平均従業員数	1,678	1,766	-5

(単位：十億スウェーデン・クローネ)

運用資産	2016年度	2015年度
ミューチュアル・ファンド(プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント及びユニットリンク保険を除く。)	308	282
プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント	26	22
ユニットリンク保険	93	82
うち外部資金	-2	-2
ミューチュアル・ファンド合計	425	384
仕組商品	17	18
ポートフォリオ社債保険	21	19
うちハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品内	-8	-7
従来型保険	8	9
うちハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品内	-1	-1
裁量的及び制度的資産(保険を除く。) ¹	207	174
うちハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品内	-127	-105
保管有価証券を除く運用資産合計	542	491
ミューチュアル・ファンドを除く保管有価証券	332	312
ミューチュアル・ファンド及びハンデルスバンケンに関連する基金を除く保管有価証券	52	53

¹ 当該額はハートウッド及びオプティミクスによって管理されている全額も含み、そのうち21十億スウェーデン・クローネはハートウッドのミューチュアル・ファンド、11十億スウェーデン・クローネはオプティミクスのミューチュアル・ファンドに係るものである。

* 上記の表における「ハンデルスバンケン」は「当行グループ」を意味する。

業績

営業利益は、12%減少して1,352百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,533百万スウェーデン・クローネ)となった。収益合計は、5%減少して4,772百万スウェーデン・クローネ(前年度は5,006百万スウェーデン・クローネ)となったが、これは主に金融取引による純損益が984百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,226百万スウェーデン・クローネ)に減少したことによるものであった。純手数料及びコミッション収益は、4%増加して3,081百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,972百万スウェーデン・クローネ)となった。ミューチュアル・ファンド手数料は増加した一方、株式に関連した仲介収益は前年度より減少した。

費用合計は、3%減少して-3,371百万スウェーデン・クローネ(前年度は-3,469百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる減少は、主に平均従業員数が5%減少して1,678名(前年度は1,766名)となった結果、人件費が3%減少して-2,368百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,447百万スウェーデン・クローネ)となったことによるものであった。

正味貸倒損失は-49百万スウェーデン・クローネ(前年度は-4百万スウェーデン・クローネ)であり、これは0.10%(前年度は0.01%)の貸倒実績率に相当する。

事業の展開

資産運用事業は、引き続き堅調な業績であった。2016年度、スウェーデンにおける当行グループのミューチュアル・ファンドへの純流入は、市場シェアの22.3%に相当する11.9十億スウェーデン・クローネであった。

その他の北欧地域における純流入は堅調に成長し、2.6十億スウェーデン・クローネに増加した。当行グループのファンドへの純流入合計は14.7十億スウェーデン・クローネであった。サクト・カピタルフォルバルトニングは、引き続き北欧の上場投資信託に関し最大のプレーヤーであった。

上場投資信託を含む投資信託の総額は、前年度から10.6%増加して425十億スウェーデン・クローネ(前年度は384十億スウェーデン・クローネ)となった。当行グループにおける運用資産合計は当年度中、10.4%増加して542十億スウェーデン・クローネ(前年度は491十億スウェーデン・クローネ)となった。

年金及び生命保険の事業部門はプラスの業績であり、その市場シェアを拡大した。ハンデルスバンケン・リヴによる運用資産の額は、123十億スウェーデン・クローネ(前年度は111十億スウェーデン・クローネ)に増加した。

コーポレート・ファイナンス事業は好調であった。当年度中、当行はスウェーデンの会社の買収及び売却に関して最大のM&Aのプレーヤーであった。当行はまた、スウェーデンにおける新株発行に関して最大のプレーヤーであった。

当行の資本市場を通じた資金調達の取引額も堅調な業績であった。とりわけグリーン・ボンドに対する需要が増加した。特に当行は、世界初のグリーン・ボンドMTNプログラムのローンチ及び北欧地域において初のサステナブル・ボンドのアドバイザーを務めた。サステナブル・ボンドとは、環境を考慮した投資だけではなく社会的目的を含むものである。新規のグリーン・ボンドの発行会社に対する4件の助言に係るマンドレートが取得され、総額で4.9十億スウェーデン・クローネのグリーン・ボンドが当年度中にアレンジされた。合計で、当行は117の社債発行のアレンジを行い、その額は13.2十億ユーロであった。

ハンデルスバンケン・インターナショナル(すなわち当行の本拠地市場外の事業)における貸出金の平均額は、前年度から4%増加して35.7十億スウェーデン・クローネ(前年度は34.2十億スウェーデン・クローネ)となった。当年度中における預金は、17%減少して47.0十億スウェーデン・クローネ(前年度は56.4十億スウェーデン・クローネ)となった。

市場及び資産運用部門は、リスク管理、有価証券、デリバティブ、ミューチュアル・ファンド、調査、デット・キャピタル・マーケット及びコーポレート・ファイナンスに関連する幅広い商品及びサービスを提供しており、また貯蓄分野において当行が提供するサービスの調整を行っている。

年金及び生命保険部門は、子会社のハンデルスバンケン・リヴから構成されており、個人向け及び法人向けの年金ソリューション及びその他の保険ソリューションを提供している。

ハンデルスバンケン・インターナショナルは、当行の本拠地市場外の16ヶ国の当行の支店及び駐在員事務所並びに金融機関(国際銀行業務への協力)及び取引銀行(現金管理、トレード・ファイナンス及びエクスポート・ファイナンス)の部門を含んでいる。

第4【設備の状況】

1【設備投資等の概要】

該当事項なし。

2【主要な設備の状況】

スウェーデン法の下で、銀行は一般に銀行の建物及び銀行の社員に居住設備を提供するためのもの以外の不動産を期間の制限なく所有することが認められていない。2016年12月31日現在、当行グループはスウェーデンに14の不動産を有していた。これらは、一部に支店業務も含まれていたものの、主として本店オフィス、情報テクノロジー及び記録保管の目的で使用されていた。当行グループはまた、2008年におけるローカルバンケンの取得の一部として取得したデンマークの13の不動産も所有している。かかる不動産は、主として支店業務に使用されているが、オフィスの建物及び共同住宅も含まれている。

3【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

第5【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

A種株式

(2017年6月22日現在)

授権株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
6,000,000,000	1,908,922,222	4,091,077,778

(注1) A種株式に転換可能な以下の2つのシリーズの転換可能社債が未償還である。

(i) 2008年春に発行された、2.3十億スウェーデン・クローネの転換可能劣後社債。

(ii) 2014年春に発行された、3.2十億スウェーデン・クローネの転換可能劣後社債。

2017年6月22日現在、これらの転換可能社債の転換時に、最大32,501株のA種株式及び28,920,999株のA種株式が、それぞれ発行される可能性がある。

上記(i)の社債に関し、2011年6月1日以降、債権者は187.56スウェーデン・クローネの通常の転換価格で転換することができる。2013年5月21日より後は、通常の転換価格、又は当該日において適用される株価が転換価格を下回る場合、かかる株価に対応する調整を行った転換価格でA種株式に転換することができる。2015年5月19日を効力発生日とする株式分割後、転換価格は62.52スウェーデン・クローネに再計算された。

上記(ii)の社債に関し、債権者は2019年5月1日から2019年11月30日の間にA種株式に転換することができる。当初の通常転換価格は379.19スウェーデン・クローネであった。しかし、転換可能社債は完全に配当落ちから保護されており、すなわち通常の転換価格は、A種株式に対して支払われた配当に対応する割合に応じた金額により下方修正される。したがって、2015年春の配当支払後、転換価格は362.89スウェーデン・クローネに再計算された。2015年5月19日を効力発生日とする株式分割後、転換価格は120.96スウェーデン・クローネに再計算された。2016年春の配当支払後、転換価格はさらに114.40スウェーデン・クローネに再計算され、2017年春の配当支払後は109.92スウェーデン・クローネに再計算された。当行はまた、転換を要求することができ、社債は一定の場合において自動的に転換される可能性がある。

B種株式

(2017年6月22日現在)

授権株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
150,000,000	35,251,329	114,748,671

②【発行済株式】

(2017年6月22日現在)

記名・無記名の別及び 額面・無額面の別	種類	発行数(株)	上場金融商品取引所 名又は 登録認可金融商品取 引業協会名	内容
無記名式 割当価額 ¹	A種株式	1,908,922,222	ナスダック ストックホルム	A種株式1株につき、1個の議決権が付与される。
無記名式 割当価額 ¹	B種株式	35,251,329	ナスダック ストックホルム	B種株式1株につき、10分の1個の議決権が付与される。
計	-	1,944,173,551	-	-

¹ 割当価額は、以下の算式に基づき計算される。

(株式資本残高／発行済株式数)

(2)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(3)【発行済株式総数及び資本金の推移】

(i) A種株式

(2017年6月22日現在)

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	株式資本増減額 (スウェーデン・ クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン・ クローネ)	摘要
2017年3月13日	415	1,908,922,222	643.25	2,958,829,444.10	転換権の行使
2017年1月17日	21,736	1,908,921,807	33,690.80	2,958,828,800.85	転換権の行使
2016年12月7日	43,004	1,908,900,071	66,656.20	2,958,795,110.05	転換権の行使
2016年12月7日	3,998	1,908,857,067	6,196.90	2,958,728,453.85	転換権の行使
2016年11月15日	6,013	1,908,853,069	9,320.15	2,958,722,256.95	転換権の行使
2016年11月9日	1,014,332	1,908,847,056	1,572,214.60	2,958,712,936.80	転換権の行使
2016年10月28日	267,330	1,907,832,724	414,361.50	2,957,140,722.20	転換権の行使

2016年10月7日	1,960,052	1,907,565,394	3,038,080.60	2,956,726,360.70	転換権の行使
2016年9月7日	2,774,266	1,905,605,342	4,300,112.30	2,953,688,280.10	転換権の行使
2016年8月10日	1,367,177	1,902,831,076	2,119,124.35	2,949,388,167.80	転換権の行使
2016年7月8日	868,191	1,901,463,899	1,345,696.05	2,947,269,043.45	転換権の行使
2016年6月8日	1,599	1,900,595,708	2,478.45	2,945,923,347.40	転換権の行使
2016年6月8日	3,723,203	1,900,594,109	5,770,964.65	2,945,920,868.95	転換権の行使
2016年5月26日	3,175,750	1,896,870,906	4,922,412.50	2,940,149,904.30	転換権の行使
2016年5月17日	21,898,004	1,893,695,156	33,941,906.20	2,935,227,491.80	転換権の行使
2016年4月13日	2,399	1,871,797,152	3,718.45	2,901,285,585.60	転換権の行使
2015年11月13日	3,614	1,871,794,753	5,601.70	2,901,281,867.15	転換権の行使
2015年5月25日	3,614	1,871,791,139	5,601.70	2,901,276,265.45	転換権の行使
2015年5月19日	1,247,858,350	1,871,787,525	0	2,901,270,663.75	1株につき3株 の割合による 株式分割
2015年4月22日	287	623,929,175	1,334.55	2,901,270,663.75	転換権の行使
2015年3月16日	3,612	623,928,888	16,795.80	2,901,269,329.20	転換権の行使
2014年7月16日	8,043	623,925,276	37,399.95	2,901,252,533.40	転換権の行使
2014年6月13日	1,204	623,917,233	5,598.60	2,901,215,133.45	転換権の行使
2014年4月11日	1,736	623,916,029	8,072.40	2,901,209,534.85	転換権の行使
2014年3月13日	15,063	623,914,293	70,042.95	2,901,201,462.45	転換権の行使
2014年2月12日	2,408	623,899,230	11,197.20	2,901,131,419.50	転換権の行使
2014年1月14日	1,470	623,896,822	6,835.50	2,901,120,222.30	転換権の行使
2013年12月16日	1,204	623,895,352	5,598.60	2,901,113,386.80	転換権の行使
2013年11月14日	165,652	623,894,148	770,281.80	2,901,107,788.20	転換権の行使
2013年10月11日	6,572	623,728,496	30,559.80	2,900,337,506.40	転換権の行使
2013年9月12日	5,909	623,721,924	27,476.85	2,900,306,946.60	転換権の行使

2013年8月14日	29,160	623,716,015	135,594	2,900,279,469.75	転換権の行使
2013年7月12日	47,091	623,686,855	218,973.15	2,900,143,875.75	転換権の行使
2013年6月14日	83,140	623,639,764	386,601	2,899,924,902.60	転換権の行使
2013年5月3日	266,785	623,556,624	1,240,550.25	2,899,538,301.60	転換権の行使
2013年4月3日	442,503	623,289,839	2,057,638.95	2,898,297,751.35	転換権の行使
2013年3月4日	1,274,692	622,847,336	5,927,317.80	2,896,240,112.40	転換権の行使
2013年2月13日	366,197	621,572,644	1,702,816.05	2,890,312,794.60	転換権の行使
2013年1月15日	149,778	621,206,447	696,467.70	2,888,609,978.55	転換権の行使
2012年12月13日	134,111	621,056,669	623,616.15	2,887,913,510.85	転換権の行使
2012年11月14日	138,383	620,922,558	643,480.95	2,887,289,894.70	転換権の行使
2012年10月15日	550,448	620,784,175	2,559,583.20	2,886,646,413.75	転換権の行使
2012年9月14日	471,712	620,233,727	2,193,460.80	2,884,086,830.55	転換権の行使
2012年8月15日	1,559,750	619,762,015	7,252,837.50	2,881,893,369.75	転換権の行使
2012年7月16日	1,058,950	618,202,265	4,924,117.50	2,874,640,532.25	転換権の行使
2012年6月18日	36,859	617,143,315	171,394.35	2,869,716,414.75	転換権の行使
2012年5月18日	1,601,595	617,106,456	7,447,416.75	2,869,545,020.40	転換権の行使
2012年4月18日	549,805	615,504,861	2,556,593.25	2,862,097,603.65	転換権の行使
2012年3月14日	2,320,617	614,955,056	10,790,869.05	2,859,541,010.40	転換権の行使
2012年2月21日	320,610	612,634,439	1,490,836.50	2,848,750,141.35	転換権の行使
2012年1月24日	1,630	612,313,829	7,579.50	2,847,259,304.85	転換権の行使

(ii) B種株式

(2017年6月22日現在)

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高 (株)	株式資本増減額 (スウェーデン ・クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン ・クローネ)	摘要

2015年5月19日	23,500,886	35,251,329	0	54,639,559.95	1株につき3株 の割合による 株式分割

(4) 【所有者別状況】

近年、スウェーデン人ではない株主の割合は、2008年度末の30%から増加し、2016年度末現在で49%(前年度は48%)となった。当行は、100,000名超の株主を有している。株主のほぼ3分の2は、1,001株未満の所有者であった。株主の2%強が、それぞれ20,001株超の株式を所有しており、かかる株主は合計で株式資本の91%を所有していた。株式の10%超を所有する2名の株主は、オクトゴーネン・ファウンデーション及びインドゥストリーヴァルデンである。これら2名に加えて、エジンバラを拠点とする資産運用会社であるベイリー・ギフォードは、5%を超える株式を保有している。

以下の表は、当行の株式の所有株式数別の内訳を示している。

(2016年12月31日現在)

株主毎の所有株式		所有株式			
株式数	株主数	A種株式数	B種株式数	株式資本割合(%)	議決権割合(%)
1-500株	54,125	6,606,901	2,761,786	0.5	0.4
501-1,000株	17,478	10,213,303	2,965,430	0.7	0.5
1,001-5,000株	28,656	57,505,001	9,702,850	3.4	3.0
5,001-20,000株	9,061	75,088,152	8,398,192	4.3	4.0
20,001株以上	2,608	1,759,486,714	11,423,071	91.1	92.1
合計	111,928	1,908,900,071	35,251,329	100.0	100.0

(5) 【大株主の状況】

以下の表において、保管銀行は通常は実際の株主ではなく、株主が複数の保管銀行を通じて所有している可能性がある。

(2016年12月31日現在)

名称	住所	A種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
オクトゴーネン、スティフテルセン	スウェーデン	195,872,046	10.1	10.2
インドゥストリーヴァルデン・インベスト・ エイ・ビー	スウェーデン	194,923,948	10.0	10.2
JPMチェース・エヌ・エイ [*]	英国	81,196,447	4.2	4.2
SSB クライアント・オムニバス AC OM07(15 PCT) [*]	米国	70,038,354	3.6	3.7
アレクタ・ペンションフォルシェクリン、オム セシディグト	スウェーデン	41,269,000	2.1	2.2
ランドバークフォレターゲン・エイ・ビー、LE	スウェーデン	39,000,000	2.0	2.0

BNY メロン・エス・エイ／エヌ・バイ (前 BNY) 、W8IMY [*]	ベルギー	33,919,163	1.7	1.8
JPモルガン・チェース・エヌ・エイ [*]	英国	29,558,060	1.5	1.5
SSB クライアント・オムニバス AC OM03(0 PCT) [*]	米国	24,845,478	1.3	1.3
クリアストリーム・バンキング・エス・エー、 W8IMY [*]	ルクセンブルク	21,314,744	1.1	1.1
合計		1,908,900,071	98.2	99.8

名称	住所	B種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
アヴァンザ・ペンション保険会社	スウェーデン	655,465	0.03	0.003
ユニオネン	スウェーデン	630,000	0.03	0.003
エス・エイチ・ビー保険投資年金基金	スウェーデン	573,435	0.03	0.003
JPMチェース・エヌ・エイ [*]	英国	418,960	0.02	0.002
ヴィトウセン・エイ・ビー	スウェーデン	319,260	0.02	0.002
エクハグスティフテルセン	スウェーデン	303,615	0.02	0.002
ノルドネット・ペンションフォルシェクリン・ エイ・ビー	スウェーデン	273,634	0.01	0.001
スティフト・エディット及びエリック・フェーン ストレームス	スウェーデン	254,970	0.01	0.001
アクチエボラグ 1909 グルッペン	スウェーデン	206,490	0.01	0.001
ハンデルスバンケン・ルクセンブルク	ルクセンブルク	183,285	0.01	0.001
合計		35,251,329	1.8	0.2

*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

2【配当政策】

配当政策

当行グループの利益目標の目的の一つは、景気循環を通じて一株当たり利益の増加で表示される価値の長期的な高成長を株主に提供することである。当行は、普通配当が価値の創出を反映する長期的かつ安定的な成長を達成することを目標とする。しかしながらかかる配当の水準は、当局の資本要件を満たさないものとなってはならない。スウェーデンにおける慣例として、当行は、年に1回株主に対して配当を支払う。一株当たりの配当額は、当行の取締役会により提案され、当行の年次株主総会で承認される。

配当

2016年3月16日開催の年次株主総会において、株主により一株当たり6.00スウェーデン・クローネの配当支払い(うち普通配当支払いは一株当たり4.50スウェーデン・クローネ)が決定された。

2017年3月29日開催の年次株主総会において、株主により一株当たり5.00スウェーデン・クローネの普通配当支払いが決定された。

3【株価の推移】

当行の株式は、ナスダック スtockホルムに上場されている。最近5年間及び当該事業年度中最近6月間の各月における当行のA種株式の価格の変動は、以下のとおりである。

(1)【最近5年間の事業年度別最高・最低株価】

(単位：スウェーデン・クローネ)

回次	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
決算月日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
最高	249.9	319.6	372.8	142.0	134.7
最低	181.0	234.3	305.1	108.4	90.25

(注) 上記の表の2012年から2014年の数値は、2015年5月19日を効力発生日とする1株につき3株の割合による株式分割を反映するための再表示を行っていない。

(2)【当該事業年度中最近6月間の月別最高・最低株価】

(単位：スウェーデン・クローネ)

月別	2016年7月	2016年8月	2016年9月	2016年10月	2016年11月	2016年12月
最高	105.3	111.7	118.3	126.3	129.2	134.7
最低	90.25	101.0	111.0	117.6	118	126.1

4【役員の状況】

当行の運営に関する全体的な責任は、取締役会に委任されている。銀行法により、銀行は3名以上の構成員から成る取締役会を設置しなければならない。当行の定款の規定に従い、株主は年次株主総会において8名以上15名以下の取締役会の構成員全員を選出することができる。一定の規模のスウェーデン企業に影響のある特別立法に基づき、当行の従業員は、2名の取締役会の構成員を追加で任命する権利を有するが、この権利が正式に行使されたことはない(規制要件による1998年の事例を除く。)。オクトゴーネン・ファウンデーションは、当行グループの従業員に対する利益分配制度を管理する基金であり、当行グループの従業員により管理される当行の大株主の一つであるが、伝統に従い、年次株主総会において取締役会に選出する2名の構成員を指名した。

取締役会は、現在11名の取締役で構成されている。取締役会は、通常暦年中に少なくとも9回会合し、その他必要がある場合、主要な政策及び展開、多額の貸付提案並びにその他の関連事業を検討するため会合する。

当行のグループ最高経営責任者としての頭取は、取締役会の政策実行、当行グループの事業の主導に責任を負う。

取締役会の構成員等は、以下のとおりである。

男性の数：6名、女性の数：5名(女性の比率45%)

氏名 (生年)	当行における 役職 (取締役会への 選出年)	地位及び主要な活動	2016年度の報酬 ¹

パール・ボーマン (1961年)	会長 (2006年)	スヴェンスカ・セルローサ・エイ・ビーSCAの 会長。エイ・ビー・インドゥストリーヴァル デンの副会長。スカンスカ・エイ・ビーの取 締役。	4,388,750 スウェーデン ・クローネ
フレデリック・ランドバーグ (1951年)	副会長 (2002年)	LEランドバーグフォレターゲン・エイ・ビー の社長兼最高経営責任者。ホルメン・エイ・ ビー、ホフレッドストーダン・エイ・ビー、 エイ・ビー・インドゥストリーヴァルデン、 インドゥトレード・エイ・ビーの会長。LEラ ンドバーグフォレターゲン・エイ・ビー、ス カンスカ・エイ・ビーの取締役。	1,235,000 スウェーデン ・クローネ
カリン・アペルマン (1961年)	取締役 (2016年)	ブリワ・リヴフォルシェクリン・エムセシ ディグト、STINT(スウェーデン研究・高等教 育国際協力財団)の取締役。	480,000 スウェーデン ・クローネ
ジョン・フレデリック ・バクサース (1954年)	取締役 (2003年)	テレフォナクティーボラーゲLMエリクソンの 取締役。	1,413,750 スウェーデン ・クローネ
アンダース・ボウヴィン (1958年)	取締役 (2017年)	当行の頭取兼最高経営責任者。スウェーデン 銀行協会の会長代理。	0 スウェーデン ・クローネ
シャスティン・ヘシウス (1958年)	取締役 (2016年)	第3スウェーデン国民年金基金の最高経営責任 者。ヴァーサクローナン・エイ・ビー、ヘム ソ・ファスティゲット・エイ・ビー、トレナ ム・エイ・ビー、スヴェンスカ-ダンスカ・ブ ロフォビンデルセン SVEDAB エイ・ビー及び オーレスン橋公社の取締役。	480,000 スウェーデン ・クローネ
ジャン-エリック・ホッグ (1969年)	取締役 (2017年)	ハンデルスバンケン南東スウェーデンのプラ イベート・バンキングの部長及び事業支援部 門の部長代理。オクトゴーネン・ファウン デーションの会長。	0 スウェーデン ・クローネ
オーレ・ヨハンソン (1951年)	取締役 (2012年)	エイカー・アルクティック・テクノロジー・ インク、ハートウォル・キャピタル・オーワ イAbの会長。コネクレンズ・オーワイジェ イAphの取締役。	1,691,250 スウェーデン ・クローネ
リーセ・コー (1969年)	取締役 (2015年)	ベストセラー・エイ・エスの最高財務責任 者。ノーマル・エイ・エス、ホワイトウェ イ・エイ・エス及びベストセラー・グループ 内の様々な会社の取締役。	891,250 スウェーデン ・クローネ
ベンテ・ラッセ (1954年)	取締役 (2004年)	エコース・エイ・エス及びセニウム・エイ・ エス(両社ともホーム・インベスト・エイ・エ スの子会社である。)の会長。ポラリス・メ ディア・エイ・エス・エイ、サルマル・エ イ・エス・エイ、ホーム・インベスト・エ イ・エス及びその子会社であるノルディッ ク・チョイス・ホスピタリティ・グループ・ エイ・エスの取締役。	1,741,250 スウェーデン ・クローネ

シャーロット・スコグ (1964年)	取締役 (2012年)	当行の銀行職員。フィナンスリブ・スヴェリ エ・エイ・ビーの会長。スウェーデンの金融 部門ユニオン、オクトゴネン・ファウン デーションの理事。	0 スウェーデン ・クローネ

¹ 報酬は年次株主総会で決定された。2016年の取締役への報酬の合計は、12,321,250スウェーデン・クローネであった。

氏名	経歴	2017年2月15日現在の 本人及び親族の所有株式数
パール・ボーマン	2006-2015年：当行の頭取兼最高経営責任者。2002- 2005年：ハンデルスバンケン・マーケットのエグゼ クティブ・ヴァイス・プレジデント兼部長。1998- 2002年：デンマーク地域銀行のエグゼクティブ・ ヴァイス・プレジデント兼部長。	44,333株、そのうち21,833株 を間接所有 ¹ 。
フレデリック・ランドバーク	1977年-：ランドバークズに在職。1981年-：LEラン ドバークフォレターゲン・エイ・ビーの頭取兼最高 経営責任者。	50,775,000株
カリン・アペルマン	2007-2016年：スウェーデン輸出信用保証局(EKN)の 局長。2001-2007年：スウェーデンのLFV航空管制サー ビスズの最高財務責任者。1994-2001年：サーブ・エ アクラフト・リーシングの最高経営責任者代理。 1990-1994年：SASのリーシング&プロジェクト・ ファイナンス及びコーポレート・ファイナンス&ア シスタント・トレジャラーに在職。1987-1990年： サーブ・エアクラフト・クレジットの副社長。1986- 1987年：スヴェン・ハグストロマー・エイ・ビーの コーポレート・ファイナンスに在職。1981-1985年： スウェーデン輸出信用保証局(EKN)に在職。	0株
ジョン・フレデリック・バクサース	2008-2016年：GSM協会の取締役(2013-2016年は会 長)。2002-2015年：テレノール・グループの頭取兼 最高経営責任者。1989-2002年：テレノール・グルー プの財務部、ファイナンシャル・コントロール部及 び一般管理部において様々な役職を歴任。1988-1989 年：エイカー・エイ・エスの従業員。1985-1988年： ストルト・ニールセン・シーウェイ・エイ・エスの 従業員。1979-1985年：ノルウェー及び日本における デット・ノルスク・ヴェリタスの従業員。	3,800株
アンダース・ボウヴィン	2010-2016年：ハンデルスバンケン英国のエグゼク ティブ・ヴァイス・プレジデント兼部長。2007-2010 年：北英国地域銀行のエグゼクティブ・ヴァイス・ プレジデント兼部長。2002-2007年：ハンデルスバン ケン・デンマークのエグゼクティブ・ヴァイス・プ レジデント兼部長。1999-2002年：ニューヨークにお ける当行の部長。スウェーデン支店業務において10 年以上の経験。1985年-：当行の従業員。	47,862株、そのうち42,862株 は間接所有 ¹ 。2014年の額面 金額の転換株式：5,869,254 スウェーデン・クローネ

シャスティン・ヘシウス	2001-2004年：ストックホルム証券取引所の最高経営責任者。1999-2000年：スウェーデン国立銀行の中央銀行総裁代理。1998年：ダンスク銀行のアセット・マネジメントの最高経営責任者。1990-1997年：エイ・ビー・エヌ・アムロ銀行、アルフレッド・ベルグ在職。1989-1990年：フィナンスティグニニャンに在職。1986-1989年：スウェーデン国家債務局に在職。1985-1986年：スウェーデン国立銀行(中央銀行)に在職。1984-1985年：スウェーデン総務局に在職。	8,700株
ジャン-エリック・ホッグ	当行において様々な役職を歴任。1991年-：当行の従業員。	25,181株、そのうち25,181株は間接所有 ¹ 。2014年の額面金額の転換株式：1,188,742スウェーデン・クローネ
オーレ・ヨハンソン	1975-2011年：ヴァルチラ(メトラ)グループにおいて様々な役職を歴任(ヴァルメットに所属した1979-1981年の期間を除く。)。2000-2011年：ヴァルチラ・グループの最高経営責任者。	59,750株
リーセ・コー	1992-2008年：プライスウォーターハウスクーパースに在職。	2,560株
ベンテ・ラッセ	1999-2002年：ヤンシディア・ノールの最高経営責任者代理(生命保険会社の最高経営責任者、ミューチュアル・ファンド及び資産運用会社の会長)。1996-1999年：ヤンシディア・バンク・エイ・エスの最高経営責任者。1993-1996年：エルコン・フィナンサー・エイ・エスの最高経営責任者。1991-1993年：フォルネーデ・フォルシクリングの最高経営責任者代理。1989-1991年：フォルネーデ・フォルシクリングの最高財務責任者。1977-1989年：E.A.スミス・エイ・エスの与信部長及び最高財務責任者。	0株
シャーロット・スコグ	当行において様々な役職を歴任。1989年-：当行の従業員。	24,620株、そのうち23,904株を間接所有 ¹ 。2014年の額面金額の転換株式：251,744スウェーデン・クローネ

¹ オクトゴーネン利益分配基金を通じて当行の株式を間接所有。

当行グループの上級経営陣の構成員は、以下のとおりである。

グループの各部門経営陣

ペール・ベックマン^{1,2}

グループ与信部の最高与信責任者

パル・ベリストロム²

グループ・コンプライアンス部の最高コンプライアンス責任者

クラス・ボルネイブ

グループ・インフラ部の部長

アンダース・ボウヴィン^{1,2}

頭取兼グループ最高経営責任者

ミーケル・グリーン

子会社の会長

マリア・ヘディン^{1,2}

グループ・リスク・コントロール部の最高リスク管理責任者

エリザベート・ジャマル・ベリストロム	グループ・サステナビリティ部の最高サステナビリティ責任者
ヨアキム・ヤンソン ¹	事業支援キャピタル・マーケット部の部長
アグネッタ・リリア ^{1,2}	グループIT部の最高情報責任者
ロルフ・マーコート ^{1,2}	グループ財務部の最高財務責任者
ステファン・ニルソン ^{1,3}	子会社の会長及びグループ・コミュニケーション部の最高コミュニケーション責任者代理
スティナ・ピーターソン ¹	グループ人事部の最高人事責任者
ユハ・ランタマ	グループIT事業&開発部の部長
マルティン・ウェイストン ²	グループ法務部の最高法務責任者

グループの各事業経営陣

ニナ・アーキラティ ¹	ハンデルスバンケン・フィンランドの最高経営責任者
ペール・エルカー ¹	市場及び資産運用部門の部長
マグヌス・エリクソン	ハンデルスバンケン北スウェーデンの部長
ジョン・ハドソン	ハンデルスバンケン南英国の部長
カタリーナ・ユングヴィスト	ハンデルスバンケン西スウェーデンの部長
シモン・ロッジ ⁴	ハンデルスバンケン・ヨークシャー及び北東英国の部長
ニック・ロウエ	ハンデルスバンケン中央英国の部長
ラルス・モースゴー ¹	ハンデルスバンケン・デンマークの最高経営責任者
ジョン・パーカー	ハンデルスバンケン北英国の部長
ルイス・サンダー	ハンデルスバンケン・リヴ年金及び生命保険部門の最高経営責任者
ヨーラン・スティーレ	ハンデルスバンケン南東スウェーデンの部長
ウルリカ・ストルト・キルケガード	スタッドフィボテックの最高経営責任者
ミーケル・ソレンセン ¹	ハンデルスバンケン英国の最高経営責任者
クリス・ティーズデール	ハンデルスバンケン南西英国の部長
ダグ・シャーンスモ ¹	ハンデルスバンケン・ノルウェーの最高経営責任者
ジェンズ・ウィ克蘭ド ¹	ハンデルスバンケン・ネザーランドの最高経営責任者
ポンタス・オールント	ハンデルスバンケン中央スウェーデンの部長
カリナ・オーケストレーム ¹	ハンデルスバンケン・ストックホルムのグループ最高経営責任者代理兼部長

上級経営陣から独立した部門(監査部及び内部告発部)

トルド・ヨネロット

グループ監査部の最高監査責任者

ビジネス・サポート・ホーム・マーケット

カタリーナ・ベルナー・フロスダル

ハンデルスバンケン・スウェーデンの最高執行責任者

¹ 業務執行取締役:会社法に従い、報酬のガイドラインの適用を受ける。

² リスク・フォーラム：当行の全体的なリスクの状況を取締役会の前に議論し、すべての重要事項の決定の前に十分なリスクの評価が行われていることを確保する目的のフォーラムである。

³ 2017年9月1日にミーケル・ハラカーがステファン・ニルソンの後任として子会社の会長となる予定である。

⁴ 2017年8月31日にシモン・ロッジは退職する予定であり、スザンヌ・ミニフィエが新たなハンデルスバンケン・ヨークシャー及び北東英国の部長に任命された。かかる任命は規制上の承認の対象であり、かかる承認を得た日から有効となる。

指名委員会の役割は、取締役会会長及びその他の取締役会の構成員の指名、並びに取締役会会長及びその他の取締役会の構成員の報酬に関する提案を準備し、年次株主総会に提出することである。当委員会は監査人の指名及びその報酬についての提案も行う。年次株主総会は、指名委員会がどのように任命されるかについて決定する。

３．外部監査人

監査人は、年次株主総会から翌年次株主総会終了時までの任期で任命される。監査人は、株主に対して年次株主総会における説明責任を有する。監査人は、監査を行い、コーポレート・ガバナンス・レポートを含む年次報告書並びに取締役会及び最高経営責任者の運営等の事項に関する監査報告書を提出する。さらに、監査人は、口頭及び書面において、取締役会の監査委員会に対し、その監査業務がいかに遂行されたかを報告し、当行の業務運営体制及び内部統制に関する評価を報告する。監査人はまた、取締役会全体に対し、その監査の概略報告書も提出する。アンデルス・ベックストレームは、2017年3月29日に行われた年次株主総会まで当行及び当行グループにおいてケーピーエムジー・エー・ビーの主任監査人であり、監査チームの委員長を務めていた。同氏は、1996年から公認会計士である。ジェスパー・ニルソンは、2007年から公認会計士であり、当行及び当行グループにおいてアーンスト・アンド・ヤング・エービーの主任監査人である。

2017年3月29日、年次株主総会はアーンスト・アンド・ヤング・エービー及びプライスウオーターハウスクーパーズ・エー・ビー(以下「PwC」という。)を当行の監査人として選任した。ジェスパー・ニルソンは、引き続き当行及び当行グループにおいてアーンスト・アンド・ヤング・エービーの主任監査人である。ヨハン・リッペは、当行及び当行グループにおいてPwCの主任監査人である。

４．取締役会

取締役会は当行の組織に対して責任を有し、株主に代わって当行の業務処理を行う。取締役会は、継続的に当行の財政状態を査定し、会計記録、資金管理及び当行の財政状態のその他の側面が十分に管理されるように、当行が組織化されていることを確保する。取締役会は、これを実施するための方針及び指針を設定し、取締役会のための業務手続を定め、また最高経営責任者のための指針も定める。

これらの中央方針策定文書には、取締役会全体及び委員会間並びに取締役会会長及び最高経営責任者間において、責任及び権限がどのように割り当てられているかについて記載している。取締役会は、最高経営責任者、エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント及びグループ監査部長を任命し、これらの者の雇用条件を定める。また取締役会は、グループ・コンプライアンス部長及びグループ・リスク・コントロール部長の雇用条件を決定する。取締役会会長は取締役会の業務査定に責任を負い、かかる査定結果を指名委員会に報告する。

５．与信委員会

取締役会の与信委員会は、中央委員会がその他の部門に委任した決定限度額を超える与信案件について決定を行う。しかしながら、特別な重要案件並びに取締役及び経営陣の与信は取締役会全体によって決定が行われる。与信案件が適用される当行内の部門の代表が与信委員会への提起を行う。

６．監査委員会

取締役会の監査委員会は、重要な会計問題及びその他財務報告の質的内容に影響する可能性のある要因を検討しながら当行の財務報告を監視する。当委員会はまた、当行及び当行グループの内部統制、内部監査及び財務報告に関するリスク管理の有効性を監視するとともに外部監査人の公平性及び独立性を監視する。当委員会は監査業務を査定し、指名委員会による監査人の指名を補佐する。当委員会はまた、当行の内部監査人及び外部監査人による報告書を受け取る。

7. リスク委員会

取締役会のリスク委員会は、当行グループにおけるリスク統制及びリスク管理を監視する。当委員会は、当行のリスク戦略、リスク許容度等に関する決定を準備し、グループ・コンプライアンス部及びグループ・リスク・コントロール部からの報告書を審査する。

8. 米国業務のためのリスク委員会

米国業務のための取締役会のリスク委員会は、米国の規制に従って当行の総合的な米国業務におけるリスクに対処する。

9. 報酬委員会

取締役会の報酬委員会は、当行の執行役員の雇用条件を、現行の市場相場と照らして審査する。当委員会の役割には、執行役員の報酬に関するガイドラインについての年次株主総会への取締役会の提案を準備すること、これらのガイドラインの適用に関して監督及び評価を行うこと、並びに執行役員、グループ・コンプライアンス部長、グループ監査部長及びグループ・リスク・コントロール部長の報酬及びその他の雇用条件に対する取締役会の決定を準備することが含まれる。また当委員会は、当行の報酬方針及び報酬制度について、独立した評価を行っている。

10. グループ監査部

グループ監査部(内部監査部)は、当行グループの事業及び財務報告の独立した公平な監査を行う。グループ監査部の重要な業務はリスク管理、内部統制及びコーポレート・ガバナンスの手続を評価、検証することである。最高監査責任者は取締役会により任命され、定期的に監査委員会に対し、口頭及び書面で報告を行い、取締役会全体に対しても年次概要報告書を提出する。

11. 頭取及びグループ最高経営責任者(最高経営責任者)

最高経営責任者は、当行グループの日常的な運営指揮をとるために取締役会により任命される。取締役会からの指示に加え、最高経営責任者は会社法及び当行の会計、資金管理及び運営管理に関するその他多数の法律の規定を遵守することが義務付けられている。

12. コーポレート・ガバナンス部

コーポレート・ガバナンス部は、株主総会における決定及び取締役会による決定、並びに法律、規則及びコーポレート・ガバナンス・コードにおける変更が、一般的な責任及び権限を定めることを目的する、取締役会からの方針文書により実行されることを確保する。これらは、主に最高経営責任者からのガイドライン及び指針を通じて組織内に伝達される。

13. グループ与信部

グループ与信部は、当行の与信手続の形成及び維持並びに取締役会の与信委員会又は取締役会全体が決定したあらゆる主要な与信案件の準備に責任を負う。当部の部長である当行グループの最高与信責任者は、最高経営責任者に報告を行い、また取締役会の与信委員会の構成員である。最高与信責任者は、取締役会に貸倒損失及び与信ポートフォリオにおけるリスクについても報告する。

14. グループ財務部

グループ財務部は、統制システム、報告、簿記、会計及び税務に関して責任を負う。さらに、当行グループの流動性、資金調達及び資本、並びに信用リスク、保険リスク、コンプライアンス・リスク及び部門外のオペレーショナル・リスクを除く当行グループ全体のすべてのリスク管理に責任を負う。かかるリスク管理の詳細については下記「第6-1-(1) 連結財務書類-注記G2」を参照のこと。グループ財務部長である当行グループの最高財務責任者は、最高経営責任者に報告を行い、また最高経営責任者に代わって、取締役会の監査委員会及びリスク委員会に、市場リスク、流動性、資金調達及び資本に関しては取締役会全体に定期的に、報告を行う。

15. グループ法務部

グループ法務部は、当行グループ内の法的事項に関して責任を負い、その他の部門に法的助言サービスを提供する。当部は、当行グループの本拠地市場における規制、法律、基準及びガイドラインに関する出来事を監視し、当行グループの公共機関との接触を管理する部門を組織する。グループ法務部はまた、運営上のガバナンスに関して責任を負う。すなわち当部は、最高経営責任者による決定、並びに内部統治、リスク管理及び統制に関連する法律、公的機関の規則及びガイドラインにおける変更が、当行内の機関の責任及び権限を定めることを目的とする、内部ガイドライン及び指針により実行されることを確保するべく活動する。

16. グループ・コンプライアンス部

コンプライアンス部は、法令、規則及び内部規則、並びに事業慣行及び基準を当行グループが操業する事業において遵守していることの確保に責任を負う。当部は、事業活動の支援を行い、内部規則の発展及び規則の実施を支援しなければならない。コンプライアンス部はまた、コンプライアンスに関連するリスクを特定及び報告し、内部規則の遵守について確認しなければならない。さらに重要な役割は、規則及び不適切な準拠により事業を行う上で生じる可能性のあるリスクについて関連部署に連絡することである。コンプライアンス担当役員は、すべての事業分野及び地域銀行、ほとんどの中央部門並びに当行が事業展開するすべての国において任命されている。グループ・コンプライアンス部はコンプライアンスについて機能的な責任を負う。グループ・コンプライアンス部長は、定期的に最高経営責任者、リスク委員会、報酬委員会及び取締役会にコンプライアンスに関連した報告を行う。

17. グループ・リスク・コントロール部

中央に位置するグループ・リスク・コントロール部は、当行グループのすべての主要なリスクを集約して監視し報告を行う責任を負う。当該責任には、与信及び市場リスク(金利リスク、為替リスク、株価及びコモディティ価格リスク)、オペレーショナル・リスク、流動性リスク並びに保険リスク、並びに当行グループの報酬制度に関連したリスクが含まれる。グループ・リスク・コントロール部は、最高経営責任者に対して継続的に報告を行い、リスク委員会、報酬委員会及び取締役会に対しては定期的に報告を行う。グループ・リスク・コントロール部長である当行グループの最高リスク管理責任者はまた、最高財務責任者に対して定期的に情報を提供する。グループ・リスク・コントロール部は、最高経営責任者に対して直接報告を行い、独立して活動し、統制対象業務から分離されている。グループ・リスク・コントロール部は、当行グループにおけるすべてのリスク統制に機能的な責任を負う。

当行のコーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスは、現行の法令に従い、当行の事業体間において権利及び義務がどのように割り当てられるかに関係している。コーポレート・ガバナンスはまた、意思決定体制及び株主が直接的又は間接的に当行を統制する構造を包含している。当行の株主は、主として取締役会を選任することによりコーポレート・ガバナンスを働かせ、取締役会は最高経営責任者を任命する。当行のコーポレート・ガバナンスにおいて基本となるのは、一方では取締役会のための手続規則、最高経営責任者及び最高監査責任者のための指針並びに当行の業務に係る与信指針及び方針文書といった取締役会が採択する文書であり、また一方では、最高経営責任者が公表した指針及びガイドラインである。これらの文書は毎年改訂されるが、必要に応じてより頻繁に調整される。しかしながら、コーポレート・ガバナンスが機能するための基盤には、公式文書だけではなく、当行の企業文化、企業目標、運営方式及び報酬制度もある。当行のガバナンスの主な部分は、事業を行う上で生じるリスクを管理することで構成されている。リスク管理の詳細については下記「第6-1-(1) 連結財務書類—注記G2」を参照のこと。

コーポレート・ガバナンス・コードの適用

当行はコーポレート・ガバナンス・コードに逸脱することなく準拠している。かかるコードは、スウェーデンのコーポレート・ガバナンス委員会のウェブサイトで公開されている。

銀行の規則及び監督に関する一般情報

スウェーデンの銀行業務は法律により規制されており、銀行業務はスウェーデン金融監督庁からの許認可がある場合にのみ実施することができる。

銀行業務の規制は極めて広範囲に及んでおり、本書においては詳細には記さない。主要な規制については、スウェーデン金融監督庁のウェブサイトで見ることができる。当行グループの主な方針において、スウェーデン国外における業務は、受入国の規則がスウェーデン国内の規則よりも厳格であるか又はスウェーデンの規則からの逸脱が必要となる場合には、スウェーデン国内の規則と受入国の規則の両方に服する。

スウェーデン金融監督庁は、スウェーデン及び当行が支店を置く(言い換えれば、国外業務がスウェーデンの法人である当行の業務の一環として行われている)その他の国々における当行の業務を幅広く監督している。他の国々におけるスウェーデン金融監督庁に相当する規制当局は、支店の業務に対しては限定的な監督を行っているが、スウェーデン国外における当行の子会社に対しては網羅的な監督を行っている。規制当局の業務は、スウェーデン金融監督庁の主導により、当行の監督グループに組み込まれている。

法律及び命令に加えて、スウェーデンにおける監督もまた、スウェーデン金融監督庁による規制及び一般的なガイドラインに基づいている。スウェーデン金融監督庁は、当行の組織、意思決定構造及び内部統制等の様々な事項に関する幅広い報告を要求する。

スウェーデン金融監督庁の業務には、当行の様々な部門を体系的に視察することも含まれる。この業務の目的は、与えられた許認可及びその他の細則の条件を当行が実際に遵守しているかを調査することである。

(2) 【監査報酬の内容等】

下記「第6-1-(1) 連結財務書類—注記G9」及び「第6-1-(2) 個別財務書類—注記P9」を参照のこと。

第6【経理の状況】

- a. 本書記載の当行グループの邦文の連結財務書類及び当行グループの親会社の邦文の財務書類は、2016年12月31日に終了した事業年度の原文の財務書類を翻訳したものである。本書記載の原文の連結財務書類及び財務書類は、当行グループの監査済連結財務書類及び親会社の監査済個別財務書類で構成されている。当行グループの連結財務書類は、EUにより採択された国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年、第1559号)に準拠して作成されている。親会社の個別財務書類は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されている。また、当行グループ及び親会社の財務書類の日本における開示については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)第131条第1項の規定が適用されている。

なお、IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法と日本の会計原則及び手続並びに表示方法の相違点については、下記「第6-4 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」を参照のこと。

- b. 当行グループと親会社の原文の連結財務書類及び財務書類は、スウェーデンにおける独立監査人であるケーピーエムジーエービー(KPMG AB)及びアーンスト・アンド・ヤング・エービー(Ernst & Young AB)の監査を受けており、独立監査人の2017年2月16日付の監査報告書の原文及び日本語訳は本書に掲載されている。

なお、原文の財務書類は、上記のとおりケーピーエムジーエービー及びアーンスト・アンド・ヤング・エービーの監査を受けており、これによって「財務諸表等の監査証明に関する内閣府令」(昭和32年大蔵省令第12号)第1条の2の規定に基づく監査証明に相当する証明を受けたとみなされるため、金融商品取引法第193条の2第1項第1号の規定に基づく日本の公認会計士又は監査法人による監査は受けていない。

- c. 日本円への換算及び下記「第6-2 主な資産・負債及び収支の内容」から「第6-4 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」までの事項は原文の財務書類には記載されておらず、当該事項における原文の財務書類への参照事項を除き、上記b.の監査の対象になっていない。

- d. 邦文の財務書類では、主要な数値についてのみ日本円換算が行われている。日本円への換算には、2017年5月24日(日本時間)現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値である1スウェーデン・クローネ=12.84円のスウェーデン・クローネの対円為替レートが使用されている。日本円に換算された金額は、四捨五入のため合計欄の数値が総額と一致しない場合がある。また、本項において記載されているスウェーデン・クローネの日本円への換算額は読者の便宜のために表示されているものであり、スウェーデン・クローネの金額が上記のレートで日本円に換算されることを意味するものではない。

- e. なお、財務書類中の括弧内の数値は比較数値を示している。

- f. 本「第6 経理の状況」において、「親会社」はスヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトを意味する。

- g. 本「第6 経理の状況」において、「クローネ」及び「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを意味する。

1 【財務書類】

(1) 連結財務書類

損益計算書(当行グループ)

		2016年		2015年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
利息収益	注記G3	39,950	512,958	43,052	552,788
利息費用	注記G3	-12,007	-154,170	-15,312	-196,606
純利息収益		27,943	358,788	27,740	356,182
手数料及びコミッション収益	注記G4	10,780	138,415	10,975	140,919
手数料及びコミッション費用	注記G4	-1,624	-20,852	-1,655	-21,250
純手数料及びコミッション収益		9,156	117,563	9,320	119,669
金融取引による純損益	注記G5	3,066	39,367	2,608	33,487
保険リスク	注記G6	142	1,823	157	2,016
その他配当金収益		228	2,928	281	3,608
関連会社の持分利益	注記G19	25	321	17	218
その他収益	注記G7	203	2,607	213	2,735
収益合計		40,763	523,397	40,336	517,914
人件費	注記G8	-12,542	-161,039	-12,581	-161,540
その他費用	注記G9	-5,401	-69,349	-5,203	-66,807
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	注記G24,G25	-495	-6,356	-487	-6,253
費用合計		-18,438	-236,744	-18,271	-234,600
貸倒損失控除前利益		22,325	286,653	22,065	283,315
正味貸倒損失	注記G10	-1,724	-22,136	-1,597	-20,505
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	注記G11	32	411	7	90
営業利益		20,633	264,928	20,475	262,899
法人税等	注記G34	-4,401	-56,509	-4,277	-54,917
継続事業からの当期利益		16,232	208,419	16,198	207,982
非継続事業に関連する当期利益、税引後	注記G12	13	167	145	1,862
当期利益		16,245	208,586	16,343	209,844
帰属先：					
スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主		16,244	208,573	16,342	209,831
少数株主持分		1	12.84	1	12.84
継続事業からの一株当たり利益、スウェーデン・クローネ／円	注記G13	8.42	108.11	8.49	109.01

希薄化後	注記G13	8.30	106.57	8.32	106.83
非継続事業からの一株当たり利益、					
スウェーデン・クローネ／円	注記G13	0.01	0.13	0.08	1.03
希薄化後	注記G13	0.01	0.13	0.07	0.90
事業合計からの一株当たり利益、					
スウェーデン・クローネ／円	注記G13	8.43	108.24	8.57	110.04
希薄化後	注記G13	8.31	106.70	8.39	107.73

包括利益計算書（当行グループ）

	2016年		2015年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	16,245	208,586	16,343	209,844
その他包括利益				
損益計算書に組み替えられない項目				
確定給付年金制度	3,993	50,270	-3,152	-40,472
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-876	-11,248	688	8,834
損益計算書に組み替えられない項目合計	3,117	40,022	-2,464	-31,638
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目				
キャッシュフロー・ヘッジ	-3,145	-40,382	-501	-6,433
売却可能金融商品	-1,160	-14,894	682	8,757
当期為替換算差額	1,183	15,190	-1,713	-21,995
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-142	-1,823	-394	-5,059
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	833	10,696	215	2,761
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	692	8,885	110	1,412
うち、売却可能金融商品	110	1,412	18	231
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	31	398	87	1,117
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計	-2,289	-29,391	-1,317	-16,910
その他包括利益合計	828	10,632	-3,781	-48,548
当期包括利益合計	17,073	219,217	12,562	161,296
帰属先：				
スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主	17,072	219,204	12,562	161,296
少数株主持分	1	13	0	0

当期の損益計算書における組替修正は持分変動計算書に示されている。

その他包括利益における当期の為替換算差額のみが非継続事業の影響を受けている。

2016年度に、その他包括利益合計は828（-3,781）百万スウェーデン・クローネ（税引後）であった。その他包括利益のすべての項目は、割引率、為替レート及びインフレーションの変動による影響を受ける可能性がある。

確定給付年金制度の年金債務が減少したことで、その他包括利益にプラス3,117百万スウェーデン・クローネ（税引後）の影響を与えた。これに対して、前年同期ではマイナス2,464百万スウェーデン・クローネの（税引後）影響であった。当年度の変動の主な要因は、スウェーデンの年金債務における割引率が2.4（2.25）%増加したこと、及びスウェーデンの年金債務に対する制度資産の価値が2015年度末より17%上昇したことによる。

当行グループの長期資金調達的大部分は、満期までのすべてのキャッシュ・フローをマッチングするようなデリバティブを用いてヘッジされている。キャッシュフロー・ヘッジは貸出及び資金調達に係る変動金利及び通貨の変動に関するキャッシュ・フローの変動リスクを管理している。基礎となる資金調達及び資金調達による資産は、償却原価で評価され、これらの項目をヘッジするデリバティブは時価評価される。市場評価による損益への影響は、キャッシュフロー・ヘッジに計上される。時間の経過に伴い、これらの評価は、各ヘッジの満期時にゼロになるが、それまでの期間中のその他包括利益のボラティリティにつながっている。2016年度において、これらのキャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段の評価の変動は、税引後で-2,453(-391)百万スウェーデン・クローネであった。この価値変動の

一部は為替変動から発生したが、それ以上に各通貨の割引率の変動によるものである。当年度において、5(32)百万クローネが、非有効性により損益計算書に再分類された。

当年度において、売却可能区分に分類された金融資産の未実現の価値変動は、その他包括利益にマイナス1,050(前年度はプラス700)百万スウェーデン・クローネ(税引後)の影響を及ぼした。このマイナスの影響は、主に損益計算書に認識された株式の売却益1,689百万スウェーデン・クローネによるものである。

海外支店及び子会社の財務諸表をグループの表示通貨に換算する際に生じる未実現の為替変動による影響及び在外営業活動体の純投資ヘッジによる影響は、当年度において、その他包括利益にマイナス1,214(前年度は1,626)百万スウェーデン・クローネ(税引後)の影響を及ぼした。

貸借対照表(当行グループ)

		2016年		2015年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
資産					
現金及び中央銀行預け金		199,362	2,559,808	202,630	2,601,769
中央銀行へのその他の貸出金	注記G14	25,527	327,767	34,118	438,075
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記G17	97,205	1,248,112	74,777	960,137
その他金融機関への貸出金	注記G15	31,347	402,495	49,656	637,583
一般顧客への貸出金	注記G16	1,963,622	25,212,906	1,866,467	23,965,436
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ 対象の価値変動		35	449	27	347
社債及びその他の利付証券	注記G17	63,909	820,592	44,513	571,547
株式	注記G18	20,412	262,090	30,387	390,169
関連会社に対する投資	注記G19	255	3,274	245	3,146
顧客が価値変動リスクを負う資産	注記G20	118,646	1,523,415	105,146	1,350,075
デリバティブ商品	注記G22	82,633	1,061,008	85,347	1,095,855
再保険資産		9	116	10	128
無形資産	注記G24	9,393	120,606	8,254	105,981
不動産及び器具備品	注記G25	2,387	30,649	2,348	30,148
当期税金資産		38	488	143	1,836
繰延税金資産	注記G34	962	12,352	1,489	19,119
売却目的で保有する資産		1	13	1,442	18,515
その他資産	注記G26	5,615	72,097	8,887	114,109
前払費用及び未収金	注記G27	6,222	79,890	6,247	80,211
資産合計	注記G39	2,627,580	33,738,127	2,522,133	32,384,188
負債及び資本					
金融機関からの預り金	注記G28	178,781	2,295,548	163,770	2,102,807
一般顧客からの預金及び借入金	注記G29	829,336	10,648,674	753,855	9,679,498
顧客が価値変動リスクを負う負債	注記G30	118,745	1,524,686	105,225	1,351,089
発行済証券	注記G31	1,261,765	16,201,063	1,245,367	15,990,512
デリバティブ商品	注記G22	31,738	407,516	40,592	521,201
ショートポジション	注記G32	1,572	20,184	2,416	31,021
保険負債	注記G33	574	7,370	607	7,794
当期税金負債		514	6,600	996	12,789
繰延税金負債	注記G34	7,875	101,115	8,844	113,557
引当金	注記G35	731	9,386	113	1,451
正味年金負債	注記G8	2,161	27,747	5,314	68,232
売却目的で保有する資産にかかる負債		-	-	759	9,746
その他負債	注記G36	9,427	121,043	14,206	182,405
未払費用及び繰延収益	注記G37	14,580	187,207	17,585	225,791
劣後負債	注記G38	33,400	428,856	34,216	439,333
負債合計	注記G39	2,491,199	31,986,995	2,393,865	30,737,227
少数株主持分		6	77	4	51
株式資本		3,013	38,687	2,956	37,955
資本剰余金		5,628	72,264	3,204	41,139

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
有価証券報告書

準備金	9,268	119,001	8,440	108,370
利益剰余金	102,222	1,312,530	97,322	1,249,614
スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー の株主に帰属する当期利益	16,244	208,573	16,342	209,831
資本合計	136,381	1,751,132	128,268	1,646,961
負債及び資本合計	2,627,580	33,738,127	2,522,133	32,384,188

持分変動計算書（当行グループ）

2016年当行グループ (百万スウェーデン・クローネ)									
	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	利益 剰余金	少数株主 持分	合計
2016年期首資本	2,956	3,204	-1,461	4,940	2,024	2,937	113,664	4	128,268
当期利益							16,244	1	16,245
その他包括利益			3,117	-2,453	-1,050	1,214		0	828
当期包括利益合計			3,117	-2,453	-1,050	1,214	16,244	1	17,073
配当金							-11,442		-11,442
転換可能劣後ローンの影響	57	2,424							2,481
少数株主持分の変動							0	1	1
2016年期末資本	3,013	5,628	1,656	2,487	974	4,151	118,466	6	136,381

2015年当行グループ (百万スウェーデン・クローネ)									
	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	利益 剰余金	少数株主 持分	合計
2015年期首資本	2,956	3,203	1,003	5,331	1,324	4,562	108,445	3	126,827
当期利益							16,342	1	16,343
その他包括利益			-2,464	-391	700	-1,625		-1	-3,781
当期包括利益合計			-2,464	-391	700	-1,625	16,342	0	12,562
配当金							-11,124		-11,124
転換可能劣後ローンの影響	0	1					1		2
少数株主持分の変動							0	1	1
2015年期末資本	2,956	3,204	-1,461	4,940	2,024	2,937	113,664	4	128,268

2016年1月から12月において、2008年及び2011年転換可能劣後社債に係る額面2,513（1）百万スウェーデン・クローネが37,105,318（18,925）株のクラスA株式に転換された。年度末において、トレーディング勘定で保有されていた自己株式は0（0）株であった。

資本変動の内訳

ヘッジ準備金の変動

(百万スウェーデン・クローネ)

	2016年	2015年
期首ヘッジ準備金	4,940	5,331
当期における未実現損益の変動	2,324	-1,681
損益計算書への振替額 ¹	-4,777	1,290
期末ヘッジ準備金	2,487	4,940

公正価値評価差額準備金の変動

(百万スウェーデン・クローネ)

	2016年	2015年
期首公正価値評価差額準備金	2,024	1,324
留保分及び新規分に関する当期の未実現市場価値の変動	706	748
損益計算書への振替額 ²	-1,756	-48
期末公正価値評価差額準備金	974	2,024

為替換算調整準備金の変動

(百万スウェーデン・クローネ)

	2016年	2015年
期首為替換算調整準備金	2,937	4,562
支店における為替換算差額の変動	651	-1,217
子会社における為替換算差額の変動	565	-403
損益計算書への振替額 ³	-2	-5
期末為替換算調整準備金	4,151	2,937

1) この項目に係る税金1,347 (-364) 百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

2) この項目に係る税金121 (63) 百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

3) この項目に係る税金0 (1) 百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

2016年当行グループ (百万円)	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	利益 剰余金	少数 株主 持分	合計
2016年期首資本	37,955	41,139	-18,759	63,430	25,988	37,711	1,459,446	51	1,646,961
当期利益							208,573	13	208,586
その他包括利益			40,022	-31,497	-13,482	15,588		0	10,632
当期包括利益合計			40,022	-31,497	-13,482	15,588	208,573	13	219,217
配当金							-146,915		-146,915
転換可能劣後ローンの 影響	732	31,124					1		31,856
少数株主持分の変動							0	13	13
2016年期末資本	38,687	72,264	21,263	31,933	12,506	53,299	1,521,103	77	1,751,132
2015年当行グループ (百万円)	株式資本	資本 剰余金	確定給付 年金制度	ヘッジ 準備金	公正価値 評価差額 準備金	為替換算 調整 準備金	利益 剰余金	少数 株主 持分	合計
2015年期首資本	37,955	41,127	12,879	68,450	17,000	58,576	1,392,434	39	1,628,459
当期利益							209,831	13	209,844
その他包括利益			-31,638	-5,020	8,988	-20,865		-13	-48,548
当期包括利益合計			-31,638	-5,020	8,988	-20,865	209,831	0	161,296
配当金							-142,832		-142,832
転換可能劣後ローンの 影響	0	13					13		26
少数株主持分の変動							0	13	13
2015年期末資本	37,955	41,139	-18,759	63,430	25,988	37,711	1,459,446	51	1,646,961

2016年1月から12月において、2008年及び2011年転換可能劣後社債に係る額面32,267（13）百万円が、37,105,318（18,925）株のクラスA株式に転換された。年度末において、トレーディング勘定で保有されていた自己株式は0（0）株であった。

資本変動の内訳

ヘッジ準備金の変動 (百万円)	2016年	2015年
期首ヘッジ準備金	63,430	68,450
当期における未実現損益の変動	29,840	-21,584
損益計算書への振替額 ¹	-61,337	16,564
期末ヘッジ準備金	31,933	63,430

公正価値評価差額準備金の変動 (百万円)	2016年	2015年
期首公正価値評価差額準備金	25,988	17,000
留保分及び新規分に関する当期の未実現市場価値の変動	9,065	9,604
損益計算書への振替額 ²	-22,547	-616
期末公正価値評価差額準備金	12,506	25,988

為替換算調整準備金の変動 (百万円)	2016年	2015年
期首為替換算調整準備金	37,711	58,576
支店における為替換算差額の変動	8,359	-15,626
子会社における為替換算差額の変動	7,255	-5,175
損益計算書への振替額 ³	-26	-64
期末為替換算調整準備金	53,299	37,711

1) この項目に係る税金17,295 (-4,674) 百万円は、損益計算書に振り替えられている。

2) この項目に係る税金1,554 (809) 百万円は、損益計算書に振り替えられている。

3) この項目に係る税金0 (13) 百万円は、損益計算書に振り替えられている。

キャッシュ・フロー計算書（当行グループ）

	2016年		2015年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
営業活動				
営業利益、営業合計	20,674	265,454	20,656	265,223
うち、受取利息	40,049	514,229	43,870	563,291
うち、支払利息	-12,596	-161,733	-16,084	-206,519
うち、受取配当金	315	4,045	706	9,065
損益における非現金項目の調整				
貸倒損失	1,910	24,524	1,758	22,573
未実現評価差額	-2,317	-29,750	1,956	25,115
減価償却費、償却費及び減損	495	6,356	487	6,253
法人税の支払	-5,544	-71,185	-4,878	-62,634
営業活動による資産及び負債の変動				
中央銀行へのその他の貸出金	8,591	110,308	16,928	217,356
その他金融機関への貸出金	18,401	236,269	20,635	264,953
一般顧客への貸出金	-99,011	-1,271,301	-60,419	-775,780
利付証券及び株式	-35,764	-459,210	35,113	450,851
金融機関からの預り金	15,001	192,613	-36,304	-466,143
一般顧客からの預金及び借入金	75,480	969,163	-268,412	-3,446,410
発行済証券	16,398	210,550	32,754	420,561
デリバティブ商品の正味ポジション	-5,529	-70,992	8,414	108,036
ショートポジション	-1,006	-12,917	-18,187	-233,521
投資銀行業務の決済における債権及び債務	-1,784	-22,907	3,350	43,014
その他	-1,943	-24,948	-26,146	-335,715
営業活動からのキャッシュ・フロー	4,052	52,028	-272,295	-3,496,268
投資活動				
子会社の取得	-408	-5,239	-	-
関連会社の取得及び関連会社への拠出	-19	-244	-10	-128
株式の売却	5,481	70,376	3,685	47,315
利付証券の売却	1,003	12,879	11	141
不動産及び器具備品の取得	-443	-5,688	-760	-9,758
不動産及び器具備品の処分	828	10,632	250	3,210
無形資産の取得	-558	-7,165	-456	-5,855
無形資産の処分	12	154	-	-
投資活動からのキャッシュ・フロー	5,896	75,705	2,720	34,925
財務活動				
劣後ローンの返済	-2,512	-32,254	-5,690	-73,060
劣後ローンの発行	-	-	10,082	129,453
配当金の支払	-11,442	-146,915	-11,124	-142,832
財務活動からのキャッシュ・フロー	-13,954	-179,169	-6,732	-86,439
当期キャッシュ・フロー	-4,006	-51,437	-276,307	-3,547,782
期首流動資金	202,630	2,601,769	454,532	5,836,191

営業活動からのキャッシュ・フロー	4,052	52,028	-272,295	-3,496,268
投資活動からのキャッシュ・フロー	5,896	75,705	2,720	34,925
財務活動からのキャッシュ・フロー	-13,954	-179,169	-6,732	-86,439
流動資金の為替換算差額	738	9,476	24,405	313,360
期末流動資金	199,362	2,559,808	202,630	2,601,769

流動資金は、現金及び中央銀行預け金と定義されている。

Optimix Vermogensbeheer N.V.の取得は2016年9月1日に完了した。取得に関する詳細情報については注記G50を参照のこと。

[次へ](#)

注記G1 会計方針及びその他の財務諸表の作成基準

1. 準拠表明

連結財務諸表は国際財務報告基準（以下「IFRS」という。）及びEUにより採択された同基準の解釈に準拠して作成されている。さらに、会計方針は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）及びスウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針、FFFS 2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告にも従っている。企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、並びにスウェーデン財務報告審議会による意見書も連結財務諸表に適用されている。

親会社の会計方針は注記P1に示されている。

年次報告書の発行及び採択

年次報告書及び連結財務諸表は2017年2月7日における取締役会により発行が承認された。また、2017年3月29日の年次株主総会（AGM）で採択のため提示される予定である。

2. 会計方針等の変更

ESMA（欧州証券市場監督機構）は、代替的な業績指標に関する開示についてのガイドラインを公表しており、2016年7月3日より後に公表される財務報告は、これに従う必要がある。このガイドラインには、IFRSで定義されていない財務比率の開示の拡大が含まれる。当該ガイドラインの要件に従い、当行は代替的な業績指標の定義及び調整をファクト・ブック（www.handelsbanken.se/irengから入手可能）で公表している。また218ページから219ページ（訳注：原文のページ数である。）の「定義及び説明」でも公表している。その他の点について、当期に当行グループが適用したその他の会計方針、分類及び計算方法は、2015年度の年次報告書において適用した方針等と実質的に合致している。

将来の基準変更

EUは、IAS第39号「金融商品：認識及び測定」を置き替えるIFRS第9号「金融商品」の適用を採択した。IFRS第9号は2018年度から適用が義務付けられる。IFRS第9号は、分類及び測定、金融商品の減損並びに一般ヘッジ会計という3つの分野から構成されている。

金融資産は、分類及び測定に関する新たな規定に従い、損益を通じて公正価値で測定するもの、償却原価で測定するもの、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類しなければならない。負債性商品の分類を開始するに当たっては、金融資産の管理に関する企業のビジネスモデル及び当該金融商品の契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払いのみで構成されているかの判断が必要となる。資本性商品は、企業が当初認識時にこれらの金融商品をその他包括利益を通じて公正価値で表示することを選択しない限り、損益を通じて公正価値で測定するものに分類される。この選択をした場合、これらの金融商品の保有による配当金のみが損益計算書に認識されることを意味する。公正価値の変動によるその他の利益及び損失を、その他包括利益から損益計算書に振り替えることは認められない。金融負債の分類に関する規定は、IAS第39号と比較してほとんど変更されていない。主な変更点は、損益を通じて公正価値で評価することを決定した金融負債の自己の信用リスクの変動による公正価値の変動は、損益計算書ではなくその他包括利益に計上されるということである。ハンデルスバンケンの現時点の評価では、これらの分類及び測定規定による財務報告への重要な影響は見込まれていない。初度適用期間において公正価値と償却原価との間に重要な振替はないと予想されるが、この結論は、移行時においてハンデルスバンケンの貸借対照表に計上される金融商品によって影響を受ける。

この減損に関する新たな規定によって、従前のIAS第39号のような発生信用損失に基づくモデルではなく、予想信用損失に基づくモデルが導入されることになる。IFRS第9号は、償却原価及びその他包括利益を通じて公正価値で測定されるすべての資産並びに保証及び信用コミットメントは、減損テストの対象の対象としなければ

ならないことを規定している。減損テストが求められるこれらの資産は、信用の毀損程度によって3つのステージに区分される。ステージ1には、信用リスクが当初認識から著しく増加していない資産が含まれる。ステージ2には、信用リスクが当初認識から著しく増加している資産が含まれる。ステージ3には、減損貸出金として個別に評価された資産が含まれる。ステージ1では、12ヵ月以内に発生すると予想される損失に対応した引当金が認識される。ステージ2及び3では、資産の残存期間全体において発生すると予想される損失に対応した引当金が認識される。これらの引当金の計算に当たっては、将来の見通し(Forward-looking)に関する要素を考慮する必要がある。また、引当金は確率加重された結果に基づかなければならない。これは、IAS第39号の最も起こりうる結果に基づいた引当金とは異なっている。信用リスクの著しい増加を定義するものとして設定される要素及び引当金の計算において将来性の要素をどのように加重するかにより、引当金は、現在のものよりも時間の経過に伴い変動する可能性がある。IFRS第9号への移行に伴い、引当金の合計は増加し、資本は減少することになる。監督当局が会計上の予想信用損失引当金と自己資本比率に従った予想信用損失との関係どのように取り扱うかについては、まだ明らかではない。

一般ヘッジ会計に関する新たな規定は、企業のリスク管理をより適切に財務報告に反映することが可能となるようにしており、また導入されたヘッジの有効性評価方法は詳細規定が少なくなっている。

当行は現在、IFRS第9号による財務的な影響について、より詳細に分析中である。

IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」もまた、EUによって適用が採択された。IFRS第15号は2018年度から適用が義務付けられるが、これより前に適用することもできる。ハンデルスバンケンには、規定された適用日に先立ちこの基準書を適用する意思はない。IFRS第15号では、収益認識の方法と時期を確立するための5つのステップによるモデルを導入している。但し、この基準書は金融商品、保険契約又はリースに適用されない。IFRS第15号にはまた、収益に関する開示を拡大する規定が含まれている。現時点の評価では、この新たな基準書によるハンデルスバンケンの財務報告、自己資本比率又は大口エクスポージャーへの影響はない。

IASBはまた、IFRS第16号「リース」を公表している。IFRS第16号がEUによって採択され、IASBが提案した適用日に変更がなければ、IFRS第16号は2019年度より適用される予定である。この新たな基準書の主な変更点は、すべてのリース契約（短期の小規模なリース契約を除く）は、借り手の貸借対照表に資産（使用権資産）及び負債として認識しなければならないということである。リース料は、減価償却及び利息費用として計上が義務付けられており、さらに開示の拡大が規定されている。貸し手に対する当該規定に大幅な変更はない。当行は、この新たな基準書の財務的な影響について、現在分析中である。

その他の公表されている会計基準の変更を適用しても、ハンデルスバンケンの財務報告、自己資本比率、大口エクスポージャー又は規制が適用されるその他の状況に重要な影響はないと評価している。

3. 連結の基礎及び表示

子会社

ハンデルスバンケンに直接又は間接的に支配されている企業（子会社）はすべて連結されている。当行は、企業への投資から生じるリターンの変動性にさらされているか、又はそのリターンに対する権利を有しており、かつその企業に影響力を及ぼす手段を通じてそのリターンに影響を及ぼすことができる場合に、その企業を直接支配しているとみなされる。支配は通常、ハンデルスバンケンが株主総会又は同等の会議体において過半数の議決権を保有している場合に存在するとみなされる。

子会社は取得法に従って連結される。ここで子会社の取得とは、当行グループがその会社の識別可能な資産を取得し、その負債及び義務を引受ける取引を意味している。企業結合の場合、識別可能資産及び負債を取得日の公正価値で評価した取得貸借対照表が作成される。企業結合の対価は、子会社の純資産に対する支払として提供されたすべての資産、負債及び発行した資本性商品の公正価値で構成される。当該企業結合の対価が取得した貸借対照表上の識別可能純資産を超過する剰余部分は当行グループの貸借対照表にのれんとして認識される。取得関連費用は、発生時に認識される。子会社の財務報告は取得日から支配が中止される日まで連結財務諸表に含まれる。グループ内取引及び残高は当行グループの財務報告の作成時に消去される。

子会社で個別に採用されている会計方針が当行グループで採用されている会計方針と一致していない場合、子会社の連結時に連結財務諸表を修正している。

当行がアセット・マネージャーであるファンド及び当行が50%を超える持分を所有するファンドは、そのすべてが貸借対照表の「顧客が価格変動リスクを負う資産／負債」に計上されている。20%から50%までの所有権については、例えば、そのファンドが運営を指図する幅広い権限を持ち、かつ、そこから生じる変動リターンの割合が高い場合等、当行が支配持分を有していることを示唆する特定の状況において連結される。当行がユニットリンク保険契約を通じて所有しているファンドは、連結されない。

関連会社

ハンデルスバンケンが重要な影響力を有している会社は関連会社として報告される。重要な影響力は、通常、その会社における議決権の割合が少なくとも20%、最大で50%である場合に存在する。関連会社は連結財務諸表において持分法に従って報告される。これは持分が当初は取得原価で報告されることを意味する。取得日後の帳簿価額は、関連会社損益の当行グループの持分を認識することで増加又は減少する。関連会社からの配当金は当該持分の帳簿価額から控除される。関連会社の持分利益は、当行グループの損益計算書の個別科目である「関連会社の持分利益」に計上される。

非継続事業及び売却目的で保有する資産

固定資産又は資産グループ（処分グループ）は、帳簿価額が主に売却により回収され、その売却の可能性が高い場合に売却目的保有に分類される。売却目的保有に分類された資産には、特別な評価原則が適用される。それによると、主に売却目的で保有する資産及び処分グループは、金融資産及び負債項目を除き、帳簿価額と売却費用控除後の公正価値のいずれか低い方で測定される。したがって、売却目的で保有する有形固定資産又は無形固定資産は減価償却又は償却されない。減損損失及びその後の再評価は損益計算書に直接計上される。減損損失累計額を超過する利益は認識されない。売却目的で保有する資産及び負債は、売却されるまで当行グループの貸借対照表の個別科目で報告される。

当行グループの他の事業から明らかに区分可能な重要な独立事業で、上記の方針により売却目的保有に分類されている事業は、非継続事業として認識される。再売却目的のみで取得した子会社もまた、非継続事業に認識される。非継続事業として認識するにあたり、その事業からの収益は損益計算書においてその他の損益項目とは別の個別科目で報告される。非継続事業からの損益は、非継続事業からの損益（税引後）、非継続事業に

含まれる売却目的で保有する資産／処分グループ資産の売却費用控除後の公正価値評価から生じる損益（税引後）、及び非継続事業の処分からの実現損益で構成されている。

4. セグメント報告

セグメント報告は収益／費用及び資産／負債を事業セグメントで分割したものとして表示されている。事業セグメントは当行グループの一部で外部又は内部収益及び費用をもたらす事業を運営するものである。これらの収益／費用はコーポレート・ガバナンスの一環として定期的に上級経営陣に評価及び管理される。セグメント報告の原則は注記G45で詳しく説明されている。

5. 外貨建資産及び負債

当行グループの表示通貨はスウェーデン・クローネである。スウェーデン以外の当行グループ事業の機能通貨は、通常当行グループの表示通貨と異なっている。事業が主に運営されている経済環境で使用されている通貨が機能通貨とみなされる。

外貨建ての取引は取引日に機能通貨に換算される。貨幣性項目並びに公正価値で評価される資産及び負債は、貸借対照表日における機能通貨のスポット・レートの終値で評価される。売却可能金融資産に分類された非貨幣性項目からの換算差額は、「その他包括利益」の構成要素として計上され、資本の部に累積される。在外営業活動体への純投資の一部を構成している貨幣性項目を換算する際の換算差額は同じ方法で認識される。その他の換算レートの差異は損益計算書に計上される。

在外営業活動体の当行グループの表示通貨への換算

支店を含めて海外ユニットの貸借対照表及び損益計算書を機能通貨から当行グループの表示通貨に換算するには、期末日レート法が使用されている。これは、資産及び負債が終値で換算されることを意味している。資本は、投資時又は稼得時に適用されるレートで換算される。損益計算書は年間平均レートで換算される。換算差額はその他包括利益に計上され、資本の為替換算調整準備金に含まれる。

6. 資産及び負債の認識

資本性商品並びに短期金融市場商品及び資本市場商品のスポット市場での取得及び売却は、取引日に認識される。同様のことがデリバティブにも適用される。その他の金融資産及び金融負債は通常決済日に認識される。金融資産は、その資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が失効する、又はその資産に関するすべてのリスク及び経済的便益が他の当事者に移転した際に貸借対照表から除かれる。金融負債は、義務が終了する、又は取消された際に貸借対照表から除かれる。

企業結合の会計処理において、被取得事業は取得日から当行グループ勘定に認識される。取得日とは取得事業体に対する支配の影響が始まる日である。取得日は法的な取引確定日とは異なる場合がある。

金融資産及び金融負債は、当行が純額で決済を行う契約上の権利及び意図を有している場合に、貸借対照表上で相殺される。金融資産及び負債の相殺に関する詳細については、注記G23で提供されている。

資産及び負債を貸借対照表に認識する方針は、買戻取引、証券貸付及びリースの場合は特に重要である。これらの論点については個別のセクションを参照のこと。

7. 金融資産及び金融負債の分類

IAS第39号に準拠して、すべての金融資産は測定目的により以下の区分に分類される。

1. 貸出金及び債権
2. 満期保有目的資産

3. 損益を通じて公正価値で評価される資産

- ・トレーディング目的保有
- ・当初認識時に損益を通じて公正価値で評価することを指定した資産

4. 売却可能資産

金融負債は以下の区分に分類される。

1. 損益を通じて公正価値で評価される負債

- ・トレーディング目的保有負債
- ・当初認識時に損益を通じて公正価値で評価することを指定した負債

2. その他の金融負債

貸借対照表の分類は、測定区分とは切り離されている。したがって、貸借対照表の同一科目の資産及び負債に異なる測定原則が適用されることがある。貸借対照表に認識された金融資産及び負債の測定区分への分類については注記G39に示されている。

当初認識時には、すべての金融資産及び金融負債が公正価値で測定される。損益を通じて公正価値で評価される資産及び負債の取引費用は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。その他の金融商品については、取引費用は取得原価に含まれる。

貸出金及び債権

非上場の利付資産は、「貸出金及び債権」に分類されている。貸出金及び債権は償却原価、すなわち、その商品に関連する将来キャッシュ・フローのすべてをその資産の取得時の実効金利で割引いた現在価値で計上される。貸出金及び債権は、減損の兆候が存在する際には減損テストの対象となる。詳細についてはセクション9を参照のこと。減損損失は損益計算書に計上される。したがって、貸出金及び債権は、その予想される損失及び実際の損失を控除後の純額で計上される。期限前に返済された貸出金及び債権の早期償還手数料は、直ちに損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。

満期保有目的資産

当行グループが満期まで保有する意思及び能力を有する利付資産は満期保有目的資産の区分で報告される。満期保有目的に分類される資産は、償却原価で計上される。満期保有目的資産は、減損の兆候がある場合には減損テストの対象となる。詳細については、下記セクション9を参照のこと。

トレーディング目的で保有する資産及び負債

トレーディング目的で保有する資産及び負債は、上場金融商品及びデリバティブで構成されている。トレーディング目的で保有される金融商品は、公正価値で貸借対照表に計上される。これらの商品に関連する金利、配当及びその他の価値の変動は、損益計算書の「金融取引による純損益」に認識される。

当初認識時に損益計算書を通じて公正価値評価することを指定した金融資産及び負債

損益を通じて公正価値で評価する金融商品に分類するオプションは、トレーディング目的以外で保有している金融資産及び負債のうち、内部管理及び評価が公正価値に基づいている金融資産及び負債に適用されている。この評価原則は、互いに反対ポジションとなる資産及び負債をポートフォリオベースで管理し評価する際（例えば、ユニットリンク保険契約による資産及び負債）の不整合を回避するためにも適用されている。この損益計算書を通じて資産及び負債を公正価値評価するオプションは、「中央銀行への担保として適格な利付証

券」、「一般顧客への貸出金」、「社債及びその他の利付債券」、「株式及び顧客が価格変動リスクを負う資産／負債」として貸借対照表に表示される金融商品にも適用されている。

公正価値で測定される金融商品の公正価値の変動は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。当初認識時に損益を通じた公正価値測定に区分された貸出金に関連する利息は「純利息収益」に計上される。

売却可能金融資産

活発な市場はあるがトレーディング目的で保有していない当行グループ保有の金融商品の大部分は、売却可能金融資産に分類される。

売却可能として分類された金融資産は、貸借対照表上公正価値で計上される。これらの資産の市場価値の変動は、「その他包括利益」に計上され、資本の公正価値評価差額準備金に含まれている。公正価値の変動は、資産が処分されるか、又は減損損失が発生するまでは損益計算書に計上されない。この区分に関連する利息は損益計算書の純利息収益に直接計上される。売却可能貨幣性資産に関連する換算レートの影響は「金融取引による純損益」に計上される。売却可能金融資産の減損テストは、減損の兆候がある場合に実施される。セクション9の金融資産に関する減損損失を参照のこと。売却可能株式に対する配当は、継続的に損益計算書の「その他配当収益」に計上される。

金融商品の分類変更

2008年度において、ハンデルスバンケンは利付証券ポートフォリオの一部を分類変更した。IAS第39号の規定においては、特定の金融資産の分類変更のみが例外的な状況でのみ認められている。分類変更は2008年以降行われていない。当該分類変更の影響は注記G39に記載されている。

買戻取引

買戻取引又はレポ取引は、当事者が特定の証券を売却すること及びこれらの証券を事前に決められた価格で買い戻すことを同時に合意する契約である。レポ取引で売却された証券は、取引の間、引き続き貸借対照表に計上される。また、売却された金融商品は、オフバランスの差し入れ担保として報告されている。受領した代金は、取引相手によって「金融機関からの預り金」又は「一般顧客からの預金及び借入金」として計上される。レポ取引で買入れた証券はこれと対称的な方法で会計処理される。すなわち、これらは当該取引の間は貸借対照表に計上されない。支払った代金は、取引相手によって「中央銀行へのその他の貸出金」、「その他の金融機関への貸出金」又は「一般顧客への貸出金」として計上される。買戻契約に基づき売却されている受入担保は、オフバランスの契約債務として報告されている。

証券貸付

貸付証券は引き続き貸借対照表に計上され、またオフバランスの担保資産として報告される。借入証券は、売却される場合を除き貸借対照表に計上されない。売却された場合、売却された商品の公正価値に相当する価値が負債に計上される。第三者に貸与している借入証券は、オフバランスの契約債務として報告されている。

金融保証及び貸出コミットメント

金融保証は、保証の保有者に生じた損失の払戻を保証の発行者に求める契約である。ここで保証の保有者に生じた損失とは、例えば、信用保証のように負債商品の条件に従った所定の支払いを債務者が行わなかったことにより生じるものである。保証の公正価値は、発行時に受領したプレミアムと同額である。当初認識時において、この保証に対して受領したプレミアムは繰延収益として貸借対照表に計上される。その後この保証は、

償却後プレミアム又はその義務が生じた際に債務を決済するための予想費用のいずれか高い方で測定される。さらに、発行した保証に関連する保証金額の合計は、偶発債務としてオフバランス処理される。履行された保証は、状況に応じて発生可能性の高い貸倒損失又は実際の貸倒損失として報告される。

購入した金融保証のプレミアムは、保証される負債性商品の利息が純利息収益に認識されている場合は利息収益の減少として見越計上され、それ以外は「純手数料及びコミッション収益」に計上される。貸出コミットメントはその貸出の決済日までオフバランス項目として報告される。貸出コミットメントに対して受領した手数料は、そのコミットメントの期間にわたり純手数料及びコミッション収益として計上される。但し、そのコミットメントが実行される可能性が高い場合、受領した手数料はその貸出金の実効金利に含められる。

複合金融商品

複合金融商品の資産及び負債の財務構成要素のうち、明らかに分離可能（デリバティブなど）なものは通常、貸借対照表において個別に会計処理される。この例としては、デリバティブがホスト契約から区分されて損益を通じて公正価値で評価されるエクイティ・リンク債及びその他の仕組商品の発行といったものがある。

トレーディング目的で保有される複合金融商品、並びにその金融商品に含まれる様々な構成要素のリスクと経済的な特徴が類似する複合金融商品（金利キャップの付された変動金利貸付といったもの）については区分した会計処理を行わない。発行済み転換可能負債性金融商品の転換オプション部分に固有の価値は、区分して資本に計上される。資本部分の価値は、転換商品全体の公正価値から負債部分の公正価値を差し引いたものとして発行時に決定される。資本部分の帳簿価額は、転換商品の満期までの間に修正されることはない。負債部分は発行時に貸借対照表上公正価値で認識され、その後、当初の実効金利による償却原価で計上される。

8. 金融資産及び金融負債の公正価値測定の原則

公正価値とは、独立の市場参加者間の秩序ある取引において、資産を売却することで受け取るであろう価格又は負債を移転することで支払うであろう価格と定義される。

活発な市場で取引されている金融商品の公正価値は、市場相場価格と同一である。活発な市場とは、相場価格を規制市場、決済機関、信頼性のある情報サービス又は同等のものから容易にかつ定期的に入手可能であり、受領した価格情報が継続的な取引の発生により検証可能な市場である。一般的に最新の市場価格は、金融資産については最新の買呼値、金融負債については最新の売呼値と同一である。当行がその市場リスクを正味エクスポージャーに基づき管理している金融商品グループの最新の市場価格は、その正味エクスポージャーが処分される場合に受け取るであろう価格又は支払うであろう価格と同一であると仮定されている。

市場価格に関して信頼できる情報がない場合の金融商品の公正価値は、評価モデルを使用して算定されている。使用する評価モデルは、基本的に市場金利や株価等の市場において観察可能な変数を用いて検証可能なインプット・データを基礎としている。必要な場合には、市場関係者が価格設定の際に考慮に入れることが見込まれるその他の変数の調整も行われている。評価に使用される仮定は、内部で発生した実績に基づいており、継続的にリスク管理部門によって検査される。その結果は、仮定及び予測モデルの適用が必要かどうかを確認するために実際の結果と比較される。

利付証券

政府が発行する利付証券及びスウェーデンの抵当証券は最新の市場価格を使用して評価される。社債の評価には評価技法を使用し、同じ満期の市場利回りを信用リスク及び流動性リスクで調整したものに基づいて評価される。評価は最新の市場価格が反映されていることを確認するために定期的に検査される。検査は主に、複数の独立した価格提供機関から価格を入手し、同一又は類似商品における最近の取引との調整により実施される。

株式

活発な市場に上場している株式は市場価格で評価される。非上場株式及び参加持分を評価する際の評価モデルの選択は、その個別商品に適切なモデルに決定される。

非上場証券ポートフォリオは、主に当行の中核事業に関連する種々の共同所有事業で構成されている。このようなポートフォリオは、一般的にその事業の純資産価値に対する当行の持分によって評価されている。契約書において株式の処分価格が規定されている非上場株式については、事前に決定された処分価格で評価される。非上場株式の重要な部分はすべて、売却可能区分に分類されている。したがって、これらの株式ポートフォリオの価値の変動は、その他包括利益に計上されている。

プライベート・エクイティ・ファンドの非上場株式を評価する場合、欧州ベンチャー・キャピタル・アンド・プライベート・エクイティ・アソシエーション (EVCA) で採用された評価原則が使用される。これらのモデルにおいては、同じセクターの比較可能な上場会社との比較評価から投資の市場価値を算出している。投資及び比較会社間の比較を妨げる損益項目については調整が行われ、投資の価値はP/E及び EV/EBITA等の収益率を基礎として算定される。保険事業における投資資産の一部を構成するプライベート・エクイティ・ファンドに対する持分の価値変動及びキャピタルゲインは、損益計算書に直接に計上されず、保険事業における利回り分割の計算基礎に含められる。詳細については、セクション12を参照のこと。

デリバティブ

活発な市場で取引されているデリバティブは、市場価格で評価される。当行グループの金利スワップや多くの種類の定型的な通貨デリバティブを含むデリバティブ契約の大部分は、市場金利及びその他の市場価格を基礎とする評価モデルを使用して評価される。活発に取引されていない非定型的なデリバティブ契約の評価もまた、ボラティリティ等の市場に基づくインプット・データに関する合理的な仮定を基礎としている。

デリバティブをモデルで評価する際には、場合によっては取引価格と当初認識時に評価モデルで測定した価値との間に差額が存在することもある。両者の差額は使用した評価モデルにおいて、デリバティブの価値に影響する要素のすべてが完全に織り込まれていない場合に発生する。取引価格と評価モデルによって測定された価値との正の差額（取引日利益）から生じた重要な未実現利益は、当初認識時には損益に認識されず、デリバティブの契約期間にわたって償却される。また、当行は、モデル評価を行っている未決済のデリバティブのすべての信用リスク要素（自己の信用リスク及びカウンターパーティ・リスク）を独自に評価している。信用リスクの変化による公正価値の変動は、その全体の影響額が未認識の取引日利益を上回る部分のみ、損益に認識されている。

公正価値で評価する貸出金

損益を通じて公正価値で評価する貸出金は、期待将来キャッシュ・フローの現在価値で評価される。計算を行う際には、市場金利に信用リスク調整を行う。信用リスク・プレミアムは、取引相手の返済能力が著しく悪化したという証拠がない限り、当初マージンと同一であると仮定されている。返済能力に関する情報は、当行の内部格付システムから入手している。貸出金の公正価値の変動は、「金融取引による純損益」に計上されている。

顧客が価値変動リスクを負う資産及び負債

顧客が価値変動リスクを負う資産は、主にユニットリンク保険契約の持分である。これらの持分はファンドの最新の市場価値（NAV）を使用して評価される。各資産は顧客が価値変動リスクを負う負債に対応している。これら負債の評価は資産の評価を反映している。保険契約者／持分保有者は資産に対する優先権を有している

ため、その評価について信用リスク調整を行う必要はない。顧客が価値変動リスクを負う資産及び負債は基本的に、損益を通じて公正価値で測定される資産及び負債に分類されている。

9. 貸倒損失及び金融資産の減損

償却原価で計上される貸出金及び債権

顧客と与信に関する責任を有するハンデルスバンケン・グループのすべてのユニットは、償却原価で計上される貸出金及び債権の減損損失の認識の必要性について定期的に個別評価を実施する。減損テストは貸出金の回収可能額が帳簿価額を下回ることが客観的に示されている場合に実施される。客観的な証拠とは、状況に応じて、支払遅延又は不払、破産、格付の変更、並びに担保の市場価格の下落などがある。

減損テストを実施する際の貸出金の回収可能価値は、その貸出金に関連する見積将来キャッシュ・フロー及び担保（保証を含む）を貸出金の実効金利で割り引くことで算定される。担保が上場資産の場合、担保の評価は相場価格に基づく。それ以外の場合、評価は収益価値又はその他の方法で見積もられた市場価値に基づく。不動産抵当形式の担保は担保権実行不動産と同じ方法で評価される。見積回収可能価値が帳簿価格を下回る場合には減損損失が認識されるが、これは「貸倒損失」として損益計算書に計上される。報告された貸倒損失は、貸借対照表において貸出金の帳簿価格から控除しているが、直接控除（実際の損失）又は貸倒引当金勘定（予想損失）のいずれかにより控除されている。

貸出金の個別評価に加えて、個別貸出金にまだ配分出来ない減損損失を認識する必要性を特定するために、集合的評価が実施される。この分析は、個別評価された貸出金のリスク分布に基づいている。減損損失はリスク区分と予想損失の変動を考慮して、これが妥当と判断された場合に認識される。貸出金グループに対して認識された減損損失は、個別レベルでの価値の減損に関する情報を入手後、直ちに個別貸出金の減損損失に振替えられる。グループでの減損テストは、類似するリスク・プロファイルの少額貸出金のグループに対しても実施される。

当期の貸倒損失は信用供与における実際の損失及び予想損失から、予想貸倒損失として過去に認識した減損損失の回収及び戻入を差し引いたもので構成されている。実際の貸倒損失は貸出金全体または一部にかかることがあり、実質的に回収可能性がなくなった場合に認識される。例えば、破産管財人により破産配当金が見積られた場合、債務整理計画が承認された場合又はその他の方法で猶予が与えられる場合が該当する。債務再編により返済を免除された貸出金又は貸出金グループは、常に実際の損失に区分される。実際の損失に区分した後も顧客が貸出金の返済計画に従っている場合、損失額は新たなテスト対象となる。回収は過去に実際の貸倒損失として報告されたものの戻入額で構成されている。予想損失及び実際の損失に関する情報については注記G10に記載されている。

支払までの期間が短くなることで割引効果が減少すると、過去に引き当てられた金額の戻入が発生するが、このような金利効果は、実効金利法により利息収益に計上される。

減損貸出金に関する開示

減損貸出金に関する情報は、予想貸倒損失引当金控除前の総額及び予想貸倒損失引当金控除後の純額の双方で開示されている。貸出金は契約上のキャッシュ・フローの一部が履行されない可能性が高い場合、減損していると定義される。貸出金の一部が担保でカバーされている場合でも貸出金の総額が減損貸出金として計上されている。実際の貸倒損失により償却された貸出金は減損貸出金に含まれていない。

債権の保全のために担保権が実行された不動産及び器具備品の評価

担保権が実行された不動産及び器具備品は当初認識時に公正価値で貸借対照表に計上される。担保権が実行された不動産及び器具備品のうち、近い将来に処分が予想されるもの（担保権が実行されたリース資産を含

む)は、帳簿価格又は公正価値(売却費用控除後)のいずれか低い方で評価される。近い将来に処分される見込みのないものについては、損益を通じて公正価値で評価される投資不動産として計上される。債権の保全のために譲り受けた非上場株式は売却可能金融資産として計上される。

売却可能金融資産の減損損失

売却可能金融資産の減損損失は、その資産の予想将来キャッシュ・フローに影響する、ひとつ以上の債務不履行事由が発生したという客観的な証拠がある場合に認識される。利付金融資産の場合、減損損失の兆候を示す証拠の例として、将来の倒産の可能性、発行体における重大な財政難、又は資産が取引されている市場における恒久的な価値の変動がある。資本性商品の場合、公正価値の恒久的又は重大な下落は、減損損失の認識が必要となる兆候のひとつである。減損損失を認識する場合、過去に資本の公正価値評価差額準備金に認識された累積損失部分は損益計算書に計上される。

売却可能金融資産に分類される利付証券について、減損損失の認識後に資産の公正価値が増加し、その増加が減損損失の認識後に発生した事象と客観的に関連づけられる場合、以前に認識された減損損失は損益計算書を通して戻入れられる。売却可能金融商品に分類された資本性商品における過去の減損損失は戻入れられることはない。

10. ヘッジ会計

当行グループはヘッジ会計について、ヘッジ目的に応じた異なる方法を採用している。デリバティブ(主に金利スワップ及びクロスカレンシー金利スワップ)がヘッジ手段として用いられているが、さらに、在外営業活動体への純投資に関する為替リスクをヘッジする場合には、対象となる在外営業活動体の機能通貨による負債がヘッジ手段として用いられている。当行グループのヘッジ戦略のひとつとして、ヘッジ手段の価値変動は、個別の構成要素に分割され複数のヘッジ関係に含まれることがある。したがって、単一、又は同じヘッジ手段が異なるリスクをヘッジすることができる。ヘッジ手段の分割は、ヘッジされるリスクを明確に特定することが可能なこと、その効果を信頼性をもって測定することが可能なこと、及びヘッジ手段の価値変動合計がいずれかのヘッジ関係に含まれている場合に限り行われる。

キャッシュフロー・ヘッジは変動金利による貸出金及び資金調達の金利変動によるキャッシュ・フローの変動に対するエクスポージャーを管理するために採用される。このタイプの貸出金及び資金調達の予想満期は、非常に短期である金利固定期間よりも、通常は長期となる。キャッシュフロー・ヘッジは、貸出金及び資金調達の将来キャッシュ・フローにおける為替リスクのヘッジにも用いられる。グループ内の貨幣性項目から生じる為替リスクも、連結の際に全額相殺消去されない為替エクスポージャーをもたらす場合には、キャッシュフロー・ヘッジの対象となる。キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段であるデリバティブは公正価値で測定される。そのデリバティブの価値変動が効果的に、すなわちヘッジ対象の将来キャッシュ・フローと連動する場合、そのデリバティブの価値変動はその他包括利益の構成要素、及び資本のヘッジ準備金に計上される。そのデリバティブの価値変動のうち非有効部分は、「金融取引による純損益」として損益計算書に計上される。キャッシュフロー・ヘッジが満期前に終了する場合、過去にその他包括利益に認識されていたヘッジ手段に係る累積利益又は損失は、純損益(「金融取引による純損益」)にリサイクルされる。

公正価値ヘッジは、市場価格が変動することにより、損益に生ずる望ましくない影響から当行グループを保護するために使用される。公正価値ヘッジは個別資産及び負債並びに金融商品ポートフォリオで採用されている。公正価値ヘッジのヘッジ対象リスクは、固定金利による貸出金並びに資金調達にかかる金利及び為替リスク、また金利キャップが付された貸出金で構成されている。これらのヘッジ関係におけるヘッジ手段は、金利スワップ、クロスカレンシー金利スワップ及び金利オプションで構成される。公正価値ヘッジの場合、ヘッジ手段及びヘッジ対象リスクの両方が公正価値で認識され、価値の変動は損益計算書の「金融取引による純損

益」に直接計上される。ポートフォリオ・ヘッジが適用される場合、ヘッジ対象項目の価値は、「一般顧客への貸出金」とは区別して貸借対照表に計上される。公正価値ヘッジが途中で中止された場合、ヘッジ対象に生じた価値変動は償却され、「金融取引による純損益」に計上される。途中で中止されたポートフォリオ・ヘッジに係る価値変動の累積額は、貸借対照表上「その他資産」に計上される。

海外ユニットにおける純投資ヘッジは、海外事業の為替レートの変動から当行グループを保護するために採用されている。クロスカレンシー金利スワップ及び外貨建借入金ヘッジ手段として用いられている。これらのヘッジにおけるヘッジ対象は直接投資の形式による純投資及び予見可能な将来に決済することが予定されていない海外事業に対する債権で構成されている。在外営業活動体における純投資をヘッジするために実施された外貨建借入金は、貸借対照表日の為替レートで当行グループ貸借対照表に計上される。このような借入金の為替差額の有効部分は「その他包括利益」の構成要素として計上され、かつ、資本の為替換算調整準備金に計上される。海外事業に対する債権の為替リスクをヘッジするクロスカレンシー金利スワップの価値変動の有効部分は同様の方法で計上される。在外営業活動体における純投資ヘッジの非有効部分は損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。

11. リース

当行グループのリースはファイナンス・リース、又はオペレーティング・リースのいずれかである。ファイナンス・リースは、リース資産の法的所有権に付随する実質的にすべてのリスク及び経済的価値を貸し手から借り手に移転するものである。その他のリースはオペレーティング・リースである。当行グループが貸し手であるすべてのリースはファイナンス・リースに分類されている。この種類のリース契約は、契約当初の純投資相当額で貸借対照表に貸出金として計上される。受取リース料は継続的に利息収益又は元本の返済として認識される。ファイナンス・リース契約の減損テストは償却原価で報告されるその他の貸付と同じ原則で実施される。

オペレーティング・リース契約は、貸借対照表に計上されていない。当行グループが借り手であるオペレーティング・リースに関連する費用は、定額法により「その他費用」として計上される。

12. 保険事業

当行グループの保険事業は、子会社のハンデルスバンケン・リヴ・プロダクツを通して運営されている。ハンデルスバンケン・リヴ・プロダクツの商品は、主に従来型生命保険の形式による法定生命保険、ユニットリンク保険並びに健康保険及び保険料払込免除特約の形式によるリスク保険で構成される。

保険契約の分類及びアンバンドリング

重要な保険リスクを含む契約は、連結財務諸表において保険契約として分類される。重要な保険リスクを移転しない契約は、全体を投資契約に分類する。通常、払戻保証が付された保険契約が投資契約に分類され、それ以外の契約は保険契約に分類される。保険要素と貯蓄（金融要素）の両方で構成される保険契約は、以下に記述する原則に従ってアンバンドリングされ、個別に認識される。

保険契約における保険要素の会計処理

保険契約に関する保険料収入及び支払保険金は損益計算書の「保険リスク」の項目に純額で計上される。当行グループの保険負債における変動もまたこの項目に計上される。

収入としてまだ認識されていない受取保険料は、払込済保険料として貸借対照表の保険負債に計上される。貸借対照表の保険負債項目には、疾病年金、終身年金、及びその他の未払保険負債も含まれている。保険負債は保険契約に関する予想将来キャッシュ・フローを割り引くことで評価される。評価は金利、死亡率、疾病率

及び将来の費用に関する仮定に基づく。死亡率に関する仮定は契約時期によって様々であり、また予想される将来の余命の延びを考慮している。手数料に関する仮定もまた契約時期による。基本的に、これは保険料に比例し、一部の手数料は保険契約準備金に比例する。被保険者の将来の健康状態に関して採用される仮定は内部で入手した実績に基づいており、商品に応じて様々である。金利の仮定は負債期間に応じた現行の市場金利に基づいている。将来の予想保険金をカバーする保険負債の報告値が十分であることを確認するため、当行グループは、少なくとも年次で保険負債の定期レビューを実施している。必要な場合には準備金が追加され、差額は損益計算書に計上される。

投資契約及び保険契約の金融要素の会計処理

投資契約における顧客の貯蓄元本及び保険契約の金融要素に関する払込及び払戻は、預り金及び引出金として貸借対照表に直接計上される。

保険契約から分離される従来型生命保険契約の金融要素は、貸借対照表に一般顧客からの借入金として認識される。これらの負債は保証額と保険契約の現在価値のいずれか高い方で評価される。保証額は保証金利による利息額だけ増加するが、これは保険契約の償却原価に相当する。保険契約の現在価値は保険契約者に代わって運用する資産価値と同一であり、その資産の総利回り（利回り分割分を控除する）に基づく利息を稼得する。利回り分割は、暦年中に総利回りが保証金利を超過する場合に、総利回りのうちの契約で定める部分が保険会社に配賦されることを意味する。この算定は年次で実施され、契約毎に累積する。これは、各年度の利回りが保証金利を下回る年度において条件付き配当が減少することを意味し、保証金利を上回る年度においては条件付き配当が増加することを意味する。利回り分割モデルにおいて当行グループの稼得分は「手数料及びコミッション収益」に計上される。利回りが契約上の保証金利を下回る場合は、差異部分を損益計算書の「金融取引による純損益」に計上する。ユニットリンク保険契約の資産及び負債は、貸借対照表の「顧客が価値変動リスクを負う資産／負債」に公正価値で計上される。

保険手数料並びに投資契約及び保険契約の金融要素に関する管理費用は、「手数料及びコミッション収益」として損益計算書に計上される。取得費用は損益計算書に直接計上される。

再保険

当行グループの保険負債の再保険者負担部分は、貸借対照表の「再保険資産」として計上される。

13. 無形資産

貸借対照表における認識

無形資産は、物理的実体のない識別可能な非貨幣性資産である。無形資産はその資産に起因する経済的便益が当行グループに流入する可能性が高く、その取得原価を信頼性をもって測定できる場合に限り貸借対照表に計上される。これは、自己創設されたのれん、商標、顧客データベース及びこれに類似するものの価値は資産として貸借対照表に認識されないことを意味する。

自社で開発するソフトウェアへの投資のうち、既存の事業運営又はソフトウェアの維持費用の範囲とされるものについては発生基準で費用計上している。新規ソフトウェアの自社開発、又は新規事業のための既存ソフトウェアの開発の場合、信頼性をもって測定可能な費用の発生は、経済的便益の発生可能性が高くなった時点から資産計上する。借入費用は、無形資産の開発費用の資産計上を決定した日から資産計上される。

企業結合の会計処理に際し、取得価格は取得事業において取得した識別可能資産、負債、及び偶発債務の価値に配分される。これらの資産には、個別に取得した場合、又は自己創設された場合には貸借対照表に計上されない無形資産も含まれることがある。企業結合において識別可能資産及び負債に配分が出来ない取得価格のはのれんとして認識される。

のれん及び耐用年数を確定できない無形資産

のれん及びその他の耐用年数を確定できない無形資産は、予想減損損失控除後の取得原価で計上される。これらの資産は年次報告書作成時に年次で、又は資産に減損の兆候がある場合にはその都度、減損テストが実施される。減損テストは、その資産の回収可能価額（すなわち、使用価値と売却費用控除後の公正価値のいずれか高い方）を算定することにより実施される。回収可能価額が帳簿価額を超過する限り減損損失を認識する必要はない。減損損失は損益計算書に直接計上される。

のれんから発生するキャッシュ・フローを、その他の資産から発生するキャッシュ・フローから区別することが不可能なため、のれんの減損テストは資金生成単位レベルで行われる。資金生成単位とは、他の資産又は資産グループからのキャッシュ・インフローとはおおむね独立したキャッシュ・インフローを生成させるものとして識別される資産グループの最小単位である。のれんについては、事業セグメント単位で把握されている。のれんの減損テストにおける重要な評価及び仮定は、注記G24に記載されている。過去に認識されたのれんの減損は戻入れない。

確定可能な耐用年数を有する無形資産

見積耐用年数の設定が可能な無形資産は償却され、その資産の耐用年数にわたって定額法で償却される。すなわち、現行では、顧客契約は20年間にわたって償却されており、内部開発ソフトウェアは通常5年間にわたって償却されている。特定のインフラ整備プロジェクトでは、その耐用年数は5年超と評価される。こうした種類の投資の償却期間は最長で15年である。償却の対象となる商標は、5年間にわたって償却されている。償却期間は新規取得時において個別に検証されるが、耐用年数が変化した可能性があることを示す兆候がある場合にも継続的に検証が行われる。確定可能な耐用年数を有する無形資産は、資産の減損が示唆される場合に減損について検証が行われる。減損テストは耐用年数を確定できない無形資産と同様の原則、すなわち資産の回収可能価額を算定することにより実施される。

14. 不動産及び器具備品

当行グループの有形固定資産は不動産及び器具備品で構成される。保険事業における投資資産に含まれる不動産及び債権の保全のために担保権が実行された資産を除き、これらの資産は減価償却累計額及び減損損失控除後の取得原価で計上される。

減価償却は通常、資産の見積耐用年数に基づく定額法が適用されている。見積耐用年数は年次でテストされる。見積耐用年数が異なる構成要素から成る有形資産は、償却方法の異なる区分に分割され、別個に償却される。そのような構成要素の償却は通常、不動産への適用に限定される。その資産の構成要素の取得原価が、不動産の取得原価合計に対して重要である場合に限り、分割して償却される。当該不動産の残余部分（建造物）はその全体を予想耐用年数で償却する。現行では、建造物の耐用年数は100年、排水設備は35年、屋根は30年、間口、暖房、換気及び配電設備は25年、エレベーターは20年、建物附属設備は10年である。パーソナル・コンピュータ及びその他のIT機器は通常3年間にわたり償却される。また、銀行の金庫室及び類似する建物附属設備への投資は10年間にわたり償却される。その他の機器は通常5年間で償却される。

不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。減損損失は回収可能価額が帳簿価額を下回る場合に認識される。減損損失は損益計算書に直ちに計上される。減損費用は、減損損失がもはや存在せず、前提となる見積回収可能額の仮定に変化があったことが示される場合に戻入れられる。

15. 引当金

引当金は、当行グループから認識済みの資源が流出することが予想されるものの、その時期又は金額が不確実なもので構成されている。引当金は、過去の事象の結果として当行グループが法的又は推定的債務を有しており、その債務を決済するために資源の流出を要する可能性が高い場合に報告される。認識にあたり、その金額を信頼性をもって見積もることが可能でなければならない。引当金として認識された金額は、貸借対照表日においてその債務を決済するために必要な支出の最善の見積りに相当するものである。見積りにおいては予想される決済日も考慮されている。

リストラクチャリングについて引当金が計上される。リストラクチャリングとは、例えば従業員が早期退職に関する解雇給付を受ける場合や支店が閉鎖される場合等、主要な組織改革を示す。引当金を計上するには、企業が当該リストラクチャリングを実施するためにリストラクチャリング計画を設定し、影響を受ける人々が予測できるように伝達しておく必要がある。リストラクチャリング引当金に含まれるものは、リストラクチャリングから発生する直接費用で、将来の業務に関連しないものに限定される。

16. 資本

資本には、下記の構成要素が含まれている。

資本剰余金

資本剰余金は発行済み転換社債のオプション部分並びに株式発行及び転換負債証券の転換において調整額面金額を超過する金額が含まれている。

ヘッジ準備金

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段で構成されるデリバティブ商品の未実現の価値変動はヘッジ準備金に含まれている。

公正価値評価差額準備金

公正価値評価差額準備金は売却可能に分類された金融資産の未実現の価値変動より構成される。

為替換算調整準備金

為替換算調整準備金は海外ユニットの業績を連結財務諸表の通貨に換算することによって生じた未実現の外貨換算による影響で構成される。

確定給付年金制度

確定給付年金制度は、年金債務の数理計算上の差異及び制度資産の計算上の収益を上回る運用収益より構成されている。

利益剰余金

利益剰余金には当期及び過年度の利益が含まれている。配当及び自己株式の再取得は「利益剰余金」の控除として報告される。

少数株主持分

少数株主持分は、当行グループの純資産のうち、親会社の普通株式保有者に直接又は間接的に所有されていない部分で構成される。少数株主持分は、資本における個別の構成要素として計上される。

自己株式の会計処理

買戻した自己株式は、資産として計上されないが、資本の「利益剰余金」と相殺される。

17. 収益

収益は、将来の経済的便益を得る可能性が高く、これらの便益が信頼性をもって測定可能な場合に損益計算書に計上される。以下の一般原則が様々な種類の手数料及び請求の収益認識に適用される。

- ・ 例えば資産管理における管理手数料など、サービスを履行する都度、段階的に稼得した手数料は、これらのサービスが提供されるレートで損益計算書に計上される。
- ・ 特定のサービス又は行為に起因する手数料は、サービス履行時に収益認識される。こういった手数料の例としては仲介料及び支払コミッションがある。
- ・ 実効金利法に従った償却原価で商品が評価されるような場合、手数料は金融商品の実効金利を構成する部分として計上される。公正価値で評価される金融商品については、そのような手数料は損益計算書に直ちに計上される。

純利息収益

利息収益及び利息費用は、損益計算書の「純利息収益」に計上される。但し、トレーディング目的で保有する金融商品からの利息を除く。純利息収益にはまた、ヘッジ対象の金利が「純利息収益」に計上されるデリバティブ商品からの利息も含まれる。利息収益及び利息費用に加えて、純利息収益には預金保証及び安定手数料といった政府保証料が含まれる。

トレーディング目的で保有する金融資産及び金融負債からの利息を除いた純利息収益の金額を計算するため、及びトレーディング活動における全体像を把握するために、トレーディング目的で保有する金融資産及び金融負債に関連するすべての利息収益及び利息費用は「金融取引による純損益」に計上される。

純手数料及びコミッション収益

様々な種類のサービスからの収益及び費用は、損益計算書の「手数料及びコミッション収益」並びに「手数料及びコミッション費用」にそれぞれ計上される。これは仲介収益及び様々な種類の管理手数料がコミッションとして認識されることを意味する。コミッションとして認識されるその他の形式の収益は、受取コミッション及びカード手数料、金融保証の発行で提示されるプレミアム、並びに保険事業からのコミッションである。保険事業における正の利回り分割分もまた、コミッションとして認識される。利息に相当する保証コミッション、及び複合金融商品の一部に対する手数料として実効金利の計算に含められるものは、コミッションではなく「純利息収益」として認識される。

金融取引による純損益

金融取引による純損益には、金融資産及び金融負債を損益計算書を通して公正価値で測定する際、並びにすべての金融資産及び金融負債が処分又は決済された際に発生するといった損益に影響するすべての項目が含まれる。特にここで報告される項目には以下のものがある。

- ・ 金融資産及び金融負債の処分並びに決済によるキャピタルゲイン及びロス
- ・ 当初認識時に損益を通じて公正価値で評価される資産に分類された資産及び負債の未実現の価値変動。但し、価値変動が利息として認識された構成要素を除く。
- ・ トレーディング目的保有に分類された金融資産及び金融負債の実現及び未実現の価値変動
- ・ トレーディング目的保有の金融商品からの利息。但し金融商品をヘッジするデリバティブからの利息であって純利息収入に報告されるものを除く。

- ・トレーディング目的保有の金融資産における配当金収益
- ・公正価値ヘッジにおけるヘッジ対象リスクに係るヘッジ対象資産及び負債に関する公正価値の未実現の変動、及び満期前に終了したヘッジの未実現の価値変動の償却
- ・公正価値ヘッジのヘッジ手段となるデリバティブに関する未実現の価値変動
- ・キャッシュフロー・ヘッジのヘッジ手段及び在外営業活動体への純投資ヘッジのヘッジ手段の価値変動の非有効部分
- ・保険事業における負の利回り分割、すなわち、保険事業における金融資産の利回りが保証金利を下回ることから発生する損失

受取配当金

売却可能に分類された株式の配当金は、「その他配当金収益」として損益計算書に計上されている。トレーディング目的で保有する金融資産に分類された株式の配当金は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。関連会社株式の配当金は損益計算書の配当金項目に含まれない。関連会社の持分利益の会計処理はセクション3に記載されている。

18. 従業員給付

人件費

人件費には給与、年金費用及び社会保障費、年金費用にかかる特別給与税を含むその他の形式の直接人件費、並びに給与関連のその他の形式の間接費が含まれている。解雇に関連する給付は、合意に達した時に負債として認識され、残存雇用期間にわたって償却される。

退職給付会計

退職後給付は、確定拠出制度及び確定給付制度で構成されている。当行グループが別の事業体に固定額の拠出を支払うことで、その後に当該事業体が従業員に対する義務を履行するための十分な資産を保有していなかった場合でも、当行グループが追加拠出の支払義務を法的及び推定的に負わない給付制度は確定拠出制度として会計処理される。確定拠出制度に支払われる保険料は、発生主義に基づき損益計算書の「人件費」に計上される。その他の退職後給付制度は、確定給付制度として会計処理される。確定給付制度の未払給付金は、給与及び雇用期間に基づいており、雇用主が年金債務の履行に係るすべての重要なリスクを負担することを意味する。確定給付制度の大部分について、当行グループは制度資産を個別の年金基金及び年金ファンドで保有している。確定給付制度について、年金債務から制度資産を控除した金額が貸借対照表における負債として純額で計上されている。年金債務に係る数理計算上の差異及び割引率に準じた制度資産の収益を上回る運用収益は、その他包括利益に計上されている。

確定給付制度について認識された年金費用は、以下の項目の純額であり、すべて「人件費」に含まれている。

- + 当年度に発生した年金の権利、すなわち、計算された年金額の最終合計のうちの当期部分。未払年金権利の計算は、見積最終給与に基づいており、年金数理計算上の仮定の対象となっている。
- + 支給までの期間が減少し年金債務の現在価値が当期において増加したことにより発生した当期利息費用。当期の利息費用の計算に適用される金利は、年金債務の支払までの残存期間に相当する満期を有する社債の最新の金利（年度当初の金利）である。
- 制度資産の見積利回り（利息収益）。制度資産の利息収益は、当期の利息費用を算定する際に使用されたものと同じ金利を用いて損益に計上される。
- + 見積特別給与税は、該当する年金費用と同じ原則で未払い計上される。

当行グループの確定給付制度の費用及び債務の算定は、報告値に重要な影響を及ぼす可能性のあるいくつかの評価及び仮定に左右される。これらの仮定及び評価の詳細な記述はセクション20及び注記G8に示されている。

19. 税金

当期の税金費用は当期税金及び繰延税金で構成される。当期税金は当期又は過去の期間の課税所得に関する税金を示す。繰延税金は資産又は負債の帳簿価額とその税務上の価額との間の一時差異に関する税金である。繰延税金はその項目が実現する時に適用するとみなされる税率で評価される。将来減算一時差異及び繰越欠損金にかかる繰延税金資産は、これらが利用される可能性が高い場合に限り認識されるが、繰延税金負債は計算額で計上される。税金費用は関連する取引が報告される項目により損益計算書、その他包括利益又は資本に直接計上される。

20. 見積り及び主な仮定

一部のケースにおいては、報告値に重要な影響を及ぼす当行グループの会計方針の適用について評価を必要とされる。報告値はまた、多くのケースにおいて将来に関する仮定の影響を受ける。このような仮定には、資産及び負債の報告値が調整されるリスクが常に含まれている。適用される評価及び仮定は常に経営陣の最善及び最良の評価を反映し、継続的に検査及び検証の対象となる。以下は財務諸表に重要な影響を及ぼした評価及び仮定を記載したものである。主要な仮定にかかる情報は、関連する注記にも記載されている。

確定給付制度の年金数理計算

当行グループの費用及び確定給付債務の計算は、認識額に重要な影響を及ぼすいくつかの数理的、統計的及び財務的な仮定に基づいている。注記G8には当期の債務の計算に使用された仮定のリストが含まれている。スウェーデン従業員の確定給付年金債務の計算は、市場で一般的に認められた死亡率の仮定であるDUS14に基づいている。DUS14はスウェーデン保険連盟により作成された統計に基づく仮定である。将来の昇給率及びインフレーションの仮定は長期予測トレンドに基づいている。割引率は、優良社債に基づいているが、ここで住宅ローン担保付カバード・ボンドを社債とみなしている。年金債務の見積平均残存期間に相当する期間は、20年間とされた。この残存期間の住宅ローン担保付カバード・ボンドには流動性のある市場がなく、その代わりにイールド・カーブに基づいて割引率が設定されている。イールド・カーブは、スウェーデン・クローネのスワップ・カーブに対するスプレッドとして構築されている。自社発行のものを除く住宅ローン担保付カバード・ボンドに基づいた当該スプレッドは、スワップ・カーブに反映される。このようにして、イールド・カーブはモデル化されており、20年の利回りは、このモデルから導き出すことができる。

注記G8では、当行グループの確定給付年金債務のすべての主要な数理計算上の仮定に対する感応度分析を提供している。この分析は、これらの仮定に合理的に起こり得る変化によって年金債務がどのような影響を受けるかを示している。

貸出金及び債権に対する減損損失の認識の必要性に関する評価

当行グループの貸出金の価値は、貸出金別に定期的及び個別に検証される。必要な場合には、貸出金は回収可能評価額まで評価減される。この見積回収可能額はカウンターパーティの財務返済能力の評価及び担保の実現可能価値の仮定に基づいている。最終的な結果は当初の貸倒引当金とは異なることがある。使用される評価及び仮定は内部与信組織の定期検査の対象となる。内部リスク管理及び当行の信用リスク管理の詳細については注記G2も参照のこと。

[次へ](#)

注記G2 リスク及び資本管理

ハンデルスバンケンは、十分に検証された事業モデルに基づいて事業を行っており、当該モデルは40年超にわたって変更されていない。この事業モデルによって、当行は非常に低いリスク許容度を維持している。このため、当行は長期にわたり非常に安定した収益水準を維持しており、40年超にわたって財務目標を達成し続けている。当行の事業モデルは、支店業務における信用リスクの負担が中心であり、このモデルではリスクを厳しく制限するという目標に沿った信用リスクのみを取り扱っている。当行は、市場リスク及び流動性リスク等、可能な限り、その他すべてのリスクについても制限することを目標としている。

過去数十年間にわたり、ハンデルスバンケンの貸倒実績率は、他の北欧銀行の平均よりも非常に低い水準にあった。当行は、損失に結び付く与信案件を無くすことを常に目標として定めている。支店の与信業務及び与信ポートフォリオの取扱いは、このアプローチに従って、すべて決定されている。

流動性準備金を計上し、資金繰りを調整することによって、当行は長期にわたり流動性リスクを制限することに取り組んできた。流動性リスクを制限することはまた、当行のリスク許容度が低水準であることによる当然の結果でもあり、新たな流動性規制が策定される前に取り組み始めたことでもある。ハンデルスバンケンは、資金調達に関して中央銀行または公的機関から支援を受けることなく、完全に単独で管理を行っているスウェーデンで唯一の大手銀行であり、最近の金融危機も1990年代初頭の危機も乗り越えてきた。

また、ハンデルスバンケンの市場リスクは、過去数年間にすでに低水準にあったが、さらに現在は非常に低い水準にまで低減されている。この取組みは長期にわたって行なわれており、金融危機が発生するよりも前、かつ、規制が市場リスクに関して今日と同様の重要性が置くようになる前から始まったことである。

リスク許容度

ハンデルスバンケンの分散化された事業モデルでは、支店業務で信用リスクを引き受けるが、これらのリスクは低く抑える必要がある。当行は、返済能力が高く財政状態が健全な顧客を中心に取引を行う銀行である。与信取引高の向上、料金の引き上げ又は市場シェアの拡大を達成するために質的要件は必ず検討しなければならない。市場リスクの許容度は低い。また市場リスクは顧客事業の一環となるもの、当行の資金調達及び流動性管理に関するもの、マーケットメーカーとしての役割におけるもの、年金制度におけるものに限定して引き受ける。市場リスクに関する当行の許容度が低いことにより、当行の収益のうち、金融取引による純損益の占める割合は比較的低くなっている。オペレーショナル・リスク及びコンプライアンス・リスク許容度も低い。当行は、可能な限りこれらリスクの防止及びこの領域における損失削減に努める。過去に発生した損失との比較及び他行との比較の両方において、損失を少額に抑える必要がある。

リスク戦略

ハンデルスバンケンは、包括的なサービスを提供する銀行であり、広範囲にわたる様々な銀行業務及び保険商品を提供している。これらは、様々なリスクを伴うが、グループ全体で組織的に識別、測定及び管理されている。ハンデルスバンケンのリスク制限アプローチによって、たとえ取引時の報酬が高額であったとしても、当行は高リスクの取引を慎重に回避することができる。

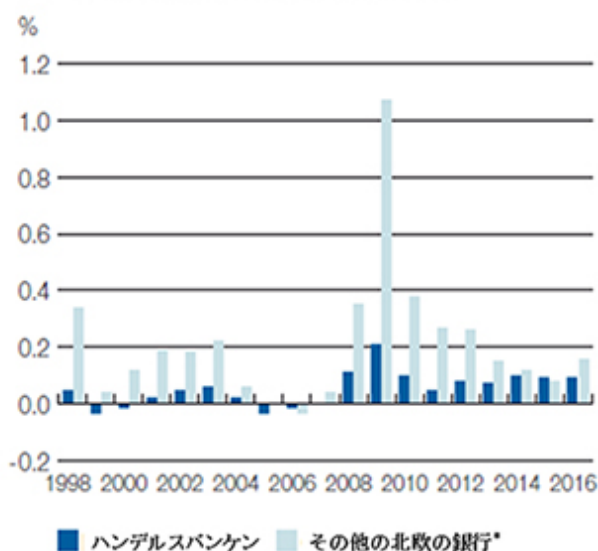
当行の低いリスク許容度は、厳格なリスク管理カルチャーを通じて維持されているが、それは、長期的に持続可能であり、かつ当行グループのすべての分野に適用されている。そのリスクカルチャーは、当行の業務に不可欠な要素であり、当行の従業員に深く根付いているものである。当行は、事業活動において各部門がそれぞれの事業及びリスク管理の全責任を負うという明確な責任分担を特徴としている。結果として、高いリスク認識及び慎重な業務姿勢を促す強いインセンティブが働いている。但し、分散化された事業モデルは強力な中央管理と併用される。低いリスク許容度はまた、報酬の観点にも反映されている。長期的な貢献のため、報酬は基本的に固定とすることを原則としており、これはハンデルスバンケンの事業モデルの主な特徴である。当

行のリスク量を定めるような事業上の意思決定の権限を有する従業員は、変動要素のない固定報酬のみを受け取ることができる。従業員は、オクトゴーネン年金基金を通じて当行の主要な株主になっている。このことは高いリスク認識にも貢献している。

貸付業務においては、緊密な顧客関係を有する現場の深い関与及び現場の知識により、信用リスクを低水準に抑えることができている。さらに、当行グループは、金融市場において資金調達が不可能となるようなストレス下における状況を含めた事業リスクに対して十分な資本を常に準備し、支払期限到来時の支払義務の履行がいつでも可能となるように流動資産を保有しておく必要がある。このように、ハンデルスバンケンは景気動向の影響を受けない事業モデルを目指している。

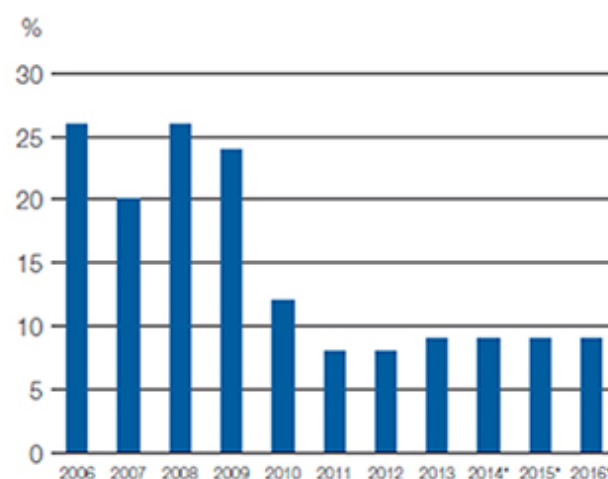
また、このリスク制限アプローチにより、当行は、景気動向及び市況にかかわらず、顧客にとって安定的かつ長期的なビジネス・パートナーになることができる。このアプローチによって、リスク管理が健全なものとなり、事業及び当行が事業を行っている市場が逼迫した場合でも、高水準のサービスを維持することができる。当行のリスクに対するアプローチと同じ原則が、当行が事業を行っているすべての国に適用され、当行の継続的な国際事業の拡大における指針となっている。

貸付における貸倒損失の割合1998年-2016年



* 2000年までの期間についてはスウェーデンの銀行のみが含まれている。

金融取引からの純損益の利益に対する割合



出典：年次報告書
* 非経常項目を除く

ハンデルスバンケンのリスク

説明

信用リスク	信用リスクとは、当行の取引相手が契約上の義務を履行することができないために当行が経済的損失に直面するリスクである。
市場リスク	市場リスクは、金融市場の価格及びボラティリティの変動によって生じる。市場リスクは、金利リスク、株価リスク、為替リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。
流動性リスク	流動性リスクとは、支払期限が到来した際に、法外な費用又は損失を被らなければ、当行が支払い義務を履行することができないリスクである。
オペレーショナル・リスク	オペレーショナル・リスクとは、不適切な若しくは欠陥のある内部プロセス、人為的ミス、システムエラー、又は外部事象による損失リスクである。オペレーショナル・リスクの定義には、法務リスクも含まれている。

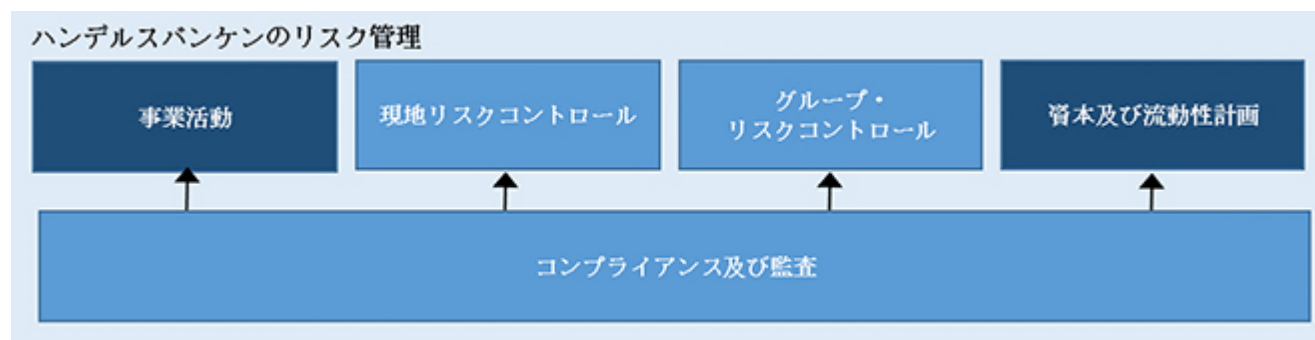
保険リスク	保険リスクとは、保険におけるリスクであり、被保険者の死亡率又は健康状態によって変化するリスクである。
コンプライアンス・リスク	コンプライアンス・リスクとは、当行が法令、規制及び内部規則、又は認められている事業慣行若しくは基準を遵守しないリスクである。
報酬リスク	報酬リスクとは、報酬制度によって生じる損失又はその他の損害によるリスクである。

強固なリスク管理

2007年の金融市場の混乱が始まって以来、ハンデルスバンケンは、当行の主要通貨市場のすべてにおいて流動性への良好なアクセスを維持してきた。長年にわたる危機を受けて、当行は、投資家基盤を拡大し、カバード・ボンド及びシニア債の発行による資金調達プログラムの案件数を伸ばしてきた。現行の市場環境においてこのような運営が可能であったという事実は、当行の事業モデル及びリスクに対する慎重な見解が市場からの信頼を得ていたことを明確に示している。当行は、短期及び長期の資金調達プログラムを通じて、引き続き金融市場へのアクセスを保持している。当行の流動性準備金の一部であるグループ財務部門の流動性ポートフォリオは、ローリスク・プロファイルであり、主として国債及びカバード・ボンドより構成されている。当行は優良且つ厚みのある流動性準備金を有しており、金融市場の混乱の可能性に対して高いレベルの予防策が提供されている。流動性準備金のうち、中央銀行及び銀行に対する残高（中央銀行への担保として適格な証券を含む）は、382(352)十億スウェーデン・クローネであった。さらに、スタッドフィポテックの発行済カバード・ボンドの未使用額が十分にある。流動性準備金は当行のすべての主要通貨について維持されている。流動性準備金の合計額は、3年超の預金流出の状況下で、当行が市場から新規に資金を調達することがまったくできないというストレス・シナリオにおいても当行の流動性要件をカバーできる水準である。また、外国為替市場がクローズするような極端な状況においても、かなりの期間にわたって業務が維持されることを示している。

当行の資本状況は当年度においても引き続き強化され、収益は安定している。低い貸倒損失率とあいまって、このような資本状況により、当行の健全な状態が維持されている。このような堅調な資本状況は、現在のマクロ経済状態下における強力な予防手段を提供するものである。

ハンデルスバンケンの低いリスク許容度、健全な資本状況及び揺るぎない流動性状況によって、当行は、新規のより厳格な規制の下でも、また、近年に経験したものよりもはるかに困難な市況下でも、事業を行う体制が十分に整っている。当行の流動性状況に関するより詳細な説明は、「資金調達及び流動性リスク」のセクションに記載されている。



事業活動

当行は、事業活動において各部門がそれぞれの事業及びリスク管理の全責任を負うという明確な責任分担を特徴としている。顧客及び市場の状況を最もよく知る人物がリスク評価者として適任であり、また、諸問題の発生時に早い段階で措置を講じることが可能である。発生した問題は各支店及び収益部門が対応する責任を負っている。これにより、高いリスク認識及び慎重な業務姿勢を促す強いインセンティブ働いている。

但し、このように分散化した組織が与信決定を行うには、共同与信プロセスを経る必要がある。共同与信プロセスについてはグループ与信部が責任を負っている。グループ与信部は、取締役会又は取締役会の与信委員会が行った与信決定を取りまとめている。グループ与信部はまた、当行グループ全体の与信評価が一貫していること、及び貸出金が取締役会の決定した与信方針に従って実行されていることを確認している。

当行の事業活動における金融リスクは主に中央財務部門、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びハンデルスバンケン・リヴにおいて生じており、それぞれ管理されている。ハンデルスバンケンは高度に分散化された事業モデルを有しているが、当行グループの資金調達及び流動性リスク管理業務はすべて中央財務

部門に集約されている。債券、為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすために発生する市場リスクは、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットで管理されている。オペレーショナル・リスクは、当行のすべての業務において発生する。そのため、オペレーショナル・リスクの管理に関する責任は、ハンデルスバンケンのすべての階層において必要とされる。市場リスクの管理及び当行のオペレーショナル・リスクの管理並びに資金調達及び流動性リスク管理はすべて、取締役会が策定した方針によって管理されている。

現地リスクコントロール

現地リスクコントロールは、当行が事業を行っている各国、各地域銀行、中央の主要部門及び子会社に設置されている。現地リスクコントロールは、事業リスク、特に市場リスク、流動性リスク、カウンターパーティ・リスク、オペレーショナル・リスク、レピュテーション・リスク並びに該当する場合には保険リスク、報酬制度の設計に関するリスク及び資産管理業務のリスクの特定、測定、分析及び報告に取り組んでいる。また、現地リスク・コントロールは、市場リスク、流動性リスク、カウンターパーティ・リスク及びオペレーショナル・リスクに対する限度額を確認し、支店におけるこれらの限度額及び与信限度額を評価する。さらに、現地リスクコントロールは、新商品、ITシステム及び必要不可欠なプロセスに対して行われるリスク分析並びにオペレーショナル・リスクを伴う事業活動の取組みの評価の責任も負っている。国レベルでは、現地リスクコントロールは、与信プロセスの監視を担っている。グループIT部門内の特別な現地リスクコントロール部門は、IT及び情報セキュリティにおけるリスクを監視している。現地リスクコントロールは、グループ・リスクコントロール及び事業活動を担っている経営陣にも報告している。

グループ・リスクコントロール

事業に関する意思決定が分散化されているため、リスク及び資本状況を中央で監視する必要性が高くなっている。したがって、グループ・リスクコントロールが、おのずと当行のビジネス・モデルの必然的な構成要素となっている。

グループ・リスクコントロールは、当行グループのすべての重要なリスクを集約した単位で識別、測定、分析及び報告する役割を担っている。グループ・リスクコントロールは、リスク及びリスク管理が当行の低いリスク許容度に従っており、経営陣が危機的状況におけるリスク管理の基礎として使用可能な信頼性の高い情報を有していることを監視している。グループ・リスクコントロールはまた、現地リスクコントロールが当行グループの目的に適合した方法、また当行グループと一貫した方法でリスクを測定しており、当行の経営陣及び取締役会にリスク管理の現状に関する定期報告及び分析が確実に提出されるよう機能面での責任を有している。

資本及び流動性計画

上述のこれら3つの要素の取組みにもかかわらず、ハンデルスバンケンが深刻な損失を被った場合、極端な事象の発生中及び発生後であっても、当行は確実に存続できるだけの資本及び流動性準備金を保有している。資本計画は、規制資本の要件に経済資本及びストレステストを合わせて資本の状況を評価したものである。流動性計画は、当行グループが、金融市場において資金調達が不可能となるようなストレス状況下においても支払期限が到来した支払義務の履行が常に可能であることを確実にするものである。ストレステスト及びシナリオ分析は、常に十分な流動性及び資本を確保しておくために準備又は導入すべき対策、並びに深刻な危機後の回復状況において当行グループの資本及び流動性を回復するためにどのような対策が必要であるかを特定するためのものである。

コンプライアンス及び監査

上述の説明に加えて、業務は中央、事業及び子会社レベルのコンプライアンス部門によって検討され、内部及び外部監査人にも検討される。

信用リスク

信用リスクは、当行の取引相手が契約上の義務を履行することができないために当行が経済的損失に直面するリスクである。

信用リスク戦略

ハンデルスバンケンの与信プロセスは、現地における分散型の組織が高度な与信決定を確実に行うという理念に基づいている。当行は、支店が通常の顧客窓口となる形式の取引銀行であり、そうした顧客との取引を通じて、支店は各顧客に関する知識を深めるとともに、顧客の財政状態の実態を継続的に把握している。

ハンデルスバンケンは、マスマーケットを対象とした銀行ではなく、顧客の選別に注意を払っている。すなわち、当行は信用度の高い顧客を選別している。与信取引高の向上又は収益性の向上を達成するために、質的要件は必ず考慮しなければならない。当行はまた、理解が困難で複雑な顧客群又は複雑な取引がある場合には、融資に参画しない。

ハンデルスバンケンが特定顧客の信用リスクを評価する際は、借り手の返済能力から評価しなければならない。当行の与信方針によれば、返済能力の低さが良質な担保によって補われることはない。但し、借り手が返済義務を履行できない場合、当行の損失は担保によって大幅に削減される可能性がある。したがって、通常、与信は適切に担保されていないといけない。

また、現地の支店における顧客との緊密なコンタクトにより、支店は即座に問題を識別し、その問題に対する措置を講じることが可能になる。このことは、多くの場合、当行がより中央集約化された不良債権管理を行うよりも迅速な措置を講じることが可能であることを意味している。支店はまた、与信決定に関する財務上の全責任を負っているため返済困難に陥った顧客に発生する問題に対処し、貸倒損失は支店が負うことになる。現地の支店は、必要に応じて地域本部及び中央部門からの支援を受ける。当行の対処方法により、信用リスクに関連する取引を行うすべての従業員は、この種のリスクに対する堅実かつ系統立ったアプローチを有している。当該アプローチは、当行の企業カルチャーの重要な一部を形成している。ここで説明している対処方法及びアプローチは、当行の貸倒損失の計上額が長期にわたって非常に低いことを示す重要な根拠となっている。

信用リスク組織

ハンデルスバンケンの分散型の組織において、各支店は、顧客に対する全面的な与信責任を負っている。顧客及び与信責任は、支店長又は支店長から任命された支店の従業員にある。

支店長及び支店のほとんどのスタッフには、担当顧客に対する与信決定のために個別の決定限度額が設定されている。

それらの与信限度額を上回る決定については、地域及び中央での決定に委ねられる。そうしたニーズに関する決定には、それぞれ与信に関する専門的知識が必要となる。それぞれの意思決定権者は、自らが意思決定権を有する水準に関して、また、自らに意思決定権がない場合にはより上位者の意思決定に委ねられる与信水準に関しても、与信を拒否する権限を有している。意思決定プロセスに参加するすべての権限者は、意思決定権の水準にかかわらず、肯定的な与信の意思決定を行うには意見を一致させなければならない。意思決定への参加者から僅かであっても異議が提起された場合には、与信申請は却下される。グループ与信部でレビューされた案件の場合、最大与信限度額は、取締役会の与信委員会で決定されるか、あるいは取締役会全体で決定される。但し、当該与信に責任を負う支店長の推薦がなければ、当行において与信申請が処理されることはない。

「ハンデルスバンケンの与信プロセス及び決定水準」の図は、与信決定の手続を説明している。この図はまた、様々な決定水準における決定及び金額の割合を示している。

ハンデルスバンケンの分散化された組織においては、与信の最終決定が支店、地域レベル、取締役会の与信委員会、あるいは取締役会であっても、与信決定の根拠となる文書は与信を担当する支店が必ず作成する。与信決定の文書化には、借り手に関する一般情報及び財務情報、返済能力の評価、貸出金及び与信条件の評価並びに担保の評価が含まれる。

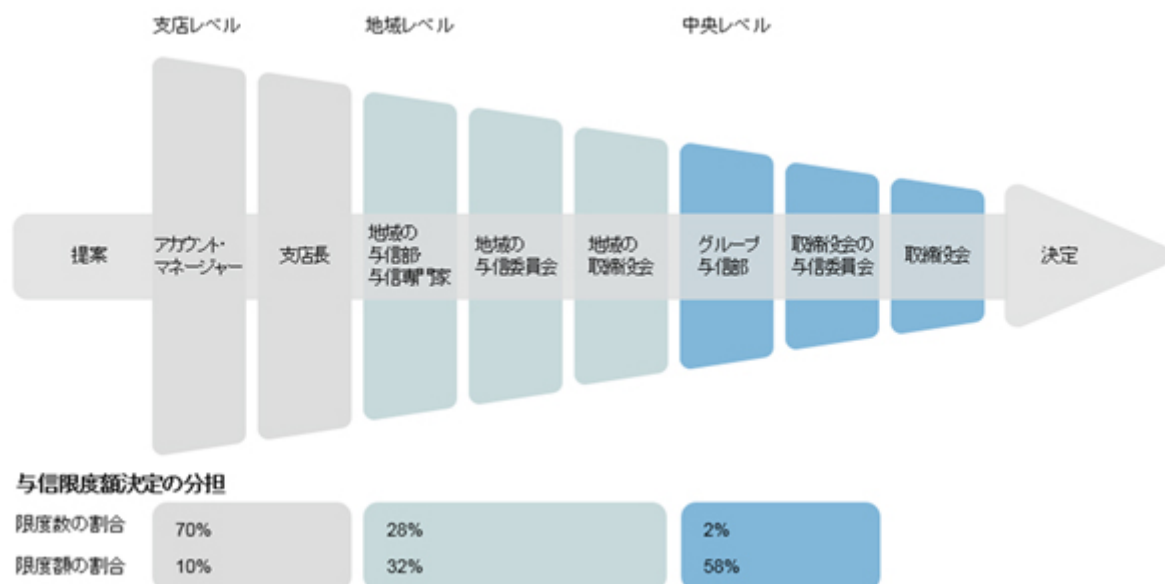
貸付総額が3百万スウェーデン・クローネを超える借り手については、与信限度額に照らして与信決定が行われる。個人への住宅用不動産担保付貸出金の場合、6百万スウェーデン・クローネを超える金額について限度額の要件が適用される。住宅用不動産の担保付きの住宅協同組合に対する貸出については、12百万スウェーデン・クローネを超える金額について限度額の要件が適用される。

承認された与信限度額は、最長1年間にわたって有効である。限度額の延長は、新規貸出と同じ要件で手続が行われる。

ハンデルスバンケンの分散化された組織においては、与信及び限度額の大部分の決定が個々の支店において行われているため、高度な与信決定を確実に行うための適切な再検証プロセスが重要となる。支店長は、スタッフが下した決定が適切であるか調査し、地域の与信部門は、支店長が下した決定の妥当性について調査する。

このような品質レビューの目的は、当行の与信方針及び内部インストラクションの遵守を確認すること、またこれにより信用の質が維持され、与信決定には正しい与信判断及び健全なビジネス・アプローチがあることを示すことにある。同様の品質レビューの調査は、より高いレベルで行われた与信判断に対しても行われている。地域の与信委員会及び地域銀行の取締役会が付与した与信については、グループ与信部によって調査が行われる。グループ与信部ではまた、当行の取締役会又は与信委員会が決定した与信についても調査を行う。

ハンデルスバンケンの与信プロセス及び決定水準



* 中央レベルで決定されたソブリン及び銀行の限度額を除く。

信用ポートフォリオ

当行の信用ポートフォリオは、貸借対照表項目のカテゴリーに基づいて、本セクションに表示されている。

ポートフォリオの内訳

貸借対照表項目のカテゴリーに基づき、信用リスク・エクスポージャーは、一般顧客への貸出金及び金融機関への貸出金並びに商品種類別に分類されたオフ・バランスシート項目に分類されている。エクスポージャーは、オン・バランスシート及びオフ・バランスシート上の項目の合計を意味している。

信用リスク・エクスポージャー

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
一般顧客への貸出金 ¹	1,963,622	1,866,467
うち、リバース・レポ	7,493	7,742
金融機関への貸出金	31,347	49,656
うち、リバース・レポ	4,088	23,394
中央銀行への担保として適格な利付証券	97,205	74,777
社債及びその他の利付証券	63,909	44,513
デリバティブ商品 ²	82,633	85,347
偶発債務	78,530	77,457
うち、保証、与信	9,643	9,750
うち、保証、その他	63,108	61,274
うち、信用状	5,779	6,433
その他コミットメント	425,267	420,857
うち、付与された当座貸越枠の未使用部分	128,967	129,216
うち、貸出金コミットメント	272,729	267,200
うち、その他	23,571	24,441
合計	2,742,513	2,619,074
現金及び中央銀行預け金	199,362	202,630
中央銀行へのその他の貸出金	25,527	34,118
合計	2,967,402	2,855,822

1) この金額のうち、926(1,619)百万スウェーデン・クローネは、当初認識時に損益計算書を通じて公正価値で評価するものとして分類されていた貸出金である。

2) 正の市場価値の合計を表す。法的に有効なネットティング契約を含むエクスポージャーは、65,555(59,687)百万スウェーデン・クローネである。

地域別分布

2016年

百万 スウェーデ ン・クロ ーネ	貸出金					オフ・バランスシート・コミットメント						
	一般 顧客	金融機 関(中央 銀行を 除く)	現金 及び中央 銀行預け 金	中央銀 行への その他 の貸出 金	デリバ ティブ 金融 商品	投資	保証	貸出金コ ミットメ ント	付与され た当座貸 越枠の未 使用 部分	信用状	その他	合計
スウェーデ ン	1,245,654	23,161	145	4,821	81,275	127,946	23,989	136,579	85,583	2,874	15,038	1,747,065
英国	193,450	150	61,772	394	92	-	6,066	35,426	6,741	50	2,699	306,840
ノルウェー	244,445	300	6,203	-	-	-	8,267	40,139	19,261	87	4,307	323,009
デンマーク	95,540	27	120	20,269	31	11	4,930	13,780	7,662	613	3	142,986
フィンラン ド	122,534	25	98,710	-	149	-	4,506	18,977	7,179	216	190	252,486
米国	5,283	5,495	30,386	-	958	32,421	15,795	13,208	476	1,392	-	105,414
オランダ	32,285	75	395	-	-	-	153	6,814	393	-	-	40,115
ドイツ	4,567	61	159	-	-	-	3,497	1,558	644	146	1,326	11,958
ポーランド	3,016	6	25	43	-	-	1,482	1	139	-	8	4,720
その他諸国	16,848	2,047	1,447	-	128	736	4,066	6,247	889	401	-	32,809
合計	1,963,622	31,347	199,362	25,527	82,633	161,114	72,751	272,729	128,967	5,779	23,571	2,967,402

地域別分布

2015年

百万 スウェーデ ン・クロ ーネ	貸出金					オフ・バランスシート・コミットメント						
	一般 顧客	金融機 関(中央 銀行を 除く)	現金 及び中央 銀行預け 金	中央銀 行への その他 の貸出 金	デリバ ティブ 金融 商品	投資	保証	貸出金コ ミットメ ント	付与され た当座貸 越枠の未 使用 部分	信用状	その他	合計
スウェーデ ン	1,214,093	17,513	174	15,998	84,435	87,522	24,897	137,606	89,522	3,650	16,816	1,692,226
英国	194,069	610	55,538	364	77	-	6,636	36,565	6,235	40	2,768	302,902
ノルウェー	209,327	189	6,101	2,103	-	-	6,890	30,262	16,228	114	4,687	275,901
デンマーク	82,854	61	113	15,653	42	7	4,099	12,088	8,155	166	-	123,238
フィンラン ド	115,090	42	44,823	-	118	0	3,974	18,028	7,059	175	170	189,479
米国	4,233	24,776	94,626	-	471	30,744	14,758	15,310	375	1,395	-	186,688
オランダ	22,344	-	377	-	-	-	1,040	6,241	212	-	-	30,214
ドイツ	5,336	264	111	-	-	-	3,303	5,432	342	21	-	14,809
ポーランド	2,396	4	41	-	-	-	1,038	1	139	-	-	3,619
その他諸国	16,725	6,197	726	-	204	1,017	4,389	5,667	949	872	-	36,746
合計	1,866,467	49,656	202,630	34,118	85,347	119,290	71,024	267,200	129,216	6,433	24,441	2,855,822

一般顧客への貸出金

セクター別及び取引相手別内訳

	2016年			2015年		
	貸出金(引当金 控除前)	潜在的な貸倒 損失に対する 引当金	貸出金(引当金 控除後)	貸出金(引当金 控除前)	潜在的な貸倒 損失に対する 引当金	貸出金(引当金 控除後)
百万スウェーデン・クローネ						
個人	982,640	-745	981,895	912,517	-755	911,762
うち住宅抵当ローン	800,092	-33	800,059	736,768	-31	736,737
うちその他の貸出金(不動産抵当付)	120,121	-146	119,975	107,591	-146	107,445
うちその他の貸出金(個人)	62,427	-566	61,861	68,158	-578	67,580
住宅協同組合	187,016	-20	186,996	169,595	-20	169,575
うち住宅ローン	156,835	-12	156,823	148,064	-7	148,057
不動産管理	540,194	-691	539,503	511,308	-697	510,611
製造	27,633	-522	27,111	33,540	-1,542	31,998
リテール	21,947	-270	21,677	24,236	-267	23,969
ホテル及びレストラン	8,516	-32	8,484	8,981	-30	8,951
海運	9,375	-1,244	8,131	10,354	-543	9,811
その他運輸及び通信	14,614	-36	14,578	11,195	-60	11,135
建設	18,103	-161	17,942	15,500	-92	15,408
電気、ガス及び水道	25,224	-39	25,185	26,560	-52	26,508
農業、狩猟業及び林業	11,727	-31	11,696	11,318	-15	11,303
その他サービス	19,608	-113	19,495	19,789	-66	19,723
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチュアルファンド等	66,730	-316	66,414	71,179	-282	70,897
ソブリン及び地方自治体	15,891	0	15,891	22,452	0	22,452
その他法人貸付	19,047	-75	18,972	22,759	-117	22,642
一般顧客への貸出金合計(集会的引当金控除 前)	1,968,265	-4,295	1,963,970	1,871,283	-4,538	1,866,745
個別評価貸出金に対する集会的引当金			-348			-278
一般顧客への貸出金合計	1,968,265		1,963,622	1,871,283		1,866,467

一般顧客への貸出金(引当金控除後)

地域別、セクター別内訳

2016年

百万スウェーデン・クローネ	スウェー デン	英国	ノル ウェー	デン マーク	フィン ランド	オランダ	その他 諸国	合計
個人	727,562	59,468	91,969	53,964	35,452	8,165	5,315	981,895
うち住宅抵当ローン	682,857	0	60,017	36,371	20,814	0	0	800,059
うちその他の貸出金(不動産抵当 付)	11,309	54,741	18,167	13,478	10,260	7,805	4,215	119,975
うちその他の貸出金(個人)	33,396	4,727	13,785	4,115	4,378	360	1,100	61,861
住宅協同組合	149,245	0	16,911	908	19,932	0	0	186,996
不動産管理	240,020	111,510	103,659	19,637	33,888	23,194	7,595	539,503
製造	11,966	2,764	2,680	1,481	3,086	2	5,132	27,111
リテール	10,604	3,686	3,728	1,362	1,215	0	1,082	21,677
ホテル及びレストラン	2,217	3,137	141	1,846	97	0	1,046	8,484
海運	3,370	2	2,086	452	2,095	0	126	8,131
その他運輸及び通信	9,364	1,194	2,135	360	1,201	304	20	14,578
建設	7,129	2,824	6,468	497	989	0	35	17,942
電気、ガス及び水道	8,841	243	6,227	66	8,988	192	628	25,185
農業、狩猟業及び林業	10,723	673	57	97	132	0	14	11,696
その他サービス	10,165	4,042	2,659	1,283	1,332	0	14	19,495
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチュアルファンド等	45,508	2,212	1,200	9,325	3,287	29	4,853	66,414
ソブリン及び地方自治体	4,149	0	254	629	10,464	395	0	15,891
その他法人貸付	4,932	1,733	4,373	3,656	409	4	3,865	18,972
一般顧客への貸出金合計(集会的引 当金控除前)	1,245,795	193,488	244,547	95,563	122,567	32,285	29,725	1,963,970
個別評価貸出金に対する集会的引当 金	-139	-39	-100	-25	-33	-1	-11	-348
一般顧客への貸出金合計	1,245,656	193,449	244,447	95,538	122,534	32,284	29,714	1,963,622

一般顧客への貸出金(引当金控除後)

地域別、セクター別内訳

2015年

百万スウェーデン・クローネ	スウェー デン	英国	ノル ウェー	デン マーク	フィン ランド	オランダ	その他 諸国	合計
個人	682,992	57,273	80,150	46,352	34,317	5,867	4,811	911,762
うち住宅抵当ローン	635,871	0	50,782	29,001	21,083	0	0	736,737
うちその他の貸出金(不動産抵当 付)	14,023	45,685	16,222	13,276	8,806	5,532	3,901	107,445
うちその他の貸出金(個人)	33,098	11,588	13,146	4,075	4,428	335	910	67,580
住宅協同組合	137,604	0	14,472	552	16,947	0	0	169,575
不動産管理	244,996	115,262	85,729	13,726	28,682	14,538	7,678	510,611
製造	15,401	2,692	2,565	1,443	3,386	1,059	5,452	31,998
リテール	12,304	4,596	2,969	1,367	1,688	0	1,045	23,969
ホテル及びレストラン	2,507	3,218	153	1,734	268	0	1,071	8,951
海運	3,612	6	2,520	1,002	2,626	0	45	9,811
その他運輸及び通信	5,734	625	2,282	1,184	947	362	1	11,135
建設	6,606	2,006	5,064	550	865	0	317	15,408
電気、ガス及び水道	9,908	406	6,729	76	8,540	184	665	26,508
農業、狩猟業及び林業	9,481	1,512	18	120	123	0	49	11,303
その他サービス	11,939	3,986	1,114	1,433	1,241	0	10	19,723
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチュアルファンド等	49,996	982	1,446	9,700	3,449	110	5,214	70,897
ソブリン及び地方自治体	10,918	0	198	1	11,335	0	0	22,452
その他法人貸付	10,231	1,547	3,962	3,637	704	225	2,336	22,642
一般顧客への貸出金合計(集会的引 当金控除前)	1,214,229	194,111	209,371	82,877	115,118	22,345	28,694	1,866,745
個別評価貸出金に対する集会的引当 金	-137	-42	-44	-23	-28	-1	-3	-278
一般顧客への貸出金合計	1,214,092	194,069	209,327	82,854	115,090	22,344	28,691	1,866,467

担保

通常、借り手が深刻な返済困難に直面しない限り担保は実行されないため、担保価値の評価は、支払不能となったことによる、不利な状況での売却における予想担保価値に基づいて行われる。特定の資産価値は、強制売却につながるような支払不能状況において大幅に変動する可能性がある。

企業に対する無担保の長期信用コミットメントにおいて、当行は、多くの場合、業績不振の際に当行が貸付の再交渉又は契約解除が可能となるような特別な与信条件で顧客と契約を締結する。

金融機関に対する貸出の大部分は、リバース・レポにより構成されている。リバース・レポは、当行がリバース・レポに基づいて利付証券又は株式を特別な契約(証券が特定の日特定の価格で売り手に再売却される契約)で購入する買戻取引である。ハンデルスバンケンは、リバース・レポを担保付貸出とみなしている。

特別な状況において、当行は、信用リスクをヘッジするためにクレジット・デリバティブ又は金融保証を購入する必要があるが、これは当行の通常の貸出プロセスの一環ではない。

貸借対照表上の信用リスク・エクスポージャー、担保別

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
住宅用不動産 ¹	1,308,242	1,207,242
うち、個人	920,344	845,481
その他の不動産	307,334	293,936
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²	296,676	313,475
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³	10,844	8,627
金融担保	22,858	40,632
資産担保	24,343	23,789
その他の担保	19,093	21,854
無担保	232,032	242,361
貸借対照表上の信用リスク・エクスポージャー合計	2,221,422	2,151,916

一般顧客への貸出金、担保別

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
住宅用不動産 ¹	1,308,242	1,207,242
うち、個人	920,344	845,481
その他の不動産	307,334	293,936
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²	68,477	76,609
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³	10,330	8,134
金融担保	16,973	16,797
資産担保	24,343	23,789
その他の担保	19,093	21,854
無担保	208,830	218,106
一般顧客への貸出金合計	1,963,622	1,866,467

1) 住宅協同組合を含む。

2) 直接的なソブリン・エクスポージャー及び政府保証を表す。

3) 政府保証は含まない。

信用リスクの集中

ハンデルスバンケンの支店は、健全な信用力を有する優良顧客と長期的な関係を築くことに大きな重点をおいている。支店は優良顧客を見出した場合、その顧客が属するセクターに対する当行全体のエクスポージャーの大きさに拘わらず、この顧客と取引を行うことができる。したがって、当行が与信枠を付与するに当たっては、比較的大きなエクスポージャーを有する個別セクターにあらかじめ制限を設けるということはない。当行は様々な事業セクター、地域及び個別に大きなエクスポージャーに対するリスクの集中を継続的に監

視及び算定を行っている。当行はまた、信用リスク評価を補完するために、個々の取引相手に対する最大信用エクスポージャーを制限する特別な限度額も適用している。信用ポートフォリオにおける集中がリスクの増加と想定される場合には、この集中が監視される。リスクの集中は当行の信用リスクに対する経済資本の算定において、また、自己資本比率の評価において実施されるストレス・テストにおいて特定される。信用ポートフォリオにおけるリスクの集中に関する第二の柱に基づき、スウェーデン金融監督庁も別個に自己資本比率の補完的項目を計算している。これにより、ハンデルスバンケンは、リスクの集中も考慮した十分な資本を有していることを確認している。リスクの集中が過剰であると判断される場合には、当行は様々なリスク軽減策を用いてリスクを軽減する機会及び能力がある。

住宅ローン及び住宅協同組合への貸付に加え、ハンデルスバンケンは不動産管理部門に関してかなりの貸付業務を行っており、その金額は540(511)十億スウェーデン・クローネである。ここでの不動産管理部門とは、信用目的で「不動産会社」として評価されているすべての会社を指す。他の業界で事業を行っている企業グループの不動産管理子会社が、当該企業グループの事業不動産を管理することは一般的に行われているが、そうした不動産会社もここでは不動産部門に属しているとみなされる。但し、そうした場合に存在する信用リスクは、不動産関連のリスクのみではない。さらに、より多くの不動産を保有している個人について、与信管理目的では不動産会社として評価される。

不動産貸出の大半は、融資比率 (LTV) の低い不動産抵当貸付で構成されている。不動産貸出の大部分は、借り手のキャッシュ・フローが堅調であり、信用力が非常に高い、国有の不動産会社、地方自治体所有の住宅会社及びその他の住宅関連会社である。したがって、不動産部門への貸出の大部分は、デフォルト確率が非常に低い会社に対する貸出である。当行の不動産セクターに対するエクスポージャーは、以下の表に明記されている。

当行においてリスク区分5 (正常リスク) よりも低い格付の不動産関連の取引相手に対するエクスポージャーは非常に低いものになっている。スウェーデンにおける不動産貸出全体の99(99)%は、リスク・クラス5以上の水準となっている。不動産貸出に関する数値は、英国97(96)%、デンマーク96(94)%、フィンランド98(98)%、ノルウェー97(97)%及びオランダ99(98)%となっている。リスク区分が正常よりも低い水準にある取引相手に関しては、大半がリスク区分6又は7に属しており、ごく一部がより高いリスク区分である8及び9に属している。ハンデルスバンケンのリスク区分に関する情報については、「信用リスクに関する資本要件の算定」セクションを参照のこと。

ここ数年でのハンデルスバンケンによる支店網の拡充は英国における与信額の増加につながった。この増加の大半は、不動産関連の与信業務によるものである。支店網の拡充にあたり、ハンデルスバンケンは、返済能力及び担保の質に関する評価において、その他の拠点市場と同様に厳密な要件を設けていた。その結果、良質なリスク区分に属する顧客を取り込むことにつながり、貸倒実績率も他の拠点市場と同程度の水準となっている。

一般顧客への貸出金の内訳—不動産管理	2016年			2015年		
	潜在的な貸倒		貸出金(引当金控除後)	潜在的な貸倒		貸出金(引当金控除後)
	貸出金(引当金控除前)	損失に対する引当金		貸出金(引当金控除前)	損失に対する引当金	
百万スウェーデン・クローネ						
スウェーデンにおける貸出金						
国有不動産会社	3,228	0	3,228	5,042	-	5,042
地方自治体が所有する不動産会社	9,771	0	9,771	12,242	-	12,242
住宅用不動産会社	99,598	-26	99,572	91,484	-35	91,449
うち住宅ローン	85,134	-1	85,133	77,367	-4	77,363

その他の不動産管理	127,578	-130	127,448	136,333	-71	136,262
うち住宅ローン	52,925	-2	52,923	61,993	-7	61,986
スウェーデンにおける貸出合計	240,175	-156	240,019	245,101	-106	244,995

スウェーデン国外における貸出金

英国	111,800	-289	111,511	115,669	-408	115,261
ノルウェー	103,767	-108	103,659	85,787	-58	85,729
デンマーク	19,755	-118	19,637	13,816	-89	13,727
フィンランド	33,891	-4	33,887	28,704	-22	28,682
オランダ	23,194	0	23,194	14,539	-	14,539
その他諸国	7,612	-16	7,596	7,692	-14	7,678
スウェーデン国外における貸出合計	300,019	-535	299,484	266,207	-591	265,616
貸出金合計－不動産管理	540,194	-691	539,503	511,308	-697	510,611

内訳

一般顧客への貸出金

－不動産管理

担保の種類及び国別	2016年					2015年				
	合計	国及び地方自治体が所有する企業/国及び地方自治体によって保証されている不動産 貸付	集合住宅/ 住宅用 不動産	商業用不動産及びその 他の担保	無担保	合計	国及び地方自治体が所有する企業/国及び地方自治体によって保証されている不動産 貸付	集合住宅/ 住宅用 不動産	商業用不動産及び その他の担保	無担保
百万スウェーデン・クローネ										
スウェーデン	240,175	14,129	103,681	109,681	12,684	245,101	18,746	99,658	111,881	14,816
英国	111,800	0	54,193	54,853	2,754	115,669	0	52,582	59,053	4,034
ノルウェー	103,767	0	16,304	79,339	8,124	85,787	0	12,209	64,187	9,391
デンマーク	19,755	0	10,166	8,388	1,201	13,816	0	7,717	4,870	1,229
フィンランド	33,891	14,561	5,401	12,585	1,344	28,704	11,117	4,577	12,247	763
オランダ	23,194	0	11,072	12,073	49	14,539	0	7,286	6,904	349
その他諸国	7,612	267	643	2,867	3,835	7,692	531	580	5,819	762
合計	540,194	28,957	201,460	279,786	29,991	511,308	30,394	184,609	264,961	31,344

一般顧客への貸出金の内訳－不動産管理、リスク区分及び国、2016年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他 諸国	合計	%	合計に占める割合% (累計)
1	21,647	744	1,858	82	5,474	39	1,104	30,948	5.73	6
2	60,262	21,710	26,369	2,618	10,812	8,197	3,886	133,854	24.78	31
3	97,610	54,935	50,727	8,167	11,431	12,399	1,329	236,598	43.80	74
4	44,490	25,662	14,909	5,998	5,000	1,999	914	98,972	18.32	93
5	13,444	5,326	7,081	2,113	546	302	314	29,126	5.39	98
6	1,327	1,695	1,095	220	108	214	26	4,685	0.87	99

7	805	625	1,063	112	411	44	0	3,060	0.57		99
8	185	85	336	59	26	0	0	691	0.13		100
9	93	21	99	12	10	0	0	235	0.04		100
デフォルト	312	997	230	374	73	0	39	2,025	0.37		100
合計	240,175	111,800	103,767	19,755	33,891	23,194	7,612	540,194	100		

一般顧客への貸出金の内訳―不動産管理、リスク区分及び国、2015年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	スウェーデン	英国	ノルウェー	デンマーク	フィンランド	オランダ	その他 諸国	合計	%	合計に占める割合% (累計)
1	20,034	943	1,127	53	2,903	115	1,044	26,219	5.13	5
2	73,556	22,677	18,026	829	11,365	1,942	3,249	131,644	25.75	31
3	92,801	56,376	45,263	6,197	11,006	10,247	2,869	224,759	43.96	75
4	43,115	24,298	15,418	4,338	1,619	1,873	172	90,833	17.76	93
5	12,592	6,249	3,430	1,548	1,125	75	289	25,308	4.95	98
6	1,606	1,939	1,444	289	401	221	30	5,930	1.16	99
7	889	1,331	793	190	118	66	0	3,387	0.66	99
8	161	363	91	26	17	0	0	658	0.13	99
9	107	87	15	8	9	0	2	228	0.04	100
デフォルト	240	1,406	180	338	141	0	37	2,342	0.46	100
合計	245,101	115,669	85,787	13,816	28,704	14,539	7,692	511,308	100	

一般顧客への貸出金の内訳―不動産管理、リスク区分、担保の種類及び無担保別、2016年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	貸出金	担保				
		集合住宅/ 住宅用不動産	商業用不動産	政府及び地方 自治体からの保証	その他の担保	無担保
1	30,948	15,336	5,722	6,755	973	2,162
2	133,854	48,936	62,140	6,483	2,609	13,686
3	236,598	92,978	125,902	4,967	4,008	8,743
4	98,972	36,085	54,224	3,228	1,722	3,713
5	29,126	9,679	17,721	236	575	915
6	4,685	1,247	3,168	1	177	92
7	3,060	655	2,173	14	124	94
8	691	170	438	0	58	25
9	235	63	97	3	45	27
デフォルト	2,025	363	946	0	152	564
合計	540,194	205,512	272,531	21,687	10,443	30,021

一般顧客への貸出金の内訳―不動産管理、リスク区分、担保の種類及び無担保別、2015年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	貸出金	担保				
		集合住宅/ 住宅用不動産	商業用不動産	政府及び地方 自治体からの保証	その他の担保	無担保
1	26,219	14,662	6,208	3,355	188	1,806
2	131,644	49,028	57,171	10,543	2,527	12,375
3	224,759	81,039	124,876	5,296	4,115	9,433
4	90,833	32,732	52,902	682	755	3,762
5	25,308	9,133	13,189	420	340	2,226
6	5,930	1,279	4,034	14	52	551
7	3,387	899	2,222	0	50	216
8	658	236	270	0	16	136
9	228	40	92	3	2	91
デフォルト	2,342	579	890	0	49	824
合計	511,308	189,627	261,854	20,313	8,094	31,420

信用リスクに関する資本要件の算定

リスク格付制度

ハンデルスバンケンのリスク格付制度は、当行の信用リスクの分類及び定量化を支援するためのいくつかの異なるシステム、手法、プロセス及び手順より構成されている。

ハンデルスバンケンの内部格付制度は、すべての業務における信用リスクを信頼性及び一貫性をもって測定するために使用される。リスク格付は、当行の内部格付に基づいて行われるが、それは各取引相手の返済能力評価に基づいている。格付は、財務逼迫リスク及びそれらの逼迫に対する耐久力を評価することによって決定されている。その手法及び分類は、当行が数十年間にわたって適用している格付モデルに基づいて決定されている。

内部格付は、当行のモデルの中でIRBアプローチに従って自己資本比率を算定するための最も重要な要素である。格付は変動するものであり、取引相手の返済能力に変化の兆候がある場合には、再評価が行われる。当該格付はまた、規制上明記されているとおり、定期的に見直される。当該格付は、主に与信担当者によって実施された後に、独立機関によって検証される。

リスク分類方法

当行は、信用リスクを定量化するために、デフォルト確率(以下「PD」という。)、デフォルトが発生した場合に当行が被ることが見込まれるエクスポージャー（エクスポージャー額）及び、デフォルト時に当行が失うことが見込まれる貸出金の割合(デフォルト時損失率、以下「LGD」という。)を算定している。デフォルトは、取引相手が90日間超支払いを行わない場合、あるいは契約上合意した条件による支払いが出来ない(例えば、破産が宣言される等)と評価された場合と定義されている。

PD値はパーセントで表され、例えば、PD値が0.5%である場合は、PD値が同一である200人に1人の借り手が、1年以内にデフォルトに陥ると予想されることを意味する。多くの場合、エクスポージャーに対する担保が徴求されているため、デフォルトは、必ずしも当行に損失が発生することを意味しているわけではない。また、支払困難な状況は一時的である可能性もあるため、特定の取引相手が将来のある時点において、支払不能となることを意味するわけでもない。

法人及び機関に対するエクスポージャーに関しては、取引相手別に設定された内部格付が1段階から10段階までのリスク区分に転換されている(リスク区分10は、デフォルトに陥った取引相手を意味する。)。法人エクスポージャーは、取引相手に対して用いられる事業評価テンプレートに基づき4つの取引相手区分に分類される。PDは、リスク区分及び取引相手の分類別にそれぞれ算定される。独自のデフォルト時損失(LGD)及び信用換算係数(CCF)の推定値を用いない内部格付手法(IRB)アプローチに従って自己資本を算定する必要がある機関及び企業に対するエクスポージャーについては、LGDに規定値を適用する。ここで使用される可能性のある規定値は、各エクスポージャーに対して提供された担保によって決定されている。

リテール・エクスポージャーのリスク区分もまた、すべての与信顧客に割り当てられた内部格付に基づいている。当該格付は、法人エクスポージャーのようにリスク格付に直接変換されるわけではない。その代わりに様々なエクスポージャーが特定の要因に基づいていくつかのより小規模なグループに分類される。それらの要因には、与信の種類、取引相手の不払記録及び複数の借り手がいるかどうかが含まれる。平均的なデフォルト確率は、各小規模グループについて算定され、これに基づき、グループ毎に10段階のリスク区分のいずれかに分類される。個人及び小規模企業に対するエクスポージャーもリテール・エクスポージャーのカテゴリーに分類されている。当該エクスポージャーの算定には、異なるモデルが使用されるが原則は同じである。

リテール・エクスポージャー並びに中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合に対するエクスポージャーについては、当行自身の損失実績を用いてLGDを算定する。独自のLGD及びCCFの推定値を用いるIRBアプローチを使用して自己資本比率を算定する必要がある大企業に対するエクスポージャーについては、内部損失及び外部の観察可能な指標に基づいてLGDが算定される。スウェーデンの不動産担保が付されているリテール・エクスポージャー並びに中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合に対する不動産エクスポージャーについては、当該担保価値に対する融資比率に応じて、異なるLGD値が適用される。その他のエクスポージャーについては、LGD値は担保の有無、担保価値、商品及び類似する要因に基づいて決定される。

エクスポージャーの各区分に関しては、債務不履行に陥っていない取引相手又は契約のリスク区分のそれぞれについてPDが算定されている。PDは、エクスポージャーの異なるタイプ毎の過去のデフォルト確率に基づいて算定される。その後、平均デフォルト確率は、保守的に加えるマージン等、様々なマージンを使用して調整される。

当行は、スウェーデン金融監督庁から、法人PDに関する新モデルの使用承認が間もなく得られると予想している。これらのモデルでは、保守的に加えるマージン及び景気循環調整を加味した長期PDをポートフォリオ単位で見積もる。その後、このポートフォリオPDは様々なリスク区分に割り当てられる。通常、ポートフォリオPDは年によって変動することはないが、リスク区分内で取引相手の分布が時間の経過に伴い変化するため、リスク区分毎のPDは変動する可能性がある。この新たなモデルが導入されると、リスク加重が増加するが、景気循環にわたってより安定すると予想される。

LGDを算定する際のリスク測定は、経済的に不利な状況における損失率(景気後退期を勘案したLGDとして知られている)を反映しなければならない。不動産担保の場合、この景気後退期を勘案したLGDは1990年代初頭の不動産危機によって生じた損失に基づいて算定されている。リテール・エクスポージャーに関するその他の担保について、このLGDはPD及び商品の種類毎の要因に応じて景気後退につき調整される。独自のLGD及びCCFの推定値を用いるIRBアプローチにおける法人エクスポージャーに関しては、LGDは景気後退につき調整されるため、1991年から1996年にかけての景気後退期における当行の損失は、適切なマージンを加味したリスク加重を用いて説明することができる。不動産担保付きエクスポージャーのLGDは、多くの場合、当該不動産のLTVに基づき見積もられる。不動産の価値及びその影響によりLTVも通常景気循環とともに変動するため、自己資本比率もある程度の循環的な相関関係を持つことになる。

エクスポージャー額が算定される場合、既存のエクスポージャーに対して一定の調整が行われる。例えば、顧客が将来において一定金額まで借入れを行うことを当行との間で合意しているローン・コミットメントやリ

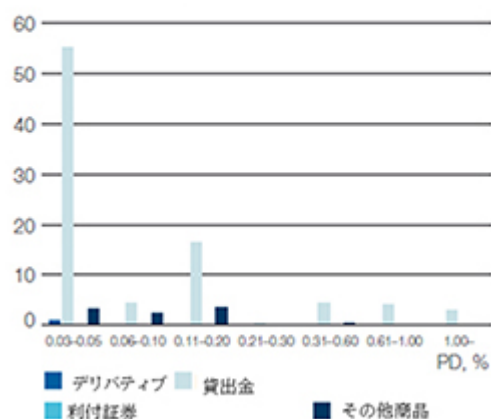
ボルピング・クレジット等である。このようなコミットメントは、十分な資本によってカバーされなければならない信用リスクに含まれる。一般的にこのことは、付与された与信枠のうちの報告時点では未使用の部分が一定の信用換算係数（以下「CCF」という。）を用いて調整されることを意味する。法人エクスポージャー及び機関エクスポージャーに関する特定の商品カテゴリーについて、換算係数（CF）は規制によって決定されるが、リテール・エクスポージャー及び大企業、中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合の特定の商品区分に関しては、当行は独自に算定した換算係数を用いている。ここでは主に換算係数について言及しているが、利用水準も関連する可能性がある。

リスク(PD、エクスポージャー額、LGD)の測定は、自己資本比率の計算だけでなく、個々の取引における資本コスト及び経済資本(以下「EC」という。)の算定にも用いられる。すなわち、リスク測定における保守的な調整はいずれも個々の取引の資本コスト及び経済資本の計算に含まれており、リスク測定から推定される損失水準は保守的に見積られていることを意味している。こうした手法を使用することで、当行の過去の損失がリスク計算及び自己資本比率に直接影響を及ぼしていることになる。

法人、機関及びリテール・エクスポージャーに関する「PD区間毎の商品種類別エクスポージャー割合（デフォルトを除く）」のグラフは、社債及びその他の利付証券、貸出金、デリバティブ及びその他の商品について、エクスポージャーがどのように分布しているかを示している。その他の商品とは、例えば、保証及びローン・コミットメントである。これらのグラフは、債務不履行になった与信を除いた各エクスポージャー区分のエクスポージャー額が、どのPDレンジに分布しているかを示している。使用されるPD値は、所要自己資本を計算する際に適用される値である。

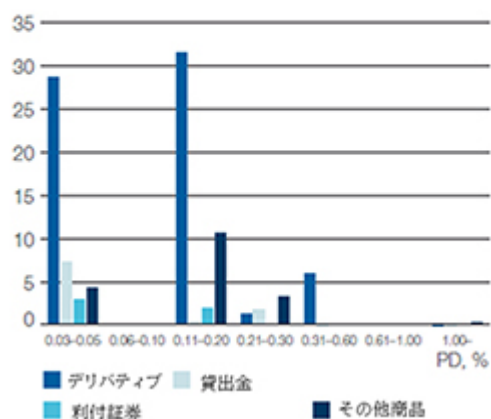
PD間毎の商品種類別のエクスポージャー割合
(デフォルトを除く)
—法人エクスポージャー

エクスポージャー割合%



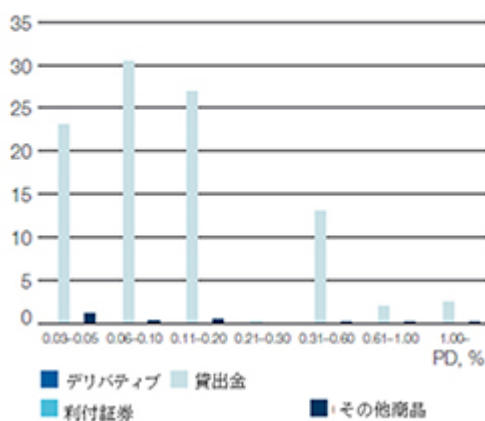
PD間毎の商品種類別のエクスポージャー割合
(デフォルトを除く)
—機関エクスポージャー

エクスポージャー割合%



PD間毎の商品種類別のエクスポージャー割合
(デフォルトを除く)
—リテール・エクスポージャー

エクスポージャー割合%



カウンターパーティ・リスク

カウンターパーティ・リスクは、当行が取引相手との間で先物、スワップ又はオプション、あるいは証券貸付関連契約等の商品に関するデリバティブ契約を締結する場合に発生する。デリバティブに加え、自己資本比率規制は買戻取引及びエクイティ・ローンの双方をカウンターパーティ・リスクとして取り扱う。

自己資本比率及び経済資本(EC)の算定に当たり、自己資本比率規制に明記されているエクスポージャー金額に基づいて、カウンターパーティ・エクスポージャーが考慮される。ハンデルスバンケンは、自己資本の計算目的でカウンターパーティ・リスクに関するエクスポージャー金額を計算する際には時価会計を適用している。価値が正の値であるすべての契約の現在の再取得価格を決定するため、これらの契約にその実勢の市場価値が割り当てられる。その後、将来生じ得る信用エクスポージャーを見積もるため、エクスポージャーの残存期間毎に規制で定められた率を実勢の市場価値に乗じる。

カウンターパーティ・リスクは、その契約の市場価値によってエクスポージャーの規模が決まる場合には信用リスクとみなされる。その契約の価値が正の値である場合、取引相手のデフォルトは当行の潜在的損失を意味する。カウンターパーティ・リスクは、価格変動リスクと支払リスクの2つの要素に区分できる。

価格変動リスクの軽減

価格変動リスクは、取引日から受渡しまでの間に発生し、取引相手がその義務を履行できない場合、当行にポジションを縮小するためのコストが発生する可能性があることを意味する。価値変動リスクはすべてのデリバティブ取引及び当行が支払前にヘッジをしていない有価証券取引に存在する。

カウンターパーティ・エクスポージャーの規模は、通常の与信プロセスにおいて与信限度額を設定することによって制限されている。当該エクスポージャーの規模は、原資産の価格変動により著しく変動する可能性がある。エクスポージャーの増加リスクに備えるため、与信限度額を設定する際に該当するエクスポージャーの価値に対して補完が行われる。これらの追加は、契約の種類及び満期までの期間に従った標準金額を用いて算定される。当該エクスポージャーは日次で計算され、フォローアップされる。

デリバティブのカウンターパーティ・リスクは、「クローズアウト・ネットティング契約」を通じて軽減される。クローズアウト・ネットティング契約では、同一取引相手とのすべてのデリバティブ取引において、正の値と負の値が相殺される。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対して担保の取決めを設定するクレジット・サポート・アネックス契約(CSA)により補完されていることで信用リスクはさらに軽減されている。これらの取引に対する担保は、主に現金であるが、国債も使用される。現金依存度が高いため、担保におけるリスクの集中は限定的である。

当行が締結した少数の担保契約の中には、ハンデルスバンケンの格付を基準にした閾値に関する条件が含まれている。これらの条件は、外部業者により当行の格付が引き下げられた場合、対象となる取引相手に対して当行が追加担保を提供しなければならないことを意味している。当年度末に当行の格付は、AA/Aa2からAA-/Aa3に引き下げられたが、これは当行が追加担保として75(42)百万スウェーデン・クローネを提供しなければならないことを意味していた。

ハンデルスバンケンの契約の大部分には、クローズアウト・ネットティング契約及びCSAの合意条項が含まれている。

中央清算機関を通じて清算されるデリバティブについても、資本要件が生じる。中央清算機関とは、種々の取引において買手と売手の双方にとっての取引相手としての役割を果たし、双方の義務を履行する責任を負っている清算機関である。中央清算機関を利用するすべての当事者は、すべての取引に対して担保を提供しなければならない。中央清算機関で清算されるデリバティブに対するリスク加重は、多くの場合その他の種類のデリバティブよりも大幅に低い水準である。中央清算機関とのデリバティブ取引に対するリスク加重エクスポージャーの金額は、当年度末現在において498(342)百万スウェーデン・クローネであった。

OTCデリバティブ取引を実施したことにより信用評価調整リスクに関する資本要件が導入された。このリスクは、取引相手の信用の質(信用評価調整(以下「CVA」という。))に関連する。CVAに対する資本要件は、当年度末現在において594(713)百万スウェーデン・クローネであった。

支払リスクの軽減

取引における支払リスクは、当行が為替取引、有価証券の支払又は引渡しにおいてコミットメントを履行しているものの、取引相手が同じタイミングで当行に対する義務の履行を確認できない場合に発生する。リスク金額は、支払取引の金額と同一である。支払リスクは、各顧客の与信限度額には含まれておらず、別の限度額によってカバーされている。ハンデルスバンケンでは、直物取引における価格変動リスクは、支払リスクとして分類されるが、デリバティブ取引における価値変動リスクは信用リスクとして分類される。

支払リスクに対する限度額の設定は、ハンデルスバンケンの目的である継続的なリスク制限に不可欠なものである。これには、支払リスクが存在する期間を短縮するための技術的なソリューションの開発も含まれている。こうした努力をするに当たって、ハンデルスバンケンとは様々な銀行部門の清算機関と協力する。当行はまた、最強かつ最も信頼できると考えられる複数の銀行との提携体制を確立している。

ハンデルスバンケンは、為替取引において、CLS(多通貨同時決済)等の清算のための提携に参加している。ハンデルスバンケンは、世界最大規模の外国為替銀行約60行と共に、CLSの共同所有者となっており、EBA(ユーロ銀行協会)及びその支払制度のパートナー及び直接的なメンバーでもある。

カウンターパーティ・リスクの内訳 - エクスポート

ジャー・クラス、エクスポートジャー額及びリスク加重エクスポートジャー額

スポートジャー額

百万スウェーデン・クローネ

	2016年		2015年	
	エクスポートジャー額	リスク加重エクスポートジャー額	エクスポートジャー額	リスク加重エクスポートジャー額
エクスポートジャー・クラス、IRBアプローチ				
機関エクスポートジャー	85,119	11,222	98,060	13,704
法人エクスポートジャー	22,670	3,941	25,597	4,711
IRBアプローチ合計	107,789	15,163	123,657	18,415

カウンターパーティ・リスクの内訳 - エクスポート

ジャー・クラス、エクスポートジャー額及びリスク加重エクスポートジャー額

スポートジャー額

百万スウェーデン・クローネ

	2016年		2015年	
	エクスポートジャー額	リスク加重エクスポートジャー額	エクスポートジャー額	リスク加重エクスポートジャー額
エクスポートジャー・クラス、標準的アプローチ				
ソブリン及び中央銀行エクスポートジャー	3,132	67	4,074	63
その他	5,200	468	4,676	258
うち中央清算機関を通じて清算されるもの	3,577	72	3,315	66
標準的アプローチ合計	8,332	535	8,750	321

IRB及び標準的アプローチ合計	116,121	15,698	132,407	18,736

エクスポージャー額は、デリバティブ、レポ取引及びエクイティ・ローンから構成される。

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク

(潜在的な将来エクスポージャーに関する標準的な補完を除く)

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
デリバティブ契約に関する正の市場価値総額	109,686	109,287
ネットティングによる利益 ¹	47,697	49,600
現在の相殺後のエクスポージャー	61,989	59,687
担保 ¹	42,238	35,678
デリバティブに関する正味信用エクスポージャー	19,751	24,009

1) 貸借対照表においてデリバティブ負債と相殺される担保は、ネットティングによる利益として計上されている。

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク

	リスク				
(潜在的な将来エクスポージャーを含む)、2016年	現在の相殺後のエクスポージャー	潜在的な将来エクスポージャー	エクスポージャー額	加重エクスポージャー額	所要自己資本
百万スウェーデン・クローネ					
ソブリン・エクスポージャー	2,389	1,167	3,556	67	5
機関エクスポージャー	51,673	25,434	77,107	10,652	852
法人エクスポージャー	11,256	3,972	15,228	3,890	311
その他	238	186	424	373	30
合計	65,556	30,759	96,315	14,982	1,198
うちトレーディング勘定における取引	17,349	12,275	29,624	5,688	455

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク

	リスク				
(潜在的な将来エクスポージャーを含む)、2015年	現在の相殺後のエクスポージャー	潜在的な将来エクスポージャー	エクスポージャー額	加重エクスポージャー額	所要自己資本
百万スウェーデン・クローネ					
ソブリン・エクスポージャー	1,783	1,035	2,818	63	5
機関エクスポージャー	45,087	25,296	70,383	13,336	1,067
法人エクスポージャー	12,671	4,181	16,852	4,473	358
その他	145	86	231	181	14
合計	59,686	30,598	90,284	18,053	1,444
うちトレーディング勘定における取引	18,522	13,524	32,046	6,628	530

市場リスク

市場リスクは、金融市場における価格及びボラティリティの変動によって生じる。市場リスクは、金利リスク、株価リスク、為替リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。

ハンデルスバンケンのように包括的なサービスを提供する銀行では、柔軟な資金調達求められるようなサービスの顧客需要がある場合に市場リスクが発生する。当行はまた、既に貸付を行っている市場以外の市場で資金調達を行うことにより、資金調達源を多様化し、資金調達の対象となる資産と満期が異なる資金を調達することもできる。市場リスクは、当行が事業を行っている市場で混乱が起きた際にショート・ノーティスで流動資産に転換できる中央財務部門の流動性ポートフォリオでも発生することある。当該ポートフォリオにより、日次清算業務における当行グループの支払が確実にになるとともに当行の流動性準備金の一部を形成している。

市場リスクはまた、債券、為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすために発生する。このため、当行は一定のポジションを保有しておかなければならない。例えば、当行が、金融商品の市場価格を形成するマーケット・メーカーとしての役割を果たす場合にこのような状況になる。

当行の業務における市場リスクは、主にグループ財務部門及びハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおいて生じており、それぞれ管理されているが、ハンデルスバンケン・リヴにも存在する。保険会社であるハンデルスバンケン・リヴにおける市場リスクは、別のセクションに記載されている。そのため、本セクションに記載されている市場リスクに関する情報は、ハンデルスバンケン・リヴを除くリスクについて言及している。

市場リスク戦略

ハンデルスバンケンは、市場リスクを厳しく制限することを目指している。基本的に、銀行業務における市場リスクは顧客の投資ニーズ及びリスク管理に限定している。市場リスクは、キャッシュ・フローと固定金利の期間を一致させ、オープン・ポジションをヘッジし、リスクを制限するその他の措置を講じることにより制限する必要がある。

ハンデルスバンケンの市場リスクはすでに低水準にあったが、近年さらに低減しており、現在は非常に低いものになっている。この取組みは長期にわたって行われており、金融危機が発生するよりも前、かつ、規制によって、市場リスクに対して今日と同様の重要性が置かれるようになる前から始まったことである。結果として、当行の利益のうち、金融取引による純損益の占める割合が大幅に少なくなっている。

組織構造

グループ財務部門長は、金利リスク、為替リスク及び流動性リスクの管理について最高財務責任者の下で運営上の責任を担っている。当行の限度額制度は、市場リスクに対するエクスポージャーの規模を制限している。市場リスクの測定方法及び限度額は、取締役会が決定している。金利リスク、為替リスク及び流動性リスクに対する限度額は、当行の最高経営責任者及び最高財務責任者からグループ財務部門長に割り振られる。その後、グループ財務部門長は、これらを各業務ユニットへ割り振る。限度額又は株価リスク及びコモディティ・リスクは、最高財務責任者によって直接ビジネス・サポート・キャピタル・マーケットズ部長に割り当てられる。

当行の最高経営責任者及び最高財務責任者はまた、補完的リスク測定、限度額及び詳細にわたるガイドラインの策定を行う。補完的リスク測定の限度額は、主に金融市場におけるボラティリティの変動に対する当行の感応度を低減し、特定のポートフォリオに対するリスク及び通貨毎の流動性リスクの制限を目的としている。これらの測定はまた、満期の観点から生じるリスクを制限している。当行の最高財務責任者、最高経営責任者及び取締役会は、継続的に市場リスク及び限度額の活用状況に関する報告書を受領している。

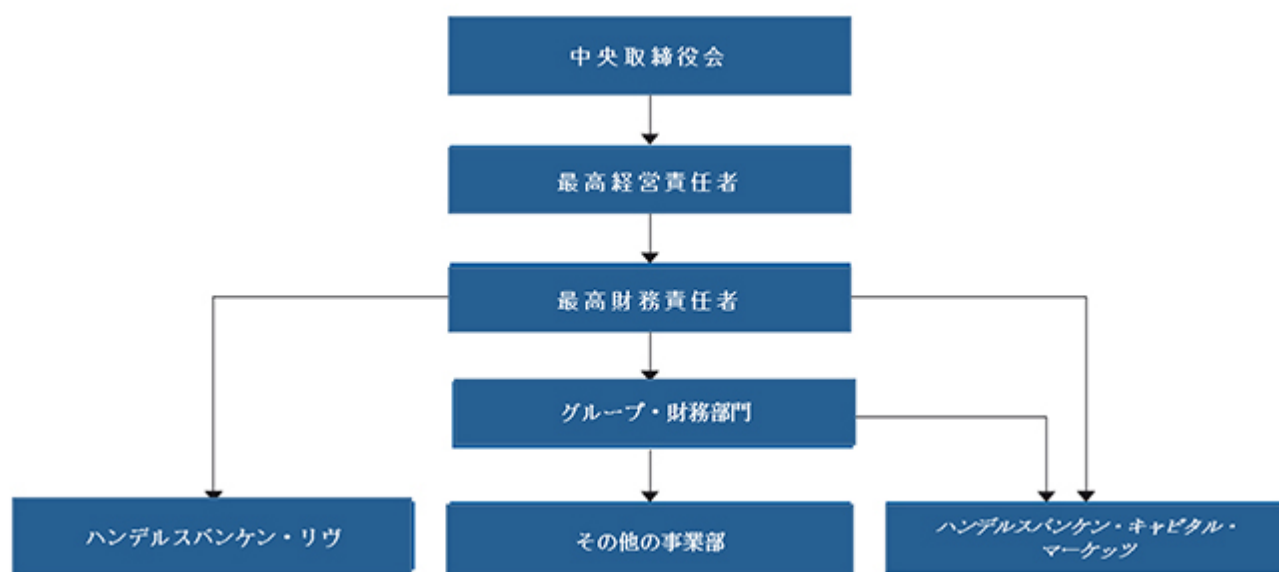
ハンデルスバンケンにおける市場リスク

市場リスクは、複数の異なる手法を利用して測定されているが、あらかじめ定義された価格及びボラティリティの変動によって生じる価値の変動を表した様々な感応度測定が用いられている。ポジションに関連したリスク測定及び確率に基づくバリュエーション・アット・リスク・モデル(以下「VaR」という。)も用いられている。

VaR

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットズ及びグループ財務部門においてトレーディング勘定として分類されているポートフォリオについて、VaRが算定されている。VaRは確率に基づいた測定で、対象市場における一定の保有期間にわたる変動から一定の信頼度でリスク・ポジションに生じる可能性のある損失をスウェーデン・クローネ建てで示すものである。VaRは個別のリスク区分及びポートフォリオで保有期間を1日とした99%の信頼度にて算定される。この手法は、様々なリスク区分を1つの方法で取り扱うことができるため、それぞれを比較することが可能になると同時に、市場リスクの合計を算定することができる。トレーディング勘定として分類されているポートフォリオの全体的なリスクは、当年度末現在において7(13)百万スウェーデン・クローネであった。VaRは、定期的に当行の最高財務責任者、最高経営責任者及び取締役会に報告される。

VaRモデルは、極端な市場変動に関連したリスクを特定できるわけではない。したがって、このリスク計算は、定期的なストレス・テストで補完される。テストは、ポートフォリオに対して1994年以降の金融市場において発生したすべての事象に基づくシナリオにより行われる。これらのストレス・テストの結果もまた、定期的に当行の最高経営責任者、最高財務責任者及び取締役会のリスク委員会に報告される。

市場リスク及び流動性リスクに関する決定水準

トレーディング勘定、ハン
デルスバンケン・キャピタ
ル・マーケット及びグルー
プ財務部門のVaR

	合計		株式		債券		通貨		コモディティ	
	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ										
平均	12	12	1	1	12	12	4	5	1	1
最高	20	19	4	4	20	17	10	9	6	5
最低	6	8	0	0	6	7	1	2	0	0
当年度末	7	13	1	2	6	15	2	3	2	2

トレーディング勘定のストレス・テストにおける最悪の結果、
ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ財務部門¹

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
平均	98	114
最高	253	234
最低	29	37
当年度末	61	102

1) 2016年に、この手法を変更し、現在の金利レベルによる影響の範囲が小さくなるように変更された。このため、2015年の比較数値は新しい手法と一致するよう再計算されている。

その他の業務における一般的な金利リスク

(イールドカーブが1%平行移動した場合の最悪の結果としての公正価値の変動)

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
スウェーデン・クローネ	756	920
デンマーク・クローネ	166	234
ユーロ	132	68
ノルウェー・クローネ	88	12
米ドル	66	112
英ポンド	135	24
その他通貨	14	14
合計	1,357	1,384

資産及び負債に関する金利調整期間、2016年

百万スウェーデン・クローネ	3ヶ月以内	3-6ヶ月	6-12ヶ月	1-5年	5年超	合計
資産						
貸出金	1,302,302	157,537	102,728	369,968	31,087	1,963,622
銀行及びその他の金融機関	33,159	107	56	16	9	33,347
債券等	77,861	5,321	6,502	61,447	9,758	160,889
資産合計	1,413,322	162,965	109,286	431,431	40,854	2,157,858
負債						
預金	821,371	4,681	2,889	393	2	829,336
銀行及びその他の金融機関	140,961	31,243	2,148	580	3,848	178,780
発行済証券	418,039	95,677	91,718	601,304	88,427	1,295,165
その他負債	-	-	-	-	-	-
負債合計	1,380,371	131,601	96,755	602,277	92,277	2,303,281
オフ・バランスシート項目	-306,545	-8,166	-18,289	202,900	63,614	-66,486
資産と負債の差額(オフ・バランスシート項目を含む)	-273,594	23,198	-5,758	32,054	12,191	-211,909

この表は、2016年12月31日現在の金利関連資産及び負債の金利調整期間を示したものである。無利子資産及び負債は除かれている。

資産及び負債に関する金利調整期間、2015年

百万スウェーデン・クローネ	3ヶ月以内	3-6ヶ月	6-12ヶ月	1-5年	5年超	合計
資産						
貸出金	1,237,710	149,780	97,672	351,750	29,555	1,866,467
銀行及びその他の金融機関	284,882	862	453	131	76	286,404
債券等	40,709	502	2,754	59,920	12,071	115,956
資産合計	1,563,301	151,144	100,879	411,801	41,702	2,268,827
負債						
預金	737,001	5,117	2,508	349	2	744,977
銀行及びその他の金融機関	125,322	32,221	2,679	547	3,630	164,399
発行済証券	440,990	90,976	87,107	575,551	84,959	1,279,583
その他負債	-	-	-	-	-	-
負債合計	1,303,313	128,314	92,294	576,447	88,591	2,188,959
オフ・バランスシート項目	-233,048	27,449	15,152	162,738	60,726	33,017

資産と負債の差額(オフ・バランスシート項目を含

む)

26,934

50,279

23,737

-1,908

13,837

112,879

この表は、2015年12月31日現在の金利関連資産及び負債の金利調整期間を示したものである。無利子資産及び負債は除かれている。

金利リスク

金利リスクは、主としてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、グループ財務部門及び貸出業務において生じる。当行における金利リスクは、複数の方法で測定されている。一般的な金利リスクは、すべての金利について極めて瞬時の1%の上昇又は下落という平行移動が生じた場合の通貨別の公正価値の有利な変動の最小値の合計として測定され、限度額が設定されている。当年度末現在の当行の一般的な金利リスクの合計は、1,401(1,423)百万スウェーデン・クローネであった。契約満期のない預金の固定金利期間は内部手法を用いて設定される。こうした預金の基本的な前提は想定し得る最短の固定金利期間であり、過去の観察に基づいて安定的で金利変動に対する感応度が低いとみなされる部分に限定して調整が行われる。このリスク測定には、公正価値で測定される利付商品も公正価値で測定されない商品も含まれている。したがって、これらの損益による貸借対照表及び損益計算書への影響を評価することは適切ではない。

特定の金利リスクは、クレジットスプレッド(すなわち、現在のポートフォリオの金利と満期が同一である国債の利回りとの差額)の変動に対する感応度を用いて測定され、限度額が設定されている。このリスクは主に、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ財務部門の流動性ポートフォリオにおいて生じる。このリスクは、異なる格付区分別に測定及び限度額が設定され、クレジットスプレッドが1ベース・ポイント上下に移動した場合における市場価値の有利な変動の最小値として計算される。この計算は取引相手別に実施され、その計算結果は絶対値の合計として集計される。当年度末における特定の金利リスク総額は、9(7)百万スウェーデン・クローネであった。

トレーディング勘定における金利リスク

ハンデルスバンケンのトレーディング勘定は、トレーディング勘定に分類されているキャピタル・マーケット及びグループ財務部門のポートフォリオから構成されている。トレーディング勘定の一般的な金利リスクは81(51)百万スウェーデン・クローネであり、特定の金利リスクは7(5)百万スウェーデン・クローネであった。イールド・カーブのツイストリスクは、定期的に測定及び見直しが行われており、様々なイールド・カーブにおける仮定が変更された場合のリスクの推移を示している。例えば、金利オプションのリスクの一部である非線形金利リスクは、マトリックスであらかじめ定義されたストレス・シナリオを用いて測定され、限度額が設定されている。すなわち、このリスクは、基礎となる市場金利及びボラティリティの変動として測定されている。トレーディング勘定には、様々なストレス・シナリオによって補完されているVaR及びその他のリスク測定が用いられている。

その他の業務における金利リスク

貸出業務における金利リスクは、資金調達期間と固定金利期間の一部が異なることにより生じる。金利リスクは、主に金利スワップ契約によって管理されている。一般に金利リスク・エクスポージャーは、流動性の高い市場に存在する。上記のように測定されるその他の業務における一般的な金利リスクは1,357(1,384)百万スウェーデン・クローネであり、特定の金利リスクは2(2)百万スウェーデン・クローネであった。

金利の変動による損益計算書への影響を見積るために、純利息収益の影響も測定されている。金利が変動した場合の純利息収益の影響は、一般市場金利が1パーセンテージ・ポイント上昇した場合の12ヶ月間にわたる純

利息収益の変動として測定されている。この影響は、貸借対照表の規模が一定であることを前提とした場合の固定金利期間並びにトレーディング勘定に含まれない資産、負債及びデリバティブの残高構成の差異を反映している。この計算においては、契約満期のない預金の固定金利期間は、過去の観察に基づき内部手法を用いて設定されており、安定的で金利変動に対する感応度が低い部分に限定して調整が行われる。当年度末現在の純利息収益の影響は、1,116(929)百万スウェーデン・クローネであった。

株価リスク

当行の株価リスクは、主にハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットでの顧客との取引及び当行の保有株式において生じている。

株価リスクの表では、株価及びボラティリティが瞬時に+/-10%及び+/-25%変動した場合の当行の株式ポジション合計における市場価値の変動を示している。当年度末現在、このリスクについて当行における最悪のケースは152(651)百万スウェーデン・クローネであった。

トレーディング勘定に内在する株価リスク

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの株価リスクは、顧客主導の株式関連取引において生じる。ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットは、仕組商品のマーケット・メーカーであり、線形及び非線形の双方の株価リスクが発生する。非線形株価リスクは、仕組商品に含まれているオプションを通じて生じる。

顧客ニーズを満たすために行われる自己ポジションの範囲は、当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者が決定した限度額によって制限されている。当行は、マトリクスを用いてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの株価リスクを制限及び測定している。この手法の利点は、非線形リスクを含む株価リスクを効果的に特定することである。VaR並びにその他のリスク測定手法及びストレス・シナリオは、株価リスク測定の補完として使用される。当年度末現在、トレーディング勘定に内在する株価リスクに関する当行のVaRは、1(2)百万スウェーデン・クローネであった。

株価リスク

百万スウェーデン・クローネ

ボラティリティの変動

株価の変動	2016年			2015年		
	-25%	0%	25%	-25%	0%	25%
10%	161	162	162	647	651	654
-10%	-152	-149	-145	-651	-648	-645

トレーディング勘定外の株価リスク

当行グルートレーディング勘定以外で保有する株式は、主に当行の中核事業に関連する種々の共同所有事業で構成されている非上場証券である。これらの保有株式は、会計規則に従い、貸借対照表上、売却可能区分に分類され、公正価値で測定されている。このような保有株式は、一般的にその事業の純資産価値に対する当行の持分、又は代替的に最新の取引における決済価格によって評価されており、株価リスクは非常に小さい。

為替リスク

ハンデルスバンケンは、スウェーデン以外にも拠点市場を持ち、他の複数の国においても事業を行っている。したがって、当行グループの勘定がスウェーデン・クローネで表示されていることによる構造上の為替エクスポージャーが間接的に生じる。構造上のリスクは、可能な限り同一通貨で資産と負債のマッチングを行う

ことによって、最小限に抑えられる。当行の資本に影響を与える為替リスクの変動については、年次報告書の68ページ(訳注：原文のページ数である)の持分変動計算書(当行グループ)に記載されている。

当行の直接的な為替エクスポージャーは、国際為替市場における顧客主導の日中取引の結果として生じる。この取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットで行われる。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、この為替リスクに関してVaR限度額を設定している。

顧客の支払フローの一環として通常の銀行業務において、またグループ財務部門の資金調達業務において、ある程度のが為替エクスポージャーが生じている。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、これらのエクスポージャーに対して、ポジション限度額を割り当てている。当年度末現在、正味ポジション累計額は、689(391)百万スウェーデン・クローネであった。当行の為替リスクは、個別通貨又は通貨グループの傾向に応じて変動するわけではない。これは、ポジションが非常に短期であり、顧客主導のフロー管理において生じているためである。トレーディング勘定及びその他の事業における為替リスク総額は、114(36)百万スウェーデン・クローネであるが、これはスウェーデン・クローネが瞬時に5%変動した場合に当行の損益に及ぼす影響として測定されたものである。

コモディティ価格リスク

コモディティ関連商品のエクスポージャーは、国際コモディティ市場における顧客取引に基づいたもののみから発生し、当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者が決定した限度額によって制限されている。コモディティ取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットのみで行われている。線形及び非線形コモディティ価格リスクは双方とも、すべてのコモディティについて当行がさらされているリスク合計の絶対値として測定されている。当年度末現在、コモディティ価格リスクは、6(5)百万スウェーデン・クローネで、対象コモディティの価格変動の上限を20%及びボラティリティの上限を35%をした場合の価格変動に係る最大損失として測定されている。当年度末現在、当行のコモディティ価格リスクのVaRは、2(2)百万スウェーデン・クローネであった。

その他の市場リスク

市場リスクは当行の年金制度においても発生する(年金リスク)。このリスクは主に、当行の年金債務に対応するために保有する資産の価値が減少するリスクで構成される。

公正価値測定

リスク・コントロール部門は、当行グループの金融商品が正確に評価されていることを確認する。公正価値で測定される金融商品の評価は、IFRS第13号に従って行われる。公正価値で測定される資産及び負債に関する詳細並びに当行の評価技法に関する情報については、注記G40を参照のこと。

トレーディング勘定以外の株式エクスポージャー

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
売却可能に分類されるもの	1,618	6,581
うち上場	-	4,667
うち非上場	1,618	1,914
売却可能に分類されるもの	1,618	6,581
うち事業関連	1,605	5,198
うちその他の持分	13	1,383
期首現在における公正価値評価差額準備金	2,138	1,460
新規購入分と期末保有分に関して当年度中に生じた未実現の市場価値の変動	773	789
当年度中の売却及び決済による実現額	-1,876	-111
期末現在における公正価値評価差額準備金	1,035	2,138
Tier 2資本に含まれるもの	0	0

為替感応度(各通貨に対してスウェーデン・クローネが+/-5%変動した場合の最悪の結果)

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
ユーロ	57	3
ノルウェー・クローネ	25	20
デンマーク・クローネ	6	3
米ドル	26	4
英ポンド	2	6
その他通貨	7	8

資金調達及び流動性リスク

流動性リスクは、支払期限が到来した際に、法外な費用又は損失を被らなければ、当行が支払義務を履行することができないリスクである。

金融危機を受けて、新たにいくつかの規制が導入された。当行は、これまですでに自発的に多数の措置を講じてきた。したがって、当行は長期にわたってこれらの規制に準拠してきた。このような措置には、すべての資金調達及び流動性管理、長期的資金調達の割合の引き上げ、内部価格に対する市場価格、流動性リスク及び満期の反映について中央財務部門が全般的な責任を負うことも含まれている。また、資金調達、流動性リスク及び担保に供されている資産の割合に対する透明性は、大きく向上している。

ハンデルスバンケンは、資金調達に関して中央銀行または公的機関から支援を受けることなく、最近の金融危機を乗り越えて完全に単独で管理を行っているスウェーデンで唯一の大手銀行である。

資金調達戦略

ハンデルスバンケンの流動性リスクに対する許容度は低く、全体及び個別通貨においても流動性リスクを最小限に抑えるために積極的に取り組んでいる。こうした活動により、ハンデルスバンケンは困難な状況におい

ても、流動性への良好なアクセスが可能であり、業績の変動を低水準に抑え、顧客ニーズを満たすような資金調達能力の提供を目指している。これは、当行にとって重要な通貨のすべてにおいて、キャッシュ・フローの流入及び流出をうまくマッチングさせると共に質量において十分な流動性準備金を維持することによって達成される。したがって、当行は資金調達における経済的リスクを最小限に抑え、業務ユニットに対して安定した金利を長期間設定することができる。

また、当行は、資金調達プログラムとその利用に幅をもたせることにより、他と比較して不利益を被る投資タイプを無くすことを目標としている。こうすることによって、当行は、金融市場における混乱が長引いたとしても、中核事業において、長期にわたる損失が生じないようにしている。

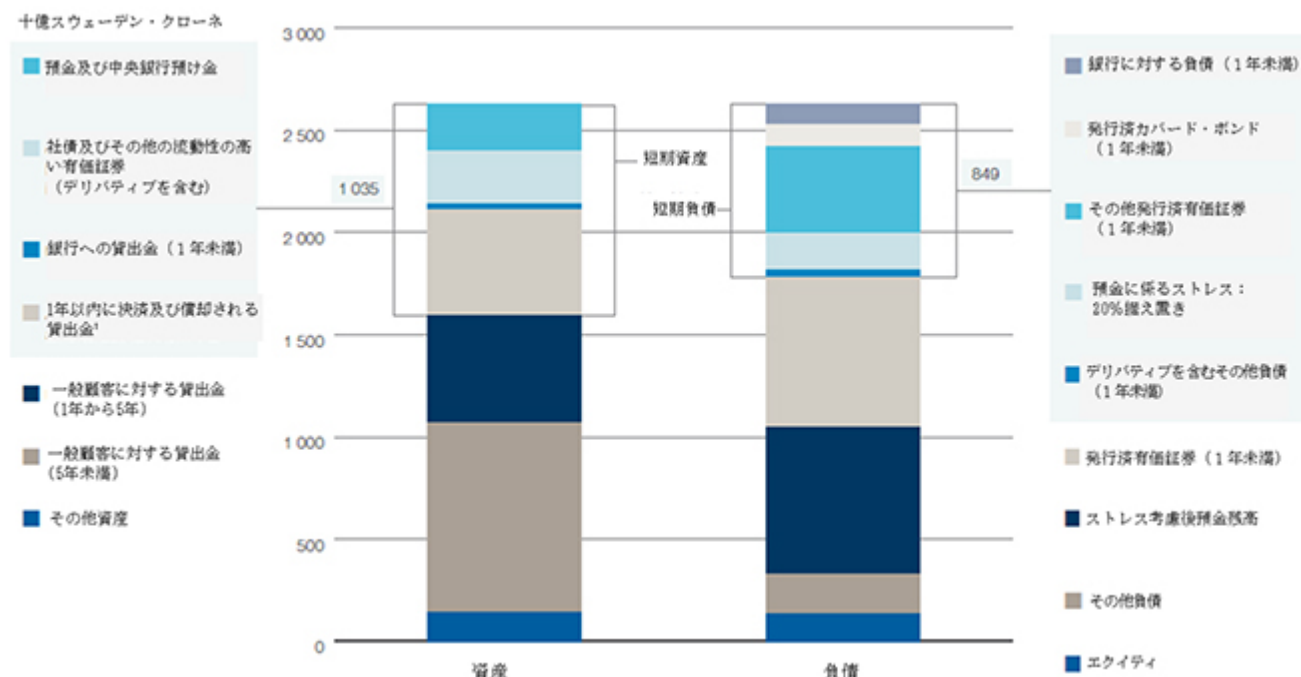
この作業は、安定資金を用いて調達された非流動資産により、十分に調和のとれた貸借対照表から始める。当該非流動資産は、個人及び法人に対する与信より構成され、これらの与信業務は当行の中核事業を構成している。これら資産に関する長期安定資金には、スタッドフィポテックで発行されたカバード・ボンド、ハンデルスバンケンで発行されたシニア債、個人からの預金、法人からの一定額の預金、劣後債及び株式より構成されている。中核業務の一部は、個人及び法人への短期貸付であるが、負債の部におけるこれら顧客からの預金の一部はより短期間なものとなっている。

貸借対照表は、資産及び負債の一時点の記録である。当行が顧客及び投資家に対する債務を確実に履行するためには、資金調達及び流動性リスク管理に未来志向の視点を取り入れることが重要である。したがって、金融市場において長期的なストレスにさらされている状況にあっても、企業及び家計という形態の実体経済の参加者及び彼らの与信ニーズの支援が可能な形で財務基盤が構築されている。短期資産は、十分なマージンで短期負債をカバーしている。「満期分類別の貸借対照表の構成要素」の図では、預金の20%が1年以内に消滅し、市場で新規の資金調達を行う手段が一切なくなるというストレス・シナリオにおける財務基盤を掲載している。このようなストレス下にもかかわらず、当年度末現在の短期資産は短期負債を大幅に上回ることが見込まれる。長期的な危機においては、中核事業は維持しつつも、財務基盤は縮小する可能性があり、短期資産残高は徐々に満期を迎える短期負債の償還に用いられる。長期的な危機の状況下においても、当行グループの事業活動をさらに支援するための流動性を高める手段が用意されている。

市場はハンデルスバンケンに多大な信頼を寄せており、ハンデルスバンケンの信用リスクは低いと評価されている。これを示すものの一つは、当行の信用リスクに対する保険コスト（CDSスプレッドとして知られる）が欧州銀行の中で最も低い銀行の一つであり、ハンデルスバンケンは、すべての同業他社に比べ資金調達コストが最も低い銀行である。

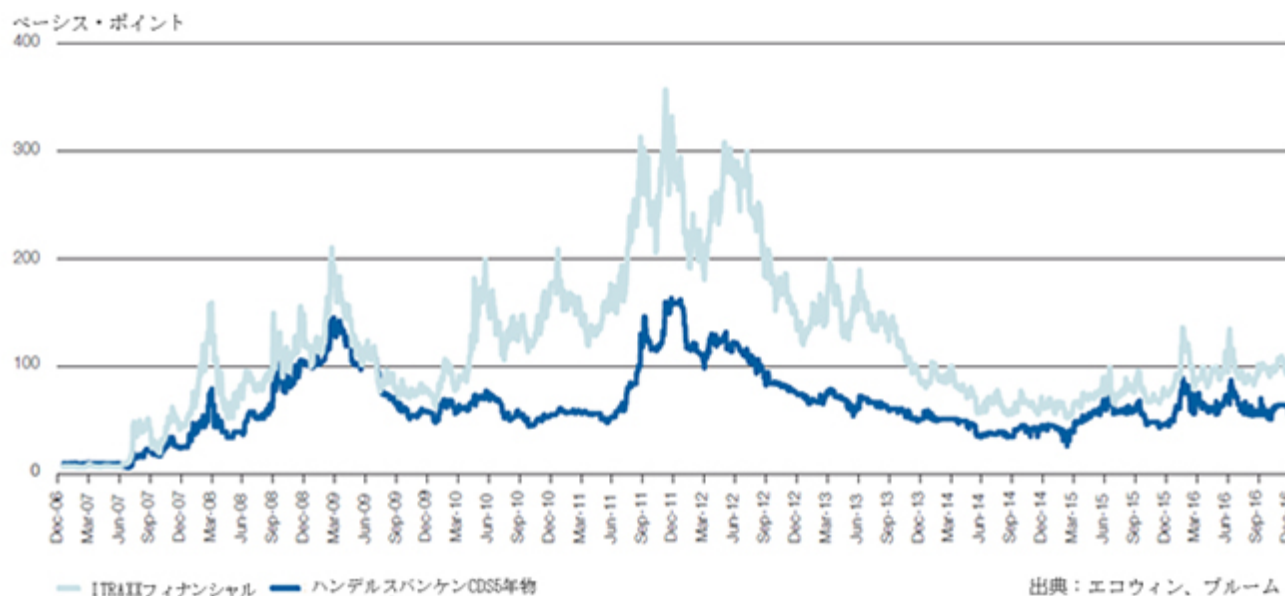
様々な市場、通貨及び資金調達対象となる商品の形態において、異なる資金調達源から多様な資金調達を行うことは、資金調達の戦略における重要な構成要素である。これは、個別市場又は資金調達源からの重要な影響を軽減している。当行は近年、長期的かつ国際的な資金調達をかなり拡大しており、例えば、ユーロ圏、英国、米国、アジア及びオーストラリアにおいて多くの債券を発行している。最も重要な資金調達源は、個人及び法人からの預金並びにカバード・ボンド及びシニア債である。短期的な資金調達は、主に、金融関連会社及び機関からの預り金並びに預金証書及び譲渡性預金の発行である。グループ財務部門は、グループ財務部門の裁量による市場からの資金調達に関して様々な資金調達プログラムを有しており、これらには当行グループの資金調達プログラム／限度額の表に掲載されているプログラムの他に、スウェーデン・クローネ建てカバード・ボンドが含まれている。債券及び預金証書は、これらのプログラムに基づき、当行及びスタッドフィポテックの名前で発行されている。当該資金調達プログラムにより、様々な通貨、投資家数及び地域分布といった面で十分に多様化された資金調達手段が確保されている。

2016年の満期分類別の貸借対照表の構成要素



1) 予定償却、契約上の満期及び見積り追加返済額

2007年から2016年までのITRAXXファイナンシャルズと比較したハンデルスバンケンの5年物CDSのスプレッド



ITRAXXファイナンシャルズは、欧州銀行及び保険部門における25の大手債券発行体のCDSスプレッドの指標となっており、会社の信用リスクを受け入れるために投資家が必要とする平均プレミアムを示している。

2016年の当行グループにおける資金調達プログラム/限度額

プログラム	通貨	プログラム		対価(百万スウェーデン・クローネ)
		規模	未使用金額	
ユーロ・コマーシャル・ペーパー ¹	ユーロ	15,000	3,093	29,640
ユーロ・コマーシャル・ペーパー(スタッドフィボテック) ¹	ユーロ	4,000	0	0

フランスのコマーシャル・ペーパー	ユーロ	7,500	1,913	18,332
スウェーデンのコマーシャル・ペーパー	スウェーデン・クローネ	25,000	0	0
スウェーデンのコマーシャル・ペーパー(スタッドフィボテック)	スウェーデン・クローネ	90,000	0	0
米国コマーシャル・ペーパー	米ドル	15,000	4,401	39,940
AMTN	オーストラリア・ドル	5,000	1,275	8,362
AMTCN(スタッドフィボテック)	オーストラリア・ドル	5,000	750	4,919
EMTN1	米ドル	50,000	21,759	197,465
EMTCN(スタッドフィボテック) ¹	ユーロ	20,000	11,002	105,432
US144A/3(a)(2)	米ドル	20,000	11,900	107,994
スタッドフィボテック US144A	米ドル	15,000	3,750	34,032
サムライ債	日本円	400,000	160,700	12,482
MTN ¹	スウェーデン・クローネ	100,000	13,334	13,334
その他の資金調達(1年超) ¹	米ドル	15,000	1,231	11,171
延長可能ノート	米ドル	15,000	7	64
合計				583,167
プログラム又は限度額合計(百万スウェーデン・クローネ)		1,937,028		
未使用金額(百万スウェーデン・クローネ)		1,353,861		
未使用割合		70%		

1) 発行時に通貨転換の取決めがある場合、これらのプログラムに基づいて当初のプログラム通貨以外の通貨でも発行が可能である。

組織体制

ハンデルスバンケンは高度に分散化された事業モデルを有しているが、当行グループの資金調達及び流動性リスク管理業務はすべて中央財務部門に集約されている。資金調達及び流動性リスク管理業務は、取締役会が策定した方針によって管理されている。取締役会はまた、リスク限度額も決定している。この方針は、最高経営責任者によるガイドライン及び最高財務責任者による指示によって補完されている。このガイドラインは、リスク限度額、資金調達構成及び資金調達市場の混乱時における指針を規定している。さらにすべての流動性リスク限度額は、グループ財務部門を通じて、各事業部へと伝達されている。

グループ財務部門はまた、当行の清算業務に対する責任を持ち日中の流動性を監視し、当行が支払債務を履行するための十分な担保を支払システムに随時有していることを確認する。当行は、流動性の監視を取引に近い地域で行っており、当行グループ全体の担保及び流動性準備金を扱う中央管理によってその監視が補完されている。

決済システムにおける担保の規模は、通常の状態及び決済金額が拡大した状況において当行が債務履行に必要なと考える水準に基づいて決定される。決済金額が変化する場合には担保の規模及び流動性が調整され、危機の際には担保の再分配を行い、流動性準備金も活用する。当行は、予想される支払い及び決済の実行に備えて、積極的な流動性計画及びすべての通貨の監視を通じて当方勘定の流動性を確保している。

市場からの資金調達 - 構成

当年度において、ハンデルスバンケンは当行における重要な通貨のすべてにわたって、市場から合計210(214)十億スウェーデン・クローネの長期資金を調達した。短期資金調達は、主にスウェーデン、欧州及び米国

の様々な資金調達プログラムに基づいて、譲渡性預金証書の発行によって行われている。これらの資金調達プログラムは、国際インターバンク市場における資金調達によって補完されている。そのため、当年度において、当行は引き続き以前と同様の投資家との面会、資金調達プログラムの更新、及び他の点においても世界中のすべての関連資金調達市場での資金調達条件を維持していた。これにより、過去数年存在していた状況よりはるかに困難な状況において資金調達業務を維持することができる。

流動性リスク

当行は、日次で大量のキャッシュ・フローの流入及び流出を取り扱っている。キャッシュ・フローの流入と流出の差額は、限度額を設定することによって制限されている。グループ・リスク・コントロールは、リスクの利用状況について、日次で最高財務責任者、週次で最高経営責任者、定期的に取り締役に報告している。

流動性計画は、個別の通貨に対するキャッシュ・フローの分析に基づいている。一般的に、流動性の高い通貨の方が、流動性の低い通貨よりも、より大きなエクスポージャーが許容される。当該戦略は、当行からの予想キャッシュ・フローの流出が常に当行のキャッシュ・フローの流入と一致していなければならないというものである。キャッシュ・フローの流出と流入は、少なくとも同額である必要があり、ストレス状況下においても正のキャッシュ・フロー及びキャッシュ・ポジションが維持されなければならない。このようなギャップ分析は、シナリオ・テストによって補完されており、そこでは様々な仮定を用いて流動性にストレスをかけて分析している。

当行の流動性に関する管理は、これらのストレス・テストに基づいており、ストレス・テストは全体レベルで実行され、当行にとって重要な通貨に対して個別にも行われる。そのため、より長期的な市場の混乱に対する予防策は、特定の仮定に基づくキャッシュ・フローのストレス・テストを通じて日次で測定される。例えば、個人及び法人の定期預金以外の預金の10%が徐々に解約され1ヶ月後に消滅する場合、当行は同時期に金融市場における資金調達ができないと仮定され、さらに中核事業を継続すると仮定されている。すなわち、個人及び法人からの定期預金並びに個人及び法人への貸出金が満期時に更新され、コミットメント及び与信枠の一部は顧客によって使用されると仮定している。当行はまた、中央銀行及び銀行預け金が利用され、グループ財務部門の有価証券が主に市場における担保として、また中央銀行における最後の手段として提供される場合には緊急の流動性供給を受けることが可能であることを考慮している。

流動性を創出するための対策もまた、当行へ段階的に流動性を提供するために利用される。これらの条件により、当行の流動性は、3年を超えて高水準に保たれることになる。したがって、当行はまた、資金調達市場においても、非常に深刻な長期の混乱に対する強力な予防策を有している。

当行が上記の金融市場における混乱に対する強力な予防策を維持できる条件は、適正な財務構成を維持することである。「満期分類別の貸借対照表の構成要素」の図は、預金の20%が1年以内に消滅すると仮定しているストレス・シナリオにおいて流動資産の残高が流動負債の残高を大幅に上回っていることを示している。また、未使用の担保の残高及び質によって、危機の際に当行が必要とする流動性を確保しなければならない。当行が将来に向けて継続的に正の正味キャッシュ・フロー（一時点における比率ではない）を確保することによってもまた、この流動性を長期にわたって確保することができる。

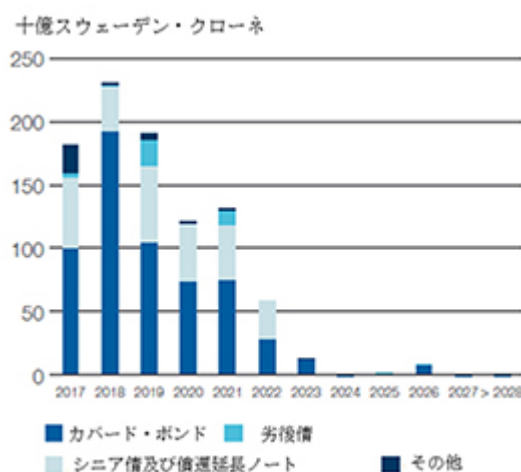
「金融資産及び負債の満期分析」の表は、遅くとも規定された期間内に支払うことになっている約定支払コミットメント(利息キャッシュ・フローを含む)に関するキャッシュ・フローを示している。以下の表は、債券及びその他の利付証券が担保として供されるか、又は売却される場合の流動性資産に転換可能な期間を示している。資産・負債・利息のフローについても約定満期日に応じた期間に満期を迎えるものとして示されている。住宅抵当貸付の利息のフローは、当該貸付の資金調達元となっている負債の期間と一致している。金融保証、ローン・コミットメント及び未使用の当座借越契約はすべて0から1ヶ月の期間に含めて報告されている。これらの契約残高総額は、必ずしも将来における資金調達が必要なことを表しているわけではない。デリバ

ティブ商品に関して、金利スワップのキャッシュ・フローは純額で計上され、為替スワップ等でキャッシュ・フロー総額が支払われるか、又は受領される商品のキャッシュ・フローは総額で計上される。

2013年以降、流動性カバレッジ比率（以下「LCR」という。）にはスウェーデンの銀行にとって拘束力のある要件が設けられており、ハンデルスバンケンは、スウェーデン金融監督庁の定義に従ってLCRを報告している。この数値は当行の流動性バッファと30日間のストレス・シナリオにおける正味キャッシュ・フローとの比率を示しており、100%を超えなければならない。この要件は、全体レベルのLCR並びに米ドルとユーロそれぞれのLCRに適用される。2015年10月1日現在、欧州委員会の委任法にはLCRについて欧州の最低要件が含まれている。最低要件は2016年においては70%であり、委任法が完全に施行される2018年までに段階的に100%に引き上げられる。スウェーデン金融監督庁が導入しているLCRは、特に預金及び流動性ポートフォリオの構成に関する流出の仮定という点で、はるかに大きなストレスのかかった仮定に基づいている。

LCRは、場合によっては変動を示すことがあるが、これは、例えば、住宅抵当ローンのために当初長期で資金調達されたものが、新たな長期資金調達に置き換えられる場合、又は短期資金調達におけるカウンターパーティの区分構成が変動する場合に生ずる。年度末現在、当行グループのスウェーデン金融監督庁の定義に従った累積LCRは126(137)%であった。これは、当行が資金調達市場において短期的な混乱に対する強力な予防策を有していることを示している。また、これは米ドル及びユーロに適用される。欧州委員会の委任法に従って算定された当行のLCRは、142(140)%であった。当行グループにおいて、構造的流動性指標である安定調達比率（NSFR）（利用可能な安定調達と安定調達の要件の比率）は、2016年度末現在、102(100)%であった。

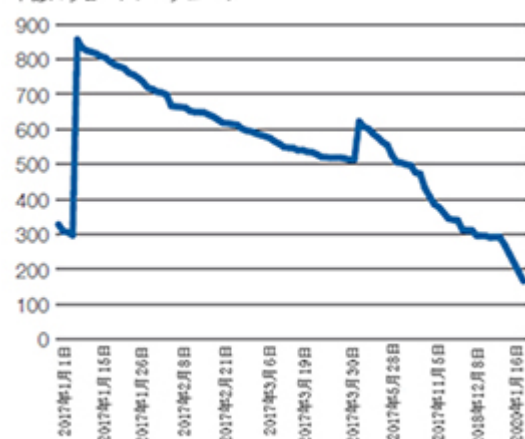
長期資金調達の満期プロフィール



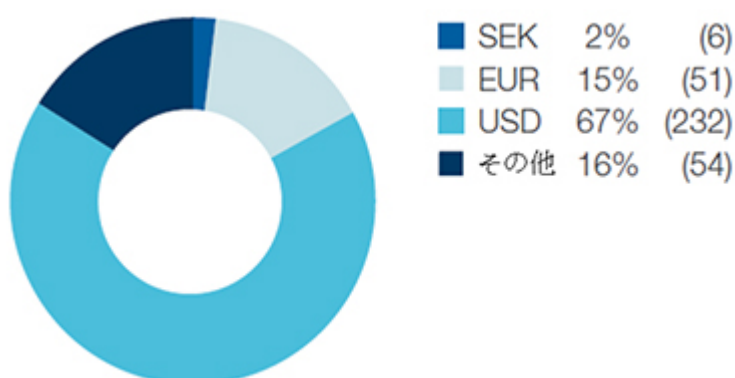
2016年12月31日現在の残存満期が1年超の発行済証券。

流動性創出措置を含む流動性ストレス・テストー累積的流動性ポジション

十億スウェーデン・クローネ

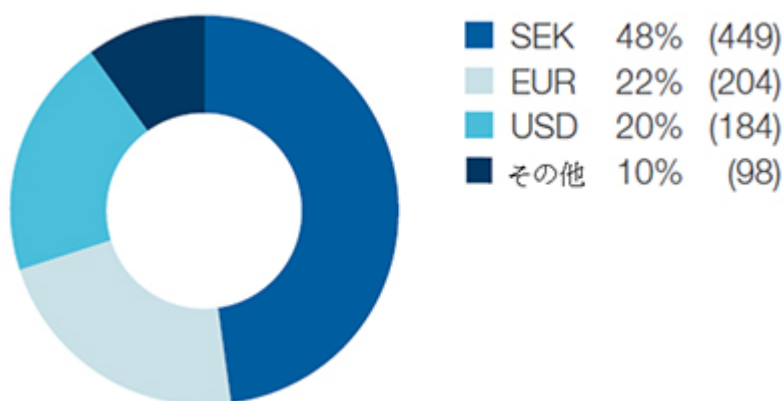


2016年の通貨別短期資金調達



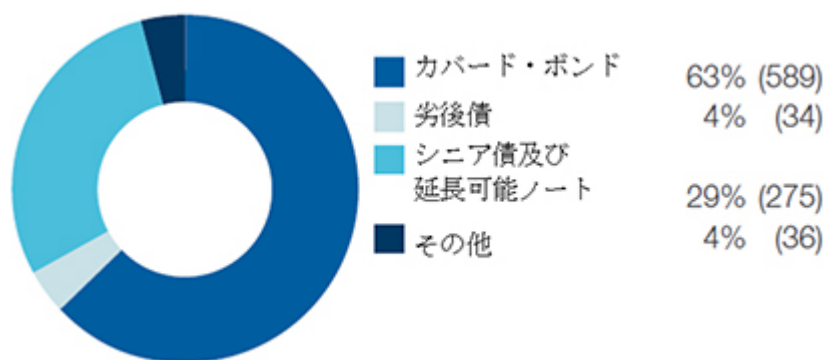
2016年12月31日現在の当初満期が1年未満の発行済証券に関する通貨別の内訳。括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ。

2016年の通貨別長期資金調達



2016年12月31日現在の当初満期が1年超の発行済証券に関する通貨別の内訳。括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ。

2016年の商品別長期資金調達



2016年12月31日現在の当初満期が1年超の発行済証券に関する商品別の内訳。括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ。

流動性リスクのプライシング

流動性リスク管理の重要部分は、発生する可能性のある流動性リスクを考慮して、預金及び貸付が内部で価格設定されていることである。例えば、当行が長期の貸出を行う場合、追加的な長期資金調達が必要になる(短期の資金調達より調達コストがより高くなる)。これは、当行の長期債券を購入した投資家は通常、満期までの期間に対してより高額な対価を要求するためである。このことは、当行の内部価格の設定において考慮されなければならない。当行の内部ユニットは、グループ財務部門の貸出金に対して、満期等の要素に応じて変動する支払いを行わなければならない。流動性リスクを現地で負担することはできない。内部の価格設定は、適切なインセンティブを創出し、不健全なリスク負担を回避するために重要である。当行は、長い間、満期に基づく内部の価格設定を行ってきた。契約によって生じた流動性リスクを考慮に入れて契約単位で価格設定するシステムが確立されている。このシステムは、2010年にはすでに全面的に導入されていた。

流動性カバレッジ比率(LCR)、%

	2016年	2015年
ユーロ	136	161
米ドル	322	429
合計	126	137

2013年1月1日に施行されたスウェーデン金融監督庁指令第2012:6号に従って算定されている。

流動性カバレッジ比率(LCR)－内訳

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
流動資産	290,058	283,573
流動資産レベル1	251,189	242,606
流動資産レベル2	38,869	40,967
現金流出	359,659	318,364
顧客からの預金	173,496	141,589
市場からの資金調達	151,735	142,770
その他の現金流出	34,428	34,005
現金流入	129,176	111,599
金融機関以外の顧客に対する貸出の満期による流入	21,146	22,612
その他の現金流入	108,030	88,987

これらの構成要素は、流動性カバレッジ比率並びに流動資産及びキャッシュ・フローの報告に関するスウェーデン金融監督庁の指令及び要件（FFFS 2012年第6号）に従って定義されている。流動資産レベル1は第3章のセクション6に、流動資産レベル2は、第3章のセクション7に対応している。顧客預金は、第4章のセクション4-9に対応している。市場での資金調達は、第4章のセクション10-13に対応している。その他のキャッシュ・フローは、第4章のセクション14-25に対応している。金融機関以外の顧客に対する貸出金は、第5章のセクション4に対応している。その他の現金流入は、第5章のセクション6-12に対応している。

金融資産及び負債の満期分析、		1ヶ月	6ヶ月					
2016年		から	から	1年から	2年から		満期の指定	
百万スウェーデン・クローネ	1ヶ月以内	6ヶ月	12ヶ月	2年	5年	5年超	なし	合計
現金及び中央銀行預け金	222,401	-	-	-	-	-	-	222,401
中央銀行への担保として適格な利付証券 ¹	97,464	-	-	-	-	-	-	97,464
債券及びその他の利付証券 ²	64,344	-	-	-	-	-	-	64,344
金融機関への貸出金	24,274	2,465	432	151	1,109	3,637	-	32,068
うちリバース・レボ	4,091	-	-	-	-	-	-	4,091
一般顧客への貸出金	57,373	255,724	175,411	194,707	365,045	1,008,017	-	2,056,277
うちリバース・レボ	7,493	-	-	-	-	-	-	7,493
その他	22,769	-	-	-	-	-	223,839	246,608
うち株式及び参加持分	20,412	-	-	-	-	-	-	20,412
うち投資銀行の決済業務に係る債権	2,357	-	-	-	-	-	-	2,357
資産合計	488,625	258,189	175,843	194,858	366,154	1,011,654	223,839	2,719,162
金融機関からの預り金	98,640	48,077	4,275	4,729	589	6,744	18,944	181,998
うちレボ	-	-	-	-	-	-	-	0
うち中央銀行からの預り金	30,792	34,439	1,561	-	-	-	1,868	68,660
一般顧客からの預金及び借入金	17,664	21,061	5,553	867	2,619	2,614	775,803	826,181
うちレボ	2	-	-	-	-	-	-	2
発行済証券 ³	102,983	361,714	87,129	249,491	438,391	84,163	-	1,323,871
うちカバード・ボンド	87	105,475	17,241	205,687	267,098	48,094	-	643,682
うち当初満期が1年未満の証書及びその他の証券	101,753	222,236	25,435	-	-	-	-	349,424
うち当初満期が1年超のシニア債及びその他の証券	1,143	34,003	44,453	43,804	171,293	36,069	-	330,765
劣後負債	389	840	3,059	1,228	32,808	-	-	38,324
その他	4,105	-	-	-	-	-	320,193	324,298
うちショートポジション	1,572	-	-	-	-	-	-	1,572
うち投資銀行の決済業務に係る債務	2,533	-	-	-	-	-	-	2,533

負債合計	223,781	431,692	100,016	256,315	474,407	93,521	1,114,940	2,694,672
オフ・バランスシート項目								
金融保証及び未使用の付与された貸								
出金コミットメント	425,267							
デリバティブ、2016年								
百万スウェーデン・クローネ		1ヶ月 から	6ヶ月 から	1年から	2年から			
	1ヶ月以内	6ヶ月	12ヶ月	2年	5年	5年超		合計
デリバティブに係る現金流入合計	272,926	433,368	75,052	103,839	292,940	95,384		1,273,509
デリバティブに係る現金流出合計	271,566	423,873	71,189	90,801	264,335	92,441		1,214,205
純額	1,360	9,495	3,863	13,038	28,605	2,943		59,304
金融資産及び負債の満期分析、2015年								
百万スウェーデン・クローネ		1ヶ月 から	6ヶ月 から	1年から	2年から		満期の指定	
	1ヶ月以内	6ヶ月	12ヶ月	2年	5年	5年超	なし	合計
現金及び中央銀行預け金	236,752	-	-	-	-	-	-	236,752
中央銀行への担保として適格な利付証券 ¹	75,192	-	-	-	-	-	-	75,192
債券及びその他の利付証券 ²	44,951	-	-	-	-	-	-	44,951
金融機関への貸出金	31,161	13,968	212	230	787	3,920	-	50,278
うちリバース・レボ	14,586	8,833	-	-	-	-	-	23,419
一般顧客への貸出金	58,113	233,279	171,597	191,513	364,138	940,827	-	1,959,467
うちリバース・レボ	7,742	-	-	-	-	-	-	7,742
その他	34,952	-	-	-	-	-	215,020	249,972
うち株式及び参加持分	30,387	-	-	-	-	-	-	30,387
うち投資銀行の決済業務に係る債権	4,565	-	-	-	-	-	-	4,565
資産合計	481,121	247,247	171,809	191,743	364,925	944,747	215,020	2,616,612
金融機関からの預り金								
うちレボ	69,819	67,894	1,620	5,868	903	7,736	14,113	167,953
うち中央銀行からの預り金	290	-	-	-	-	-	-	290
うち中央銀行からの預り金	13,066	55,291	-	5	-	-	1,333	69,695
一般顧客からの預金及び借入金	3,119	43,653	7,729	1,084	2,396	6,650	689,373	754,004
うちレボ	-	-	-	-	-	-	-	0
発行済証券 ³	98,204	356,399	120,523	182,911	478,689	79,415	-	1,316,141
うちカバード・ボンド	23	44,708	68,531	120,017	337,249	33,424	-	603,952
うち当初満期が1年未満の証書及びその他の証券	96,773	270,064	7,722	-	-	-	-	374,559
うち当初満期が1年超のシニア債及びその他の証券	1,408	41,627	44,270	62,894	141,440	45,991	-	337,630
劣後負債	374	825	2,566	4,226	21,791	10,416	-	40,198

その他	8,940	-	-	-	-	-	315,985	324,925
うちショートポジション	2,416	-	-	-	-	-	-	2,416
うち投資銀行の決済業務に係る債務	6,524	-	-	-	-	-	-	6,524
負債合計	180,456	468,771	132,438	194,089	503,779	104,217	1,019,471	2,603,221

オフ・バランスシート項目

金融保証及び未使用の付与された貸

出金コミットメント 420,857

デリバティブ、2015年 百万スウェーデン・クローネ	1ヶ月 6ヶ月 1年から 2年から						合計
	1ヶ月以内	6ヶ月	12ヶ月	2年	5年	5年超	
デリバティブに係る現金流入合計	270,580	390,214	75,129	115,406	274,686	110,695	1,236,710
デリバティブに係る現金流出合計	269,984	384,083	72,032	108,327	254,483	108,497	1,197,406
純額	596	6,131	3,097	7,079	20,203	2,198	39,304

- 1) この金額（利息を除く）のうち、68,022(25,294)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。
- 2) この金額（利息を除く）のうち、10,136(6,021)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。
- 3) この金額（利息を除く）のうち、528,907(550,827)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

「満期の指定なし」の欄の預金は、要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は当行グループの貸借対照表上の金額と一致していない。利息を除いて外貨建てキャッシュ・フローを含めた満期表は、ファクト・ブック (handelsbanken.se/ireng) に記載されている。

流動性準備金

ストレス状況下における中核事業を支援するための十分な流動性を確保するため、当行は大規模な流動性準備金を保有している。流動性準備金は、当行が取り扱っているすべての通貨で維持されており、グループ財務部門が利用可能なものである。当該流動性準備金は、外国為替市場から独立した資金調達であり、随時、当行に対して流動性を提供するものである。このうち一部は、即時提供され、その他は一定期間にわたって徐々に提供される。

当該流動性準備金は、複数の異なる部分より構成されている。現金、預金残高及びその他の中央銀行への貸出は、当行に緊急の流動性を提供可能な部分である。当該準備金はまた、国債、カバード・ボンド及びその他の優良な有価証券より構成され、これらは流動性が高く、中央銀行への担保として適格なものである。これはまた、当行に緊急の流動性を提供可能なものである。流動性準備金の残りの部分は、カバード・ボンドに関する未発行額及びその他の流動性創出対策より構成される。

担保資産及びカバー・プール

また、ハンデルスバンケンの流動性管理上、金融市場の混乱時において利用可能な担保を十分に確保することも重要である。追加担保の設定を可能にするために必要な条件の1つは、当行が当初から処分可能な担保を確保していることである。したがって、当行は、信用格付の非常に高いカバード・ボンド及び流動証券を発行する際に、担保として利用可能な抵当に入っていない十分な額の資産を確保している。

当行は、一定の条件により当行からカウンターパーティに対して担保提供が強制されるような契約、例えばクレジット・サポート・アネックス(CSA)のような契約を金融機関以外の当事者と締結することを制限している。デリバティブ残高に関するCSA契約に基づき差し入れた現金担保は合計7,279(9,635)百万スウェーデン・ク

ローネであった。詳細については、ハンデルスバンケンのファクトブックの担保資産の表を参照のこと。さらに、当行の流動性の確保に加え、このリスク制限アプローチにより当行のシニアレンダーがカバード・ボンドに投資している貸手よりも優先順位が低くなる（いわゆる、地位劣後の問題）範囲を制限することが出来る。

無担保資金の投資家と担保付資金の投資家との間の劣後関係を評価する上では、無担保資産の量及び信用の質が関連する評価要素となる。ハンデルスバンケンのリスク負担に関する厳格なアプローチにより、無担保資産は非常に優良なものとなっている。ハンデルスバンケンではカバード・ボンド及びシニア債をバランスよく利用したいと考えているため、担保に供されていない住宅抵当ローンがかなりの額で存在している。その他の無担保貸出も、例えば当行の内部格付では非常にリスクが低いと評価されている。

「担保に供されていない資産」の表は、ハンデルスバンケンの担保に供されていない資産の金額が、無担保資金調達残高の210(203)%に相当することを示している。当年度末において、当行は短期の預金高を削減することを決定した。このため、過去の四半期に比べて中央銀行預け金残高が減少し、無担保資金調達残高に対する担保に供されていない資産の比率が低下している。

スタッドフィポテックのカバー・プールで構成されている担保に供された資産の大部分は、発行済カバード・ボンドの担保として供された住宅抵当ローンより構成されている。当行はまた、当該プールに8%の任意のOC(超過担保、すなわち発行済債券をカバーするために必要な担保に加えた追加資産)を加えている。これは法定要件の2%を超過している。この追加資産は、住宅抵当ローンの価値が追加資産を要する水準まで下落した場合に、発行済債券の金額と見合う様にするために存在する。

追加資産の要否を評価する場合、基本的にカバー・プールにおける住宅抵当ローンの融資比率(以下「LTV」という。)が重要になる。不動産市場における価格が下落している場合、LTVが低ければ低いほど、当該プールにより多くの住宅抵当ローンが必要になるリスクは低減される。ハンデルスバンケンのLTV(最大LTV)の平均は、スウェーデンにおいて50.0(53.6)%であり、ノルウェーにおいて53.6(56.7)%であり、フィンランドのカバー・プールにおいて48.7%であった。すなわち、当行は、住宅抵当ローンを当該プールに追加するまでもなく、該当する不動産価格の大幅な下落に対応することができる。

当行がプール外で保有することを選択した資産は「担保に供されていない資産」の表に示されており、当該資産は必要に応じてカバード・ボンドの発行に使用することができる。

2016年の中央銀行及び銀行に対する残高、並びに流動性準備金

における有価証券残高(市場価値)

(百万スウェーデン・クローネ)

	スウェーデン				
	・クローネ	ユーロ	米ドル	その他	合計
現金及び中央銀行預け金並びにその他の貸出	4,821	99,487	30,460	89,765	224,533
その他の銀行及び国債局預け金、翌日物	7,567	22	23	100	7,712
国債	70,483	6,430	12,519	-	89,432
地方債及びその他公的機関発行債	2,051	287	4,447	-	6,785
カバード・ボンド	36,631	2,108	-	10,306	49,045
自己所有カバード・ボンド	4,602	-	-	-	4,602
金融機関以外の会社が発行した証券	1	26	-	-	27
金融機関が発行した証券(カバード・ボンドを除く)	85	20	-	19	124
その他の証券	-	-	-	-	-
合計	126,241	108,380	47,449	100,190	382,260

2015年の中央銀行及び銀行に対する残高、並びに流動性準備金

における有価証券残高(市場価値)

(百万スウェーデン・クローネ)

	スウェーデン				
	・クローネ	ユーロ	米ドル	その他	合計
現金及び中央銀行預け金並びにその他の貸出	15,998	45,560	94,626	80,175	236,359
その他の銀行及び国債局預け金、翌日物	0	43	75	1,062	1,180
国債	33,915	6,900	16,933	-	57,748
地方債及びその他公的機関発行債	2,045	275	3,068	-	5,388
カバード・ボンド	35,707	2,554	-	10,521	48,782
自己所有カバード・ボンド	1,314	-	-	-	1,314
金融機関以外の会社が発行した証券	502	135	-	-	637
金融機関が発行した証券(カバード・ボンドを除く)	214	4	-	15	233
その他の証券	-	-	-	-	-
合計	89,695	55,471	114,702	91,773	351,641

担保資産及びその他の担保に供されている資産

十億スウェーデン・クローネ

	認識された金額	
	2016年	2015年
一般顧客への貸出金 ¹	663	618
国債	34	26
株式	1	1
現金	17	22
その他	125	113
合計²	840	780
その他の担保に供されている資産 ³	33	33

一般顧客への貸出金は、償却原価で計上されている。その他の担保に供されている資産は、公正価値で計上されている。担保に関連する負債の計上額は、854十億スウェーデン・クローネであった。

1) うち、カバー・プールにおける超過担保額(OC)は、61(57)十億スウェーデン・クローネである。

2) うち、当行が自由に再徴求可能な担保は、20(18)十億スウェーデン・クローネである。

3) うち、当行が自由に再徴求可能な担保は、27(22)十億スウェーデン・クローネである。

担保に供されていない資産 十億スウェーデン・クローネ	2016年		2015年	
	無担保資金調達に 対する累積		無担保資金調達に 対する累積	
	(NEA) ¹	割合、% ²	(NEA) ¹	割合、% ²
現金及び中央銀行預け金	232	28	238	28
流動性ポートフォリオにおける流動債券	150	46	114	42
個人向け貸出金(デリバティブを含む)	466		486	
うち住宅ローン	284	80	283	75
うち不動産を担保とした貸出金	11	81	14	77
うちその他個人向け貸付	171	101	189	100
法人向け貸出金(デリバティブを含む)	831		786	
うち住宅ローン	186	124	170	120
うち住宅協同組合への貸出金(住宅ローンを除く)	48	129	40	125
うち不動産会社への貸出金(住宅ローンを含む/除く)				
ーリスク・クラス1-3	260	160	238	153
ーリスク・クラス4-5	98	172	88	163
ーうちリスク・クラス5超	10	173	11	165
うちその他の法人貸出				
ーリスク・クラス1-3	144	191	150	182
ーリスク・クラス4-5	70	199	71	191
ーリスク・クラス5超	15	201	18	193
金融機関への貸出金(デリバティブを含む)	32		46	
ーリスク・クラス1-3	32	205	46	198
ーリスク・クラス3超	0	205	0	198
その他貸付	0	205	0	
その他資産	44	210	39	203
合計	1,755	210	1,709	203

1) NEA-担保負担のない資産

2) 無担保による発行済短期及び長期資金調達並びに金融機関に対する債務

担保として利用可能な受入担保 十億スウェーデン・クローネ	担保として利用可能な 受入担保の公正価値		担保に供されている 受入担保の公正価値	
	2016年	2015年	2016年	2015年
国債	12	11	1	5

株式	3	4	4	4
合計	15	15	5	9

担保を差し入れている負債及びその他のコミットメントの帳簿価額は、4(8)十億スウェーデン・クローネである。

カバー・プール・データ	スウェーデン		ノルウェー		フィンランド ¹
	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年
百万スウェーデン・クローネ					
スタッドフィポテック貸付総額（一般顧客）	983,160	936,504	79,564	66,986	50,724
カバー・プールに関して利用可能な資産	902,862	859,398	75,226	62,264	47,473
カバー・プールで使用した資産	626,458	600,025	31,269	17,701	5,193
最大LTV加重平均、ASCBの定義による ²	49.97	53.6	53.63	56.7	48.72
取引高加重LTV（LTV－中間値）	25.2	27.1	27.5	29.1	24.54

LTVの内訳

0-10%	25.5	23.5	23.4	19.6	26.8
10-20%	21.3	20.1	20.3	20.3	23.3
20-30%	17.4	16.8	16.9	17.3	20.5
30-40%	13.7	13.7	14.1	14.9	15.7
40-50%	10.2	10.8	11.2	12.1	11.2
50-60%	6.9	8	8.2	9.2	2.5
60-70%	3.9	5.4	4.8	5.5	0
70-75%	1.1	1.7	1.1	1.1	0

貸出金額、加重平均、スウェーデン・クローネ	647,500	625,700	3,673,983	3,115,226	825,096
貸出期間、加重平均、月数 ³	93	42	22	22	68

固定金利期間、内訳

変動金利%	47.2	45	100	100	100
固定金利%	52.8	55	0	0	0

1) 2016年において設定された新しいカバー・プール。

2) スウェーデン・カバード・ボンド発行者協会（Association of Swedish Covered Bond issuers）。

3) 2016年第2四半期においては、特定条件の最新の改定日ではなく、貸出金の承認日から計算されている。

オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクは、不適切な若しくは欠陥のある内部プロセス、人為的ミス、誤ったシステム、又は外部事象による損失リスクである。オペレーショナル・リスクの定義には、法的リスクも含まれている。

リスク戦略及びリスク制限

オペレーション・リスクは当行のすべての業務において避けることのできない要素ではあるが、ハンデルスバンケンのオペレーショナル・リスクに対するリスク許容度は低い。オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理に関する責任は、ハンデルスバンケンのすべての階層における管理責任の不可欠な要素となっている。当行の業務分散化は、日々の手続及び事象における潜在的な損失リスクへの備えとなるよう、費用対効果を意識した適切なオペレーショナル・リスクの管理を向上させている。業務上の誤謬及び欠陥は可能な限り削減されている。これは、小規模であるものの頻繁に発生する事象及び予想外の大きな損失をもたらす可能性のある重要事象に適用される。当行グループにおいて秩序ある管理体制に重点を置くことは、業務上のあらゆる面におけるリスクを当行の厳格なリスク制限に即した水準で維持することに貢献している。

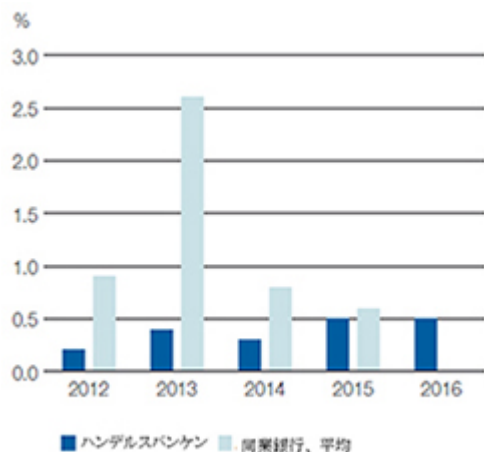
当行の事業損失が、過去に発生した損失との比較及び他行の事業損失との比較の両方において小規模にとどまるように、オペレーショナル・リスクを管理する必要がある。最高経営責任者はオペレーショナル・リスクの限度額を設定している。2016年、オペレーションによる潜在的及び実際の損失並びに回収で構成されるハンデルスバンケンのオペレーションからの損失は合計107(103)百万スウェーデン・クローネであった。オペレーションからの損失の水準が、時間の経過とともに改善する又はその他の受取補償金により調整される、あるいは過去に報告された事故に関連したその他の損失が追加されることは珍しいことではない。これにより、過去に報告された損失の比較数値が影響を受ける可能性がある。

組織体制

オペレーショナル・リスクの管理は業務において実施され、その取組みは現地及びグループ・リスクコントロールによって確認される。特別に任命された現地のオペレーショナル・リスク・コーディネーター（以下「現地オペリスク・コーディネーター」という。）は、オペレーショナル・リスクを管理する上で管理者を支援するために地域銀行、主要部門、子会社及び当行の拠点市場以外のユニットに設置されている。彼らの責任は、業務活動において既存のオペレーショナル・リスクの管理手法及び手続が使用されていることを確認することである。彼らはまた、業務活動における適切な未然防止策の実施を監督する責任がある。当行の拠点市場以外の地域銀行、主要部門、子会社及びユニットの現地リスク・コントロールは、オペレーショナル・リスク管理が適切に実施されていることを確認する。この確認は、定期的な内容確認及びオペレーショナル・リスクに関する業務評価によって行われる。

グループ・リスク・コントロールは、オペレーショナル・リスクの特定、助言、管理及び報告のために適用する方法及び手続、並びにグループ・レベルでのフォローアップに対して全般的な責任を負っている。この管理の質の向上及び維持のため、グループ・リスクコントロールは、現地オペリスク・コーディネーター及び現地リスクコントロールと定期的に緊密な連携を取っている。また、グループ・リスクコントロールは、当行グループのオペレーショナル・リスクを分析し、経営陣及び取締役会に報告する責任を負っている。

事業損失に対する出来高加重の割合^{*}



* 事業損失に関する情報を公表している同業銀行：SEB、スウェドバンク、DNB。これらの銀行は、事業損失について異なる閾値を設定している。

オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理の方法

当行は、オペレーショナル・リスクの継続的な特定、評価及び管理に対する補完措置として、事故、自己評価手続及び重要リスク指標に関する報告及び案件管理システムを有している。

事故の報告

当行グループのすべての従業員は、所属するユニットに影響を及ぼし、25,000スウェーデン・クローネを超える損失につながる事故についての事実を収集しなければならない。ユニットにおけるリスクの未然防止策を一層促すために、すべての従業員は、25,000スウェーデン・クローネよりも小さい損失が発生する事故又は一切損失が発生しない事故についても事実を収集することが奨励されている。

現地オペリスク・コーディネーターは、報告された事故を定期的に見直し、分類している。当行は、オペレーショナル・リスクを、7種類の事象に従って、以下のとおり分類している。

- ・注文等の執行、送達及びプロセスの管理
- ・事業活動の中断及びシステム障害
- ・顧客・商品及び取引慣行
- ・外部の不正
- ・有形資産に対する損傷
- ・労務慣行及び職場の安全
- ・内部の不正

自己評価手続

OPRAリスク分析

OPRAリスク分析とは、当行に影響を及ぼす可能性のあるオペレーショナル・リスクを文書化し評価するための自己評価手続である。この分析は、すべての部門において少なくとも年に一度実施される。当行の拠点市場以外のすべての地域銀行、主要ユニット、子会社及び国際ユニットのそれぞれの責任者は、この分析の実施に責任を負っている。現地オペリスク・コーディネーターは、計画及び実施に関する支援を行っている。通常、5人から8人の経験豊富で当該ユニットの全体像とリスクを把握している従業員が自己評価手続に参加する。目的は、事象の結果及び事象が発生する可能性について評価することである。影響の評価には、財政上の損失及び評判の失墜の双方が含まれる。OPRAリスク分析の基礎として重要な情報は事実及び統計であるが、ここには過年度に報告された事故、監査報告、コンプライアンス報告、事業環境における周知の外部事象、及び関連する

主なプロセスについての他部署によるOPRAリスク分析が含まれる。自己評価手続は、リスク軽減について規定される行動計画に結びついており、行動計画には、その実行方法、責任者及び措置を講じる際の期限について記載されている。当該行動計画は作業工程文書であり、現地オペリスク・コーディネーターの支援する業務によって、当年度中に定期的にフォローアップされている。現地のリスク・コントロールは、完了したOPRAリスク分析(行動計画を含む)について報告を受け、その手続を評価している。グループ・リスク・コントロールは、計画、実施及びフォローアップを行う際に現地オペレーショナル・リスク・コーディネーターを定期的に支援し、すべての現地のリスク・コントロールによる評価を年次で総括的に行っている。

主要リスク指標

主要リスク指標はオペレーショナル・リスクの増加を特定し、警告するために採用されている。現地オペレーション・リスク・コーディネーターは定期的にデータを収集し、現地の経営陣に提示している。一部の主要リスク指標はグループ・リスクコントロールが収集し、経営陣及び取締役会に提示している。リスク指標の閾値を超えた場合、担当ユニットがその影響評価及び発生確率の評価を実施し、文書化する。

IT及び情報セキュリティ内のオペレーショナル・リスク

当行の業務は、ITサービスが利用可能であること、及びそのセキュリティを条件としている。この領域のオペレーショナル・リスクは、当行の他の手続きと同様のものに加えて、対象となる領域における特定の種類のリスクを管理するための特別な手続に従って管理されている。特別な手続には、例えば以下のものが含まれる。

- ・ITプロダクションの監視
- ・IT事故の管理
- ・サイバー脅威に関するビジネス・インテリジェンス
- ・ITセキュリティの事故に対処するためのオンコール対策
- ・不正への対策
- ・取引の監視

新商品及びサービス

当行は、新商品及びサービス並びに既存の商品及びサービスへの重要な変更を処理する際、慎重に行っている。商品に関する責任を有する各事業分野、子会社及び地域銀行は、中央ガイドラインに従って新商品の処理を行う。新商品の導入可能な方法については所定の手続きがあり、現地のリスク・コントロールの指導の下、商品の販売開始前に必ずリスク分析が行われる。当該分析は、オペレーショナル・リスクを含む、当行及び顧客に対するリスクを考慮している。複雑な案件、又は他の理由により適切な場合には、グループ・リスクコントロールが関与する。

重要プロセス

当行は、当行の業務に必要な重要プロセスを特定し、文書化している。当行の重要プロセスの一覧は定期的に見直され、改定される。リスク分析は年次で実施され、また、重要プロセスに変更がある場合にも行われる。

緊急時対応計画及び事業継続計画

深刻な混乱状況への対応のため、当行グループのすべての部署に緊急時対応計画及び事業継続計画が設定されている。事業継続計画は組織単位、ITシステム、重要プロセスについて策定されている。緊急時対応計画は、危機的状況及びその影響に対して迅速かつ組織的な対応を開始するために、危機管理チームを支援するものである。当行グループ全体では中央危機管理チームが存在し、当行の拠点市場以外の各地域銀行、子会社及び国際ユニットには現地の危機管理チームが存在し、グループ・リスクコントロール、グループIT部門、グループ・ファイナンス、スウェーデン及び英国のナショナル組織並びにハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットにおいても危機管理チームが存在する。

グループ危機管理チームには常勤職員がおり、主要経営陣又は経営陣に近いメンバーで構成される。グループ危機管理チームの役割は、当行グループで重大な危機が発生した際に危機管理チーム間の連絡窓口となることであり、深刻な危機の際には現地の危機管理チームの作業を支援し、中央部門の中心となる危機管理チーム

として機能することである。事業継続計画は、事業部門の重大な混乱を最小限にとどめるために予防的措置を講じることに重点的に取り組んでいる。現地リスク・コントロールは、この手続を年次で評価している。その後、グループ・リスク・コントロールは、当行グループ全体レベルでの評価を実施している。

ハンデルスバンケンのオペレーショナル・リスク管理及びコントロール



組織改革

当行は事業活動及び／又は組織改革に関する指示書を有している。これらの指示書には、主要事業及び／又は組織改革において意思決定手続を定める必要があること、又、そのプロセスにおける様々な部署の責任を明記する必要があることが記載されている。事業／組織改革に関する意思決定を行う前には、リスク分析を実施しなければならない。また、決定事項及び意思決定について文書化する必要がある。

ORX

当行はORX（オペレーショナル・リスクデータ・エクスチェンジ・アソシエーション）のメンバーである。ORXの主要目的は、事業損失につながる事故に関する匿名データの交換に銀行を参加させることである。ORXはまた、オペレーショナル・リスクに関するデータの品質の標準化及び確保においても重要な機能を果たしている。オペレーショナル・リスクに関する手法については幅広い調査が行われており、ORXは重要な情報交換の場となっている。

保険事業におけるリスク

保険事業におけるリスクは、主として、市場リスク及び保険リスクより構成されている。

市場リスク

ハンデルスバンケン・リヴは、従来型保険契約、ユニットリンク保険契約及びポートフォリオ・ボンド保険契約等の生命保険事業を行っている。ユニットリンク保険契約及びポートフォリオ・ボンド保険契約では、顧客が投資オプションを選択し、市場リスクを負担する。利息保証のある従来型保険において、ハンデルスバンケン・リヴは、保険契約の条件に付随する金融保証の履行リスクを負担している。

当該金融保証では、特定の時点で保険契約の価値が保険の保証価値を下回る結果が生じた場合に、会社が資本拠出することを意味する。資本拠出は年度末又は保険事象が存在する場合に実施される。

ハンデルスバンケン・リヴの取締役会は、年次投資方針を設定している。この方針は、従来型保険契約に関連する会社の投資資産の割当について規定した最終的な管理文書である。投資に関する方針の目的は、契約の引受並びにスウェーデン保険業法で定められた法定要件及びスウェーデン金融監督庁の適用規則を考慮して、資産を投資する方法について指示することにある。

ハンデルスバンケン・リヴは、厳格なリスク基準を設けている。資産運用の目的は、保険契約者に対して会社の義務を果たすことにある。

ハンデルスバンケン・リヴにおける市場リスクは、従来型保険契約に関する投資資産の管理において生じている他、会社の保証債務の評価が金利変動に対して敏感になっているという事実から生じている。

ハンデルスバンケン・リヴにおける市場リスク合計は、99.5%の信頼水準を有するVaRを用いて、保有期間を3ヶ月として算定されている。さらに法定要件に従って、会社のソルベンシーマージン比率、リスク管理の体制（いわゆる、交通信号モデル）及び負債のカバー状況の確認が行われている。ハンデルスバンケン・リヴが用いている市場リスク管理モデルは、将来の保証金額の現在価値の増加による会社レベルでの資本拠出リスクとともに、保険契約レベルでの資本拠出リスクを加重している。市場リスクは、市場の混乱に対する資本拠出の全体的な感応度に関して測定される。当該リスク・エクスポージャーは、ハンデルスバンケンの取締役会が規定した限度額に対して、日次で確認される。保険契約者に対する拠出額とソルベンシーによる拠出額のうち、大きい方がリスクの構成要素となっている。金融リスクのサブ・カテゴリーとしては、金利リスク、株価リスク、信用リスク、不動産リスク及び為替リスクがある。ハンデルスバンケン・リヴの主なリスクは、金利リスクである。年度末現在、VaRは785(819)百万スウェーデン・クローネであった。

保険事業における流動性リスクは、支払期限到来時に当社が支払義務を履行することができないか、あるいは当社が妥当な価格で有価証券を売却できないリスクである。当該リスクは、投資資産のほとんどが流動性の高い上場有価証券に投資されているため限定的である。

保険リスク

保険会社は、将来の保険事象に係る費用の規模に関する仮定に基づいて保険料を設定している。保険リスクとは、実際の保険費用と想定された保険費用が異なるリスクである。最終的な管理文書は、保険会社の取締役会が策定している保険リスク方針である。ハンデルスバンケン・リヴにおける保険リスクは、以下の事象に関連している。

- ・死亡－被保険者の死亡時に保険金受取人に支払われる。
- ・余命－被保険者の生存に応じた支払い、例えば年金支給等に応じて支払われる。
- ・疾病－病気又は就業不能の際に支払われる。
- ・事故－事故の際に支払われる。

保険契約は、これら4つの事象に対する付保の組合せを含む場合がある。

ハンデルスバンケン・リヴの保険契約は、小規模企業及び個人顧客によって締結されている。ほとんどの契約がスウェーデンで締結されているという点を除いて、保険リスクに関しては、リスクの集中は発生していない。

スウェーデンにおける平均余命の伸びは、保険会社の将来的な債務に影響を及ぼす。その影響は、死亡保険に関してはプラスの影響を及ぼすものの、生命保険に関してはマイナスの影響を及ぼす。これは、なぜなら、平均余命が伸びることによって、より長期にわたって年金支払を行わなければならないからである。2015年、ハンデルスバンケン・リヴは、業界標準であるDUS14に基づいた余命の仮定の使用を開始して、自社ポートフォリオの死亡率を観察した。死亡率の低下が続き、全般的に会社の仮定を10%下回った場合、長寿リスクのある一部のポートフォリオに対する見積増分費用の現在価値は、77(67)百万スウェーデン・クローネであった。但し、死亡リスクのあるハンデルスバンケン・リヴの生命保険契約のほとんどは年次で価格設定される。これは、会社が最終的に毎年、保険料を変更できることを意味している。したがって、不適切な死亡率の仮定は迅速に変更することができる。

疾病率は、死亡率よりも頻繁に変動するため、リスク結果の変動につながる可能性がある。したがって、疾病率に関する結果は、適用する仮定に対して、実際に何人の被保険者が病気にかかり、何人が回復するかによって変わる。疾病障害保険商品は、一般的に毎年保険料が変動する方法で設計されているため、会社は疾病率の変動に対する埋め合わせをすることができる。2016年における疾病率の実績は133(53)百万スウェーデン・

クローネであり、このうち83百万スウェーデン・クローネは清算の仮定並びに疾病及びIBNR（既発生未報告）準備金の計算方法に関連した最新手法に関するものである。また、この実績のうち、15百万スウェーデン・クローネは当年度中に発生した疾病に関するもの、27百万スウェーデン・クローネは既存案件の清算に関するもの、残りの8百万スウェーデン・クローネは既発生未報告の疾病に関するものであり、疾病案件の支払もある。

保険事業では、保険市場及び保険リスク並びにオペレーショナル・リスクについて、保険会社の取締役会及び最高経営責任者、グループ・リスクコントロール、並びに当行の最高財務責任者及び最高経営責任者に対するアドバイザーとして活動する当行のリスク委員会に報告される。また、リスクの状況についても定期的に当行の取締役会に報告される。

コンプライアンス・リスク

コンプライアンス・リスクとは、当行が法令、規制及び内部規則、又は認められている事業慣行若しくは基準を遵守しないリスクである。

ハンデルスバンケン・グループは、適切な管理体制、倫理基準並びに法規制への遵守に関して高い目標を掲げている。コンプライアンス方針において、ハンデルスバンケンの中央委員会は「当行のコンプライアンス・リスクに対するリスク許容度は低く、当行は可能な限りそうしたリスクの防止に努める必要がある。」と定めている。この目的は、当行グループの業務において規制違反が発生しないようにするためにコンプライアンス・リスクを特定して管理することにある。

コンプライアンス・リスクが適切に管理されない場合、オペレーショナル及び法的リスク、レピュテーション・リスク並びに監督当局による介入リスクが増大する可能性がある。コンプライアンス業務では、コンプライアンス・リスクを特定し、それらのリスクを管理するために必要な措置を講じることを目指している。

金融機関のガバナンス、リスク管理及びコントロールに関するスウェーデン金融監督庁の規定及び一般指針（FFFS 2014年第1号）、内部ガバナンスに関するユーロ銀行協会の指針（GL44）並びにMiFID（金融商品市場指令）のコンプライアンス機能要件の特定の側面に関する欧州証券市場監督局のガイドラインでは、規制当局がどのようにコンプライアンス機能を設定すべきと考えているか、及び金融機関がコンプライアンス問題への取組みをどのように実施すべきかについて指針を定めている。バーゼル委員会の「コンプライアンス及び銀行のコンプライアンス機能」もまた、銀行のコンプライアンス部門をどのように構築すべきかについてのガイドラインを提供している。ハンデルスバンケンは、その方針、指針及びインストラクションを通じてこの取組を実施している。

組織体制

ハンデルスバンケンのコンプライアンス機能は、あらゆる事業分野、地域銀行及び中央部門並びにハンデルスバンケンが事業を行っているすべての国において、中央のコンプライアンス部門（以下「グループ・コンプライアンス部門」という。）及び現地のコンプライアンス担当役員又は部門（以下「現地コンプライアンス部門」という。）として組織されている。

責任

コンプライアンスはハンデルスバンケンの事業に不可欠であり、グループすべての管理者及び従業員に責任がある。コンプライアンス部門の責任は、重要なコンプライアンス・リスクの特定及び評価、当行の認可事業に適用される法律、規制及びその他の規定に関する遵守義務の履行方法に関する定期的な管理及び評価の実施、当行ユニットに対するコンプライアンス関連の支援及び助言の提供、及びコンプライアンス並びにコンプライアンス・リスクに関する経営陣及び取締役会への報告である。グループ・コンプライアンス部門はハンデルスバンケンのあらゆるコンプライアンス業務について機能面の責任を担っている。現地コンプライアンス部門は各ユニットの運用面の責任を担っている。

現地のコンプライアンス機能は、適切な独立性並びに十分な量及び質のあるリソースを備えているかを評価するために、グループ・コンプライアンス部門によって査定される。

リスク・ベースのコンプライアンス業務

コンプライアンス部門のリスク・ベースによる業務は、規制の特定、優先順位付けに関するリスク分析、支援・助言業務、並びに管理、コンプライアンス・リスクの特定及び報告に基づいた仕組みに従っている。ハンデルスバンケンのコンプライアンス・リスクを評価するために、「低」、「中」及び「高」という3段階レベルの評価尺度が用いられる。この評価は、ブランドに対する制裁、損失又は損害リスクに基づいている。最高コンプライアンス責任者は、特定されたコンプライアンス・リスク及び講じる措置を四半期毎に最高経営責任者に、6ヶ月毎に取締役会のリスク委員会に、1年毎に取締役会に報告する。

コンプライアンス・リスク

2016年、いくつかのコンプライアンス・リスクが高いことが報告され、それらのリスクを許容可能な水準まで軽減するための緊急措置を講じることとなった。2016年における最も高いリスクは当行がマネーロンダリング又はテロリズムへの資金供与に利用されるリスクであった。この領域における当行グループのリスク及びコンプライアンスの適切な管理を確保するために大規模なプロジェクトが進行中である。

投資アドバイス及び保険の仲介に関するより包括的且つ詳細な規制は、ハンデルスバンケン及び銀行制度全体に対するコンプライアンス・リスクとなっている。当行はこのリスクを管理するために様々な方策を講じている。アドバイザリー・サービスに関して新しいサポート・システムが導入され、包括的な社内研修の実施、アドバイスの提供に関する内部統制の強化が実施されている。この領域においては、アドバイザーに対するサポートをさらに改善し、近日予定されている規制の適用に先立ち、そのプロセスを確立するためのプロジェクトが進行中である。

資産査定及び内部格付手法（IRB）の枠組みにおいて、スウェーデンの監督当局及び国際監督当局から問題が提起されたが、主にハンデルスバンケンの分散化されたエキスパートモデルにおいて実施されているリスク分類が外部の者により複製される可能性に関するものであった。そのため、この領域におけるコンプライアンス・リスクはより高いとみなされた。当年度において、当行が追加要件に準拠しつつエキスパートベースによる手法の継続が可能であることを確認するための、研修及び新しいサポートインストラクションの編成という形で複数の措置が講じられた。

当行及び銀行部門全体に対する潜在的リスクとなる別の領域は、データの品質である。当行はリスク管理に関して完全な情報を有しているとは見なしているが、将来的に、様々な規模でのデータの自動集計に関する新規制は非常に厳格なものになる。新規制の施行の際のこの領域におけるコンプライアンスを確保するために、大規模な社内プロジェクトが現在進行中である。

コンプライアンス業務プロセス



報酬制度におけるリスク

報酬リスクは、報酬制度によって生じる損失又はその他の損害のリスクである。

給与に関するハンデルスバンケンの方針は、当行の競争力及び収益性を増加させ、当行がスキルの高いスタッフを雇用し、定着させ、育成することを可能にし、能力開発及び後継者育成を可能にすることを目的としている。当行における健全かつ長期的な収益性及び実績により、当行の従業員にとって安定的、かつ盤石な給与基盤が創出されている。

業務に対する報酬は、従業員毎に個別に設定され、固定給、諸手当及び年金の形態で支払われる。ハンデルスバンケンでは、給与は現地水準で設定される。給与は、従業員と直属のマネージャーとの間で行われる給与の見直しを経て設定される。これらの原則は何年もの間、適用されている。ここでは、あらゆる階層のマネージャーが定期的に給与プロセスに参加し、当行の給与方針に対する責任を持ち、各自の部門のスタッフ費用の増加に責任を持つことを意味している。給与は、あらかじめ設定された給与の決定要素に基づいて決定されている。すなわち、給与の決定要素とは業務内容及び難易度、スキル、実績及び成果、指導力(従業員のキャリア形成に対する責任を担っているマネージャーの場合)、市場の需給関係、並びに当行の企業カルチャーの代表者としての役割である。ハンデルスバンケンが適切に設計された報酬制度を確立できるように、報酬制度のリスクは、他の種類のリスクと同様の責任分担で個別のリスク区分として管理されている。ハンデルスバンクンの報酬リスクについての許容度は低く、報酬リスクを低水準に抑えるために積極的に活動している。これを達成する方法の1つとして、変動報酬の利用を限られた範囲に限定する。変動報酬が存在する場合、繰延払になるという規定となっている。

組織及び責任

2016年、変動報酬を稼得できた229(239)名の従業員は、79(91)百万スウェーデン・クローネの変動報酬を受けた。この金額は給与合計額のごく一部に相当し、変動報酬を受け取る従業員の数も従業員の合計数のごく一部にすぎない。当行の従業員報酬に対する基本方針は、長年にわたり確立されたものである。当行の報酬制度の基本方針は、取締役会で決定される報酬方針において規定されている。より詳細にわたる実施指令は、最高経営責任者が決定している。報酬リスクの特定及び管理責任は、その業務の責任者である各マネージャーにある。現地のリスク・コントロールは、意図されたとおりに報酬制度が適用されているかどうかについて定期的に監視している。グループ・リスクコントロールは、報酬方針が取締役会で協議され、決定される前に報酬方針及び報酬制度に関連するリスクを分析する責任を担っている。これは、少なくとも年1回行われる。報告の際には、インセンティブの構成、固定給と変動報酬のバランス、繰延規定及び自己資本への影響等の要因の分析が行われる。さらにグループ・リスクコントロールは、報酬制度の適用についても評価している。当該リス

ク分析及び評価に基づき、報酬制度が当行の財政状態を脅かす可能性のある方法で整備されているかについても評価が行われる。変動報酬の計算に関するデータについては、現在及び将来のリスクの評価に基づきリスク調整を行う必要がある。

報酬制度におけるリスク

ハンデルスバンケンの報奨方針及び報酬制度におけるリスクは低く、過剰なリスク負担を是正し、健全かつ効果的なリスク管理を促進するとみなされている。このようなリスク管理は、当行の低いリスク許容度に適合しており、当行の長期的な利益を支援するとみなされている。当該報酬制度は、変動報酬の支払が強制されることによって当行の自己資本が弱体化するリスクのない方法で整備されている。変動報酬は、全体又は部分的に減額可能である。

当行の報酬制度に関する詳細情報及び統計に関しては、コーポレート・ガバナンス・レポート及び年次報告書の注記G8を参照のこと。

変動報酬	2016年	2015年
変動報酬稼得額 ¹ （百万スウェーデン・クローネ）	79	91
給与及び報酬（百万スウェーデン・クローネ）	8,103	7,986
変動報酬を稼得できる人数 ²	229	239
平均従業員数	11,759	11,819
給与及び報酬に占める変動報酬稼得額の割合（％）	1.0	1.1
平均従業員数に占める変動報酬を稼得できる人数の割合（％）	1.9	2.0

1) 変動報酬はすべて現金で支払われる。これらの金額は社会保障費を除いたものである。これらの金額は年次報告書の公表後に決定される。

2) 変動報酬を割り当てられる人数は年次報告書の公表後に決定される。2015年に変動報酬を稼得できた239人のうち、182人が割当を受けた。

経済資本

ハンデルスバンケンの経済資本算定モデルは、当行グループ全体のリスクに対する1つの尺度を提供している。また、当該モデルは、資本が予想外の損失又は価値の下落を補填できる可能性が非常に高いことを示している。

グループ・リスク・コントロールは、当行グループの様々なリスクについて総合的に監視する責任を有している。当行の経済資本（以下「EC」という。）モデルは、当該監視における手段である。このモデルは、四半期ごとに取締役会に報告される当行の所要自己資本評価の一部でもある。この評価の目的は、当行グループが、当行グループのすべてのリスクに関連して、十分な資本を常に保有しておくことを確実にすることである。当行グループの見解では、経済資本は、保険事業におけるリスク及び当行の年金債務におけるリスクも含んでいる。

経済資本は、1年間の対象期間にわたって、容認可能なリスク水準及び望ましい格付を反映した信頼水準で計算される。取締役会は、ECの算定を当行にとって極端に不利な事象を取り込み、99.97%の信頼水準で行われなければならないと決定している。ECは平均的な年(収益があり当行の資産価値が増加する年)における結果と99.97%の信頼水準での結果との差額である。

異なるリスク区分間への分散効果は、ECを算定する際に考慮されている。リスクの一部が相互に独立しているため、リスク全体に対する所要自己資本は、個別リスクに対する経済資本の合計を下回る。

負の結果を吸収できるバッファを形成している資本及びその他の財源は、利用可能な財源(以下「AFR」という。)と呼ばれる。AFRは、オン・バランスシート及びオフ・バランスシートのその他の財務的価値の他に、1年間の対象期間にわたって損失をカバーするために利用可能なハンデルスバンケンの資本である。

当行グループは、株主の観点からのリスク管理及び資本管理を採用している。経済資本モデルは当行グループの全体的な見解を示すものであり、これにより株主から見たリスク及び資本の状態を最適化することができる。計算結果は新規取引又は構造上の変更が検討される場合に重要な役割を果たしている。

信用リスクは、当行グループのすべての取引相手及びエクスポージャーに対する債務不履行のシミュレーション結果を用いて算定される。

市場リスクは、トレーディング勘定に分類されている資産のリスク、銀行業務における金利リスク、保険事業における市場リスク及び他の業務の投資ポートフォリオにおけるリスクより構成されている。

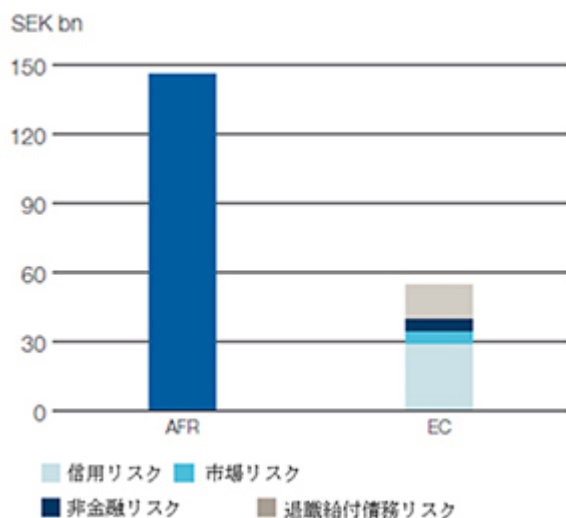
年金債務におけるリスクは、主として、当行の年金債務を引き受けるために保有する資産の価値の減少リスクより構成されている。年金債務のほとんどはスウェーデンにおけるものであり、年金基金において保証され、職業年金基金において保険がかけられている。

非金融リスクは、オペレーショナル・リスク、事業リスク、不動産リスク及び保険リスクである。事業リスクは、各事業分野における財務成績の予想外の変動に関連している。例えば、事業リスクは、需要又は競争環境が予想外に変化し、結果として取引高の低下及び利鞘の縮小につながってしまったために生じる可能性がある。不動産リスクは、当行が所有している不動産価値の下落のリスクである。

当年度末において、ECは54.2(56.7)十億スウェーデン・クローネであり、このうち信用リスクが全リスクの重要な部分を占めていた。取締役会は、AFR/EC比率は最低、120%とすると規定している。当年度末における比率は、269(228)%であり、当行がリスク全般に関して十分な資本を準備していることを示している。スウェーデン金融監督庁は、当行の資本評価全般について、同じ結論に至っている。

報告されたリスク及び資本状態は、リスクの算定に景気変動に対する保守主義的な余裕率が含まれているとはいえ、あくまでも断片的なものである。当行グループの自己資本比率の最終評価を実施するに当たっては、当行の資本計画の一環として実行されたストレス及びシナリオ分析も考慮されなければならない。

2016年における分散化を含むAFR及びEC合計



資本計画

ハンデルスバンケンの資本計画は、当行グループの適切な額の財源を常に利用可能な状態にするとともに最適な資本を構成することを目的としている。

所要自己資本は、当行グループのリスク、予想される進展、規制、目標比率、ハンデルスバンケンの経済資本モデル及びストレステストの関数である。当行の所要自己資本は週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に報告され、少なくとも四半期毎に取締役会に報告される。

当行には、積極的な資本計画の一環として、当行が資本状況を改善する必要がある場合に講じることができる具体的な対策を盛り込んだ危機管理計画及び行動計画がある。危機管理計画及び行動計画の目的は、早い段階で潜在的な脅威を特定し、当行グループが必要に応じて迅速に行動する準備をするための警告システムを確保することにある。

長期資本計画は、少なくとも毎年策定され、当行グループの現在の資本状況、予想される資本効率及び様々なシナリオにおける結果についての包括的な概要を提示することを目的に策定されている。これらのシナリオは、予想される事象とは大きく異なるように作成されているため、当行グループの厳格なリスク許容度と調和している。資本計画にはまた、規制上の見解及び株主の見解の双方を考慮し、極端に不利な事業環境において十分な資本水準を維持する方法についての提案も含まれている。

資本計画は、短期及び中長期的な予測に分けられている。資本計画の一部は最大2年後までの短期予測より構成されており、主に現状の業績と所要自己資本の分析に重点を置いている。当該予測は、自己資本の規模及び構成を継続的に調整可能にするために必要である。

資本計画は、取引高、リスク及び業績変動についての継続的な分析を通じて、また所要自己資本及び資本金額に影響を及ぼす可能性のある事象を監視することによって実行される。短期予測には、当行グループの自己資本を構成するすべてのサブ・コンポーネントが含まれており、資本要件には、規制上の最低資本要件及びバッファに加え、規制上の第二の柱が含まれている。当該作業にはまた、短期的な視点から自己資本比率及び自己資本において予想される変動についての様々な感応度分析を行うことも含まれている。したがって、当行は、例えば市場操作を通じて、必要に応じて自己資本の規模及び構成を変更する準備を整えることができる。

短期分析の結果は、実施される資本運営の基礎を形成しており、週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に報告され、必要に応じて取締役会に報告される。当該分析は、既存の収益能力が取引高の様々な変動にいかに対処できるか、及び資本運営から生じる可能性のある影響についての近い将来における判断のポイントを伴った慎重な基本シナリオに基づくものである。

中長期的な予測より構成される資本計画の一部は、法定自己資本比率に確実に準拠することを目的としており、当行グループの利用可能な財源（以下「AFR」という。）が、経済資本モデルに従って計算されたすべてのリスクに関する適切な余裕率を常にカバーすることを目的としている。

また、長期的な予測にはその期間にわたる当行の全体的な資本の推移、最低資本要件、結合バッファ要件及び第二の柱の要件の評価が含まれる。その目的は、業績を予測することであり、様々なシナリオにおける当行の耐久力が十分な水準にあるか否か判断することである。計画期間は最低5年間で、当行グループの事業の業績傾向全般を考慮に入れている。

基本シナリオは、長期的な資本予測の基礎を形成している。当該シナリオは利益、取引高の増加、貸倒損失等財政上の仮定並びに株式市場、不動産市場及び債券市場に関する今後5年間の予想される業績より取得されている。基本シナリオは、その後、いくつかの景気循環及び危機シナリオにおける結果と比較される。ストレス・シナリオは、金融市場における異なるマクロ経済変数の影響と歴史的な関連との分析に従って策定され、ハンデルスバンケンに最も不利な影響をもたらすと予想されるシナリオを用いて選定される。

2016年度末現在の普通株式等Tier 1資本比率は、25.1(21.2)%であった。同日現在のAFR/EC比率は、269(228)%であった。したがって、AFRは、所要自己資本(EC)評価額を上回る程の非常に十分な余裕をもって計上されている。

さらに、当行の強みは、将来を見据えた様々なストレス・シナリオで実施することに重点を置いており、ハンデルスバンケンの長期的な資本状況が財政上及び規制上の観点から非常に安定していることを示している。

資本計画はまた、規制の進展のモニタリング及び新規要件による影響及び所要額を評価する。例えば、この枠組みにおいて、適用が予定されている「破綻時における自己資本及び適格負債に関する最低要件（MREL）」に基づき、所要額見積りが行われる。

規制資本に関する当行グループの目標

取締役会は、継続的に当行の資本構成に関する目標を設定している。規制資本の状況に関する所要自己資本評価の基礎は、当行の状況（長期及び短期の両方を含む）に関するストレス及びシナリオ分析である。使用するシナリオは、主に当行の内部的なリスク許容度並びに規制及びその他の公的機関による規定に由来する直接的な要件に基づいている。所要自己資本に関する内部評価に加えて、スウェーデン金融監督庁は、銀行による内部的な算定数値にかかわらず、スウェーデンの銀行の目標数値が当局の計算した所要自己資本の総額を下回ってはならないことを通知した。当行は、規制資本に関する目標数値を設定する際には、このことを考慮している。

取締役会の決定では、現行の規制の枠組みに基づく当行のガバナンスに最も適した測定数値である普通株式等Tier 1資本比率は、通常の状況下では、スウェーデン金融監督庁が当行に通知した普通株式等Tier 1資本比率よりも1パーセンテージ・ポイントから3パーセンテージ・ポイント上回っていないなければならない。その他の自己資本の階層(Tier 1自己資本比率及び総資本比率)は、それぞれの自己資本の階層についてスウェーデン金融監督庁が当行に通知した比率よりも少なくとも1パーセンテージ・ポイント上回っていないなければならない。

2016年11月、スウェーデン金融監督庁は、2016年第3四半期末現在におけるハンデルスバンケンの普通株式等Tier 1資本所要額の合計は98.8十億スウェーデン・クローネであり、普通株式等Tier 1資本比率21.3%に相当すると評価したことをハンデルスバンケンに通知した。

[次へ](#)

注記G3 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
利息収益		
金融機関及び中央銀行への貸出金	1,422	1,356
一般顧客への貸出金	39,333	41,963
中央銀行への担保として適格な利付証券	229	651
社債及びその他の利付証券	783	915
デリバティブ商品	-2,629	-2,386
その他利息収益	1,317	1,377
利息収益合計	40,455	43,876
うち、金融取引による純損益に計上された利息収益	505	824
損益計算書に計上された利息収益	39,950	43,052
利息費用		
金融機関及び中央銀行からの預り金	-1,086	-908
一般顧客からの預金及び借入金	-1,423	-1,881
発行済証券	-17,740	-18,166
デリバティブ商品	10,771	8,364
劣後負債	-1,534	-1,695
その他利息費用	-1,579	-1,574
利息費用合計	-12,591	-15,860
うち、金融取引による純損益に計上された利息費用	-584	-548
	-12,007	-15,312
純利息収益	27,943	27,740

減損貸出金に係る利息収益80(107)百万スウェーデン・クローネを含む。償却原価で計上される資産及び売却可能資産に係る利息収益は、合計42,172(44,808)百万スウェーデン・クローネであった。償却原価で計上される負債に係る利息費用は、合計22,778(23,676)百万スウェーデン・クローネであった。

注記G4 純手数料及びコミッション収益

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
仲介及びその他証券コミッション	916	1,071
ミューチュアル・ファンド	3,023	2,987
カストディ及びその他資産管理手数料	623	600
アドバイザリーサービス	317	326
保険	634	639

支払	3,185	3,364
貸出金及び預金	1,172	1,096
保証	422	421
その他	488	471
手数料及びコミッション収益合計	10,780	10,975
証券	-260	-244
支払	-1,289	-1,337
その他	-75	-74
手数料及びコミッション費用合計	-1,624	-1,655
純手数料及びコミッション収益	9,156	9,320

注記G5 金融取引による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
トレーディング、デリバティブ、為替換算等による影響	832	1,965
損益に公正価値で計上されるその他の金融商品	466	-497
うち、利付証券	502	-401
うち、貸出金	-36	-96
償却原価で計上される金融商品	182	53
うち、貸出金	446	482
うち、負債	-264	-429
売却可能金融商品	1,689	1,203
ヘッジ会計		
公正価値ヘッジ	-8	-53
うち、ヘッジ手段	-47	38
うち、ヘッジ対象	39	-91
キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分	5	32
在外営業活動体の純投資ヘッジの非有効部分	-	-
アンバンドル型の保険契約に係る損益	-100	-95
合計	3,066	2,608

トレーディング、デリバティブ、為替換算等による影響

この項目には、主にトレーディング目的で保有する金融資産及び負債に係る市場価値及び金利並びに配当の未実現分及び実現分の変動並びに配当が含まれる。

損益に公正価値で計上されるその他の金融商品

この項目には、当初認識時に損益計算書を通じて公正価値で評価するものとして分類された商品の未実現及び実現価値の変動が含まれる^{*}。これらの商品の未実現価値の変動は、金利及び通貨の影響並びに信用リスクの

変動の影響より構成される。当初認識時からの貸出金の信用リスクの変動による累積変動額として損益計算書に計上された公正価値の変動額は、1(2)百万スウェーデン・クローネである。

償却原価で計上される金融商品

この項目には、貸出金が繰上償還される場合に生じるキャピタルゲイン/ロス、及び当行が発行した自己株式の買戻しによって生じたキャピタルゲイン/ロスが含まれる。

売却可能金融商品

この項目には、売却可能として分類された金融資産の実現損益が含まれる。これらの資産からの利息収益は、純利息収益に計上されており、配当金はその他配当収益に計上されている。

ヘッジ会計

「公正価値ヘッジ」には、公正価値ヘッジの対象である金融資産及び負債のヘッジ手段及びヘッジ対象リスクの構成要素の公正価値の実現及び未実現変動に係る純損益が含まれる。これらのヘッジ手段によって生じる利息収益及び利息費用は、純利息収益に計上される。キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段の価値変動が、ヘッジ対象となる将来キャッシュ・フローの価値変動を上回る場合、「キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分」に計上される。在外営業活動体への純投資ヘッジの非有効部分の損益に関する影響は、「在外営業活動体の純投資ヘッジの非有効部分」に計上される。

アンバンドル型の保険契約に係る損益

「アンバンドル型の保険契約に係る損益」は、アンバンドル型の保険契約の金融要素に係る保証利回りを計算する際に生じた損益に相当する。

*) 当行グループの保険事業の投資資産である金融商品によって生じた価値変動は、この項目には含まれていないが、代わりに純手数料及びコミッション収益に含まれている。

注記G6 保険リスク

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
保険料収入	475	499
支払保険金	-385	-376
未払保険金の変動	100	11
その他	-48	23
合計	142	157

注記G7 その他収益

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
賃料収入	34	33
その他営業収益	169	180
合計	203	213

注記G8 人件費

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
給与及び報酬	-8,103	-7,986
社会保障費	-1,922	-1,874
年金費用 ¹	-1,579	-1,360
利益分配財団に対する拠出	-	-858
その他人件費	-938	-503
合計	-12,542	-12,581

1) 年金費用の構成要素は、年金費用の表において示されている。

給与及び報酬

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
執行役員 ²	-140	-150
その他	-7,963	-7,836
合計	-8,103	-7,986

2) 親会社の業務執行取締役及び取締役並びに子会社の最高経営責任者、副社長及び取締役（平均で55人）。

男女別分布	2016年		2015年	
%	男性	女性	男性	女性
執行役員（取締役を除く）	62	38	67	33
うち親会社	69	31	79	21
うち子会社	58	42	54	46
取締役	66	34	73	27
うち親会社	50	50	67	33
うち子会社	67	33	74	26

平均従業員数	2016年	男性	女性	2015年	男性	女性
スウェーデン	7,046	3,305	3,741	7,263	3,410	3,853
英国	2,069	1,212	857	1,904	1,129	775
ノルウェー	753	410	343	766	420	346
デンマーク	673	340	333	690	361	329
フィンランド	613	252	361	614	258	356
米国	67	43	24	71	46	25
オランダ	218	150	68	170	109	61
ルクセンブルグ	57	35	22	62	36	26
ドイツ	45	23	22	53	30	23
中国	73	26	47	72	29	43
ポーランド	41	15	26	42	16	26
シンガポール	39	11	28	39	12	27
その他諸国	65	23	42	73	27	46

合計	11,759	5,845	5,914	11,819	5,883	5,936

百万ユーロを超える報酬³

(人)	2016年	2015年
1.0-1.5百万ユーロ	5	4
1.5-2.0百万ユーロ	1	1
2.0-2.5百万ユーロ	-	-
2.5百万ユーロ超	-	-
合計	6	5

3) 年金及びその他の給与手当を含む。

従業員給付

ハンデルスバンケン・グループのすべての従業員への報酬に関する方針についての詳細な情報は、コーポレート・ガバナンス・レポートの57ページから58ページ(訳注：ハンデルスバンケンの2016年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。)に記載されている。

2016年に、ハンデルスバンケンは、2017年1月1日付で発効の欧州銀行監督機構の新ガイドラインによる新しい報酬方針を適用した。この新報酬方針により、当行のリスク・プロファイルへの影響が大きい活動を行う従業員(当行では、「特定職員」として指定されている)を特定する際の当行の分析基準が変更された。この2016年の分析により、2016年12月31日現在の当行の特定職員は1,240人であり、2015年12月31日現在では8,101人であった。スウェーデン金融監督庁指令FFFS 2011年第1号の開示要件に準拠したハンデルスバンケン・グループの特定職員に対する報酬が次表に記載されている。比較数値は、新しい報酬方針の適用を仮定した2015年の特定職員を記載している。

ハンデルスバンケン、オクトゴーネン利益分配制度に2016年度の割り当てをしなかった。2015年度には858百万スウェーデン・クローネが割り当てられた。2015年度の割当金額は、2016年に取締役会によって設定され、社会保障費控除後で、スウェーデンの常勤従業員1名当たり59,863スウェーデン・クローネに相当する。

執行役員に対する報酬

親会社の執行役員は、グループ最高経営責任者(CEO)、他の業務執行取締役、及び取締役であり、60ページから63ページ(訳注：ハンデルスバンケンの2016年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。)に記載されている。親会社の執行役員に対する報酬は、2016年年次株主総会(AGM)で設定された報酬に関するガイドラインに従っている。57ページから58ページ(訳注：ハンデルスバンケンの2016年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。)も参照のこと。

ハンデルスバンケンの執行役員に対する報酬、年金債務及び与信並びに預り金は、子会社の最高経営責任者、副社長及び取締役に関するページに記載されている。

ハンデルスバンケン・グループの執行役員に対する報酬は固定給及び年金給付の形式のみで支給されるが、社用車等の慣習的な給付もある。取締役会の特別決議の承認があれば、当行は報酬の一部として住宅を提供することができる。変動報酬の支給は行われない。当行の従業員である執行役員は、ハンデルスバンケンの利益分配制度であるオクトゴーネンに加入しており、すべての従業員と同じ条件で給与を年金に転換する権利も有している。

ハンデルスバンケン・グループの取締役のうち当行の従業員ではない者は、年次株主総会の決議に従った報酬のみを受け取る。

当行又は当行の子会社の従業員である取締役は、雇用の事由に従って報酬及び年金給付を受け取る。取締役を務めることによって追加的に報酬又は年金給付が支給されることはない。親会社の取締役に対する報酬については、コーポレート・ガバナンス報告書の60ページから61ページ(訳注：ハンデルスバンケンの2016年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。)に記載されている。

執行役員に関する報酬情報として当行が記載した下記の年金費用は、IAS第19号に従った確定給付年金に関する勤務費用、確定拠出年金に関して合意された保険料、及び給与から控除される年金保険料で構成される。

CEOの報酬及び年金の条件

2016年8月15日から12月31日までの期間において、当年度に任命されたCEOであるアンダース・ボヴウィン氏は、固定給4.4百万スウェーデン・クローネを受領した。アンダース・ボヴウィン氏のその他給付は、0.1百万スウェーデン・クローネであり、年金費用は給与の40.1%相当の1.8百万スウェーデン・クローネであった。CEOに就任する前には当行に雇用されていたが、執行副社長への任命により当行の経営メンバーの一員となった2002年から加入している年金条件を留保している。ボヴウィン氏の確定給付年金は、60歳になるまで積み立てられ、その時点で固定給付の65%相当となる。確定拠出年金は給与の2%であり、60歳になるまで積み立てられる。60歳を過ぎると、年金は確定拠出だけとなり、その時点で固定給の35%に等しくなる。確定給付年金は繰延べられて雇用終了後に支払われ、法定年金保険と調整される。

親会社の前CEOであるフランク・ヴァン-イェンセン氏は、2016年に固定給9.5(7.3)百万スウェーデン・クローネを受領した。その他給付は、0.5(0.9)百万スウェーデン・クローネであり、当行の年金費用は3.8(2.9)百万スウェーデン・クローネであった。これは確定拠出年金である。2017年6月30日までの退職の通知期間中に、当行は固定給を支払い、終了した雇用契約に従った年金を含めたその他の給付も支払う。

特定職員²に対する報酬¹、事業セグメント

	2016年		2015年	
	報酬	人数	報酬	人数
百万スウェーデン・クローネ				
スウェーデンにおける支店業務	550	533	581	544
英国における支店業務	421	282	452	268
デンマークにおける支店業務	100	75	95	70
フィンランドにおける支店業務	71	63	60	55
ノルウェーにおける支店業務	97	67	89	65
オランダにおける支店業務	49	43	40	32
キャピタル・マーケット	210	60	266	82
その他	274	117	201	91
合計	1,772	1,240	1,784	1,207

特定職員²に対する報酬¹

	2016年		2015年	
	上級 経営陣 ³	その他の 特定職員	上級 経営陣 ³	その他の 特定職員
固定報酬稼得額(百万スウェーデン・クローネ)	137	1,629	158	1,618
変動報酬稼得額(百万スウェーデン・クローネ)	-	6	-	8

合計	137	1,635	158	1,626
固定報酬のみの人数	16	1,221	19	1,184
固定報酬及び変動報酬の双方の受給が可能な人数	0	3	0	4
合計人数	16	1,224	19	1,188

新規雇用に関連する費用として認識される変動報酬保証額

(百万スウェーデン・クローネ)

- - - -

新規雇用に関連する費用として認識される契約上の

変動報酬保証額(百万スウェーデン・クローネ)

- - - -

- 1) 稼得された報酬は、全額費用として認識されている。稼得された変動報酬は、稼得後の事業年度において、個人レベルに割当てられる。当年度において割当てられた変動報酬は、2015年中に全額稼得され、その金額は3(4)人に対して8(6)百万スウェーデン・クローネであり、うち5(3)百万スウェーデン・クローネは支払われ、3(3)百万スウェーデン・クローネは繰り延べられた。割当てられた変動報酬は、当行の変動報酬に関する方針に従って、支払われるか又は繰延べられる。期首の繰延変動報酬は、13(9)百万スウェーデン・クローネである。このうち3(0)百万スウェーデン・クローネは当年度中に支払われ、当年度末の繰延報酬は13(13)百万スウェーデン・クローネである。繰延報酬を処分する権利は、支払時に従業員に譲渡される。すべての変動報酬は、現金で支払われる。当該金額からは、社会保障費は除かれている。当年度中において、特定職員21人に対する解雇給付24百万スウェーデン・クローネが費用として認識され、特定職員26人に対して31百万スウェーデン・クローネの契約が締結された。個人契約における解雇給付の最高額は、3.9百万スウェーデン・クローネである。変動報酬保証額の支給はなかった。
- 2) 当行のリスク・プロファイルへ大きな影響を及ぼす職務を負っている従業員(委員会委任規則(EU)604/2014)。報酬方針が他のEU規則又はスウェーデン金融監督庁が発表した他の規則の対象となる、変動報酬を受ける特定職員又は他の特別指定職員が子会社にいる可能性がある。
- 3) スウェーデン金融監督庁は、規則(FFFS 2014年第22号)において、上級経営陣の概念を用いている。ハンデルスバンケンにおいて、上級経営陣とは、業務執行取締役に相当する。

親会社のその他の執行役員の報酬及び年金の条件

年金の条件

当行のその他の業務執行取締役である5(8)名は、退職時の給与の65%を上限とする確定給付退職年金を受領し、その給与の2%を上限とする年金保険料も受領している。当該役員の最低退職年齢は60歳^{*}であり、確定給付退職年金は雇用期間中継続的に稼得され、当該役員の退職年齢に達した時点で満額稼得される。

9(9)名の業務執行取締役は、退職年齢である65歳で確定拠出年金を受領する。その年金保険料は個人契約によるものであり、給与の50%を上限としている。この年金保険料に加え、当該業務執行取締役のうち6(5)名は、団体契約である職域BTP及びBTPK年金にも加入している。

稼得された確定給付年金は権利確定され、当行の年金基金又は当行の年金ファンドにおいて確保される。退職年齢より前に退職する場合には、その役員は稼得された確定給付年金及び/又は確定拠出年金の受給権に関する払済保険契約を受け取る。

報酬

2016年に、副最高経営責任者であるカリナ・オーケストレーム氏は、固定給4.7(4.4)百万スウェーデン・クローネを受領した。その他給付は0.1(0.1)百万スウェーデン・クローネ、年金費用は3.0(2.4)百万スウェーデン・クローネであり、オーケストレーム氏の給与の64.9(53.8)%に相当した。

その他の業務執行取締役は、当年度において平均17(19)人であったが、年金転換後で、83.9(86.2)百万スウェーデン・クローネの固定給を受領した。その他給付は6.6(11.0)百万スウェーデン・クローネで、当行の年金費用は38.5(37.2)百万スウェーデン・クローネであった。年金転換前の年金費用は37.9(36.5)百万スウェーデン・クローネであり、給与の44.7(42.1)%に相当した。

当行を代表して他の会社の取締役を務めたことによる外部報酬は、当行に支払われている。

*) 2012年1月1日より後に締結された新しい年金契約の条件では、退職年齢は65歳である。

子会社における執行役員に対する報酬

子会社の取締役のうち当行又は当行の子会社の従業員ではない者14(16)名に対する報酬は、2.8(2.1)百万スウェーデン・クローネである。

2016年に、子会社の最高経営責任者及び副社長である17(24)名は、年金転換後で36.0(36.1)百万スウェーデン・クローネの固定給を受領した。その他給付は2.4(1.5)百万スウェーデン・クローネで、当行の年金費用は6.8(5.4)百万スウェーデン・クローネであった。年金転換前の年金費用は6.6(5.3)百万スウェーデン・クローネであり、給与の18.1(14.6)%に相当した。

子会社の最高経営責任者及び副社長のうち主要業務がハンデルスバンケン以外である者への報酬は、支給されていない。

執行役員に対する年金債務

2016年12月31日現在、最高経営責任者であるアンダース・ボヴウィン氏に対する年金債務^{**}は205.3百万スウェーデン・クローネであった。2016年12月31日現在、副最高経営責任者であるカリナ・オーケストレーム氏に対する年金債務は、77.2(72.2)百万スウェーデン・クローネであり、その他の親会社の業務執行取締役(2016年12月31日現在14(17)名)に対する年金債務は、308.8(773.6)百万スウェーデン・クローネであった。

2016年12月31日現在、ハンデルスバンケン・グループの現在及び過去の執行役員に対する年金債務合計は、2,772(2,878)百万スウェーデン・クローネであった。2016年12月31日現在、親会社の現在及び過去の執行役員に対する年金債務合計は、2,697(2,733)百万スウェーデン・クローネであった。当行グループのこれらの債務の対象となる人数は85(83)名であり、そのうち60(53)名は年金受給者である。親会社のこれに該当する人数は69(67)名であり、そのうち53(48)名は年金受給者である。

^{**}) 年金債務とは、IAS第19号に従って、当行が将来の確定給付年金の支払いに備えて引き当てている金額である。その金額の規模は財務上及び人口統計上の仮定に応じて毎年変わる可能性がある。

執行役員への与信（執行役員からの預金）

2016年12月31日現在、執行役員への与信額は、親会社で76.5(146.2)百万スウェーデン・クローネ、子会社で74.8(67.4)百万スウェーデン・クローネであった。親会社のこれらの人員からの預金額は、合計で568.6(662.5)百万スウェーデン・クローネであった。2016年のこれらの人員に対する与信に係る当行の利息収益は、親会社で合計0.3(1.0)百万スウェーデン・クローネ、子会社で合計0.8(0.8)百万スウェーデン・クローネであった。親会社のこれらの人員からの預金に係る利息費用は、2.0(3.9)百万スウェーデン・クローネであった。

2016年12月31日現在、ハンデルスバンケン・グループの子会社の執行役員に対する与信額は、106.6(131.9)百万スウェーデン・クローネであった。

執行役員への与信（からの預金）の契約条件は、ハンデルスバンケン・グループのその他の全従業員と同じ方針に従ったものである。すべての与信は、与信評価の対象となる。

正味年金債務

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
確定給付年金債務	29,670	29,150
制度資産の公正価値	27,509	23,836
正味年金	-2,161	-5,314

上表の確定給付年金債務及び制度資産に加えて、1989年から2004年までの期間においては、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse(年金基金)の特例付加年金に対する引当金が計上された。この引当金には、市場価値が11,342(12,310)百万スウェーデン・クローネである制度資産が含まれている。この特例付加年金によって、当行はその制度資産と同額のコミットメントを負担することになっている。

このコミットメントのうち、8,652(9,768)百万スウェーデン・クローネは条件付債務である。

法律の改正により、ノルウェーの年金債務には障害年金を含めていない。その他に当年度においては、大幅な制度変更、清算及び縮小は行われなかった。

年金費用

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
勤務費用	-878	-764
過去勤務費用	23	0
確定給付年金債務に係る利息	-692	-758
制度資産に係る利息	562	711
清算及び縮小による利益及び損失	-20	-3
社会保障負担額、確定給付年金制度	-9	-15
年金費用、確定給付年金制度	-1,014	-829
年金費用、確定拠出年金制度	-531	-518
社会保障費、確定拠出年金制度	-34	-13
年金費用合計	-1,579	-1,360

確定給付年金債務

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
期首残高	29,150	24,938
勤務費用	878	764
過去勤務費用	-83	0
確定給付年金債務に係る利息	692	758
給付金支払額	-809	-763
清算及び縮小による利益及び損失	19	3
数理計算上の利益(-)/損失(+)	-10	3,486
外貨換算影響額	-167	-36
期末残高	29,670	29,150

制度資産

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年

期首残高	23,836	23,458
過去勤務費用	-60	-
制度資産に係る利息	562	711
雇用主の拠出による積立金	169	182
雇用主に対する報酬	-510	-505
清算及び縮小による利益及び損失	-1	-
従業員に直接支払われる積立金	-364	-319
数理計算上の利益(+)/損失(-)	3,983	334
外貨換算影響額	-106	-25
期末残高	27,509	23,836

制度資産に係る収益

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
制度資産に係る利息	562	711
数理計算上の利益(+)/損失(-)	3,983	334
実際の収益	4,545	1,045

制度資産の配分

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
活発な市場に上場している株式	24,788	21,540
活発な市場に上場していない株式	847	332
活発な市場に上場している利付証券	1,826	1,745
活発な市場に上場していない利付証券	263	293
その他制度資産	-215	-74
合計	27,509	23,836

制度資産には、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの株式が含まれており、貸借対照表日である2016年12月31日現在の市場価値は144(132)百万スウェーデン・クローネである。スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの発行した社債も含まれており、その市場価値は515(531)百万スウェーデン・クローネである。その他制度資産には、まだ支払われていない年金基金からの報酬債務が含まれている。

数理計算上の利益(-)/損失(+)、確定給付年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
人口統計上の仮定の変更	-	-3
財務上の仮定の変更	41	3,210
実績に基づく調整	-51	279
合計	-10	3,486

将来キャッシュ・フロー

百万スウェーデン・クローネ	2016年実績	2015年予測

給付金支払額	-809	-732
雇用主の拠出による積立金	169	164

確定給付年金は、主としてスウェーデン、ノルウェー及び英国の従業員に対して支払われる。正味年金債務の合計のうち、スウェーデンの制度は25,570(25,665)百万スウェーデン・クローネ、ノルウェーの制度は1,110(1,076)百万スウェーデン・クローネ及び英国の制度は2,949(2,374)百万スウェーデン・クローネである。また、ドイツにも小規模の確定給付年金制度があるが、規模の面から重要性はないとみなされるため詳細な開示は行っていない。

制度資産総額のうち、スウェーデンの制度資産は24,927(21,395)百万スウェーデン・クローネ、ノルウェーの制度資産は812(733)百万スウェーデン・クローネ及び英国の制度は1,763(1,701)百万スウェーデン・クローネである。また、ドイツにも少額の年金資産があるが、規模の面から重要性はないとみなされるため詳細な開示は行っていない。

スウェーデンでは、スウェーデン銀行雇用主協会(以下「BAO」という。)とスウェーデン金融セクター組合/スウェーデン専門職連盟との年金契約に従って、65歳から退職年金が支給される。年金額は、所得基準額7.5までは年収の10%としている。所得基準額の7.5から20の給与部分については、退職年金は65%で、所得基準額の20から30の給与部分については、退職年金は32.5%である。所得基準額30を上回る給与については、退職年金は支給されない。

ノルウェーでは、67歳から退職年金が支給される。年金額の一部は、勤続年数及び最終給与(基準額12を上限とする)に応じて変動する。退職年金(法定年金を含む)は、最終給与(基準額12を上限とする)の約70%になると予想される。

英国では、確定給付年金は2006年1月1日より前に雇用された従業員に対して支払われる。同日より後に雇用された従業員に対しては、確定拠出年金が支払われる。通常の退職年齢は65歳である。最大退職年金額は、年金対象給与の67%程度で40年の勤続年数で達成される。年金対象給与は、現在、150,600ポンドが上限とされている(2016年/2017年)。

年金制度は、外部で積立てが行われている。すなわち、制度資産は信託会社又は類似の法人が保有している。信託会社(又は同等の機関)の活動は、当行グループと制度資産を運用している信託会社(又は同等の機関)との間の関係に適用される国内法及び実務慣行によって規制されており、異なる種類の資産で制度資産を構成する方法についての枠組みが提供されている。スウェーデンでは確定給付年金債務法及び共済組合法が主に適用され、ノルウェーではノルウェー国民保険法が適用され、英国では標準的な英国年金及び課税に関する法令が適用される。

主要な仮定	スウェーデン		ノルウェー		英国	
	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年
割引率、%	2.40	2.25	2.90	2.90	2.70	3.80
予想昇給率、%	3.5	3.5	2.3	2.5	5.0	4.8
年金指標、%	2.0	2.0	2.0	2.3	3.4	3.3
所得基準額、%	3.0	3.0	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
インフレ率、%	2.0	2.0	1.5	1.5	3.7	3.5
離職率、%	3.0	3.0	0-8 ¹	0-8 ¹	該当なし	該当なし
退職時の年齢を基準にした平均余命(年)	23.1	23.0	23.6	23.4	25.0	25.0
平均デュレーション(マコーリー)(年)	18.4	17.8	22.3	21.7	22.0	24.0

1) 年齢に関連する区分；最年少で年率8%、徐々に減少し、最年長で0%となっている。

確定給付年金債務への影響

感応度分析	仮定の変化	確定給付年金 債務の増加		確定給付年金 債務の減少	
		百万スウェーデン・クローネ		百万スウェーデン・クローネ	
		2016年	2015年	2016年	2015年
割引率、%	0.5	3,102	3,077	-2,693	-2,167
予想昇給率、%	1.0	1,649	1,693	-2,176	-1,955
年金指標、%	0.5	1,194	1,149	-1,973	-1,642
退職時の年齢を基準にした平均余命 (年)	1.0	976	959	-974	-811

上表の感応度分析は、1つの仮定が変化し、それ以外の仮定がすべて一定であることを前提としている。実務上このような場合が起こる可能性は低く、一部の仮定の変化には相関関係がある可能性がある。確定給付年金債務の重要な数理計算上の仮定に対する感応度を計算する際には、貸借対照表に認識される年金負債を計算する際と同様の手法を適用している。その手法は、会計方針（注記G1のセクション20を参照）に記載されている。2015年度の年次報告書と比較して、感応度分析を作成する際に用いた手法は変更されていない。

当行は、確定給付年金制度において、いくつかのリスクにさらされている。そのうち、最も重要なリスクは以下のとおりである。

資産のボラティリティ：制度負債は、社債利回りを参照して設定される割引率を用いて計算されている。制度資産の運用実績がこの利回りを下回る場合には、制度に赤字が生じることになる。年金制度の重要な部分を株式が占めており、これらは長期的には社債利回りを上回る程の実績が見込めるものの、短期においてはボラティリティ及びリスクをもたらしている。制度負債は長期的な性質を有していることから、当行は、ある程度継続的に株式投資を行うことが当行の長期にわたる年金制度の効率的運用のために戦略上適切であると考えている。

社債利回りの変動：社債利回りが減少すると、その減少の一部は年金制度で保有する社債の価値の増加によって相殺されるものの、制度負債が増加することになる。

インフレ・リスク：制度の年金債務はインフレ率と連動しており、インフレ率が上昇すると制度負債は増加することになる。制度資産はインフレ率によってそれほど重大な影響を受けない。すなわち、インフレ率が上昇すると、制度の赤字幅もおそらく拡大することになる。

平均余命：制度の年金債務は、加入者の生涯にわたって給付を提供するためのものである。したがって、平均寿命が延びると、制度負債は増加することになる。

資産負債マッチング (ALM)：制度資産の構成は、年金債務の構成及び予想される推移と整合している。ALMの全般的な目標は、中長期にわたって、少なくとも年金債務の推移に対応できる程の運用収益を生み出すことである。制度資産の大部分は株式への投資であるが、固定利付商品や現金への投資も行われている。株式の割合を高くすることが、年金制度の効果的な運用のために適切であると考えている。

抛出額に関する取決め：最低抛出額に関する規定は制度によって異なるが、この規定が団体契約又は内部方針に基づく場

合、現地の規定に従って測定される年金債務は原則として全額カバーされる。抛出額の水準は、定期的に監視されている。

当行は、現行の抛出率は妥当であると考えている。

[次へ](#)

注記G9 その他費用

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
不動産及び建物設備	-1,234	-1,243
外部IT費用	-1,698	-1,623
通信費	-317	-342
旅費及びマーケティング費用	-306	-335
購入したサービス	-1,159	-1,027
備品費	-173	-182
その他管理費用	-514	-451
合計	-5,401	-5,203
うち、オペレーティング・リースに係る費用		
最低リース料	-698	-689
変動リース料	-80	-74
合計	-778	-763

オペレーティング・リースは主として、事務所及び事務所設備の賃借に関する標準的な契約によるものである。事務所賃借料には、通常、インフレ率と固定資産税に関連した変動リース料が含まれている。2016年の最大の個別リース契約費用は、約180(172)百万スウェーデン・クローネであった。主要な契約には変動リース料は含まれていない。

監査人及び監査法人に対する報酬	ケーピーエムジーエービー		アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー	
	2016年	2015年	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ				
監査業務	-13	-13	-4	-4
当該監査業務以外の監査上の業務	-3	-3	-	-
税務アドバイス	-	-	-	-
その他サービス	-	-	-	-

当年度の内部監査費用は、149(149)百万スウェーデン・クローネであった。

注記G10 貸倒損失

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
個別に評価された貸出金に対する引当金		
当年度引当金繰入	-1,899	-1,832
過年度の引当金の戻入れ	377	372
合計	-1,522	-1,460

集会的引当金

個別に評価された貸出金に対する当年度中の引当金繰入（純額）	-62	0
同種の貸出金に対する当年度中の引当金繰入（純額）	-10	-3

合計	-72	-3
オフ・バランスシート項目		
オフ・バランスシート項目に係る損失	-16	0
オフ・バランスシート項目に係る過年度の損失の戻入	2	0
オフ・バランスシート項目に対する集会的引当金の変動	-26	-33
合計	-40	-33
償却		
当年度の実際の貸倒損失	-2,183	-964
過年度引当金の取崩	1,863	659
回収	230	204
合計	-90	-101

正味貸倒損失	-1,724	-1,597

減損貸出金等

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
減損貸出金	7,746	8,844
個別に評価された貸出金に対する引当金	-4,188	-4,444
集会的に評価された小口かつ同種の貸出金グループに対する引当金	-107	-94
個別に評価された貸出金に対する集会的引当金	-348	-278
減損貸出金純額	3,103	4,028

減損貸出金引当率、%	59.9	54.5
減損貸出金の割合、%	0.16	0.21
集会的引当金を除く減損貸出金引当率、%	55.4	51.3
60日超延滞しているが減損していない貸出金	1,061	1,218
当年度において正常債権として分類変更された減損貸出金	4	167

契約上のキャッシュ・フローが履行されない可能性が高い場合、貸出金は減損貸出金に分類される。個別引当金の対象となる個別債権は、一部担保でカバーされる場合でも、全額が減損貸出金に含まれる。したがって、受領した担保は、引当率の計算の際に考慮されない。その他の定義については、218ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2016年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）を参照のこと。

潜在的な貸倒損失に対する引当金の変動 (2016年)	個別に評価された貸出金に対する引当金	個別に評価された貸出金に対する集会的引当金	集会的に評価された同種の貸出金に対する引当金	潜在的な貸倒損失に対する引当金合計
百万スウェーデン・クローネ				
期首現在引当金	-4,444	-278	-94	-4,816
当年度引当金繰入	-1,899	-62	-67	-2,028

過年度引当金の戻入	377	-	10	387
実際の貸倒損失に対する充当	1,863		47	1,910
外貨換算影響額等	-85	-8	-3	-96
期末現在引当金	-4,188	-348	-107	-4,643

潜在的な貸倒損失に対する引当金の変動 (2015年)	個別に評価された貸出金に対する引当金	個別に評価された貸出金に対する集会的引当金	集会的に評価された同種の貸出金に対する引当金	潜在的な貸倒損失に対する引当金合計
百万スウェーデン・クローネ				
期首現在引当金	-3,734	-284	-93	-4,111
当年度引当金	-1,832	-	-49	-1,881
過年度の引当金の戻入	372	0	4	376
実際の貸倒損失に対する充当	659		42	701
外貨換算影響額等	91	6	2	99
期末現在引当金	-4,444	-278	-94	-4,816

**減損貸出金及び60日超延滞している貸出金、
セクター別 (2016年)**

減損貸出金

	総額	引当金	純額 ¹	うち、 60日超延滞しているもの	60日超延滞しているが 減損していない貸出金
百万スウェーデン・クローネ					
個人	1,405	-745	660	435	721
住宅協同組合	41	-20	21	5	-
不動産管理	1,793	-691	1,102	263	240
製造	719	-522	197	26	18
リテール	457	-270	187	45	0
ホテル及びレストラン	96	-32	64	64	6
海運	1,849	-1,244	605	0	-
その他運輸及び通信	52	-36	16	7	5
建設	269	-161	108	46	13
電気、ガス及び水道	68	-39	29	4	9
農業、狩猟業及び林業	53	-31	22	11	2
その他サービス	214	-113	101	94	18
持株会社、投資会社、保険会社、ミューチュアル・ファンド等	601	-316	285	30	6
その他法人貸付	129	-75	54	14	23
金融機関	-	-	-	-	-
合計	7,746	-4,295	3,451	1,044	1,061

1) 個別に評価された貸出金に対する引当金及び集会的に評価された貸出金に対する引当金を考慮後の帳簿価額。但し、個別に評価された貸出金に対する集会的引当金を除く。

減損貸出金及び60日超延滞している貸出金、
セクター別 (2015年)

	減損貸出金				60日超延滞 しているが 減損してい ない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹	うち60日超 延滞して いるもの	
百万スウェーデン・クローネ					
個人	1,424	-755	669	494	757
住宅協同組合	35	-20	15	1	2
不動産管理	1,943	-697	1,246	410	149
製造	2,103	-1,542	561	49	21
リテール	394	-267	127	74	4
ホテル及びレストラン	116	-30	86	85	168
海運	1,734	-543	1,191	0	-
その他運輸及び通信	78	-60	18	16	8
建設	150	-92	58	40	77
電気、ガス及び水道	73	-52	21	5	-
農業、狩猟業及び林業	34	-15	19	3	0
その他サービス	101	-66	35	27	15
持株会社、投資会社、保険会社、ミューチュ アル・ファンド等	500	-282	218	74	17
その他法人貸付	159	-117	42	39	0
金融機関	-	-	-	-	-
合計	8,844	-4,538	4,306	1,317	1,218

1) 個別に評価された貸出金に対する引当金及び集散的に評価された貸出金に対する引当金を考慮後の帳簿価額。但し、個別に評価された貸出金に対する集散的引当金を除く。

減損貸出金及び60日超延滞している貸出金、
地域別 (2016年)

	減損貸出金				60日超延滞 しているが 減損してい ない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹	うち60日超 延滞してい るもの	
百万スウェーデン・クローネ					
スウェーデン	2,091	-1,218	873	396	346
ノルウェー	510	-315	195	35	225
フィンランド	880	-599	281	144	238
デンマーク	2,872	-1,706	1,166	173	16
英国	1,108	-326	782	146	206
オランダ	3	-1	2	-	-
その他欧州	169	-92	77	74	30
北米	-	-	-	-	-
アジア	113	-38	75	76	-
合計	7,746	-4,295	3,451	1,044	1,061

減損貸出金及び60日超延滞している貸出金、
地理的分布別（2015年）

	減損貸出金				60日超延滞 しているが 減損してい ない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹	うち60日超延 滞しているも の	
百万スウェーデン・クローネ					
スウェーデン	3,229	-2,156	1,073	445	396
ノルウェー	208	-130	78	46	181
フィンランド	973	-679	294	199	400
デンマーク	2,803	-1,040	1,763	216	18
英国	1,437	-447	990	307	168
オランダ	2	-1	1	-	-
その他欧州	192	-85	107	104	53
北米	-	-	-	-	-
アジア	-	-	-	-	2
合計	8,844	-4,538	4,306	1,317	1,218

1) 個別に評価された貸出金に対する引当金及び集散的に評価された貸出金に対する引当金を考慮後の帳簿価額。但し、個別に評価された貸出金に対する集散的引当金を除く。

延滞しているが減損していない貸出金の
満期構成（2016年）

	金融機関へ の貸出金	一般顧客への貸出金			合計
		個人	法人	その他	
百万スウェーデン・クローネ					
5日以上1ヶ月以下の延滞	-	1,486	694	1	2,181
1ヶ月超2ヶ月以下の延滞	-	253	79	-	332
2ヶ月超3ヶ月以下の延滞	-	136	80	-	216
3ヶ月超12ヶ月以下の延滞	-	413	56	-	469
12ヶ月超の延滞	-	329	47	-	376
合計	-	2,617	956	1	3,574

延滞しているが減損していない貸出金の
満期構成（2015年）

	金融機関へ の貸出金	一般顧客への貸出金			合計
		個人	法人	その他	
百万スウェーデン・クローネ					
5日以上1ヶ月以下の延滞	-	1,868	692	1	2,561
1ヶ月超2ヶ月以下の延滞	-	213	68	-	281
2ヶ月超3ヶ月以下の延滞	-	141	29	-	170
3ヶ月超12ヶ月以下の延滞	-	340	107	-	447
12ヶ月超の延滞	-	360	241	-	601
合計	-	2,922	1,137	1	4,060

担保権が実行された資産

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
不動産	350	429
動産	4	19
株式	10	12
帳簿価額	364	460

動産は主として担保権が実行されたリース資産より構成されている。上表に示されている担保権が実行された資産に加え、担保権実行資産は非継続事業にも含まれている。注記G12を参照のこと。債権の保護を目的として、担保権が実行された資産及び負債に関する評価原則については、注記G1に記載されている。

注記G11 不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
器具備品	24	16
不動産	8	-9
合計	32	7

注記G12 非継続事業に係る当期利益

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
収益	971	2,721
費用	-888	-2,469
非継続事業からの営業利益	83	252
法人税	-29	-36
合計	54	216
減損	-41	-71
非継続事業に係る当期利益	13	145

非継続事業からの営業利益は、Plastal Groupにおける当行の持分に係る収益より構成されている。Plastal Groupの事業は、自動車産業のエクステリアに用いるプラスチック・コンポーネントの製造より構成されている。

当行は、第2四半期中にPlastal Industrial ABの持分を売却したため、当期末現在において非継続事業はない。非継続事業は、Plastal Industrial ABの売却までの期間の子会社業績、及び同社の売却益を指す。

Plastalの公正価値（売却費用控除後）は、帳簿価額を下回っていたため、2015年に減損が認識されている。減損は、基本的に当年度の減価償却費に相当するものであり、当年度の法人税には影響しない。Plastalの公正価値は、信頼性のある測定を行うために同業他社比較や割引キャッシュ・フローといった異なる評価モデルを用いて計算された。仮定に関する要素は、可能な限り外部市場における観察から得ている。評価の重要な範囲については自社の仮定に基づいている。したがって、注記G40に記載されている評価ヒエラルキーにおいて、レベル3に分類されている。

当行の非継続事業の評価方針については、注記G1に示されている。

注記G13 一株当たり利益

	2016年	2015年
当期利益、継続事業、百万スウェーデン・クローネ	16,232	16,198
うち、転換可能劣後ローンに係る利息費用、税引後	-139	-199
当期利益、非継続事業、百万スウェーデン・クローネ	13	145
うち、転換可能劣後ローンに係る利息費用、税引後	-	-
当期利益、事業合計、百万スウェーデン・クローネ	16,245	16,343
うち、転換可能劣後ローンに係る利息費用、税引後	-139	-199
期中に転換された株式の平均株式数(百万株)	20.0	0.0
トレーディング勘定における自己株式の平均保有数(百万株)	-	-
発行済株式の平均株式数(百万株)	1,927.1	1,907.0
希薄化効果のある株式の平均株式数(百万株)	45.6	64.9
希薄化後発行済株式の平均株式数(百万株)	1,972.7	1,971.9
継続事業からの一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	8.42	8.49
希薄化後	8.30	8.32

非継続事業からの一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	0.01	0.08
希薄化後	0.01	0.07
事業合計からの一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	8.43	8.57
希薄化後	8.31	8.39

希薄化後一株当たり利益は、発行済転換株式の転換による影響を考慮に入れて測定される。これは、発行済株式の平均株式数に潜在的な転換株式数が加算され、当期利益が転換可能劣後ローン残高(税引後)に係る当期利息費用に関して調整されることを示唆している。

注記G14 中央銀行へのその他の貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
中央銀行へのその他貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	4,821	15,998
中央銀行へのその他貸出金(外貨建て)	20,706	18,120
合計	25,527	34,118
うちリバース・レボ	-	-

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
中央銀行へのその他貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	37,654	26,353
中央銀行へのその他貸出金(外貨建て)	30,662	40,286
合計	68,316	66,639
うちリバース・レボ	88	1,154

注記G15 その他金融機関への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
貸出金(スウェーデン・クローネ建て)		
銀行	7,432	2,009
その他金融機関	199	552
合計	7,631	2,561

貸出金(外貨建て)

銀行	15,502	20,706
その他金融機関	8,214	26,389
合計	23,716	47,095

潜在的な貸倒損失	-	-
その他金融機関への貸出金合計	31,347	49,656

うちリバース・レボ	4,088	23,394

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
その他金融機関への貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	4,800	8,155
その他金融機関への貸出金(外貨建て)	59,945	80,078
合計	64,745	88,233

うちリバース・レボ

19,898

43,240

注記G16 一般顧客への貸出金

百万スウェーデン・クローネ

2016年**2015年****貸出金(スウェーデン・クローネ建て)**

個人

760,339

715,563

法人

460,468

473,845

国債局

982

3,338

合計**1,221,789****1,192,746****貸出金(外貨建て)**

個人

273,618

244,439

法人

472,858

434,098

国債局

-

-

合計**746,476****678,537**

潜在的な貸倒損失

-4,643

-4,816

一般顧客への貸出金合計**1,963,622****1,866,467**

うち、リバース・レボ

7,493

7,742

うち、劣後ローン

71

345

平均取引高(国債局を除く)

百万スウェーデン・クローネ

2016年**2015年**

一般顧客への貸出金(スウェーデン・クローネ建て)

1,218,650

1,170,301

一般顧客への貸出金(外貨建て)

718,700

677,029

合計**1,937,350****1,847,330**

うち、リバース・レボ

14,171

18,458

注記G17 利付証券

百万スウェーデン・クローネ	2016年			2015年		
	額面価額	公正価値	帳簿価額	額面価額	公正価値	帳簿価額
中央銀行への担保として適格な利付証券	95,571	97,205	97,205	72,263	74,777	74,777
社債及びその他の利付証券	62,020	63,909	63,909	42,602	44,513	44,513
合計	157,591	161,114	161,114	114,865	119,290	119,290
うち非上場証券		255	255		364	364

発行者別利付証券

百万スウェーデン・クローネ	2016年			2015年		
	額面価額	公正価値	帳簿価額	額面価額	公正価値	帳簿価額

政府	95,571	97,205	97,205	59,932	62,471	62,471
金融機関	25,683	25,990	25,990	7,186	9,015	9,015
住宅金融専門機関	33,503	35,024	35,024	29,266	31,560	31,560
その他	2,834	2,895	2,895	18,481	16,244	16,244
合計	157,591	161,114	161,114	114,865	119,290	119,290

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
利付証券	158,663	140,313
利付証券、保険事業	6,758	7,391
合計	165,421	147,704

注記G18 株式

百万スウェーデン・クローネ

損益計算書を通じて公正価値で評価されるもの

	2016年	2015年
上場	12,937	19,632
非上場	5,857	4,174
合計	18,794	23,806

売却可能に分類されたもの

上場	-	4,667
非上場	1,618	1,914
合計	1,618	6,581
株式合計	20,412	30,387

注記G19 関連会社に対する投資

ハンデルスバンケンは、個別に重要となる関連会社に対する投資を保有していないが、当行グループのサポート、支払サービス等の銀行業務に対して、特に戦略的とみなされる特定の企業がある。すべての投資は非上場である。

関連会社に対する投資

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
期首現在帳簿価額	245	286
当年度持分利益	25	17
法人税	-7	-9
株主の拠出	19	10
配当金	-10	-7
取得	2	-
処分	-16	-
減損	-	-53

換算差額	-3	1
期末現在帳簿価額	255	245

関連会社からの収益

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
当年度利益	18	8
その他包括利益	-1	1
当年度包括利益合計	17	9

関連会社	企業識別番号	所在地	株式数	議決権、 %	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2016年	2015年
Add Value Fund Management BV	19196768	アムステルダム	1,125	45.00	4	
Bankomat AB	556817-9716	ストックホルム	150	20.00	70	52
Bankomatcentralen AB	556197-2265	ストックホルム	1,100	21.89	0	0
BDB Bankernas Depå AB	556695-3567	ストックホルム				13
BGC Holding AB	556607-0933	ストックホルム	25,382	25.38	83	80
Dyson Group plc	163096	シェフィールド	122,387,481	29.99	23	29
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	ストックホルム	12,735	28.30	21	23
Flisekompaniet Holding AS	992 999 136	オスロ	2,400	47.00		0
Getswish AB	556913-7382	ストックホルム	10,000	20.00	9	8
Upplysningscentralen UC AB ¹	556137-5113	ストックホルム	2,448	24.48	45	40
合計					255	245

1) 当行グループに関する情報である。

注記G20 顧客が価値変動リスクを負う資産

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
ユニットリンク及びポートフォリオ社債保険資産	114,721	101,724
その他ファンド資産	3,597	3,422
非保有連結ファンドの持分	328	-
合計	118,646	105,146

注記G21 非連結の組成された事業体における持分

百万スウェーデン・クローネ	保有ファンド	
	2016年	2015年
資産		
持分	1,577	398
顧客が価値変動リスクを負う資産	101,359	89,725
非連結の組成された事業体における持分合計	102,936	90,123

組成された事業体は、議決権又は同様の権利が、その事業体を支配している企業を判定する上で決め手となる要因ではないとされている事業体のことである。例えば、議決権が管理業務にしか関連しない場合や関連活動が契約上の取決めにによって指示される場合などがある。非連結の組成された事業体におけるハンデルスバンケンの持分は限定されており、ファンド持分より構成されている。ファンドは、ハンデルスバンケン・リヴにおける主にユニットリンク契約、及び他社との類似の契約を通じて所有されている。ユニットリンク契約を通じたファンドへの投資が連結されることはないため、これらのファンドは非連結の組成された事業体となる（注記G1を参照のこと。）。ハンデルスバンケンはまた、マーケット・メーカーとしての役割を果たしながら、複数のファンドの持分を所有している。こうした所有が連結されない場合は、非連結事業体に対する持分となる。非連結の組成された事業体におけるすべての持分の損失に対する最大エクスポージャーは、その持分の現在の帳簿価額である。これらの事業体の資産合計は、関連リスクを理解する上では重要とみなされないため、表示されていない。

注記G22 デリバティブ商品

百万スウェーデン・クローネ	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
	1年以内	5年以内	5年超	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年
トレーディング目的で保有するデリバティブ									
金利関連契約									
オプション	21,176	33,053	5,299	59,528	116,610	494	1,341	560	1,403
FRA/先物	378,227	237,924	-	616,151	659,941	141	475	123	511
スワップ	388,071	1,073,793	313,501	1,775,365	1,750,861	32,213	34,613	32,838	35,430
通貨関連契約									
オプション	53,191	1,702	31	54,924	75,879	620	471	764	700
先物	95,304	5,316	352	100,972	126,201	1,730	1,669	1,390	1,703
スワップ	426,516	50,877	4,536	481,929	592,755	6,614	7,178	8,176	8,232
株式関連契約									
オプション	10,193	17,826	156	28,175	30,611	1,486	2,032	2,007	2,656
先物	1,129	-	-	1,129	2,779	13	1	15	32
スワップ	18,311	1,790	29	20,130	56,888	420	1,245	961	1,641
コモディティ関連契約									
オプション	105	329	85	519	2,354	10	250	276	537
先物	15,590	3,692	-	19,282	16,696	576	940	601	899
信用関連契約									

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
有価証券報告書

スワップ	2,360	6,725	546	9,631	9,909	386	458	113	247
合計	1,410,173	1,433,027	324,535	3,167,735	3,441,484	44,703	50,673	47,824	53,991
公正価値ヘッジのデリバティブ									
金利関連契約									
オプション	530	5,115	-	5,645	6,785	28	38	-	-
スワップ	-	35,309	1,274	36,583	1,512	51	-	82	1
合計	530	40,424	1,274	42,228	8,297	79	38	82	1
キャッシュフロー・ヘッジのデリバティブ									
金利関連契約									
スワップ	88,576	401,635	71,346	561,557	495,135	17,597	20,674	3,699	3,243
通貨関連契約									
スワップ	199,050	256,476	40,988	496,514	338,601	47,308	37,902	5,990	6,998
合計	287,626	658,111	112,334	1,058,071	833,736	64,905	58,576	9,689	10,241
デリバティブ商品合計	1,698,329	2,131,562	438,143	4,268,034	4,283,517	109,687	109,287	57,595	64,233
うち、取引所上場デリバティブ				347,636	233,328	488	490	1,426	1,613
うち、CCPで決済されたOTCデリバティブ				1,374,610	1,030,386	12,669	2,106	13,997	1,463
うち、CCPで決済されていないOTCデリバティブ				2,545,788	3,019,803	96,530	106,691	42,172	61,157
相殺された金額				-1,747,179	-1,414,478	-27,054	-23,940	-25,857	-23,641
純額				2,520,855	2,869,039	82,633	85,347	31,738	40,592
市場価値の通貨別内訳									
スウェーデン・クローネ						-122,101	-37,576	129,900	221,736
米ドル						319,374	225,036	-33,705	-73,477
ユーロ						109,364	99,729	-23,918	-53,710
その他						-196,950	-177,902	-14,682	-30,316
合計						109,687	109,287	57,595	64,233

この注記においては、デリバティブ契約は総額で表示されている。相殺額は、当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約（清算された契約を含む）の市場価値及び関連する想定元本の相殺で構成されている。これらの契約は、貸借対照表において、取引相手及び通貨別に純額で表示されている。

当行は、当初認識時に評価モデルを用いて測定された価値と、取引価格との正の差額（取引日利益）をデリバティブの期間にわたり償却している。年度末において、これらの未認識の取引日利益は、585(539)百万スウェーデン・クローネであった。

注記G23 金融商品の相殺

2016年 百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ	買戻し契約、 証券貸付	合計
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の 対象となる金融資産			
総額	109,687	13,427	123,114
相殺される金額	-27,054	-1,030	-28,084
貸借対照表計上額	82,633	12,397	95,030
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-20,643	-	-20,643
担保として受領した金融資産	-42,238	-12,397	-54,635
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-62,881	-12,397	-75,278
純額	19,752	-	19,752
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の 対象となる金融負債			
総額	57,595	1,032	58,627
相殺される金額	-25,857	-1,030	-26,887
貸借対照表計上額	31,738	2	31,740
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-20,643	-	-20,643
担保として差し入れた金融資産	-3,807	-2	-3,809
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-24,450	-2	-24,452
純額	7,288	-	7,288
2015年			
百万スウェーデン・クローネ	デリバティブ	買戻し契約、 証券貸付	合計
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の 対象となる金融資産			
総額	109,287	31,815	141,102
相殺される金額	-23,940	-	-23,940
貸借対照表計上額	85,347	31,815	117,162
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-25,660	-	-25,660
担保として受領した金融資産	-35,678	-31,815	-67,493
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-61,338	-31,815	-93,153
純額	24,009	-	24,009
相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び類似した契約の 対象となる金融負債			
総額	64,233	290	64,523
相殺される金額	-23,641	-	-23,641
貸借対照表計上額	40,592	290	40,882

貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-25,660	-	-25,660
担保とし差し入れた金融資産	-6,614	-290	-6,904
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-32,274	-290	-32,564

純額	8,318	-	8,318

デリバティブ商品は、2つ以上のデリバティブの決済が当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。中央清算機関との買戻契約及び売戻契約は、2つ以上の契約の決済が当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。この相殺は、当行が合意したキャッシュ・フローを純額で決済する契約上の権利及び意図の両方を有している場合に行われる。デリバティブの残存カウンターパーティ・リスクは、ネットティング契約を通じて（すなわち、破産の状況下において、同一の取引相手とのすべてのデリバティブ取引における正の価値と負の価値を相殺することによって）軽減されている。ハンデルスバンケンは、すべての銀行取引相手との間でネットティング契約を締結することを方針としている。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対して担保の取決めを設定することで補完されている。使用される担保は主に現金であるが、国債も使用される。買戻し契約並びに有価証券借入及び貸付契約に関する担保は、通常、現金又はその他の有価証券の形態をとっている。

デリバティブ資産について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客からの預金及び借入金による現金担保3,565(964)百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。デリバティブ負債について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客への貸出金による現金担保2,367(664)百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。

注記G24 無形資産

2016年 百万スウェーデン・クローネ	のれん	商標及び その他の権利	顧客契約	内部開発 ソフトウェア	合計 2016年
期首現在取得原価	6,460	65	410	1,943	8,878
無形資産取得原価追加分	147	124	388	558	1,217
処分及び除却	-	-	-	-89	-89
外貨換算影響額	154	-7	-21	-9	117
期末現在取得原価	6,761	182	777	2,403	10,123
期首現在償却及び減損累計額	-	-32	-89	-503	-624
処分及び除却	-	-	-	89	89
当年度の償却	-	-20	-26	-152	-198
当年度の減損	-	-	-	-1	-1
外貨換算影響額	-	4	1	-1	4
期末償却及び減損累計額	-	-48	-114	-568	-730
帳簿価額	6,761	134	663	1,835	9,393

2015年 百万スウェーデン・クローネ	のれん	商標及び その他の権利	顧客契約	内部開発 ソフトウェア	合計 2015年

期首現在取得原価	6,597	64	408	1,581	8,650
無形資産取得原価追加分	-	-	-	455	455
処分及び除却	-	-	-	-89	-89
外貨換算影響額	-137	1	2	-4	-138
期末現在取得原価	6,460	65	410	1,943	8,878
期首現在償却及び減損累計額	-	-19	-70	-429	-518
処分及び除却	-	-	-	89	89
当年度の償却	-	-13	-21	-147	-181
当年度の減損	-	-	-	-17	-17
外貨換算影響額	-	0	2	1	3
期末現在償却及び減損累計額	-	-32	-89	-503	-624
帳簿価額	6,460	33	321	1,440	8,254

	のれん		耐用年数を確定できない 無形資産	
	2016年	2015年	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ				
ハンデルスバンケン、スウェーデン	3,331	3,331	-	-
ハンデルスバンケン、英国	160	178	-	-
ハンデルスバンケン、フィンランド	16	16	-	-
ハンデルスバンケン、デンマーク	2,401	2,290	-	-
ハンデルスバンケン、ノルウェー	697	635	-	-
ハンデルスバンケン、オランダ	146		-	
ハンデルスバンケン、キャピタル・マーケッ ツ	10	10	3	3
合計	6,761	6,460	3	3

のれん及び耐用年数を確定できない無形資産に関する減損テスト

認識済みののれんは、主にハンデルスバンケンの拠点市場における伝統的な銀行業務で取得されている。のれん及び耐用年数を確定できない無形資産には、毎年、年次決算にあたり減損テストが実施される。減損テストを実施する際に、のれんが割り当てられている単位の使用価値は、見積将来キャッシュ・フロー及び最終価値を割り引くことによって算定されている。上表ののれんは、事業セグメント間で配分されている。内部で事業セグメント・レベルよりも小さな単位で把握されているのれんには、そのより小さな単位で減損テストが実施される。

最初の5年間の見積将来キャッシュ・フローは、リスク加重取引高、収益、費用及び貸倒損失についての予測に基づいている。この予測は主として、将来の収益及び費用の推移、経済情勢、予想される金利及び予想される将来の規制の影響についての内部評価に基づくものである。最初の5年間経過後、長期成長率の仮定に基づいて予測が行われる。見積キャッシュ・フローは、過去のGDP成長実績及びスウェーデン中央銀行の長期インフレ目標に基づいている。当年度の減損テストは、2(2)%の長期成長率の仮定に基づいている。合計予想キャッシュ・フロー期間は20年間である。使用される最終価値は、テスト対象単位の純資産価額の予測である。見積キャッシュ・フローは、リスク・フリー金利及び市場の平均収益要件を加味したリスク調整に基づく金利によ

り割り引かれている。年次減損テストにおいては、税引後の割引率は5.9(6.3)%であった。税引前の割引率は、8.8(9.2)%であった。

のれんの年次減損テストにおける回収可能額と帳簿価額との差額は、満足できるものとみなされている。算定されたのれんの使用価値は、予想キャッシュ・フロー及び割引率に対して重要ないくつかの異なる変数からの影響を受けやすい。計算において最も重要な変数は、金利、景気循環、将来マージン及び費用削減に関する仮定である。重要な仮定に合理的に起こり得る変化が生じて、のれんの報告額に影響はない。

注記G25 不動産及び器具備品

不動産及び器具備品

百万スウェーデン・クローネ

器具備品

不動産

担保権が実行された不動産

合計

2016年	2015年
712	631
1,321	1,269
354	448
2,387	2,348

債権の保全のために担保権が実行された不動産には、当行グループの債権の保全のために担保権が実行された資産に関する会計方針に従って定期的に公正価値で測定される不動産が含まれている。注記G1を参照のこと。定期的に公正価値で測定される不動産の公正価値は、350(429)百万スウェーデン・クローネである。これらの不動産の未実現価値の変動により、当期純利益に1(5)百万スウェーデン・クローネの影響が及んだ。民間住宅の評価は、基本的に該当する地域における比較可能な不動産の購入取引に関する市場の観測値に基づいて行われている。商業用不動産の評価は、賃貸料、空室率、運営及び維持費、利回り要件及び金利計算等の仮定を用いた割引将来キャッシュ・フローに基づいて行われている。評価はまた、その不動産の状態、立地及び代替的な利用可能性に基づいて行われている。当行は原則として、商業用及び事務所用ビル並びに工業用不動産を評価する際には公認独立鑑定人を常に使用する。市場の観測値のみに基づく評価（330百万スウェーデン・クローネ）は、注記G40に記載されている評価ヒエラルキーのレベル2に区分されている。独自の仮定を重要といえる程度に使用している評価（10百万スウェーデン・クローネ）は、評価ヒエラルキーのレベル3に区分されている。定期的に公正価値で測定される不動産に関連するレベル3の未実現価値の変動によって、当年度利益に5(4)百万スウェーデン・クローネの影響が及んだ。当年度に売却した定期的に公正価値で測定される不動産の金額は82(167)百万スウェーデン・クローネであり、このうち2(8)百万スウェーデン・クローネは、売却前はレベル3に区分されていた。当年度の新規不動産の増加額は40(149)百万スウェーデン・クローネであり、このうち0(9)百万スウェーデン・クローネはレベル3に区分された。

器具備品

百万スウェーデン・クローネ

期首現在取得原価

当年度の取得原価の増加

当年度の企業結合による変動

貸借対照表の他の項目からの再分類

処分及び除却

外貨換算影響額

期末現在取得原価

2016年	2015年
1,654	1,399
360	318
16	-
-	195
-26	-221
-1	-37
2,003	1,654

期首現在減価償却及び減損累計額

-1,023	-931

当年度の企業結合による減価償却累計額	-14	-
貸借対照表の他の項目からの再分類	-	-83
当年度の予定減価償却	-269	-253
処分及び除却	23	217
外貨換算影響額	-8	27
期末現在減価償却及び減損累計額	-1,291	-1,023
帳簿価額	712	631

不動産

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
期首現在取得原価	2,160	2,155
当年度の取得原価の増加	-	-
当年度の企業結合による変動	54	-
新規建設及び改築	60	41
処分及び除却	-22	-29
外貨換算影響額	9	-7
期末現在取得原価	2,261	2,160

期首現在減価償却及び減損累計額	-891	-856
当年度の企業結合による減価償却累計額	-17	-
当年度の予定減価償却	-35	-38
当年度の減損	0	-
処分及び除却	4	4
外貨換算影響額	-1	-1
期末現在減価償却及び減損累計額	-940	-891
帳簿価額	1,321	1,269

注記G26 その他資産

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
投資銀行の決済業務に係る債権	2,357	4,565
その他	3,258	4,322
合計	5,615	8,887

注記G27 前払費用及び未収金

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
未収利息	3,684	3,785
その他未収収益	1,992	2,319
前払費用	546	143

合計	6,222	6,247

注記G28 金融機関からの預り金

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
預り金(スウェーデン・クローネ建て)		
銀行	29,082	16,722
その他金融機関	7,527	8,271
合計	36,609	24,993

預り金(外貨建て)

銀行	141,529	138,194
その他金融機関	643	583
合計	142,172	138,777
金融機関からの預り金合計	178,781	163,770
うち、レボ	-	290

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
金融機関からの預り金(スウェーデン・クローネ建て)	40,440	44,483
金融機関からの預り金(外貨建て)	221,398	236,991
合計	261,838	281,474
うち、レボ	562	2,915

注記G29 一般顧客からの預金及び借入金**一般顧客からの預金**

百万スウェーデン・クローネ

預金(スウェーデン・クローネ建て)

	2016年	2015年
個人	294,119	260,849
法人	183,451	174,979
国債局	-	-
合計	477,570	435,828

預金(外貨建て)

個人	92,716	74,640
法人	205,517	178,904
国債局	-	-
合計	298,233	253,544

一般顧客からの預金合計	775,803	689,372

一般顧客からの借入金

百万スウェーデン・クローネ

借入金(スウェーデン・クローネ建て)

	2016年	2015年
借入金(スウェーデン・クローネ建て)	26,320	29,846
借入金(外貨建て)	27,213	34,637
合計	53,533	64,483

うち、レボ	-	-
うち、保険事業	8,360	8,879

一般顧客からの預金及び借入金合計	829,336	753,855

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

一般顧客からの預金

	2016年	2015年
一般顧客からの預金(スウェーデン・クローネ建て)	460,276	417,509
一般顧客からの預金(外貨建て)	293,497	293,480
合計	753,773	710,989

一般顧客からの借入金

借入金(スウェーデン・クローネ建て)	32,535	36,511
借入金(スウェーデン・クローネ建て)、保険事業	8,587	9,425
借入金(外貨建て)	189,857	250,208
合計	230,979	296,144
うち、レボ	7,706	8,552

注記G30 顧客が価値変動リスクを負う負債

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
ユニットリンク及びポートフォリオ社債保険負債	114,720	101,724
その他のファンド負債	3,697	3,501
非保有連結ファンドの持分	328	-
合計	118,745	105,225

注記G31 発行済証券

	2016年		2015年	
	額面価格	帳簿価額	額面価格	帳簿価額
百万スウェーデン・クローネ				
コマーシャル・ペーパー				
コマーシャル・ペーパー (スウェーデン・クローネ建て)	3,409	3,701	6,371	6,594
うち				
償却原価で計上	-	-	400	400
トレーディング目的	3,409	3,701	5,971	6,194
コマーシャル・ペーパー(外貨建て)	356,665	351,868	356,682	365,002
うち				
償却原価で計上	354,994	359,807	355,240	363,306
トレーディング目的	1,671	2,061	1,442	1,696
合計	360,074	365,569	363,053	371,596
社債				
社債(スウェーデン・クローネ建て)	442,500	460,004	418,572	439,281
うち				
償却原価で計上	442,500	460,004	418,572	439,281
公正価値ヘッジ目的	-	-	-	-
社債(外貨建て)	436,519	436,192	434,221	434,490
うち				
償却原価で計上	436,519	436,192	434,221	434,490
公正価値ヘッジ目的	-	-	-	-
合計	879,019	896,196	852,793	873,771
発行済証券合計	1,239,093	1,261,765	1,215,846	1,245,367

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
期首現在発行済証券	1,245,367	1,212,613
発行済	1,250,093	1,142,907
買戻し	-52,372	-72,680
満期が到来したもの	-1,205,320	-1,043,828
外貨換算影響額等	23,997	6,355

期末現在発行済証券	1,261,765	1,245,367

平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
スウェーデン・クローネ	464,861	456,539
外貨	833,146	775,075
合計	1,298,007	1,231,614

注記G32 ショートポジション

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
公正価値で計上されるショートポジション		
株式	1,346	1,499
利付証券	226	917
合計	1,572	2,416

平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
スウェーデン・クローネ	13,701	17,879
外貨	312	263
合計	14,013	18,142

注記G33 保険負債

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
疾病年金に係る負債	176	235
終身年金に係る負債	213	162
その他未払保険金に係る負債	171	196
前払保険料に係る負債	14	14
合計	574	607

注記G34 税金**繰延税金資産**

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
ヘッジ手段	238	206
無形資産	4	7
不動産及び器具備品	13	20
年金	646	1,252
その他	61	4
合計	962	1,489

繰延税金負債

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
一般顧客への貸出金 ¹	5,685	6,116
ヘッジ手段	1,717	2,408
無形資産	258	72
不動産及び器具備品	98	91
年金	-	-
その他	117	157
合計	7,875	8,844
繰延税金負債純額	6,913	7,355

繰延税金の変動、2016年

百万スウェーデン・クローネ

	期首残高	損益計算書に 計上	その他包括利 益に計上	外貨換算 影響額	期末残高
一般顧客への貸出金 ¹	6,116	-431	-	-	5,685
ヘッジ手段	2,202	-1	-723	1	1,479
無形資産	65	59	127	3	254
不動産及び器具備品	71	7	7	-	85
年金	-1,252	-290	876	20	-646
その他	153	-94	-9	6	56
合計	7,355	-750	278	30	6,913

繰延税金の変動、2015年

百万スウェーデン・クローネ

	期首残高	損益計算書に 計上	その他包括 利益に計上	外貨換算 影響額	期末残高
一般顧客への貸出金 ¹	6,471	-355	-	-	6,116
ヘッジ手段	2,393	6	-197	-	2,202
無形資産	68	-6	0	3	65
不動産及び器具備品	58	12	1	-	71
年金	-370	-189	-688	-5	-1,252
その他	200	-48	0	1	153
合計	8,820	-580	-884	-1	7,355

損益計算書に計上された税金費用

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
当期税金		
当期税金費用	-4,922	-4,820
過年度に関する税金の調整	-229	-37
繰延税金		
一時差異の変動	750	580
合計	-4,401	-4,277

スウェーデンにおける名目税率、%	22.0	22.0
乖離		
保険事業における異なる税率	-0.6	-0.6
非課税所得/損金不算入費用	-1.2	-0.7
過年度に関する税金	1.1	0.2
実効税率、%	21.3	20.9

1) うち、5,686(6,116)百万スウェーデン・クローネはリース。

[次へ](#)

注記G35 引当金

	リストラク チャリングに 関する引当金	保証契約に 関する引当金	その他 引当金	合計 2016年	合計 2015年
百万スウェーデン・クローネ					
期首現在引当金	-	40	73	113	68
当期の引当金繰入	700	37	83	820	45
取崩	-197	-	-2	-199	-
戻入	-	-	-3	-3	-
期末現在引当金	503	77	151	731	113

リストラクチャリングに関する引当金は主に従業員の早期退職に関する追加費用に関係している。この引当金の大半は2017年中に決済が見込まれている。保証契約に関する引当金は、いくつかのオフバランスシート項目に関する引当金より構成されている。

当行のグループ会社に対する賠償請求の解決のために将来必要になることが予想される金額は、その他引当金として表示されている。

注記G36 その他負債

	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ		
投資銀行の決済業務に係る負債	2,533	6,524
その他	6,894	7,682
合計	9,427	14,206

注記G37 未払費用及び繰延収益

	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ		
未払利息費用	11,525	12,148
その他未払費用	1,801	4,302
繰延収益	1,254	1,135
合計	14,580	17,585

注記G38 劣後負債

	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ		
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	8,230	10,519
劣後ローン(外貨建て)	25,170	23,697
合計	33,400	34,216

平均残高

	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ		
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	9,284	10,510
劣後ローン(外貨建て)	24,323	28,144
合計	33,607	38,654

劣後ローン、内訳

発行/満期

各通貨別の
当初名目金額

金利、%

残高

スウェーデン・クローネ建て

スウェーデン・クローネ建て劣後負債¹

合計

外貨建て

2014/期限付²2015/永久³

合計

劣後負債合計

1) スウェーデン・クローネ建て劣後ローンは、個別に見ると劣後負債合計額の10%未満となっている。合計には、変動金利の永久劣後ローン1件が含まれている。当該ローンは、額面金額にして3.2十億スウェーデン・クローネの劣後転換ローンで、市場条件に基づき、当行グループの従業員に対して発行された。当該ローンは、規制自己資本に含まれてはいるが、ハンデルスバンケンの株式に転換可能である。当行は随時転換を要求できる権利を有し、当該ローンの保有者は2019年5月1日から11月30日までの期間に転換を要求できる権利を有している。調整後転換価格は114.40スウェーデン・クローネである。当初の転換価格は、ローン期間中の配当金及び株式分割に対して調整されている。当行の、又は連結ベースで計算された普通株式等Tier 1資本比率が7%を下回った場合、自動的に転換される。その他のスウェーデン・クローネ建て劣後ローンについては、注記G51を参照のこと。

2) ユーロ建て劣後ローンの詳細情報については、注記G51を参照のこと。

3) 米ドル建て劣後ローンの詳細情報については、注記G51を参照のこと。

注記G39 金融資産及び負債の分類

2016年	損益計算書に公正価値で計 上されるもの		ヘッジ手段 として特定						
	トレーディ ング目的	その他 ¹	されたデリ バティブ	満期保有 投資	貸出金及び 債権	売却可能 金融資産	その他 金融負債	帳簿価額 合計	公正価値
資産									
現金及び中央銀行 預け金					199,362			199,362	199,362
中央銀行へのその 他の貸出金					25,527			25,527	25,527
中央銀行への担保 として適格な利 付証券	13,000	83,458				747		97,205	97,205
その他金融機関へ の貸出金					31,347			31,347	31,148
一般顧客への貸出 金		926			1,962,696			1,963,622	1,978,834
ポートフォリオ・ ヘッジにおける 金利ヘッジ対象 の価値変動					35			35	
社債及びその他の 利付証券	22,328	36,117				5,464		63,909	63,909
株式	17,727	1,067				1,618		20,412	20,412

顧客が価値変動リスクを負う資産	118,588			58			118,646	118,646
デリバティブ商品	19,742		62,891				82,633	82,633
その他資産	32			5,584			5,616	5,616
前払費用及び未収金	170	520		5,528	4		6,222	6,222
金融資産合計	72,999	240,676	62,891	2,230,137	7,833		2,614,536	2,629,514
関連会社に対する投資							255	
その他非金融資産							12,789	
資産合計							2,627,580	

2016年	損益計算書に公正価値 で計上されるもの		ヘッジ手段と して特定され た デリバティブ	満期保有 投資	貸出金及 び 債権	売却可能 金融資産	その他金融 負債	帳簿価額 合計	公正価値
	トレーディン グ目的	その他 ¹							
負債									
金融機関から の預り金							178,781	178,781	180,648
一般顧客から の預金及び 借入金							829,336	829,336	829,303
顧客が価値変 動リスクを 負う負債		118,687					58	118,745	118,745
発行済証券	5,763						1,256,002	1,261,765	1,280,523
デリバティブ 商品	23,272		8,466					31,738	31,738
ショートポジ ション	1,572							1,572	1,572
その他負債	21						9,407	9,428	9,428
未払費用及び 繰延収益	2						14,578	14,580	14,580
劣後負債							33,400	33,400	35,330
金融負債合計	30,630	118,687	8,466				2,321,562	2,479,345	2,501,867
その他非金融 負債								11,854	
負債合計								2,491,199	

1) 公正価値で測定されるものとして分類されているもの。

	損益計算書に公正価値 で計上されるもの		ヘッジ手段と して特定され たデリバティ ブ	満期保有 投資	貸出金及び 債権	売却可能 金融資産	その他金融 負債	帳簿価額 合計	公正価値
2015年	トレーディ ング目的	その他 ¹							
百万スウェー デン・クロー ネ									
資産									
現金及び中央 銀行預け金					202,630			202,630	202,630
中央銀行への その他の貸 出金					34,118			34,118	34,118
中央銀行への 担保として 適格な利付 証券	33,286	39,717		752	0	1,022		74,777	74,777
その他金融機 関への貸出 金					49,656			49,656	49,445
一般顧客への 貸出金		1,619			1,864,848			1,866,467	1,878,810
ポートフォリ オ・ヘッジ における金 利ヘッジ対 象の価値変 動					27			27	
社債及びその 他の利付証 券	7,788	32,996		250		3,479		44,513	44,513
株式	22,757	1,049				6,581		30,387	30,387
顧客が価値変 動リスクを 負う資産		105,077			69			105,146	105,146
デリバティブ 商品	30,997		54,350					85,347	85,347
その他資産	10				8,877			8,887	8,887
前払費用及び 未収金	211	642			5,392	2		6,247	6,247
金融資産合計	95,049	181,100	54,350	1,002	2,165,617	11,084		2,508,202	2,520,307
関連会社に対 する投資								245	
その他非金融 資産								13,686	
資産合計								2,522,133	

2015年	損益計算書に公正価値 で計上されるもの	

			ヘッジ手段						
百万スウェーデン・クローネ	トレーディング		として特定されたデリバティブ	満期保有投資	貸出金及び債権	売却可能金融資産	その他金融負債	帳簿価額合計	公正価値
	目的	その他 ¹							
負債									
金融機関からの預り金							163,770	163,770	165,587
一般顧客からの預金及び借入金							753,855	753,855	753,825
顧客が価値変動リスクを負う負債		105,156					69	105,225	105,225
発行済証券	7,890						1,237,477	1,245,367	1,267,460
デリバティブ商品	31,693		8,899					40,592	40,592
ショートポジション	2,416							2,416	2,416
その他負債	16						14,190	14,206	14,206
未払費用及び繰延収益	6						17,579	17,585	17,585
劣後負債							34,216	34,216	37,191
金融負債合計	42,021	105,156	8,899				2,221,156	2,377,232	2,404,087
その他非金融負債								16,633	
負債合計								2,393,865	

1) 公正価値で測定されるものとして分類されているもの。

分類変更された金融資産

	2016年		2015年	
	トレーディング 目的保有 から分類変更	売却可能から 分類変更	トレーディン グ目的保有 から分類変更	売却可能から 分類変更
百万スウェーデン・クローネ				
帳簿価額	10	1,290	11	4,092
公正価値	10	1,209	11	4,078
損益計算書に計上された価値変動	-	0	-	11
その他包括利益に計上された価値変動	1	94	1	109
損益計算書に計上されていたであろう価値変動 (資産の分類変更が行われなかった場合)	0	0	-1	11
その他包括利益に計上されていたであろう価値変 動(資産の分類変更が行われなかった場合)	-	5	-	12
収益として計上された利息	0	41	0	49

2008年7月1日に、上記の保有資産はすべて貸出金及び債権に分類変更された。

注記G40 金融商品の公正価値測定**公正価値で計上される金融商品、2016年**

百万スウェーデン・クローネ

資産**中央銀行への担保として適格な利付証券**

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
トレーディング目的保有	12,927	73	-	13,000
公正価値で計上されるもの	81,837	1,621	-	83,458
売却可能	747	-	-	747
一般顧客への貸出金	-	909	17	926

社債及びその他の利付証券

トレーディング目的保有	21,610	718	-	22,328
公正価値で計上されるもの	34,996	1,121	-	36,117
売却可能	4,908	556	-	5,464

株式

トレーディング目的保有	10,723	7,004	-	17,727
公正価値で計上されるもの	805	-	262	1,067
売却可能	-	43	1,575	1,618

顧客が価値変動リスクを負う資産	117,826	-	762	118,588

デリバティブ商品	408	82,225	-	82,633

合計	286,787	94,270	2,616	383,673

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	117,925	-	762	118,687

発行済証券	-	5,763	-	5,763

デリバティブ商品	443	31,295	-	31,738

ショートポジション	1,097	475	-	1,572

合計	119,465	37,533	762	157,760

公正価値で計上される金融商品、2015年

百万スウェーデン・クローネ

資産**中央銀行への担保として適格な利付証券**

トレーディング目的保有	33,284	2	-	33,286
公正価値で計上されるもの	37,875	1,842	-	39,717
売却可能	1,022	-	-	1,022
一般顧客への貸出金	-	1,609	10	1,619

社債及びその他の利付証券

トレーディング目的保有	6,027	1,761	-	7,788
公正価値で計上されるもの	31,988	1,008	-	32,996

売却可能	3,479	-	-	3,479
株式				
トレーディング目的保有	18,964	3,793	-	22,757
公正価値で計上されるもの	667	-	382	1,049
売却可能	4,666	1,014	901	6,581
顧客が価値変動リスクを負う資産	104,345	-	732	105,077
デリバティブ商品	275	85,072	-	85,347
合計	242,592	96,101	2,025	340,718
負債				
顧客が価値変動リスクを負う負債	104,424	-	732	105,156
発行済証券	-	7,890	-	7,890
デリバティブ商品	786	39,806	-	40,592
ショートポジション	2,098	318	-	2,416
合計	107,308	48,014	732	156,054

評価ヒエラルキー

上表の公正価値で計上される金融商品は、適用された評価方法及び評価時に市場データを使用した程度に応じて区分されている。その区分は、上表においてレベル1から3で示されている。貸借対照表日の市場価格で評価される金融商品は、レベル1に区分されている。これらの金融商品は、主に活発に取引されている国債及びその他の利付証券、上場株式及び資産に対応するショートポジションで構成されている。レベル1にはまた、大部分のミューチュアル・ファンドにおける株式、ユニットリンク保険契約及び類似契約に関連するその他の資産並びにその資産に対応する負債が含まれている。実質的に市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価される金融商品は、レベル2に区分されている。レベル2には、主に利付証券、金利及び通貨関連デリバティブが含まれている。外部の市場情報を用いて検証することのできないインプット・データが、その価値に重要な影響を及ぼす金融商品は、レベル3に区分される。

その区分は、貸借対照表日現在で適用された評価方法に基づいて行われている。特定の金融商品の区分が過年度の貸借対照表日（2015年12月31日）から変更された場合には、その金融商品は上表のレベル間で振り替えられている。当年度において、市場活動を新たに評価した結果、一部の金融商品がレベル1とレベル2の間で振り替えられている。資産サイドでは、835百万スウェーデン・クローネ相当の利付証券がレベル2からレベル1に振り替えられた。負債サイドでは、130百万スウェーデン・クローネ相当のデリバティブがレベル1からレベル2に振り替えられ、265百万スウェーデン・クローネ相当のデリバティブがレベル2からレベル1に振り替えられた。当年度のレベル3の保有商品の変動は別個の表で示している。

レベル3の保有商品は、主に非上場の株式及びプライベート・エクイティ・ファンドにおける保有株式で構成されている。プライベート・エクイティ・ファンドにおける保有株式は、主に同一業種の比較可能な上場企業の相対的評価を基礎とする評価モデルを使用して評価されている。比較に使用される業績の測定は、当該投資との比較のために利用される会社との比較を歪める要因について調整された後、収益乗数(例：株価収益率)に基づいて評価される。これらのポートフォリオの大部分は、当行グループの保険事業における投資資産に関するものである。投資資産の価値変動は、保険事業における利回り分割の計算基礎に含められているため、損益計算書に直接計上されない。

当行グループが保有している非上場株式は、主に当行の事業に関連する種々の共同事業に対する当行の参加持分で構成されている。例えば、これらは決済機関に対する参加持分の場合もあれば、ハンデルスバンケンの拠点市場におけるインフラ関連の協業に対する参加持分の場合もある。それらの持分は、原則として当該会社における純資産価値に占める当行の持分、あるいは当該会社に関する最終取引価格で評価される。非上場株式の重要な部分はすべて、売却可能区分に分類されている。したがって、これらのポートフォリオの価値変動は、その他包括利益に計上されている。

当年度のレベル3の金融商品の実現価値の変動額は65(-179)百万スウェーデン・クローネであり、このうち70(-186)百万スウェーデン・クローネは、保険事業における利回り分割の計算に含められている。残りの金額は、金融取引による純損益に認識されている。

取引価格と評価モデルを用いて算出された価値との差額

注記G1の会計方針に記載されているとおり、デリバティブに評価モデルを適用する場合、当初認識時の評価と取引価格との間の重要な正の差額（いわゆる取引日利益）がデリバティブの契約期間にわたって償却されている。この原則を適用した結果、当年度において143(126)百万スウェーデン・クローネが金融取引による純損益に認識された。当年度末現在の未認識の取引日利益は、585(539)百万スウェーデン・クローネであった。

レベル3の金融商品の調整、2016年 百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ の正味 ポジション	一般顧客 への貸出金	顧客が価値変動 リスクを 負う資産	顧客が価値変動 リスクを 負う負債	発行済 証券
期首現在帳簿価額	1,283	-	10	732	-732	-
取得	14	-	-	-	-	-
買戻／売却	-90	-	-	-	-	-
満期を迎えたもの	-	-	-2	-	-	-
未実現価値変動（損益計算書に計 上）	-55	-	-	30	-30	-
未実現価値変動（その他包括利益に 計上）	685	-	1	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	-	8	-	-	-
レベル1又は2への振替	-	-	-	-	-	-
期末現在帳簿価額	1,837	-	17	762	-762	-

レベル3の金融商品の調整、2015年 百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティ ブ の正味 ポジション	一般顧客 への貸出金	顧客が価値変動 リスクを 負う資産	顧客が価値変動 リスクを 負う負債	発行済 証券
期首現在帳簿価額	1,405	-	13	698	-698	-94
取得	57	-	-	-	-	94
買戻／売却	-142	-	-	-	-	-
満期を迎えたもの	-	-	-5	-	-	-
未実現価値変動（損益計算書に計 上）	-116	-	-	34	-34	-

未実現価値変動（その他包括利益に計上）	82	-	-	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	-	2	-	-	-
レベル1又は2への振替	-3	-	-	-	-	-
期末現在帳簿価額	1,283	-	10	732	-732	-

取得原価又は償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報についての原則

取得原価又は償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報は、注記G39及び以下の表に記載されている。これらの金融商品は、基本的に貸出金、預金及び資金調達に分類される。決済手段及び短期の債権債務の帳簿価額は、これらの項目の公正価値の妥当な推定値とみなされている。満期日又は次回の金利更改日が30日以内に到来する債権債務は、短期項目と定義されている。

固定金利の貸出金の評価は、市場で想定される信用リスク及び流動性リスクに関するプレミアムを調整した最新の市場金利を基礎としている。このプレミアムは、測定時における新規貸出の平均マージンに等しいと仮定されている。利付証券は、入手可能な最新の市場価格で評価されている。市場価格に関する情報が入手不能な資金調達及び利付証券は、類似金融商品の価格又は金利等の市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価されている。

以下の表における取得原価又は償却原価で計上される金融商品の公正価値評価で使用された情報は、上述の評価ヒエラルキーで区分されている。決済手段及び預金は、現金同等物とみなされており、レベル1に区分されている。レベル1には、最新の市場価格がある利付証券（資産及び負債）も含まれている。信用及び流動性プレミアムに関する仮定が公正価値情報に重大な影響を及ぼす貸出金は、レベル3に区分されている。その他の金融商品は、レベル2に区分されている。

取得原価又は償却原価で認識される金融商品の公正価値、2016年

百万スウェーデン・クローネ

資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金及び中央銀行預け金	199,362	-	-	199,362
中央銀行へのその他の貸出金	20,269	5,258	-	25,527
中央銀行への担保として適格な利付証券	-	-	-	-
その他金融機関への貸出金	11,927	18,228	993	31,148
一般顧客への貸出金	1,310	12,230	1,964,368	1,977,908
社債及びその他の利付証券	-	-	-	-
顧客が価値変動リスクを負う資産	-	58	-	58
合計	232,868	35,774	1,965,361	2,234,003

負債

金融機関からの預り金	110,885	69,763	-	180,648
一般顧客からの預金及び借入金	771,416	57,887	-	829,303
顧客が価値変動リスクを負う負債	-	58	-	58
発行済証券	765,371	509,390	-	1,274,761
劣後負債	-	35,330	-	35,330

合計	1,647,672	672,428	-	2,320,100

**取得原価又は償却原価で認識される金融商品の
公正価値、2015年**

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	202,630	-	-	202,630
中央銀行へのその他の貸出金	15,653	18,465	-	34,118
中央銀行への担保として適格な利付証券	752	-	-	752
その他金融機関への貸出金	14,852	33,452	1,141	49,445
一般顧客への貸出金	6,981	1,828	1,868,382	1,877,191
社債及びその他の利付証券	250	-	-	250
顧客が価値変動リスクを負う資産	-	69	-	69
合計	241,118	53,814	1,869,523	2,164,455

負債

金融機関からの預り金	57,422	108,165	-	165,587
一般顧客からの預金及び借入金	688,286	65,539	-	753,825
顧客が価値変動リスクを負う負債	-	69	-	69
発行済証券	706,337	553,233	-	1,259,570
劣後負債	-	37,191	-	37,191
合計	1,452,045	764,197	-	2,216,242

注記G41 担保として差し入れた資産、受け入れた担保及び譲渡された金融資産

自己の債務の担保として差し入れた資産

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
現金	17,411	22,017
国債及び社債	33,561	25,920
一般顧客への貸出金	662,920	617,726
株式	1,003	933
顧客が価値変動リスクを負う資産	114,771	102,382
その他	10,316	10,856
合計	839,982	779,834
うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産	20,145	17,672

その他担保資産

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
現金	457	863
国債及び社債	23,486	18,609
一般顧客への貸出金	3,788	3,820

株式	5,644	10,196
その他	0	-
合計	33,375	33,488
うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産	27,136	22,345

その他の担保資産は、貸借対照表に報告されていない債務に対して差し入れた担保のことである。

担保資産

担保として差し入れた利付証券は、主に支払制度、トレーディング及び決済のための担保として中央銀行及びその他金融機関へ差し入れられた有価証券、並びに拘束力のある買戻契約（レポ）に基づいて売却された有価証券で構成されている。担保として差し入れた株式は、主に貸付有価証券及び保険事業における株式より構成される。

担保として差し入れた一般顧客への貸出金は、主にスタッドフィポテックが発行したカバード・ボンド保有者のために登記された担保より構成されている。当該担保は、主に一世帯向け住宅、セカンド・ハウス、多世帯住居又は住宅共同組合アパートメントの住宅ローンで融資された貸出金より構成されており、不動産価値に対する融資比率は、市場価値の75%以内となっている。会社が破綻した際には、カバード・ボンド法及び優先権法に従ってカバード・ボンドの所有者が担保資産の優先権をもつ。破産決定時に担保として差し入れたすべての資産が当該優先権法の条件を満たす場合、これらは、破産財団のその他資産及び負債とは別個に保持される。その後、当該ボンドの保有者は、引き続きボンドの契約条件に基づいた支払を満期まで受け取ることになる。

顧客が価値変動リスクを負う資産は、主にハンデルスバンケン・リヴの保険契約者が優先権を有するユニットリンク保険契約のユニットより構成される。

受け入れた担保

売戻契約及びエクイティ・ローンについて、担保は、第三者に売却又は再担保として差し入れ可能な有価証券の形態で受領している。それらの有価証券は、貸借対照表上に報告されない。売戻契約及びエクイティ・ローン契約に基づいて受け入れた担保の公正価値は、事業年度末現在において、19,976(24,327)百万スウェーデン・クローネで、第三者に売却又は再担保として差し入れられた担保の価値は、5,519(8,933)百万スウェーデン・クローネであった。貸出金に関して受け入れた担保及びその他受け入れた担保に関する情報については、注記G2に示されている。

貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産

譲渡金融資産とは、将来キャッシュ・フローに関する権利が直接又は間接的に外部のカウンターパーティに譲渡された資産のことを指す。貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産の大部分は、利付証券より構成されており、拘束力のある買戻契約に基づいて売却したもの又は貸付有価証券である。通常、拘束力のある買戻契約又はエクイティ・ローンの条件は、当行と各カウンターパーティとの間の基本契約において規定されている。

拘束力のある買戻契約は、将来の予め設定した時期に固定価格で有価証券を買い戻すことを前提として有価証券を売却することを意味している。したがって、有価証券の売り手は、契約期間中、価値変動のリスクにさらされることとなる。買戻契約に基づいて売却された有価証券は、契約期間を通じて、貸借対照表上に市場価格で計上される。受領した代価は、カウンターパーティに対する負債として計上される。買戻契約の標準的な条件に従って、売却された有価証券の所有権はすべて売り手から買い手に譲渡される。これは、買い手が購入した有価証券の売却、再担保又は処分の権利を有していることを意味している。

エクイティ・ローンの標準的な契約に従って、貸付有価証券の価値変動に対するエクスポージャーは、貸手にある。したがって、貸付有価証券は、貸付期間を通じて貸借対照表に計上される。貸付有価証券の担保は、通常、現金又はその他の有価証券の形態をとっている。受け入れた現金担保は、貸借対照表上に負債として計上される。買戻契約と同様に、エクイティ・ローンで用いられる標準契約により、借り手は貸付期間中に借り入れた有価証券を売却、再担保又は処分する権利を有することになる。

有価証券トレーディング、決済等の目的で担保として差し入れた国債、社債及び株式は、当該債券の権利がカウンターパーティに譲渡される場合、その他の譲渡金融資産として計上されている。譲渡金融資産にはまた、顧客が価値変動リスクを負う特定の資産も含まれている。この項目には、当行が正式な所有権を有しているものの、資産に関連するリスクも将来キャッシュ・フローに関する権利も第三者に譲渡された金融商品ポートフォリオも含まれている。これらの資産の評価は、対応する負債項目の評価を反映している。

貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産 百万スウェーデン・クローネ	2016年		2015年	
	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額
株式、証券貸付	6,002	340 ¹	220	83 ¹
株式、その他	-	-	10,196	-
国債及び社債、買戻契約	928	2	290	290
国債及び社債、その他	710	-	-	-
顧客が価値変動リスクを負う資産	824	824	1,162	1,162
合計	8,464	1,166	11,868	1,535

1) 現金で受領した担保

注記642 偶発債務

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
保証、貸出金	9,643	9,750
保証、その他	63,108	61,274
信用状	4,237	4,287
その他	1,542	2,146
合計	78,530	77,457

偶発債務

偶発債務は、主に様々な種類の保証で構成されている。信用保証は、他の信用機関及び年金機関に対するコミットメントを保証するために顧客に提供される。その他の保証は主として、入札保証金、前払金に関する保証、保証期間中の保証、輸出関連の保証等の商業保証である。偶発債務には、未使用の取消不能輸入信用状及び確認輸出信用状も含まれる。これらの取引は当行のサービスに含まれるもので、当行の顧客を支援するために提供されている。この表には保証額が示されている。

請求

当グループ内の会社は、多くの民事裁判において一般法による請求を受けている。当該評価では、基本的に当グループに有利な解決が見込まれている。係争金額は当グループの財政状態又は損益に大きな影響を及ぼさないと評価されている。

注記G43 その他コミットメント

	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ		
ローン・コミットメント	272,729	267,200
当座貸越枠の未使用分	128,967	129,216
その他	23,571	24,441
合計	425,267	420,857

**取消不能オペレーティング・リース契約における将来リース料、
支払期限別**

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
1年未満	781	774
1年から5年	2,031	2,172
5年超	1,128	1,250
合計	3,940	4,196

オペレーティング・リースは、主に事務所及び事務所設備の賃借に関する標準的な契約に関するものである。

注記G44 リース**投資総額及び将来最低リース料の現在価値に関する開示**

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
投資総額	35,411	37,180
貸借対照表日における将来最低リース料の現在価値	35,008	35,985

満期別の投資総額及び最低リース料の配分

百万スウェーデン・クローネ	1年以内	1年から5年	5年超	合計
2016年				
投資総額の配分	3,823	16,322	15,266	35,411
将来最低リース料の現在価値の配分	3,810	16,113	15,085	35,008
2015年				
投資総額の配分	4,379	16,442	16,359	37,180
将来最低リース料の現在価値の配分	4,360	16,198	15,427	35,985

前受金融収益

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
前受金融収益	403	1,195

当行グループ内の会社は、ファイナンス・リースの貸手である。すべてのリースは、残存価値が保証されている。最低リース料に関する減損貸出金引当金の帳簿価額は、0(0.2)百万スウェーデン・クローネである。当年度の利益に含まれているリース料の変動部分は、89(151)百万スウェーデン・クローネである。この減少の原因の一部は、金利の低下や取引高の低下による。

当年度末において、当行グループには、5つのリース・エクスポージャーがあり、個別の帳簿価額はそれぞれ10億スウェーデン・クローネを超えていた。これらのエクスポージャーは、運輸及びエネルギーセクターにおけるものである。

注記G45 セグメント報告

セグメント報告 百万スウェーデン・ クローネ	拠点市場						キャピ タル・マー ケッツ		調整及び 消去	継続事業
	スウェー デン	英国	デン マーク	フィン ランド	ノル ウェー	オランダ	その他	その他		
純利息収益	15,519	4,414	1,686	1,218	3,355	438	557	756		27,943
純手数料及び コミッション収益	4,233	519	379	419	381	75	3,081	69		9,156
金融取引による純損 益	725	219	75	87	114	5	984	857		3,066
保険リスク							142			142
関連会社の持分利益						2		23		25
その他の収益	47	3	15	10	81	1	8	266		431
収益合計	20,524	5,155	2,155	1,734	3,931	521	4,772	1,971		40,763
人件費	-3,671	-1,849	-655	-380	-676	-210	-2,368	-2,335	-398	-12,542
その他費用	-1,153	-463	-194	-210	-206	-60	-871	-2,244		-5,401
内部購入及び売却さ れたサービス	-2,645	-545	-287	-239	-379	-77	-56	4,228		
不動産及び器具備品 並びに無形資産の 減価償却費、償却 費及び減損損失	-67	-46	-14	-14	-8	-7	-76	-248	-15	-495
費用合計	-7,536	-2,903	-1,150	-843	-1,269	-354	-3,371	-599	-413	-18,438
貸倒損失控除前利益	12,988	2,252	1,005	891	2,662	167	1,401	1,372	-413	22,325
正味貸倒損失	-416	-160	-716	-36	-347	0	-49			-1,724
不動産及び器具備品 並びに無形資産の 処分損益	0	2	7	0	0	-	0	23		32
営業利益	12,572	2,094	296	855	2,315	167	1,352	1,395	-413	20,633
利益配分	997	35	85	131	91	3	-1,342	-		
利益配分後の営業利 益	13,569	2,129	381	986	2,406	170	10	1,395	-413	20,633
内部収益 ¹	116	-1,195	-334	-262	-2,463	-210	-2,851	7,199		
C/I比率、%	35.0	55.9	51.3	45.2	31.6	67.6	98.3			45.2
貸倒実績率、%	0.03	0.08	0.85	0.03	0.17	0.00	0.10			0.09
資産	1,572,446	316,732	108,299	178,132	246,940	35,293	279,905	1,810,638	-1,920,805	2,627,580
負債	1,494,646	305,306	102,078	171,880	231,057	34,042	274,872	1,810,638	-1,933,320	2,491,199
割当済資本	77,800	11,426	6,221	6,252	15,883	1,251	5,033		12,515	136,381
割当済資本に係る 利益率、%	14.7	15.4	4.8	13.0	13.3	12.5	0.2			13.1

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト（Svenska Handelsbanken AB（publ））(E27561)
有価証券報告書

当年度の非金融固定 資産への投資	66	155	4	20	17	13	295	403	973
当年度の関連会社へ の投資								19	19
平均従業員数	4,293	1,959	624	491	668	206	1,678	1,840	11,759

- 1) 収益総額に含まれている内部収益は、その他の事業セグメントとの取引によって生じた収益より構成されている。利息収益及び利息費用は、収益として純額で計上される。これは、内部収益には、セグメント間の内部資金調達費用が純額で含まれることを意味する。

セグメント報告

拠点市場

2015年

百万スウェーデン・
クローネ

	スウェー デン	英国	デン マーク	フィン ランド	ノル ウェー	オランダ	キャピ タル・マー ケッツ	その他	調整及び 消去	継続事業
純利息収益	15,278	4,570	1,678	1,361	3,248	328	641	636		27,740
純手数料及び コミッション収益	4,619	452	436	387	395	23	2,972	36		9,320
金融取引による純損益	383	194	77	60	94	5	1,226	569		2,608
保険リスク							157			157
関連会社の持分利益								17		17
その他の収益	61	7	17	23	31	-	10	345		494
収益合計	20,341	5,223	2,208	1,831	3,768	356	5,006	1,603		40,336
人件費	-3,620	-1,870	-629	-369	-713	-158	-2,447	-2,651	-124	-12,581
その他費用	-1,163	-429	-178	-161	-207	-37	-857	-2,171		-5,203
内部購入及び売却され たサービス	-2,595	-455	-279	-247	-370	-84	-86	4,116		
不動産及び器具備品並 びに無形資産の減価 償却費、償却費及び 減損損失	-88	-30	-15	-11	-13	-3	-79	-248		-487
費用合計	-7,466	-2,784	-1,101	-788	-1,303	-282	-3,469	-954	-124	-18,271
貸倒損失控除前利益	12,875	2,439	1,107	1,043	2,465	74	1,537	649	-124	22,065
正味貸倒損失	-763	-224	-299	-83	-222	-2	-4			-1,597
不動産及び器具備品並 びに無形資産の処分 損益	-2	-12	8	0	6	-	0	7		7
営業利益	12,110	2,203	816	960	2,249	72	1,533	656	-124	20,475
利益配分	935	34	72	110	57	0	-1,209	1		
利益配分後の営業利益	13,045	2,237	888	1,070	2,306	72	324	657	-124	20,475
内部収益 ¹	46	-1,481	-295	-367	-2,805	-175	-2,347	7,424		
C/I比率、%	35.2	53.0	48.3	40.6	34.1	79.2	91.4			45.3
貸倒実績率、%	0.07	0.13	0.37	0.07	0.11	0.01	0.01			0.09
資産	1,488,781	302,077	94,037	168,403	211,360	24,514	284,166	1,777,015	-1,828,220	2,522,133
負債	1,416,887	291,625	87,818	162,217	198,394	23,663	278,495	1,777,015	-1,842,249	2,393,865
割当済資本	71,894	10,452	6,219	6,186	12,966	851	5,671		14,029	128,268
割当済資本に係る 利益率、%	14.7	16.8	11.2	13.8	13.6	6.4	4.5			13.4
当年度の非金融固定 資産への投資	59	364	3	27	20	17	273	246		1,009
当年度の関連会社 への投資								10		10
平均従業員数	4,468	1,794	631	496	676	159	1,766	1,829		11,819

- 1) 収益総額に含まれている内部収益は、その他の事業セグメントとの取引によって生じた収益より構成されている。利息収益及び利息費用は、純額で収に計上される。これは、内部収益には、セグメント間の内部資金調達費用が純額で含まれていることを意味する。

事業セグメントは、IFRS第8号「事業セグメント」に準拠して認識されている。これは、セグメント情報がコーポレート・ガバナンスの一環として内部的に採用される方法と類似した方法で表示されていることを意味する。ハンデルスバンケンの事業は、以下のセグメントに区分して表示されており、これらは、スウェーデン、英国、デンマーク、フィンランド、ノルウェー及びオランダ、並びにキャピタル・マーケットである。2016年に、ユニバーサル・バンキング・サービスを提供しているハンデルスバンケンの支店業務は、14の地域銀行に分割された。これらのうち5行はスウェーデンにあり、9行はスウェーデン国外にある。各地域銀行は、地域銀行の支店長のもとで業務を行い、独立した収益部門として監視されている。キャピタル・マーケット・セグメントは、有価証券売買及び投資アドバイザーサービスを含む、ハンデルスバンケンの投資銀行である。その事業にはまた、資産運用、保険事業及び拠点市場以外の当行の国際事業も含まれる。

セグメントに関する利益／損失は、内部利益の配分前と配分後の両方について報告されている。内部利益の配分において、当行と顧客との取引によって生じた利益は、取引の実施セグメントにかかわらず、すべてその顧客を担当するユニットに配分される。ただし、内部サービスに関する収益及び費用は、別個の項目である「内部購入及び売却されたサービス」に純額で報告される。セグメント間取引は、主として原価基準で報告される。その他並びに調整及び消去の欄は、特定のセグメントに属さない項目又は当行グループ・レベルで消去されている項目を示している。その他には、トレジャリー及び中央部門が含まれ、オクトゴーネン年金制度への割当費用0(858)百万スウェーデン・クローネも含まれている。調整及び消去の欄には、人件費に対する調整が含まれている。人件費に対する調整は、IAS第19号「従業員給付」に従って計算される当行グループの年金費用と現地で算定された年金費用を含んでいる。

内部収益は、主に内部利息及びコミッションより構成されている。セグメントの損益計算書には、内部サービスの提供に対する支払といった内部項目も含まれている。内部付替えは、主に原価法に従っている。支店業務においては、資産は主に一般顧客への貸出金より構成され、負債は一般顧客からの預金並びに内部借入より構成されている。キャピタル・マーケット・セグメントにおいては、資産は主に資産運用及び保険事業において管理されている有価証券より構成される。「その他」の欄に含まれている資産は、主に様々なセグメントへの内部貸付であるが、「その他」の欄に含まれている負債は、主に外部借入である。各セグメントに関する割当済資本は、内部の財務管理モデルによる資本割当と同様のものである。

商品分野別の収益

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
投資銀行	4,811	4,722
銀行預金及び法人貸出金	10,228	10,430
金融会社サービス	1,705	2,026
銀行預金及び個人向け貸出金	3,050	3,807
住宅ローン	12,825	12,069
年金及び保険	1,104	1,115
キャピタル・マーケット	3,114	3,090
貿易金融	460	462
その他の事業	3,466	2,615
合計	40,763	40,336

注記G46 地域別情報**地域別情報、2016年**

百万スウェーデン・クローネ

	収益	営業利益	法人税等	資産
スウェーデン	26,212	15,288	-3,458	2,211,192
英国	5,027	1,851	-474	296,449
ノルウェー	3,624	1,917	-393	261,574
デンマーク	2,219	180	-72	124,624
フィンランド	1,981	973	-199	230,654
米国	670	422	-130	289,126
オランダ	544	179	-43	35,667
ルクセンブルク	169	25	-22	19,597
ドイツ	109	-3	-	14,935
中国	59	-47	1	8,438
フランス	55	8	-2	10,194
ポーランド	42	-49	0	3,400
シンガポール	27	-76	-2	13,366
エストニア	14	-13	-	1,533
オーストリア	6	-3	-	330
ラトビア	4	-8	-	303
リトアニア	1	-9	-	90
ブラジル	0	-2	-	0
内部消去	0	0	394	-893,892
グループ	40,763	20,633	-4,400	2,627,580

地域別情報に表示されている収益、費用及び資産は、各国における内部・外部収益、費用及び資産より構成されている。地域別収益及び費用配分は取引実施国に基づいているため、セグメント報告と比較することはできない。法人税等には当期税金及び繰延税金が含まれる。追加の地域別情報は、子会社及び関連会社の本拠地については注記P16に、平均従業員数については注記G8に記載されている。

地理別情報、2015年

百万スウェーデン・クローネ

	収益	営業利益	法人税等	資産
スウェーデン	25,461	14,305	-3,120	2,113,877
英国	5,290	2,089	-479	308,207
ノルウェー	3,708	2,005	-563	234,455
デンマーク	2,209	600	-169	107,358
フィンランド	2,111	1,106	-232	165,847
米国	647	358	-37	319,268
オランダ	341	57	-13	25,094
ルクセンブルク	190	58	-19	33,266

ドイツ	114	-11	0	10,768
中国	74	-31	-17	8,813
シンガポール	69	9	-3	12,313
フランス	54	5	0	5,136
ポーランド	42	-33	0	2,653
エストニア	14	-12	-	1,405
オーストリア	7	-5	-	342
ラトビア	4	-10	-	272
リトアニア	1	-15	-	220
ブラジル	0	0	-	0
内部消去			375	-827,161
グループ	40,336	20,475	-4,277	2,522,133

注記G47 外貨建資産及び負債

2016年	スウェーデン・クローネ	ユーロ	ノルウェー・クローネ	デンマーク・クローネ	英ポンド	米ドル	その他の通貨	合計
百万スウェーデン・クローネ								
資産								
現金及び中央銀行預け金	140	99,547	6,199	102	61,774	30,463	1,137	199,362
中央銀行へのその他の貸出金	4,820	-	-	20,269	394	-	44	25,527
その他金融機関への貸出金	7,630	6,983	360	5	976	14,127	1,266	31,347
一般顧客への貸出金	1,220,175	187,649	232,704	92,299	192,953	28,636	9,206	1,963,622
うち、法人	460,084	128,416	139,985	36,741	128,371	28,413	8,287	930,297
うち、個人	760,091	59,233	92,719	55,558	64,582	223	919	1,033,325
中央銀行への担保として適格な利付証券	72,683	6,431	-	11	-	17,344	736	97,205
社債及びその他の利付証券	43,464	2,181	1,329	-	1,701	15,234	-	63,909
その他項目(通貨別内訳なし)	246,608							246,608
資産合計	1,595,520	302,791	240,592	112,686	257,798	105,804	12,389	2,627,580
負債								
金融機関からの預り金	36,630	73,200	4,454	17,700	4,775	27,768	14,254	178,781
一般顧客からの預金及び借入金	503,890	78,736	59,761	34,733	122,374	23,181	6,661	829,336
うち、法人	192,720	61,542	38,662	19,051	86,076	21,003	6,170	425,224
うち、個人	311,170	17,194	21,099	15,682	36,298	2,178	491	404,112
発行済証券	463,704	240,231	30,826	324	84,338	405,286	37,056	1,261,765
劣後負債	8,230	14,355	-	-	-	10,815	-	33,400
その他項目(通貨別内訳なし、資本含む)	324,298							324,298
負債及び資本合計	1,336,752	406,522	95,041	52,757	211,487	467,050	57,971	2,627,580
通貨別その他資産及び負債、正味		103,917	-145,364	-59,815	-46,342	361,349	45,650	
正味外貨ポジション		186	187	114	-31	103	68	627

80ページ（訳注：原文のページ数である。）の注記G2は、為替リスクに関する当行の見解を示している。

2015年	スウェーデン・クローネ	ユーロ	ノルウェー・クローネ	デンマーク・クローネ	英ポンド	米ドル	その他の通貨	合計
百万スウェーデン・クローネ								
資産								
現金及び中央銀行預け金	153	45,633	6,094	99	55,540	94,654	457	202,630
中央銀行へのその他の貸出金	15,998	-	2,103	15,653	364	-	0	34,118
その他金融機関への貸出金	2,561	8,692	207	115	1,285	33,337	3,459	49,656
一般顧客への貸出金	1,190,747	174,047	190,881	78,738	195,097	27,213	9,744	1,866,467
うち、法人	475,424	122,999	110,217	31,446	131,228	27,024	8,758	907,096
うち、個人	715,323	51,048	80,664	47,292	63,869	189	986	959,371

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト（Svenska Handelsbanken AB（publ））(E27561)
有価証券報告書

中央銀行への担保として適格な利付証券	36,606	6,402	-	7	-	30,744	1,018	74,777
社債及びその他の利付証券	39,770	2,726	716	2	1,282	17	-	44,513
その他項目(通貨別内訳なし)	249,972							249,972
資産合計	1,535,807	237,500	200,001	94,614	253,568	185,965	14,678	2,522,133
負債								
金融機関からの預り金	25,008	53,015	19,818	14,977	13,142	29,439	8,371	163,770
一般顧客からの預金及び借入金	465,675	64,535	46,741	29,709	109,464	30,587	7,144	753,855
うち、法人	184,145	49,610	28,813	15,870	84,067	28,209	6,709	397,423
うち、個人	281,530	14,925	17,928	13,839	25,397	2,378	435	356,432
発行済証券	445,875	232,006	18,512	367	91,366	420,752	36,489	1,245,367
劣後負債	10,519	13,717	-	-	-	9,980	-	34,216
その他項目(通貨別内訳なし、資本含む)	324,925							324,925
負債及び資本合計	1,272,002	363,273	85,071	45,053	213,972	490,758	52,004	2,522,133
通貨別その他資産及び負債、正味		125,716	-114,803	-49,492	-39,555	304,831	37,406	
正味外貨ポジション		-57	127	69	41	38	80	298

[次へ](#)

注記G48 関連当事者に関する開示

関連当事者に対する債権及び債務	関連会社		その他関連当事者	
	2016年	2015年	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ				
一般顧客への貸出金	849	815	-	-
その他資産	59	64	515	544
合計	908	879	515	544
一般顧客からの預金及び借入金	223	222	604	526
劣後負債	-	-	681	687
その他負債	0	0	58	56
合計	223	222	1,343	1,269
関連当事者一収益及び費用	関連会社		その他関連当事者	
	2016年	2015年	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ				
利息収益	13	10	1	0
利息費用	0	0	-71	-93
手数料及びコミッション収益	1	4	-	-
手数料及びコミッション費用	-237	-216	-18	-36
公正価値で評価される金融項目からの純損益	0	0	-	1,207
その他収益	1	1	15	19
その他費用	-39	-33	-53	-51
合計	-261	-234	-126	1,046

関連会社リスト及び関連会社に対する資本拠出に関する情報は、注記G19に表示されている。関連会社の事業は、金融市場関連の様々なサービスより構成される。スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelse（従業員基金）及びPensionskassan SHB Försäkringsförening（年金ファンド）の各社は、関連当事者グループを構成している。これらの会社は通常の銀行業務及び会計業務に関して、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーを利用している。

親会社のスウェーデン子会社は、年金ファンドに確定給付年金の年金保険料52(51)百万スウェーデン・クローネを支払った。この年金ファンドの子会社従業員に対するコミットメントは親会社によって保証されているため、年金ファンドがコミットメントを履行できない場合には、親会社がそのコミットメントを引き受けて支払義務を負う。この年金ファンドの債務は、6,099(5,585)百万スウェーデン・クローネである。スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseから年金費用に関する報酬510(505)百万スウェーデン・クローネ及び特別補足年金に関する465(480)百万スウェーデン・クローネを請求された。また、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstifteleseからは従業員への給付のため25(20)百万スウェーデン・クローネを請求された。

執行役員への貸出金、並びに条件及び執行役員に対するその他の報酬に関する情報については、注記G8に記載されている。

注記G49 重要な後発事象

貸借対照表日以降、重大な後発事象はなかった。

注記G50 企業結合

2016年9月1日、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、Optimix Vermogensbeheer N.V.（以下、「Optimix」という。）の株式を100%取得したため、Optimixはハンデルスバンケンの完全子会社となった。この買収の結果、当行は顧客に対する先進的な資産運用サービスを加えること、オランダ支店における資産管理及びウェルス・マネジメント業務を拡大するための基盤を築くことが可能となる。Optimixは約20億ユーロを運用し、従業員は35人である。同社の支店は、アムステルダム、フローニンゲン、フュフトにあり、ウェルス・マネジメントの一任業務を提供している。

この買収により生じたのれんは、主にオランダのハンデルスバンケンの既存事業と人材関連のシナジー効果によるものである。

この買収以降、Optimixは当期の収益に対して54百万スウェーデン・クローネの貢献をしているが、当期の利益への貢献はわずかである。Optimixが、2016年1月1日から連結会計に含まれていた場合の当グループの利益への貢献は128百万スウェーデン・クローネであり、当期の利益への影響はわずかなものであった。

貸借対照表項目の買収内容を確認するための分析は、暫定的なものである。買収内容を確認するための分析には、すべての関連情報が入手しなければならない。情報の例としては、最終買収価格、最終的な期首残高があるが、これらは現在暫定的なものある。

買収価格の一部は条件付きであり、最終金額は、同社の今後3年間の業績に左右される。

百万スウェーデン・クローネ	買収日現在の グループ計上額
一般顧客への貸出金	50
無形資産	512
不動産及び器具備品	39
繰延税金資産	3
その他資産	261
資産合計	865
繰延税金負債	135
その他負債	261
負債合計	396
子会社純資産	469
取得原価、現金	408
取得原価、条件付対価に関する負債の暫定額	208
のれん	147
キャッシュ・フロー	
取得した子会社の現金及び現金同等物	0
現金支払額	408
純額	408

注記G51 自己資本比率**資本方針**

当行は、当行グループの業務に伴うリスクに対応し、法律で定められた最低要件を上回る堅実な資本水準を維持することを目的としている。健全な資本水準は、金融逼迫状態並びに買収及び取引高の大幅な増加等その他の事象に対処するために必要となる。

自己資本規制

自己資本比率規制である2014年1月1日にEUで施行された規制(EU)575/2013 (以下、「CRR」という)及び2014年8月2日にスウェーデンで施行された指令2013/36/EU (以下、「CRD IV」という)に従って、当行は、少なくとも信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに関するリスク・エクスポージャー合計金額の個別要件に対応した普通株式等Tier 1資本、Tier 1資本及び自己資本合計を保有しなければならない。当行は、最低要件に従って資本を保有することに加え、スウェーデンにおいて、資本維持バッファ、カウンターシクリカル・バッファ及びシステミック・リスク・バッファの合計より構成される結合バッファ要件に準拠する普通株式等Tier 1資本も保有しなければならない。当行はまた、自己資本比率の内部評価を行わなければならない。2016年に採用されたハンデルスバンケンの最新の資本方針は、自己資本比率の内部評価に関するガイドラインを規定している。当行はまた、金融コングロマリット(特別監督)法(2006年:第531号)に従って、金融コングロマリットレベルでの所要自己資本にも準拠しなければならない。以下の金融コングロマリットに関する自己資本比率を参照のこと。2016年2月1日以降、当行の自己資本及び適格負債の最低基準(MREL)の設定は、破綻整理機構(スウェーデンでは、国債局)に義務付けられている。2016年において当行は、当行の規制上の最低水準及びバッファ水準のすべてを十分な余裕をもって満たしていた。当行の自己資本及び所要自己資本に関するより詳細な情報については、注記G2「リスク及び資本管理」並びに「ハンデルスバンケンのリスク及び資本管理―第三の柱に関する情報」というタイトルの文書から入手可能である(handelsbanken.se/irengを参照のこと)。

連結ベースの情報

規制上の連結(以下、「連結ベース」という。)は、親会社並びに当該連結財務諸表の145ページ(訳注:原文のページ数である)の表に示されている子会社及び関連会社より構成されている。連結財務諸表に含まれているものの連結ベースから除外されている会社についても、145ページ(訳注:原文のページ数である)の表に示されている。連結財務諸表と同様、規制上の連結ベースにおいて関連会社は持分法を用いて連結されている。子会社もまた、取得法に従って連結されている。規制対象のすべての子会社は連結ベースに含まれている。ハンデルスバンケンにおいて、実際の自己資本が所定の自己資本に満たしていない子会社は存在しない。

連結ベースの自己資本に関する情報

自己資本は、Tier 1資本及びTier 2資本により構成される。Tier 1資本は、普通株式等Tier 1資本及びその他Tier 1資本で構成されている。普通株式等Tier 1資本は、主に、連結に含まれる企業の株式資本、利益剰余金及びその他準備金により構成されている。残りのTier 1資本はその他Tier 1項目により構成されている。Tier 2資本は、主に劣後ローンにより構成されている。その後、自己資本からの一定の控除が行われる。当該控除は、普通株式等Tier 1資本から行われる。当行のリスク管理においては、リスクの観点から当行グループ及び規制上の連結の双方が一つの単位とみなされることが重要である。当行グループにおいて効果的なリスク管理を行うために、当行グループの様々な会社間で資本の再配分が必要になる可能性がある。通常、ハンデルスバンケンは、法律で許容されている範囲(例えば、自己資本比率規制及び会社法における制限等)で当行グループ会社間において資本の再配分を行うことができる。当行は、自己資本からの資金の迅速な振替又は親会社と子会社の間の債務の返済に関して、その他の重要な障害又は法的な障害はないとみている。

Tier 1資本

Tier 1資本は、主に普通株式等Tier 1資本及びその他Tier 1資本で構成されている。

普通株式等Tier 1資本

普通株式等Tier 1資本は、主に、規制上の連結に含まれる企業の株式資本、利益剰余金及びその他準備金で構成されている。当行グループの保険会社は連結されないため、保険会社の利益剰余金は普通株式等Tier 1資本に含まれていない。普通株式等Tier 1資本から除外される項目は、主として、のれん及びその他無形資産、並びに普通株式等Tier 1資本の10%を超える当行グループの保険会社への資本拠出又は繰延税金資産である。資本拠出及び繰延税金資産の合計額は普通株式等Tier 1資本の15%を超えてはならない。当行グループの保険会社への資本拠出及び繰延税金資産は閾値を超えていないため、これらの資本拠出及び繰延税金資産は、普通株式等Tier 1資本から減額されない。キャッシュフロー・ヘッジの資本への影響に関しては、中立的調整が行われる。価値調整に関して追加で計算が義務付けられるが、公正価値で計上される金融商品についても必要に応じて慎重に評価される。内部格付に基づくモデルの使用を許可されている金融機関は、IRBアプローチに基づく予想貸倒損失が、計上された貸倒引当金を超えた場合、その差額を控除しなければならない。また、年金資産について純額で認識した余剰価値についても控除しなければならない。但し、当該控除は、ハンデルスバンケンの年金基金から年金費用を補填する当行の権利に相当する金額を減額することができる。最後に、マーケットメーカーとして許可された自社株の保有についても、控除しなければならない。当該控除は許可される範囲で最も高い市場価格に相当するものでなければならない。

その他Tier 1資本

その他Tier 1資本は、その他Tier 1資本に関する要件を満たす金融商品で構成されている。この資本は永久債であり、最低でも5年後に、監督当局の許可を得た場合のみ償還可能なものに限られる。また、普通株式等Tier 1資本が所定の水準に達した場合に、普通株式等Tier 1資本を創出するために額面価値を減額するか、株式に転換すること、また無条件に利払いを停止することが可能でなければならない。

当行のその他Tier 1資本合計は、13.2十億スウェーデン・クローネである。このうち、10.8十億スウェーデン・クローネのその他Tier 1資本は2015年発行されたものでCRR要件を満たしている。しかし、当行のその他の発行済みその他Tier 1資本は、従前の規制による許可を得て発行されたものであるため、CRRの移行規定に含まれている。これらの金額は2.4十億スウェーデン・クローネであり、補完的な資本拠出で構成されている。補完的な資本拠出については、当行が規制違反しないように早い段階で当該商品を資本に転換する権利を得ている。清算の場合、これらの商品は負債(過去に資本に転換された部分を含む)として分類され、その後、当行の資産に対して同額の残余分の請求権が発生することとなる。当該請求は、その他すべての債権者の請求に劣後する。株主のみが当行の資産に対してより劣後した請求権を有する。補完的な資本拠出に関しては、当行はクーポン支払を無条件に一時停止する権利を有している。すなわち、利息の支払を随時、停止することができる。分配可能な資金がない場合、クーポンの支払が一時停止されることになる。

Tier 2資本

Tier 2資本は、償還期限まで最低5年超の期間を有する劣後ローンにより構成されている。当行グループの保険会社に対する劣後ローンの拠出に関して、控除が行われている。

所要自己資本

信用リスク

信用リスクに関する所要自己資本は、標準的アプローチ及びCRRに従ったIRBアプローチに基づいて計算される。IRBアプローチでは、LGD及びクレジット換算係数（以下、「CCF」という。）の独自の見積りを伴わないIRBアプローチと、独自のLGD及びCCFの見積りを伴うIRBアプローチの二つの異なる手法が用いられる。

LGD及びCCFの独自の見積りを伴わないIRBアプローチでは、当行は1年以内に顧客が債務不履行に陥る可能性を判断するために当行独自の手法を用いるが、その他のパラメーターはCRR規則によって指定される。債務不履行時の損失（以下、「LGD」という。）及びCCFを独自に見積もるIRBアプローチにおいて、当行はLGD及びエクスポージャー金額の算定に当行独自の手法を用いる。

ハンデルスバンケンは、金融機関に対するエクスポージャー並びに地域銀行業務全体及び以下の子会社に関する企業のエクスポージャーに関連する特定の商品及び担保の種類について、LGD及びCCFの独自の見積りを伴わないIRBアプローチを使用している。子会社は、スタッドフィポテック AB、Handelsbanken Finans AB、Handelsbanken Finans (Shanghai) Financial Leasing Co. Ltd.及びRahoitus Oyの各社である。子会社は、スタッドフィポテック AB、Handelsbanken Finans AB、Handelsbanken Finans (Shanghai) Financial Leasing Co. Ltd.及びRahoitus Oyの各社である。

LGD及びCCFの独自の見積りを伴うIRBアプローチは、地域銀行業務（オランダを除く）、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、スタッドフィポテックAB&Handelsbanken Finans ABにおける大企業、中規模企業、住宅共同組合に対する大部分のエクスポージャー、並びにスウェーデン、ノルウェー、フィンランド及びデンマーク並びにLGD及びCCFの独自の見積りを伴うIRBアプローチは、地域銀行業務（オランダを除く）、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、スタッドフィポテック AB及びHandelsbanken Finans ABにおける大企業、中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合に対する大部分のエクスポージャー、並びにスウェーデン、ノルウェー、フィンランド及びデンマーク並びにスタッドフィポテック AB、Handelsbanken Finans AB及びRahoitus Oyといった子会社におけるリテール・エクスポージャーに対して適用されている。

当事業年度末現在、IRBアプローチはリスク・エクスポージャー金額合計の79(80)%に適用された。残りの信用リスク・エクスポージャーに関して、所要自己資本は標準的アプローチを用いて算定された。このセクションで報告されている数値は、バーゼルIII自己資本比率規制の第一の柱、CRR及びCRDIVに基づく最低所要自己資本を参照している。表における「CRR」とは、移行規定の適用終了後の最低所要自己資本に基づく数値であることを意味している。移行規定は、次の通知があるまで適用される。

レポ及び有価証券貸付は、所要自己資本が非常に低いものの、取引高が常に大きく変動することから、IRBアプローチで容認される信用リスク・エクスポージャーの表において別個に報告されている。所要自己資本が低いのは、エクスポージャーが総額で報告され、当該エクスポージャーに担保が付されているためである。

当年度において、IRBアプローチで容認されたエクスポージャーに関する平均リスク加重合計は減少して14.3(15.5)%となった。この低下は、主に、信用ポートフォリオにおける法人、住宅協同組合及び世帯間の分布の変動、並びに法人エクスポージャーに対する平均リスク加重の低下によるものである。同時に当年度において、比較的低いリスク加重の取引相手との信用取引高が増加し、比較的高いリスク加重の取引相手との取引が減少していることによるものである。

信用の質は良好である。ハンデルスバンケンの法人エクスポージャーのうち、97(97)%は返済能力が正常又は正常より良い（すなわち、当行の10段階のリスク格付けで1から5の間の格付け）と査定された顧客向けである。IRBアプローチは、近年の金融危機及び1990年代初めのスウェーデンの銀行危機の両方による過去の損失実績に基づいている。これらのリスク加重は、ハンデルスバンケンが計上している貸倒損失が長期間にわたり低かったことを反映している。適用されるリスク測定には、リスクを過小評価しないために、保守的にマージンが織り込まれている。

法人エクスポージャーのリスク加重水準には、ポートフォリオ構成及び多様な貸出金を異なるエクスポージャー・クラスに分類する方法が反映されている。IRBアプローチにおける資本エクスポージャーに関する所要自己資本は、簡便リスク加重法に従い計算されている。

当年度における変動に関する詳細については、2016年の当行の中間報告書及び「リスク及び資本管理－第三の柱に関する情報」に記載されている自己資本比率に関する特別情報に従った当行の開示を参照のこと。

市場リスク

市場リスクに関する所要自己資本は、連結ベースで計算される。但し、金利リスク及び株価リスクに関する所要自己資本は、トレーディング勘定ポジションについてのみ計算されている。市場リスクに関する所要自己資本の計算では、標準的アプローチが用いられる。

オペレーショナル・リスク

ハンデルスバンケンは、オペレーショナル・リスクにおける所要自己資本の計算するために標準的アプローチを使用している。所要自己資本は、標準的アプローチに従って、規則で定められた係数を直近3事業年度の平均営業収益に乗じて計算される。異なる事業セグメントにおいては、異なる係数が適用される。

金融コングロマリットに関する自己資本比率

金融コングロマリットの一部である金融機関及び保険会社は、金融コングロマリットの所要自己資本に関する十分な自己資本を有していなければならない。金融コングロマリットに関する自己資本は、集約方式、決済方式及び連結方式を組み合わせることによって計算されている。これは、連結ベースの自己資本がハンデルスバンケン・リヴ AB保険グループに関する資本基盤と合算されていることを意味する。そのため、金融コングロマリットに関する所要自己資本を計算するために、連結ベースの所要自己資本に、保険グループに関するソルベンシー要件が追加されている。

連結ベースに含まれる会社	所有持分 (%)	企業識別番号	所在地
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト ¹		502007-7862	ストックホルム
子会社			
Handelsbanken Finans AB ¹	100	556053-0841	ストックホルム
Kredit-Inkasso AB	100	556069-3185	ストックホルム
Handelsbanken Rahoitus Oy	100	0112308-8	ヘルシンキ
Kredit-Inkasso AS	100	955074203	フレドリクスター
Handelsbanken Finans (Shanghai) Financial Leasing Co., Ltd	100	310101717882194	上海
スタッドフィボテック・エイ・ビー ¹	100	556459-6715	ストックホルム
Svenska Intecknings Garanti AB Sigab (休眠会社)	100	556432-7285	ストックホルム
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	100	556070-0683	ストックホルム
Handelsbanken Fonder AB	100	556418-8851	ストックホルム
Handelsinvest Investeringsforvaltning A/S	100	12930879	コペンハーゲン

Handelsbanken Fondbolag AB	100	1105019-3	ヘルシンキ
Handelsbanken Kapitalförvaltnings AS	100	973194860	オスロ
Xact Kapitalförvaltning AB	100	556997-8140	ストックホルム
AB Handel och Industri	100	556013-5336	ストックホルム
ハートウッド・ウェルス・マネジメント・リミテッド	100	04132340	ロンドン
Heartwood Nominees Limited (休眠会社)	100	2299877	ロンドン
Heartwood Second Nominees Limited (休眠会社)	100	3193458	ロンドン
Private Office limited (休眠会社)	100	4332528	ロンドン
Optimix Vermogensbeheer N.V.	100	33194359	アムステルダム
Optimix Beheer en Belegging B.V. (休眠会社)	100	33186584	アムステルダム
その他			
Ejendomsselskabet af 1. maj 2009 A/S ¹	100	59173812	ヒレレズ
Forva AS	100	945812141	オスロ
Handelsbanken Markets Securities, Inc ¹	100	11-3257438	ニューヨーク
Lokalbolig A/S	62.79	78488018	ヒレレズ
Rådstuplass 4 AS	100	910508423	ベルゲン
SIL (Nominees)Limited (休眠会社)	100	1932320	ロンドン
Svenska Property Nominees Limited (休眠会社)	100	2308524	ロンドン
Lila stugan i Stockholm AB (休眠会社)	100	556993-9084	ストックホルム
Ecster AB 休眠会社)	100	556993-2311	ストックホルム
Blå stugan i Stockholm (休眠会社)	100	556993-9357	ストックホルム
ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビーの子会社			
Handelsbanken Fastigheter AB	100	556873-0021	ストックホルム
関連会社			
Bankomatcentralen AB	20	556197-2265	ストックホルム
BGC Holding AB	25.38	556607-0933	ストックホルム
Bankgirocentralen BGC AB ²	100	556047-3521	ストックホルム
Devise Business Transactions Sweden AB ²	100	556564-5404	ストックホルム
Finansiell ID-teknik BID AB	28.3	556630-4928	ストックホルム
UC AB	24.48	556137-5113	ストックホルム
UC Affärsfakta AB ²	100	556613-0042	ストックホルム

UC Marknadsinformation AB ²	100	556948-5518	ストックホルム
UC Aktieadministration AB ²	100	556961-2079	ストックホルム
UC Bostadsvärdering AB ²	100	556576-7133	ストックホルム
UC allabolag AB ²	100	556730-7367	ストックホルム
Bankomat AB	20	556817-9716	ストックホルム
BDB Bankernas Depå AB ²	100	556695-3567	ストックホルム
Getswish AB	20	556913-7382	ストックホルム
Add Value Fund Management B.V.	45	19196768	アムステルダム

¹金融機関²子会社及び関連会社持分

連結ベースに含まれていない会社	所有持分 (%)	企業識別番号	所在地
ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー (Handelsbanken Fastigheter ABを除く当行グループ)	100	516401-8284	ストックホルム
Svenska Re S.A.	100	RCS Lux B-32053	ルクセンブルグ
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	100	516401-6767	ストックホルム
Dyson Group plc	44.5	163096	シェフィールド
EFN Ekonomikanalen AB	100	556930-1608	ストックホルム
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	100	2478149-7	ヘルシンキ
Svenska RKA International Insurance Services AB (休眠会社)	100	556324-2964	ストックホルム

貸借対照表	2016年		2015年	
	連結ベース	銀行グループ	連結ベース	銀行グループ
百万スウェーデン・クローネ				
資産				
現金及び中央銀行預け金	199,362	199,362	202,630	202,630
中央銀行へのその他貸出金	25,527	25,527	34,118	34,118
中央銀行への担保として利用可能な有利子証券	94,247	97,205	71,441	74,777
その他金融機関への貸出金	31,347	31,347	49,597	49,656
一般顧客への貸出金	1,964,751	1,963,622	1,867,846	1,866,467
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動	35	35	27	27
社債及びその他の利付証券	60,311	63,909	40,977	44,513
うち、売却可能区分に分類される利付商品（帳簿価額）	5,464	5,464	3,479	3,479
うち、売却可能区分に分類される利付商品、変動累計額	-62	-107	-100	-194
株式及び参加持分	19,345	20,412	29,338	30,387
うち、売却可能区分に分類される株式（帳簿価額）	1,618	1,618	6,581	6,581
うち、売却可能区分に分類される株式、変動累計額	1,041	1,041	2,268	2,268
関連会社に対する投資	6,510	255	6,626	245
顧客が価値変動リスクを負う資産	4,500	118,646	3,422	105,146
デリバティブ商品	82,632	82,633	85,347	85,347

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (Svenska Handelsbanken AB (publ)) (E27561)
有価証券報告書

うち、キャッシュフロー・ヘッジ	2,487	2,487	4,940	4,940
再保険資産	-	9	-	10
無形資産	9,288	9,393	8,179	8,254
不動産及び器具備品	2,387	2,387	2,348	2,348
当期税金資産	26	38	143	143
繰延税金資産	962	962	1,489	1,489
うち、キャッシュフロー・ヘッジに関連するもの	-	-	-	-
うち、売却可能区分に分類される利付商品に関連するもの	22	22	37	37
年金資産	-	-	-	-
売却目的で保有する資産	1	1	-	1,442
その他資産	5,338	5,615	8,786	8,887
前払費用及び未収金	6,153	6,222	6,164	6,247
資産合計	2,512,722	2,627,580	2,418,478	2,522,133
負債及び資本				
金融機関に対する負債	178,734	178,781	163,770	163,770
一般顧客からの預金及び借入金	826,274	829,336	754,164	753,855
顧客が価値変動リスクを負う負債	4,599	118,745	3,501	105,225
発行済証券等	1,261,765	1,261,765	1,245,367	1,245,367
デリバティブ商品	31,745	31,738	40,596	40,592
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-	-	-	-
ショートポジション	1,572	1,572	2,416	2,416
保険負債	-	574	-	607
当期税金負債	488	514	970	996
繰延税金負債	7,832	7,875	8,799	8,844
うち、キャッシュフロー・ヘッジに関連するもの	702	702	1,393	1,393
うち、売却可能区分に分類される利付商品に関連するもの	6	6	130	130
引当金	719	731	101	113
年金債務	2,121	2,161	5,263	5,314
売却目的で保有する資産にかかる負債	-	-	-	759
その他負債	9,210	9,427	13,854	14,206
未払費用及び繰延収益	14,412	14,580	17,440	17,585
劣後負債	33,400	33,400	34,216	34,216
うち、Tier1資本貸出金	13,167	13,167	12,332	12,332
うち、満期までの残存期間が5年未満の貸出金	17,354	17,354	16,706	16,706
うち、満期までの残存期間が5年超の貸出金	-	-	2,420	2,420
うち、その他貸出金	2,879	2,879	2,758	2,758
負債合計	2,372,871	2,491,199	2,290,457	2,393,865
少数株主持分	6	6	4	4
株式資本	3,013	3,013	2,956	2,956
自己株式の保有	-	-	-	-
資本剰余金	5,628	5,628	3,204	3,204

うち、複合金融商品による資本	1,045	1,045	1,045	1,045
その他準備金	9,273	9,268	8,557	8,440
利益剰余金	101,857	102,222	97,705	97,322
当期利益（スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主に帰属）	20,074	16,244	15,595	16,342
資本合計	139,851	136,381	128,021	128,268
負債及び資本合計	2,512,722	2,627,580	2,418,478	2,522,133

		規制(EU)575/2013 の取扱い前の対象 となる金額、又は 規制 (EU) 575/2013の所定の 残存額		規制(EU)575/2013 の取扱い前の対象 となる金額、又は 規制 (EU) 575/2013の所定の 残存額
移行自己資本				
百万スウェーデン・クローネ	2016年	残存額	2015年	残存額
普通株式等Tier 1 (CET1) 資本：商品及び準備金				
資本商品及び関連する資本剰余金勘定	7,597		5,832	
うち、株式資本	7,597		5,760	
うち、転換証券			72	72
利益剰余金	101,857		97,705	
その他包括利益累計額（及び関連する会計基準に従って未実現損益を計上するためのその他準備金）	10,084		8,556	
一般的な銀行リスクに対する資金				
第484(3)条に示されている適格項目の金額、及び関連するCET1の段階的廃止の対象となる資本剰余金勘定				
2018年1月まで適用除外される公的資金注入				
少数株主持分（連結CET1で認められた金額）	-		-	
独立してレビューされる中間利益（予測可能な費用又は配当金控除後）	10,352		4,153	
規制上の調整前の普通株式等Tier 1 (CET1) 資本	129,890		116,246	
普通株式等Tier 1 (CET1) 資本：規制上の調整				
追加的な価値調整（負の金額）	-645		-553	
無形資産（関連する税金負債控除後）（負の金額）	-9,355		-8,246	
[EU規制において該当なし]				
一時差異によって生じた繰延税金資産を除く、将来の収益性に依拠した繰延税金資産（第38(3)条の条件を満たしている関連税金負債控除後）（負の金額）	-		-	
キャッシュフロー・ヘッジに係る損益に関する公正価値評価差額準備金	-2,487		-4,940	
予想損失額の計算に起因する負の金額	-1,527		-1,395	
証券化資産に起因する資本の増加（負の金額）	-		-	
自己の信用力の変化に起因する公正価値で計上する負債に係る損益	-		-	
確定給付年金基金資産（負の金額）	-		-	
金融機関による自己のCET1商品の直接及び間接保有（負の金額）	-636		-577	

金融機関の自己資本を意図的に増大させることを目的として金融部門企業が金融機関と持ち合いをしている場合の当該企業のCET1商品の保有（負の金額）	-	-		
金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業のCET1商品の直接及び間接保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-	-		
金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のCET1商品の直接、間接及び合成保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-	-		
[EU規制において該当なし]	-	-		
金融機関が控除の代替手段を選択した場合に1.250%のリスク加重要件を満たす以下の項目のエクスポージャー金額	-	-		
うち、金融部門外の適格保有（負の金額）	-	-		
うち、証券化ポジション（負の金額）	-	-		
うち、フリー・デリバリー（負の金額）	-	-		
一時差異によって生じた繰延税金資産（基準値の10%を上回る金額、第38(3)条の条件を満たしている関連税金負債控除後）（負の金額）	-	-		
基準値の15%を超過した金額（負の金額）	-	-		
うち、金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のCET1商品の直接及び間接保有	-	-		
[EU規制において該当なし]	-	-		
うち、一時差異によって生じた繰延税金資産	-	-		
当年度の損失（負の金額）	-	-		
CET1項目に関連して予測される税金費用（負の金額）	-	-		
CRR前措置の対象となる金額に関連する普通株式等Tier 1資本に適用される規制上の調整				
第467条及び第468条による未実現損益に関連する規制上の調整				
うち、未実現損失に関するフィルタ、売却可能に分類される株式				
追加フィルタ及び控除を必要とするCRR前措置に関して普通株式等Tier 1資本合計から控除される金額、又は普通株式等Tier 1資本に追加される金額				
金融機関のAT1資本を超過する適格AT1控除（負の金額）	-	-		
普通株式等Tier 1 (CET1) 資本の規制上の調整合計	-14,650		-15,711	
普通株式等Tier 1 (CET1) 資本	115,240		100,535	
その他Tier 1 (AT1) 資本：商品				
資本商品及び関連する資本剰余金勘定	10,815		9,981	
うち、適用される会計基準に基づき資本に分類されるもの				
うち、適用される会計基準に基づき負債に分類されるもの	10,815		9,981	
第484(4)条で示されている適格項目の金額及び関連するAT1の段階的廃止の対象となる資本剰余金勘定	2,353	2,353	2,351	2,351
2018年1月1日まで適用除外される公的資金注入				

子会社が発行し、第三者が保有する連結AT1資本に含まれる適格Tier 1資本（第5項に含まれない少数株主持分を含む）	-	-		
うち、子会社が発行した商品のうち段階的廃止の対象となるもの				
規制上の調整前その他Tier 1 (AT1) 資本	13,168		12,332	

その他Tier 1 (AT1) 資本：規制上の調整

金融機関による自己のAT1商品の直接及び間接保有（負の金額）	-400	-400	-399	-399
金融機関の自己資本を意図的に増大させることを目的として金融部門企業が金融機関と持ち合いしている場合の当該企業のAT1商品の保有（負の金額）	-		-	
金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業のAT1商品の直接及び間接保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-		-	
金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のAT1商品の直接及び間接保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-		-	
規制（EU）585/2013に規定される段階的廃止の対象となるCRR前措置及び移行措置の金額（すなわち、CRR残存額）に関してその他Tier 1資本に適用される規制上の調整				
規制（EU）575/2013の第472条に従って移行期間中において普通株式等Tier 1資本から控除される金額に関してその他Tier 1資本から控除される残余额				
うち、各行毎に詳述すべき項目（例：重要な中間純損失、無形資産、予想損失に対する引当金の不足等）				
規制（EU）575/2013の第475条に従って移行期間中においてTier 2資本から控除される金額に関してその他Tier 1資本から控除される残余额				
うち、各行毎に詳述すべき項目（例：Tier 2商品の持ち合い、他の金融部門企業の資本への重要でない投資の直接保有等）				
追加フィルタ及び控除を必要とするCRR前措置に関してその他Tier 1資本から控除される金額、又はその他Tier 1資本に追加される金額				
金融機関のTier 2 (T2) 資本を超過する適格T2控除（負の金額）				
その他Tier 1 (AT1) 資本の規制上の調整合計	-400		-399	
その他Tier 1 (AT1) 資本	12,768		11,933	
Tier 1資本 (T1=CET1+AT1)	128,008		112,468	

Tier 2 (T2) 資本：商品及び引当金

資本商品及び関連する資本剰余金勘定	17,354		17,150	444
第484(5)条で示されている適格項目の金額及び関連するT2の段階的廃止の対象となる資本剰余金勘定				
2018年1月1日まで適用除外される公的資金注入				
子会社が発行し、第三者が保有する連結T2資本に含まれる適格自己資本（第5項又は第34項に含まれない少数株主持分及びAT1商品を含む）	-		-	
うち、子会社が発行した商品のうち段階的廃止の対象となるもの	-		-	

信用リスク調整

規制上の調整前のTier 2 (T2) 資本

17,354

17,150

Tier 2 (T2) 資本：規制上の調整

金融機関による自己のT2商品及び劣後ローンの直接及び間接保有（負の金額）

金融機関の自己資本を意図的に増大させることを目的として金融部門企業が金融機関と持ち合いしている場合の当該企業のT2商品及び劣後ローンの保有（負の金額）

金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業のT2商品及び劣後ローンの直接及び間接保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）

うち、移行措置の対象とならない新規保有

うち、2013年1月1日より前に存在しており、移行措置の対象となる保有

金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のT2商品及び劣後ローンの直接及び間接保有（適格ショートポジション控除後）（負の金額）

-1,129

-1,129

規制（EU）575/2013に規定される段階的廃止の対象となるCRR前措置及び移行措置の金額（すなわち、CRR残存額）に関してTier 2資本に適用される規制上の調整

規制（EU）575/2013の第472条により移行期間中において普通株式等Tier 1資本から控除される金額に関してTier 2資本から控除される残余额

うち、各行毎に詳述すべき項目（例：重要な中間純損失、無形資産、予想損失に対する引当金の不足等）

規制（EU）575/2013の第475条により移行期間中においてその他Tier 1資本から控除される金額に関してTier 2資本から控除される残余额

うち、各行毎に詳述すべき項目（例：Tier 2商品の持ち合い、他の金融部門企業の資本への重要でない投資の直接保有等）

追加フィルタ及び控除を必要とするCRR前措置に関してTier 2資本から控除される金額、又はTier 2資本に追加される金額

Tier 2 (T2) 資本の規制上の調整合計

-1,129

-1,129

Tier 2 (T2) 資本

16,225

16,021

資本合計 (TC=T1+T2)

144,233

128,489

規制（EU）575/2013に規定される段階的廃止の対象となるCRR前措置及び移行措置の対象となる金額（すなわち、CRR残存額）に関するリスク加重資産

458,787

473,132

うち、普通株式等Tier 1資本から控除されない当行グループの保険会社に対する追加資本（規制（EU）575/2013による残存価値）

15,633

15,633

うち、普通株式等Tier 1資本から控除されない繰延税金資産（規制（EU）575/2013による残存価値）

1,856

3,220

T2項目から控除されない項目（規制（EU）575/2013による残存価値）（各行毎に詳述すべき項目、例：自己のT2商品の間接保有、他の金融部門企業の資本への重要でない投資の間接保有、他の金融部門企業の資本への重要な投資の間接保有等）	-	-
リスク加重資産合計	458,787	473,132

自己資本比率及びバッファー

普通株式等Tier 1資本比率（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	25.1	21.2
Tier 1資本（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	27.9	23.8
資本合計（リスク・エクスポージャー合計額に対する割合）	31.4	27.2
金融機関特有のバッファー要件（リスク・エクスポージャー合計額の割合として表される第92(1)(a)条によるCET1要件、資本保全及びカウンターシクリカル・バッファー要件、及びシステミック・リスク・バッファー、及び金融システム上重要な金融機関バッファー）	6.4	6.1
うち、資本保全バッファー要件	2.5	2.5
うち、カウンターシクリカル・バッファー要件	0.9	0.6
うち、システミック・リスク・バッファー要件	3.0	3.0
うち、世界的に金融システム上重要な金融機関（G-SII）又はその他の金融システム上重要な金融機関（O-SII）バッファー	0	0
バッファー要件を満たすために利用可能な普通株式等Tier 1資本（リスク・エクスポージャー金額に対する割合）	20.6	16.7
[EU規制において該当なし]		
[EU規制において該当なし]		
[EU規制において該当なし]		

自己資本比率及びバッファー

金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業の資本の直接及び間接保有（基準値の10%を下回る金額、適格ショートポジション控除後）	0	3
金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のCET1商品の直接及び間接保有（基準値の10%を下回る金額、適格ショートポジション控除後）	-	-
[EU規制において該当なし]		
一時差異によって生じた繰延税金資産（基準値の10%を下回る金額、第38(3)条の条件を満たしている関連税金負債控除後）	-743	-1,288

Tier 2における引当金の算入に適用される上限額

標準的アプローチの対象となるエクスポージャーに関してT2に含まれている信用リスク調整（上限額適用前）	
標準的アプローチに基づきT2に信用リスク調整を算入する際の上限額	
内部格付アプローチの対象となるエクスポージャーに関してT2に含まれる信用リスク調整（上限額適用前）	

内部格付アプローチに基づきT2に信用リスク調整を算入する際の上限額

段階的廃止の対象となる資本商品（2013年1月1日から2022年1月1日までの期間のみに適用）

段階的廃止の対象となるCET1商品に係る現在の上限額	174	203
上限によりCET1から除外された金額（償還及び満期後に上限を超える金額）		
段階的廃止の対象となるAT1商品に係る現在の上限額	7,335	8,558
上限によりAT1から除外された金額（償還及び満期後に上限を超える金額）		
段階的廃止の対象となるT2商品に係る現在の上限額	4,444	5,185
上限によりT2から除外された金額（償還及び満期後に上限を超える金額）		

この表示は、欧州委員会実施規則（EU）1423/2013の要件に準拠している。

資本商品の主な特性、CET

発行体	スヴェンスカ・ハンデルス バンケン・エイ・ビー	スヴェンスカ・ハンデルス バンケン・エイ・ビー
固有の識別コード（例：CUSIP、ISIN又は私募発行に関するブルームバーグ識別コード）	SE0000193120	SE0000152084
商品の準拠法	スウェーデン法	スウェーデン法
規制上の取扱い		
移行時のCRR規定	普通株式等Tier 1資本	普通株式等Tier 1資本
移行後の規定	普通株式等Tier 1資本	普通株式等Tier 1資本
適格性：単独／（サブ）連結／単独及び（サブ）連結	単独及び（サブ）連結	単独及び（サブ）連結
商品の種類（各管轄地で規定される種類）	株式資本、クラスA	株式資本、クラスB
規制資本において認識される金額 （直近の報告日現在で、通貨単位は百万）	7,445百万スウェーデン・ クローネ	152百万スウェーデン・ クローネ
商品の額面金額	2,958百万スウェーデン・ クローネ	55百万スウェーデン・ クローネ
発行価格	7,445百万スウェーデン・ クローネ	152百万スウェーデン・ クローネ
償還価格	該当なし	該当なし
会計上の分類	資本	資本
当初発行日	1871	1990
永久又は期限付	永久	永久
当初満期日	該当なし	該当なし
事前の監督当局の承認を条件とする発行体のコール	該当なし	該当なし
任意のコール日、偶発的コール日及び償還金額	該当なし	該当なし
その後のコール日（該当する場合）	該当なし	該当なし
クーポン／配当金		
固定又は変動利付配当金／クーポン	該当なし	該当なし

クーポン・レート及び関連インデックス	該当なし	該当なし
配当金のストッパーの有無	該当なし	該当なし
全額任意、一部任意又は強制（時期に関して）	該当なし	該当なし
全額任意、一部任意又は強制（金額に関して）	該当なし	該当なし
ステップアップ又は償還に関するその他のインセンティブの有無	なし	なし
非累積型又は累積型	非累積型	非累積型
転換型又は非転換型	非転換型	非転換型
転換型の場合、転換トリガー	該当なし	該当なし
転換型の場合、全部又は一部	該当なし	該当なし
転換型の場合、転換率	該当なし	該当なし
転換型の場合、強制転換又は任意転換	該当なし	該当なし
転換型の場合、転換可能な商品の種類を明記	該当なし	該当なし
転換型の場合、転換される商品の発行体を明記	該当なし	該当なし
減額の特性	なし	なし
減額の場合、減額トリガー	該当なし	該当なし
減額の場合、全部又は一部	該当なし	該当なし
減額の場合、永久又は一時的	該当なし	該当なし
一時的な減額がある場合、回復の仕組みの記述	該当なし	該当なし
清算の際の劣後ヒエラルキーにおけるポジション （商品の直前に優先される商品の種類を明記）	最も低い。直前の上位商品は その他Tier 1資本	最も低い。直前の上位商品は その他Tier 1資本
非準拠移行特性	なし	なし
特性がある場合、非準拠特性を明記	該当なし	該当なし

この表示は、欧州委員会実施規則（EU）1423/2013の要件に準拠している。

資本商品の主な特性、AT1

発行体	スヴェンスカ・ ハンデルスバンケン・ エイ・ビー	スヴェンスカ・ ハンデルスバンケン・ エイ・ビー	スヴェンスカ・ ハンデルスバンケン・ エイ・ビー
固有の識別コード（例：CUSIP、ISIN又は私募発 行に関するブルームバーグ識別コード）	SE0002450601	XS0406264092	XS1194054166
商品の準拠法	スウェーデン法	主に英国法、 スウェーデン破産法	主に英国法、 スウェーデン破産法
規制上の取扱い			
移行時のCRR規定	その他Tier 1資本	その他Tier 1資本	その他Tier 1資本
移行後の規定	非適格	Tier 2資本	Tier 1資本
適格性：単独／（サブ）連結／単独及び（サブ） 連結	単独及び（サブ）連結	単独及び（サブ）連結	単独及び（サブ）連結
商品の種類（各管轄地で規定される種類）	その他Tier 1資本	その他Tier 1資本	その他Tier 1資本
規制資本において認識される金額 （直近の報告日現在で、通貨単位は百万）	3百万 スウェーデン・クローネ	2,350百万 スウェーデン・クローネ	10,815百万 スウェーデン・クローネ

商品の額面金額	3百万 スウェーデン・クローネ	2,350百万 スウェーデン・クローネ	1,200百万 スウェーデン・クローネ
発行価格	100%	100%	100%
償還価格	100%	100%	100%
会計上の分類	負債-償却原価	負債-償却原価	負債-償却原価
当初発行日	2008年6月12日	2008年12月19日	2015年2月25日
永久又は期限付	永久	永久	永久
当初満期日	満期日なし	満期日なし	満期日なし
事前の監督当局の承認を条件とする発行体のコー ル	あり	あり	あり
任意のコール日、偶発的コール日及び償還金額	2013年5月21日	2019年3月19日	2021年3月1日
その後のコール日（該当する場合）	40日間の認定期間をもっ て随時コール可能	第一回償還日後、各利息 支払日毎にコール可能	第一回償還日後、各利息 支払日毎にコール可能
クーポン／配当金			
固定又は変動利付配当金／クーポン	変動	固定	固定
クーポン・レート及び関連インデックス	0.18%	11.00%	5.25%
配当金のストッパーの有無	あり	あり	あり
全額任意、一部任意又は強制（時期に関して）	一部任意	一部任意	全額任意
全額任意、一部任意又は強制（金額に関して）	一部任意	一部任意	全額任意
ステップアップ又は償還に関するその他のインセ ンティブの有無	あり	あり	なし
非累積型又は累積型	非累積型	非累積型	非累積型
転換型又は非転換型	転換型	非転換型	非転換型
転換型の場合、転換トリガー	全額任意	該当なし	該当なし
転換型の場合、全部又は一部	全額又は一部	該当なし	該当なし
転換型の場合、転換率	一株当たり62.52 スウェーデン・ クローネ	該当なし	該当なし
転換型の場合、強制転換又は任意転換	任意	該当なし	該当なし
転換型の場合、転換可能な商品の種類を明記	株式資本、クラスA	該当なし	該当なし
転換の場合、転換される商品の発行体を明記	スヴェンカ・ハンデルス バンケン・エイ・ビー	該当なし	該当なし
減額の特性	あり	あり	あり
減額の場合、減額トリガー	予想される 自己資本規制違反	予想される 自己資本規制違反	普通資本Tier1比率、 連結8%、 親会社5.125%
減額の場合、全部又は一部	全額又は一部	全額又は一部	全額又は一部
減額の場合、永久又は一時的	一時的	一時的	一時的
一時的な減額がある場合、回復の仕組みの記述	全額任意	全額任意	全額任意
清算の際の劣後ヒエラルキーにおけるポジション （商品の直前に優先される商品の種類を明記）	株式を除く、すべての商 品に劣後する（直前の優 先順位は劣後ローン）	株式を除く、すべての商 品に劣後する（直前の優 先順位は劣後ローン）	株式を除く、すべての商 品に劣後する（直前の優 先順位は劣後ローン）

非準拠移行特性	あり	あり	該当なし
そうした特性がある場合、非準拠特性を明記	ステップアップ及び 配当金ストッパー	ステップアップ及び 配当金ストッパー	該当なし

この表示は、欧州委員会実施規則（EU）1423/2013の要件に準拠している。

資本商品の主な特性、T2

発行体	スヴェンスカ・ ハンデルスバンケン・ エイ・ビー	スヴェンスカ・ ハンデルスバンケン・ エイ・ビー	スヴェンスカ・ ハンデルスバンケン・ エイ・ビー
固有の識別コード（例：CUSIP、ISIN又は私募 発行に関するブルームバーグ識別コード）	XS1014674227	XS0842167719	XS0842167552
商品の準拠法	主に英国法、 スウェーデン 破産法	主に英国法、 スウェーデン 破産法	主に英国法、 スウェーデン 破産法
規制上の取扱い			
移行時のCRR規定	Tier 2資本	Tier 2資本	Tier 2資本
移行後の規定	Tier 2資本	Tier 2資本	Tier 2資本
適格性：単独／（サブ）連結／単独及び（サ ブ）連結	単独及び（サブ）連結	単独及び（サブ）連結	単独及び（サブ）連結
商品の種類（各管轄地で規定される種類）	劣後ローン	劣後ローン	劣後ローン
規制資本において認識される金額（直近の報告 日現在で、通貨単位は百万）	14,355百万 スウェーデン・ クローネ	1,749百万 スウェーデン・ クローネ	1,250百万 スウェーデン・ クローネ
商品の額面金額	1,500百万ユーロ	1,750百万 スウェーデン・ クローネ	1,250百万 スウェーデン・ クローネ
発行価格	100%	100%	100%
償還価格	100%	100%	100%
会計上の分類	負債-償却原価	負債-償却原価	負債-償却原価
当初発行日	2014年1月15日	2012年10月12日	2012年10月12日
永久又は期限付	期限付	期限付	期限付
当初満期日	2024年1月15日	2022年10月12日	2022年10月12日
事前の監督当局承認を条件とする発行体のコー ル	あり	あり	あり
任意のコール日、偶発的コール日及び償還金額	2019年1月15日	2017年10月12日	2017年10月12日
その後のコール日（該当する場合）	第一回償還日後、各利息 支払日毎にコール可能	第一回償還日後、各利息 支払日毎にコール可能	第一回償還日後、各利息 支払日毎にコール可能
クーポン／配当金			
固定又は変動利付配当金／クーポン	固定	固定	変動
クーポン・レート及び関連インデックス	2.66%	4.47%	2.38%
配当金のストッパーの有無	なし	なし	なし
全額任意、一部任意又は強制（時期に関して）	強制	強制	強制

全額任意、一部任意又は強制（金額に関して）	強制	強制	強制
ステップアップ又は償還に関する その他のインセンティブの有無	なし	なし	なし
非累積型又は累積型	非累積型	非累積型	非累積型
転換型又は非転換型	非転換型	非転換型	非転換型
転換型の場合、転換トリガー	該当なし	該当なし	該当なし
転換型の場合、全部又は一部	該当なし	該当なし	該当なし
転換型の場合、転換率	該当なし	該当なし	該当なし
転換型の場合、強制転換又は任意転換	該当なし	該当なし	該当なし
転換型の場合、転換可能な商品の種類を明記	該当なし	該当なし	該当なし
転換型の場合、転換される商品の発行体を明記	該当なし	該当なし	該当なし
減額の特性	なし	なし	なし
減額の場合、減額トリガー	該当なし	該当なし	該当なし
減額の場合、全部又は一部	該当なし	該当なし	該当なし
減額の場合、永久又は一時的	該当なし	該当なし	該当なし
一時的な減額がある場合、回復の仕組みの記述	該当なし	該当なし	該当なし
清算の際の劣後ヒエラルキーにおけるポジション（商品の直前に優先される商品の種類を明記）	すべての優先貸付に劣後する。	すべての優先貸付に劣後する。	すべての優先貸付に劣後する。
非準拠移行特性	なし	なし	なし
そうした特性がある場合、非準拠特性を明記	該当なし	該当なし	該当なし

この表示は、欧州委員会実施規則（EU）1423/2013の要件に準拠している。

所要自己資本及びリスク・エクスポージャー金額合計

百万スウェーデン・クローネ	2016年		2015年	
	リスク・エクスポージャー金額合計	所要自己資本	リスク・エクスポージャー金額合計	所要自己資本
信用リスク（カウンターパーティー・リスクを除く）	364,568	29,166	376,980	30,159
うち、標準的アプローチ	80,361	6,429	80,085	6,408
うち、IRBアプローチ	284,207	22,737	296,895	23,751
うち、資本エクスポージャー	4,959	397	15,815	1,265
うち、その他事業の証券化ポジション	24	2	2	0
うち、外部信用評価アプローチ	24	2	2	0
カウンターパーティー・リスク	15,698	1,256	18,736	1,499
うち、時価評価法を用いて算出	15,698	1,256	18,736	1,499
決済リスク	0	0	0	0
信用評価調整（以下、「CVA」という）リスク	7,429	594	8,911	713
市場リスク	10,910	873	10,318	825
うち、標準的アプローチ	10,910	873	10,318	825
オペレーショナル・リスク	60,182	4,815	58,187	4,655
うち、標準的アプローチ	60,182	4,815	58,187	4,655
合計	458,787	36,704	473,132	37,851
バーゼル1フロアによる調整		61,531		56,982
所要自己資本、バーゼル1フロア		98,235		94,833
自己資本合計、バーゼル1フロア		145,760		129,884

所要自己資本、市場リスク

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
トレーディング勘定におけるポジション・リスク	864	819
金利リスク	855	804
うち、一般的なリスク	598	512
うち、特定のリスク	256	290
うち、証券化金融商品のポジション	-	-
うち、デルタ・リスク以外のリスク	1	2
株価リスク	9	15
うち、一般的なリスク	1	1
うち、特定のリスク	3	4
うち、ミューチュアル・ファンド	0	2
うち、デルタ・リスク以外のリスク	5	8
為替リスク	-	-
うち、デルタ・リスク以外のリスク	-	-
コモディティ・リスク	9	6
うち、デルタ・リスク以外のリスク	0	0

決済リスク	0	0
市場リスクに係る所要自己資本合計	873	825

金融コングロマリットの自己資本比率

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
控除及び調整後の自己資本	145,971	129,660
所要自己資本	102,557	95,729
剰余金	43,414	33,931

自己資本比率分析

%	2016年	2015年
普通株式等Tier 1資本比率、CRR	25.1	21.2
Tier 1自己資本比率、CRR	27.9	23.8
自己資本比率合計、CRR	31.4	27.2
リスク・エクスポージャー金額合計、CRR（百万スウェーデン・クローネ）	458,787	473,132
バーゼル1フロアに基づく所要自己資本に関する自己資本	148.0	137.0
金融機関特有のバッファー要件	6.4	6.1
うち、資本保全バッファー要件	2.5	2.5
うち、カウンターシクリカル資本バッファー要件	0.9	0.6
うち、システミック・リスク資本バッファー要件	3.0	3.0
バッファーとして利用可能な普通株式等Tier 1資本	20.6	16.7

自己資本の変動

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
普通株式等Tier 1 資本一期末首残高	100,535	98,084
当期利益	20,074	15,595
配当	-9,721	-11,442
転換	2,518	91
少数株主持分	0	0
繰延税金	-545	1,155
連結ベース外での資本拠出	0	0
証券化ポジション	0	0
のれん及びその他の無形資産	-1,109	-124
公正価値で測定されるポジションの価値の調整	-91	-552
自社株式	-193	-110
IRB機関に関する特別控除	-132	708
その他の包括利益を通じて影響を受ける項目		
AFS株式	40	2,138
AFS持分	53	21
年金（IAS第19号）	3,797	-3,573

為替の影響	1,247	-1,303
純投資ヘッジ	-111	-307
その他（投資ポートフォリオの変動を含む）	-1,122	154
普通株式等Tier 1 資本一期末残高	115,240	100,535
その他Tier 1資本一期末首残高	11,933	8,043
<i>その他Tier 1資本商品</i>		
発行	0	9,981
償還	0	-5,521
為替の影響	837	-169
転換	-1	-2
規制調整資本	-1	-399
その他Tier 1資本一期末残高	12,768	11,933
Tier 1資本合計	128,008	112,468
Tier 2資本一期末首残高	16,021	16,731
<i>Tier 2資本商品</i>		
発行	0	0
為替の影響	648	-457
満期までの調整	-444	-253
Tier 2資本一期末残高	16,225	16,021
自己資本合計	144,233	128,489

IRBアプローチで客認された信用リスク・エクスポージャー	エクスポージャー 金額		リスク加重した エクスポージャー 金額		所要自己資本		平均リスク 加重、%	
	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ								
法人エクスポージャー	821,000	821,795	194,650	204,181	15,572	16,334	23.7	24.8
法人向け貸付	798,330	796,198	190,709	199,470	15,257	15,957	23.9	25.1
うち、その他貸付（LGD及びCCFの 独自の見積りを伴わないIRBアプ ローチ）	116,048	124,939	35,946	37,805	2,876	3,024	31	30.3
うち、その他貸付（LGD及びCCFの 独自の見積りを伴うIRBアプロー チ）	682,282	671,259	154,763	161,665	12,381	12,933	22.7	24.1
うち、大企業	126,774	137,749	57,176	61,130	4,574	4,890	45.1	44.4
うち、中小企業	81,640	76,639	32,486	32,888	2,599	2,631	39.8	42.9
うち、不動産会社	473,868	456,871	65,101	67,647	5,208	5,412	13.7	14.8
カウンターパーティー・リスク	22,670	25,597	3,941	4,711	315	377	17.4	18.4

住宅協同組合	187,897	170,587	7,555	6,248	604	500	4	3.7
リテール・エクスポージャー	982,270	918,324	72,398	66,245	5,792	5,300	7.4	7.2
個人	955,346	891,487	65,258	58,841	5,221	4,707	6.8	6.6
うち、不動産貸付	874,253	810,312	48,178	43,517	3,854	3,481	5.5	5.4
うち、その他	81,093	81,175	17,080	15,324	1,367	1,226	21.1	18.9
小規模企業	26,924	26,837	7,140	7,404	571	593	26.5	27.6
うち、不動産貸付	7,650	7,541	1,706	2,016	137	161	22.3	26.7
うち、その他	19,274	19,296	5,434	5,388	434	432	28.2	27.9
機関エクスポージャー	105,185	117,263	17,397	20,471	1,392	1,638	16.5	17.5
機関向け貸付	20,066	19,203	6,175	6,767	494	541	30.8	35.2
カウンターパーティー・リスク	85,119	98,060	11,222	13,704	898	1,096	13.2	14
うち、レポ及び証券貸付	14,070	31,143	631	424	50	34	4.5	1.4
うち、デリバティブ	71,049	66,917	10,591	13,280	848	1,062	14.9	19.8
株式エクスポージャー	1,340	5,229	4,959	15,815	397	1,265	370	302.4
うち、上場株式	-	4,418	-	12,811	-	1,025	-	290
うち、その他株式	1,340	811	4,959	3,004	397	240	370	370
与信債権資産以外のエクスポージャー	2,387	2,348	2,387	2,348	191	188	100	100
証券化ポジション	22	28	24	2	2	0	105.9	7.4
うち、伝統的証券化	22	28	24	2	2	0	105.9	7.4
うち、合成的証券化	-	-	-	-	-	-	-	-
IRB合計	2,100,101	2,035,574	299,370	315,310	23,950	25,225	14.3	15.5

信用リスク・エクスポージャー、 標準的アプローチ ¹	エクスポージャー		リスク加重した エクスポージャー		所要自己資本		平均リスク 加重、%	
	価値		金額					
	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ								
ソブリン及び中央銀行	255,748	270,402	77	72	6	6	0	0
地方自治体	54,908	58,231	22	18	2	1	0	0
国際開発銀行	636	649	0	0	0	0	0	0
国際機関	49	1	0	0	0	0	0	0
金融機関	4,215	4,162	343	603	27	48	8.1	14.5
法人	10,640	12,232	10,017	11,570	801	926	94.1	94.6
リテール	17,042	22,417	12,737	16,774	1,019	1,342	74.7	74.8
不動産抵当貸付	92,087	70,925	33,316	25,367	2,665	2,029	36.2	35.8
延滞項目	199	229	258	319	21	25	129.6	139.2
株式	6,796	7,978	16,126	17,308	1,290	1,385	237.3	216.9
うち、上場株式	0	249	0	249	0	20	0.0	100.0
うち、その他株式	6,796	7,729	16,126	17,059	1,290	1,365	237.3	220.7
その他項目	8,571	9,034	8,000	8,375	641	671	93.4	92.7
標準的アプローチ合計	450,891	456,260	80,896	80,406	6,472	6,433	17.9	17.6

1) 存在するエクスポージャーをクラス毎に集約し、所要自己資本の詳細を示したもの

レバレッジ比率共通ディスクロージャー

百万スウェーデン・クローネ

オンバランスシート・エクスポージャー（デリバティブ及び証券金融取引を除く）

オンバランスシート項目（デリバティブ、証券金融取引及び信託資産を除く）

Tier 1資本の算定において控除された資産額

オンバランスシート・エクスポージャー合計（デリバティブ、証券金融取引及び信託資産を除く）

デリバティブ・エクスポージャー

すべてのデリバティブ取引に関する再調達原価（すなわち、適格な変動証拠金控除後）

すべてのデリバティブ取引に関する潜在的な将来エクスポージャーに係る追加額（時価法）

当初の手法で算定されたエクスポージャー

適用された会計フレームワークにより貸借対照表資産から控除されたデリバティブ担保の加算

デリバティブ取引で提供された変動証拠金に関する債権の控除

顧客決済取引エクスポージャーの中央清算機関レグの控除

売建信用デリバティブの想定元本の調整による影響

売建信用デリバティブの想定元本の相殺及び加算額の控除の調整

デリバティブ・エクスポージャー合計

証券金融取引エクスポージャー

証券金融取引資産総額（相殺の認識なし）、売却取引調整後

証券金融取引資産総額の債権債務（現金）の相殺額

証券金融取引資産に関するカウンターパーティーの信用リスク・エクスポージャー

証券金融取引の特例：規則（EU）575/2013の第429b(4)条及び第222条によるカウンターパーティーの信用リスク・エクスポージャー

代理人取引エクスポージャー

顧客決済証券金融取引エクスポージャーの中央清算期間レグの控除

証券金融取引エクスポージャー合計

その他のオフバランスシート・エクスポージャー

オフバランスシート・エクスポージャーの総額（名目金額）

与信相当額への転換に関する調整

その他のオフバランスシート・エクスポージャー

対象外のエクスポージャー

規則（EU）575/2013の第429(7)条（オンバランス及びオフバランス・シート）に準拠して対象外となったグループ内エクスポージャー（単独ベース）

2016年

2015年

2,417,175

2,299,796

-14,650

-15,710

2,402,525

2,284,086

30,213

17,624

30,758

30,597

-

-

-

-

-6,917

0

-

-

8,917

0

-679

0

62,292

48,221

12,914

32,172

-

-

4,436

4,786

-

-

-

-

-

-

17,350

36,958

492,788

483,859

-314,413

-303,538

178,375

180,321

-

-

規則 (EU) 575/2013の第429(14)条 (オンバランス及びオフバランス・シート) に準拠して対象外となったエクスポージャーの控除

-

-

資本及びエクスポージャー合計

Tier 1資本	128,008	112,468
レバレッジ比率エクスポージャー合計	2,660,542	2,549,587

レバレッジ比率

レバレッジ比率	4.8%	4.4%

移行時調整の選択及び認識しない信託項目の金額

資本測定の定義に関する移行時調整の選択	移行時調整	移行時調整
規則 (EU) 575/2013の第429(13)条に準拠した認識しない信託項目の金額	0	-1,162

会計上の資産及びレバレッジ比率エクスポージャーの調整の要約

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
公表された財務諸表の資産合計	2,627,580	2,522,133
会計上連結されているが資本規制では連結対象外の事業体に関する調整	-114,858	-103,655
関連する会計フレームワークに従い貸借対照表に認識されているが、規則 (EU) 575/2013の第429(13)条に準拠してレバレッジ比率エクスポージャーから除外した信託資産に関する調整	0	-1,162
デリバティブ金融商品に関する調整	-20,341	-37,126
証券金融取引に関する調整	4,436	4,786
オフバランス・シート項目に関する調整 (オフバランスシート・エクスポージャーの与信相当金額への転換)	178,375	180,321
規則 (EU) 575/2013の第429(7)条に従いレバレッジ比率エクスポージャーの測定から除外されたグループ内エクスポージャーに関する調整	-	-
規則 (EU) 575/2013の第429(14)条に従いレバレッジ比率エクスポージャーの測定から除外されたエクスポージャーに関する調整	-	-
その他の調整	-14,650	-15,710
レバレッジ比率エクスポージャー合計	2,660,542	2,549,587

オンバランスシート・エクスポージャーの分割

(デリバティブ、証券金融取引、対象外のエクスポージャーを除く)

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
オンバランスシート・エクスポージャー合計 (デリバティブ、証券金融取引、対象外のエクスポージャーを除く)	2,402,525	2,284,086
うち、トレーディング勘定エクスポージャー	175,292	147,300
銀行勘定エクスポージャー	2,227,233	2,136,786

うち、カバード・ボンド	5,019	2,981
うち、ソブリンとして取り扱われるエクスポージャー	297,369	312,267
うち、地方政府、国際開発銀行、国際機関及びソブリンとして取り扱われない 公共機関に対するエクスポージャー	107	63
うち、機関	11,695	12,462
うち、不動産モーゲージによる担保	1,606,790	1,487,863
うち、リテール・エクスポージャー	81,816	84,262
うち、法人	199,532	209,144
うち、債務不履行のエクスポージャー	4,833	5,898
うち、他のエクスポージャー（株式、証券化、他の非信用債務資産）	20,072	21,846

[次へ](#)

(2) 個別財務書類

損益計算書(親会社)

		2016年		2015年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
利息収益	注記P3	21,997	282,441	23,392	300,353
リース収益	注記P3	79	1,014	-	-
利息費用	注記P3	-7,065	-90,715	-8,142	-104,543
受取配当金	注記P4	17,045	218,858	11,978	153,798
手数料及びコミッション収益	注記P5	8,297	106,533	8,631	110,822
手数料及びコミッション費用	注記P5	-1,788	-22,958	-1,853	-23,793
金融取引による純損益	注記P6	3,076	39,496	2,349	30,161
その他営業収益	注記P7	1,647	21,147	1,644	21,109
営業収益合計		43,288	555,818	37,999	487,907
一般管理費用					
人件費	注記P8	-10,427	-133,883	-10,904	-140,007
その他管理費用	注記P9	-5,224	-67,076	-5,040	-64,714
不動産及び器具備品、リース並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	注記P19, P20	-591	-7,588	-507	-6,510
貸倒損失控除前費用合計		-16,242	-208,547	-16,451	-211,231
貸倒損失控除前利益		27,046	347,271	21,548	276,676
正味貸倒損失	注記P10	-1,730	-22,213	-1,614	-20,724
金融資産の減損損失		-20	-257	-15	-193
営業利益		25,296	324,801	19,919	255,760
繰入	注記P11	-193	-2,478	100	1,284
税引前利益		25,103	322,323	20,019	257,044
法人税等	注記P27	-4,503	-57,819	-4,176	-53,620
当期利益		20,600	264,504	15,843	203,424

包括利益計算書（親会社）

	2016年		2015年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	20,600	264,504	15,843	203,424
その他包括利益				
キャッシュフロー・ヘッジ	-1,882	-24,165	195	2,504
売却可能金融商品	-1,152	-14,792	694	8,911
当期為替換算差額	387	4,969	-1,155	-14,830
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-65	-835	-444	-5,701
その他包括利益に関する税金	538	6,908	73	937
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	414	5,316	-43	-552
うち、売却可能金融商品	110	1,412	18	231
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	14	180	98	1,258
その他包括利益合計	-2,109	-27,080	-193	-2,478
当期包括利益合計	18,491	237,424	15,650	200,946

当期の損益計算書における組替修正は株主持分変動計算書に示されている。

貸借対照表(親会社)

		2016年		2015年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
資産					
現金及び中央銀行預け金		199,362	2,559,808	202,630	2,601,769
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記P14	94,236	1,209,990	71,436	917,238
金融機関への貸出金	注記P12	593,125	7,615,725	596,441	7,658,302
一般顧客への貸出金	注記P13	763,567	9,804,200	733,988	9,424,406
社債及びその他の利付証券	注記P14	60,311	774,393	40,974	526,106
株式	注記P15	19,339	248,313	29,309	376,328
子会社株式及び関連会社に対する投資	注記P16	46,363	595,301	45,815	588,265
顧客が価値変動リスクを負う資産		4,172	53,568	3,422	43,938
デリバティブ商品	注記P17	87,061	1,117,863	89,491	1,149,064
無形資産	注記P19	2,268	29,121	1,962	25,192
不動産及び器具備品	注記P20	2,970	38,135	1,150	14,766
繰延税金資産	注記P27	425	5,457	328	4,212
その他資産	注記P21	16,713	214,595	18,299	234,959
前払費用及び未収金	注記P22	4,792	61,529	4,813	61,799
資産合計	注記P33	1,894,704	24,327,999	1,840,058	23,626,345
負債及び資本					
金融機関からの預り金	注記P23	189,176	2,429,020	173,533	2,228,164
一般顧客からの預金及び借入金	注記P24	827,753	10,628,349	755,066	9,695,047
顧客が価値変動リスクを負う負債		4,271	54,840	3,501	44,953
発行済証券等	注記P25	648,977	8,332,865	676,950	8,692,038
デリバティブ商品	注記P17	54,491	699,664	61,109	784,640
ショートポジション	注記P26	1,572	20,184	2,416	31,021
当期税金負債		184	2,363	847	10,875
繰延税金負債	注記P27	1,066	13,687	1,521	19,530
引当金	注記P28	429	5,508	96	1,233
その他負債	注記P29	8,786	112,812	13,751	176,563
未払費用及び繰延収益	注記P30	7,164	91,986	9,370	120,311
劣後負債	注記P31	33,400	428,856	34,216	439,333
負債合計	注記P33	1,777,269	22,820,134	1,732,376	22,243,708
非課税剰余金	注記P32	793	10,182	570	7,319
株式資本		3,013	38,687	2,956	37,955
資本剰余金		5,628	72,264	3,204	41,139
その他積立金		9,242	118,667	9,585	123,071
利益剰余金		78,159	1,003,562	75,524	969,728
当期利益		20,600	264,504	15,843	203,424

資本合計	116,642	1,497,683	107,112	1,375,318
負債及び資本合計	1,894,704	24,327,999	1,840,058	23,626,345

持分変動計算書（親会社）

(百万 スウェーデン・ クローネ)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定 準備金	内部開発ソ フトウェア 積立金	資本 剰余金	ヘッジ 準備金 ¹	公正価値 評価差額 準備金 ¹	為替換算 調整 準備金 ¹	利益 剰余金	
2016年期首資本	2,956	2,682		3,204	1,349	2,016	3,538	91,367	107,112
当期利益								20,600	20,600
その他包括利益					-1,468	-1,042	401		-2,109
当期包括利益合計					-1,468	-1,042	401	20,600	18,491
配当金								-11,442	-11,442
転換劣後ローンの影 響	57			2,424					2,481
内部開発ソフトウェ ア積立金			1,766					-1,766	
2016年期末資本	3,013	2,682	1,766	5,628	-119	974	3,939	98,759	116,642

	制限資本		非制限資本					
(百万スウェーデン・クローネ)	株式資本	法定準備金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹	公正価値評価差額準備金 ¹	為替換算調整準備金 ¹	利益剰余金	合計
2015年期首資本	2,956	2,682	3,203	1,197	1,304	4,595	86,648	102,585
当期利益							15,843	15,843
その他包括利益				152	712	-1,057		-193
当期包括利益合計				152	712	-1,057	15,843	15,650
配当金							-11,124	-11,124
転換劣後ローンの影響	0		1					1
2015年期末資本	2,956	2,682	3,204	1,349	2,016	3,538	91,367	107,112

1) 公正価値ファンドに含まれている。

2016年1月から12月において、2008年及び2011年転換可能劣後社債に係る額面32,267（1）百万スウェーデン・クローネが、37,105,318（18,925）株のクラスA株式に転換された。年度末において、トレーディング勘定で保有されていた自己株式は0（0）株であった。

資本変動の内訳

ヘッジ準備金の変動

(百万スウェーデン・クローネ)

	2016年	2015年
期首ヘッジ準備金	1,349	1,197
当期における未実現損益の変動	-1,468	152
損益計算書への振替額 ¹	-	-
期末ヘッジ準備金	-119	1,349

公正価値評価差額準備金の変動

(百万スウェーデン・クローネ)

	2016年	2015年
期首公正価値評価差額準備金	2,016	1,304
留保分及び新規分に関する当期の未実現市場価値の変動	706	745
損益計算書への振替額 ²	-1,748	-33
期末公正価値評価差額準備金	974	2,016

為替換算調整準備金の変動

(百万スウェーデン・クローネ)

	2016年	2015年
期首為替換算調整準備金	3,538	4,595
支店における為替換算差額の変動	403	-1,059
損益計算書への振替額 ³	-2	2
期末為替換算調整準備金	3,939	3,538

1) この項目に係る税金- (-) 百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

2) この項目に係る税金121 (63) 百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

3) この項目に係る税金0 (0) 百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

(百万円)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹	公正価値評価差額準備金 ¹	為替換算調整準備金 ¹	利益剰余金	
2016年期首資本	37,955	34,437		41,127	17,321	25,885	45,428	1,173,152	1,375,318
当期利益								264,504	264,504
その他包括利益					-18,849	-13,379	5,149		-27,080
当期包括利益合計					-18,849	-13,379	5,149	264,504	237,424
配当金								-146,915	-146,915
転換劣後ローンの影響	732			31,124					31,856
内部開発ソフトウェア積立金			22,675					-22,675	
2016年期末資本	38,687	34,437	22,675	72,264	-1,528	12,506	50,577	1,268,066	1,497,683

	制限資本		非制限資本					
(百万円)	株式資本	法定準備金	資本剰余金	ヘッジ準備金 ¹	公正価値評価差額準備金 ¹	為替換算調整準備金 ¹	利益剰余金	合計
2015年期首資本	37,955	34,437	41,127	15,369	16,743	59,000	1,112,560	1,317,191
当期利益							203,424	203,424
その他包括利益				1,952	9,142	-13,572		-2,478
当期包括利益合計				1,952	9,142	-13,572	203,424	200,946
配当金							-142,832	-142,832
転換劣後ローンの影響	0		13					13
2015年期末資本	37,955	34,437	41,139	17,321	25,885	45,428	1,173,152	1,375,318

1) 公正価値ファンドに含まれている。

2016年1月から12月において、2008年及び2011年転換可能劣後社債に係る額面32,267（13）百万円が、37,105,318（18,925）株のクラスA株式に転換された。年度末において、トレーディング勘定で保有されていた自己株式は0（0）株であった。

資本変動の内訳

ヘッジ準備金の変動 (百万円)	2016年	2015年
期首ヘッジ準備金	17,321	15,369
当期における未実現損益の変動	-18,849	1,952
損益計算書への振替額 ¹	-	-
期末ヘッジ準備金	-1,528	17,321

公正価値評価差額準備金の変動 (百万円)	2016年	2015年
期首公正価値評価差額準備金	25,885	16,743
留保分及び新規分に関する当期の未実現市場価値の変動	9,065	9,566
損益計算書への振替額 ²	-22,444	-424
期末公正価値評価差額準備金	12,506	25,885

為替換算調整準備金の変動 (百万円)	2016年	2015年
期首為替換算調整準備金	45,428	59,000
支店における為替換算差額の変動	5,175	-13,598
損益計算書への振替額 ³	-26	26
期末為替換算調整準備金	50,577	45,428

1) この項目に係る税金- (-) 百万円は、損益計算書に振り替えられている。

2) この項目に係る税金1,554 (809) 百万円は、損益計算書に振り替えられている。

3) この項目に係る税金0 (0) 百万円は、損益計算書に振り替えられている。

キャッシュ・フロー計算書（親会社）

	2016年		2015年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
営業活動				
営業利益	25,296	324,801	19,919	255,760
うち、受取利息	22,016	282,685	23,830	305,977
うち、支払利息	-7,118	-91,395	-8,688	-111,554
うち、受取配当金	17,045	218,858	11,978	153,798
損益における非現金項目の調整				
貸倒損失	1,841	23,638	1,708	21,931
未実現評価差額	-2,563	-32,909	1,418	18,207
減価償却費、償却費及び減損	591	7,588	507	6,510
グループ利益分配	-12,220	-156,905	-10,971	-140,868
法人税の支払	-5,281	-67,808	-4,221	-54,198
営業活動による資産及び負債の変動				
金融機関への貸出金	3,367	43,232	-27,847	-357,555
一般顧客への貸出金	-31,416	-403,381	1,722	22,110
利付証券及び株式	-35,879	-460,686	34,040	437,074
金融機関からの預り金	12,393	159,126	-35,224	-452,276
一般顧客からの預金及び借入金	75,936	975,018	-267,237	-3,431,323
発行済証券	-27,973	-359,173	43,823	562,687
デリバティブの正味ポジション	-3,578	-45,942	3,875	49,755
ショートポジション	-1,006	-12,917	-18,187	-233,521
投資銀行業務の決済における債権及び債務	-1,781	-22,868	2,094	26,887
その他	-1,924	-24,704	-30,874	-396,422
営業活動からのキャッシュ・フロー	-4,197	-53,889	-285,455	-3,665,242
投資活動				
子会社の取得	-408	-5,239	-	-
関連会社の取得及び関連会社への拠出	-19	-244	-52	-668
株式の売却	5,456	70,055	3,670	47,123
利付証券の売却	1,000	12,840	-	-
不動産及び器具備品の取得	-2,344	-30,097	-633	-8,128
不動産及び器具備品の処分	87	1,117	218	2,799
無形資産の取得	-598	-7,678	-447	-5,739
無形資産の処分	0	0	-	-
投資活動からのキャッシュ・フロー	3,174	40,754	2,756	35,387
財務活動				
劣後ローンの返済	-2,512	-32,254	-5,690	-73,060
劣後ローンの発行	-	-	10,082	129,453
配当金の支払	-11,442	-146,915	-11,124	-142,832
グループ会社からの受取配当金	10,971	140,868	8,727	112,055
財務活動からのキャッシュ・フロー	-2,983	-38,302	1,995	25,616

当期キャッシュ・フロー	-4,006	-51,437	-280,704	-3,604,239
期首流動資金	202,630	2,601,769	454,532	5,836,191
営業活動からのキャッシュ・フロー	-4,197	-53,889	-285,455	-3,665,242
投資活動からのキャッシュ・フロー	3,174	40,754	2,756	35,387
財務活動からのキャッシュ・フロー	-2,983	-38,302	1,995	25,616
流動資金の為替換算差額	738	9,476	28,802	369,818
期末流動資金	199,362	2,559,808	202,630	2,601,769

5年間の概要(親会社)

損益計算書

(百万スウェーデン・クローネ)

	2016年	2015年	2014年	2013年	2012年
純利息収益	15,011	15,250	16,082	15,962	16,431
受取配当金	17,045	11,978	9,664	8,995	9,152
純手数料及びコミッション収益	6,509	6,778	6,112	5,649	5,724
金融取引による純損益	3,076	2,349	1,117	589	3,994
その他営業収益	1,647	1,644	2,188	1,953	758
営業収益合計	43,288	37,999	35,163	33,148	36,059
一般管理費用					
人件費	-10,427	-10,904	-10,441	-9,977	-9,808
その他管理費用	-5,224	-5,040	-5,006	-5,075	-5,157
不動産及び器具備品リース並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-591	-507	-478	-498	-518
貸倒損失控除前費用合計	-16,242	-16,451	-15,925	-15,550	-15,483
貸倒損失控除前利益	27,046	21,548	19,238	17,598	20,576
正味貸倒損失	-1,730	-1,614	-1,825	-1,189	-1,154
金融資産の減損損失	-20	-15	-	-29	-820
営業利益	25,296	19,919	17,413	16,380	18,602
繰入	-193	100	111	4,267	-4,065
税引前利益	25,103	20,019	17,524	20,647	14,537
法人税等	-4,503	-4,176	-3,823	-4,619	-2,985
当期利益	20,600	15,843	13,701	16,028	11,552
当期配当金	9,721 ¹	11,442	11,124	10,488	6,804

1) 取締役会の処分案によるもの

包括利益計算書

(百万スウェーデン・クローネ)

	2016年	2015年	2014年	2013年	2012年
当期利益	20,600	15,843	13,701	16,028	11,552
その他包括利益					
キャッシュフロー・ヘッジ	-1,882	195	3,249	-3,009	2,522
売却可能金融商品	-1,152	694	295	534	983
当期為替換算差額	387	-1,155	5,634	879	-10
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-65	-444	2,675	901	481
その他包括利益に関する税金	538	73	-1,311	397	-962
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	414	-43	-709	656	-608
うち、売却可能金融商品	110	18	-14	-61	-248
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	14	98	-588	-198	-106
その他包括利益合計	-2,109	-193	7,867	-1,199	2,533

当期包括利益合計	18,491	15,650	21,568	14,829	14,085

貸借対照表

(百万スウェーデン・クローネ)

	2016年	2015年	2013年	2012年	2011年
資産					
一般顧客への貸出金	763,567	733,988	737,483	685,372	731,967
金融機関への貸出金	593,125	596,441	568,589	475,440	422,897
利付証券	154,547	112,410	134,014	112,728	108,198
その他資産	383,465	397,219	695,709	533,321	461,704
資産合計	1,894,704	1,840,058	2,135,795	1,806,861	1,724,766

負債及び資本

一般顧客からの預金及び借入金	827,753	755,066	1,020,962	814,227	668,683
金融機関からの預り金	189,176	173,533	210,099	226,631	243,332
発行済証券	648,977	676,950	633,128	532,607	531,284
劣後負債	33,400	34,216	30,289	15,965	21,167
その他負債	77,963	92,611	138,033	125,900	173,030
非課税剰余金	793	570	699	773	5,038
資本	116,642	107,112	102,585	90,758	82,232
負債及び資本合計	1,894,704	1,840,058	2,135,795	1,806,861	1,724,766

重要な数値	2016年	2015年	2013年	2012年	2011年
減損貸出金引当率%	60.1	54.3	46.6	58.0	56.0
減損貸出金の割合%	0.23	0.30	0.36	0.24	0.28
CRRによる普通株式等Tier 1比率%	23.4	19.9	18.5		
バーゼルIIによるTier 1比率%				20.5	19.0
CRRによるTier 1比率%	26.3	22.6	20.2		
バーゼルIIによる自己資本比率%				21.4	20.6
CRRによる自己資本比率合計%	30.0	26.1	23.9		
使用資本利益率%	0.99	0.74	0.70	0.91	0.64

代替的な数値の定義については218ページ（訳注：原文のページ数である）を参照のこと。また、これらの重要な数値の計算については、handelsbanken.se/irengから入手可能な「ファクト・ブック」を参照のこと。

[次へ](#)

注記P1 会計方針

準拠表明

親会社の年次報告書はスウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）、スウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針（FFFS 2008年第25号）、信用機関及び証券会社における年次報告に準拠して作成されている。親会社はまたスウェーデンの財務報告審議会の勧告RFR第2号「事業体に関する会計処理」及び意見書を適用している。金融監督庁の一般的な指針に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれら基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り適用されていることを意味する。

親会社及び当行グループの会計方針における関連性

親会社の会計方針は、概ね当行グループの会計方針と一致している。以下は当行グループの会計方針と異なっている親会社の会計方針に限定して報告するものである。その他については注記G1の会計方針を参照のこと。

会計方針の変更

2016年1月1日に、信用機関及び証券会社における年次報告書に関するスウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針（FFFS 2008年第25号）の改訂に関する規定（FFFS 2015年第20号）が施行された。主な違いは、当期の内部開発ソフトウェアに関する金額が、貸借対照表において非制限資本から制限資本の内部ソフトウェア積立金に振り替えられる点である。

その他の点については、親会社の会計方針は、すべての重要な点において2015年度に採用されていた会計方針と同様である。

表示

親会社は損益計算書及び貸借対照表について信用機関及び証券会社に係る年次報告法並びにスウェーデン金融監督庁の規定に準拠した表示モデルを採用している。これは当行グループの表示と比較して主に以下の相違があることを意味する。

- ・ 連結財務諸表において中央銀行へのその他の貸出金として報告されている、要求払い可能な中央銀行に対する債権は、親会社の貸借対照表において金融機関への貸出金として報告されている。
- ・ 仲介及び株式取引費用は親会社においてコミッション費用として報告されている。
- ・ 受取配当金は親会社の損益計算書において個別の科目で報告されている。
- ・ 親会社における不動産、器具備品及び無形固定資産を処分する際の損益は、その他収益／費用に報告されている。
- ・ 当行グループの報告において持分資本と税金負債に分割されている非課税剰余金は、親会社において個別の貸借対照表項目として報告されている。

外貨建て資産及び負債

親会社の借入金で在外営業活動体における純投資をヘッジするものは、当初の換算レートで測定される。

売却目的保有資産及び非継続事業

非継続事業からの税引後純利益は親会社の損益計算書において個別に認識されない。また売却目的保有資産は貸借対照表において個別に表示されない。

子会社及び関連会社株式

子会社及び関連会社株式は取得原価で測定される。各貸借対照表日に、すべての保有について減損のテストが実施される。価値が下落している場合、連結された価値まで調整する様に減損が認識される。減損費用は、損益計算書上の金融資産の減損損失として分類される。子会社及び関連会社株式に対する配当金は収益として損益計算書の受取配当金に計上される。

金融保証

保証の形式による子会社及び関連会社のための金融保証は、親会社に履行義務が存在し、当該履行義務を清算するための支払いが求められる可能性が高い場合、親会社の貸借対照表に引当金として計上される。

無形資産

親会社において、資産及び耐用年数を確定出来ないその他の無形資産の取得は、前述の年次報告法の規定に準拠して償却される。経験上、買収により取得した顧客関係は非常に長期にわたるため、その結果、取得におけるのれんの耐用年数も長期となる。償却期間は20年と定められている。

リース資産

親会社は、ファイナンスリースをオペレーティングリースとして認識している。したがって、当該資産は、リース資産として報告され、関連する償却は損益計算書上の「不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用」に報告される。賃料収入は、損益計算書上の純利息収益にリース料として認識される。

リース資産は、主に車両及び機械で構成されている。リース資産は、年金法に従ってリース契約期間にわたり減価償却される。

配当金

受取配当金項目は、子会社及び関連会社からの配当金並びにグループ利益分配の受領を含む、親会社が受領したすべての配当金で構成されている。

配当予想は、親会社に配当金額を決定する権利があり、財務報告の公表前に決定されている場合に限り認識される。

退職給付会計

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わり、親会社の年金費用は、年金債務保護法の規定及びスウェーデン金融監督庁の規定に準拠した年金数理計算を基に計算される。これは主に割引率の設定方法及び将来債務の計算に将来の昇給が考慮されていないことに関して差異があることを意味する。認識された正味年金費用は、年金基金からの拠出を控除後の支払年金、年金保険料及び年金基金への分配額として算定される。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積り年金債務を超過したことによる超過額は親会社の貸借対照表において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

年金ファンドの子会社従業員に対する債務は親会社により保証されている。したがって、年金ファンドがその債務を支払うことが出来ない場合には、当行はその債務を引き受けて支払義務を負う。

法人税等

親会社において、非課税剰余金は貸借対照表において個別項目として認識される。非課税剰余金の一部は、繰延税金負債に計上され、残りは資本に計上されている。

注記P2 リスク及び資本管理

ハンデルスバンケン・グループのリスク管理は、注記G2に記載されている。親会社のリスクに関する具体的な情報については以下に示されている。その他の定義については、218ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2016年のアニュアルレポート原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）を参照のこと。

信用リスク

信用リスク・エクスポージャー

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
一般顧客への貸出金 ¹	763,567	733,988
うち、レボ	7,493	7,742
金融機関への貸出金	567,598	562,323
うち、レボ	4,088	23,632
中央銀行への担保として適格な利付証券	94,236	71,436
社債及びその他の利付証券	60,311	40,974
デリバティブ商品 ²	87,061	89,491
偶発債務	120,238	120,002
うち、保証、与信	46,633	48,486
うち、保証、その他	69,207	66,860
うち、信用状	4,398	4,656
その他コミットメント	466,044	489,646
うち、付与された当座貸越枠の未使用部分	131,289	128,969
うち、決定済み与信供与	269,583	263,956
うち、その他	65,172	96,721
合計	2,159,055	2,107,860
現金及び中央銀行預け金	199,362	202,630
中央銀行へのその他の貸出金	25,527	34,118
合計	2,383,944	2,344,608

1) この金額のうち、926 (1,619)百万スウェーデン・クローネは、当初認識時に損益計算書を通じて公正価値で評価するものとして分類されていた貸出金である。

2) 正の市場価値合計を示している。法的に有効な契約を含むエクスポージャーは、69,983 (33,759)百万スウェーデン・クローネである。

一般顧客への貸出金、

セクター及び契約相手別内訳

2016年

2015年

	貸出金 (引当金 控除前)	潜在的な貸倒 損失に対する 引当金	貸出金 (引当金 控除後)	貸出金 (引当金 控除前)	潜在的な貸倒 損失に対する 引当金	貸出金(引当金 控除後)
百万スウェーデン・クローネ						
個人	170,717	-572	170,145	164,386	-605	163,781
住宅協同組合	30,181	-8	30,173	21,531	-13	21,518
不動産管理	378,240	-689	377,551	346,029	-690	345,339
製造	25,621	-522	25,099	30,766	-1,542	29,224
リテール	19,916	-270	19,646	22,127	-267	21,860
ホテル及びレストラン	7,679	-32	7,647	8,061	-29	8,032
海運	8,513	-1,244	7,269	9,307	-543	8,764
その他運輸及び通信	7,048	-36	7,012	7,253	-60	7,193
建設	15,321	-161	15,160	12,780	-92	12,688
電気、ガス及び水道	15,514	-39	15,475	16,359	-52	16,307
農業、狩猟業及び林業	4,233	-31	4,202	5,281	-15	5,266
その他サービス	16,310	-113	16,197	16,346	-66	16,280
持株会社、投資会社、保険会社、ミュー チュアル・ファンド等	51,954	-316	51,638	54,707	-282	54,425
ソブリン及び地方自治体	1,864	0	1,864	3,012	0	3,012
その他法人貸付	14,891	-74	14,817	20,651	-93	20,558
一般顧客への貸出金合計（集会的引当金控 除前）	768,002	-4,107	763,895	738,596	-4,349	734,247
個別に評価された貸出金に対する集会的引 当金			-328			-259
一般顧客への貸出金合計			763,567	738,596		733,988

一般顧客への貸出金、担保別内訳

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
住宅用不動産 ¹	242,297	216,487
うち、個人	120,252	107,846
その他の不動産	256,283	237,558
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²	16,817	12,627
自己の債務の担保として差し入れた保証 ³	9,910	8,025
金融担保	16,963	16,777
担保資産	1,702	0
その他の担保	18,689	21,446
無担保	200,906	221,068
一般顧客への貸出金合計	763,567	733,988

1)住宅協同組合を含む。

2)直接的なソブリン・エクスポージャー及び政府保証を表す。

3)政府保証は含まない。

残高に対する信用リスク・エクスポージャー、担保別内訳

百万スウェーデン・クローネ

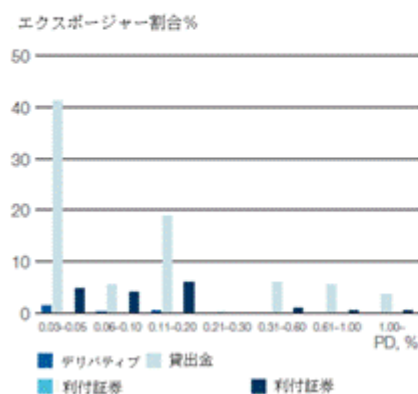
	2016年	2015年
住宅用不動産 ¹	242,297	216,487
うち、個人	120,252	107,846
その他の不動産	256,283	237,558
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 ²	244,967	256,477
自己負債のための保証 ³	10,424	8,518
金融担保	22,848	40,612
担保資産	1,702	0
その他の担保	18,689	21,446
無担保	752,034	738,927
信用リスク・エクスポージャー合計	1,549,244	1,520,025

1)住宅協同アパートを含む。

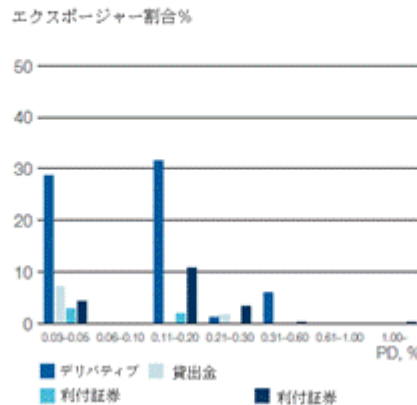
2)直接的なソブリン・エクスポージャー及び政府保証を表す。

3)政府保証は含まない。

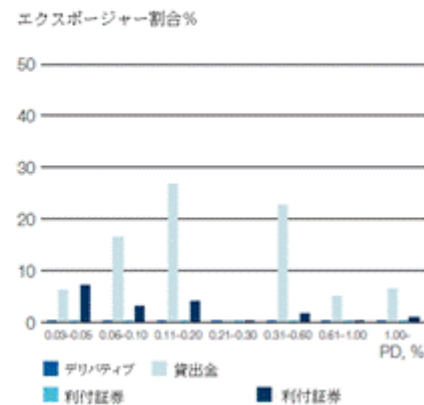
信用の質
PII区間毎の商品種類別のエクスポージャー割合
(デフォルトを除く)
—法人エクスポージャー



PII区間毎の商品種類別のエクスポージャー割合
(デフォルトを除く)
—機関エクスポージャー



PII区間毎の商品種類別のエクスポージャー割合
(デフォルトを除く)
—リテール・エクスポージャー



市場リスク

市場リスク

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
金利リスク	1,292	1,192
為替リスク ¹	115	36
株価リスク	152	651
コモディティ・リスク	6	5

1)スウェーデン・クローネが $\pm 5\%$ 変動した場合の最悪の結果

流動性リスク

金融資産及び負債の満期分析、

2016年	1ヶ月以内	1ヶ月から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の 指定なし	合計
百万スウェーデン・クローネ								
現金及び中央銀行預け金	222,401	-	-	-	-	-	-	222,401
中央銀行への担保として適格な 利付証券 ¹	94,476	-	-	-	-	-	-	94,476
社債及びその他の利付証券 ²	60,718	-	-	-	-	-	-	60,718
金融機関への貸出金	73,131	153,920	98,143	49,894	171,893	34,061	-	581,042
うちリバース・レボ	4,091	-	-	-	-	-	-	4,091
一般顧客への貸出金	47,505	141,884	101,594	106,522	210,639	188,853	-	796,997
うちリバース・レボ	7,493	-	-	-	-	-	-	7,493
その他	21,644	-	-	-	-	-	162,459	184,103
うち株式及び参加持分	19,339	-	-	-	-	-	-	19,339
うち投資銀行業務の決済に係 る債権	2,305	-	-	-	-	-	-	2,305
合計	519,875	295,804	199,737	156,416	382,532	222,914	162,459	1,939,737

金融機関からの預り金	97,843	47,403	4,183	311	880	7,044	35,054	192,718
うちレボ	-	-	-	-	-	-	-	0
うち中央銀行	30,792	34,439	1,488	-	-	-	1,868	68,587
一般顧客からの預金及び借入金	22,495	20,784	5,296	2,817	555	104	775,788	827,839
うちレボ	2	-	-	-	-	-	-	2
発行済証券 ³	101,494	252,762	68,977	43,271	169,063	35,589	-	671,156
うち、カバード・ボンド	-	-	-	-	-	-	-	0
うち、当初満期が1年末満の 証書及びその他の証券	100,359	219,193	25,088	-	-	-	-	344,640
うち、当初満期が1年超のシ ニア債及びその他の証券	1,135	33,569	43,889	43,271	169,063	35,589	-	326,516
劣後負債	389	840	3,059	1,228	32,808	-	-	38,324
その他	4,058	-	-	-	-	-	191,342	195,400
うち、ショートポジション	1,574	-	-	-	-	-	-	1,574
うち、投資銀行業務の決済債 務	2,484	-	-	-	-	-	-	2,484
合計	226,279	321,789	81,515	47,627	203,306	42,737	1,002,184	1,925,437

オフバランスシート項目

金融保証及び未使用のコミット メント	466,044							

デリバティブ、2016年	1ヶ月以内	1ヶ月から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	合計
百万スウェーデン・クローネ							

デリバティブに係る現金流入合計	273,083	447,009	87,868	126,283	361,061	118,061	1,413,365
デリバティブに係る現金流出合計	271,713	441,476	85,406	119,385	339,897	114,972	1,372,849
純額	1,370	5,533	2,462	6,898	21,164	3,089	40,516

1) この金額（利息を除く）のうち、67,214百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

2) この金額（利息を除く）のうち、10,136百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

3) この金額（利息を除く）のうち、446,340百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

「満期の指定なし」の欄の預金は、要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は親会社の貸借対照表上の金額と一致していない。

金融資産及び負債の満期分析、

2015年	1ヶ月以内	1ヶ月から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の指 定なし	合計
百万スウェーデン・クローネ								
現金及び中央銀行預け金	236,752	-	-	-	-	-	-	236,752
中央銀行への担保として適格な 利付証券 ¹	71,831	-	-	-	-	-	-	71,831
社債及びその他の利付証券 ²	41,371	-	-	-	-	-	-	41,371
金融機関への貸出金	116,614	181,433	104,419	73,047	58,721	40,277	-	574,511
うちリバース・レボ	14,586	8,833	-	-	-	-	-	23,419
一般顧客への貸出金	47,153	117,959	96,341	115,802	212,769	186,158	-	776,182
うちリバース・レボ	7,742	-	-	-	-	-	-	7,742
その他	33,874	-	-	-	-	-	160,715	194,589
うち株式及び参加持分	29,309	-	-	-	-	-	-	29,309
うち投資銀行業務の決済に係 る債権	4,565	-	-	-	-	-	-	4,565
合計	547,595	299,392	200,760	188,849	271,490	226,435	160,715	1,895,236
金融機関からの預り金	70,184	67,827	1,467	744	903	7,765	28,836	177,726
うちレボ	290	-	-	-	-	-	-	290
うち中央銀行	13,066	55,291	-	5	-	-	1,333	69,695
一般顧客からの預金及び借入金	11,412	44,749	7,666	1,118	716	133	689,421	755,215
うちレボ	-	-	-	-	-	-	-	0
発行済証券 ³	96,520	305,495	51,161	61,908	139,179	45,241	-	699,504
うち、カバード・ボンド	-	-	-	-	-	-	-	0
うち、当初満期が1年未満の 証書及びその他の証券	95,126	264,533	7,591	-	-	-	-	367,250
うち、当初満期が1年超のシ ニア債及びその他の証券	1,394	40,962	43,570	61,908	139,179	45,241	-	332,254
劣後負債	374	825	2,566	4,226	21,791	10,416	-	40,198
その他	8,946	-	-	-	-	-	191,353	200,299

うち、ショートポジション	2,422	-	-	-	-	-	-	2,422
うち、投資銀行業務の決済債務	6,524	-	-	-	-	-	-	6,524
合計	187,436	418,896	62,860	67,996	162,589	63,555	909,610	1,872,942

オフバランスシート項目

金融保証及び未使用のコミットメント	489,646

デリバティブ、2015年	1ヶ月以内	1ヶ月から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	合計
百万スウェーデン・クローネ							
デリバティブに係る現金流入合計	270,753	408,773	77,344	142,412	343,064	135,278	1,377,624
デリバティブに係る現金流出合計	270,590	406,014	76,564	138,827	330,024	132,591	1,354,610
純額	163	2,759	780	3,585	13,040	2,687	23,014

1) この金額（利息を除く）のうち、25,294百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

2) この金額（利息を除く）のうち、6,021百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

3) この金額（利息を除く）のうち、446,340百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

「満期の指定なし」の欄の預金は、要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は親会社の貸借対照表上の金額と一致していない。

注記P3 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
利息収益		
金融機関及び中央銀行への貸出金	4,513	4,425
一般顧客への貸出金	18,424	19,376
中央銀行への担保として適格な利付証券	229	651
社債及びその他の利付証券	783	914
デリバティブ商品	-2,629	-2,387
その他利息収益	1,183	1,237
利息収益合計	22,503	24,216
うち、金融取引による純損益に計上された利息収益	506	824
損益計算書に計上された利息収益	21,997	23,392
リース収益	79	-
利息費用		
金融機関及び中央銀行からの預り金	-1,121	-941
一般顧客からの預金及び借入金	-1,452	-1,898
発行済証券	-9,261	-7,732
デリバティブ商品	7,269	5,188
劣後負債	-1,534	-1,695
その他利息費用	-1,550	-1,612
利息費用合計	-7,649	-8,690
うち、金融取引による純損益に計上された利息費用	-584	-548
損益計算書に計上された利息費用	-7,065	-8,142
純利息収益（ファイナンス・リースの減価償却費控除前）	15,011	15,250
ファイナンス・リースの予定減価償却費	-70	-
純利息収益（ファイナンス・リースの減価償却費控除後）	14,941	15,250

減損貸出金に係る利息収益77(106)百万スウェーデン・クローネを含む。償却原価で計上される資産及び売却可能資産に係る利息収益は、合計24,219(25,149)百万スウェーデン・クローネであった。償却原価で計上される負債に係る利息費用は、合計14,334(13,330)百万スウェーデン・クローネであった。

注記P4 受取配当金

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
配当金	315	705

関連会社からの配当金	10	8
グループ会社からの配当金	4,500	294
グループ利益分配受領額	12,220	10,971
合計	17,045	11,978

注記P5 純手数料及びコミッション収益

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
仲介及びその他証券コミッション	901	1,065
ミューチュアル・ファンド	1,750	1,837
カストディ及びその他資産管理手数料	375	386
アドバイザーサービス	287	276
支払	3,143	3,313
貸出金及び預金	911	849
保証	422	421
その他	508	484
手数料及びコミッション収益合計	8,297	8,631
証券	-447	-465
支払	-1,286	-1,331
その他	-55	-57
手数料及びコミッション費用合計	-1,788	-1,853
純手数料及びコミッション収益	6,509	6,778

注記P6 金融取引による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
トレーディング、デリバティブ、為替による影響	794	1,424
損益に公正価値で計上されるその他の金融商品	466	-497
うち、利付証券	502	-401
うち、貸出金	-36	-96
償却原価で計上される金融商品	134	111
うち、貸出金	174	178
うち、負債	-40	-67
売却可能金融商品	1,676	1,203
ヘッジ会計		
公正価値ヘッジ	3	78
うち、ヘッジ手段	-29	-59
うち、ヘッジ対象	32	137
キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分	3	30

合計	3,076	2,349

注記P7 その他営業収益

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
賃料収入	21	21
その他営業収益	1,626	1,623
合計	1,647	1,644

注記P8 人件費

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
給与及び報酬	-7,481	-7,340
社会保障費	-1,775	-1,710
年金費用 ¹	-546	-573
利益分配財団に対する拠出	14	-816
その他人件費	-639	-465
合計	-10,427	-10,904

1) 年金費用に関する情報については、注記P38に示されている。

給与及び報酬

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
幹部の役職にある役員 ² 、26 (28) 名	-101	-112
その他	-7,380	-7,228
合計	-7,481	-7,340

2) 業務執行取締役及び取締役

男女別分布、%

	2016年		2015年	
	男性	女性	男性	女性
取締役	50	50	67	33
業務執行取締役	69	31	79	21

平均従業員数

	2016年	男性	女性	2015年	男性	女性
スウェーデン	6,575	3,078	3,497	6,759	3,166	3,593
英国	1,940	1,145	795	1,779	1,060	719
ノルウェー	729	403	326	744	415	329
デンマーク	652	330	322	673	354	319
フィンランド	524	215	309	527	219	308
米国	60	38	22	71	46	25
オランダ	207	140	67	170	109	61
ルクセンブルグ	55	33	22	62	36	26
ドイツ	43	22	21	53	30	23

中国	71	26	45	70	29	41
ポーランド	40	14	26	41	15	26
シンガポール	40	11	29	39	12	27
その他諸国	56	20	36	73	27	46
合計	10,992	5,475	5,517	11,061	5,518	5,543

親会社の執行役員に対する報酬の原則に関する情報については、注記G8に示されている。

注記P9 その他管理費用

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
不動産及び設備	-1,372	-1,374
外部IT費用	-1,625	-1,549
通信費	-293	-317
旅費及びマーケティング費用	-264	-289
購入したサービス	-1,032	-898
備品費	-160	-168
その他管理費用	-478	-445
合計	-5,224	-5,040

うち、オペレーティング・リースに係る費用

最低リース料	-684	-671
変動リース料	-78	-74
合計	-762	-745

オペレーティング・リースは主に事務所及び事務所設備の賃借に関する標準的な契約によるものである。事務所賃借料には、通常、インフレ率と固定資産税に関連した変動リース料が含まれている。2016年の最大個別リース契約費用は、約180 (172)百万スウェーデン・クローネであった。主要な契約には変動リース料は含まれていない。

監査人及び監査法人に対する報酬	ケーピーエムジー		アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー	
	2016年	2015年	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ				
監査業務	-9	-9	-4	-4
当該監査業務以外の監査上の業務	-3	-2	-	-
税務アドバイス	-	-	-	-
その他サービス	-	-	-	-

注記P10 貸倒損失

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
個別に評価された貸出金に対する引当金		
当年度引当金繰入	-1,861	-1,798

過年度の引当金の戻入	362	321
合計	-1,499	-1,477
集会的引当金		
個別に評価された貸出金に対する当年度中の引当金繰入（純額）	-62	1
同種の貸出金に対する当年度中の引当金繰入（純額）	-	-
合計	-62	1
オフバランスシート項目		
オフバランスシート項目に係る損失	-27	-24
オフバランスシート項目に係る過年度の損失の戻入	7	40
オフバランスシート項目に係る集会的引当金の変動	-26	-33
合計	-46	-17
償却		
当年度の実際の貸倒損失	-2,061	-851
過年度引当金の取崩	1,828	633
回収	110	97
合計	-123	-121
貸倒損失（純額）	-1,730	-1,614
減損貸出金等		
百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
減損貸出金	7,381	8,480
個別に評価された貸出金に対する引当金	-4,107	-4,349
集会的に評価された小口かつ同種の貸出金グループに対する引当金	-	-
個別に評価された貸出金に対する集会的引当金	-328	-259
減損貸出金純額	2,946	3,872
減損貸出金引当率、%	60.1	54.3
減損貸出金の割合、%	0.23	0.30
集会的引当金を除く減損貸出金引当率、%	55.6	51.3
60日超延滞しているが減損していない貸出金	731	866
当年度において正常債権として分類変更された減損貸出金	4	167

契約上のキャッシュ・フローが履行されない可能性が高い場合、貸出金は減損貸出金として分類される。個別引当金の対象となる個別の債権は、一部担保でカバーされる場合でも、全額が減損貸出金に含まれる。したがって、受領した担保は、引当率の計算の際に考慮されない。その他の定義については、218ページ(訳注：ハンデルスバンケンの2016年のアニュアルレポート原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。)を参照のこと。

潜在的な貸倒損失に対する引当金の変動 (2016年)	個別に評価さ れた貸出金に 対する引当金	個別に評価さ れた貸出金に 対する集会的 引当金	集会的に評価 された同種の 貸出金に対す る引当金	潜在的な 貸倒損失に対 する引当金 合計
百万スウェーデン・クローネ				
期首現在引当金	-4,349	-259	-	-4,608
当年度引当金繰入	-1,861	-62	-	-1,923
過年度の引当金の戻入れ	362	-	-	362
実際の貸倒損失に対する充当	1,828		-	1,828
外貨換算影響額等	-87	-7	-	-94
期末現在引当金	-4,107	-328	-	-4,435

潜在的な貸倒損失に対する引当金の変動 (2015年)	個別に評価さ れた貸出金に 対する引当金	個別に評価さ れた貸出金に 対する集会的 引当金	集会的に評価 された同種の 貸出金に対す る引当金	潜在的な 貸倒損失に対 する引当金 合計
百万スウェーデン・クローネ				
期首現在引当金	-3,594	-266	-	-3,860
当年度引当金繰入	-1,798	-	-	-1,798
過年度の引当金の戻入れ	321	1	-	322
実際の貸倒損失に対する充当	633		-	633
外貨換算影響額等	89	6	-	95
期末現在引当金	-4,349	-259	-	-4,608

減損貸出金及び60日超延滞している貸出金、
セクター別内訳 (2016年)

	減損貸出金				60日超延滞 しているが 減損してい ない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹	うち60日超 延滞してい るもの	
百万スウェーデン・クローネ					
個人	1,076	-572	504	292	413
住宅協同組合	13	-8	5	5	-
不動産管理	1,786	-689	1,097	259	220
製造	719	-522	197	26	18
リテール	457	-270	187	45	0
ホテル及びレストラン	96	-32	64	63	6
海運	1,849	-1,244	605	0	-
その他運輸及び通信	52	-36	16	7	5
建設	269	-161	108	47	13
電気、ガス及び水道	68	-39	29	4	8
農業、狩猟業及び林業	53	-31	22	11	2
その他サービス	214	-113	101	94	18

持株会社、投資会社、保険会社、ミューチュアル・ファンド等	601	-316	285	30	6
その他法人貸付	128	-74	54	14	22
金融機関	-	-	-	-	-
合計	7,381	-4,107	3,274	897	731

減損貸出金及び60日超延滞している貸出金、
セクター別内訳（2015年）

	減損貸出金			うち60日超 延滞してい るもの	60日超延滞 しているが 減損してい ない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹		
百万スウェーデン・クローネ					
個人	1,100	-605	495	330	427
住宅協同組合	14	-13	1	1	2
不動産管理	1,926	-690	1,236	400	127
製造	2,103	-1,542	561	49	21
リテール	394	-267	127	74	4
ホテル及びレストラン	116	-29	87	85	168
海運	1,734	-543	1,191	0	-
その他運輸及び通信	78	-60	18	16	8
建設	149	-92	57	40	77
電気、ガス及び水道	73	-52	21	5	-
農業、狩猟業及び林業	34	-15	19	3	0
その他サービス	101	-66	35	27	15
持株会社、投資会社、保険会社、ミューチュアル・ファンド等	500	-282	218	74	17
その他法人貸付	158	-93	65	39	0
金融機関	-	-	-	-	-
合計	8,480	-4,349	4,131	1,143	866

1) 個別に評価された貸出金に対する引当金及び集合的に評価された貸出金に対する引当金を考慮後の帳簿価額。但し、個別に評価された貸出金に対する集合的引当金を除く。

減損貸出金及び60日超延滞している貸出金、
地域別内訳（2016年）

	減損貸出金			うち60日超 延滞してい るもの	60日超延滞 しているが 減損してい ない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹		
百万スウェーデン・クローネ					
スウェーデン	1,889	-1,092	797	347	87
ノルウェー	510	-315	195	36	200
フィンランド	723	-539	184	46	199
デンマーク	2,866	-1,704	1,162	173	9
英国	1,108	-326	782	146	206
オランダ	3	-1	2	-	-
その他欧州	169	-92	77	74	30
北米	-	-	-	-	-
アジア	113	-38	75	75	-
合計	7,381	-4,107	3,274	897	731

減損貸出金及び60日超延滞している貸出金、
地域別内訳（2015年）

	減損貸出金				60日超延滞 しているが 減損してい ない貸出金
	総額	引当金	純額 ¹	うち60日超 延滞してい るもの	
百万スウェーデン・クローネ					
スウェーデン	3,019	-2,014	1,005	376	124
ノルウェー	208	-130	78	46	159
フィンランド	826	-637	189	96	343
デンマーク	2,797	-1,035	1,762	214	17
英国	1,436	-447	989	307	168
オランダ	2	-1	1	-	-
その他欧州	192	-85	107	104	53
北米	-	-	-	-	-
アジア	-	-	-	-	2
合計	8,480	-4,349	4,131	1,143	866

1) 個別に評価された貸出金に対する引当金及び集合的に評価された貸出金に対する引当金を考慮後の帳簿価額。但し、個別に評価された貸出金に対する集合的引当金を除く。

延滞しているが減損していない貸出金の満期構成
(2016年)

	金融機関へ の貸出金	一般顧客への貸出金			合計
		個人	法人	その他	
百万スウェーデン・クローネ					
5日以上1ヶ月以下の延滞	-	454	458	-	912
1ヶ月超2ヶ月以下の延滞	-	122	59	-	181
2ヶ月超3ヶ月以下の延滞	-	48	79	-	127
3ヶ月超12ヶ月以下の延滞	-	288	63	-	351
12ヶ月超の延滞	-	330	58	-	388
合計	-	1,242	717	-	1,959

延滞しているが減損していない貸出金の満期構成
(2015年)

	金融機関へ の貸出金	一般顧客への貸出金			合計
		個人	法人	その他	
百万スウェーデン・クローネ					
5日以上1ヶ月以下の延滞	-	554	447	-	1,001
1ヶ月超2ヶ月以下の延滞	-	92	58	-	150
2ヶ月超3ヶ月以下の延滞	-	56	18	-	74
3ヶ月超12ヶ月以下の延滞	-	184	103	-	287
12ヶ月超の延滞	-	269	236	-	505
合計	-	1,155	862	-	2,017

担保権が実行された資産

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
不動産	343	429
動産	-	-
株式	-	-
帳簿価額	343	429

注記P11 繰入

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
器具備品及びリース資産の減価償却における予定償却の変更による超過	-306	-12
純資産の取得に係るのれんの償却における予定償却の変更による超過	113	112
合計	-193	100

注記P12 金融機関への貸出金

百万スウェーデン・クローネ

貸出金(スウェーデン・クローネ建)

	2016年	2015年
銀行	12,205	18,007
その他金融機関	395,012	374,441
合計	407,217	392,448

貸出金(外貨建)

銀行	35,997	38,630
その他金融機関	149,911	165,363
合計	185,908	203,993

潜在的な貸倒損失

	-	-
金融機関への貸出金合計	593,125	596,441

うちリバース・レポ	4,088	23,632
うち劣後分	21,718	20,718

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
金融機関への貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	456,108	402,776
金融機関への貸出金(外貨建て)	188,329	223,201
合計	644,437	625,977
うちリバース・レポ	19,986	44,394

注記P13 一般顧客への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
貸出金(スウェーデン・クローネ建て)		
個人	41,651	45,414
法人	159,437	169,665
国債局	982	3,338
合計	202,070	218,417
貸出金(外貨建て)		
個人	151,342	139,295
法人	414,591	380,884
国債局	-	-
合計	565,933	520,179
潜在的な貸倒損失	-4,436	-4,608
一般顧客への貸出金合計	763,567	733,988
うちリバース・レポ	7,493	7,742
うち劣後分	1,200	1,129

平均取引高(国債局を除く)

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
一般顧客への貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	223,046	228,526
一般顧客への貸出金(外貨建て)	547,871	519,176
合計	770,917	747,702
うちリバース・レポ	14,171	18,458

注記P14 利付証券

	2016年			2015年		
百万スウェーデン・クローネ	額面価格	公正価値	帳簿価額	額面価格	公正価値	帳簿価額
中央銀行への担保として適格な国債	92,735	94,236	94,236	56,715	59,135	59,135
中央銀行への担保として適格なその他の証券	-	-	-	12,326	12,301	12,301
中央銀行への担保として適格な利付証券合計	92,735	94,236	94,236	69,041	71,436	71,436
社債及びその他の利付証券	58,606	60,311	60,311	39,252	40,974	40,974
利付証券合計	151,341	154,547	154,547	108,293	112,410	112,410
うち非上場証券		255	255		364	364

利付証券、発行者別内訳

2016年	2015年

百万スウェーデン・クローネ	額面価格	公正価値	帳簿価額	額面価格	公正価値	帳簿価額
政府	92,735	94,236	94,236	56,715	59,135	59,135
金融機関	24,351	24,602	24,602	5,994	7,756	7,756
住宅金融専門機関	32,026	33,418	33,418	27,638	29,803	29,803
その他	2,229	2,291	2,291	17,946	15,716	15,716
合計	151,341	154,547	154,547	108,293	112,410	112,410

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
利付証券	158,658	140,304

注記P15 株式

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
損益を通じて公正価値で評価されるもの		
上場	12,126	18,964
非上場	5,595	3,792
合計	17,721	22,756
売却可能に分類されたもの		
上場	-	4,667
非上場	1,618	1,886
合計	1,618	6,553
株式合計	19,339	29,309

注記P16 子会社株式及び関連会社に対する投資

子会社株式及び関連会社に対する投資

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
関連会社（非上場）	117	104
子会社（非上場）	46,246	45,711
合計	46,363	45,815

関連会社

	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分%	帳簿価額 百万スウェーデン・クローネ	
					2016年	2015年
Bankomat AB	556817-9716	ストックホルム	150	20.00	67	55
Bankomatcentralen AB	556197-2265	ストックホルム	1,100	21.89	0	0
BDB Bankernas Depå AB	556695-3567	ストックホルム				7
BGC Holding AB	556607-0933	ストックホルム	25,382	25.38	4	4
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	ストックホルム	12,735	28.30	24	24

Getswish AB	556913-7382	ストックホルム	10,000	20.00	21	13
Upplysningscentralen UC AB	556137-5113	ストックホルム	2,448	24.48	1	1
合計					117	104

子会社	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分%	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2016年	2015年
Handelsbanken Finans AB¹	556053-0841	ストックホルム	1,550,000	100	11,672	11,672
Kredit-Inkasso AB	556069-3185	ストックホルム		100		
Handelsbanken Rahoitus Oy	0112308-8	ヘルシンキ		100		
Kreditt-Inkasso AS	955074203	フレドリクス ター		100		
Handelsbanken Finans (Shanghai) Financial Leasing Co., Ltd	310101717882194	上海		100		
Stadshypotek AB¹	556459-6715	ストックホルム	162,000	100	26,870	26,870
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	556070-0683	ストックホルム	10,000	100	1	1
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	ストックホルム		100		
Handelsinvest Investeringsforvaltning A/S	12930879	コペンハーゲン		100		
Handelsbanken Fondbolag Ab	1105019-3	ヘルシンキ		100		
Handelsbanken Kapitalforvaltning AS	973194860	オスロ		100		
Xact Kapitalförvaltning AB	556997-8140	ストックホルム		100		
Handelsbanken Liv Försäkrings AB	516401-8284	ストックホルム	100,000	100	6,189	6,189
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	ヘルシンキ		100		
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	ストックホルム		100		
AB Handel och Industri	556013-5336	ストックホルム	100,000	100	104	104
Heartwood Wealth Management Limited	4132340	ロンドン	1,319,206	100	492	548
Optimix Vermogensbeheer N.V	33194359	アムステルダム	10,209	100	613	
その他の子会社						
EFN Ekonomikanalen AB	556930-1608	ストックホルム	100	100	0	0
Ejendomsselskabet af 1. maj 2009 A/S	59173812	ヒレレズ	2,700,000	100	200	200
Forva AS	945812141	オスロ	4,000,000	100	1	1
Handelsbanken Markets Securities, Inc. ¹	11-3257438	ニューヨーク	1,000	100	37	57

Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	ストックホルム	1,500	100	31	31
Lokalbolig A/S	78488018	ヒレレズ	540,000	62.79	1	1
Rådstuplass 4 AS	910508423	ベルゲン	40,000	100	0	0
SIL (Nominees)Limited	1932320	ロンドン	100	100	-	-
Svenska Handelsbanken Representações (Brasil) Ltda	15.367.073/001-93	サンパウロ				2
Svenska Property Nominees Limited	2308524	ロンドン	100	100	-	-
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	ルクセンブルグ	20,000	100	35	35
Lila stugan i Stockholm AB	556993-9084	ストックホルム	50	100	0	0
Blå stugan i Stockholm AB	556993-9357	ストックホルム	50	100	0	0
Ecster AB	556993-2311	ストックホルム	50	100	0	0
合計					46,246	45,711

グループ会社のリストには、直接所有子会社及びこれらの会社の大規模な子会社が含まれている。

1) 金融機関

注記P17 デリバティブ商品

	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
百万スウェーデン・クローネ	1年以内	5年以内	5年超	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年
トレーディング 目的で保有するデリバティブ									
金利関連契約									
オプション	22,293	43,403	5,299	70,995	130,609	522	1,378	589	1,435
FRA/先物	386,466	237,927	-	624,393	708,902	141	476	123	510
スワップ	465,867	1,449,534	374,307	2,289,708	2,191,630	42,281	46,427	42,904	47,249
通貨関連契約									
オプション	53,191	1,702	31	54,924	75,879	620	471	764	700
先物	95,304	5,316	352	100,972	126,202	1,730	1,669	1,390	1,703
スワップ	478,857	232,375	47,287	758,519	859,588	23,692	19,982	25,262	20,973
株式関連契約									
オプション	10,193	17,826	156	28,175	30,611	1,486	2,032	2,006	2,656
先物	1,129	-	-	1,129	2,779	13	1	15	32
スワップ	18,311	1,790	29	20,130	56,888	420	1,245	961	1,641
コモディティ関連契約									
オプション	105	329	85	519	2,354	10	250	276	537
先物	15,590	3,692	-	19,282	16,696	576	940	601	899
信用関連契約									

スワップ	2,360	6,725	546	9,631	9,909	386	458	113	247
合計	1,549,666	2,000,619	428,092	3,978,377	4,212,047	71,877	75,329	75,004	78,582
公正価値ヘッジのデリバティブ									
金利関連契約									
スワップ	-	35,309	1,274	36,583	1,512	50	-	82	1
合計	-	35,309	1,274	36,583	1,512	50	-	82	1
キャッシュフロー・ヘッジのデリバティブ									
金利関連契約									
スワップ	49,678	213,770	40,942	304,390	274,755	8,919	10,114	2,313	1,990
通貨関連契約									
スワップ	173,028	165,727	19,612	358,367	205,834	33,269	27,988	2,949	4,177
合計	222,706	379,497	60,554	662,757	480,589	42,188	38,102	5,262	6,167
デリバティブ商品合計	1,772,372	2,415,425	489,920	4,677,717	4,694,148	114,115	113,431	80,348	84,750
うち、取引所上場デリバティブ				347,442	233,328	488	490	1,426	1,613
うち、CCPで決済されたOTCデリバティブ				1,374,610	1,030,386	12,669	2,106	13,997	1,463
うち、CCPで決済されていないOTCデリバティブ				2,955,665	3,430,434	100,958	110,835	64,925	81,674
相殺された金額				-1,747,179	-1,414,478	-27,054	-23,940	-25,857	-23,641
純額				2,930,538	3,279,670	87,061	89,491	54,491	61,109
市場価値の通貨別内訳									
スウェーデン・クローネ						-104,444	1,216	26,934	143,198
米ドル						326,911	223,628	7,608	-43,334
ユーロ						97,387	76,434	60,462	8,840
その他						-205,739	-187,847	-14,656	-23,954
合計						114,115	113,431	80,348	84,750

この注記において、デリバティブ契約は総額で表示されている。相殺額は、当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約（清算された契約を含む）の市場価値及び関連する想定元本の相殺で構成されている。これらの契約は、貸借対照表において、取引相手及び通貨別に純額で表示されている。

当行は、当初認識時に評価モデルを用いて測定された価値と、取引価格との正の差額（取引日利益）をデリバティブの期間にわたり償却している。年度末において、これらの未認識の取引日利益は、585(539)百万スウェーデン・クローネであった。

注記P18 金融商品の相殺

2016年

百万スウェーデン・クローネ

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻し契約、 証券貸付	合計
総額	114,115	13,427	127,542
相殺される金額	-27,054	-1,030	-28,084
貸借対照表計上額	87,061	12,397	99,458
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-20,643	-	-20,643
担保として受領した金融資産	-42,238	-12,397	-54,635
貸借対照表上で相殺されない合計金額	-62,881	-12,397	-75,278
純額	24,180	-	24,180

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融負債

総額	80,348	1,032	81,380
相殺される金額	-25,857	-1,030	-26,887
貸借対照表計上額	54,491	2	54,493
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-20,643	-	-20,643
担保として差し入れた金融資産	-3,807	-2	-3,809
貸借対照表上で相殺されない合計金額	-24,450	-2	-24,452
純額	30,041	-	30,041

2015年

百万スウェーデン・クローネ

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻し契約、 証券貸付	合計
総額	113,431	32,053	145,484
相殺される金額	-23,940	-	-23,940
貸借対照表計上額	89,491	32,053	121,544
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-25,660	-	-25,660
担保として受領した金融資産	-35,678	-31,815	-67,493
貸借対照表上で相殺されない合計金額	-61,338	-31,815	-93,153
純額	28,153	238	28,391

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び
類似した契約の対象となる金融負債

総額	84,750	290	85,040
相殺される金額	-23,641	-	-23,641
貸借対照表計上額	61,109	290	61,399
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-25,660	-	-25,660
担保として差し入れた金融資産	-6,614	-290	-6,904
貸借対照表上で相殺されない合計金額	-32,274	-290	-32,564
純額	28,835	-	28,835

注記P19 無形資産

2016年 百万スウェーデン・クローネ	取得資産	内部開発 ソフトウェア	合計 2016年
期首現在取得原価	2,068	1,816	3,884
無形資産取得原価追加分	85	513	598
処分及び除却	-	-88	-88
外貨換算影響額	128	-10	118
期末現在取得原価	2,281	2,231	4,512
期首現在償却及び減損累計額	-1,510	-412	-1,922
処分及び除却	-	88	88
当年度の予定償却	-172	-140	-312
当年度の減損	-	-1	-1
外貨換算影響額	-97	0	-97
期末現在償却及び減損累計額	-1,779	-465	-2,244
帳簿価額	502	1,766	2,268

2015年 百万スウェーデン・クローネ	取得資産	内部開発 ソフトウェア	合計 2015年
期首現在取得原価	2,170	1,460	3,630
無形資産取得原価追加分	-	447	447
処分及び除却	-	-88	-88
外貨換算影響額	-102	-3	-105
期末現在取得原価	2,068	1,816	3,884
期首現在償却及び減損累計額	-1,471	-354	-1,825
処分及び除却	-	88	88
当年度の予定償却	-113	-130	-243
当年度の減損	-	-17	-17
外貨換算影響額	74	1	75
期末償却及び減損累計額	-1,510	-412	-1,922
帳簿価額	558	1,404	1,962

注記P20 不動産、器具備品及びリース資産

不動産、器具備品及びリース資産 百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
器具備品	681	598
不動産	125	123
リース資産	1,821	-

担保権が実行された資産	343	429
合計	2,970	1,150

債権の保全のために担保権が実行された資産には、当行グループの債権の保全のために担保権が実行された資産に関する会計方針に従って定期的に公正価値で測定される不動産が含まれている。注記G1を参照のこと。定期的に公正価値で測定される不動産の公正価値は、343(429)百万スウェーデン・クローネである。これらの不動産の未実現価値の変動により、当期利益に-7(5)百万スウェーデン・クローネの影響が及んだ。民間住宅の評価は、基本的に該当する地域における比較可能な不動産の購入取引に関する市場の観測値に基づいて行われている。商業用不動産の評価は、賃貸料、空室率、運営及び維持費、利回り要件及び金利計算等の仮定を用いた割引将来キャッシュ・フローに基づいて行われている。評価はまた、その不動産の状態、立地及び代替的な利用可能性に基づいて行われている。当行は原則として、商業用不動産及び事務所用ビル並びに工業用不動産を評価する際には、独立公認鑑定人を常に使用している。市場の観測値のみに基づく評価（330百万スウェーデン・クローネ）は、注記G40に記載されている評価ヒエラルキーのレベル2に分類されている。独自の仮定を重要といえる程度に使用している評価（3百万スウェーデン・クローネ）は、評価ヒエラルキーのレベル3に分類されている。定期的に公正価値で測定される不動産に関連するレベル3の未実現価値の変動によって、当期利益に-2(4)百万スウェーデン・クローネの影響が及んだ。当年度に売却した定期的に公正価値で測定される不動産の金額は82(167)百万スウェーデン・クローネであり、このうち2(8)百万スウェーデン・クローネは、売却前はレベル3に分類されていた。当年度の新規不動産の増加額は40(149)百万スウェーデン・クローネであり、このうち0(9)百万スウェーデン・クローネはレベル3に分類された。

器具備品

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
期首現在取得原価	1,562	1,332
当年度の取得原価の増加	352	290
貸借対照表のその他項目からの再分類	-	195
処分及び除却	-22	-218
外貨換算影響額	4	-37
期末現在取得価額	1,896	1,562
期首現在減価償却及び減損累計額	-964	-880
当年度の予定減価償却	-260	-246
貸借対照表のその他項目からの再分類	-	-83
処分及び除却	20	217
外貨換算影響額	-11	28
期末現在減価償却及び減損累計額	-1,215	-964
帳簿価額	681	598

不動産

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
期首現在取得原価	203	190
当年度の取得原価の増加	-	-
新規建設及び改築	8	14
処分及び除却	-1	-1

期末現在取得価額	210	203
期首現在減価償却及び減損累計額	-80	-75
当年度の予定減価償却	-6	-5
当年度中の減損	0	-
処分及び除却	1	0
期末現在減価償却及び減損累計額	-85	-80
帳簿価額	125	123

リース資産

百万スウェーデン・クローネ

当年度の企業結合による変更累計額

当年度の取得原価の増加

処分及び除却

外貨換算影響額

期末現在取得価額**2016年****2015年**

3,352

-

100

-

-64

-

-99

-

3,289**-**

当年度の企業結合による減価償却累計額

-1,482

-

当年度の予定減価償却

-72

-

当年度中の減損

-

-

処分及び除却

42

-

外貨換算影響額

44

-

期末現在減価償却及び減損累計額**-1,468****-****帳簿価額****1,821****-**

期日別の将来最低リース料の配分

1年以内**1年から5年****5年超****合計**

百万スウェーデン・クローネ

2016年

将来の最低リース支払額の配分

146

1,503

472

2,121**注記P21 その他資産**

百万スウェーデン・クローネ

投資銀行業務の決済業務に係る債権

その他

合計**2016年****2015年**

2,305

4,565

14,408

13,734

16,713**18,299****注記P22 前払費用及び未収金**

百万スウェーデン・クローネ

未収利息

その他未収金

前払費用

合計

うち、劣後

2016年**2015年**

2,789

2,784

1,421

1,882

582

147

4,792**4,813**

27

31

注記P23 金融機関からの預り金

百万スウェーデン・クローネ

預り金(スウェーデン・クローネ建て)

銀行

2016年**2015年**

29,082

16,705

その他金融機関	13,623	14,498
合計	42,705	31,203

預り金(外貨建て)

銀行	141,478	138,209
その他金融機関	4,993	4,121
合計	146,471	142,330
金融機関からの預り金合計	189,176	173,533
うち、レボ	-	290

平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
金融機関からの預り金(スウェーデン・クローネ建て)	123,664	119,605
金融機関からの預り金(外貨建て)	145,425	156,387
合計	269,089	275,992
うち、レボ	562	2,915

[次へ](#)

注記P24 一般顧客からの預金及び借入金**一般顧客からの預金**

百万スウェーデン・クローネ

預金(スウェーデン・クローネ建て)

個人

294,104

260,839

法人

189,434

184,483

国債局

-

-

合計**483,538****445,322****預金(外貨建て)**

個人

92,717

74,640

法人

206,325

179,500

国債局

-

-

合計**299,042****254,140****一般顧客からの預金合計****782,580****699,462****一般顧客からの借入金**

百万スウェーデン・クローネ

スウェーデン・クローネ建て

外貨建て

合計

うち、レボ

一般顧客からの預金及び借入金合計**2016年****2015年**

17,959

20,967

27,213

34,637

45,172**55,604**

-

-

827,752**755,066****平均取引高**

百万スウェーデン・クローネ

一般顧客からの預金

一般顧客からの預金(スウェーデン・クローネ建て)

467,410

426,374

一般顧客からの預金(外貨建て)

294,284

294,120

合計**761,694****720,494****一般顧客からの借入金**

一般顧客からの借入金(スウェーデン・クローネ建て)

32,535

36,511

一般顧客からの借入金(外貨建て)

189,857

250,208

合計**222,392****286,719**

うち、レボ

7,706

8,552

注記P25 発行済証券

	2016年		2015年	
	額面金額	帳簿価額	額面金額	帳簿価額
百万スウェーデン・クローネ				
コマーシャル・ペーパー				
コマーシャル・ペーパー(スウェーデン・クローネ建て)	3,409	3,701	6,371	6,594
うち、				
償却原価で計上	-	-	400	400
トレーディング目的	3,409	3,701	5,971	6,194
コマーシャル・ペーパー(外貨建て)	356,665	361,868	355,748	364,069
うち、				
償却原価で計上	354,994	359,807	354,306	362,373
トレーディング目的	1,671	2,061	1,442	1,696
合計	360,074	365,569	362,119	370,663
社債				
社債(スウェーデン・クローネ建て)	17,113	17,021	18,472	18,234
うち、				
償却原価で計上	17,113	17,021	18,472	18,234
公正価値ヘッジ目的	-	-	-	-
社債(外貨建て)	266,537	266,387	288,201	288,053
うち、				
償却原価で計上	266,537	266,387	288,201	288,053
公正価値ヘッジ目的	-	-	-	-
合計	283,650	283,408	306,673	306,287
発行済証券合計	643,724	648,977	668,792	676,950

	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ		
期首現在発行済証券	676,950	633,128
発行済	1,094,335	971,633
買戻	-10,440	-15,839
満期が到来したもの	-1,137,150	-931,645
外貨換算影響額等	25,282	19,673
期末現在発行済証券	648,977	676,950

平均残高		
百万スウェーデン・クローネ		
スウェーデン・クローネ	22,981	26,993
外貨	670,628	628,679
合計	693,609	655,672

注記P26 ショートポジション

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
公正価値で計上されるショートポジション		
株式	1,346	1,499
利付証券	226	917
合計	1,572	2,416

平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
スウェーデン・クローネ	13,701	17,879
外貨	312	263
合計	14,013	18,142

注記P27 税金**繰延税金資産**

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
不動産及び器具備品	11	18
ヘッジ手段	221	202
その他	193	108
合計	425	328

繰延税金負債

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
不動産及び器具備品	16	16
ヘッジ手段	983	1,392
その他	67	113
合計	1,066	1,521
繰延税金負債純額	641	1,193

繰延税金の変動、2016年

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書に計上	その他包括利益に計上	期末残高
不動産及び器具備品	-2	7	0	5
ヘッジ手段	1,190	0	-428	762
その他	5	-122	-9	-126
合計	1,193	-115	-437	641

繰延税金の変動、2015年

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書に計上	その他包括利益に計上	期末残高
不動産及び器具備品	-15	11	2	-2
ヘッジ手段	1,238	7	-55	1,190

その他	85	-80	-	5
合計	1,308	-62	-53	1,193

損益計算書に計上された税金費用

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
当期税金		
当期税金費用	-4,424	-4,219
過年度に関する税金の調整	-194	-19
繰延税金		
一時差異の変動	115	62
合計	-4,503	-4,176
スウェーデンにおける名目税率、%	22.0	22.0
乖離		
非課税所得/損金不算入費用	-4.7	-1.2
過年度に関する税金	0.6	0.1
実効税率、%	17.9	20.9

注記P28 引当金

	リストラクチャ リングに関する 引当金	保証契約に関 する引当金	その他 引当金	合計 2016年	合計 2015年
百万スウェーデン・クローネ					
期首現在引当金	-	40	56	96	87
当期の引当金繰入	420	37	81	538	36
取崩	-184	-	-17	-201	-
戻入	-	-	-4	-4	-27
期末現在引当金	236	77	116	429	96

リストラクチャリングに関する引当金は、主に従業員の早期退職に関する追加費用に関係している。この引当金の大半は、2017年度中に決済が見込まれている。

保証契約に関する引当金は、いくつかのオフ・バランスシート項目に関する引当金より構成されている。

当行に対する賠償請求の解決のために将来必要になると予想される金額は、その他引当金として表示されている。

注記P29 その他負債

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
投資銀行業務の決済業務に係る負債	2,484	6,524
その他	6,302	7,227
合計	8,786	13,751

注記P30 未払費用及び繰延収益

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
未払利息費用	4,795	4,884
その他未払費用	1,447	3,675
繰延収益	922	811
合計	7,164	9,370

注記P31 劣後負債

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	8,230	10,519
劣後ローン(外貨建て)	25,170	23,697
合計	33,400	34,216

平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
劣後ローン(スウェーデン・クローネ建て)	9,362	10,510
劣後ローン(外貨建て)	24,324	28,144
合計	33,686	38,654

劣後ローン、内訳

発行/満期	通貨	各通貨別の 当初名目金額	金利、%	残高
スウェーデン・クローネ建て				
スウェーデン・クローネ建て劣後負債 ¹		10,825		8,230
合計				8,230

外貨建て

2014/期限付 ²	ユーロ	1,500	2.656	14,355
2015/永久 ³	米ドル	1,200	5.250	10,815
合計				25,170

劣後負債合計**33,400**

- 1) スウェーデン・クローネ建て劣後ローンは、個別に見ると劣後負債合計額の10%未満となっている。合計には、変動金利の永久劣後ローン1件が含まれている。当該ローンは、額面金額にして3.2十億スウェーデン・クローネの劣後転換ローンで、市場条件に基づき、当行グループの従業員に対して発行される。当該ローンは、規制自己資本に含まれてはいないが、ハンデルスバンケンの株式に転換可能である。当行は随時転換を要求できる権利を有し、当該ローンの保有者は2019年5月1日から11月30日までの期間に調整転換価格である114.40スウェーデン・クローネで転換を要求できる権利を有している。当該転換価格は、ローン期間中の配当金及び株式分割に関し調整されている。当行の、または連結ベースで計算された普通株式等Tier 1資本比率が7%を下回った場合、自動的に転換される。その他のスウェーデン・クローネ建て劣後ローンについては、注記G51を参照のこと。
- 2) ユーロ建て劣後ローンの詳細情報については、注記G51を参照のこと。
- 3) 米ドル建て劣後ローンの詳細情報については、注記G51を参照のこと。

注記P32 非課税剰余金

百万スウェーデン・クローネ

予定償却を超過した器具備品及びリース資産の減価償却累計額

予定償却を超過した純資産の取得に係るのれんの償却累計額

合計**2016年****2015年**

318

12

475

558

793**570**

注記P33 金融資産及び負債の分類

2016年	損益計算書に公正価値で 計上されるもの		ヘッジ手段と して特定され たデリバティ ブ	満期保有 投資	貸出金及び 債権	売却可能 金融資産	その他金融 負債	帳簿価額 合計	公正価値
	トレー ディング 目的	その他 ¹							
百万 スウェーデン・ クローネ									
資産									
現金及び中央銀 行預け金					199,362			199,362	199,362
中央銀行への担 保として適格 な利付証券	13,000	80,500				736		94,236	94,236
金融機関への貸 出金					593,125			593,125	602,852
一般顧客への貸 出金		926			762,641			763,567	765,473
社債及びその他 の利付証券	22,328	32,519				5,464		60,311	60,311
株式	17,721					1,618		19,339	19,339
顧客が価値変動 リスクを負う 資産		4,114			58			4,172	4,172
デリバティブ商 品	46,916		40,145					87,061	87,061
その他資産	32				16,681			16,713	16,713
前払費用及び未 収金	170	474			4,144	4		4,792	4,792
金融資産合計	100,167	118,533	40,145		1,576,011	7,822		1,842,678	1,854,311
子会社株式及び 関連会社投資								46,363	
その他非金融資 産								5,663	
資産合計								1,894,704	
負債									
金融機関からの 預り金							189,176	189,176	191,052
一般顧客からの 預金及び借入 金							827,753	827,753	827,720
顧客が価値変動 リスクを負う 負債		4,213					58	4,271	4,271
発行済証券	5,763						643,214	648,977	657,001
デリバティブ商 品	50,452		4,039					54,491	54,491
ショートポジ ション	1,572							1,572	1,572
その他負債	21						8,765	8,786	8,786
未払費用及び繰 延収益	2						7,162	7,164	7,164
劣後負債							33,400	33,400	35,330
金融負債合計	57,810	4,213	4,039				1,709,528	1,775,590	1,787,387

その他非金融負
債

1,679

負債合計

1,777,269

2015年	損益計算書に公正価値で 計上されるもの		ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ	満期保有 投資	貸出金及び 債権	売却可能 金融資産	その他金融 負債	帳簿価額 合計	公正価値
	トレー ディング 目的	その他 ¹							
百万 スウェーデン・ クローネ									
資産									
現金及び中央銀 行預け金					202,630			202,630	202,630
中央銀行への担 保として適格 な利付証券	33,287	36,382		750		1,017		71,436	71,436
金融機関への貸 出金					596,441			596,441	602,507
一般顧客への貸 出金		1,619			732,369			733,988	733,443
社債及びその他 の利付証券	7,786	29,459		250		3,479		40,974	40,974
株式	22,756					6,553		29,309	29,309
顧客が価値変動 リスクを負う 資産		3,353			69			3,422	3,422
デリバティブ商 品	55,653		33,838					89,491	89,491
その他資産	10				18,289			18,299	18,299
前払費用及び未 収金	211	581			4,019	2		4,813	4,813
金融資産合計	119,703	71,394	33,838	1,000	1,553,817	11,051		1,790,803	1,796,324
子会社株式及び 関連会社に対 する投資								45,815	
その他非金融資 産								3,440	
資産合計								1,840,058	
負債									
金融機関からの 預り金							173,533	173,533	175,349
一般顧客からの 預金及び借入 金							755,066	755,066	755,046
顧客が価値変動 リスクを負う 負債		3,432					69	3,501	3,501
発行済証券	7,890						669,060	676,950	689,165
デリバティブ商 品	56,284		4,825					61,109	61,109
ショートポジ ション	2,416							2,416	2,416
その他負債	16						13,735	13,751	13,751
未払費用及び繰 延収益	6						9,364	9,370	9,370
劣後負債							34,216	34,216	37,189
金融負債合計	66,612	3,432	4,825				1,655,043	1,729,912	1,746,896

その他非金融負債	2,464
負債合計	1,732,376

1) 公正価値で測定されるものに分類されている。

公正価値測定の実態は、注記640に記載されている。

分類変更された金融資産	2016年		2015年	
	トレーディング 目的保有 から分類変更	売却可能から 分類変更	トレーディング 目的保有 から分類変更	売却可能から 分類変更
百万スウェーデン・クローネ				
帳簿価額	10	1,290	11	4,092
公正価値	10	1,209	11	4,078
損益計算書に計上された価値変動	-	0	-	11
その他包括利益に計上された価値変動	1	94	1	109
損益計算書に計上されていたであろう価値変動(資産の 分類変更が行われなかった場合)	0	0	-1	11
その他包括利益に計上されていたであろう価値変動(資 産の分類変更が行われなかった場合)	-	5	-	12
収益として計上された利息	0	41	0	49

2008年7月1日に、上記の保有資産はすべて貸出金及び債権に分類変更された。

注記P34 金融商品の公正価値測定**公正価値で計上される金融商品、2016年**

百万スウェーデン・クローネ

資産**中央銀行への担保として適格な利付証券**

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
トレーディング目的保有	12,927	73	-	13,000
公正価値で計上されるもの	80,500	-	-	80,500
売却可能	736	-	-	736
一般顧客への貸出金	-	909	17	926

社債及びその他の利付証券

トレーディング目的保有	21,610	718	-	22,328
公正価値で計上されるもの	32,519	-	-	32,519
売却可能	4,908	556	-	5,464

株式

トレーディング目的保有	10,717	7,004	-	17,721
公正価値で計上されるもの	-	-	-	-
売却可能	-	43	1,575	1,618
顧客が価値変動リスクを負う資産	3,352	-	762	4,114
デリバティブ商品	407	86,654	-	87,061

合計	167,676	95,957	2,354	265,987

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	3,451	-	762	4,213
発行済証券	-	5,763	-	5,763
デリバティブ商品	443	54,048	-	54,491
ショートポジション	1,097	475	-	1,572
合計	4,991	60,286	762	66,039

公正価値で計上される金融商品、2015年

百万スウェーデン・クローネ

資産**中央銀行への担保として適格な利付証券**

トレーディング目的保有	33,285	2	-	33,287
公正価値で計上されるもの	36,382	-	-	36,382
売却可能	1,017	-	-	1,017
一般顧客への貸出金	-	1,609	10	1,619

社債及びその他の利付証券

トレーディング目的保有	6,025	1,761	-	7,786
公正価値で計上されるもの	29,459	-	-	29,459
売却可能	3,479	-	-	3,479

株式

トレーディング目的保有	18,963	3,793	-	22,756
公正価値で計上されるもの	-	-	-	-
売却可能	4,666	1,006	881	6,553
顧客が価値変動リスクを負う資産	2,621	-	732	3,353
デリバティブ商品	275	89,216	-	89,491
合計	136,172	97,387	1,623	235,182

負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	2,700	-	732	3,432
発行済証券	-	7,890	-	7,890
デリバティブ商品	785	60,324	-	61,109
ショートポジション	2,098	318	-	2,416
合計	5,583	68,532	732	74,847

適用されている原則は、注記640に記載されている。

レベル3の金融商品の調整、2016年 百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブの正味ポジション	一般顧客への貸出金	顧客が価値変動リスクを負う資産	顧客が価値変動リスクを負う負債	発行済証券
期首現在帳簿価額	881	-	10	732	-732	-
取得	9	-	-	-	-	-
買戻／売却	-	-	-	-	-	-
満期が到来したもの	-	-	-1	-	-	-
未実現価値変動（損益計算書に計上）	-	-	-	30	-30	-
未実現価値変動（その他包括利益に計上）	685	-	-	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	-	8	-	-	-
レベル1又は2への振替	-	-	-	-	-	-
期末現在帳簿価額	1,575	-	17	762	-762	-

レベル3の金融商品の変動、2015年 百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブの正味ポジション	一般顧客への貸出金	顧客が価値変動リスクを負う資産	顧客が価値変動リスクを負う負債	発行済証券
期首現在帳簿価額	851	-	13	698	-698	-94
取得	45	-	-	-	-	94
買戻／売却	-94	-	-	-	-	-
満期が到来したもの	-	-	-5	-	-	-
未実現価値変動（損益計算書に計上）	-	-	-	34	-34	-

未実現価値変動（その他包括利益に計上）	82	-	-	-	-	-
レベル1又は2からの振替	-	-	2	-	-	-
レベル1又は2への振替	-3	-	-	-	-	-
期末現在帳簿価額	881	-	10	732	-732	-

**取得原価又は償却原価で計上される金融商品の公正価値、
2016年**

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	199,362	-	-	199,362
中央銀行への担保として適格な利付証券	-	-	-	-
金融機関への貸出金	32,111	569,748	993	602,852
一般顧客への貸出金	1,310	13,620	749,616	764,546
社債及びその他の利付証券	-	-	-	-
顧客が価値変動リスクを負う資産	-	58	-	58
合計	232,783	583,426	750,609	1,566,818

負債

金融機関からの預り金	126,410	64,642	-	191,052
一般顧客からの預金及び借入金	773,856	53,864	-	827,720
顧客が価値変動リスクを負う負債	-	58	-	58
発行済証券	212,474	438,764	-	651,238
劣後負債	-	35,330	-	35,330
合計	1,112,740	592,658	-	1,705,398

**取得原価又は償却原価で計上される金融商品の公正価値、
2015年**

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	202,630	-	-	202,630
中央銀行への担保として適格な利付証券	750	-	-	750
金融機関への貸出金	30,414	570,952	1,141	602,507
一般顧客への貸出金	6,981	3,256	721,587	731,824
社債及びその他の利付証券	250	-	-	250
顧客が価値変動リスクを負う資産	-	69	-	69
合計	241,025	574,277	722,728	1,538,030

負債

金融機関からの預り金	68,795	106,554	-	175,349
一般顧客からの預金及び借入金	689,618	65,428	-	755,046

顧客が価値変動リスクを負う負債	-	69	-	69
発行済証券	192,257	489,018	-	681,275
劣後負債	-	37,189	-	37,189
合計	950,670	698,258	-	1,648,928

注記P35 担保として差し入れた資産、受取った担保及び譲渡された金融資産

自己の負債の担保として差し入れた資産

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
現金	9,146	10,451
国債及び社債	27,004	19,051
一般顧客への貸出金	-	-
株式	358	220
その他	380	463
合計	36,888	30,185
うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保として差し入れた資産	20,145	17,672

その他担保資産

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
現金	456	863
国債及び社債	23,486	18,610
一般顧客への貸出金	3,788	3,820
株式	5,644	10,196
その他	83	31
合計	33,457	33,520
うち、当行が任意で取り下げることができる担保として差し入れた資産	27,136	22,345

その他担保資産は、貸借対照表上に報告されていない債務に対して差し入れた担保のことである。

受取った資産

売戻契約及び証券貸付の構成要素として、当行グループは、第三者に売却又は再担保として差し入れ可能な資産を受領している。この種の受取った資産の公正価値は、当年度末現在において、19,976(24,565)百万スウェーデン・クローネで、第三者に売却又は再担保として差し入れられた資産の価値は、5,519(8,933)百万スウェーデン・クローネであった。

貸借対照表上に計上されている譲渡金

融資産

	2016年		2015年	
	帳簿価額	関連する負債の帳簿価額	帳簿価額	関連する負債の帳簿価額
百万スウェーデン・クローネ				
株式、証券貸付	6,002	340 ¹	220	83 ¹
株式、その他	-	-	10,196	-
国債及び社債、買戻契約	928	2	290	290
国債及び社債、その他	710	-	-	-
顧客が価値変動リスクを負う資産	824	824	1,162	1,162

合計	8,464	1,166	11,868	1,535

1) 現金で受領した担保

注記P36 偶発債務

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
保証、貸出金	46,633	48,486
保証、その他	69,207	66,860
取消不能な信用状	4,237	4,287
その他	161	369
合計	120,238	120,002

偶発債務

偶発債務は、主に様々な種類の保証より構成されている。信用保証は、その他の信用及び年金機関におけるコミットメントを保証するために顧客に提供される。その他の保証は、主に入札保証金、前払金に関する保証、保証期間中の保証及び輸出関連の保証等の商業保証である。偶発債務は、未使用の取消不能な輸入信用状及び確認輸出信用状も含まれる。これらの取引は当行のサービスに含まれるもので、当行の顧客を支援するために提供されている。この表には保証額が示されている。

請求

ハンデルスバンケンは、いくつかの民事訴訟における請求を受けており、これらは一般裁判所において審理中である。当行の評価では、これらの訴訟は基本的に当行に有利な形で解決するものと評価されている。係争金額は、当行の財政状態又は損益に重大な影響を及ぼさないと評価されている。

注記P37 その他コミットメント

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
ローン・コミットメント	269,583	263,956
当座貸越枠の未使用分	131,289	128,969
その他	65,172	96,721
合計	466,044	489,646

「その他」には、子会社に対する流動性の内部保証40,418(71,393)百万スウェーデン・クローネが含まれている。

取消不能オペレーティングリース契約における将来リース料、 支払期日別

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
1年内	755	751
1年から5年	1,933	2,090
5年超	945	1,181
合計	3,633	4,022

オペレーティングリースは、主に事務所及び事務所設備の賃借に関する標準的な契約によるものである。

注記P38 年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
制度資産の公正価値	27,051	25,680
年金債務	30,689	28,159
正味年金¹	-3,638	-2,479

年金債務は、スウェーデン金融監督庁の規定に従って算定されている。スウェーデンにおける年金債務は年金債務保護法に従って算定され、国外における年金債務は現地の規則に従って算定される。制度資産は、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelse及びPensionskassan SHB, Försäkringsföreningが保有しており、英国、ノルウェー及びドイツにおける支店のコミットメントに関する制度資産は類似する法人が保有している。Pensionskassanの資産も保険数理上の準備金もPensionskassanとの保険契約を有する会社に割り当てることはできないため、これらの資産及び準備金は上表にも含まれていない。当行の年金基金(Pensionskassan SHB, Försäkringsförening)における年金債務は、6,099(5,586)百万スウェーデン・クローネであり、年金資産の市場価値は、11,581(10,241)百万スウェーデン・クローネである。したがって、Pensionskassan SHB, Försäkringsföreningにおける余剰金は、5,482(4,655)百万スウェーデン・クローネである。

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelseの制度資産の公正価値の11,342(12,310)百万スウェーデン・クローネは、1989年から2004年にかけて特例付加年金（以下「SKP」という。）に対して計上された引当金である。当該債務には、制度資産の公正価値と同額のSKPに関するコミットメントが含まれている。

このコミットメントのうち、8,652(9,768)百万スウェーデン・クローネは条件付債務である。

1) Pensionskassan SHB, Försäkringsföreningにおける余剰金は親会社の年金債務を補うために使用可能であり、コミットメントの一部は条件付債務であるため、親会社の不足分は2016年の貸借対照表上に負債として計上されていない。

年金費用

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
年金支払額	-441	-439
年金保険料	-572	-593
社会保障費	-15	-13
当行の年金信託からの報酬	510	505
当行の年金信託への支払額	-28	-33
損益計算書に計上された年金費用	-546	-573

確定給付年金制度の翌年度の支払予定額は、529百万スウェーデン・クローネである。

年金保険料費用には、BTPK制度(確定拠出年金制度)への保険料85(85)百万スウェーデン・クローネが含まれている。

制度資産

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
期首残高	25,680	25,108
運用収益	1,853	1,044
年金基金への拠出	28	33
年金基金からの報酬	-510	-505

期末残高	27,051	25,680
制度資産の収益率	7%	4%

年金債務

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
期首残高	28,159	25,615
管理手数料	624	646
利息	308	267
指数化	0	-
早期退職	153	154
年金支払額	-441	-439
仮定の変更 ²	3,062	1,614
条件付債務の価値変動	-1,115	249
元本価値のその他の変動	-61	53
期末残高	30,689	28,159

2) スウェーデン金融監督庁の通達に従った割引率の変更による影響が反映されている。

制度資産の配分

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
株式	25,325	20,991
利付証券	1,600	4,713
その他制度資産 ³	126	-24
合計	27,051	25,680

スウェーデンでは、スウェーデン銀行雇用主協会(以下「BAO」という。)とスウェーデン金融部門組合／スウェーデン専門職連盟との間の年金契約に従って、65歳から退職年金が支給される。退職年金額は、所得基準額の7.5倍までは年収の10%としている。所得基準額の7.5倍から20倍までの給与部分については、退職年金は年収の65%で、所得基準額の20倍から30倍までの給与部分については、退職年金は年収の32.5%である。所得基準額の30倍を上回る給与部分については、退職年金は支給されない。当該年金債務の価値は、年金数理上の仮定に基づいて、毎年、貸借対照表日に計算される。

ノルウェーでは、67歳から退職年金が支給される。退職年金額の一部は、勤続年数及び基準額の12倍を上限とする最終給与に応じて変動する。退職年金(法定年金を含む)は、基準額の12倍を上限とする最終給与の約70%になると予想される。

英国では、確定給付年金は2006年1月1日より前に雇用された従業員に対して支払われる。同日より後に雇用された従業員に対しては、確定拠出年金が支払われる。通常の退職年齢は65歳である。最大退職年金額は、勤続年数40年で達成される年金対象給与の67%程度である。年金対象給与は、現在、150,600ポンド(2016年/2017年)が上限とされている。

スウェーデンにおいて最も重要な算定上の仮定は死亡率及び割引率である。死亡率及び割引率の仮定は、年金債務保護法の仮定に従っている。割引率は、税金及び費用に関する仮定考慮後で0.5(1.4)%である。在外支店における年金債務は現地の会計処理上の規定に従って算定されている。

3) その他制度資産には、未払いになっている報酬に関する負債が含まれている。

注記P39 外貨建資産及び負債

2016年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・クローネ	ユーロ	ノルウェー・クローネ	デンマーク・クローネ	英ポンド	米ドル	その他の通貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	140	99,547	6,199	102	61,774	30,463	1,137	199,362
金融機関への貸出金	407,217	59,713	49,430	58,739	2,459	14,066	1,501	593,125
一般顧客への貸出金	200,577	126,909	151,774	54,795	191,846	28,629	9,037	763,567
うち、法人	159,147	91,519	120,447	36,266	127,264	28,406	8,118	571,167
うち、個人	41,430	35,390	31,327	18,529	64,582	223	919	192,400
中央銀行への担保として適格な								
利付証券	69,724	6,431	-	1	-	17,344	736	94,236
社債及びその他の利付証券	39,866	2,181	1,329	-	1,701	15,234	-	60,311
その他項目(通貨別内訳なし)	184,103							184,103
資産合計	901,627	294,781	208,732	113,637	257,780	105,736	12,411	1,894,704
負債								
金融機関からの預り金	42,694	73,622	5,843	20,238	4,781	27,770	14,228	189,176
一般顧客からの預金及び借入金	501,497	79,139	60,068	34,828	122,376	23,184	6,661	827,753
うち、法人	193,564	61,945	38,969	19,146	86,078	21,006	6,170	426,878
うち、個人	307,933	17,194	21,099	15,682	36,298	2,178	491	400,875
発行済証券	20,722	141,884	2,305	324	80,485	371,157	32,100	648,977
劣後負債	8,230	14,355	-	-	-	10,815	-	33,400
その他項目(通貨別内訳なし、資本含む)	195,398							195,398
負債及び資本合計	768,541	309,000	68,216	55,390	207,642	432,926	52,989	1,894,704
通貨別その他資産及び負債、純額		14,407	-140,321	-58,133	-50,169	327,293	40,646	
正味外貨ポジション		188	195	114	-31	103	68	637

2015年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・クローネ	ユーロ	ノルウェー・クローネ	デンマーク・クローネ	英ポンド	米ドル	その他の通貨	合計
資産								
現金及び中央銀行預け金	153	45,633	6,094	99	55,540	94,654	457	202,630
金融機関への貸出金	392,448	64,993	52,441	47,135	2,547	33,275	3,602	596,441
一般顧客への貸出金	216,540	114,955	122,702	48,630	194,258	27,201	9,702	733,988
うち、法人	171,366	87,515	93,865	31,036	130,389	27,012	8,716	549,899
うち、個人	45,174	27,440	28,837	17,594	63,869	189	986	184,089

中央銀行への担保として適格な 利付証券	33,270	6,402	-	2	-	30,744	1,018	71,436
社債及びその他の利付証券	36,234	2,726	716	-	1,281	17	-	40,974
その他項目(通貨別内訳なし)	194,589							194,589
資産合計	873,234	234,709	181,953	95,866	253,626	185,891	14,779	1,840,058

負債

金融機関からの預り金	31,217	53,339	20,647	17,153	13,287	29,436	8,454	173,533
一般顧客からの預金及び借入金	466,291	64,790	47,004	29,781	109,464	30,592	7,144	755,066
うち、法人	188,268	49,865	29,076	15,942	84,067	28,214	6,710	402,142
うち、個人	278,023	14,925	17,928	13,839	25,397	2,378	434	352,924
発行済証券	24,828	148,862	2,121	367	81,793	389,107	29,872	676,950
劣後負債	10,519	13,716	-	-	-	9,981	-	34,216
その他項目(通貨別内訳なし、資 本含む)	200,293							200,293
負債及び資本合計	733,148	280,707	69,772	47,301	204,544	459,116	45,470	1,840,058

通貨別その他資産及び負債、純 額		45,941	-112,051	-48,496	-49,041	273,263	30,771	
正味外貨ポジション		-57	130	69	41	38	80	301

80ページ（訳注：原文のページ数である。）の注記G2は、為替リスクに関する当行の見解を示している。

注記P40 関連当事者に関する開示

関連当事者に対する債権及び債務	子会社		関連会社		その他関連当事者	
	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ						
金融機関への貸出金	536,510	512,863	-	-	-	-
一般顧客への貸出金	1,151	1,202	849	815	-	-
デリバティブ	4,429	4,145	-	-	-	-
その他資産	13,011	11,612	59	64	515	544
合計	555,101	529,822	908	879	515	544
金融機関からの預り金	15,066	15,849	-	-	-	-
一般顧客からの預金及び借入金	7,301	9,413	223	222	604	526
デリバティブ	22,753	20,512	-	-	-	-
劣後負債	-	-	-	-	681	687
その他負債	98	163	0	0	58	56
合計	45,218	45,937	223	222	1,343	1,269
偶発債務	46,744	49,383	-	-	6,099	5,585
デリバティブ、想定元本	398,353	405,554	-	-	-	-
関連当事者一収益及び費用	子会社		関連会社		その他関連当事者	
	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ						
利息収益	3,110	3,091	13	10	1	0
利息費用	-200	-232	0	0	-71	-93
手数料及びコミッション収益	21	22	1	4	-	-
手数料及びコミッション費用	-	-	-229	-210	-	-
公正価値で評価される金融項目からの純損益	-	-	0	0	-	1,207
その他収益	1,478	1,499	1	-	15	19
その他費用	-299	-297	-39	-31	-	-
合計	4,110	4,083	-253	-227	-55	1,133

注記P16には、子会社及び関連会社の詳細が記載されている。関連会社の事業は、金融市場関連の様々なサービスより構成される。スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelse（従業員基金）及びPensionskassan SHB, Försäkringsförening（年金ファンド）の各社は、その他の関連当事者グループに含まれている。これらの会社は通常の銀行業務及び会計業務に関して、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーを利用している。当行グループ及び関連会社に対する株主の拠出に関する情報は、注記P16に開示されている。

この年金ファンドの子会社従業員に対するコミットメントは親会社によって保証されているため、年金ファンドがコミットメントを履行できない場合には、親会社がそのコミットメントを引き受け支払義務を負う。この年金ファンドの債務は6,099（5,585）百万スウェーデン・クローネである。スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、スヴェンスカ・

ハンデルスバンケンPensionsstiftelseから年金費用に関する報酬510（505）百万スウェーデン・クローネ、特別補足年金に関する報酬465（480）百万スウェーデン・クローネを請求された。また、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelseからは従業員給付のための測定費用25（20）百万スウェーデン・クローネを請求された。

執行役員への貸出金、並びに条件及び執行役員に対するその他の報酬に関する情報については、注記68に記載されている。

注記P41 利益処分案

取締役会は、一株当たり5.00スウェーデン・クローネ（6.00スウェーデン・クローネ、このうち4.50スウェーデン・クローネは普通配当）の配当金を提案している。

取締役会の利益処分案は、159ページ（訳注：原文のページ数である。）に記載されている。

注記P42 株式情報

2016年12月31日	株式数	資本の割合 %	議決権の割合 %	株式資本	1株当たりの 価値
株式のクラス					
クラスA	1,908,900,071	98.19	99.82	2,958,795,110	1.55
クラスB	35,251,329	1.81	0.18	54,639,560	1.55
	1,944,151,400	100.00	100.00	3,013,434,670	

注記P43 重要な後発事象

貸借対照表日以降、重要な後発事象はなかった。

注記P44 自己資本比率

ハンデルスバンケングループの自己資本比率は、注記G51に記載されている。親会社の自己資本比率に関する特定の情報は、以下に表示されている。定義については、218ページ（訳注：原文のページ数である。）を参照のこと。

	2016年	規制(EU)575/2013 の取扱い前の対象 となる金額、又は 規制 (EU) 575/2013の所定の 残存額	2015年	規制(EU)575/2013 の取扱い前の対象 となる金額、又は 規制 (EU) 575/2013の所定の 残存額
移行自己資本				
百万スウェーデン・クローネ				
普通株式等Tier 1 (CET1) 資本：商品及び準備金				
資本商品及び関連する資本剰余金勘定	7,597		5,832	
うち、株式資本	7,597		5,760	
うち、転換証券			72	72
利益剰余金	82,606		78,206	
その他包括利益累計額（及び関連する会計基準に従って未実現損益を計上するためのその他準備金）	5,605		6,904	
一般的な銀行リスクに対する資金				
第484(3)条に示されている適格項目の金額、及びCET1の段階的廃止の対象となる関連資本剰余金勘定				
2018年1月1日まで適用除外される公的資金注入				
少数株主持分（連結CET1で認められた金額）	-		-	

独立してレビューされる中間利益（予測可能な費用又は配当金控除後）	10,879	4,400
規制上の調整前の普通株式等Tier 1 (CET1) 資本	106,687	95,342
普通株式等Tier 1 (CET1) 資本：規制上の調整		
追加的な価値調整（負の金額）	-354	-364
無形資産（関連する税金負債控除後）（負の金額）	-1,793	-1,404
[EU規制において該当なし]		
一時差異によって生じた繰延税金資産を除く、将来の収益性に依拠した繰延税金資産（第38(3)条の条件を満たしている関連税金負債控除後）（負の金額）	-	-
キャッシュフロー・ヘッジに係る損益に関する公正価値評価差額準備金	119	-1,349
予想損失額の計算に起因する負の金額	-1,140	-1,024
証券化資産に起因する資本の増加（負の金額）	-	-
自己の信用力の変化に起因する公正価値で計上する負債に係る損益	-	-
確定給付年金基金資産（負の金額）	-	-
金融機関による自己のCET1商品の直接及び間接保有（負の金額）	-636	-577
金融機関の自己資本を意図的に増大させることを目的として金融部門企業が金融機関と持ち合いをしている場合の当該企業のCET1商品の保有（負の金額）	-	-
金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業のCET1商品の直接及び間接保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-	-
金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のCET1商品の直接及び間接保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-	-
[EU規制において該当なし]		
金融機関が控除の代替手段を選択した場合の1.250%のリスク加重要件を満たす以下の項目のエクスポージャー金額	-	-
うち、金融部門外の適格保有（負の金額）	-	-
うち、証券化ポジション（負の金額）	-	-
うち、フリー・デリバリー（負の金額）	-	-
一時差異によって生じた繰延税金資産（基準値の10%を上回る金額、第38(3)条の条件を満たしている関連税金負債控除後）（負の金額）	-	-
基準値の15%を超過した金額（負の金額）	-	-
うち、金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のCET1商品の直接及び間接保有	-	-
[EUにおいて該当なし]		
うち、一時差異によって生じた繰延税金資産	-	-
当年度の損失（負の金額）	-	-
CET1項目に関連して予測される税金費用（負の金額）	-	-
CRR前措置の対象となる金額に関連する普通株式等Tier 1資本に適用される規制上の調整		
第46条7及び第468条による未実現損益に関連する規制上の調整		
うち、未実現損失に関するフィルタ、売却可能に分類される株式		

追加フィルタ及び控除を必要とするCRR前措置に関して普通株式等Tier 1資本

合計から控除される金額、又は普通株式等Tier 1資本に追加される金額

金融機関のAT1資本を超過する適格AT1控除（負の金額）

-

-

普通株式等Tier 1 (CET1) の資本の規制上の調整合計**-3,804****-4,718****普通株式等Tier 1 (CET1) 資本****102,883****90,624****その他Tier 1 (AT1) 資本：商品**

資本商品及び関連する資本剰余金勘定

10,815

9,981

うち、適用される会計基準に基づき資本に分類されるもの

うち、適用される会計基準に基づき負債に分類されるもの

10,815

9,981

第484(4)条に示されている適格項目の金額及びAT1の段階的廃止の対象となる

2,353

2,353

2,351

2,351

資本剰余金勘定

2018年1月1日まで適用除外される公的資金注入

子会社が発行し第三者が保有する連結AT1資本に含まれる適格Tier 1資本（第5
項に含まれない少数株主持分を含む）

-

-

うち、子会社が発行した商品のうち、段階的廃止の対象となるもの

規制上の調整前その他Tier 1 (AT1) 資本**13,168****12,332****その他Tier 1 (AT1) 資本：規制上の調整**

金融機関による自己のAT1商品の直接及び間接保有（負の金額）

-400

-400

-399

-399

金融機関の自己資本を意図的に増大させることを目的として金融部門企業が
金融機関と持ち合いしている場合の金融部門企業のAT1商品の保有（負の金
額）

-

-

金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業の
AT1商品の直接及び間接保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポ
ジション控除後）（負の金額）

-

-

金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業の
AT1商品の直接及び間接保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポ
ジション控除後）（負の金額）

-

-

規制（EU）585/2013に規定される段階的廃止の対象となるCRR前措置及び移行
措置の金額（すなわち、CRR残存額）に関してその他Tier 1資本に適用され
る規制上の調整規制（EU）575/2013の第472条に従って移行期間中において普通株式等Tier 1
資本から控除される金額に関してその他Tier 1資本から控除される残存額うち、各行毎に詳述すべき項目（例：重要な中間純損失、無形資産、予想
損失に対する引当金の不足等）規制（EU）575/2013の第475条に従って移行期間中においてTier 2資本から控
除される金額に関してその他Tier 1資本から控除される残存額うち、各行毎に詳述すべき項目（例：Tier 2商品の持ち合い、他の金融部
門企業の資本への重要でない投資の直接保有等）追加フィルタ及び控除を必要とするCRR前措置に関してその他Tier 1資本から
控除される金額、又はその他Tier 1資本に追加される金額

金融機関のT2資本を超過する適格（T2）控除（負の金額）

その他Tier 1 (AT1) 資本の規制上の調整合計	-400		-399	
その他Tier 1 (AT1) 資本	12,768		11,933	
Tier 1資本 (T1=CET1+AT1)	115,651		102,557	
Tier 2 (T2) 資本：商品及び引当金				
資本商品及び関連する資本剰余金勘定	17,354	0	17,150	444
第484(5)条で示されている適格項目の金額及び関連するT2の段階的廃止の対象となる資本剰余金勘定				
2018年1月1日まで適用除外される公的資金注入				
子会社が発行し、第三者が保有する連結T2資本に含まれる適格自己資本（第5項又は第34項に含まれない少数株主持分及びAT1を含む）	-		-	
うち、子会社が発行した商品のうち段階的廃止の対象となるもの				
信用リスク調整	-		-	
規制上の調整前Tier 2 (T2) 資本	17,354		17,150	
Tier 2 (T2) 資本：規制上の調整				
金融機関による自己のT2商品及び劣後ローンの直接及び間接保有（負の金額）	-		-	
金融機関の自己資本を意図的に増大させることを目的として金融部門企業が金融機関と持ち合っている場合の当該企業のT2商品及び劣後ローンの保有（負の金額）	-		-	
金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業のT2商品及び劣後ローンの直接及び間接保有（基準値の10%を上回る金額、適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-		-	
うち、移行措置の対象とならない新規保有	-		-	
うち、2013年1月1日より前に存在しており、移行措置の対象となる保有				
金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のT2商品及び劣後ローンの直接及び間接保有（適格ショートポジション控除後）（負の金額）	-1,129		-1,129	
規制（EU）575/2013に規定される段階的廃止の対象となるCRR前措置及び移行措置の金額（すなわち、CRR残存額）に関してTier 2資本に適用される規制上の調整				
規制（EU）575/2013の第472条により移行期間中において普通株式等Tier 1資本から控除される金額に関してTier 2資本から控除される残余额				
うち、各行毎に詳述すべき項目（例：重要な中間純損失、無形資産、予想損失に対する引当金の不足等）				
規制（EU）575/2013の第475条により移行期間中においてその他Tier 1資本から控除される金額に関してTier 2資本から控除される残余额				
うち、各行毎に詳述すべき項目（例：Tier 2商品の持ち合い、他の金融部門企業の資本への重要でない投資の直接保有等）				
追加フィルタ及び控除を必要とするCRR前措置に関してTier 2資本から控除される金額、又はTier 2資本に追加される金額			-	-
Tier 2 (T2) 資本の規制上の調整合計	-1,129		-1,129	
Tier 2 (T2) 資本	16,225		16,021	

資本合計 (TC=T1+T2)	131,876	118,578
規制 (EU) 575/2013に規定される段階的廃止の対象となるCRR前措置及び移行措置の対象となる金額 (すなわち、CRR残存額) に関するリスク加重資産	439,657	454,661
うち、普通株式等Tier 1資本から控除されない当行グループの保険会社に對する追加資本 (規制 (EU) 575/2013による残存価値)	15,633	15,633
うち、普通株式等Tier 1資本から控除されない繰延税金資産 (規制 (EU) 575/2013による残存価値)	512	315
T2商品から控除されない項目 (規制 (EU) 575/2013による残存価値) (各行毎に詳述すべき項目、例: 自己のT2商品の間接保有、他の金融部門企業の資本への重要でない投資の間接保有、他の金融部門企業の資本への重要な投資の間接保有等)	-	-
リスク加重資産合計	439,657	454,661

自己資本比率及びバッファ

普通株式等Tier 1資本比率 (リスク・エクスポージャー合計額に対する割合)		
Tier 1資本比率 (リスク・エクスポージャー合計額に対する割合)	23.4	19.9
資本合計 (リスク・エクスポージャー合計額に対する割合)	26.3	22.6
金融機関特有のバッファ要件 (リスク・エクスポージャー合計額の割合として表される第92(1)(a)条によるCET1要件、資本保全及びカウンターシクリカル・バッファ要件、及びシステミック・リスク・バッファ、及び金融システム上重要な金融機関バッファ)	30.0	26.1
うち、資本保全バッファ要件	3.4	3.1
うち、カウンターシクリカル・バッファ要件	2.5	2.5
うち、システミック・リスク・バッファ要件	0.9	0.6
うち、世界的な金融システム上重要な金融機関 (G-SII) 又はその他の金融システム上重要な金融機関 (0-SII) バッファ	0.0	0.0
バッファ要件を満たすために利用可能な普通株式等Tier 1資本 (リスク・エクスポージャー金額に対する割合)	0.0	0.0
[EUにおいて該当なし]	18.9	15.4
[EUにおいて該当なし]		
[EUにおいて該当なし]		

自己資本比率及びバッファ

金融部門企業への重要な投資を保有していない金融機関による金融部門企業の資本の直接及び間接保有 (基準値の10%を下回る金額及び適格ショートポジション控除後)	0	3
金融部門企業への重要な投資を保有している金融機関による金融部門企業のCET1商品の直接及び間接保有 (基準値の10%を下回る金額、適格ショートポジション控除後)	-	-
[EUにおいて該当なし]		
一時差異によって生じた繰延税金資産 (基準値の10%を下回る金額、第38(3)条の条件を満たしている関連税金負債控除後)	-205	-126

Tier 2における引当金の算入に適用される上限額

標準的アプローチの対象となるエクスポージャーに関してT2に含まれている信用リスク調整（上限額適用前）

標準的アプローチに基づきT2に信用リスク調整を算入する際の上限額

内部格付アプローチの対象となるエクスポージャーに関してT2に含まれる信用リスク調整（上限額適用前）

内部格付アプローチに基づきT2に信用リスク調整を算入する際の上限額

段階的廃止の対象となる資本商品（2013年1月1日から2022年1月1日までの期間のみに適用）

段階的廃止の対象となるCET1商品に係る現在の上限額	174	232
上限によりCET1から除外された金額（償還及び満期後に上限を超える金額）		
段階的廃止の対象となるAT1商品に係る現在の上限額	7,335	8,558
上限によりAT1から除外された金額（償還及び満期後に上限を超える金額）		
段階的廃止の対象となるT2商品に係る現在の上限額	4,444	5,185
上限によりT2から除外される金額（償還及び満期後に上限を超える金額）		

資本商品の主な特性に関する報告については、注記G51及び公表済みの「リスク及び自己資本管理（第三の柱に従った情報）("Risk and capital management — information according to Pillar3")」を参照のこと。

この表示は、欧州委員会実施規則（EU）1423/2013の要件に準拠している。

所要自己資本及びリスク・エクスポージャー金額合計

	2016年		2015年	
	リスク・エクスポージャー金額合計	所要自己資本	リスク・エクスポージャー金額合計	所要自己資本
百万スウェーデン・クローネ				
信用リスク（カウンターパーティ・リスクを除く）	363,055	29,044	374,971	29,998
うち、標準的アプローチ	140,182	11,214	138,674	11,094
うち、IRBアプローチ	222,873	17,830	236,297	18,904
うち、資本エクスポージャー	9,753	780	17,953	1,436
うち、その他の事業の証券化ポジション	24	2	2	-
うち、外部信用評価アプローチ	24	2	2	-
カウンターパーティ・リスク	15,698	1,257	18,736	1,499
うち、時価法を用いて算出	15,698	1,257	18,736	1,499
決済リスク	0	0	0	0
信用評価調整（以下、「CVA」という）リスク	7,429	594	8,911	713
市場リスク	10,910	873	10,318	825
うち、標準的アプローチ	10,910	873	10,318	825
オペレーショナル・リスク	42,565	3,405	41,725	3,338

うち、標準的アプローチ	42,565	3,405	41,725	3,338
合計	439,657	35,173	454,661	36,373
バーゼル1フロアに基づく調整		16,010		14,150
所要自己資本、バーゼル1フロア		51,183		50,523
自己資本合計、バーゼル1フロア		133,016		119,602

所要自己資本、市場リスク

百万スウェーデン・クローネ

	2016年	2015年
トレーディング勘定におけるポジション・リスク	864	819
金利リスク	855	804
うち、一般的なリスク	598	512
うち、特定のリスク	256	290
うち、証券化金融商品のポジション	-	-
うち、デルタ・リスク以外のリスク	1	2
株価リスク	9	15
うち、一般的なリスク	1	1
うち、特定のリスク	3	4
うち、ミューチュアル・ファンド	0	2
うち、デルタ・リスク以外のリスク	5	8
為替リスク	-	-
うち、デルタ・リスク以外のリスク	-	-
コモディティ・リスク	9	6
うち、デルタ・リスク以外のリスク	0	0
決済リスク	0	0
市場リスクに係る所要自己資本合計	873	825

自己資本比率分析 %

	2016年	2015年
普通株式等Tier 1資本比率、CRR	23.4	19.9
Tier 1資本比率、CRR	26.3	22.6
総自己資本比率、CRR	30.0	26.1
リスク・エクスポージャー金額合計、CRR（百万スウェーデン・クローネ）	439,657	454,661
バーゼル1フロアに基づく所要自己資本に関する自己資金	260	237
金融機関特有のバッファー要件	3.4	3.1
うち、資本保全バッファー要件	2.5	2.5
うち、カウンターシクリカルバッファー要件	0.9	0.6
うち、システミック・リスク・バッファー要件		
バッファーとして利用可能な普通株式等Tier 1資本	18.9	15.4

IRBアプローチで認められる信用リスク・エクスポージャー	リスク加重							
	エクスポージャー金額		エクスポージャー		所要自己資本		平均リスク加重、%	
	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ								
法人エクスポージャー	664,184	663,914	177,677	186,944	14,214	14,956	26.8	28.2
法人貸付	641,514	638,317	173,736	182,233	13,899	14,579	27.1	28.6
うち、その他貸付（LGD及びCCFの独自の見積りを伴わないIRBアプローチ）	115,418	124,220	35,658	37,474	2,853	2,998	30.9	30.2
うち、その他貸付（LGD及びCCFの独自の見積りを伴うIRBアプローチ）	526,096	514,097	138,078	144,759	11,046	11,581	26.2	28.2
うち、大企業	126,610	137,556	57,124	61,046	4,570	4,884	45.1	44.4
うち、中規模企業	70,884	67,928	30,345	31,135	2,428	2,491	42.8	45.8
うち、不動産会社	328,602	308,613	50,609	52,578	4,049	4,206	15.4	17.0
カウンターパーティ・リスク	22,670	25,597	3,941	4,711	315	377	17.4	18.4
住宅協同組合	32,672	24,115	3,724	2,576	298	206	11.4	10.7
リテール・エクスポージャー	160,251	158,145	28,313	25,618	2,265	2,049	17.7	16.2
個人	140,322	138,235	22,350	19,303	1,788	1,544	15.9	14.0
うち、不動産貸付	76,311	75,658	10,155	9,044	812	723	13.3	12.0
うち、その他	64,011	62,577	12,195	10,260	976	821	19.1	16.4
小規模企業	19,929	19,910	5,963	6,315	477	505	29.9	31.7
機関エクスポージャー	105,184	117,261	17,397	20,469	1,392	1,638	16.5	17.5
機関向け貸付	20,065	19,201	6,175	6,766	494	542	30.8	35.2
カウンターパーティ・リスク	85,119	98,060	11,222	13,703	898	1,096	13.2	14.0
うち、レポ及び証券貸付	14,070	31,143	631	424	50	34	4.5	1.4
うち、デリバティブ	71,049	66,917	10,591	13,279	848	1,062	14.9	19.8
株式エクスポージャー	2,636	5,807	9,753	17,953	780	1,436	370	309.1
うち、上場株式	-	4,418	-	12,811	-	1,025	-	290
うち、その他株式	2,636	1,389	9,753	5,141	780	411	370	370
与信債権以外のエクスポージャー	1,149	1,150	1,149	1,150	92	92	100	100
証券化ポジション	22	28	24	2	2	0	105.9	7.4
うち、伝統的証券化	22	28	24	2	2	0	105.9	7.4
うち、合成的証券化	-	-	-	-	-	-	-	-
IRB合計	966,099	970,420	238,036	254,712	19,043	20,377	24.6	26.2

標準的アプローチ ¹ による信用リスク・エクスポージャー、	リスク加重した							
	エクスポージャー金額		エクスポージャー金額		所要自己資本		平均リスク加重、%	
	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年	2016年	2015年
百万スウェーデン・クローネ								
ソブリン及び中央銀行	252,304	265,818	77	72	6	6	0	0
地方自治体	27,630	28,595	22	18	2	1	0	0

国際開発銀行	636	649	0	0	0	0	0	0
国際機関	49	1	0	0	0	0	0	0
金融機関	550,741	526,344	799	1,010	64	81	0.1	0.2
法人	10,413	11,557	9,789	10,896	783	872	94.0	94.3
リテール	16,902	22,032	12,633	16,487	1,011	1,319	74.7	74.8
不動産抵当貸付	92,087	70,925	33,316	25,367	2,665	2,029	36.2	35.8
延滞項目	199	226	258	316	21	25	129.6	139.4
株式	67,063	67,279	76,392	76,609	6,111	6,129	113.9	113.9
うち、上場株式	0	249	0	249	0	20	0.0	100.0
うち、その他株式	67,063	67,030	76,392	76,360	6,111	6,109	113.9	113.9
その他項目	7,999	8,880	7,431	8,221	595	658	92.9	92.6
標準的アプローチ合計	1,026,023	1,002,308	140,717	138,996	11,258	11,120	13.7	13.9

1) 存在するエクスポージャーを区分毎に集約し、所要自己資本の詳細を示したもの

レバレッジ比率共通ディスクロージャー

百万スウェーデン・クローネ

オンバランスシート・エクスポージャー（デリバティブ及び証券金融取引を除く）

オンバランスシート項目（デリバティブ、SFTs及び信託資産を除く）

Tier1資本の算定において控除された資産の金額

オンバランスシート・エクスポージャー合計（デリバティブ、証券金融取引及び信託資産を除く）

2016年	2015年
1,794,728	1,716,619
-3,803	-4,718
1,790,925	1,711,901

デリバティブ・エクスポージャー

すべてのデリバティブ取引に関する再調達原価（すなわち、適格な変動証拠金控除後）

すべてのデリバティブ取引に関する潜在的な将来のエクスポージャーに係る追加額（時価法）

当初の手法で算定されたエクスポージャー

適用された会計フレームワークにより貸借対照表の資産から控除されたデリバティブの担保の加算

デリバティブ取引で提供された変動証拠金に関する債権の控除

顧客決済取引エクスポージャーの中央清算機関レグの控除

売建信用デリバティブの想定元本の調整による影響

売建信用デリバティブに係る想定元本の相殺及び加算額の調整

デリバティブ・エクスポージャー合計

34,618	21,598
38,297	38,337
-	-
-	-
-6,917	0
-	-
8,917	0
-679	0
74,236	59,935

証券金融取引エクスポージャー

証券金融取引資産総額（相殺の認識なし）、売却取引控除後

証券金融取引資産総額の債権債務（現金）の相殺額

証券金融取引資産に関するカウンターパーティの信用リスク・エクスポージャー

証券金融取引の特例：規制(EU)575/2013の第429b(4)条及び第222条によるカウンターパーティの信用リスク・エクスポージャー

代理人取引エクスポージャー

12,915	32,786
-	-
4,440	4,792
-	-
-	-

顧客決済証券金融取引エクスポージャーの中央清算機関レグの控除	-	-
証券金融取引エクスポージャー合計	17,355	37,578
その他のオフバランスシート・エクスポージャー		
オフバランスシート・エクスポージャーの総額（名目金額）	539,468	530,343
与信相当額への転換に対する調整	-348,431	-338,334
その他のオフバランスシート・エクスポージャー	191,037	192,009
適用除外のエクスポージャー		
規制(EU)575/2013の第429(7)条に準拠して対象外となったグループ内エクスポージャー（単独ベース）の控除	-568,333	-
規制(EU)575/2013の第429(14)条に準じて控除されたエクスポージャー（オン及びオフバランスシート）	-	-
資本及びエクスポージャー合計		
Tier1資本	115,651	102,557
レバレッジ比率エクスポージャー合計	1,505,220	2,001,423
レバレッジ比率		
レバレッジ比率	7.7%	5.1%
移行契約に係る選択及び認識を中止された信託項目の金額		
資本測定の実質に対する移行契約に係る選択	移行時調整	移行時調整
規制(EU)575/2013の第429(13)条に準拠した認識しない信託項目の金額	0	-1,162

会計上の資産及びレバレッジ比率エクスポージャーの調整の要約

百万スウェーデン・クローネ	2016年	2015年
公表された財務諸表の資産合計	1,894,704	1,840,058
会計上連結されるが、資本規制では連結対象外となる事業体に対する調整	0	0
関連する会計フレームワークに従い貸借対照表に認識されているが、規制(EU)575/2013の第429(13)条に準拠してレバレッジ比率エクスポージャーから除外した信託資産に関する調整	0	-1,162
デリバティブ金融商品に対する調整	-12,825	-29,556
証券金融取引に関する調整（SFTs）	4,440	4,792
オフバランスシート項目に対する調整（例えば、オフバランスシート・エクスポージャーの与信相当額への転換）	191,037	192,009
規制(EU)575/2013の第429(7)条に従いレバレッジ比率エクスポージャーの測定から除外されたグループ内エクスポージャーに関する調整	-568,333	-
規制(EU)575/2013の第429(14)条に従いレバレッジ比率エクスポージャーの測定から除外されたエクスポージャーに関する調整	-	-
その他の調整	-3,803	-4,718
レバレッジ比率エクスポージャー合計	1,505,220	2,001,423

取締役会及び最高経営責任者の署名

我々は、当該連結決算書が、国際会計基準の適用に関する欧州議会及び理事会規則 (EC)第1606/2002号 (2002年7月19日) に示されている国際財務報告基準に従って作成されていること、当行の年次決算書が株式会社の健全な会計慣行に従って作成されていること、年次決算書及び連結決算書が当行グループ及び当行の財政状態及び業績の公正な表示をしていること、法定管理報告書が当行及び当行グループの事業、財政状態及び業績の公正な外観を示しており、当行及び他の会社がさらされている重要なリスク及び不確実性について記載していることをここに宣言する。

ストックホルム、2017年2月7日

パール・ボーマン

フレデリック・ランドバーク

取締役会長

カリン・アペルマン

ジョン・フレデリック・バクサース

トミー・ビュレント

ジャスティン・ヘシウス

オーレ・ヨハンソン

リーセ・コー

ベンテ・ラッセ

シャーロット・スコグ

アンダース・ボウヴィン

頭取兼グループ最高経営責任者

[次へ](#)

RESULTATRÄKNING | KONCERNEN

Resultaträkning Koncernen

Koncernen mkr		2016	2015
Räntesintäkter	Not K3	39 950	43 052
Räntekostnader	Not K3	-12 007	-15 312
Räntenetto		27 943	27 740
Provisionsintäkter	Not K4	10 780	10 975
Provisionskostnader	Not K4	-1 624	-1 655
Provisionsnetto		9 156	9 320
Nettoreultat av finansiella transaktioner	Not K5	3 066	2 608
Risikoresultat försäkring	Not K6	142	157
Övriga utdelningsintäkter		228	281
Andelar i intresseföretags resultat	Not K10	25	17
Övriga intäkter	Not K7	203	213
Summa intäkter		40 763	40 336
Personalkostnader	Not K8	-12 542	-12 581
Övriga kostnader	Not K9	-5 401	-5 203
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	Not K24, K25	-495	-487
Summa kostnader		-18 438	-18 271
Resultat före kreditförluster		22 325	22 065
Kreditförluster, netto	Not K10	-1 724	-1 597
Vinstförluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	Not K11	32	7
Röreleresultat		20 633	20 475
Skatter	Not K34	-4 401	-4 277
Årets resultat från löpande verksamhet		16 232	16 198
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet, efter skatt	Not K12	13	145
Årets resultat		16 245	16 343
Värdav tillhör			
Aktieägare i Svenska Handelsbanken AB		16 244	16 342
Minoritet		1	1
Resultat per aktie, löpande verksamhet, kr	Not K13	8,42	8,40
efter utspädning	Not K13	8,30	8,32
Resultat per aktie, avvecklad verksamhet, kr	Not K13	0,01	0,06
efter utspädning	Not K13	0,01	0,07
Resultat per aktie, total verksamhet, kr	Not K13	8,43	8,57
efter utspädning	Not K13	8,31	8,39

TOTALRESULTAT | KONCERNEN

Totalresultat Koncernen

Koncernen mkr	2016	2015
Årets resultat	16 245	16 343
Övrigt totalresultat		
Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen		
Förmånsbestämda pensionsplaner	3 993	-3 152
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	- 976	688
Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	3 117	-2 464
Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen		
Kassafödersäkringar	-3 145	-501
Instrument tillgängliga för försäljning	-1 160	682
Årets omräkningsdifferens	1 183	-1 713
varav säkring av nettoinvestering i utländsk verksamhet	-142	-394
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	833	215
varav kassafödersäkringar	602	110
varav instrument tillgängliga för försäljning	110	18
varav säkring av nettoinvestering i utländsk verksamhet	31	87
Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-2 289	-1 317
Summa övrigt totalresultat	828	-3 781
Årets totalresultat	17 073	12 562
Varav tillhör		
Aktieägare i Svenska Handelsbanken AB	17 072	12 562
Minoritet	1	0

Periodens omklassificeringar till resultaträkningen framgår av Förändring i eget kapital.

Årsvärdeverksamhet påverkar endast raden Årets omräkningsdifferens i Övrigt totalresultat.

Under 2016 uppgick övrigt totalresultat till 828 mkr (-3 781) efter skatt. Resultaten av samtliga poster inom övrigt totalresultat kan för enskilda perioder vara volatila till följd av förändringar i diskonteringsränta, valutakurser och inflation.

Pensionskalden för de förmånsbestämda pensionsplanerna har minskat, vilket påverkar övrigt totalresultat med 3 117 mkr efter skatt jämfört med jämförelseperioden då effekten var -2 464 mkr efter skatt. Orsaken till årets förändring är en höjning av diskonteringsräntan till 2,40% (2,25) avseende det svenska pensionsåtagandet samt att värdet på de förvaltningsförläggningar som avser det svenska pensionsåtagandet har ökat med 17% sedan årsskiftet 2015.

Merparten av koncernens långfristiga upplåning är säkrad med derivat där samtliga kassaföden är matchade fram till förfall. I kassafödersäkringarna hanteras risken för variationer i kassaföden hänförliga till förändringar i rörlig ränta och valuta på ut- och upplåning. Underliggande upplåning och den tillgång som finansieras värderas till upplupet anskaffningsvärde medan derivaten som säkrar dessa poster marknadsvärderas. Resultateffekten av marknadsvärderingen redovisas under posten kassafödersäkringar. Över tid går dessa värden till nolli vid förfall för varje enskild säkring men innebär volatilitet i övrigt totalresultat under löptiden. Sådana värdeförändringar på säkringsderivat i kassafödersäkringar uppgick under året till -2 453 mkr (-391) efter skatt. Värdeförändringarna händer i viss mån från valutakursförändringar men framförallt av förändringar i respektive valutas diskonteringsräntor. Under året har 5 mkr (32 mkr) omklassificerats till resultatet till följd av inaktivitet.

Realiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar som klassificerats som tillgängliga för försäljning har påverkat övrigt totalresultat med -1 050 mkr (700) efter skatt under året. Det negativa resultatet förklaras främst av att vinster från försäljning av aktier på 1 689 mkr har realiserats i resultaträkningen.

Realiserade valutakursffekter för omräkning av utländska filialer och dotterbolag till koncernens rapporteringsvaluta samt effekten av säkring av nettoinvestering i utländsk verksamhet har påverkat övrigt totalresultat under året med 1 214 mkr (-1 626) efter skatt.

BALANSRÄKNING | KONCERNEN

Balansräkning Koncernen

Koncernen mkr		2016	2015
TILLGÅNGAR			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		199 362	202 630
Övrig utlåning till centralbanker	Not K14	25 527	34 118
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	Not K17	97 205	74 777
Utlåning till övriga kreditinstitut	Not K15	31 347	40 656
Utlåning till allmänheten	Not K16	1 963 622	1 866 467
Värdepappersförändring på räntesäkrad post i portföljalkering		35	27
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not K17	63 909	44 513
Aktier och andelar	Not K18	20 412	30 387
Andelar i intresseföretag	Not K19	255	245
Tillgångar där kunden står värdepappersförändringsrisken	Not K20	118 646	105 146
Derivatinstrument	Not K22	82 633	85 347
Återförskaffningstillgångar		9	10
Immateriella tillgångar	Not K24	9 393	8 254
Fastigheter och inventarier	Not K25	2 387	2 348
Aktuella skattefordringar		38	143
Uppskjutna skattefordringar	Not K34	962	1 489
Tillgångar som innehåller förskämnings		1	1 442
Övriga tillgångar	Not K26	5 615	8 887
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	Not K27	6 222	6 247
Summa tillgångar	Not K30	2 627 680	2 622 138
SKULDER OCH EGET KAPITAL			
Skulder till kreditinstitut	Not K28	178 781	163 770
In- och upplåning från allmänheten	Not K29	829 336	753 855
Skulder där kunden står värdepappersförändringsrisken	Not K30	118 745	105 225
Emitterade värdepapper	Not K31	1 261 765	1 245 367
Derivatinstrument	Not K32	31 738	40 592
Korta positioner	Not K32	1 572	2 416
Förädlingskostnader	Not K33	574	607
Aktuella skatteskulder		514	996
Uppskjutna skatteskulder	Not K34	7 875	8 844
Avskattningar	Not K35	731	113
Pensionskostnader, netto	Not K36	2 161	5 314
Skulder hänförliga till tillgångar som innehåller förskämnings		-	759
Övriga skulder	Not K36	9 427	14 206
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	Not K37	14 580	17 585
Efterbetalda skulder	Not K38	33 400	34 216
Summa skulder	Not K39	2 491 199	2 393 885
Minoritetsintresse		6	4
Aktiekapital		3 013	2 956
Överkursfond		5 628	3 204
Reserver		9 268	8 440
Balanserad vinst		102 222	97 322
Årets resultat, tillhörande aktieägare i Svenska Handelsbanken AB		16 244	16 342
Summa eget kapital		136 381	128 288
Summa skulder och eget kapital		2 627 680	2 622 138

FÖRÄNDRING I EGET KAPITAL | KONCERNEN

Förändring i eget kapital Koncernen

Koncernen 2016									
mkr	Aktie- kapital	Överkurs- fond	Förmläns- bestämda pensions- planer	Säkrings- reserv	Verkligt värde- reserv	Omräknings- reserv	Balanserade vinstermedel	Minoritet	Totalt
Ingående eget kapital 2016	2 956	3 204	-1 461	4 940	2 024	2 937	113 664	4	128 268
Årets resultat							16 244	1	16 245
Övrigt totalresultat			3 117	-2 453	-1 050	1 214		0	828
Årets totalresultat			3 117	-2 453	-1 050	1 214	16 244	1	17 073
Utdelning							-11 442		-11 442
Effekter av konvertibla företagslån	57	2 424							2 481
Förändring av minoritetsintressen							0	1	1
Utgående eget kapital 2016	3 013	5 628	1 656	2 487	974	4 151	118 466	6	138 381

Koncernen 2015									
mkr	Aktie- kapital	Överkurs- fond	Förmläns- bestämda pensions- planer	Säkrings- reserv	Verkligt värde- reserv	Omräknings- reserv	Balanserade vinstermedel	Minoritet	Totalt
Ingående eget kapital 2015	2 956	3 203	1 003	5 331	1 324	4 562	108 445	3	126 827
Årets resultat							16 342	1	16 343
Övrigt totalresultat			-2 464	-391	700	-1 625		-1	-3 781
Årets totalresultat			-2 464	-391	700	-1 625	16 342	0	12 562
Utdelning							-11 124		-11 124
Effekter av konvertibla företagslån	0	1					1		2
Förändring av minoritetsintressen							0	1	1
Utgående eget kapital 2016	2 956	3 204	-1 461	4 940	2 024	2 937	113 664	4	128 268

Under perioden januari-december 2016 hade konvertiblar till ett nominellt värde av 2 513 mkr ⁽¹⁾ avseende 2008 och 2011 års konvertibla företagslån konverterats till 37 105 318 A-aktier (18 925).

Vid ränteskapets slut uppgick antalet egna aktier i handelslaget till 0 aktier (0).

Specifikation av förändringar i eget kapital

Förändring av säkringsreserv		
mkr	2016	2015
Säkringsreserv vid årets ingång	4 940	5 331
Orealiserade värdeförändringar under året	2 324	-1 681
Omklassificerat till resultaträkningen ¹	-4 777	1 290
Säkringsreserv vid årets utgång	2 487	4 940
Förändring av verkligt värdereserv		
mkr	2016	2015
Verkligt värdereserv vid årets ingång	2 024	1 324
Orealiserad marknadsvärdeförändring under året för kvarvarande samt nya innehav	706	748
Omklassificerat till resultaträkningen ²	-1 756	-48
Verkligt värdereserv vid årets utgång	974	2 024
Förändring av omräkningsreserv		
mkr	2016	2015
Omräkningsreserv vid årets ingång	2 937	4 562
Förändring av omräkningsdifferens hänförlig till tillägar	651	-1 217
Förändring av omräkningsdifferens hänförlig till dollartillägg	565	-403
Omklassificerat till resultaträkningen ³	-2	-5
Omräkningsreserv vid årets utgång	4 151	2 937

¹ Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 1 347 mkr (-364).

² Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 121 mkr (63).

³ Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 0 mkr (1).

KASSAFLÖDESANALYS | KONCERNEN

Kassaflödesanalys Koncernen

Koncernen mkr	2016	2015
LÖPANDE VERKSAMHET		
Rörelseresultat, total verksamhet	20 674	20 656
varav inbetalda räntor	40 040	43 870
varav utbetalda räntor	-12 596	-16 084
varav inbetalda utdelningar	315	706
Justering för ej kassaflödespåverkande poster i rörelseresultatet		
Kreditförluster	1 210	1 758
Orealiserade värdeförändringar	-2 317	1 956
Av- och nedskrivningar	425	487
Betalda inkomstskatter	-5 544	-4 878
Förändring i den löpande verksamhetens tillgångar och skulder		
Övrig utlåning till centralbanker	8 591	16 928
Utlåning till övriga kreditinstitut	18 401	20 635
Utlåning till allmänheten	-99 011	-60 419
Räntebärande värdepapper och aktier	-35 764	35 113
Skulder till kreditinstitut	15 001	-36 304
In- och upplåning från allmänheten	75 480	-268 412
Emitterade värdepapper	16 398	32 754
Derivatinstrument, nettopositioner	-5 529	8 414
Korta positioner	-1 006	-18 187
Fordringsförändringar och fordringslöskulder	-1 784	3 350
Övrigt	-1 943	-26 146
Kassaflöde från löpande verksamhet	4 052	-272 295
INVESTERINGSVERKSAMHET		
Förvärf av dotterföretag	-408	-
Förvärf av och tillskott till intresseföretag	-19	-10
Förstärkning av aktier och andelar	5 481	3 685
Förstärkning av räntebärande värdepapper	1 003	11
Förvärf av materiella anläggningstillgångar	-443	-760
Avyttring av materiella anläggningstillgångar	828	250
Förvärf av immateriella anläggningstillgångar	-558	-456
Avyttring av immateriella anläggningstillgångar	12	-
Kassaflöde från investeringsverksamhet	5 896	2 720
FINANSIERINGSVERKSAMHET		
Amortering efterställda skulder	-2 512	-5 660
Emission efterställda skulder	-	10 082
Utbetald utdelning	-11 442	-11 124
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-13 954	-6 732
Ända kassaflöde	-4 006	-276 307
Likvida medel vid årets början	202 630	454 532
Kassaflöde från löpande verksamhet	4 052	-272 295
Kassaflöde från investeringsverksamhet	5 896	2 720
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-13 954	-6 732
Kursdifferens i likvida medel	738	24 405
Likvida medel vid årets slut	190 362	202 630

Likvida medel definieras som kassa och tillgodohavanden hos centralbanker.

Den 1 september 2016 slutfördes förvärfet av Optimix Vermogensbehaer N.V. För ytterligare information om förvärfet hänvisas till not K5D.

NOTER | KONCERNEN

Noter Koncernen

K1 Redovisningsprinciper och andra utgångspunkter vid upprättande av de finansiella rapporterna

1. LAG- OCH FÖRESKRIFTSENLIGHET

Koncernredovisningen är upprättad i enlighet med de internationella redovisningsstandarder (IFRS) och tolkningar av dessa standarder som antagits av EU. Därutöver tillämpas de tillägg som följer av lagen 1995:1559 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅRIKL) och av Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd FFFS 2008:25 Årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. I koncernredovisningen tillämpas även RFR 1 Kompletterande redovisningsregler för koncerner samt uttalanden från Rådet för finansiell rapportering. Moderbolagets redovisningsprinciper framgår av not M1.

Avgivande och fastställelse av årsredovisningen

Års- och koncernredovisningen godkändes för utfärdande av styrelsen den 7 februari 2017 och blir föremål för fastställelse på årsstämman den 29 mars 2017.

2. FÖRÄNDRADE REDOVISNINGSPRINCIPER MED MERA

ESMA har publicerat riktlinjer för upplysningar om alternativa nyckeltal som bör följas i finansiella rapporter som offentliggörs efter den 3 juli 2016. Riktlinjerna innebär att upplysning har utökats vad avser finansiella mått som inte definieras i IFRS. Enligt kraven i riktlinjerna upplyser banken om definitioner och avstämningar av alternativa nyckeltal i Faktaboken som finns tillgänglig på www.handelsbanken.se/r samt under avsnittet Definitioner och förklaringar på sidorna 218–219. I övrigt överensstämmer de redovisningsprinciper, klassificeringar och beräkningsmetoder som tillämpats av koncernen under räkenskapsåret i allt väsentligt med de principer som tillämpades i årsredovisningen 2015.

Kommande regelverksförändringar

IFRS 9 Finansiella instrument, som ska ersätta IAS 39 Finansiella instrument: Redovisning och värdering, har antagits för tillämpning av EU. Standarden ska tillämpas från och med räkenskapsåret 2018. Standarden omfattar tre områden: klassificering och värdering, nedskrivning av finansiella instrument samt allmän försäkringsredovisning.

Enligt de nya reglerna för klassificering och värdering ska finansiella tillgångar klassificeras

till verkligt värde via resultaträkningen, upplupet anskaffningsvärde eller till verkligt värde via övrigt totalresultat. Utgångspunkten för klassificeringen av skuldinstrument är företagets affärsmodell för att hantera den finansiella tillgången samt huruvida instrumentets kontraktensliga kassaflöden enbart innehåller betalningar av ränta och kapitalbelopp. Eget kapitalinstrument ska klassificeras till verkligt värde via resultaträkningen, om inte företaget vid första redovisningstillfället valt att presentera sådana instrument till verkligt värde via övrigt totalresultat. Ett sådant val innebär att endast utdelningar från dessa innehav redovisas i resultaträkningen. Andra vinster och förluster till följd av ändringar i verkligt värde får inte omklassificeras från övrigt totalresultat till resultaträkningen. Reglerna för klassificering av finansiella skulder är i stort sett oförändrade jämfört med IAS 39. Den största ändringen är att verkligt värde förändringar till följd av förändringar av egen kreditrisk för finansiella skulder som valts att värderas till verkligt värde via resultaträkningen redovisas i övrigt totalresultat istället för i resultaträkningen. Handelsbankens nuvarande bedömning är att klassificerings- och värderingsreglerna inte väntas få någon betydande inverkan på de finansiella rapporterna. Några betydande omklassificeringar mellan verkligt värde och upplupet anskaffningsvärde förväntas inte för den första tillämpningsperioden, men denna slutsats påverkas av vilka finansiella instrument som finns upptagna i Handelsbankens balansräkning vid övergången.

Genom de nya reglerna om nedskrivning införs en modell som baseras på förväntade kreditförluster och inte, som den befintliga modellen i IAS 39, på inträffade kreditförluster. IFRS 9 anger att alla tillgångar som värderas till upplupet anskaffningsvärde och verkligt värde via övrigt totalresultat, liksom garantier och kreditåtaganden, ska omfattas av prövningen av nedskrivningsbehovet. De tillgångar vars nedskrivningsbehov ska prövas delas in i tre steg, beroende på graden av kreditförsämring. Steg 1 omfattar tillgångar där det inte har inträffat någon väsentlig ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället. Steg 2 omfattar tillgångar där det har inträffat en väsentlig ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället. Steg 3 omfattar tillgångar som individuellt har värderats som osäkra förluster. I steg 1 ska reserveringar som motsvarar den förlust som förväntas inträffa inom 12 månader redovisas. I steg 2 och 3 ska reserveringar som motsvarar den förlust som förväntas inträffa under tillgångens hela återstående löptid redovisas. I samband med beräkningen av dessa reserveringar ska framtidsbaserade

faktorer beaktas. Vidare ska reserveringar baseras på ett sannolikhetsvägt utfall, till skillnad mot gällande IAS 39 där det mest förväntade utfallet ligger till grund för reserveringen. Beroende på vilka faktorer som fastställs vara de som definierar en väsentlig ökning av kreditrisken, samt hur de framtidsbaserade faktorerna vägs in i beräkningen av reserveringar, kan dessa fluktuerar mer över tid än vad som är fallet i dag. I samband med övergången till IFRS 9 kommer de totala reserveringarna att öka och egna kapitalet kommer att minska. Det är ännu oklart hur tillsynsmyndigheter kommer att behandla sambandet mellan det redovisningsmässiga förväntade kreditförlusterreserveringarna och förväntade kreditförluster enligt kapitaltäckningen.

De nya allmänna reglerna för försäkringsredovisning medger att företagets egen riskhantering reflekteras på ett bättre sätt i de finansiella rapporterna samt introducerar mindre detaljerade regler för hur effektiviteten av försäkringarna ska bedömas.

Banken arbetar med att analysera de finansiella effekterna av IFRS 9 mer i detalj.

Vidare har IFRS 15 Intäkter från avtal med kunder antagits för tillämpning av EU. Standarden ska tillämpas från och med räkenskapsåret 2018, men får tillämpas tidigare. Handelsbanken avser inte att tillämpa standarden i förtid. IFRS 15 introducerar en femstegsmodell för att fastställa hur och när redovisning av intäkter ska ske. Standarden gäller dock inte för finansiella instrument, försäkringsavtal eller leasingavtal. IFRS 15 innehåller vidare utökade upplysningskrav avseende intäkter. Den nuvarande bedömningen är att den nya standarden inte får någon väsentlig inverkan på Handelsbankens finansiella rapporter, kapitaltäckning eller stora exponeringar.

Dessutom har IFRS 16 Leases publicerats av IASB. Under förutsättning att IFRS 16 antas av EU, och den tidpunkt för ikraftträdande som IASB föreslagit inte ändras, kommer standarden att tillämpas från räkenskapsåret 2019. Den största förändringen som den nya standarden medför är att alla leasingkontrakt (med undantag för kortfristiga och mindre leasingkontrakt) ska redovisas som en tillgång (nyttjanderätt) och som en skuld i leasetagarens balansräkning. Leasingbetalningarna ska redovisas som avskrivning och räntekostnad. Vidare tillkommer upplysningskrav. För leasegivare är kraven i stort sett oförändrade. Bankens arbetar med att analysera de finansiella effekterna av den nya standarden.

Ingen av de övriga förändringarna i redovisningsregelverket som är utfärdade för tillämpning

bedöms få någon väsentlig inverkan på Handelsbankens finansiella rapporter, kapitaltäckning, stora exponeringar eller andra förhållanden enligt tillämpliga rörelse regler.

3. KONCERNREDOVISNING OCH PRESENTATION

Dotterföretag

I koncernredovisningen har samtliga företag där Handelsbanken direkt eller indirekt har ett bestämmande inflytande (dotterföretag) konsoliderats fullständigt. Banken anses ha ett bestämmande inflytande över ett företag när den exponeras för eller har rätt till rörlig avkastning från sitt innehav i företaget och har möjlighet att påverka avkastningen genom sitt inflytande i företaget. Normalt anses bestämmande inflytande föreligga om Handelsbanken har mer än 50 procent av rösterna på årsstämma eller motsvarande.

Dotterföretag konsolideras med tillämpning av förvärvsmetoden. Det innebär att förvärv av ett dotterföretag betraktas som en transaktion där koncernen förvärfvar företagets identifierbara tillgångar och tar över dess skulder och förpliktelser. Vid rörelseförvärv upprättas en förvärvsbalans där identifierbara tillgångar och skulder värderas till verkligt värde vid förvärvstidpunkten. Anskaffningsvärdet utgörs av det verkliga värdet på samtliga tillgångar, skulder och emitterade egetkapitalinstrument som lämnats som vederlag för nettotillgångarna i dotterföretaget. Eventuella överskott till följd av att anskaffningsvärdet överstiger förvärvsbalansens identifierbara nettotillgångar redovisas som goodwill i koncernens balansräkning. Förvärvsrelaterade utgifter kostnadsförs när de uppstår. Dotterföretagets finansiella rapporter tas in i koncernredovisningen från och med förvärvstidpunkten till det datum bestämmande inflytande upphör. Koncerninterna transaktioner och mellanhanden eliminerar vid upprättandet av koncernens finansiella rapporter.

I den mån de redovisningsprinciper som tillämpas i ett enskilt dotterföretag inte överensstämmer med de principer som tillämpas av koncernen, görs en justering av koncernräkenskaperna vid konsolidering av dotterföretaget.

Fonder för vilka banken är kapitalförvaltare samt i vilka banken äger mer än 50 procent av andelarna, konsolideras helt i balansräkningen på raderna Tillgångar respektive Skulder där kunden står värdeförändringsrisken. Ägande mellan 20 och 50 procent konsolideras i vissa fall om omständigheterna gör gällande att banken har ett bestämmande inflytande, exempelvis genom att fonden har ett brett förvaltningsmandat och genererar en hög andel variabel

avkastning. Fonder som banken äger genom fondförsäkringsavtal konsolideras ej.

Intresseföretag

Som Intresseföretag redovisas företag där Handelsbanken har ett betydande inflytande. Betydande inflytande föreligger normalt när röstandelen i företaget uppgår till lägst 20 procent och högst 50 procent. Intresseföretag redovisas i koncernredovisningen enligt kapitalandelsmetoden. Det innebär att innehavet inledningsvis tas upp till anskaffningsvärde. Det redovisade värdet ökas eller minskas därefter för att beakta koncernens andel av Intresseföretagets resultat efter förvärvstidpunkten. Eventuella utdelningar från Intresseföretag minskar det redovisade värdet på innehavet. Resultatandelar i Intresseföretag redovisas som Andelar i Intresseföretags resultat på egen rad i koncernens resultaträkning.

Redovisning av avvecklad verksamhet och tillgångar som innehas för försäljning
Anläggningstillgångar eller en grupp av tillgångar (avyttringsgrupp) klassificeras som att de innehas för försäljning när det redovisade värdet i huvudsak kommer att återvinnas genom försäljning och när försäljningen är mycket sannolik. Efter klassificeringen som tillgång som innehas för försäljning tillämpas särskilda värderingsprinciper. Dessa innebär i huvudsak att, med undantag för bland annat finansiella tillgångar och skulder, tillgångar som innehas för försäljning och avyttringsgrupper värderas till det lägsta av det redovisade värdet och verkligt värde med avdrag för försäljningskostnader. Därmed görs inte några avskrivningar på materiella eller immateriella tillgångar som innehas för försäljning. Eventuella nedskrivningar och efterföljande omvärderingar redovisas direkt i resultaträkningen. Vinst redovisas inte om den överstiger ackumulerad nedskrivning. Tillgångar och skulder som innehas för försäljning särredovisas i koncernens balansräkning fram till försäljningstidpunkten.

Som avvecklad verksamhet redovisas självständig verksamhet av väsentlig karaktär som är klart särskild från koncernens övriga verksamhet och som klassificerats som att den innehas för försäljning med tillämpning av de principer som beskrivits. Som avvecklad verksamhet redovisas även dotterföretag som förvärvats uteslutande i syfte att vidareförsäljas. Redovisning som avvecklad verksamhet innebär att verksamhetens resultat särredovisas på egen rad i resultaträkningen skilt från övriga resultatposter. Resultatet från avvecklade verksamheter består av resultatet efter skatt av

avvecklade verksamheter, det resultat efter skatt som uppstår vid värdering till verkligt värde med avdrag för försäljningskostnader av de tillgångar som innehas för försäljning/avyttringsgrupper som ingår i avvecklade verksamheter, samt realiserat resultat från avyttring av avvecklade verksamheter.

4. SEGMENTRAPPORTERING

I segmentrapporteringen presenteras intäkter och kostnader respektive tillgångar och skulder uppdelade på rörelsesegment. Ett rörelsesegment är en sådan del av koncernen som bedriver verksamhet som genererar externa eller interna intäkter och kostnader och vars resultat i styrningssyfte regelbundet granskas och följs upp av koncernledningen. Principer för segmentrapportering beskrivs vidare i not K45.

5. TILLGÅNGAR OCH SKULDER I UTLÄNDSK VALUTA

Koncernens rapporteringsvaluta är svenska kronor. Den funktionella valutan för koncernens verksamheter utomlands aviker som regel från koncernens rapporteringsvaluta. Som funktionell valuta betraktas den valuta som används i den ekonomiska miljö där verksamheten primärt bedrivs.

Transaktioner i utländsk valuta omräknas till den funktionella valutan på transaktionsdagen. Monetära poster samt tillgångar och skulder som redovisas till verkligt värde värderas till den funktionella valutans avstakurs vid balansdagens slut. Omräkningsdifferenser hänförliga från icke-monetära poster som kategoriserats som finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning, redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och ackumuleras i eget kapital. Så redovisas även valutakursdifferenser som uppstår vid omräkning av monetära poster som utgör en del av en nettoinvestering i en utlandsverksamhet. Övriga valutakursdifferenser redovisas i resultaträkningen.

Omräkning av utländska verksamheter till koncernens redovisningsvaluta

Vid omräkning av utländska etableringars (där bland filialers) balans- och resultaträkningar från funktionell valuta till koncernens rapporteringsvaluta, tillämpas dagskursmetoden. Det innebär att tillgångar och skulder omräknas till balansdagens kurs. Eget kapital omräknas till kursen vid investerings- respektive intjänandetidpunkten. Resultaträkningen räknas om efter genomsnittskursen under året. Omräkningsdifferenser redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och ingår i omräkningsreserven i eget kapital.

NOTER | KONCERNEN

6. REDOVISNING AV TILLGÅNGAR OCH SKULDER I BALANSRÄKNINGEN

Köp och försäljning av aktier samt penning- och kapitalmarknadsinstrument på avlsta-marknaden redovisas på affärsdagen. Mot-svarande gäller för derivat. Övriga finansiella tillgångar och skulder redovisas normalt på likviddagen. Finansiella tillgångar tas bort från balansräkningen när de avtalsenliga rättig-heterna till de kassaflöden som härrör från til-lgången upphör eller när samtliga risker och fördelar förknippade med tillgången överförs till någon annan. En finansiell skuld tas bort från balansräkningen när förpliktelsen upphör eller annulleras.

Vid rörelseförvärv redovisas den förvärvade rörelsen i koncernens räkenskaper från förvärvstidpunkten. Förvärvstidpunkten är den tidpunkt då bestämmande inflytande över den förvärvade enheten inträder. Förvärvstidpunkten kan skilja sig från den tidpunkt då transaktionen är lagligt fastställd.

Finansiella tillgångar och skulder kvittas i balansräkningen om banken har avtalsmässig rätt och avsikt att reglera posterna med ett netto-belopp. Ytterligare upplysningar om kvittning av finansiella tillgångar och skulder lämnas i not K23.

Principerna för redovisning av tillgångar och skulder i balansräkningen har bland annat sär-skild betydelse för redovisning av återköps-transaktioner, värdepapperslån och leasing, se respektive separat avsnitt.

7. KLASIFICERING AV FINANSIELLA TILLGÅNGAR OCH SKULDER

I värderingssyfte delas alla finansiella tillgångar i enlighet med bestämmelserna i IAS 39 in i följande värderingskategorier:

1. lån och andra fordringar
2. tillgångar som innehåller till förfall
3. tillgångar som värderas till verkligt värde via resultaträkningen
 - innehåller för handel
 - tillgångar som vid första redovisningstillfället kategoriserats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen
4. tillgångar som är tillgängliga för försäljning.

Finansiella skulder delas in i följande värderings-kategorier:

1. skulder som värderas till verkligt värde via resultaträkningen
 - skulder som innehåller för handel
 - skulder som vid första redovisningstillfället kategoriserats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen
2. övriga finansiella skulder.

Klassificeringen i balansräkningen är oberoende av värderingskategori. Olika värderingsprinciper kan således tillämpas för tillgångar och skulder som redovisas på samma rad i balansräkningen. En uppdelning av de klasser av finansiella tillgångar och skulder som redovisas i balans-räkningen med avseende på värderingskategori görs i not K39.

Vid första redovisningstillfället redovisas alla finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde. För tillgångar och skulder som värderas till verk-ligt värde via resultaträkningen förs transak-tionskostnader direkt till resultaträkningen vid anskaffningstillfället. För övriga finansiella instru-ment räknas transaktionskostnader in i anskaff-ningsvärdet.

Lån och andra fordringar

I kategorin Lån och andra fordringar redovisas onoterade räntebärande tillgångar. Lån och fordringar värderas till upplupet anskaffnings-värde, det vill säga det diskonterade nuvärdet av alla framtida betalningar hänförliga till instru-mentet där diskonteringsräntan utgörs av til-lgångens effektivränta vid anskaffningstillfället. Lån och fordringar prövas för nedskrivning när det finns en indikation på nedskrivningsbehov, se vidare under punkten 9. Nedskrivningar redovisas över resultaträkningen. Lån och fordringar redovisas därmed till sitt netto-belopp, efter avdrag för sannolika och konstaterade kreditförluster. Ränteskuldinnehav ersättning avseende lån och andra fordringar som åter-betalas i förtid redovisas omedelbart i resultat-räkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Tillgångar som innehåller till förfall

I kategorin tillgångar som innehåller till förfall redovisas räntebärande tillgångar som koncer-nen har för avsikt och förmåga att hålla till förfall. Tillgångar som kategoriserats som tillgångar innehållande till förfall värderas till upplupet anskaffningsvärde. Tillgångar som innehåller till förfall prövas för nedskrivning när det finns en indikation på nedskrivningsbehov, se vidare under punkten 9.

Tillgångar och skulder som innehåller för handel

Tillgångar och skulder som innehåller för handel består av noterade finansiella instrument och derivat. Finansiella instrument som innehåller för handel redovisas till verkligt värde i balans-räkningen. Räntor, utdelningar och andra värde-förändringar hänförliga till dessa instrument redovisas i resultaträkningen i posten Netto-resultat av finansiella transaktioner.

Finansiella tillgångar och skulder som vid första redovisningstillfället kategoriserats som värderade till verkligt värde via resultat-räkningen

Valmöjligheten att kategorisera finansiella instru-ment som värderade till verkligt värde via resultat-räkningen har tillämpats för finansiella tillgångar och skulder som inte innehåller för handel men för vilka den interna förvaltningen och utvärde-ringen baseras på verkliga värden. Denna värderingsprincip har även tillämpats för att undvika inkonsekvens vid värderingen av til-lgångar och skulder som utgör motpositioner till varandra och förvaltas på portföljbasis (till exempel tillgångar och skulder till följd av fond-försäkringsavtal). Valmöjligheten att redovisa tillgångar och skulder till verkligt värde över resultaträkningen har tillämpats för finansiella instrument som redovisas i balansräkningen under Belåningsbara stats-skuldförbindelser, Utlåning till allmänheten, Obligationer och andra räntebärande värdepapper, Aktier och andelar samt Tillgångar/Skulder där kunden står värde-förändringsrisken.

Förändringar i verkligt värde på finansiella instrument som värderas till verkligt värde redo-visas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Ränta hänförlig till utlåning som vid första redovisningstillfället kategoriserats som värderad till verkligt värde över resultaträkningen redovisas i räntenettot.

Finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning

Som finansiella tillgångar som är tillgängliga för försäljning redovisas större delen av koncernens innehav i sådana finansiella instrument för vilka det finns en aktiv marknad, men som inte inne-has för handel.

Finansiella tillgångar som kategoriserats som tillgängliga för försäljning värderas till verkligt värde i balansräkningen. Marknadsvärdes-förändringar på tillgångarna redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och ingår i verk-ligt värdereserven i eget kapital. Förändringar i verkligt värde redovisas i resultaträkningen först när tillgången realiserar eller när nedskrivning sker. Räntor hänförliga till denna kategori til-lgångar redovisas direkt i räntenettot i resultat-räkningen. Valutakurseffekter hänförliga till monetära tillgångar som är tillgängliga för för-säljning redovisas i Nettoresultat av finansiella transaktioner. Nedskrivningsprövning av finan-siella tillgångar som är tillgängliga för försäljning sker när det finns en indikation på nedskriv-ningsbehov – se vidare om nedskrivningar av finansiella tillgångar under punkten 9. Utdel-ningar på aktier som kategoriserats som

tillgängliga för försäljning redovisas löpande i resultaträkningen som Övriga utdelningsintäkter.

Omklassificering av finansiella instrument
Under räkenskapsåret 2008 omklassificerade Handelsbanken vissa portföljer av räntebärande värdepapper. Bestämmelserna i IAS 39 tillåter endast omklassificering för vissa finansiella tillgångar och endast under exceptionella omständigheter. Någon ytterligare omklassificering har inte genomförts sedan den omklassificeringen framgår av not K39.

Aterköpstransaktioner

Med återköpstransaktioner, eller repotransaktioner, avses avtal där parterna samtidigt har kommit överens om försäljning och återköp av ett visst värdepapper till ett i förväg bestämt pris. Värdepapper som säljs i en repotransaktion kvarstår i balansräkningen under transaktionens löptid. Det sålda värdepappret redovisas därutöver utanför balansräkningen som ställd säkerhet. Erhållen likvid redovisas beroende på motpart som Skuld till kreditinstitut eller In- och uppläning från almänheten. Värdepapper som köps i en repotransaktion redovisas på motsvarande sätt, det vill säga värdepappret tas inte upp i balansräkningen under transaktionens löptid. Den erlagda likviden redovisas beroende på motpart som Övrig utlåning till centralbanker, Utlåning till Övriga kreditinstitut eller Utlåning till almänheten. Mottagna pantar som sålts vidare under återköpsavtal redovisas som åtagande utanför balansräkningen.

Värdepapperslån

Värdepapper som lånats ut kvarstår i balansräkningen och redovisas därutöver utanför balansräkningen som Ställd säkerhet. Inlånade värdepapper tas inte upp i balansräkningen, såvida de inte säljs, då ett värde motsvarande det avyttrade värdepapprets verkliga värde tas upp som skuld. Inlånade värdepapper som vidareutlånats redovisas som åtagande utanför balansräkningen.

Finansiella garantier och lånelöften

Finansiella garantier är sådana förbindelser som kräver att utställaren gör angivna betalningar för att ersätta innehavaren för en förlust denne ådrar sig på grund av att en angiven gäldenär inte fullgör betalning vid förfall enligt villkoren i ett skuldinstrument, exempelvis en kreditgaranti. Det verkliga värdet på en utställd garanti motsvaras vid utfärdandet av den mottagna premien. Vid första redovisningstillfället redovisas den mottagna premien för garantin som

förutbetalad Intäkt i balansräkningen. Därefter värderas garantin till det högsta av den periodiserade premien, och det belopp som representerar den förväntade kostnaden för att reglera den förpliktelse som garantin ger upphov till. Därutöver redovisas det totala garanterade beloppet hänförligt till utställda garantier som en ansvarsförbindelse utanför balansräkningen. En infriad garanti redovisas, beroende på omständigheterna, som sannolik eller konstaterad kreditförlust.

Premier för köpta finansiella garantier periodiseras och redovisas som minskad räntelänt i räntenettet i den mån räntan på det instrument garantin avser redovisas där. Övriga premier för köpta garantier redovisas i provisionsnettot. Lånelöften redovisas som ett åtagande utanför balansräkningen fram till lånets likviddag. Mottagna avgifter för lånelöften periodiseras i provisionsnettot över åtagandets löptid, såvida det inte är mycket sannolikt att löftet kommer att infrias, då mottagen avgift räknas in i lånets effektivränta.

Sammansatta finansiella instrument

Tydligt separerbara finansiella komponenter av tillgångar och skulder (exempelvis derivat) särredovisas i balansräkningen i normalfallet. Så sker exempelvis i fråga om emitterade aktieindexobligationer och andra strukturerade produkter där derivatet redovisas separat från värdepapperskontraktet till verkligt värde över resultaträkningen.

Särredovisning sker inte i fråga om sammansatta finansiella instrument som innehåller för handel eller sammansatta finansiella instrument där de ekonomiska egenskaperna och riskerna i instrumentets olika komponenter är besläktade, exempelvis rörlig utlåning med räntetak. Värdet av konverteringsrätten i emitterade konvertibla skuldebrev särredovisas som eget kapital. Värdet av konverteringsrätten fastställs vid emissionsstillfället som skillnaden mellan det verkliga värdet på det konvertibla skuldebrevet som helhet minskat med det verkliga värdet på skuldkomponenten. Konverteringsrättens redovisade värde justeras inte under skuldebrevets löptid. Skuldkomponenten värderas och redovisas till verkligt värde i balansräkningen vid emissionsstillfället. Under löptiden redovisas skuldkomponenten till upplupet anskaffningsvärde till ursprunglig effektivränta.

8. PRINCIPER FÖR VÄRDERING AV FINANSIELLA TILLGÅNGAR OCH SKULDER TILL VERKLIGT VÄRDE

Verkligt värde definieras som priset till vilken en tillgång skulle kunna säljas eller en skuld överföras i en normal transaktion mellan oberoende marknadsaktörer.

För finansiella instrument som handlas på en aktiv marknad likställs verkligt värde med det aktuella marknadspriset. Som aktiv betraktas en sådan marknad där noterade priser med lätthet och regelbundenhet finns tillgängliga på en reglerad marknad, handelsplats, tillförlig nyhetstjänst eller motsvarande och där erhållna prisuppgifter lätt kan verifieras genom regelbundet förekommande transaktioner. Det aktuella marknadspriset motsvaras i regel av aktuell köpkurs för finansiella tillgångar respektive aktuell säljkurs för finansiella skulder. För grupper av finansiella instrument som förvaltas på basis av bankens nettoexponering för marknadsrisk likställs det aktuella marknadspriset med det pris som skulle erhållas eller betalas vid en avyttring av nettopositionen.

För finansiella instrument, för vilka tillförliga uppgifter om marknadspris saknas, bestäms verkligt värde med hjälp av värderingsmodeller. De värderingsmodeller som används bygger på indata som i allt väsentligt kan verifieras med marknadsobservationer, exempelvis marknadsräntor och aktiekurser. Vid behov görs en justering för andra variabler som en marknadsaktör förväntas ta i beaktande vid prissättningen. De antaganden som används vid värdering baseras på internt genererad erfarenhet och granskas löpande av riskkontrollfunktionen. Uppföljning görs mot verkliga utfall för att därigenom identifiera eventuella behov av anpassningar av antaganden och prognosverktyg.

Räntebärande värdepapper

Räntebärande värdepapper utgivna av stater samt svenska bostadsobligationer värderas med hjälp av aktuella marknadspriser. Företagsobligationer värderas med värderingstekniker som baseras på marknadsräntor för motsvarande löptid med justering för kredit- och likviditetsrisk. Värderingen genomgår regelbundet kontroll för att säkerställa att värderingen avspeglar gällande marknadspris. Kontrollerna utförs främst genom inhämtning av prisnoteringar från fler oberoende priställare samt avstämning mot nyligen genomförda transaktioner i samma eller likvärdiga instrument.

Aktier och andelar

Aktier noterade på en aktiv marknad värderas till marknadspris. Vid värdering av onoterade aktier och andelar styrs valet av värderingsmodell av vad som bedöms lämpligt för det enskilda instrumentet.

Innehav i onoterade aktier består i huvudsak av olika typer av gemensamägderskap med anknytning till bankens affär. Sådana innehav värderas i regel till bankens andel av

NOTER | KONCERNEN

subetansvärdet i bolaget. För onoterade aktier för vilka bolagsavtalet reglerar det pris till vilket aktierna kan avyttras, värderas innehaven till det i förväg bestämda avyttringspriset. Onoterade aktier är i allt väsentligt klassificerade som tillgängliga för försäljning. Värdeförändringar på dessa innehav redovisas därmed i övrigt totalresultat.

Vid värdering av onoterade andelar i riskkapitalfonder används på marknaden vedertagna värderingsmodeller som godkännts av European Venture Capital & Private Equity Association (EVCA). Dessa modeller innebär att investeringsföretagens marknadsvärde härleds genom relativvärdering av jämförbara noterade företag i samma bransch. Resultatposter som står jämförelse mellan investeringen och jämförelsebolaget justeras och därefter beräknas värdet av investeringen på basis av vinstmultiplar som exempelvis P/E och EV/EBITA. Värdeförändringar samt realiserat resultat på innehav i riskkapitalfonder som utgör en del av placerings-tillgångarna i försäkringsrörelsen redovisas inte direkt i resultaträkningen utan ingår i underlaget för beräkning av avkastningsdelning i försäkringsrörelsen, se vidare under punkten 12.

Derivat

Derivat som handlas på en aktiv marknad värderas till marknadspris. Merparten av koncernens derivatkontrakt, däribland ränteswappar och olika typer av linjära valutaderivat, värderas med värderingsmodeller som bygger på marknadsräntor och andra marknadspriser. Värderingen av icke-linjära derivatkontrakt som inte handlas aktivt bygger även på en rimlig skattning av marknadsbaserad indata, exempelvis volatilitet.

Vid modellvärdering av derivat förekommer i vissa fall differenser mellan transaktionspriset och det värde som räknats fram med hjälp av en värderingsmodell vid det första redovisningstillfället. Sådana skillnader orsakas av att den tillämpade värderingsmodellen inte fullt ut fångar upp alla komponenter som påverkar derivatets värde. Väsentliga realiserade resultat på grund av positiva skillnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell (så kallade dag 1-resultat) förs inte till resultatet vid det första redovisningstillfället, utan periodiseras över derivatets löptid. Banken gör därutöver löpande en fristående värdering av den sammanlagda kreditriskkomponenten (såväl egen kreditrisk som motpartsrisk) i utestående modellvärderade derivat. Förändringar i verkligt värde till följd av förändrad kreditrisk tas till resultatet i den utsträckning den sammanlagda effekten överstiger ännu ej resultatförda dag 1-resultat.

Utlåning klassificerad att värderas till verkligt värde

Utlåning som är klassificerad att värderas till verkligt värde via resultaträkningen värderas till nuvärdet av förväntade framtida kassaflöden. Vid beräkningen justeras marknadsräntan för kreditrisk. Den aktuella kreditriskpremlen antas motsvaras av den ursprungliga så länge det saknas belägg för att motpartens återbetalningsförmåga väsentligen försämrats. Information om återbetalningsförmåga hämtas från bankens interna ratingsystem. Värdeförändringar på lån värderade till verkligt värde redovisas i Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Tillgångar och skulder där kunden står värdeförändringsrisken

Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken består i huvudsak av fondandelar i fondförsäkringsavtal. Sådana fondandelar värderas till fondens aktuella marknadsvärde (NAV). Tillgångarna motsvaras av skulder för vilka kunden står värdeförändringsrisken. Värderingen av dessa skulder speglar värderingen av tillgångarna. Med hänsyn till att försäkringstagarna och fondandelsägarna har förmånsrätt i tillgångsmassan, saknas skäl för att justera värderingen för kreditrisk. Tillgångar och skulder där kunden står värdeförändringsrisken har i allt väsentligt kategoriserats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen.

9. KREDITFÖRLUSTER OCH NEDSKRIVNING AV FINANSIELLA TILLGÅNGAR

Lån och fordringar som redovisas till upplupet anskaffningsvärde. Individuell bedömning av nedskrivningsbehov avseende lån och andra fordringar som redovisas till upplupet anskaffningsvärde genomförs löpande av samtliga kund- och kreditansvariga enheter i koncernen. Nedskrivningsprövning görs i den mån det finns objektiva omständigheter som tyder på att en fordrans återvinningsvärde understiger dess bokförda värde. Sådana objektiva belägg kan exempelvis, beroende på omständigheterna, vara försenad eller utebliven betalning, konkurs, ändrad kreditrating eller nedgång i säkerheternas marknadsvärde.

Vid nedskrivningsprövning beräknas fordrans återvinningsvärde genom en diskontering av estimerade framtida kassaflöden hänförliga från fordran och eventuella säkerheter (inklusive garantier) med fordrans effektivränta. Är säkerheten en marknadsnoterad tillgång, görs värderingen av säkerheten med utgångspunkt i det noterade värdet. I annat fall görs värderingen med utgångspunkt i avkastningsvärdet eller på annat sätt uppskattat marknadsvärde. Säkerheter i form av fastighetssäckningar värderas

på samma sätt som övertagna fastigheter. Nedskrivning görs om det beräknade återvinningsvärdet understiger bokfört värde och redovisas som Kreditförlust i resultaträkningen. Redovisad kreditförlust reducerar fordrans bokförda värde i balansräkningen, antingen direkt (konstaterad förlust) eller genom ett avsättningskonto för kreditförluster (sannolik förlust).

Utöver denna individuella bedömning av fordringar görs en gruppvis bedömning i syfte att identifiera nedskrivningsbehov som ännu inte kan fördelas på enskilda krediter. Analysen baseras på en fördelning av individuellt värderade fordringar med avseende på riskklass. Nedskrivning görs om det är befogat med hänsyn till förändringar i riskklassificering och förväntad förlust. Nedskrivningar som redovisas för en grupp fordringar förs över till nedskrivningar avseende enskilda fordringar så snart det finns tillgänglig information om värderingsminskning på individuell nivå. En gruppvis nedskrivningsprövning görs även för homogena grupper av mindre fordringar med likartad riskprofil.

Periodens kreditförluster utgörs av konstaterade och sannolika förluster för beviljade krediter med avdrag för återvinningar samt återförda tidigare gjorda nedskrivningar för sannolika kreditförluster. Konstaterade kreditförluster kan avse hela eller delar av fordringar och redovisas då det inte finns någon realistisk möjlighet till återvinning. Så är exempelvis fallet när konkursförvaltare lämnat uppskattning av utdelning i konkurs, när ett ackordsförslag antagits eller när en fordran eftergivits på annat sätt. Belopp som efterges i samband med en omstrukturering av en fordran eller grupp av fordringar klassificeras alltid som konstaterad kreditförlust. I de fall kunden följer betalplanen för en kredit som sedan tidigare har klassificerats som konstaterad kreditförlust, sker en omprövning av förlustens storlek. Återvinningar består av återförda belopp på kreditförluster som tidigare redovisats som konstaterade. Information om sannolika och konstaterade kreditförluster lämnas i not K10.

Ränteeffekter som uppstår till följd av diskonterings effekter då perioden fram till förväntad inbetalning minskar resulterar i en upplösning av tidigare reserverade belopp som redovisas som räntetäkt i enlighet med effektivräntemetoden.

Upplysningar om osäkra fordringar

Upplysningar om osäkra fordringar lämnas brutto. Innan reservering för sannolika kreditförluster, och netto efter reservering för sannolika kreditförluster. Fordringar definieras som osäkra om det inte är sannolikt att samtliga

kontrakterade kassaflöden kommer att fullgöras. Varje fordran som klassificerats som osäker ingår i det redovisade värdet på osäkra fordringar med sitt fulla belopp, även om delar av fordran täcks av säkerheter. Fordringar som skrivits ned som konstaterade kreditförluster ingår inte i osäkra fordringar.

Värdering av egendom som övertagits för skyddande av fordran

Vid första redovisningstillfället redovisas övertagen egendom till verkligt värde i balansräkningen. Övertagen egendom (inklusive övertagna leasingobjekt) som förväntas avyttras inom en snar framtid, tas vid efterföljande värdering upp till det lägsta av redovisat värde och verkligt värde med avdrag för kostnader för försäljning. Övertagna fastigheter som inte förväntas avyttras inom en snar framtid redovisas som förvaltningsfastigheter till verkligt värde över resultaträkningen. Onoterade aktieinnehav som övertas för skyddande av fordran redovisas som finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning.

Nedskrivning av finansiella tillgångar som är tillgängliga för försäljning

Nedskrivning av finansiella tillgångar som är tillgängliga för försäljning görs när det finns objektiva belägg för att en eller flera förlusthändelser inträffat som har en inverkan på de förväntade framtida kassaflödena för tillgången. Vad avser räntebärande finansiella tillgångar utgör exempel på förlusthändelser som kan indikera ett nedskrivningsbehov en sannolik framtida konkurs, bevis för betydande finansiella svårigheter hos emittenten eller bevis för bestående förändring i marknaden för tillgången. För eget kapitalinstrument utgör en bestående eller betydande nedgång i dess verkliga värde en indikation på nedskrivningsbehov. Vid nedskrivning förs en andel av den ackumulerade förlust som tidigare redovisats i verkligt värdereserven i eget kapital till resultaträkningen.

Tidigare gjorda nedskrivningar på räntebärande värdepapper, som kategoriserats som finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning, återförs via resultaträkningen om tillgångens verkliga värde ökat efter nedskrivning och ökningen objektivt kan hänföras till en händelse som inträffat efter nedskrivningstillfället. Tidigare nedskrivningar på eget kapitalinstrument som kategoriserats som finansiella instrument tillgängliga för försäljning återförs inte.

10. SÄKRINGSREDOVISNING

Koncernen tillämpar olika metoder för säkringsredovisning beroende på syftet med säkringen. Som säkringsinstrument används derivat, i

huvudsak ränte- och valutaränteswapper. Vid säkringar av valutarisker kopplade till nettoinvesteringar i utländska enheter används även skulder i respektive utländsk enhets funktionella valuta som säkringsinstrument. Som en del av koncernens säkringsstrategier delas värdet på säkringsinstrument i vissa fall upp och ingår i fler än en säkringsrelation. Ett och samma säkringsinstrument kan därmed säkra olika risker. Sådan uppdelning görs endast om de säkrade riskerna tydligt kan identifieras, om effektiviteten kan mätas tillförlitligt och om den totala värdeförändringen på instrumentet ingår i någon säkringsrelation.

Kassaflödessäkring används för att hantera exponeringar för variationer i kassaflöden hänförliga till förändringar i rörlig ränta på ut- och upplåning. Den förväntade köptiden för sådan ut- och upplåning är i regel betydligt längre än blindningstiden som är mycket kort. Kassaflödessäkring används även för att säkra valutarisken i framtida kassaflöden hänförliga till ut- och upplåning. Även valutarisker hänförliga till koncerninterna monetära poster kan omfattas av denna typ av säkring. I den mån de ger upphov till valutaexponeringar som inte elimineras vid upprättande av koncernredovisningen. Derivat som är säkringsinstrument i kassaflödessäkringar värderas till verkligt värde. I den mån derivatets värdeförändring är effektiv, det vill säga motsvaras av framtida kassaflöden hänförliga till den säkrade posten, redovisas den som en komponent i övrigt totalresultat och i säkringsreserven i eget kapital. Ineffektiva delar av derivatets värdeförändring redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Då kassaflödessäkringar avslutas i förtid periodiseras den ackumulerade värdeförändring, som tidigare redovisats i övrigt totalresultat, i Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Säkringar av verkligt värde tillämpas i syfte att skydda koncernen mot icke önskvärda resultat-effekter på grund av exponeringar för förändringar i marknadspriser. Säkringar av verkligt värde tillämpas för enskilda tillgångar och skulder, samt för portföljer av finansiella instrument. Säkrade risker i säkringspaket till verkligt värde består av ränte- och valutarisk i ut- och upplåning till fast ränta samt utlåning med räntetak. Säkringsinstrumenten i dessa säkringsrelationer består av ränte- och valutaränteswapper samt ränteoptioner. Vid säkring av verkligt värde värderas såväl säkringsinstrumentet som den säkrade risken till verkligt värde. Värdeförändringarna redovisas direkt i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. När portföljsäkring tillämpas redovisas värdet på den säkrade posten på en enskild rad

i balansräkningen i anslutning till Utlåning till allmänheten. Då säkringar av verkligt värde avslutas i förtid periodiseras den upparbetade värdeförändringen på den säkrade posten i Nettoresultat av finansiella transaktioner. Ackumulerade värdeförändringar på portföljsäkringar som avslutats i förtid redovisas i balansräkningen under posten Övriga tillgångar.

Säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamheter tillämpas för att skydda koncernen mot valutakursdifferenser till följd av verksamhet i utlandet. Som säkringsinstrument används valutaränteswapper samt lån i utländsk valuta. Den säkrade posten i dessa säkringar utgörs av nettoinvesteringar i form av direkta investeringar samt fordringar på utlandsverksamhet som inte förväntas regleras inom en överskådlig framtid. Lån i utländsk valuta som säkrar nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas i koncernen till kursen på balansdagen. Den effektiva delen av valutakursdifferenser på sådana lån redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och i omräkningsreserven i eget kapital. Så redovisas även den effektiva delen av värdeförändringar på valutaränteswapper som säkrar valutakursrisk i fordringar på utlandsverksamhet. Ineffektiva delar av säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

11. LEASING

Koncernens leasingavtal är antingen finansiella eller operationella. Finansiella leasingavtal är sådana avtal där de ekonomiska risker och fördelar som förknippas med ägandet av den leasade tillgången i allt väsentligt överförs från leasegivaren till leasetagaren. Övriga leasingavtal betraktas som operationella leasingavtal. Samtliga avtal där koncernen är leasegivare har definierats som finansiella leasingavtal. Sådana leasingavtal redovisas som utlåning i balansräkningen. Inläst till ett belopp som motsvarar nettoinvesteringen. Erhållna leasingavgifter redovisas löpande som ränteliktigheter respektive amorteringar. Nedskrivningsprövning av finansiella leasingavtal görs enligt samma principer som för övrig utlåning som redovisas till upplupet anskaffningsvärde.

Operationella leasingavtal redovisas inte i balansräkningen. Kostnader hänförliga från operationella leasingavtal där koncernen är leasetagare kostnadsförs linjärt över tiden som Övriga kostnader.

12. FÖRSÄKRINGSVERKSAMHET

Koncernens försäkringsverksamhet bedrivs i dotterbolaget Handelsbanken Liv. Verksamhetens

NOTER | KONCERNEN

produkter består främst av legala livförsäkringar i form av traditionell livförsäkring och fondförsäkring samt riskförsäkringar i form av sjukförsäkring och premiebefrielse.

Klassificering och uppdelning av försäkringskontrakt

I koncernredovisningen klassas sådana avtal som innehåller betydande försäkringsrisk som försäkringskontrakt. Avtal som inte överför betydande försäkringsrisk klassificeras i sin helhet som investeringsavtal. I regel innebär detta att försäkringar med återbetalningskydd klassas som investeringsavtal och övriga avtal klassas som försäkringskontrakt. Försäkringskontrakt som består av både försäkringskomponenter och sparande (finansiella komponenter) delas upp och särredovisas i enlighet med de principer som beskrivs i det följande.

Redovisning av försäkringskomponenter i försäkringskontrakt

Premieintäkter och utbetalda försäkringsersättningar avseende försäkringsavtal redovisas i resultaträkningen i nettoposten Riskresultat försäkring. Under denna post redovisas även årets förändring av koncernens försäkringskulder.

Mottagna premier som ännu ej intäktsförts redovisas som skuld för inbetalda premier under posten Försäkringskulder i balansräkningen. I balansposten Försäkringskulder ingår även skulder för sjukräntor, livräntor samt andra oreglerade skador. Försäkringskulden värderas genom diskontering av uppskattade framtida kassaflöden hänförliga till ingångna försäkringsavtal. Värderingen bygger på antaganden om ränta, livslängd, hälsa och framtida avgifter. Livslängdsantagandena varierar med hänsyn till när försäkringen tecknats och beaktar den förväntade framtida ökningen av livslängden. Även avgiftsantagandena beror på när försäkringen tecknats. Det innebär i huvudsak en avgift som är proportionell mot premien och en avgift som är proportionell mot livförsäkringsavsättningen. Tillämpade antaganden om de försäkrades framtida hälsa är baserade på internt genererad erfarenhet och varierar beroende på produkt. Räntesantagandena är baserade på aktuella marknadsräntor och beror på skuldens löptid. Koncernens försäkringskulder provas regelbundet och minst årligen i syfte att säkerställa att den redovisade försäkringskulden är tillräcklig för att täcka förväntade framtida anspråk. Vid behov görs en ytterligare avsättning. Mellanskillnaden redovisas i resultaträkningen.

Redovisning av investeringsavtal samt finansiella komponenter i försäkringskontrakt

Inbetalningar och utbetalningar avseende kunders sparkapital som hör från investeringsavtal samt finansiella komponenter i försäkringskontrakt redovisas som insättningar respektive uttag direkt i balansräkningen.

Den från försäkringskontraktet separerade finansiella komponenten i traditionella legala livförsäkringar redovisas i balansräkningen som upplåning från allmänheten. Dessa skulder värderas till det högsta av garanterat belopp och försäkringens aktuella värde. Det garanterade beloppet förräntas med garanterad ränta och motsvarar försäkringens upplupna anskaffningsvärde. Försäkringens aktuella värde är lika med värdet av de tillgångar som förvaltas för försäkringstagarnas räkning, och förräntas med en avkastning som bestäms från totalavkastningen för tillgångarna med avdrag för eventuell avkastningsdelning. Avkastningsdelningen innebär att försäkringsgivaren tilldelas en avtalad del av totalavkastningen om denna avkastning under kalenderåret överstiger den garanterade räntan. Beräkningen görs årligen och ackumulerat för varje enskilt försäkringskontrakt. Det innebär att den vilkorade återbärningen minskar i de fall avkastningen ett enskilt år understiger garantiräntan och vice versa. Den del av avkastningen som enligt modellen för avkastningsdelning tillfaller koncernen redovisas som provisionsintäkt. I det fall avkastningen understiger den per kontrakt garanterade räntan redovisas mellanskillnaden i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Tillgångar och skulder som hör från fondförsäkringsavtal redovisas till verkligt värde i balansräkningen som Tillgångar och skulder där kunden står värdeförändringsrisken.

Premieavgifter samt administrativa avgifter avseende investeringsavtal samt finansiella komponenter i försäkringskontrakt periodiseras och redovisas i resultaträkningen i posten Provisionsintäkter. Anskaffningskostnader redovisas direkt i resultaträkningen.

Återförsäkring

Återförsäkras andel av koncernens försäkringskulder redovisas som Återförsäkringstillgångar i balansräkningen.

13. IMMATERIELLA TILLGÅNGAR

Redovisning i balansräkningen

En immateriell tillgång är en identifierbar, icke-monetär tillgång utan fysisk form. Immateriella tillgångar tas endast upp i balansräkningen om det är troligt att de framtida ekonomiska fördelar

som hör från tillgången kommer att tillfalla koncernen och det går att beräkna anskaffningsvärdet på ett tillförlitligt sätt. Det innebär att internt upparbetade värden i form av goodwill, varumärken, kundregister och liknande inte redovisas som tillgångar i balansräkningen.

Investeringar i egenutvecklad programvara tas till resultatet löpande i den mån utgifterna avser underhåll av befintlig affärsverksamhet eller befintlig programvara. Vid egen utveckling av ny programvara, eller vid utveckling av befintlig programvara för ny affärsverksamhet, aktiveras nedlagda utgifter, som kan beräknas på ett tillförlitligt sätt, från den tidpunkt det är sannolikt att ekonomiska fördelar kommer att uppstå. Utgifter som härrör från länekostnader aktiveras från den tidpunkt beslut har fattats om aktivering av utgifter för utveckling av immateriell tillgång.

Vid ett rörelseförvärv hänförs förvärvspriset till värdet av förvärvade identifierbara tillgångar, skulder och eventuella förpliktelser i den förvärvade rörelsen. Bland dessa tillgångar kan även ingå sådana immateriella tillgångar som inte skulle ha tagits upp i balansräkningen om de förvärvats separat eller upparbetats internt. Den del av förvärvspriset som vid ett rörelseförvärv inte kan hänföras till identifierbara tillgångar och skulder redovisas som goodwill.

Goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod

Goodwill och andra immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod redovisas till anskaffningsvärde med avdrag för eventuella nedskrivningar. Nedskrivningsprövning sker årligen i samband med bokslutet eller när det finns en indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivningsprövning görs genom en beräkning av tillgångens återvinningsvärde, det vill säga det högsta av nyttjandevärdet och det verkligavärdet med avdrag för försäljningskostnader. Så länge återvinningsvärdet överstiger redovisat värde är nedskrivning ej befogad. Nedskrivningar redovisas direkt i resultaträkningen.

Med hänsyn till att det inte är möjligt att särskilja de kassaflöden som hänförs från goodwill från kassaflöden som hänförs från andra tillgångar, sker nedskrivningsprövningen på nivån kassagenererande enhet. En kassagenererande enhet är den minsta grupp tillgångar som ger upphov till inbetalningar som är oberoende av inbetalningar från andra tillgångar eller tillgångsgrupper. Goodwill följs upp på rörelsesegment-nivå. Väsentliga bedömningar och antaganden vid nedskrivningsprövning av goodwill framgår av not K24. Tidigare gjorda nedskrivningar av goodwill återförs inte.

Immateriella tillgångar med bestämbar nyttjandeperiod

Immateriella tillgångar för vilka det går att fastställa en bedömd nyttjandeperiod är föremål för avskrivning. Avskrivningen sker linjärt över nyttjandeperioden. För närvarande innebär det att kundkontrakt skrivs av på 20 år och att internt utvecklad programvara vanligen skrivs av på fem år. I vissa infrastrukturprojekt bedöms nyttjandeperioden vara längre än fem år. För sådana investeringar är avskrivningstiden upp till 15 år. Varumärken som är föremål för avskrivning skrivs av på fem år. Avskrivningstiden provas individuellt, dels vid nyanskaffning, dels förtjäpande vid indikation på att nyttjandeperioden kan ha ändrats. Immateriella tillgångar med bestämbar nyttjandeperiod provas för nedskrivning när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivningsprövning görs i enlighet med samma principer som för immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod, det vill säga genom en beräkning av tillgångens återvinningsvärde.

14. FASTIGHETER OCH INVENTARIER

Koncernens materiella anläggningstillgångar består av fastigheter och inventarier. Med undantag av sådana fastigheter som utgör placeringstillgångar i försäkringsrörelsen samt fastigheter som övertagits för skydd av fordran, värderas dessa tillgångar till anskaffningsvärde med avdrag för ackumulerade av- och nedskrivningar.

Avskrivningarna sker utifrån tillgångarnas bedömda nyttjandeperioder. Normalt tillämpas en linjär avskrivningsplan. De bedömda nyttjandeperioderna provas årligen. De materiella tillgångar som består av delkomponenter med olika bedömda nyttjandeperioder, indelas i olika kategorier med separata avskrivningsplaner. Sådan så kallad komponentavskrivning är normalt endast aktuell avseende fastigheter. Som delkomponenter betraktas då de delar av fastigheten som har ett anskaffningsvärde som är betydande i förhållande till det sammanlagda anskaffningsvärdet. Resterande delar av fastigheten (stomme) skrivs av som helhet över den förväntade nyttjandeperioden. För närvarande är den bedömda nyttjandeperioden för stomme 100 år, för vatten och avlopp 35 år, för tak 30 år, för fasad, värme, ventilation och el 25 år, för hissar 20 år och för byggnadsinventarier 10 år. Persondatorer och övrig IT-utrustning skrivs i regel av på tre år och investeringar i bankvalv och liknande lokalinvesteringar på tio år. Övriga inventarier skrivs normalt av på fem år.

Nedskrivningsprövning av materiella anläggningstillgångar sker när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivning görs i det fall återvinningsvärdet understiger det redovisade värdet. Eventuell nedskrivning redovisas omedelbart i resultaträkningen. En nedskrivning reverseras om det finns indikation på att nedskrivningsbehovet inte längre föreligger och det har skett en förändring i de antaganden som ligger till grund för beräkningen av återvinningsvärdet.

15. AVSÄTTNINGAR

Posten Avsättningar består av resultatförda förväntade negativa utflöden av resurser från koncernen som är ovisst vad gäller förfallotidpunkt eller belopp. Avsättningar redovisas när koncernen till följd av en inträffad händelse har en legal eller informell förpliktelse som det är sannolikt att det kommer att krävas ett utflöde av resurser för att reglera. För att redovisning ska kunna ske måste det vara möjligt att göra en tillförlitlig uppskattning av beloppet. Avsättningen värderas till det belopp som motsvarar den bästa uppskattningen av vad som krävs för att reglera förpliktelsen på balansdagen. Vid värderingen tas hänsyn till den förväntade framtida tidpunkten för reglering.

Avsättningar redovisas för omstruktureringar. Med omstrukturering avses genomgripande organisationsförändring, till exempel genom att anställda får avgångsvederlag för förtida uppsägning, eller nedläggningar av kontor. För att en avsättning ska redovisas krävs att en omstruktureringsplan har fastställts och tillkännagivits så att det har skapats en välgrundad förväntan hos dem som berörs av att företaget kommer att genomföra omstruktureringen. En avsättning för omstrukturering omfattar enbart de direkta utgifter som uppstår vid omstruktureringen och som inte hör samman med den framtida verksamheten.

16. EGET KAPITAL

Eget kapital består av de komponenter som beskrivs i det följande.

Överkursfond

Överkursfonden består av optionskomponenten av emitterade konvertibla skuldebrev och det belopp som vid emission av aktier samt vid konvertering av konvertibla skuldebrev överstiger de emitterade aktiernas kvotvärde.

Säkringsreserv

I säkringsreserven redovisas realiserade värdeförändringar på derivatinstrument som utgör säkringsinstrument i kassafödessäkringar.

Reserv för verkligt värde

Reserven för verkligt värde består av realiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar som klassificerats som tillgängliga för försäljning.

Omräkningsreserv

Omräkningsreserven består av realiserade valutakurseffekter som uppstår till följd av omräkning av utländska enheter till koncernens rapporteringsvaluta.

Förmånsbestämda pensionsplaner

I posten Förmånsbestämda pensionsplaner redovisas aktuariella vinster och förluster på pensionsförpliktelsen samt avkastning som överstiger den beräknade avkastningen på förvalningstillgångarna.

Balanserade vinstmedel

Balanserade vinstmedel består av intjänat resultat från innevarande och tidigare räkenskapsår. Utdelning samt återköp av egna aktier redovisas som avdrag från balanserade vinstmedel.

Minoritetsintresse

Minoritetsintresse utgörs av den andel av koncernens nettotillgångar som inte direkt eller indirekt ägs av moderföretagets stamaktieägare. Minoritetsintresse redovisas som en separat andel av eget kapital.

Redovisning av egna aktier

Återköpta egna aktier redovisas inte som tillgång utan kvittas mot posten Balanserade vinstmedel i eget kapital.

17. INTÄKTER

Intäkter redovisas i resultaträkningen när det är sannolikt att framtida ekonomiska fördelar kommer att erhållas och dessa fördelar kan beräknas på ett tillförlitligt sätt. Följande generella principer gäller i fråga om tidpunkt för intäktsföring av olika typer av ersättningar:

- Ersättningar som tjänas in successivt genom att tjänster utförs, exempelvis förvaltningsavgifter inom kapitalförvaltningen, intäktsförs i takt med att dessa tjänster levereras.
- Ersättningar hänförliga till en specifik tjänst eller handling intäktsförs när tjänsten utförts. Till dessa intäkter hör courtage och betalningsprovisioner.
- Ersättningar som utgör en del av effektivräntan för ett finansiellt instrument periodiseras i det fall instrumentet värderas till upplupet anskaffningsvärde i enlighet med effektivräntemetoden. För finansiella instrument som värderas till verkligt värde intäktsförs motsvarande ersättningar direkt.

NOTER | KONCERNEN

Räntenetto

Räntelntäkt och räntekostnader redovisas i räntenetto i resultaträkningen, med undantag för ränteflöden som härrör från finansiella instrument som innehåller för handel. I räntenetto redovisas även räntor hänförliga till derivatinstrument som säkrar poster vars ränteflöden redovisas i räntenetto. Utöver räntelntäkt och räntekostnader ingår i räntenetto avgifter för statliga garantier, exempelvis insättningsgaranti och stabilitetsavgiften.

För att få ett räntenetto rensat från ränteflöden som härrör från finansiella tillgångar och skulder som innehåller för handel och samtidigt åstadkomma en samlad bild av aktiviteten i handelslaget, redovisas räntelntäkt och räntekostnader hänförliga till finansiella tillgångar och skulder som innehåller för handel i resultatposten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Provisionsnetto

Intäkt och kostnader för olika typer av tjänster redovisas i resultaträkningen som Provisionsintäkt respektive Provisionskostnader. Det innebär bland annat att courtage och olika former av förvaltningsavgifter redovisas som provisioner. Andra typer av intäkt som redovisas som provisioner är betalningsprovisioner och kortavgifter, premier avseende utställda finansiella garantier liksom provisioner i försäkringsverksamheten. Även positiv avkastningsdelning i försäkringsrörelsen redovisas som provision. Räntelknande garantiprovisioner samt avgifter som utgör integrerade delar av finansiella instrument och därför räknas in i effektivräntan, redovisas inte som provisioner utan ingår i räntenetto.

Nettoresultat av finansiella transaktioner

Posten Nettoresultat av finansiella transaktioner samlar upp all den resultatpåverkan som uppstår vid värdering av finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde över resultaträkningen och vid realisation av alla finansiella tillgångar och skulder. Mer specifikt redovisas här:

- realisationsresultat från avyttring och reglering av finansiella tillgångar och skulder
- realiserade värdeförändringar på de tillgångar och skulder som vid första redovisningstillfället klassificerats som Tillgångar som värderas till verkligt värde via resultaträkningen, exklusive den del av värdeförändringen som redovisas som ränta
- realiserade och realiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar och skulder som har klassificerats som innehav för handel
- räntor hänförliga till finansiella instrument som innehåller för handel, med undantag för sådana räntor som härrör från derivat som säkrar poster vars ränteflöden redovisas i räntenetto

- utdelningsintäkt på de finansiella tillgångar som har klassificerats som innehav för handel
- realiserade förändringar i verkligt värde avseende den säkrade risken i tillgångar och skulder som är säkrade poster i säkringar till verkligt värde, samt periodisering av sådana realiserade värdeförändringar för säkringar som avbrutits i förlid
- realiserade värdeförändringar på derivat som utgör säkringsinstrument i säkringar till verkligt värde
- ineffektiv del av värdeförändringar på säkringsinstrument som utgör säkringsinstrument i kassafödersäkringar och säkringar av nettoinvesteringar i utländska verksamheter
- negativ avkastningsdelning i försäkringsrörelsen, det vill säga de förluster som uppstår när avkastningen på finansiella tillgångar i försäkringsrörelsen understiger den garanterade skulduppräknningen.

Mottagen utdelning

Utdelningar på aktier som kategoriserats som tillgängliga för försäljning redovisas i resultaträkningen som Övriga utdelningsintäkt. Utdelningar på aktier som kategoriserats som finansiella tillgångar som innehåller för handel redovisas i resultaträkningen som Nettoresultat av finansiella transaktioner. Utdelningar på aktier i intresseföretag ingår inte i posten Utdelningar i resultaträkningen. Redovisning av andelar i intresseföretag resultat beskrivs under punkten 3.

**18. ERSÄTTNINGAR TILL ANSTÄLLDA
Personalkostnader**

Som Personalkostnader redovisas löner, pensionskostnader och andra former av direkta personalkostnader inklusive socialavgifter, särskild löneskatt på pensionskostnader och andra former av lönebidkostnader. Eventuella ersättningar i samband med avslutad anställning skuldförs vid avtalets ingång och periodiseras över återstående tjänstgöringstid.

Redovisning av pensioner

Ersättningar till anställda efter anställningens upphörande utgörs av dels avgiftsbestämda, dels förmånsbestämda planer. Som avgiftsbestämda planer redovisas sådana planer för ersättningar enligt vilka koncernen betalar fastställda avgifter till en utomstående juridisk enhet och därefter saknar rätt till eller informell förpliktelse att betala ytterligare avgifter om den juridiska enheten saknar tillgångar för att fullgöra sitt åtagande gentemot den anställda. Erlagda premier för avgiftsbestämda planer redovisas löpande i resultaträkningen som personalkostnad. Övriga planer för ersättning efter avslutad

anställning redovisas som förmånsbestämda planer. Vid förmånsbaserad pensionslösning utgår en pension baserad på lön och anställningstid, vilket innebär att arbetsgivaren bär alla väsentliga risker för fullgörandet av pensionsutfästelsen. För majoriteten av de förmånsbaserade pensionsplanerna har koncernen avskilt förvaltningstillgångar i pensionsstiftelser och pensionskassa. Som nettoskuld i balansräkningen avseende de förmånsbaserade pensionsplanerna redovisas pensionsförpliktelserna minskade med förvaltningstillgångarna. Aktuella vinster och förluster på pensionsförpliktelserna, samt avkastning som överstiger avkastning enligt diskonteringsränta på förvaltningstillgångarna, redovisas i övrigt totalresultat.

Den redovisade pensionskostnaden avseende förmånsbestämda planer utgörs av nettot av följande poster, som samtliga ingår i personalkostnader:

- + Intjänad pensionsrätt under året, det vill säga årets andel av den beräknade slutliga totala pensionsutbetalningen. Beräkningen av intjänad pensionsrätt utgår från en beräknad slutlön och är föremål för aktuella antaganden.
- + Årets räntekostnad på grund av att nuvärdet av pensionskulden har ökat under året då tiden till utbetalning minskat. För beräkning av årets räntekostnad används aktuell företagsobligationsränta (räntan vid årets början) för en löptid motsvarande återstående tid till utbetalning av pensionskulden.
- Beräknad avkastning (ränta) på förvaltningstillgångarna. Räntan på förvaltningstillgångar redovisas i resultatet med tillämpning av samma ränta som vid fastställande av årets räntekostnad.
- + Beräknade kostnader för särskild löneskatt periodiseras i enlighet med samma principer som tillämpas för den underliggande pensionskostnaden.

Beräkningen av kostnader och åtaganden med anledning av koncernens förmånsbestämda planer är förenad med ett flertal bedömningar och antaganden som kan ha en betydande inverkan på redovisade belopp. En utförligare beskrivning av dessa antaganden och bedömningar lämnas under punkten 20 samt i not K8.

19. SKATTER

Periodens skattekostnad utgörs av aktuell skatt samt uppskjuten skatt. Som aktuell skatt redovisas skatter som hänförs sig till periodens eller tidigare perioders skattepliktiga resultat. Uppskjuten skatt är skatt som hänförs sig till temporära skillnader mellan en tillgångs eller skulds redovisade värde och dess skattepliktiga värde. Uppskjutna skatter värderas till den skattesats som bedöms vara tillämplig då posten

realiseras. Uppskjutna skattefordringar avseende avdragsgilla temporära skillnader och underskottsavdrag redovisas endast i den mån det är sannolikt att dessa kommer att utnyttjas. Uppskjutna skatteskulder värderas till nominellt värde. Skatt redovisas i resultaträkningen, i övrigt totalresultat eller direkt i eget kapital beroende på var den underliggande transaktionen redovisas.

20. UPSKATTNINGAR OCH VÄSENTLIGA BEDÖMNINGAR

Tillämpningen av koncernens redovisningsprinciper innebär i vissa fall att bedömningar måste göras som får en väsentlig inverkan på redovisade belopp. Redovisade belopp påverkas dessutom i ett antal fall av antaganden om framtiden. Sådana antaganden innebär alltid en risk för en justering av det redovisade värdet för tillgångar och skulder. De bedömningar och antaganden som görs speglar alltid företagsledningens bästa och mest rimliga uppfattning och är kontinuerligt föremål för granskning och validering. Följande bedömningar och antaganden har haft en väsentlig påverkan på de finansiella rapporterna. Uppgifter om väsentliga antaganden lämnas även i respektive not.

Aktuariell beräkning av förmånsbestämda pensionsplaner

Beräkningen av koncernens kostnader och förpliktelser för förmånsbestämda pensioner bygger på ett flertal aktuariella, demografiska och finansiella antaganden som har betydande inverkan på redovisade belopp. En förteckning över de antaganden som använts vid beräkningen av årets avsättning finns i not K8. Beräkningen av pensionsförpliktelserna avseende anställda i Sverige bygger på DUS14 som är på marknaden vedertagna antaganden om livslängd baserade på statistik framtagen av Svensk Försäkring. Antagandena om framtida löneökningar och inflation bygger på den förväntade långsiktiga utvecklingen.

Diskonteringsräntan baseras på förstklassiga företagsobligationer. Säkerställda bostadsobligationer anses i detta sammanhang vara företagsobligationer. Löptiden överensstämmer med den uppskattade genomsnittliga löptiden för pensionsförpliktelserna, vilken uppgår till 20 år. Då det saknas en likvid marknad för säkerställda bostadsobligationer med denna löptid fastställs istället diskonteringsräntan med utgångspunkt från en räntekurva. Räntekurvan är byggd som en spread över den svenska swapkurvan. Spreaden, som baseras på säkerställda bostadsobligationer exkluderat agna emissioner, appliceras på swapkurvan. På detta sätt modelleras en räntekurva fram utifrån vilken en 20-årig ränta kan härledas.

En känslighetsanalys av koncernens pensionsförpliktelse för varje betydande aktuariellt antagande, som visar hur förpliktelserna skulle ha påverkats av rimligt möjliga förändringar i dessa antaganden, framgår av not K8.

Bedömning av nedskrivningsbehov på lån och andra fordringar

Värdet på koncernens fordringar provas löpande och individuellt för varje fordran. Vid behov skrivs fordran ned till bedömt återvinningsvärde. Det uppskattade återvinningsvärdet bygger på en bedömning av motpartens finansiella återbetalningsförmåga och antaganden om realisationsvärdet på eventuella säkerheter. Det slutliga utslaget kan komma att avvika från ursprungliga reserveringar för kreditförluster. De bedömningar och antaganden som används är föremål för regelbunden kontroll inom ramen för den interna kreditorganisationen. Se vidare not K2 för en mer utförlig beskrivning av intern riskkontroll och bankens hantering av kreditrisk.

NOTER | KONCERNEN

K2 Risk- och kapitalhantering

Handelsbanken arbetar utifrån en väl beprövad affärsmodell som varit oförändrad i över 40 år. Affärsmodellen innebär en mycket låg risktolerans. Banken har som ett resultat uppvissat mycket stabila lönsamhetsnivåer under lång tid och det finansiella målet har uppnåtts i över 40 år i följd. Bankens affärsmodell fokuserar på att ta kreditrisker i kontorsrörelsen och av modellen följer att banken endast tar kreditrisker som är i linje med bankens restriktiva syn på risk. Alla övriga risker, som till exempel marknadsrisker och likviditetsrisker, eftersträvar banken att så långt som möjligt begränsa.

Handelsbankens kreditförlustnivå har under de senaste decennierna varit väsentligt lägre än genomsnittet hos övriga nordiska banker. Bankens uttalade målsättning är alltid att ingen kredit ska medföra en förlust. Detta förhållningssätt är helt styrande för kontorens kreditgivning och arbete med sina kreditportföljer.

Genom uppbyggnad av likviditetsreserver och matchning av kassaflöden har banken sedan lång tid arbetat med att begränsa likviditetsriskerna. Även detta är ett naturligt resultat av bankens låga risktolerans och arbetet påbörjades innan de nya likviditetsreglerna utformades. Handelsbanken är den enda av de större svenska bankerna som genom hela den senaste finanskrisen, liksom vid krisen i början av 1990-talet, klarat sin finansiering helt på egen hand, utan stöd från vare sig centralbanker eller myndigheter.

Även marknadsriskerna i Handelsbanken har från låga nivåer minskats ytterligare under de senaste åren och är i dag mycket låga. Detta arbete har pågått under en längre tid och påbörjades innan finanskrisen utbröt och innan regelverket började tillmätta marknadsrisker den betydelse som görs i dag.

RISKTOLERANS

Handelsbankens decentraliserade affärsmodell baseras på att ta kreditrisker i kontorsrörelsen. Dessa risker ska samtidigt hållas låga. Banken är en relationsbank med inriktning mot kunder med god återbetalningsförmåga och stark finansiell ställning. Kvalitetskravet får aldrig åsidosättas till förmån för högre kreditvolymer, högre pris eller marknadsandelar. Toleransen för marknadsrisker är låg och de förekommer endast som ett led i kundaffärer, i samband med bankens finansiering och likviditetshantering, i dess roll som marknadsгарant samt i pensionssystemet. En konsekvens av bankens låga tolerans för marknadsrisk är att en jämförelsevis låg andel av bankens resultat kommer från nettoresultat av finansiella transaktioner. Även för operativa risker och compliancerisker är toleransen låg. Banken strävar efter att så långt som möjligt förebygga dessa risker och reducera förlusterna på området. Förlusterna ska vara låga både i jämförelse med tidigare inträffade förluster och i jämförelse med andra banker.

RISKSTRATEGI

Handelsbanken är en fullsortimentsbank och har därmed ett brett utbud av olika bank- och försäkringsprodukter. Därigenom uppkommer en rad olika risker som identifieras, mäts och hanteras på ett systematiskt sätt inom koncernens alla delar. Handelsbankens restriktiva förhållningssätt till risk innebär att banken medvetet undviker att delta i affärer med hög risk även om den förväntade ersättningen för ögonblicket kan vara hög.

Den låga risktoleransen upprätthålls genom en stark riskkultur som är uthållig över tid och som gäller på alla områden i koncernen. Riskkulturen genomsyrar hela bankens arbete och är väl förankrad hos bankens medarbetare. Banken präglas av en tydlig ansvarsfördelning där varje del av affärsverksamheten bär det fulla ansvaret för sina affärer och för att riskerna hanteras. En följd av detta är att det finns starka incitament till hög riskmedvetenhet och till försiktighet i affärsverksamheten. Den decentraliserade affärsmodellen är dock kombinerad med starka centraliserade kontroller. Den låga risktoleransen avspeglas också i synen på ersättning. Huvudprincipen är att ersättningar ska vara fasta eftersom detta bidrar till den långsiktighet som är en central del av Handelsbankens affärsmodell. Medarbetare med befogenhet att fatta affärsbeslut som innebär ett risktagande för banken kan endast erhålla fast ersättning utan rörliga inslag. De anställda är genom Stiftelsen Oktogonen en av bankens största ägare, vilket ytterligare bidrar till hög riskmedvetenhet.

Kreditgivningen har stark lokal förankring, där den nära kundrelationen och lokala känedomerna verkar för låga kreditrisker. Därutöver ska koncernen vid var tid vara välkapitaliserad i förhållande till verksamhetens risker och hålla likvida tillgångar för att alltid klara sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, även i en stressad situation där upplåning på de finansiella marknaderna inte är möjlig. Handelsbanken eftersträvar på så sätt en affärsmodell som är oberoende av förändringar i konjunkturen.

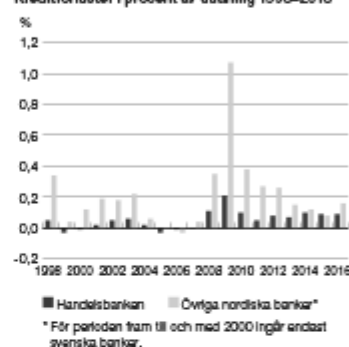
Det restriktiva förhållningssättet till risk innebär att banken är en stabil och uthållig affärspartner till kunderna oavsett konjunktur

eller marknadssituation. Det bidrar både till god riskhantering och att en hög servicenivå kan upprätthållas även när verksamheten och de marknader som banken verkar på utsätts för påfrestningar. Samma principer för bankens inställning till risk gäller i alla länder där banken är verksam och är vägledande i den fortsatta utlandsexpansionen.

MOTSTÅNDSKRAFTIG RISKHANTERING

Handelsbanken har ända sedan oron på de finansiella marknaderna började år 2007, haft god tillgång till likviditet i samtliga för banken viktiga valutor. Banken har sedan krisåren

Kreditförluster i procent av utlåning 1998–2016



Nettoresultat av finansiella transaktioner som andel av vinst



Risker i Handelsbanken

	Beskrivning
Kreditrisk	Kreditrisk definieras som risken att banken drabbas av ekonomisk förlust som följd av att bankens motparter inte kan fullfölja sina kontraktslagliga förpliktelser.
Marknadsrisk	Marknadsriskerna härrör från pris- och volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna. Marknadsriskerna delas in i ränterisker, aktierisker, valutarisker och råvaruprisrisker.
Likviditetsrisk	Likviditetsrisk är risken för att banken inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, utan att drabbas av oacceptabla kostnader eller förluster.
Operativ risk	Operativ risk är risken för förluster till följd av icke ändamålsenliga eller misstänkade interna processer, mänskliga fel, tekniska system eller externa händelser. Definitionen inkluderar legal risk.
Försäkringsrisk	Försäkringsrisk är risken i en försäkrings utfall, som beror på den försäkrades livslängd eller hälsa.
Compliancerisk	Compliancerisk är risken för att banken inte lever upp till lagar, förfordringar och interna regler eller god sed och standard.
Ersättningsrisk	Ersättningsrisk utgörs av risken för förlust eller annan skada som uppkommer till följd av ersättningssystemet.

breddat sin investeringsarbets och utökat antalet finansieringsprogram för såväl säkerställd som senior upplåning. Det faktum att detta skett under rådande omvärldsförutsättningar är ett tydligt tecken på marknadens förtroende för bankens affärsmodell och konservativa syn på risk. Banken har haft och har kontinuerlig tillgång till de finansiella marknaderna via sina kort- och långfristiga finansieringsprogram. Group Treasurys likviditetsportfölj, som är en del av bankens likviditetsreserv, har en låg riskprofil och består främst av statsobligationer och säkerställda obligationer. Banken har en stor likviditetsreserv av hög kvalitet, vilket ger en hög motståndskraft mot eventuella störningar på de

finansiella marknaderna. Av reserven uppgick tillgodohavanden i centralbanker och banker samt innehav av värdepapper som är belåningsbara i centralbanker till 382 miljarder kronor (352). Därutöver finns ett mycket omfattande outnyttjat emissionsutrymme av säkerställda obligationer i Stadshypotek. Likviditetsreserver hålls i alla för banken väsentliga valutor. Den totala likviditetsreserven täcker bankens likviditetsbehov i ett stressat scenario med utflöde av inlåning i mer än tre år helt utan tillgång till ny marknadsfinansiering. En bibehållbar verksamhet kan upprätthållas under en betydande tid även i en extrem situation med stängda marknader för valutaväxling.

Bankens kapitalposition har fortsatt att stärkas under året och banken har haft en stabil inlåning. Detta har, tillsammans med låga kreditförluster, bidragit till den starka positionen. Den starka kapitalpositionen är en god försäkring i nuvarande makroekonomiska situation.

Handelsbankens låga risktolerans, goda kapitalisering och starka likviditetssituation gör banken väl rustad att verka även under de nya striktare regelverken samt under betydligt svårare marknadsförutsättningar än de som varit under de senaste åren. Likviditetssituationen beskrivs närmare i avsnittet Finansiering och likviditetsrisk.

Handelsbankens riskhantering och riskkontroll



Affärsverksamheten

Banken präglas av en tydlig ansvarsfördelning där varje del av affärsverksamheten bär det fulla ansvaret för sina affärer och för att samtliga risker hanteras. Den som bäst känner kunden och marknadsförutsättningarna har bäst möjlighet att bedöma risken och kan också på ett tidigt stadium agera om problem uppkommer. Varje kontor och varje resultatansvarig enhet bär ansvaret för att hantera uppkomna problem. Detta skapar incitament till hög riskmedvetenhet och till försiktighet i affärsverksamheten.

Decentraliserade kreditbeslut förutsätter dock en gemensam kreditprocess som Group Credits ansvarar för. Group Credits bereder de kreditbeslut som fattas av styrelsen eller dess kreditkommitté. Group Credits säkerställer också att kreditbedömningarna i hela koncernen sker på ett enhetligt sätt och att kreditgivning utförs i enlighet med den kreditpolicy styrelsen har beslutat.

Affärsverksamhetens finansiella risker uppstår och hanteras huvudsakligen i Group Treasury, i Handelsbanken Capital Markets och i Handelsbanken Liv. Handelsbanken har en helt decentraliserad affärsmodell, men all finansiering och likviditetshantering i koncernen är centraliserad till Group Treasury. De marknadsrisker som uppstår för att möta kunders efterfrågan på finansiella instrument med exponering mot ränte-, valuta-, aktie- eller råvarumarknaderna hanteras i Handelsbanken Capital Markets. Operativa risker förekommer i all verksamhet inom banken och ansvaret för att hantera operativa risker är en integrerad del av chefsansvaret på alla nivåer i verksamheten. Hantering av marknadsrisker, hantering av bankens operativa risker samt finansierings- och likviditetshantering styrs av policyer fastställda av styrelsen.

Lokal riskkontroll

En lokal riskkontroll finns i varje land där banken har verksamhet, i varje regionbank, på centrala huvudavdelningar och i dotterbolag. Den lokala riskkontrollen arbetar med att identifiera, mäta, analysera och rapportera risker i verksamheten, särskilt marknadsrisker, likviditetsrisker, motpartersrisker, operativa risker, ryktesrisker och i förekommande fall försäkringsrisker, risker förknippade med ersättningsystemets utformning och risker i kapitalförvaltningsverksamheten. Lokal riskkontroll kontrollerar också limiterna för marknads-, likviditets- och motpartersrisker samt operativa risker och utvärderar överträdelser av dessa limiterna samt kreditlimiterna. Lokal riskkontroll ansvarar även för att riskanalys görs av nya produkter, IT-system och väsentliga processer, samt att utvärdera verksamhetens arbete med operativa risker. Den lokala riskkontrollen på landnivå har ett uppdrag att kontrollera kreditprocessen. För kontroll av risker inom IT och informations-säkerhet finns en särskild lokal riskkontroll inom Group IT. Lokal riskkontroll rapporterar till Group Risk Control och till verksamhetens ledning.

Group Risk Control

Behovet av central uppföljning av risk- och kapitalpositionen ökar med graden av decentraliserade affärsbeslut. Group Risk Control är således en naturlig och viktig del av bankens affärsmodell.

Group Risk Control har till uppgift att på aggregerad nivå identifiera, mäta, analysera och rapportera koncernens alla väsentliga risker. Den övervakar också att riskerna och riskhanteringen lever upp till bankens låga risktolerans och att ledningen har tillförlitliga underlag för hur riskerna ska hanteras vid kritiska situationer. Vidare har Group Risk Control ett funktionellt ansvar

för att lokal riskkontroll mäter risker på ett ändamålsenligt och enhetligt sätt i koncernen och att bankens ledning och styrelse löpande får rapporter och analyser om den aktuella riskpositionen.

Kapital- och likviditetsplanering

Om Handelsbanken, trots arbetet i de tre tidigare beskrivna delarna, skulle råka ut för allvariga förluster, håller banken ett kapital och en likviditetsreserv som säkerställer bankens fortlevnad såväl under som efter extrema händelser. Det är kapitalpositionen bedömd enligt det legala kapitalkravet som, tillsammans med beräkningen av ekonomiskt kapital och stresstester, utgör grunderna i kapitalplaneringen. Likviditetsplaneringen säkerställer att koncernen alltid klarar sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, även i en stressad situation där upplåning på de finansiella marknaderna inte är möjlig. Genom stresstester och scenarioanalyser identifieras vilka åtgärder som behöver förberedas eller genomföras för att kapitalpositionen och likviditetssituationen vid varje tidpunkt ska vara tillfredsställande samt vilka åtgärder som krävs för att återställa koncernens kapital och likviditet i en återhämtningssituation efter en allvarig kris.

Compliance och revision

Utöver de tidigare beskrivna delarna granskar såväl compliance, på central-, affärsområdes- och dotterbolagsnivå, som interna och externa revisorer verksamheten.

NOTER | KONCERNEN

KREDITRISK

Kreditrisk definieras som risken att banken drabbas av ekonomisk förlust som följd av att bankens motparter inte kan fullfölja sina kontraktssenliga förpliktelser.

KREDITRISKSTRATEGI

Kreditprocessen i Handelsbanken utgår från övertygelsen att en decentraliserad organisation med lokal närvaro ger hög kvalitet i kreditbesluten. Banken är en relationsbank där kontoren håller löpande kontakt med kunden, vilket ger en djup kunskap om varje enskild kund och en kontinuerligt uppdaterad bild av kundens ekonomiska situation.

Handelsbanken är inte en massmarknadsbank utan är selektiv i kundurvalet, vilket innebär att kunderna ska ha en hög kreditkvalitet. Kvalitetskravet åsätts aldrig till förmån för högre kreditvolym eller för att erhålla högre avkastning. Banken undviker även att delta i finansiering där det förekommer komplicerade kundkonstellationer eller komplexa och svåröversärliga affärsupplägg.

När banken bedömer kreditrisken hos en viss kund bedöms i första hand kredittagarens återbetalningsförmåga. Enligt bankens kreditpolicy kan en svag återbetalningsförmåga aldrig kompenseras med att banken erbjuder goda säkerheter. Säkerheter kan dock reducera bankens förlust väsentligt om kredittagaren inte kan fullfölja sina förpliktelser. Krediter ska därför normalt vara betryggande säkerställda.

Det lokala kontorets nära kontakt med kunden innebär också att kontoret snabbt kan identifiera och agera vid eventuella problem. Detta medför att banken i många fall kan agera snabbare än vad som hade varit möjligt vid en mer centraliserad hantering av problemkrediter. Kontoret har också det fulla ekonomiska ansvaret för kreditgivningen. Kontoret hanterar således de problem som uppstår när en kund brister i betalningsförmåga och kontoret bär eventuella kreditförluster. Vid behov får det lokala kontoret stöd från det regionala huvudkontoret och från centrala avdelningar. Bankens arbetsätt leder till att alla som gör affärer förknippade med kreditrisk tillägnar sig ett väl etablerat synsätt för denna typ av risk. Detta synsätt utgör en viktig del av bankens kultur. De beskrivna arbets- och synsätten är viktiga anledningar till att banken över en lång tid redovisat mycket låga kreditförluster.

KREDITRISKORGANISATIONEN

I Handelsbankens decentraliserade organisation bär varje kundansvarigt kontor det fulla kreditansvaret. Kund- och kreditansvar ligger på kontorschefen eller de medarbetare på det lokala kontoret som kontorschefen utser.

Kontorschefer och de flesta medarbetare på kontor har personliga beslutandelimit som gör det möjligt för dem att besluta om krediter till de kunder som de ansvarar för.

Vid beslut om större krediter finns även beslutansatser på regional och central nivå. Varje högre beslutandenivå tillför ytterligare kreditkompetens. På varje beslutandenivå finns rätt att avstyrka krediter inom såväl den egna beslutandenivån som krediter som annars skulle beslutats på högre beslutandenivåer. Samtliga delegater i hela beslutsprocessen, oavsett nivå, måste vara eniga för att ett positivt kreditbeslut

ska komma till stånd. Finns minst tvåsamtal hos någon delegat avslås kreditansökan. De största krediterna beslutas av styrelsens kreditkommitté eller av styrelsen i dess helhet, där ärenden har förberetts av Group Credits. Utan tillstyrkan av kreditansvarig kontorschef kan dock ingen kreditansökan processas vidare i banken.

Beslutsgången när det gäller krediter illustreras av bilden Kreditprocessen och beslutandenivåer i Handelsbanken. I bilden visas även procentuell andel av antal beslut och beslutade belopp fördelade på olika beslutandenivåer.

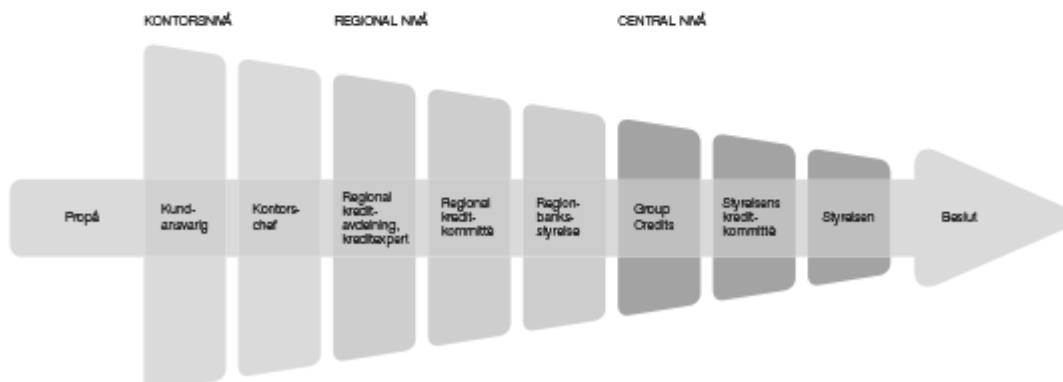
I Handelsbankens decentraliserade organisation ingår också att underlaget för kreditbeslut alltid utarbetas av det kreditansvariga kontoret oavsett om det slutgiltiga beslutet fattas på kontoret, på regional nivå, i styrelsens kreditkommitté eller av styrelsen. Underlaget för kreditbeslut innehåller bland annat allmän och ekonomisk information om kredittagaren, en bedömning av dennes återbetalningsförmåga, krediter och kreditvillkor samt värdering av säkerheter.

För kredittagare vars sammanlagda krediter överstiger 3 miljoner kronor fattas kreditbeslutet i form av kreditlimit. Vid krediter till privatpersoner mot säkerhet i bostad inträder limitplikten för belopp över 6 miljoner kronor. Krediter till bostadsrättsföreningar mot säkerhet i bostadsfastighet blir limitpliktiga för belopp över 12 miljoner kronor.

Bevilljade kreditlimit gällande högst ett år. Vid förlängning av limit är kravet på beslutsordning detsamma som för en ny kredit.

I Handelsbankens decentraliserade organisation, där en stor andel av kredit- och limitbesluten fattas på de enskilda kontoren, är det viktigt att det finns en väl fungerande eftergranskningsprocess som säkerställer att kreditbeslut håller en hög kvalitet. Kontorschefen kvalitetsgranskar

Kreditprocessen och beslutandenivåer i Handelsbanken



Fördelning av fattade kreditlimitbeslut*

Andel av antal limit	70%	28%	2%
Andel av limitbelopp	10%	32%	58%

* Exklusive stat- och banklimit som beslutas på central nivå.

NOTER | KONCERNEN

medarbetarnas beslut och regionala kreditavdelningen kvalitetsgranskar beslut fattade av kontorschefer.

Syftet med kvalitetsgranskningen är att säkerställa att bankens kreditpolicy och interna instruktioner efterlevs, att kreditkvaliteten upprätthålls och att kreditbeslut vittnar om gott kreditomdöme och sund affärsmässighet. En motsvarande granskning av kvaliteten utförs även av kreditbeslut som fattas av högre beslu-

tandenväer i banken. Krediter som beviljas av regionala kreditkommittéer och regionbanksstyrelser granskas av Group Credits, som även bereder och granskar krediter som beslutas av bankens styrelse eller dess kreditkommitté.

KREDITPORTFÖLJEN

Bankens kreditportfölj presenteras i detta avsnitt med utgångspunkt från sammanställda balansräkningsposter.

Portföljens fördelning

Med utgångspunkt från balansräkningen kategoriseras krediter i utlåning till allmänhet respektive utlåning till kreditinstitut samt off-balanceposter fördelade på produkttyp. När begreppet exponering används avses summan av poster i och utanför balansräkningen.

Kreditriskexponeringar mkr	2016	2015
Utlåning till allmänheten ¹	1 063 622	1 866 467
varav omvända repor	7 423	7 742
Utlåning till övriga kreditinstitut	31 347	40 656
varav omvända repor	4 088	23 394
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	97 205	74 777
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	63 909	44 513
Derivatinstrument ²	82 633	85 347
Eventuallånpåkallningar	78 530	77 457
varav garanti förbindelser, krediter	9 643	9 750
varav garanti förbindelser, övriga	63 108	61 274
varav dokumentskrediter	5 779	6 433
Övriga åtaganden	425 267	420 857
varav outhytad del av beviljade räkningskrediter	128 967	129 216
varav kreditförlor	272 729	267 200
varav övrigt	23 571	24 441
Summa	2 742 613	2 619 074
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	199 362	202 630
Övrig utlåning till centralbanker	25 527	34 118
Summa	2 967 402	2 855 822

¹ Av detta belopp består 926 mkr (1 619) av utlåning som vid första redovisningstillfället kategoriserats som värdepapir till verkligt värde via resultaträkningen.

² Avser summa positiva marknadsvärden. Om rättsliga hållbara nettingavtal beaktas uppgår exponeringen till 65 555 mkr (59 687).

Geografisk fördelning 2016	Utlåning					Åtaganden utanför balansräkningen						
	Allmänheten	Kreditinstitut och centralbanker	Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	Övrig utlåning till centralbanker	Derivatinstrument	Placeringar	Garantier	Kreditdohan	Öutnyttjad del av beviljade räkningskrediter	Dokumentskrediter	Övrigt	Summa
mkr												
Sverige	1 245 654	23 161	145	4 821	81 275	127 946	23 989	136 579	85 583	2 874	15 038	1 747 065
Storbritannien	199 450	150	61 772	394	92	-	6 066	35 426	6 741	50	2 699	306 840
Norge	244 445	300	6 203	-	-	-	8 267	40 139	19 261	87	4 307	323 039
Danmark	95 540	27	120	20 269	31	11	4 930	13 780	7 662	613	3	142 986
Finland	122 534	25	98 710	-	149	-	4 506	18 977	7 179	216	190	252 486
USA	5 283	5 495	30 386	-	958	32 421	15 795	13 208	476	1 392	-	105 414
Nederländerna	32 285	75	395	-	-	-	153	6 814	393	-	-	40 115
Tyskland	4 567	61	159	-	-	-	3 497	1 558	644	146	1 326	11 958
Polen	3 016	6	25	43	-	-	1 482	1	139	-	8	4 720
Övriga världen	16 848	2 047	1 447	-	128	736	4 066	6 247	889	401	-	32 909
Summa	1 983 622	31 347	199 362	25 827	82 633	161 114	72 761	272 729	128 967	5 779	23 571	2 967 402

Geografisk fördelning 2015	Utlåning					Åtaganden utanför balansräkningen						
	Allmänheten	Kreditinstitut och centralbanker	Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	Övrig utlåning till centralbanker	Derivatinstrument	Placeringar	Garantier	Kreditdohan	Öutnyttjad del av beviljade räkningskrediter	Dokumentskrediter	Övrigt	Summa
mkr												
Sverige	1 214 093	17 513	174	15 998	84 435	87 522	24 897	137 606	89 522	3 650	16 816	1 692 226
Storbritannien	194 069	610	55 538	364	77	-	6 536	36 565	6 235	40	2 768	302 902
Norge	209 327	189	6 101	2 103	-	-	6 890	30 262	16 228	114	4 687	275 901
Danmark	82 954	61	113	15 653	42	7	4 099	12 068	8 155	166	-	123 238
Finland	115 090	42	44 823	-	118	0	3 974	18 028	7 059	175	170	189 479
USA	4 233	24 776	94 626	-	471	30 744	14 758	15 310	375	1 395	-	186 688
Nederländerna	22 344	-	377	-	-	-	1 040	6 241	212	-	-	30 214
Tyskland	5 336	264	111	-	-	-	3 303	5 432	342	21	-	14 809
Polen	2 396	4	41	-	-	-	1 038	1	139	-	-	3 619
Övriga världen	16 725	6 197	726	-	204	1 017	4 389	5 667	949	872	-	36 746
Summa	1 866 467	40 656	202 630	34 118	85 347	119 290	71 024	267 200	129 216	6 433	24 441	2 855 822

NOTER | KONCERNEN

Utlåning till allmänheten, fördelad på bransch och motpartslog	2016			2015		
	Utlåning före beaktande av reserveringar	Reserveringar för sannolika kreditförluster	Utlåning efter beaktande av reserveringar	Utlåning före beaktande av reserveringar	Reserveringar för sannolika kreditförluster	Utlåning efter beaktande av reserveringar
<i>miljard</i>						
Privatpersoner	982 640	-745	981 895	912 517	-755	911 762
varav hypotekslån	800 002	-53	800 059	736 768	-37	736 737
varav övriga lån säkrat ställda i bostad	120 121	-146	119 975	107 591	-146	107 445
varav övriga lån privatpersoner	62 427	-566	61 861	68 158	-578	67 580
Bostadsrättsföreningar	187 016	-20	186 996	169 595	-20	169 575
varav hypotekslån	156 835	-12	156 823	148 084	-7	148 057
Fastighetsförvaltning	540 194	-691	539 503	511 308	-697	510 611
Tillverkningsindustri	27 633	-522	27 111	33 540	-1 542	31 998
Handel	21 947	-270	21 677	24 236	-267	23 969
Hotell- och restaurangverksamhet	8 516	-32	8 484	8 981	-30	8 951
Person- och godstransport till sjöss	9 375	-1 244	8 131	10 354	-543	9 811
Övrig transport och kommunikation	14 614	-36	14 578	11 195	-60	11 135
Byggnadsverksamhet	18 103	-161	17 942	15 500	-92	15 408
Elektricitet, gas och vatten	25 224	-39	25 185	26 560	-52	26 508
Jordbruk, jakt och skogsbruk	11 727	-31	11 696	11 318	-15	11 303
Övrig serviceverksamhet	19 608	-113	19 495	19 789	-66	19 723
Holding-, investment-, försäkringsbolag, fonder m.m.	66 730	-316	66 414	71 179	-282	70 897
Stat och kommun	15 891	0	15 891	22 452	0	22 452
Övrig företagsutlåning	19 047	-75	18 972	22 759	-117	22 642
Summa utlåning till allmänheten, före beaktande av gruppvis reservering	1 968 285	-4 295	1 963 970	1 871 283	-4 838	1 866 445
Gruppvisa reserveringar för individuellt värderade fordringar			-348			-278
Summa utlåning till allmänheten	1 968 285		1 963 622	1 871 283		1 866 167

Utlåning till allmänheten efter beaktande av reserveringar – geografisk fördelning per bransch 2016								
	Sverige	Stor- britannien	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga världen	Summa
<i>miljard</i>								
Privatpersoner	727 562	59 468	91 969	53 964	35 452	8 165	5 315	981 895
varav hypotekslån	682 857	0	60 017	36 371	20 814	0	0	800 059
varav övriga lån säkrat ställda i bostad	11 309	54 741	18 167	13 478	10 260	7 805	4 215	119 975
varav övriga lån privatpersoner	33 395	4 727	13 785	4 115	4 378	360	1 100	61 861
Bostadsrättsföreningar	149 245	0	16 911	908	19 932	0	0	186 996
Fastighetsförvaltning	240 020	111 510	103 659	19 637	33 888	23 194	7 595	539 503
Tillverkningsindustri	11 966	2 764	2 680	1 481	3 086	2	5 132	27 111
Handel	10 604	3 686	3 728	1 362	1 215	0	1 082	21 677
Hotell- och restaurangverksamhet	2 217	3 137	141	1 846	97	0	1 046	8 484
Person- och godstransport till sjöss	3 370	2	2 086	452	2 095	0	126	8 131
Övrig transport och kommunikation	9 364	1 194	2 135	360	1 201	304	20	14 578
Byggnadsverksamhet	7 129	2 824	6 468	497	989	0	35	17 942
Elektricitet, gas och vatten	8 841	243	6 227	66	8 988	192	628	25 185
Jordbruk, jakt och skogsbruk	10 723	673	57	97	132	0	14	11 696
Övrig serviceverksamhet	10 165	4 042	2 659	1 283	1 332	0	14	19 495
Holding-, investment-, försäkringsbolag, fonder m.m.	45 508	2 212	1 200	9 325	3 287	29	4 853	66 414
Stat och kommun	4 149	0	254	629	10 464	395	0	15 891
Övrig företagsutlåning	4 982	1 733	4 373	3 656	400	4	3 865	18 972
Summa utlåning till allmänheten, före beaktande av gruppvis reservering	1 245 795	193 488	244 547	95 863	122 667	32 286	29 725	1 963 970
Gruppvisa reserveringar för individuellt värderade fordringar	-139	-39	-100	-25	-33	-1	-11	-348
Summa utlåning till allmänheten	1 245 656	193 449	244 447	95 838	122 634	32 284	29 714	1 963 622

NOTER | KONCERNEN

Utlåning till allmänheten efter beaktande av reserveringar – geografisk fördelning per bransch 2016 mkr	Sverige	Storbritannien	Norge	Danmark	Finland	Nederländerna	Övriga världen	Summa
Privatpersoner	682 992	57 273	80 150	46 352	34 317	5 867	4 811	911 762
varav hypotekslån	635 871	0	50 782	29 001	21 083	0	0	736 737
varav övriga lån säkerställda i bostad	14 023	45 685	16 222	13 276	8 806	5 532	3 901	107 445
varav övriga lån privatpersoner	33 098	11 588	13 146	4 075	4 428	335	210	67 580
Bostadsrättsföreningar	137 604	0	14 472	552	16 947	0	0	169 575
Fastighetsförvaltning	244 996	115 262	85 729	13 736	28 682	14 538	7 678	510 611
Tillverkningsindustri	15 401	2 692	2 565	1 443	3 386	1 050	5 452	31 998
Handel	12 304	4 596	2 969	1 967	1 688	0	1 045	23 969
Hotell- och restaurangverksamhet	2 507	3 218	153	1 734	268	0	1 071	8 951
Person- och godstransport till sjöss	3 612	6	2 520	1 002	2 626	0	45	9 811
Övrig transport och kommunikation	5 734	625	2 282	1 184	947	362	1	11 135
Byggnadsverksamhet	6 606	2 006	5 064	550	865	0	317	15 408
Elektricitet, gas och vatten	9 908	406	6 729	76	8 540	184	665	26 508
Jordbruk, jakt och skogsbruk	9 481	1 512	18	120	123	0	49	11 303
Övrig serviceverksamhet	11 939	3 986	1 114	1 433	1 241	0	10	19 723
Holding-, investerings-, försäkringsbolag, fonder m.m.	49 996	982	1 446	9 700	3 449	110	5 214	70 897
Stat och kommun	10 918	0	198	1	11 335	0	0	22 452
Övrig företagsutlåning	10 231	1 547	3 962	3 637	704	225	2 336	22 642
Summa utlåning till allmänheten, före beaktande av gruppvisa reserveringar	1 214 229	194 111	209 371	82 877	115 118	22 345	28 694	1 886 745
Gruppvisa reserveringar för individuellt värderade fordringar	-137	-42	-44	-23	-28	-1	-3	-278
Summa utlåning till allmänheten	1 214 092	194 069	209 327	82 854	115 090	22 344	28 691	1 886 467

Säkerheter

Då det som regel blir aktuellt att ta säkerheter i anspråk först sedan kredittagaren drabbats av allvariga betalningssvårigheter inflikas värderingen av säkerheter på det värde säkerheterna förväntas ha vid en försäljning under ogynnsamma omständigheter i samband med en obeståndssituation. För vissa tillgångar kan värdet påverkas avsevärt vid en obeståndssituation och en därigenom framtvingad försäljning.

Vid långfristiga kreditåtaganden utan säkerhet till företag avtalar banken ofta med kunden om särskilda kreditvillkor som ger rätt till omförhandling eller uppsägning vid ogynnsam utveckling.

En stor del av utlåningen till kreditinstitut är omvända repor. En omvänd repa är en återköpstransaktion som innebär att banken repa in (köper) räntebärande värdepapper eller aktier med särskild överenskommelse att värdepapp-

ret ska säljas tillbaka till ett visst pris vid en viss tidpunkt. Omvända repor betraktas av banken som säkerställd utlåning.

Under speciella omständigheter kan banken köpa kreditderivat eller finansiella garantier som kreditriskskydd för fordringar. Detta förekommer dock inte inom bankens ordinarie kreditgivning.

Kreditrisksponering on balance, fördelat per säkerhet mkr	2016	2015
Bostadsfastigheter ¹	1 308 242	1 207 242
varav privatpersoner	920 344	845 481
Övriga fastigheter	307 334	293 936
Stat, kommun och landsting ²	296 676	313 475
Borgen ³	10 844	8 627
Finansiella säkerheter	22 858	40 632
Objektssäkerheter	24 343	23 789
Övriga säkerheter	19 093	21 854
Blanko	232 032	242 361
Summa kreditrisksponering on balance	2 221 422	2 151 916

Utlåning till allmänheten, fördelat per säkerhet mkr	2016	2015
Bostadsfastigheter ¹	1 308 242	1 207 242
varav privatpersoner	920 344	845 481
Övriga fastigheter	307 334	293 936
Stat, kommun och landsting ²	68 477	76 609
Borgen ³	10 330	8 134
Finansiella säkerheter	16 973	16 797
Objektssäkerheter	24 343	23 789
Övriga säkerheter	19 093	21 854
Blanko	208 890	218 106
Utlåning till allmänheten	1 963 622	1 866 467

¹ Inklusiva bostadsrätter.

² Avser direkta statsexponeringar och statsgarantier.

³ Inkluderar ej statsgarantier.

NOTER | KONCERNEN

Kreditriskkoncentrationer

Handelsbankens kontor är starkt fokuserade på att etablera långsiktiga relationer med kunder som har hög kreditvärdighet. Om ett kontor identifierar en bra kund ska kontoret kunna göra affärer med kunden oavsett om banken som helhet har en stor exponering mot den bransch som kunden representerar. Banken har därmed i sin kreditgivning inte något inbyggt hinder mot att få relativt stora exponeringar i enskilda sektorer. Banken följer och beräknar dock koncentrationsrisker mot olika typer av branscher, geografiska områden och enskilda större exponeringar. Banken tillämpar också särskilda limiter för att begränsa den maximala kreditexponeringen mot enskilda motparter som ett komplement till kreditriskbedömningen. Om en koncentration i kreditportföljen kan antas utgöra en förhöjd risk följs denna koncentration upp. Koncentrationsrisker fångas upp i bankens beräkning av ekonomiskt kapital för kreditrisker och i de stresstester som görs i den interna kapitalutvärderingen. Finansinspektionen beräknar också ett särskilt kapitalkravspåslag i Pelare 2 för koncentrationsrisker i kreditportföljen. Därigenom säkerställs att banken är väl kapitaliserad med hänsyn också till koncentrationsrisker. Om koncentrationsriskerna

skulle bedömas vara för stora har banken både möjlighet och förmåga att reducera riskerna genom olika riskreducerande åtgärder.

Handelsbanken har, utöver bolån och utlåning till bostadsrättsföreningar, en betydande utlåning till fastighetsförvaltning om 540 miljarder kronor (511). Med fastighetsförvaltning avses här alla företag som kreditbedöms som "fastighetsbolag". Det är vanligt förekommande att koncerner verksamma i andra branscher har dotterbolag som förvaltar de fastigheter som koncernen bedriver verksamhet i, och även sådana fastighetsbolag anses här tillhöra fastighetsförvaltning. Den underliggande kreditrisken i sådana fall är dock inte enbart fastighetsrelaterad. Därutöver kreditbedöms privatpersoner med större fastighetsinnehav som fastighetsbolag.

En mycket stor del av fastighetsutlåningen är säkerställd i fastigheter med låg belåningsgrad. En stor del av fastighetsutlåningen sker till statliga fastighetsbolag, kommunala bostadsbolag och annan bostadsrelaterad verksamhet där låntagarna genomgående har starka och stabila kassaflöden och därigenom mycket hög kreditvärdighet. En stor del av utlåningen till fastighetssektorn är således till bolag med mycket låg sannolikhet

för fallissemang. Bankens exponering mot fastighetssektorn finns specificerad i tabeller nedan.

Andelen exponeringar hänförliga till fastighetsmotparter som har en sämre rating än bankens riskklass 5 (normal risk) är mycket låg. 99 procent (99) av total fastighetsutlåning i Sverige återfinns i riskklass 5 eller bättre. Motsvarande uppgift avseende fastighetsutlåningen i Storbritannien uppgår till 97 procent (96), Danmark 96 procent (94), Finland 98 procent (98), Norge 97 procent (97) och Nederländerna 99 procent (98). Av de motparter som återfinns i sämre riskklasser än normalt återfinns huvuddelen i riskklasserna 6–7 och endast små volymer i de högre riskklasserna 8–9. För information om Handelsbankens riskklassificering, se även till Beräkning av kapitalkrav för kreditrisker.

Under de senaste åren har Handelsbanken haft en betydande kredittillväxt i Storbritannien genom en expansion av kontorsnätet. En stor del av tillväxten har varit i fastighetsrelaterade krediter. Handelsbanken har i sin expansion haft samma strikta krav på återbetalningsförmåga och säkerheternas kvalitet som på övriga hemmamarknader. Resultatet av detta är en hög koncentration av kunder i goda riskklasser och en kreditförlustnivå i linje med övriga hemmamarknader.

Specifikation Utlåning till allmänheten – Fastighetsförvaltning	2016			2015		
	Utlåning före beaktande av reserveringar	Reserveringar för sannolika kreditförluster	Utlåning efter beaktande av reserveringar	Utlåning före beaktande av reserveringar	Reserveringar för sannolika kreditförluster	Utlåning efter beaktande av reserveringar
mkr						
Utlåning i Sverige						
Statligt ägda fastighetsbolag	3 228	0	3 228	5 042	-	5 042
Kommunalt ägda fastighetsbolag	9 771	0	9 771	12 242	-	12 242
Bostadsfastighetsbolag	99 598	-26	99 572	91 484	-35	91 449
varav hypotekslån	85 134	-7	85 133	77 367	-4	77 363
Övrig fastighetsförvaltning	127 578	-130	127 448	136 333	-71	136 262
varav hypotekslån	52 925	-2	52 923	67 993	-7	67 986
Summa utlåning i Sverige	240 175	-156	240 019	245 101	-106	244 995
Utlåning utanför Sverige						
Storbritannien	111 800	-289	111 511	115 669	-408	115 261
Norge	103 767	-108	103 659	85 787	-58	85 729
Danmark	19 755	-118	19 637	13 816	-89	13 727
Finland	33 891	-4	33 887	28 704	-22	28 682
Nederländerna	23 194	0	23 194	14 539	-	14 539
Övriga länder	7 612	-16	7 596	7 692	-14	7 678
Summa utlåning utanför Sverige	300 019	-536	299 484	286 207	-601	285 816
Summa utlåning – Fastighetsförvaltning	540 194	-691	539 503	531 308	-697	530 611

Specifikation Utlåning till allmänheten – Fastighetsförvaltning, typ av säkerhet och land	2016					2015				
	Summa	Bolag ägda av stat och kommun/ fastighetsut- låning garan- terad av stat och kommun	Förbostads- hus/bostads- fastigheter	Kommersiella fastigheter och övriga säkerheter	Blanko	Summa	Bolag ägda av stat och kommun/ fastighetsut- låning garan- terad av stat och kommun	Förbostads- hus/bostads- fastigheter	Kommersiella fastigheter och övriga säkerheter	Blanko
mkr										
Sverige	240 175	14 129	103 681	109 681	12 684	245 101	18 746	99 658	111 881	14 816
Storbritannien	111 800	0	54 193	54 853	2 754	115 669	0	52 582	59 053	4 034
Norge	103 767	0	16 304	79 339	8 124	85 787	0	12 209	64 187	9 391
Danmark	19 755	0	10 166	8 388	1 201	13 816	0	7 717	4 870	1 229
Finland	33 891	14 561	5 401	12 585	1 344	28 704	11 117	4 577	12 247	763
Nederländerna	23 194	0	11 072	12 073	49	14 539	0	7 286	6 904	349
Övriga länder	7 612	267	643	2 867	3 835	7 692	531	580	5 810	762
Summa	540 194	28 957	201 460	279 786	29 901	531 308	30 394	184 609	264 961	31 344

NOTER | KONCERNEN

Specifikation Utlåning till allmänheten – Fastighetsförvärtning, riskklass och land 2016
mkr

Risiklass	Sverige	Storbritannien	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga världen	Summa	%	Akkumulerat % av total
1	21 647	744	1 858	82	5 474	39	1 104	30 948	5,73	6
2	60 262	21 710	26 369	2 618	10 612	8 197	3 886	133 854	24,78	31
3	97 610	54 935	50 727	8 167	11 431	12 399	1 329	236 598	43,80	74
4	44 490	25 662	14 509	5 998	5 000	1 909	914	98 972	18,32	93
5	13 444	5 326	7 081	2 113	546	302	314	29 126	5,39	98
6	1 327	1 695	1 095	220	108	214	26	4 685	0,87	99
7	805	625	1 063	112	411	44	0	3 060	0,57	99
8	185	85	336	59	26	0	0	691	0,13	100
9	93	21	99	12	10	0	0	235	0,04	100
Fallissemang	312	997	230	374	73	0	39	2 025	0,37	100
Summa	240 176	111 800	103 767	19 755	33 891	23 194	7 612	540 194	100	

Specifikation Utlåning till allmänheten – Fastighetsförvärtning, riskklass och land 2015
mkr

Risiklass	Sverige	Storbritannien	Norge	Danmark	Finland	Neder- länderna	Övriga världen	Summa	%	Akkumulerat % av total
1	20 094	943	1 127	53	2 903	115	1 044	26 219	5,13	5
2	73 556	22 677	18 026	829	11 365	1 942	3 249	131 644	25,75	31
3	92 801	56 376	45 263	6 197	11 036	10 247	2 869	224 759	43,96	75
4	43 115	24 298	15 418	4 338	1 619	1 873	172	90 833	17,76	93
5	12 592	6 249	3 430	1 548	1 125	75	289	25 308	4,95	98
6	1 606	1 939	1 444	289	401	221	30	5 930	1,16	99
7	889	1 331	793	190	118	66	0	3 387	0,66	99
8	161	363	91	26	17	0	0	658	0,13	99
9	107	87	15	8	9	0	2	228	0,04	100
Fallissemang	240	1 406	180	338	141	0	37	2 342	0,46	100
Summa	245 101	115 669	86 787	13 816	28 704	14 639	7 692	511 308	100	

Specifikation Utlåning till allmänheten – Fastighetsförvärtning, riskklass, typ av säkerhet och blanko 2016
mkr

Risiklass	Utlåning	Säkerhet				Blanko
		Flerbostadshus/ bostadsfastigheter	Kommersiella fastigheter	Garantier av stat och kommun	Övriga säkerheter	
1	30 948	15 336	5 722	6 755	973	2 162
2	133 854	48 936	62 140	6 483	2 609	13 686
3	236 598	92 978	125 902	4 967	4 008	8 743
4	98 972	36 085	54 224	3 238	1 722	3 713
5	29 126	9 679	17 721	236	575	915
6	4 685	1 247	3 168	1	177	92
7	3 060	655	2 173	14	124	94
8	691	170	438	0	58	25
9	235	63	97	3	45	27
Fallissemang	2 025	363	946	0	152	554
Summa	540 194	206 612	272 631	21 687	10 443	30 021

Specifikation Utlåning till allmänheten – Fastighetsförvärtning, riskklass, typ av säkerhet och blanko 2015
mkr

Risiklass	Utlåning	Säkerhet				Blanko
		Flerbostadshus/ bostadsfastigheter	Kommersiella fastigheter	Garantier av stat och kommun	Övriga säkerheter	
1	26 219	14 662	6 208	3 355	188	1 906
2	131 644	49 028	57 171	10 543	2 527	12 375
3	224 759	81 039	124 876	5 296	4 115	9 433
4	90 833	32 732	52 902	682	755	3 762
5	25 308	9 133	13 189	420	340	2 226
6	5 930	1 279	4 034	14	52	551
7	3 387	899	2 222	0	50	216
8	658	236	270	0	16	136
9	228	40	92	3	2	91
Fallissemang	2 342	579	890	0	49	824
Summa	511 308	189 627	261 854	20 313	8 094	31 420

NOTER | KONCERNEN

BERÄKNING AV KAPITALKRAV FÖR KREDITRISKER

Riskklassificeringssystemet

Handelsbankens riskklassificeringssystem består av ett antal olika system, metoder, processer och rutiner som stödjer Handelsbankens klassificering och kvantifiering av kreditrisk.

Genom Handelsbankens interna riskklassificeringssystem mäts kreditrisken i all verksamhet på ett tillfälligt och konsekvent sätt. Riskklassificeringen bygger på bankens interna rating, som grundar sig på en bedömning av varje motparts återbetalningsförmåga. Ratingen bestäms av risken för finansiella påfrestande samt av den bedömda motståndskraften vid sådana påfrestande. Metoden och klassificeringen bygger på den ratingmodell som tillämpats av banken under flera decennier.

Den interna ratingen är den viktigaste beståndsdel i bankens modell för att beräkna kapitalkrav enligt Internmetoden. Ratingen är dynamisk, det vill säga den omprövas om det finns tecken på att motpartens återbetalningsförmåga har ändrats. Vidare omprövas ratingen med den periodicitet som regelverket föreskriver. Klassificeringen görs av den som är ansvarig för att bevilja en kredit och kontrolleras därefter av oberoende instanser.

Metoder för riskklassificeringen

För att kvantifiera bankens kreditrisker beräknas sannolikheten för att kunder ska falla (Probability of Default, PD), hur stor exponering banken förväntas ha om fallissemang inträffar (exponeringsbelopp) och hur stor andel av den exponeringen som banken väntas förlora vid fallissemang (Loss Given Default, LGD). Fallissemang definieras som att motparten antingen är mer än 90 dagar sen med betalning eller att det gjorts en bedömning att motparten inte kommer att kunna betala kontrakt enligt, till exempel i samband med konkurs.

PD-värdet uttrycks som ett procenttal, där exempelvis ett PD-värde på 0,5 procent innebär att en kredittagare av 200 med samma PD-värde väntas falla inom ett år. En fallerad kredit betyder inte nödvändigtvis att banken drabbas av förluster eftersom det i de flesta fall finns säkerhet för exponeringen. Dessutom betyder ett fallissemang inte att det är uteslutet att motparten vid något tillfälle kommer att betala, då betalningsproblemen kan vara övergående.

För företags- och institutsexponeringar översätts den interna ratingen som sätts för varje motpart direkt till en riskklass på en skala mellan 1 och 10 (där riskklass 10 avser fallerade motpart). Företagsexponeringarna delas in i fyra motpartstyper baserat på den affärsbedömningsmall som används för motparten. PD beräknas individuellt för varje riskklass och motpartstyp. För institutsexponeringar och de företagsexponeringar som kapitaltäckas enligt Internmetoden utan egna skattningar av LGD och KF tillämpas föreskrivna värden för förlustandelen givet fallissemang (LGD). Vilket föreskrivet värde som får användas styrs av vilken säkerhet som finns för respektive exponering.

Även för hushållsexponeringar utgår riskklassificeringen från den interna rating som sätts för alla kreditkunder. Ratingen översätts inte direkt till en riskklass som för företagsexponeringar, utan de olika exponeringarna sorteras i ett antal mindre grupper, beroende på vissa faktorer. Exempel på sådana faktorer är vilken typ av kredit det gäller, motpartens betalningsskötelse och om det finns en eller flera låntagare. För var och en av de mindre grupperna beräknas en genomsnittlig fallissemangsandel och baserat på denna sorteras grupperna in i någon av de tio riskklasserna. Olika modeller används för exponeringar mot privatpersoner respektive mot småföretag (som också räknas till kategorin hushållsexponeringar), men principen är densamma.

För hushållsexponeringar och för exponeringar mot medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar fastställs LGD från bankens egen förlusthistorik. För exponeringar mot stora företag som kapitaltäckas med Internmetoden med egna skattningar av LGD och KF fastställs LGD baserat på interna förluster och externa observationer. För hushållsexponeringar med fastighetssäkerhet i Sverige och för fastighetsexponeringar mot medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar tillämpas olika LGD-värden beroende på säkerhetens belåningsgrad. För övriga exponeringar styrs LGD-värdet av faktorer som kan bero på förekomst av och värde på säkerhet, produkttyp eller liknande.

För varje exponeringsklass beräknas PD för var och en av de riskklasser som avser icke-fallerade motpart eller avtal. PD grundar sig på beräkningar av hur stor andelen fallissemang varit historiskt för olika typer av exponeringar. Den genomsnittliga fallissemangsandelen justeras därefter med olika marginaler, till exempel av försiktighetsskäl.

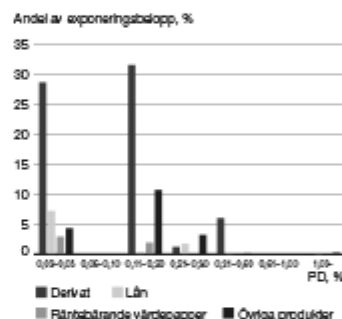
När det gäller PD för företag, emotser banken att inom kort erhålla godkännande från Finansinspektionen att använda nya modeller. I dessa skattas långsiktigt PD, inklusive försiktighetsmarginal och konjunkturstyrning, på portföljnivå. Detta portfölj-PD fördelas sedan ut på de olika riskklasserna. Portfölj-PD väntas i normalfallet inte variera mellan åren, vilket däremot PD per riskklass kan komma att göra, då fördelningen av motparten över riskklasserna varierar över tid. När de nya modellerna införts, bedöms riskvikterna bli högre men stabilare över konjunktursvängarna.

Vid fastställande av LGD beaktas att riskmättet ska återspegla förlustandelen under ekonomiskt ogynnsamma förhållanden, vilket benämns Nedgångs-LGD. För fastighetssäkerheter baseras Nedgångs-LGD på observerade förlustandelen från fastighetsrisken under början av 1990-talet. För övriga säkerheter avseende hushållsexponeringar nedgångsjusteras observerat LGD med en faktor som beror på PD och produkttyp. För företagsexponeringar inom Internmetoden med egna skattningar av LGD och KF nedgångsjusteras LGD så att bankens observerade förluster under krisåren 1991–1996 kan förklaras av riskmätten med god marginal.

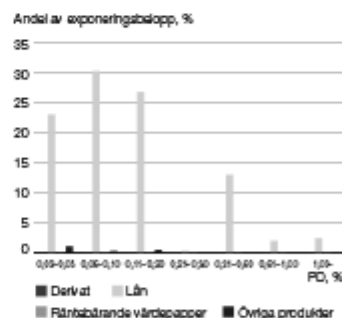
Andel av exponeringsbelopp per produkttyp per PD-intervall exklusive fallerade krediter – Företagsexponeringar



Andel av exponeringsbelopp per produkttyp per PD-intervall exklusive fallerade krediter – Institutsexponeringar



Andel av exponeringsbelopp per produkttyp per PD-intervall exklusive fallerade krediter – Hushållsexponeringar



För exponeringar med fastighetssäkerheter skattas LGD i många fall baserat på fastighetens belåningsgrad. Eftersom fastigheternas värde och därmed även belåningsgraden vanligtvis varierar med konjunkturen innebär detta att även kapitalkravet kommer att uppvisa ett visst konjunkturberoende.

När exponeringsbeloppet ska beräknas sker vissa justeringar av den bokförda exponeringen. Exempel på detta är kreditlöften eller revolving-krediter, där banken avtalar med kunden om att denne får låna upp till ett visst belopp i framtiden. Denna typ av åtaganden utgör en kreditrisk som också ska kapitaltäckas. Normalt betyder det att den beviljade krediten justeras med en viss konverteringsfaktor (KF) för den del av krediten som inte är utnyttjad vid rapporterings-tillfället. När det gäller vissa produktklasser för företagsexponeringar och för institutsexponeringar är konverteringsfaktorerna bestämda av regelverket, men för hushållsexponeringar och vissa produktklasser för stora företag, medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar använder banken egenberäknade konverteringsfaktorer. Här styrs konverteringsfaktorn framförallt av vilken produkt som avses, men även utnyttjandegrad kan spela in.

Risken (PD, exponeringsbelopp, LGD) används förutom vid kapitaltäckningsberäkningen även för beräkning av kostnaden för kapital i varje enskild affär och vid beräkning av ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC). Detta innebär att det finns försiktighetsjusteringar i risken även i beräkningarna av kostnader för kapital i enskilda affärer och vid beräkning av ekonomiskt kapital, vilket gör att de förlustnivåer som risken implicerar är konservativa. Den använda metoden medför att bankens historiska förluster har en direkt inverkan på riskberäkningar och kapitalkrav.

För företags-, instituts- och hushållsexponeringar återges i diagrammen Andel av exponeringsbelopp per produkttyp per PD-intervall exklusive fallerade krediter hur exponeringen fördelar sig mellan obligatorer och andra räntebärande värdepapper respektive lån, derivat och övriga produkter. Övriga produkter är till exempel garantier och kreditlöften. Diagrammen visar hur exponeringsbeloppen, exklusive fallerade krediter, fördelar sig mellan olika PD-intervall inom respektive exponeringsklass. De PD-värden som används är de som tillämpas vid beräkning av kapitalkravet.

MOTPARTSRISKER

Motpartsrisken uppkommer när banken har ingått derivatkontrakt, såsom terminer, swappar eller optioner eller kontrakt för lån av värdepapper, med en motpart. Kapitaltäckningsreglerna behandlar förutom derivat också repor och aktiefån som motpartsrisken.

Vid beräkningen av såväl kapitalkrav som ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC) beaktas motpartsrisken i exponeringarna utifrån de exponeringsbelopp som kapitaltäckningsreglerna ställer upp. Handelsbanken tillämpar marknadsvärderingsmetoden vid beräkning

av exponeringsbelopp för motpartsrisken för kapitaltäckningsändamål. För att fastställa den aktuella ersättningskostnaden för alla kontrakt med positivt värde åsätts kontraktens de aktuella marknadsvärdena. För att sedan kunna uppskatta den möjliga framtida kreditexponeringen multipliceras de aktuella marknadsvärdena med i regelverket fastställda procentsatser som beror på köptiden på exponeringen.

Motpartsrisken är att betrakta som en kreditrisk, där exponeringens storlek styrs av marknadsvärdet på kontraktet. I det fall det finns ett positivt värde på kontraktet betyder ett fall i pris hos motparten en potentiell förlust för banken. Motpartsrisken kan delas upp i två delar: värdeförändringsrisk och betalningsrisk.

Reducering av värdeförändringsrisk

Värdeförändringsrisk förekommer från affärsdag fram till leverans och innebär att banken kan drabbas av en utvecklingskostnad om motparten inte kan fullfölja sitt åtagande. Värdeförändringsrisk finns i alla derivattransaktioner och i värdepappersaffärer där banken på förhand inte har säkrat betalning.

Storleken på motpartsrisken begränsas genom kreditlimitering i den ordinarie kreditprocessen. Exponeringarnas storlek kan variera kraftigt med anledning av prisförändringar på den underliggande tillgången. För att beakta risken att exponeringen kan öka, görs vid kreditlimiteringen tillägg till värdet på den aktuella exponeringen. Tilläggen beräknas med schabloner som beror på typen av kontrakt och kontraktets löptid. Exponeringarna beräknas och följs upp dagligen.

Motpartsrisken i derivat reduceras genom avtal om så kallad close-out netting, det vill säga kvittning av positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart. Nettningsavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen (Credit Support Annex, CSA-avtal), vilket ytterligare reducerar kreditrisken. I huvudsak används kontanter som säkerhet för dessa transaktioner, men även statspapper förekommer. Till följd av den höga andelen kontanter är koncentrationsriskerna i säkerhetsmassan begränsade.

I ett fåtal av de avtal om säkerställande som banken har ingått, förekommer villkor om rating-baserade tröskelbelopp för Handelsbanken. Villkoren innebär att banken måste ställa ytterligare säkerheter till den aktuella motparten i händelse av att bankens externa rating försämras. Vid årsskiftet skulle en nedgradering från AA/Aa2 till AA-/Aa3 medfört att banken måste ställa ytterligare säkerheter om 75 miljoner kronor (42).

Majoriteten av Handelsbankens avtal innehåller close-out netting och CSA.

Även derivat som clearas via så kallade centrala motparter ger upphov till kapitalkrav. Centrala motparter är clearinghus som går in som motpart till både köpare och säljare i olika transaktioner och som därmed övertar ansvaret för att fullfölja parternas förpliktelser. Alla som

använder en central motpart måste lämna säkerheter för alla transaktioner. I de flesta fall är riskvikten för centralt clearade derivat betydligt lägre än för andra typer av derivat. Riskvägt exponeringsbelopp för derivattransaktioner mot centrala motparter var vid årsskiftet 498 miljoner kronor (342).

OTC-derivattransaktioner resulterar även i kapitalkrav för kreditvärderingsjusteringsrisk. Risken är relaterad till motpartens kreditkvalitet (Credit Valuation Adjustment, CVA). Kapitalkravet för CVA var vid årsskiftet 584 miljoner kronor (713).

Reducering av betalningsrisk

Betalningsrisken uppkommer vid transaktioner där banken har fullgjort sina åtaganden i form av valutaväxling, betalning eller leverans av värdepapper och samtidigt inte kan säkerställa att motparten fullgjort sina åtaganden mot banken. Risken för att beloppet för betalningstransaktionen, betalningsriskerna ingår inte i respektive kunds kreditlimit utan de omfattas istället av en separat limit. I banken limiteras värdeförändringsrisk vid avistaffärer som betalningsrisk medan värdeförändringsrisk i derivattransaktioner limiteras som kreditrisk.

Att begränsa betalningsrisken ingår som en väsentlig del i Handelsbankens kontinuerliga strävan att begränsa risker. Detta innebär bland annat utveckling av tekniska lösningar som minskar tidsperioden där betalningsrisk förekommer. Handelsbanken samarbetar i denna strävan med olika bankgemensamma clearing-institut. Banken har även etablerat samarbeten med de banker som bedöms vara starkast och mest kreditvärda.

Handelsbanken deltar i clearingsarbeten som till exempel CLS (Continuous Linked Settlement) för valutahandeln. Handelsbanken är delägare i CLS tillsammans med ett 60-tal av de största internationella valutabankerna. Handelsbanken är även delägare och direktmedlem i EBA (Euro Banking Association) och dess betalningssystem för eurobetalningar.

NOTER | KONCERNEN

Motparterlek uppdelat på exponeringsklasser, exponeringsbelopp och relevanta exponeringsbelopp	2016		2015	
	Exponerings- belopp	Relevanta exponerings- belopp	Exponerings- belopp	Relevanta exponerings- belopp
mkr				
Exponeringsklasser Intermetoden				
Instituts exponeringar	85 112	11 222	98 060	13 704
Företags exponeringar	22 670	3 941	25 597	4 711
Summa Intermetoden	107 782	15 163	123 657	18 415

Motparterlek uppdelat på exponeringsklasser, exponeringvärden och relevanta exponeringsbelopp	2016		2015	
	Exponerings- värde	Relevanta exponerings- belopp	Exponerings- värde	Relevanta exponerings- belopp
mkr				
Exponeringsklasser schablonmetoden				
Stats- och centralbanksexponeringar	3 132	67	4 074	63
Övrigt	5 200	468	4 676	258
varav deklarerade via centrala motparter	3 577	72	3 315	66
Summa schablonmetoden	8 332	535	8 750	321
Summa intern- och schablonmetoden	116 121	15 698	132 407	18 736

Exponeringsbeloppet består av derivat, repor och aktiellån.

Motparterlek i derivatkontrakt, exklusive schablonförlägg för potentiell framtida exponering	2016		2015	
mkr				
Positiv bruttomarknadsvärde för derivatkontrakt			109 686	109 287
Nettningssvinn ¹			47 697	49 600
Aktuell kvittad exponering			61 989	59 687
Säkerheter ¹			42 238	35 678
Nettokreditexponering för derivat			19 751	24 009

¹ Säkerheter som kvittas med derivatskulder i balansräkningen redovisas under nettningssvinnet.

Motparterlek i derivatkontrakt inklusive potentiell framtida exponering 2016					
mkr	Aktuell kvittad exponering	Potentiell framtida exponering	Exponerings- belopp	Relevanta exponerings- belopp	Kapitalkrav
Stats exponeringar	2 389	1 167	3 556	67	5
Instituts exponeringar	51 673	25 434	77 107	10 652	852
Företags exponeringar	11 256	3 972	15 228	3 890	311
Övriga	238	186	424	373	30
Summa	65 056	30 759	96 315	14 982	1 108
varav varksamhet i handelslagrat	17 340	12 275	29 624	5 688	455

Motparterlek i derivatkontrakt inklusive potentiell framtida exponering 2015					
mkr	Aktuell kvittad exponering	Potentiell framtida exponering	Exponerings- belopp	Relevanta exponerings- belopp	Kapitalkrav
Stats exponeringar	1 783	1 035	2 818	63	5
Instituts exponeringar	45 087	25 296	70 383	13 336	1 067
Företags exponeringar	12 671	4 181	16 852	4 473	358
Övriga	145	86	231	181	14
Summa	60 686	30 598	90 284	18 053	1 444
varav varksamhet i handelslagrat	18 522	13 524	32 046	6 628	530

MARKNADSRISK

Marknadsriskerna härrör från pris- och volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna. Marknadsriskerna delas in i ränterisker, aktiekursrisker, valuta-kursrisker och råvaruprisrisker.

I en fullsortimentsbank som Handelsbanken uppstår marknadsrisker till följd av att bankens kunder efterfrågar tjänster som kräver att banken har en flexibel finansiering. Vidare kan banken finansiera sig på andra marknader än där den har sin utlåning i syfte att diversifiera finansieringskällorna. Finansieringen kan också ha en annan löptid än de tillgångar som ska finansieras. Marknadsrisker kan även ha sitt ursprung i Group Treasurys likviditetsportfölj som med kort varsel kan omsättas till likviditet i samband med eventuella störningar på de marknader där banken bedriver sin verksamhet. Portföljen säkerställer koncernens betalningar i den dagliga clearingverksamheten och är en del av bankens likviditetsreserv.

Marknadsrisker uppstår också för att möta kunders efterfrågan på finansiella instrument med exponering mot ränta-, valuta-, aktie- eller råvarumarknaderna. För att möta denna efterfrågan kan det krävas att banken håller ett visst lager. Denna situation uppstår exempelvis när banken har åtagit sig att ställa priser, så kallad market makerfunktion.

Affärsverksamhetens marknadsrisker uppstår och hanteras således huvudsakligen i Group Treasury och i Handelsbanken Capital Markets, men uppstår även i Handelsbanken

Liv. Marknadsriskerna i Handelsbanken Liv behandlas i ett särskilt avsnitt. De uppgifter som lämnas i detta avsnitt avser således riskerna exklusive Handelsbanken Liv.

MARKNADSRISKSTRATEGI

Handelsbanken har en restriktiv syn på marknadsrisker. Marknadsrisker i bankens affärsverksamhet tas i allt väsentligt endast som ett led i att lösa kunders placerings- och riskhanteringsbehov. Marknadsriskerna ska begränsas genom att matcha kassaflöden och räntebindningstider, säkra öppna positioner och vidta andra riskbegränsande åtgärder.

Marknadsriskerna i Handelsbanken har från låga nivåer minskats ytterligare under de senaste åren och är i dag mycket låga. Detta arbete har pågått under en längre tid och påbörjades innan finanskrisen utbröt och innan regelverket började tillmätta marknadsrisker den betydelse som görs i dag. En konsekvens av detta är att en betydligt mindre andel av resultatet kommer från nettoresultat av finansiella transaktioner.

ORGANISATION

Head of Group Treasury har under CFO det operativa ansvaret för hanteringen av ränta-, valuta- och likviditetsrisker. Bankens limitssystem begränsar hur stor exponeringen mot marknadsrisker får vara. Mätmetoder och limiterna fastställs av styrelsen. Limiterna för ränta-, valuta- och likviditetsrisk fördelas av CEO och CFO till Head of Group Treasury, som i sin tur fördelar dessa på de affärsdrivande enheterna. Limiterna för aktiekursrisk och råvaruprisrisk fördelas av CFO till Head of Business Support Capital Markets.

CEO och CFO beslutar även om kompletterande riskmått, limit och närmare riktlinjer. De kompletterande limitmåten syftar till att minska bankens känslighet för volatilitetsföränd-

ringar på de finansiella marknaderna, begränsa riskerna i specifika innehav och likviditetsrisken per valuta. Vidare begränsar de kompletterande limitmåten riskerna ur ett köptidsperspektiv. Marknadsriskerna och utnyttjande av limiterna rapporteras löpande till CFO, CEO och styrelsen.

MARKNADSRISKER I HANDELSBANKEN

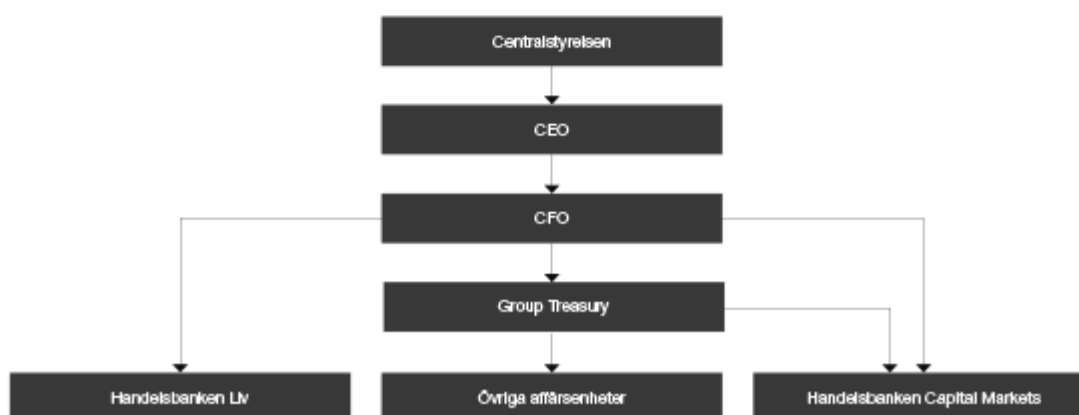
Marknadsrisken mäts med flera olika metoder. Olika känslighetsmått används som visar olika värdeförändringar som uppstår av fördefinierade förändringar i priser och volatiliteter. Vidare används även positionerrelaterade riskmått och sannolikhetsbaserade Value at Risk-modeller (VaR).

VaR

För de handelslagerklassificerade portföljerna i Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury beräknas VaR. VaR är ett sannolikhetsbaserat mått och uttrycker i kronor de förluster som kan uppstå i riskpositioner på grund av rörelser i underliggande marknader över en specificerad innehavsperiod och en given konfidenznivå. VaR mäts för enskilda riskslag och på portföljnivå med 99 procents konfidenznivå och en innehavsperiod på en dag. Metoden medför att olika riskslag kan behandlas på ett enhetligt sätt, vilket möjliggör en jämförelse mellan riskslag och att dessa kan aggregeras till en total marknadsrisk. Den samlade risken i handelslagerklassificerade portföljer var vid årsskiftet 7 miljoner kronor (13). VaR redovisas löpande till CFO, CEO och styrelsen.

VaR-modeller fångar inte alltid in risker vid extrema marknadsrörelser. Beräkningarna kompletteras därför med regelbundna stresstester där portföljerna testas mot scenarier som grundar sig på alla händelser på de finansiella marknaderna sedan 1994. Även resultaten av dessa stresstester redovisas löpande till CFO, CEO och styrelsens riskutskott.

Beslutandenivåer för marknads- och likviditetsrisker



NOTER | KONCERNEN

VaR för handelslaget – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury

	Totalt		Aktier		Räntor		Valuta		Räntor	
mkr	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015
Genomsnitt	12	12	1	1	12	12	4	5	1	1
Maximum	20	19	4	4	20	17	10	9	6	5
Minimum	6	8	0	0	6	7	1	2	0	0
Årsskifte	7	13	1	2	6	15	2	3	2	2

Värsta utfall i stress-test av handelslaget – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury¹

mkr	2016	2015
Genomsnitt	98	114
Maximum	253	234
Minimum	29	37
Årsskifte	61	102

¹ Under 2016 har metoden förändrats till att i mindre utsträckning än tidigare beakta dagens räntekvoter. Jämförelsesiffror per 2015 har till följd av detta räknats om med den nya metoden.

Generell ränterisk i övrig verksamhet

(förändring i verkligt värde vid största utfallet av parallellskift av samtliga räntor med en procentenhet)

mkr	2016	2015
SEK	756	920
DKK	166	234
EUR	132	68
NOK	88	12
USD	66	112
GBP	135	24
Övriga valutor	14	14
Summa	1 367	1 384

Räntebindningstider för tillgångar och skulder 2016

mkr	Upp till 3 månader	3–6 mån	6–12 mån	1–5 år	Över 5 år	Summa
Tillgångar						
Utlåning	1 302 302	157 537	102 728	369 968	31 087	1 963 622
Banker och andra finansinstitut	33 159	107	56	16	9	33 347
Obligationer m.m.	77 861	5 321	6 502	61 447	9 758	160 889
Summa tillgångar	1 413 322	162 965	109 286	431 431	40 854	2 157 868
Skulder						
Inlåning	821 371	4 681	2 889	393	2	829 336
Banker och andra finansinstitut	140 961	31 243	2 148	580	3 848	178 780
Emitterade värdepapper	418 039	95 677	91 718	601 304	88 427	1 295 165
Övriga skulder	-	-	-	-	-	-
Summa skulder	1 380 371	131 601	96 756	602 277	92 277	2 303 281
Poster utanför balansräkningen	-306 545	-8 166	-18 289	202 900	63 614	-66 486
Skilnad mellan tillgångar och skulder inklusive poster utanför balansräkningen	-273 594	23 198	-5 758	32 054	12 191	-211 909

Tabellen visar räntebindningstiden för räntestavade tillgångar och skulder per 2016-12-31. Icke-räntestavade tillgångar och skulder har exkluderats.

mkr	Upp till 3 månader	3–6 mån	6–12 mån	1–5 år	Över 5 år	Summa
Tillgångar						
Utlåning	1 237 710	149 780	97 672	351 750	29 555	1 866 467
Banker och andra finansinstitut	284 882	862	453	131	76	286 404
Obligationer m.m.	40 709	502	2 754	59 920	12 071	115 956
Summa tillgångar	1 563 301	151 144	100 879	411 801	41 702	2 268 827
Skulder						
Inlåning	737 001	5 117	2 508	349	2	744 977
Banker och andra finansinstitut	125 322	32 221	2 679	547	3 630	164 399
Emitterade värdepapper	440 990	90 976	87 107	575 551	84 959	1 279 583
Övriga skulder	-	-	-	-	-	-
Summa skulder	1 303 313	128 314	92 294	576 447	88 601	2 188 969
Poster utanför balansräkningen	-233 048	27 449	15 152	162 738	60 726	33 017
Skilnad mellan tillgångar och skulder inklusive poster utanför balansräkningen	26 934	50 279	23 737	-1 908	13 837	112 879

Tabellen visar räntebindningstiden för räntestavade tillgångar och skulder per 2015-12-31. Icke-räntestavade tillgångar och skulder har exkluderats.

Ränterisk

Ränterisken uppstår främst inom Handelsbanken Capital Markets, Group Treasury och i utlåningsverksamheten. Ränterisken mäts på flera sätt inom banken. Generell ränterisk mäts och limiteras som absolutsumman av de minst gynnsamma förändringarna i verkligt värde per valuta vid kraftiga momentana parallella skift uppåt eller nedåt på en procentenhet för samtliga räntor. Vid årsskiftet uppgick bankens totala generella ränterisk till 1 401 miljoner kronor (1 423). Räntebindningstid för inlåning som saknar kontraktuell löptid fastställs med intermetod. Utgångspunkten för sådan inlåning är kortast möjliga räntebindningstid och justering görs endast för den del som på underlag av observationer kan anses vara såväl stabil som icke räntekänslig. Riskmålet omfattar såväl marknadsvärderade som icke-marknadsvärderade räntebärande poster och är därför inte lämpligt för att bedöma resultat effekter på balans- och resultaträkningen.

Specifik ränterisk mäts och limiteras med känsligheten för förändringar i kreditsspreadar, det vill säga skillnaden mellan det aktuella innehavets ränta och räntan på en statsobligation med motsvarande löptid. Denna risk uppkommer främst inom Handelsbanken Capital Markets och i Group Treasurys likviditetsportfölj. Risken mäts och limiteras utifrån olika ratingkategorier och beräknas som den minst gynnsamma marknadsvärdeförändringen vid en baspunkts förändring uppåt eller nedåt av samtliga kreditsspreadar. Detta görs för varje enskild motpart och utfallen absolutsummeras. Total specifik ränterisk uppgick vid årsskiftet till 9 miljoner kronor (7).

Ränterisk i handelslagret

Handelslagret i Handelsbanken utgörs av Capital Markets och Group Treasurys handels-

lagerklassade portföljer. Den generella ränterisken i handelslagret uppgick till 81 miljoner kronor (51) och den specifika ränterisken uppgick till 7 miljoner kronor (5). Hur riskerna utvecklas vid hypotetiska förändringar av olika avkastningskurvor, så kallade kurvridningsrisker, mäts och följs upp löpande. Den icke-linjära ränterisken, exempelvis en del av risken i ränteoptioner, mäts och limiteras med fördefinierade stressscenarier som uttrycks i matriser. Det innebär att risken mäts som förändringar i underliggande marknadsräntor och volatiliteter. För handelslagret mäts risken även med VaR och andra riskmått som kompletteras med olika stressscenarier.

Ränterisk i övrig verksamhet

I utlåningsverksamheten uppstår ränterisken som ett resultat av att utlåningen delvis löper med annan räntebindningstid än finansieringen. Ränterisk hanteras till stor del genom ränteswappar. Generellt gäller att ränterisken i allt väsentligt tas i marknader som kännetecknas av god likviditet. Den generella ränterisken i övrig verksamhet mätt enligt ovan uppgick till 1 357 miljoner kronor (1 384) och den specifika ränterisken uppgick till 2 miljoner kronor (2).

För att uppskatta effekten av ränteförändringar på resultaträkningen mäts även räntenettoeffekten. Räntenettoeffekten vid ränteförändringar mäts som förändringen av räntenettet över en tolv månaders period vid en generell ökning av marknadsräntorna med en procentenhet. Denna effekt speglar de skillnader som finns i räntebindningstider och volymsammansättning mellan tillgångar, skulder och derivat utanför handelslagret med antagandet att balansräkningens storlek är konstant. I beräkningen fastställs räntebindningstid för inlåning som saknar kontraktuell löptid med intermetod. Detta görs på basis av observationer och endast den del som är såväl stabil som

inte räntekänslig justeras. Räntenettoeffekten uppgick vid årsskiftet till 1 116 miljoner kronor (929).

Aktiekursrisk

Bankens aktiekursrisk uppstår främst i Handelsbanken Capital Markets genom kundhandel och i bankens egna aktieinnehav.

Tabellen Aktiekursrisk visar marknadsvärdeförändringen i bankens totala aktiepositioner vid momentana förändring i aktiepriser och volatiliteter med +/-10 respektive +/-25 procent. Vid årsskiftet uppgick det värsta utfallet av denna risk till 152 miljoner kronor (651).

Aktiekursrisk i handelslagret

Aktiekursrisken i Handelsbanken Capital Markets uppkommer vid kundgenererade aktierelaterade affärer. Vidare är Handelsbanken Capital Markets market maker för strukturerade produkter, vilket ger upphov till aktiekursrisk, såväl linjär som icke-linjär. Den icke-linjära aktiekursrisken uppkommer via inslag av optioner som finns främst i de strukturerade produkterna.

Omfattningen av det egna positionstagandet, som uppkommer för att lösa kundens behov, begränsas av de limiter som bankens styrelse, CEO och CFO har beslutat. Banken limiterar och mäter aktiekursrisken i Handelsbanken Capital Markets med matriser. Fördelen med metoden är att den fångar upp aktiekursrisken inklusive den icke-linjära risken på ett ändamålsenligt sätt. VaR, såväl som andra riskmått och stressscenarier, används som ett komplement i mätningen av aktiekursrisken. Vid årsskiftet uppgick VaR för aktiekursrisk i handelslagret till 1 miljon kronor (2).

Aktiekursrisk mkr	Förändring i volatilitet					
	2016			2015		
	-25%	0%	25%	-25%	0%	25%
Förändring i aktiepris						
10%	161	162	162	647	651	654
-10%	-152	-149	-145	-651	-648	-645

NOTER | KONCERNEN

Aktiekursrisk utanför handelslagret

Koncernens aktieinnehav utanför handelslagret utgörs av noterade aktier som i huvudsak består av olika typer av gemensamäggt verksamhet med anknytning till bankens affär. Innehaven är klassificerade som tillgängliga för försäljning och värderas till verkligt värde i balansräkningen enligt redovisningsregelverket. Värdering sker som regel till bankens andel av substansvärdet i bolaget, alternativt till det pris den senaste transaktionen genomfördes. Aktiekursrisken är mycket liten.

Valutakursrisk

Banken har hemmamarknader utanför Sverige och dessutom verksamhet i ett antal andra länder. Därigenom uppkommer en indirekt valutaexponering av strukturell natur då koncernens räkenskaper är uttryckta i svenska kronor. Den strukturella risken minimeras genom att tillgångar och skulder i möjligaste mån matchas i samma valuta. De valutakursförändringar som påverkar bankens egna kapital framgår av tabellen på sidan 68 i årsredovisningen: Förändringar i eget kapital, koncernen.

Bankens direkta valutakursexponering uppstår till följd av kunddriven intradaghandel på de internationella valutamarknaderna. Handeln bedrivs inom Handelsbanken Capital Markets. För denna valutakursrisk har styrelsen, CEO och CFO fastställt VaR-limiter.

En viss valutaexponering uppstår även i den vanliga bankverksamheten som ett led i han-

tering av kundflöden och inom finansieringsverksamheten i Group Treasury. För dessa risker har styrelsen, CEO och CFO fastställt positionslimiter. Vid årsskiftet uppgick den aggregerade nettopositionen till 689 miljoner kronor (391). Valutakursrisken i banken är inte beroende av trendutvecklingen av en enskild valuta eller grupp av valutor, då positionerna är mycket korta och uppkommer i hanteringen av kunddrivna flöden. Den samlade valutakursrisken i handelslagret och övrig verksamhet var 114 miljoner kronor (36), mätt som en påverkan på bankens resultat vid en momentan förändring av den svenska kronan med 5 procent.

Råvaruprisrisk

Exponering i råvarurelaterade instrument uppkommer endast till följd av kunddriven handel på de internationella råvarumarknaderna och begränsas av limiter beslutade av styrelsen, CEO och CFO. Handeln med råvaror bedrivs uteslutande inom Handelsbanken Capital Markets. Råvaruprisrisk, såväl linjär som icke-linjär, mäts som absoluta summan av risken för alla råvaror där banken har exponering. Råvaruprisrisken var vid årsskiftet 6 miljoner kronor (5), mätt som den maximala förlusten vid prisförändringar upp till 20 procent i underliggande råvaror och volatilitetsförändringar upp till 35 procent. Vid årsskiftet uppgick VaR för råvaruprisrisk till 2 miljoner kronor (2).

Övriga marknadsrisker

Marknadsrisk uppkommer även inom bankens pensionsystem (pensionsrisk). Risken består i huvudsak av risken för att de värden som finns inom ramen för trygghandet av bankens pensionsåtaganden ska minska.

Värdering till verkligt värde

Risik kontrollfunktionen kontrollerar att koncernens finansiella instrument värderas korrekt. Värderingen av finansiella instrument som värderas till verkligt värde sker enligt IFRS 13. Se not K40 för närmare information om de tillgångar och skulder som värderas till verkligt värde samt för information om bankens värderingsprocess.

Aktieexponeringar utanför handelslagret mkr	2016	2015
Innehav klassificerade som tillgängliga för försäljning	1 618	6 581
varav noterade	-	4 667
varav icke-noterade	1 618	1 914
Innehav klassificerade som tillgängliga för försäljning	1 618	6 581
varav näringsbolagsand	1 605	5 198
varav övrigt innehav	13	1 383
Verkligt värde-reserv vid årets ingång	2 138	1 460
Orealiserad marknadsvärdeförändring under året för kvarvarande samt nya innehav	773	789
Realiserat till följd av försäljningar och avvecklingar under perioden	-1 876	-111
Verkligt värde-reserv vid årets utgång	1 035	2 138
Inbegripet i supplementärt kapital	0	0

Valutakänslighet (väntat utfall +/- 5% förändring av SEK mot respektive valuta) mkr	2016	2015
EUR	57	3
NOK	25	20
DKK	6	3
USD	26	4
GBP	2	6
Övriga valutor	7	8

FINANSIERING OCH LIKVIDITETSRISK

Likviditetsrisk är risken för att banken inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, utan att drabbas av oacceptabla kostnader eller förluster.

I kölvattnet av finanskrisen har ett antal nya regelverk tillkommit. Banken har på eget initiativ, redan sedan tidigare, genomfört en rad åtgärder och uppfyller därför sedan lång tid dessa krav. En centraliserad finansfunktion med det övergripande ansvaret för all finansiering och likviditetsriskhantering, ökad andel långfristig finansiering, Interpriser som speglar såväl marknadspriset som likviditetsrisk och löptid är några av åtgärderna. Härutöver har transparen- sen kring finansiering och likviditetsrisk och andel pantsatta tillgångar utökats.

Handelsbanken är den enda större svenska bank som genom hela den senaste finanskrisen klarat sin finansiering helt på egen hand, utan stöd från vare sig centralbanker eller myndigheter.

FINANSIERINGSSTRATEGI

Handelsbanken har låg tolerans för likviditetsrisker och arbetar aktivt för att minimera dem både totalt sett och i alla valutor var för sig.

Ambitionen är att ha god tillgång till likviditet, låg resultatvariation och stor kapacitet att även i svåra tider kunna tillgodose kundernas finansieringsbehov. Det sker genom att upprätthålla god matchning av ingående och utgående kassaföden över tid i alla för banken väsentliga valutor och genom att upprätthålla stora likviditetsreserver av god kvalitet. Banken minimerar på det sättet de ekonomiska riskerna i upplåningen och kan därmed bestämma stabila och långsiktiga internräntor till de affärsdrivande enheterna.

Vidare eftersträvas en bredd i finansieringsprogrammen och deras användning så att ingen typ av investerare fördelas framför någon annan. Därigenom säkerställs att banken kan bedriva sin kärnverksamhet intakt under en lång period även om de finansiella marknaderna skulle ha omfattande störningar.

Utgångspunkten i detta arbete är en väl matchad balansräkning där likvida tillgångar finansieras med stabil finansiering. De likvida tillgångarna utgörs av krediter till hushåll och företag. Dessa krediter utgör bankens kärnverksamhet. Den långsiktiga, stabila finansieringen av dessa tillgångar utgörs av säkerställda obligationer emitterade av Stadshypotek, seniora obligationer emitterade av Handelsbanken, inlåning från hushåll och viss inlåning från företag, efterställda skulder och eget kapital. En del av kärnverksamheten utgörs av utlåning till hushåll och företag på kortare löptider och på skuldsidan är en del av inlåningen för dessa kunder av mer kortfristig natur.

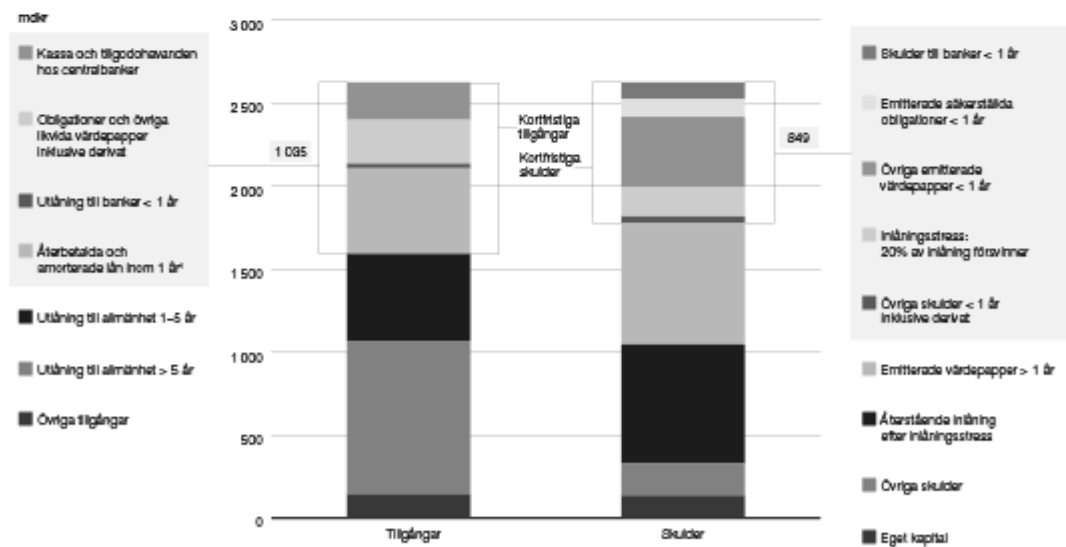
En balansräkning är en ögonblicksbild av tillgångar och skulder. För att säkerställa bankens

åtaganden gentemot kunder och investerare är det viktigt med ett framtidsblickande perspektiv i finansierings- och likviditetsriskhanteringen. Balansräkningen är därför strukturerad så att den reala ekonomins aktörer i form av företag och hushåll och deras behov av krediter kan understödjas även under en långvarig stress på de finansiella marknaderna. De kortfristiga skulderna täcks med god marginal av de kortfristiga tillgångarna. I diagrammet Balansräkningens sammansättning ur ett löptidsperspektiv beskrivs balansräkningen i ett stressat scenario där 20 procent av inlåningen antas försvinna inom ett år och all tillgång till ny marknadsfinansiering försvinner. Trots stressen beräknas korta tillgångar vid årets slut väsentligt överstiga korta skulder. Effekten av en långvarig kris skulle bli en krympt balansräkning med bibehållen kärnverksamhet där volymen korta tillgångar successivt används för att återbetala förfallande korta skulder. Skulle en kris bli än mer långvarig finns det likviditetskapande åtgärder förberedda för att stödja verksamheten ytterligare.

Handelsbankens förtroende på marknaden är högt och marknaden bedömer att Handelsbankens kreditrisk är låg. Detta illustreras bland annat av att kostnaden för att försäkra en kreditrisk på banken, den så kallade CDS-spreaden, är en av de absolut lägsta bland europeiska banker, och Handelsbanken har lägst finansieringskostnad bland alla jämförbara konkurrenter.

Ett viktigt inslag i finansieringsstrategin är att ha en god spridning mellan olika typer av finansieringskällor i olika marknader, valutor

Balansräkningens sammansättning ur ett löptidsperspektiv 2016



* Enligt amorteringsplaner, kontraktuella förfall och ytterligare återbetalningar av lån enligt prognos.

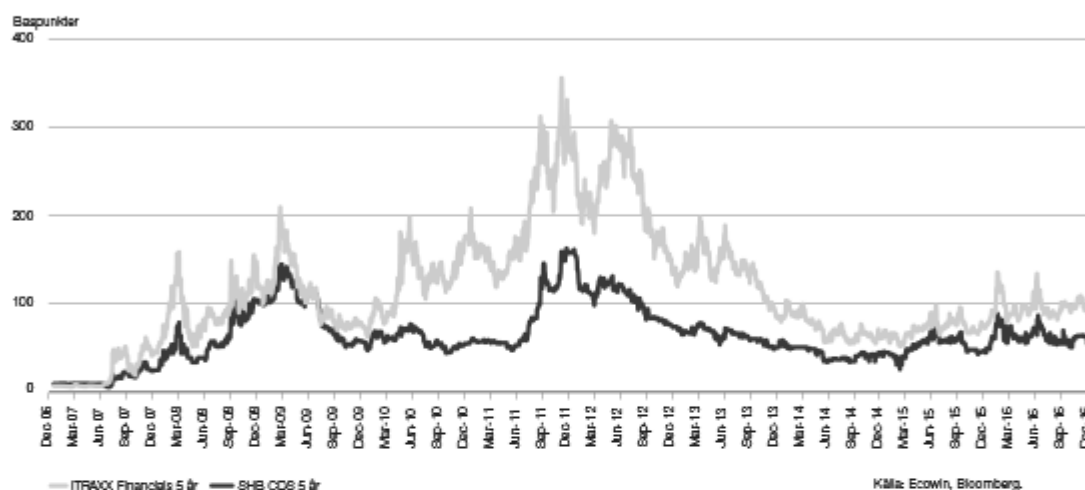
NOTER | KONCERNEN

och typer av upplåningsinstrument. På så vis reduceras betydelsen av enskilda marknader eller finansieringskällor. Banken har under senare år väsentligt breddat sin långfristiga utlandsfinansiering och har emitterat betydande volymer av obligationer i bland annat Storbritannien, USA, Asien och Australien samt på euromarknaden. De viktigaste finansieringskällorna är inlåning från hushåll och företag samt säkerställda och

seniora obligationer. Den korta finansieringen utgörs primärt av inlåning från finansiella företag och institutioner samt emissioner av certifikat och inlåningsbevis (CD). Group Treasury förfogar över ett antal olika finansieringsprogram för marknadsfinansiering, som utöver de program som redovisas i tabellen Upplåningsprogram/ramar inom koncernen innefattar säkerställda obligationer i svenska kronor. Under dessa

program emitteras obligationer och certifikat såväl i bankens som i Stadshypoteks namn. Finansieringsprogrammen säkerställer en väl diversifierad tillgång till finansiering med avseende på olika valutor, antal investerare och geografisk spridning.

Handelsbankens 5-åriga CDS-spread jämfört med ITRAXX Financials 2007-2016



ITRAXX Financials är ett index över CDS-spreadarna för de 25 största obligationsemitterarna inom bank- och försäkringssektorn i Europa och beskriver den genomsnittliga premien som investerare kräver för att acceptera kreditrisk på bolagen.

Upplåningsprogram/ramar inom koncernen 2016	Ramvaluta	Rambelopp	Nyttjat belopp	Motvärde mkr
Program				
ECF ¹	EUR	15 000	3 093	29 640
ECF (Stadshypotek) ¹	EUR	4 000	0	0
Franska certifikat	EUR	7 500	1 913	18 332
Svenska certifikat	SEK	25 000	0	0
Svenska certifikat (Stadshypotek)	SEK	90 000	0	0
USCP	USD	15 000	4 401	39 940
AMTN	AUD	5 000	1 275	8 362
AMTCN (Stadshypotek)	AUD	5 000	750	4 919
BMTN ¹	USD	50 000	21 759	197 465
BMTCN (Stadshypotek) ¹	EUR	20 000	11 002	105 432
US 144A/3(a)(2)	USD	20 000	11 900	107 994
Stadshypotek US 144A	USD	15 000	3 750	34 032
Samurai	JPY	400 000	160 700	12 482
MTN ¹	SEK	100 000	13 334	13 334
Övrig upplåning > 1 år ¹	USD	15 000	1 231	11 171
Exlandole notes	USD	15 000	7	64
Summa				583 167
Totala program- och rambelopp, mkr		1 937 028		
Outnyttjat belopp, mkr		1 353 861		
Kvar ett utnyttja, %		70		

¹Inom dessa program finns möjlighet att emittera i ett antal olika valutor förutom ramvalutan, där valutaomräkning sker vid emissionsstillfället.

ORGANISATION

Handelsbanken har en helt decentraliserad affärsmodell men all finansiering och likviditetsriskhantering i koncernen är centraliserad till Group Treasury. Finansierings- och likviditetsriskhanteringen styrs av policyer fastställda av styrelsen som också beslutar om limiter. Dessa policyer konkretiseras i riktlinjer av CEO och instruktioner från CFO. Riktlinjerna fastställer bland annat limiter, finansieringens sammansättning och riktvärden i samband med störmöjigheter på finansieringsmarknaderna. Vidare kanaliseras alla likviditetslimiter ut i verksamheten via Group Treasury.

Group Treasury ansvarar också för bankens clearingverksamhet och övervakar likviditetsflödena under dagen för att säkerställa att banken vid varje tid har tillräckligt med säkerheter i betalningssystemen för att fullfölja bankens betalningsförpliktelser. Bankens likviditetsövervakning sker lokalt nära affärerna och kompletteras med en central hantering av panter och likviditetsreserven för hela gruppen.

Storleken på panter i clearingssystemen sätts utifrån den omfattning som banken bedömer behövs för bankens åtagande både vid normala förhållanden och vid större flöden. Vid förändringar av flödet justeras storleken av panter och likviditet och vid krisituationer kan också panter omfördelas och likviditetsreserven aktiveras. Banken säkerställer likviditeten på bankens nötkonton för förväntade betalnings- och avvecklingsåtaganden genom aktiv likviditetsplanering och övervakning i samtliga valutor.

MARKNADSFINANIERING – SAMMANSÄTTNING

Handelsbanken har under året emitterat totalt 210 miljarder kronor (214) i långfristig marknadsfinansiering fördelat över alla för banken viktiga valutor. Kortfristig upplåning sker företrädesvis genom emissions av bankcertifikat under de olika låneprogrammen i Sverige, Europa och USA. Dessa låneprogram kompletteras av upplåning på den internationella interbankmarknaden. Därigenom har banken under året fortsatt att möta investerare i samma omfattning som tidigare, uppdaterat upplåningsprogram och även i övrigt bibehållit förutsättningarna för en obligationsupplåning på relevanta upplåningsmarknader världen över. Detta möjliggör

en bibehållen finansieringsverksamhet under betydligt svårare omständigheter än de som varit de senaste åren.

LIKVIDITETSRISK

Banken hanterar en stor mängd in- och utgående kassaflöden varje dag. Gapet mellan in- och utgående kassaflöden begränsas med limiter. Group Risk Control rapporterar riskutnyttjandet dagligen till CFO, veckovis till CEO och löpande till styrelsen.

Likviditetsplaneringen bygger på en analys av kassaflöden för respektive valuta. Generellt gäller att exponeringen tillåts vara större i valutor med hög likviditet än i valutor där likviditeten är låg. Strategin är att förväntade kassaflöden ut ur banken alltid ska matchas med minst lika stora kassaflöden in i banken och att ett positivt kassaflöde och en positiv kassaposition ska upprätthållas även under stressade förhållanden. En sådan gapanalys kompletteras också med scenarion för de effekterna på likviditeten stressas och analyseras under olika antaganden.

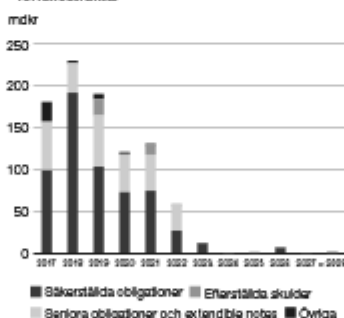
Styrningen av bankens likviditetssituation baseras på dessa stresser vilka utförs såväl på aggregerad nivå som enskilt på de för banken väsentliga valutorna. Motståndskraften för mer långvariga störmöjigheter på marknaden mäts därmed dagligen genom att kassaflöden stressas under vissa antaganden. Till exempel antas att banken inte kan finansiera sig alls på de finansiella marknaderna samtidigt som 10

procent av den löstidsbundna inlåningen från hushåll och företag försvinner successivt under den första månaden. Vidare antas att banken fortsätter att bedriva sin kärnverksamhet, det vill säga att den löstidsbundna in- och utlåningen till hushåll och företag förlängs vid förfall och att utställda löften och kreditfaciliteter delvis utnyttjas av kunderna. Samtidigt beaktas att tillgodohavanden i centralbanker och banker tas i anspråk och att Group Treasurys värdepapper omedelbart kan ge likviditet genom belåning i första hand via marknaden och som sista utväg i centralbanker.

Därutöver används likviditetsskapande åtgärder för att successivt ge likviditet till banken. Under dessa förutsättningar är banken likvid i mer än tre år. Banken har således en stor motståndskraft även mot allvarliga och långvariga störmöjigheter på finansieringsmarknaderna.

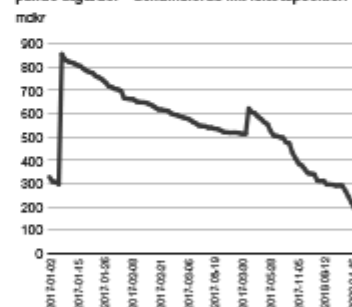
En förutsättning för att banken ska kunna upprätthålla en stor motståndskraft mot störningar på de finansiella marknaderna är att balansräkningen är väl balanserad. Diagrammet Balansräkningens sammansättning ur ett löptidsperspektiv visar att volymen kortfristiga tillgångar väsentligen överstiger volymen kortfristiga skulder i ett stressat scenario där 20 procent av inlåningen antas försvinna inom ett år. Vidare krävs att volym och kvalitet på utnyttjade säkerheter är sådana att de vid en krisituation kan ge banken den likviditet som är nödvändig. Att konsekvent styra banken efter

Långfristig marknadsfinansiering – förfallostruktur

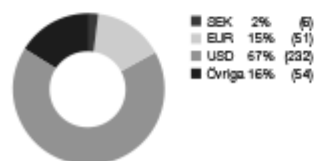


Avser emitterade värdepapper per 2016-12-31 med en ursprunglig löptid överstigande ett år.

Stressat test av likviditeten inklusive likviditetsskapande åtgärder – ackumulerad likviditetssituation



Kortfristig marknadsfinansiering per valuta 2016



Avser fördelningen av valutor 2016-12-31 för emitterade värdepapper med en ursprunglig löptid under ett år. Belopp i miljarder inom parantes.

Långfristig marknadsfinansiering per valuta 2016



Avser fördelningen av valutor 2016-12-31 för emitterade värdepapper med ursprunglig löptid över ett år. Belopp i miljarder inom parantes.

Långfristig marknadsfinansiering per instrument 2016



Avser fördelning per instrument 2016-12-31 för emitterade värdepapper med ursprunglig löptid över ett år. Belopp i miljarder inom parantes.

NOTER | KONCERNEN

framåtblickande positiva nettokassaflöden, och inte ögonblicksbaserade kvotmått, säkerställer vidare detta över tid.

I tabellen Förfalloanalys för finansiella tillgångar och skulder redovisas kassaflöden för de kontrakterade betalningsåtaganden inklusive ränteflöden som senast ska erläggas inom de angivna tidsintervallen. I tabellen redovisas innehav i obligationer och andra räntebärande värdepapper i det tidsintervall i vilket de kan omväntas till likviditet vid en eventuell belåning eller försäljning. Vidare redovisas tillgångar, skulder och ränteflöden som förfaller i de tidsintervall som motsvarar kontraktens förfallodatum. Ränteflöden för utlåning i hypoteksverksamheten matchas tidsmässigt med de skulder som finansierat utlåningen. Finansiella garantier, lånelöften och outnyttjade räkningskrediter redovisas i sin helhet i tidsintervallet 0–1 månad. Totalt utestående belopp för dessa åtaganden representerar inte nödvändigtvis framtida finansieringsbehov. För derivatinstrument redovisas kassaflöden netto för ränteswappar och brutto för instrument för vilka bruttokassaflöden erläggs respektive erhålls, som exempelvis valutaswappar.

Liquidity Coverage Ratio (LCR) är sedan 2013 ett bindande krav för svenska banker och Handelsbanken redovisar enligt Finansinspektionens definition. Måttet uttrycker kvoten mellan bankens likviditetsbuffert och nettokassaflöden i ett mycket stressat scenario under en 30-dagarsperiod. Kvoten ska överstiga 100 procent. Kravet gäller LCR på aggregerad nivå och separat för USD och EUR. Från och med

den 1 oktober 2015 finns i och med Europeiska kommissionens delegerade akt ett europeiskt minimikrav på LCR. Minimikravet var 70 procent under 2016 för att stegvis höjas till 100 procent år 2018 då den delegerade akten ska vara fullt införd. Det LCR som Finansinspektionen i Sverige infört baseras på betydligt mer stressade antaganden, framförallt vad avser utföresantaganden för inlåning samt likviditetsportföljens sammansättning.

LCR kan uppvisa en viss volatilitet över tiden, till exempel när finansiering som ursprungligen är långfristig och som finansierar hypoteksutlåning ersatts av ny långfristig finansiering, eller när sammansättningen av motpartsgrupper i den kortfristiga upplåningen varierar. Vid årsskiftet uppgick koncernens aggregerade LCR i enlighet med Finansinspektionens definition till 126 procent (137), vilket visar att banken har stor motståndskraft mot kortfristiga störningar på finansieringsmarknaden. Detta gäller också i USD och EUR. Bankens LCR enligt Europeiska kommissionens delegerade akt uppgick till 142 procent (140). Det strukturella likviditetsmåttet Net Stable Funding Ratio (NSFR), relationen mellan tillgänglig stabil finansiering och behovet av stabil finansiering, uppgick vid utgången av 2016 till 102 procent (100) för koncernen.

PRISSÄTTNING AV LIKVIDITETSRISK

En viktig del av likviditetsriskhanteringen är att inlåning och utlåning internt prissätts med hänsyn till de likviditetsrisker de ger upphov till. När banken exempelvis ger ett lån med lång löptid så skapar det ett behov av att skaffa ytterligare

långfristig finansiering, vilket är dyrare än mer kortfristig finansiering. Det beror på att investeraren som köper bankens långfristiga obligationer normalt kräver en högre kompensation för löptiden. Detta behöver beaktas i bankens interna prissättning, vilket sker genom att det pris som interna enheter i banken får betala för de lån de tar från Group Treasury bland annat beror på löptiden. Inga likviditetsrisker får tas lokalt. Den interna prissättningen är viktig för att skapa rätt incitament och undvika att ett osunt risktagande uppstår. Banken har under lång tid arbetat med löptidsbaserade interna priser som säkerställer att priset på kontraktsnivå tar höjd för den likviditetsrisk avtalet gett upphov till. Detta system var fullt implementerat i banken redan 2010.

Liquidity Coverage Ratio (LCR) %	2016	2015
EUR	136	161
USD	322	429
Totalt	126	137

Beräknat i enlighet med Finansinspektionens föreskrift FFFS 2012:6 som trädde kraft den 1 januari 2013.

Liquidity Coverage Ratio (LCR) – delkomponenter mkr	2016	2015
Likvida tillgångar	290 008	283 573
Likvida tillgångar nivå 1	251 189	242 606
Likvida tillgångar nivå 2	38 869	40 967
Kassaflöden	390 660	318 384
Kundinlåning	173 496	141 589
Marknadsupplåning	151 735	142 770
Övriga kassaflöden	34 428	34 025
Kassaflöden	120 178	111 590
Inlåning från förtärande utlåning till icke-finansiella kunder	21 146	22 612
Övriga kassaflöden	108 030	88 978

Komponenterna definieras i enlighet med Finansinspektionens föreskrifter om krav på likviditetsstörningsgrad och rapportering av likvida tillgångar och kassaflöden (FFFS 2012:6). Likvida tillgångar nivå 1 motsvarar 3 kap 6 §. Likvida tillgångar nivå 2 motsvarar 3 kap 7 §. Kundinlåning motsvarar 4 kap 4–9 §§. Marknadsupplåning motsvarar 4 kap 10–13 §§. Övriga kassaflöden motsvarar 4 kap 14–25 §§. Utlåning till icke-finansiella kunder motsvarar 5 kap 4 §. Övriga kassaflöden motsvarar 5 kap 6–12 §§.

NOTER | KONCERNEN

Förtälningsanalys för finansiella tillgångar och skulder 2016 mkr	Upp till 1 månad	1-3 månader	3-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Oppecifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodoavanden i centralbanker	222 401	-	-	-	-	-	-	222 401
Bekräftade statskuldforbindelser ¹	97 464	-	-	-	-	-	-	97 464
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	64 344	-	-	-	-	-	-	64 344
Utlåning till kreditinstitut	24 274	2 465	432	151	1 109	3 637	-	32 068
varav omvända repor	4 091	-	-	-	-	-	-	4 091
Utlåning till sällskapskredit	57 373	255 724	175 411	194 707	365 045	1 008 017	-	2 056 277
varav omvända repor	7 493	-	-	-	-	-	-	7 493
Övrigt	22 769	-	-	-	-	-	223 839	246 608
varav aktier och andelar	20 412	-	-	-	-	-	-	20 412
varav fordringar på fondkivider	2 357	-	-	-	-	-	-	2 357
Summa tillgångar	488 626	258 180	176 843	194 858	366 154	1 011 654	223 839	2 719 162
Skulder till kreditinstitut	98 640	48 077	4 275	4 729	589	6 744	18 944	181 998
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	0
varav inlåning från centralbanker	30 732	34 439	1 561	-	-	-	1 868	68 600
In- och upplåning från sällskapskredit	17 664	21 061	5 553	867	2 619	2 614	775 803	826 181
varav repor	2	-	-	-	-	-	-	2
Emitterade värdepapper ³	102 983	361 714	87 129	249 491	438 391	84 163	-	1 323 871
varav säkerställda obligationer	87	1 064 75	17 241	205 687	267 098	48 094	-	643 682
varav certifikat och andra värdepapper med ursprunglig löptid undergående ett år	1 01 753	222 236	25 435	-	-	-	-	349 424
varav andels obligationer och andra värdepapper med ursprunglig löptid övergående ett år	1 143	34 003	44 453	43 804	171 293	36 069	-	330 765
Eftersäkrade skulder	389	840	3 059	1 228	32 808	-	-	38 324
Övrigt	4 106	-	-	-	-	-	320 193	324 298
varav korta positioner	1 572	-	-	-	-	-	-	1 572
varav fondkivider	2 533	-	-	-	-	-	-	2 533
Summa skulder	223 781	431 692	100 018	258 316	474 407	93 621	1 114 040	2 604 872
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånatiden	425 267							
Derivat 2016 mkr	Upp till 1 månad	1-3 månader	3-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år		Summa
Summa derivat inlöste	272 926	433 368	75 052	108 899	292 940	95 384		1 273 509
Summa derivat utlöste	271 566	423 873	71 189	90 801	264 335	92 441		1 214 205
Netto	1 360	9 495	3 863	13 038	28 605	2 943		69 304

Förtälningsanalys för finansiella tillgångar och skulder 2015 mkr	Upp till 1 månad	1-3 månader	3-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Oppecifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodoavanden i centralbanker	236 752	-	-	-	-	-	-	236 752
Bekräftade statskuldforbindelser ¹	75 192	-	-	-	-	-	-	75 192
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	44 951	-	-	-	-	-	-	44 951
Utlåning till kreditinstitut	31 161	13 968	212	293	787	3 920	-	50 278
varav omvända repor	14 586	8 893	-	-	-	-	-	23 479
Utlåning till sällskapskredit	58 113	233 279	171 597	191 513	364 138	940 827	-	1 959 467
varav omvända repor	7 742	-	-	-	-	-	-	7 742
Övrigt	34 952	-	-	-	-	-	215 020	249 972
varav aktier och andelar	30 387	-	-	-	-	-	-	30 387
varav fordringar på fondkivider	4 565	-	-	-	-	-	-	4 565
Summa tillgångar	481 121	247 247	171 809	191 743	364 925	944 747	215 020	2 616 612
Skulder till kreditinstitut	69 819	67 894	1 620	5 868	903	7 736	14 113	167 953
varav repor	290	-	-	-	-	-	-	290
varav inlåning från centralbanker	13 066	55 291	-	5	-	-	1 339	69 695
In- och upplåning från sällskapskredit	3 119	43 653	7 729	1 084	2 396	6 650	689 373	754 004
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	0
Emitterade värdepapper ³	98 204	356 399	120 523	182 911	478 689	79 415	-	1 316 141
varav säkerställda obligationer	23	44 708	68 531	120 017	337 249	33 424	-	603 952
varav certifikat och andra värdepapper med ursprunglig löptid undergående ett år	96 773	270 064	7 722	-	-	-	-	374 559
varav andels obligationer och andra värdepapper med ursprunglig löptid övergående ett år	1 408	41 627	44 270	62 894	141 440	45 991	-	337 630
Eftersäkrade skulder	374	825	2 566	4 226	21 791	10 416	-	40 198
Övrigt	8 940	-	-	-	-	-	315 985	324 925
varav korta positioner	2 416	-	-	-	-	-	-	2 416
varav fondkivider	6 524	-	-	-	-	-	-	6 524
Summa skulder	180 456	468 771	132 438	194 089	503 779	104 217	1 019 471	2 608 221
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånatiden	420 857							
Derivat 2015 mkr	Upp till 1 månad	1-3 månader	3-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år		Summa
Summa derivat inlöste	270 580	390 214	75 129	115 406	274 686	110 695		1 236 710
Summa derivat utlöste	269 984	384 083	72 032	108 327	254 483	108 407		1 197 406
Netto	596	6 131	3 097	7 079	20 203	2 198		39 304

¹ Av beloppet (exklusive räntor) har 68 022 mkr (25 294) en återstående löptid som understiger ett år.² Av beloppet (exklusive räntor) har 10 136 mkr (6 021) en återstående löptid som understiger ett år.³ Av beloppet (exklusive räntor) har 528 907 mkr (650 827) en återstående löptid som understiger ett år.

För inlåningsvolymerna avser kolumn "Oppecifierad löptid" inlåning som är betalbar på anfordran. Tabellen innehåller räntelånen vilket innebär att balansräkningen inte är avstämmningsbara mot koncernens balansräkning. Löptidstabeller utan räntelånen inklusive löptidstabeller ivalet återfinns i Faktabok på handelsbanken.se/it.

NOTER | KONCERNEN

LIKVIDITETSRESERVEN

För att säkerställa att banken har tillräckligt med likviditet för att stödja kärnverksamheten under stressade finansiella förhållanden håller banken betydande likviditetsreserver. Likviditetsreserver hålls i alla för banken relevanta valutor och är tillgängliga för Group Treasury. Likviditetsreserven är oberoende av finansierings- och valutaväxlingsmarknaderna och kan vid var tid ge likviditet till banken, vissa delar omedelbart och andra delar successivt under en tidsperiod.

Likviditetsreserven består av flera olika delar. Kassa, tillgodohavanden och övrig utlåning till centralbanker är delar som omedelbart kan ge likviditet till banken. Vidare består reserven av statsobligationer, säkerställda obligationer och övriga värdepapper av god kreditkvalitet som är likvida och belåningsbara i centralbanker. Även dessa kan ge banken likviditet omedelbart. Resterande del av likviditetsreserven består av utnyttjat emissionsutrymme av säkerställda obligationer och övriga likviditetsskapande åtgärder.

PANTSATTA TILLGÅNGAR OCH SÄKERHETSPOOLER

Ytterligare ett viktigt led i Handelsbankens likviditetshantering är att hålla betydande volymer av utnyttjade säkerheter som kan användas vid störningar på finansmarknaderna. En förutsättning för att kunna ställa mer säkerheter är att banken förfogar över säkerheter i utgångsläget. Banken upprätthåller därför betydande volymer av icke-pantsatta tillgångar som skulle kunna användas som säkerhet vid emission av säkerställda obligationer och likvida värdepapper med mycket hög kreditvärdighet.

Banken är restriktiv med att ingå avtal med andra än kreditinstitut, till exempel CSA-avtal, som stipulerar att banken under vissa kriterier kan tvingas att ställa säkerheter till en motpart. Ställda kontantsäkerheter enligt CSA-avtal för utestående derivat uppgick till 7 279 miljoner kronor (9 635). För mer information, se Handelsbankens Faktabok, tabell Ställda säkerheter. Utöver att säkerställa bankens likviditet så bidrar det restriktiva arbetssättet till att begränsa vil-

ken utsträckning bankens seniora långivare blir efterställda de långivare som investerar i säkerställda obligationer, så kallad subordnering.

För att bedöma graden av subordnering mellan investerare av icke-säkerställd finansiering och säkerställd finansiering är det volymen och kreditkvaliteten på de icke-pantsatta tillgångarna som är relevant. Handelsbankens restriktiva syn på risktagande gör att de icke-pantsatta tillgångarna har en hög kvalitet. Eftersom Handelsbanken vill ha en balanserad användning av säkerställda och seniora obligationer finns en betydande volym hypotekslån som inte är pantsatta. Övriga icke-pantsatta lån har också en låg risk mätt till exempel i termer av bankens interna rating.

Tabellen Tillgångar som ej är in-tecknade/pantsatta visar att volymen icke-pantsatta tillgångar för Handelsbanken utgör 210 procent (203) av den utestående volymen icke-säkerställd upplåning. Banken valde vid slutet av året att minska volymen kortfristig inlåning. Detta förklarar nedgången i behållning på centralban-

Tillgodohavanden i centralbanker och banker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven, marknadsvärde 2016 mkr	SEK	EUR	USD	Övrigt	Summa
Kassa samt tillgodohavanden hos och övrig utlåning till centralbank	4 821	99 487	30 460	89 765	224 533
Tillgodohavanden hos andra banker och Riksgälden, övernågt	7 567	22	23	100	7 712
Värdepapper emitterade av stater	70 483	6 430	12 519	-	89 432
Värdepapper emitterade av kommuner och övriga offentliga enheter	2 051	287	4 447	-	6 785
Säkerställda obligationer	36 631	2 108	-	10 306	49 045
Egna säkerställda obligationer	4 602	-	-	-	4 602
Värdepapper emitterade av icke-finansiella företag	1	26	-	-	27
Värdepapper emitterade av finansiella företag (ej icke säkerställda obligationer)	85	20	-	19	124
Övriga värdepapper	-	-	-	-	-
Summa	126 241	108 380	47 440	100 190	382 250

Tillgodohavanden i centralbanker och banker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven, marknadsvärde 2015 mkr	SEK	EUR	USD	Övrigt	Summa
Kassa samt tillgodohavanden hos och övrig utlåning till centralbank	15 998	45 560	94 626	80 175	236 359
Tillgodohavanden hos andra banker och Riksgälden, övernågt	0	43	75	1 062	1 180
Värdepapper emitterade av stater	33 915	6 900	16 933	-	57 748
Värdepapper emitterade av kommuner och övriga offentliga enheter	2 045	275	3 068	-	5 388
Säkerställda obligationer	35 707	2 554	-	10 521	48 782
Egna säkerställda obligationer	1 314	-	-	-	1 314
Värdepapper emitterade av icke-finansiella företag	502	135	-	-	637
Värdepapper emitterade av finansiella företag (ej icke säkerställda obligationer)	214	4	-	15	233
Övriga värdepapper	-	-	-	-	-
Summa	89 686	55 471	114 702	91 773	351 641

NOTER | KONCERNEN

ker och kvoten icke-pantsatta tillgångar i förhållande till den utestående volymen icke-säkerställd upplåning jämfört med tidigare kvartal.

Den helt dominerande delen av de pantsatta tillgångarna utgörs av Stadshypoteks cover pooler, vilka består av hypotekslån som ställs som säkerhet för utestående säkerställda obligationer. Dessutom har banken ett frivilligt så kallat OC (over-collateralization), det vill säga extra tillgångar utöver de som behövs för att täcka de emitterade obligationerna och utöver de 2 procent som lagstiftningen kräver, på 8 procent som ligger i poolen. Dessa extra tillgångar finns i poolen i händelse av att värdet på hypotekslånen skulle sjunka ned till en sådan nivå att ytterligare tillgångar behövs för att matcha volymen utestående obligationer.

Vid en bedömning av risken för att ytterligare tillgångar blir nödvändiga att skjuta till, är belåningsgraden på hypotekslånen i tillgångs-

poolen central. Ju lägre belåningsgrad, desto mindre risk för att ytterligare hypotekslån krävs i poolen vid prisfall på fastighetsmarknaden. Handelsbankens genomsnittliga belåningsgrad, LTV-max, uppgick i den svenska poolen till 50,0 procent (53,6) och i den norska poolen till 53,6 procent (56,7). Därutöver tillkom den finska cover poolen under året. Dess genomsnittliga belåningsgrad uppgick till 48,7 procent. Detta visar att banken klarar betydande prisfall på underliggande fastighetstillgångar innan ytterligare hypotekslån måste tillföras poolerna.

De tillgångar som banken valt att hålla utanför poolen återfinns i tabellen Tillgångar som ej är intecknade/pantsatta och kan användas för emissioner av säkerställda obligationer om så skulle vara nödvändigt.

Intecknade tillgångar och andra ställda säkerheter	Redovisade värden	
	2016	2015
mkr		
Utlåning till allmänheten ¹	663	618
Statspapper och obligationer	34	26
Aktier	1	1
Kontanter	17	22
Övrigt	125	113
Summa ²	840	780
Övriga ställda säkerheter ³	33	33

Utlåning till allmänheten redovisas till upplåst anskaffningsvärde. Övriga ställda säkerheter redovisas till verkligt värde. Redovisat värde för de skulder som säkerheterna avser uppgick till 854 mkr (825).

¹ Varav överpantsättning i cover pool (OC) 61 mkr (57).

² Varav 20 mkr (18) avser säkerheter som till kan återkallas av banken.

³ Varav 27 mkr (22) avser säkerheter som till kan återkallas av banken.

Tillgångar som ej är intecknade/pantsatta	2016		2015	
	IPT (NEA) ¹	Akkumulerad andel av icke-säkerställd upplåning, % ²	IPT (NEA) ¹	Akkumulerad andel av icke-säkerställd upplåning, % ²
mkr				
Kontanter samt behållning hos centralbanken	232	28	238	28
Likvida obligationer i likviditetsportföljen	150	46	114	42
Utlåning till hushåll inklusive derivat	486		486	
varav hypotekslån	284	80	283	75
varav utlåning med säkerhet i fastighet	11	81	14	77
varav övrig hushållsutlåning	171	101	189	100
Utlåning till företag inklusive derivat	831		786	
varav hypotekslån	186	124	170	120
varav utlåning till bostadsrättsföreningar eller hypotekslån	48	129	40	125
varav utlåning till fastighetsbolag eller hypotekslån				
- riskklass 1-3	260	160	238	153
- riskklass 4-5	28	172	88	163
- varav riskklass > 5	10	173	11	165
varav övrig företagsutlåning				
- riskklass 1-3	144	191	150	182
- riskklass 4-5	70	199	71	191
- riskklass > 5	15	201	18	193
Utlåning till kreditinstitut inklusive derivat	32		46	
- riskklass 1-3	32	205	46	198
- riskklass > 3	0	205	0	198
Övrig utlåning	0	205	0	
Övriga tillgångar	44	210	39	203
Summa	1 756	210	1 700	203

¹ IPT: icke-intecknade/pantsatta tillgångar. NEA: Non encumbered assets.

² Emitterad kort och lång icke-säkerställd upplåning samt skulder till kreditinstitut.

NOTER | KONCERNEN

Mottagna pantar tillgängliga för återpantstättning	Marknadsvärde för mottagna pantar tillgängliga för återpantstättning		Marknadsvärde för mottagna pantar som återpantsetts	
	2016	2015	2016	2015
mkr				
Statspapper och obligationer	12	11	1	5
Aktier och andelar	3	4	4	4
Summa	15	15	5	9

Redovisat värde på de skulder och andra åtaganden för vilka säkerheterna ställts upp till 4 mkr (5).

Cover pool-data	Sverige		Norge		Finland ¹
mkr	2016	2015	2016	2015	2016
Stadshypotek total utlåning, allmänheten	983 160	936 504	79 564	66 986	50 724
Tillgängliga tillgångar för cover pool	902 862	859 368	75 226	62 264	47 473
Inspråktaga tillgångar i cover pool	626 458	600 025	31 269	17 701	5 193
Max-bellningsgrad, vägt genomsnitt enligt ASCB:s definition ²	49,97	53,6	53,63	56,7	48,72
Volymvägd bellningsgrad (JTV-Mid)	25,2	27,1	27,5	29,1	24,54
Bellningsgrad, fördelning					
0-10%	25,5	23,5	23,4	19,6	26,8
10-20%	21,3	20,1	20,3	20,3	23,3
20-30%	17,4	16,8	16,9	17,3	20,5
30-40%	13,7	13,7	14,1	14,9	15,7
40-50%	10,2	10,8	11,2	12,1	11,2
50-60%	6,9	8	8,2	9,2	2,5
60-70%	3,9	5,4	4,8	5,5	0
70-75%	1,1	1,7	1,1	1,1	0
Lånestorlek, vägt genomsnitt, kronor	647 500	625 700	3 673 989	3 115 226	825 096
Lånelivslängd, vägt genomsnitt, antal månader ³	99	42	22	22	68
Räntebindningstider, fördelning					
Förig ränta, %	47,2	45	100	100	100
Bunden ränta, %	52,8	55	0	0	0

¹ Ny cover pool som tillkom under 2016.

² Association of Swedish Covered Bond Issuers.

³ Från Q2 2016 beräknat från lånets beviljandedatum istället för senaste villkorsändringsdag.

OPERATIV RISK

Operativ risk är risken för förluster till följd av icke ändamålsenliga eller misslyckade interna processer, mänskliga fel, felaktiga system eller externa händelser. Definitionen inkluderar legal risk.

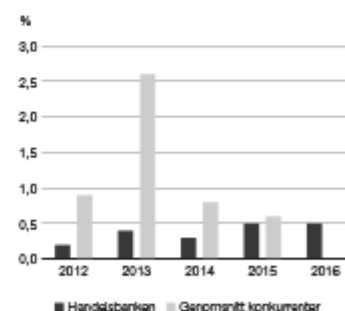
RISKSTRATEGI OCH RISKBEGRÄNSNING

Handelsbanken har låg tolerans för operativa risker, samtidigt som operativ risk oundvikligen förekommer i all verksamhet inom banken. Ansvar för att identifiera, bedöma och hantera operativa risker är en integrerad del av chefsansvaret på alla nivåer i verksamheten. Bankens decentraliserade arbetssätt främjar en god hantering av operativa risker genom den kostnadsmedvetenhet som finns, vilket leder

till en vaksamhet mot potentiella förlustrisker i dagliga rutiner och händelser. Operativa fel och brister reduceras så långt som möjligt både vad gäller mindre, men frekventa händelser, och större händelser som skulle kunna orsaka stora oväntade förluster. Den starka fokuseringen på ordning och reda i koncernen bidrar också till att alla delar av verksamheten håller sina risker på en nivå som är i linje med bankens strikta syn på risk.

Operativa risker ska hanteras så att koncernens operativa förluster förblir små, både i jämförelse med tidigare inträffade egna förluster och andra bankers operativa förluster. CEO har fastställt limit för operativa risker. Handelsbankens operativa förluster, som omfattar befarade och konstaterade operativa förluster samt eventuella återvinningar, uppgick under 2016 till 107 miljoner kronor (103). Det är inte ovanligt att nivån på operativ förlust justeras över tiden till följd av återvinningar eller andra erhållna kompensationer, eller att ytterligare förluster tillkommer som hänförs till en tidigare rapporterad incident. Detta kan påverka jämförelsetalen för tidigare rapporterade förluster.

Volymvägt andel operativa förluster i förhållande till rörelseresultat^a



^a Konkurrerande banker som publicerat information om operativa förluster: SEB, Swedbank, DNB. Bankerna har olika gränsvärden för operativa förluster.

NOTER | KONCERNEN

nader samt inom Group Risk Control, Group IT, Group Finance, landsorganisationerna i Sverige och Storbritannien och Handelsbanken Capital Markets.

Centrala krisstaben är en permanent stab sammansatt av nyckelpersoner i eller nära bankledningen. Centrala krisstabens uppgift är att fungera som sammanhållande krisstab vid större kriser i koncernen, stödja den eller de lokala krisstaber som arbetar med en akut kris och fungera som krisstab för centrala huvudavdelningar. Kontinuitetsplanering syftar till att vidta förberedande åtgärder för attindra följdverkningar av en allvarlig störning i affärsverksamheten. Lokal riskkontroll gör en årlig utvärdering av rutinen. Group Risk Control gör därefter en aggregerad utvärdering på koncernnivå.

ORGANISATIONSFÖRÄNDRINGAR

Banken har instruktioner för verksamhets- och/eller organisationsförändringar. I instruktionerna fastställs att det ska finnas en beslutsordning för beslut om större verksamhets- och/eller organisationsförändringar, och de olika funktionernas ansvar i processen ska tydligt framgå. Före beslut om en verksamhets- och/eller organisationsförändring ska en riskanalys göras. Beslut och beslutsunderlag ska dokumenteras.

ORX

Banken är medlem i föreningen ORX (Operational Riskdata eXchange Association). ORX främsta syfte är att deltagande banker utbyter anonymiserat data om incidenter som inneburit operativa förluster. ORX har också en viktig funktion att standardisera och kvalitetssäkra data om operativa risker. Det sker betydande forskningsarbete om metoder inom ämnet operativ risk och det utgör ett viktigt forum för erfarenhetsutbyte.

RISK I FÖRSÄKRINGSRÖRELSEN

Risken i försäkringsrörelsen består främst av marknadsrisker och försäkringsrisker.

MARKNADSRISK

Handelsbanken Liv bedriver livförsäkringsverksamhet med traditionell förvaltning, fondförsäkring och depåförsäkring. För fond- och depåförsäkring väljer kunden investeringsalternativ och bär själv marknadsrisken. I traditionell försäkring med garanterad ränta står Handelsbanken Liv för risken att uppfylla de finansiella garantierna som försäkringsvillkoren innebär.

Den finansiella garantin innebär att bolaget gör ett kapitaltillskott till försäkringsavtalets värde vid bestämda tidpunkter i det fall värdet understiger försäkringens garanterade värde. Eventuella kapitaltillskott realiserar vid årskriftet eller vid försäkringshändelse.

Handelsbanken Livs styrelse fastställer årligen bolagets placeringspolicy, som ytterst är det styrande dokumentet för allokering av bolagets placeringsstillgångar avseende traditionellt förvaltade försäkringar. Syftet med placeringspolicyen är att ge anvisningar till bolaget för hur tillgångarna ska förvaltas givet åtagandena till försäkringstagarna samt givet lagstadgade krav enligt försäkringsrörelselagen och tillämpliga föreskrifter från Finansinspektionen.

Handelsbanken Liv har låg risktolerans. Målet med förvaltningen är att trygga bolagets åtaganden gentemot försäkringstagarna.

Marknadsriskerna inom Handelsbanken Liv uppstår i förvaltningen av placeringsstillgångar för de traditionella försäkringarna och av att värdet av bolagets garanterade åtaganden är känsligt för ränteförändringar.

Den totala marknadsrisken i Handelsbanken Liv beräknas med VaR på 99,5 procents konfidensnivå och ett kvartals innehavsperiod. Utöver detta kontrolleras företagets solvenskvot, så kallat "trafikljus", och skuldtäckning enligt myndighetskrav. Den modell för marknadsriskhantering som Handelsbanken Liv använder väger samman risken för kapitaltillskott på försäkringsnivå och risken för kapitaltillskott på bolagsnivå på grund av förhöjt värde av framtida garanterade belopp. Marknadsrisken mäts i termer av kapitaltillskottens samlade känslighet för marknadsstörningar och riskexponeringen kontrolleras dagligen i förhållande till ett av styrelsen i Handelsbanken angivet rambelopp. Det största värdet av tillskott till försäkringstagarna, eller tillskott på grund av solvensen, utgör riskutnyttjandet. Underkategorier av finansiella risker utgörs av ränterisk, aktierisk, kreditrisk, fastighetsrisk och valutakursrisk. Den huvudsakliga risken för Handelsbanken Liv är ränterisk. Vid årskriftet uppgick VaR till 785 miljoner kronor (819).

Likviditetsrisken i försäkringsrörelsen är risken för att bolaget inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, eller att bolaget inte kan sälja värdepapper till acceptabla priser. Denna risk är begränsad genom att huvuddelen av placeringsstillgångarna placeras i marknadsnoterade värdepapper med god likviditet.

FÖRSÄKRINGSRISK

Försäkringsbolag grunder sin premiesättning på antaganden om hur stora kostnaderna för inträffade försäkringshändelser kommer att bli. Risken för att de verkliga och antagna försäkringskostnaderna avviker från varandra, benämns försäkringsrisk. Det ytterst styrande dokumentet är Handelsbanken Livs riskpolicy, vilken fastställts av försäkringsbolagets styrelse. Försäkringsrisk i Handelsbanken Liv finns i anknytning till följande händelser:

- dödsfall – ersättning till förmånstagare vid den försäkrades död
- livsfall – ersättning som är beroende av att den försäkrade lever, till exempel pensionsutbetalningar
- sjukdom – ersättning vid sjukdom eller arbetsförmåga
- olycksfall – ersättning vid olycksfall.

En försäkring kan innehålla kombinationer av skydd vid dessa fyra händelser.

En större del av Handelsbanken Livs försäkringar är tecknade av mindre företag och privatpersoner. Någon riskkoncentration när det gäller försäkringsrisker, utöver att flertalet försäkringar är tecknade i Sverige, finns inte.

Den ökade livslängden i Sverige får konsekvenser för livbolagets framtida åtaganden. Dessa är positiva när det gäller dödsfallsförsäkringar men negativa för livsfallsförsäkringar då livslängden stiger och pensionsutbetalningar då ska ske under en längre tid. Handelsbanken Liv gick under 2015 över till att använda livslängdsantaganden baserade på DUS14 och observerad dödlighet i det egna beståndet. Skulle dödligheten fortsätta att sjunka och generellt bli tio procent lägre än bolagets antaganden, skulle nuvärdet av den förväntade ökade kostnaden uppgå till 77 miljoner kronor (87) för den delen av beståndet som har livsfallsrisk. För den stora delen av Handelsbanken Livs försäkringar med dödsfallsrisk är prissättningen däremot ettårig. Det betyder att bolaget ensidigt kan ändra premien från år till år. Ett felaktigt dödlighetsantagande kan därför ändras med snabb verkan.

Förändring i sjuklighet sker betydligt snabbare än förändringar i dödlighet, vilket kan bidra till variation i riskresultatet. Resultatet är således beroende av hur många försäkrade som blir sjuka och hur många som tillfrisknar i förhållande till tillämpade antaganden. Sjukförsäkringsprodukter är i allmänhet utformade så att premien kan ändras årligen, vilket ger bolaget möjlighet att parera förändringar i sjuklighet. Sjukresultatet 2016 uppgår till 133 miljoner kronor (53). Av detta är 83 miljoner kronor hänförligt till uppdaterade avvecklingsantaganden och uppdaterad metodik avseende hur sjuk- och IBNR (incurred but not reported)-reserver beräknas. I övrigt kan 15 miljoner kronor av resultatet hänföras till anmälda sjukfall under året, 27 miljoner kronor till avveckling av befintliga sjukfall och resterande 8 miljoner kronor till inträffade men ännu inte anmälda sjukfall samt reglering av sjukfall.

Försäkringsrörelsen rapporterar sina marknads- och försäkringsrisker samt operativa risker till försäkringsbolagets styrelse och CEO, Group Risk Control samt till bankens riskkommitté som är rådgivande till bankens CEO och CFO. Risksituationen rapporteras också löpande till bankens styrelse.

COMPLIANCERISK

Compliancerisk är risken för att banken inte lever upp till lagar, förordningar och interna regler eller god sed och standard.

Handelsbankenkoncernen har höga ambitioner avseende ordning och reda, etik samt efterlevnad av lagar och regler. Handelsbankens Centralstyrelse har fastställt i Policy för Compliance att "banken har låg tolerans för compliancerisker och ska så långt som möjligt sträva efter att förebygga dessa risker". Målsättningen är att det inte ska förekomma regelverksöverträdelser inom koncernens verksamhet samt att compliancerisker är identifierade och omhändertagna.

Bristande hantering av compliancerisker kan leda till ökade operativa och legala risker, ryktessrisker samt risk för ingripande av tillsynsmyndigheter. Compliancarbetet syftar till att identifiera compliancerisker och att tillse att nödvändiga åtgärder vidtas för att hantera dessa.

I Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd om styrning, riskhantering och kontroll i kreditinstitut (FFFS 2014:1), Europeiska bankmyndighetens riktlinjer för intern styrning (GL44) samt Europeiska värdepappers- och marknadsmyndighetens riktlinjer om vissa aspekter av kraven för funktionen för regel efterlevnad enligt MiFid, anges huvuddragen för hur tillsynsmyndigheterna anser att funktionen för regel efterlevnad ska vara uppbyggd och hur ett kreditinstitut bör arbeta med regel efterlevnadsfrågor. I Baselkommitténs ramverk för regel efterlevnad, "Compliance and the compliance function in banks", anges även riktlinjer för hur compliancefunktionen inom en bank bör utformas. Handelsbanken har genom policy, riktlinjer och instruktioner implementerat detta arbetssätt.

ORGANISATION

Handelsbankens funktion för regel efterlevnad är organiserad i en central complianceavdelning (Group Compliance) samt lokala complianceansvariga eller avdelningar (lokal compliance) inom samtliga affärsområden, regionbanker, centrala avdelningar och i samtliga länder där Handelsbanken bedriver lokal verksamhet.

ANSVAR

Regel efterlevnad är en nödvändig förutsättning för Handelsbankens verksamhet och är således ett ansvar för samtliga chefer och anställda i koncernen. Compliance ansvarar för att identifiera och bedöma väsentliga compliancerisker, genomför regelbundna kontroller och bedömningar huruvida banken fullgör sina förpliktelser enligt lagar, förordningar och andra regler som gäller för den tillståndspliktiga verksamheten, lämnar råd och stöd till bankens enheter i frågor om regel efterlevnad och rapporterar till ledning

och styrelse om regel efterlevnad och compliancerisker. Group Compliance har det funktionella ansvaret för allt compliancearbete i Handelsbanken. Lokal compliance har det operativa ansvaret på respektive enhet.

Lokala compliancefunktioner utvärderas av Group Compliance för att bedöma om de har ett tillfredställande oberoende och tillräckliga kvantitativa och kvalitativa resurser.

RISKBASERAT COMPLIANCEARBETE

Compliance riskbaserade arbetssätt följer en struktur kring identifiering av regelverk, riskanalys för prioritering, aktiviteter i form av råd och stöd samt kontroller, identifiering av compliancerisker och rapportering av compliancerisker. För utvärdering av Handelsbankens compliancerisker, används en tregradig bedömningskala: "låg", "medel" samt "hög". Bedömningarna sker utifrån risk för sanktion, förluster eller skada på varumärket. Identifierade compliancerisker samt vidtagna åtgärder rapporteras kvartalsvis av Chief Compliance Officer till CEO samt halvårsvis till styrelsens riskutskott och årsvis till styrelsen.

COMPLIANCERISKER

Under 2016 har ett fåtal compliancerisker rapporterats som höga och de har blivit föremål för skyndsamma åtgärder för att reduceras till en acceptabel nivå. Under 2016 bedömdes risken för att banken används för penningtvätt eller för finansiering av terrorism vara den högsta risken. Ett omfattande och kraftfullt arbete pågår för att säkerställa god hantering av riskerna och regel efterlevnad inom detta område i koncernen.

De alltmest omfattande och detaljerade reglerna rörande investerings- och försäkringsrådgivning utgör en compliancerisk för Handelsbanken och för banksystemet som helhet. Banken har vidtagit långtgående åtgärder i syfte att hantera denna risk. Nytt systemstöd kring rådgivning har implementerats, omfattande intern utbildning har genomförts och den interna kontrollen av utförd rådgivning har förstärkts. Inom verksamhetsområdet pågår projekt för att ytterligare förbättra stödet för rådgivare samt säkra processen inför kommande regelverk.

Compliance arbetsprocess



Inom ramen för den så kallade översynen av tillgångars kvalitet (Asset Quality Review) och den interna riskklassificeringen (IRK) har svenska och utländska tillsynsmyndigheter lyft frågor främst kring möjligheten för en utomstående part att kunna reproducera den riskklassificering som görs inom ramen för Handelsbankens decentraliserade expertmodell. Till följd av detta bedömdes compliancerisken som förhöjd även på detta område. Under året har flera åtgärder vidtagits i form av utbildningsinsatser och utarbetande av nya stödinstruktioner för att säkerställa att banken kan bibehålla sitt expertbaserade arbetssätt och samtidigt efterleva tillkommande krav.

Ett annat område som utgör en potentiell risk för banken och för banksystemet som helhet är hanteringen av datakvalitet. Banken bedöms ha komplett information för sin riskhantering, men nya kommande krav på automatisk aggregering av data i olika dimensioner är högt ställda. Här pågår ett omfattande internt projekt för att säkerställa compliance inom området när de nya reglerna träder i kraft.

RISK I ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Ersättningsrisk utgörs av risken för förlust eller annan skada som uppkommer till följd av ersättningssystemet.

Handelsbankens lönepolitik syftar till att bankens konkurrenskraft och lönsamhet ska utvecklas positivt och att banken kan attrahera, behålla och utveckla kompetenta medarbetare samt säkerställa en väl fungerande kompetensutveckling och chefsförsörjning. En god, långsiktig lönsamhets- och produktivitet utveckling i banken skapar förutsättningar för en stabil och positiv löneutveckling för bankens medarbetare.

Ersättning för utfört arbete fastställs individuellt för varje medarbetare och utgår i form av fast kontant lön, sedvanliga löneförmåner och avsättningar till pension. Lönesättningen i Handelsbanken sker lokalt. Lönen fastställs i lönesamtal mellan medarbetaren och dennes chef. Denna ordning har tillämpats under många år och innebär att chefer på alla nivåer regelbundet deltar i löneprocesser och tar ansvar för bankens lönepolitik och den egna enhetens personalkostnadsutveckling. Lönen baseras på i förväg definierade lönegrundande faktorer: arbetets art och svårighetsgrad, kompetens, prestationsförmåga och uppnådda arbetsresultat, ledarskap för de som har utvecklingsansvar för medarbetare, utbud och efterfrågan på marknaden samt uppgiften som bäras av bankens kultur.

För att säkerställa att Handelsbanken har ett väl utformat ersättningssystem, hanteras risker i ersättningssystemet som ett separat riskslag

NOTER | KONCERNEN

för vilket hanteringen följer samma ansvarsfördelning som för andra typer av risker. Handelsbanken har låg tolerans för ersättningsrisker och eftersträvar aktivt att hålla dessa risker på en låg nivå. Det sker bland annat genom att endast lyttest begränsad omfattning använda rörlig ersättning. I de fall rörlig ersättning förekommer är den föremål för uppskjuten utbetalning.

ORGANISATION OCH ANSVAR

Under 2016 har 229 (239) medarbetare, som haft möjlighet att tjäna in rörlig ersättning, tjänat in 79 miljoner kronor (91) i rörlig ersättning. Beloppet motsvarar en liten del av den totala lönesumman och antalet anställda med rörlig ersättning utgör en liten andel av det totala antalet anställda. Bankens principer för ersättningar till anställda har lagat fast under lång tid. Principerna för bankens ersättningssystem fastställs i ersättningspolicy som beslutas av styrelsen. Mer detaljerade riktlinjer och tillämpningsföreskrifter beslutas av CEO. Ansvar för att identifiera och hantera ersättningsrisker vilar på varje ansvarig chef i verksamheten. Lokal riskkontroll följer löpande upp ett ersättningssystemet tillämpas på avsett sätt. Group Risk Control ansvarar för att analysera riskerna med ersättningspolicy och ersättningssystemet inför att ersättningspolicy årligen behandlas och beslutas av styrelsen. I rapporten analyseras bland annat incitamentsstruktur, balansen mellan fast och rörlig ersättning, regler om uppskjutande samt effekter på kaptabasen. Group Risk Control utvärderar dessutom ersättningssystemets tillämpning. Utifrån denna riskanalys och utvärdering bedöms om ersättningssystemet är utformat på ett sätt som skulle kunna hota bankens finansiella ställning. Underlaget för beräkning av rörlig ersättning ska riskjusteras utifrån bedömning av nuvarande och framtida risker.

RISKER I ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Bedömningen är att Handelsbankens ersättningspolicy och ersättningssystem genererar låga risker och främjar en sund och effektiv riskhantering, motverkar ett överdrivet risktagande, harmoniserar med bankens låga risktolerans samt stöder bankens långsiktiga intressen. Ersättningssystemet är utformat så att det inte finns någon risk för att bankens kaptabas urholkas på grund av tvingande utbetalning av rörlig ersättning. Utrymme finns att helt eller delvis nedsätta rörlig ersättning.

För mer detaljerad information och statistik om bankens ersättningssystem, se bolagsstyrningsrapport och not K8 i årsredovisningen.

EKONOMISKT KAPITAL

Handelsbankens modell för beräkning av ekonomiskt kapital fångar i ett mått koncernens samlade risker och anger det kapital som med en mycket hög sannolikhet ska täcka övriga värdeminskningar.

Group Risk Control har ansvaret för att bedriva en heltäckande bevakning av koncernens olika risker. Ett instrument i den bevakningen är bankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC). EC-modellen utgör även del i bankens bedömning av internt kapitalbehov som rapporteras kvartalsvis till styrelsen. Denna bedömning syftar till att säkerställa att koncernen vid varje tidpunkt har tillräckligt med kapital i förhållande till koncernens samtliga risker. Koncernperspektivet innebär att det ekonomiska kapitalet även innefattar risker i försäkringsrörelsen och risker i bankens pensionsåtaganden.

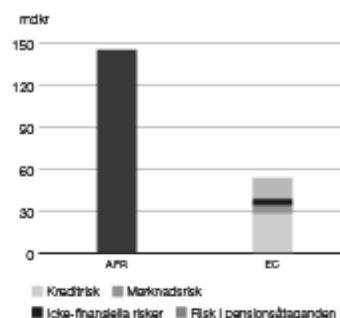
Beräkningen av EC görs med ett års tidshorisont och en konfidensnivå som speglar en acceptabel risknivå och önskad rating. Styrelsen har beslutat att beräkningen av ekonomiskt kapital ska göras på 99,97 procents konfidensnivå, vilket fångar in för banken extremt ogynnsam händelse. EC utgör skillnaden mellan utfallet under ett genomsnittligt år – med positivt resultat och god värdeutveckling av bankens tillgångar – och utfallet vid 99,97 procents konfidensnivå.

I sammanräkningen av EC beaktas diversifieringseffekter mellan de olika risklagen. Kapitalbehovet för samtliga risker är således lägre än summan av det ekonomiska kapitalet för varje individuell risk för sig, eftersom riskerna delvis är beroende av varandra.

Det kapital och de andra finansiella resurser som utgör en buffert som kan absorbera negativa utfall benämns tillgängliga finansiella resurser (Available Financial Resources, AFR). AFR är Handelsbankens eget kapital med tillägg av andra finansiella värden i och utanför balansräkningen som är tillgängliga för att täcka förluster med ett års tidshorisont.

Koncernen arbetar med ett aktieägarperspektiv på risk- och kapitalsituationen. Genom

Sammanställning av AFR och EC inklusive diversifiering 2016



modellen för ekonomiskt kapital erhålls en samlad bild av koncernen som ger förutsättningar för att optimera risk- och kapitalsituationen utifrån aktieägarens perspektiv. Utfallet från beräkningarna spelar en viktig roll i den interna styringen av banken och när nya affärer eller strukturförändringar övervägs.

Kreditrisken är beräknad med hjälp av en simulering av utfall avseende fallissemang för koncernens samliga motparter och exponeringar.

Marknadsriskerna består av risken i handelslagerklassificerade tillgångar, ränterisk i bankverksamheten, marknadsrisker i försäkringsrörelsen och av risken i aktieinnehav i övrig verksamhet.

Risken i pensionsåtagandena består i huvudsak av risken för att de värden som finns inom ramen för tryggheten av bankens pensionsåtagandena ska minska. Huvuddelen av pensionsåtagandena finns i Sverige och tryggas där i en pensionsstiftelse och försäkras i en tjänstepensionskassa.

De icke-finansiella riskerna består av operativ risk, affärsrisk, fastighetsrisk och försäkringsrisk. Affärsrisken är relaterad till övriga resultatförändringar inom respektive affärsområde. Dessa kan exempelvis uppstå på grund av att efterfrågan eller konkurrensen förändras på ett översatt sätt, med minskade volymer och pressade marginaler som följd. Fastighetsrisken fångar risken att de fastigheter som banken äger faller i värde.

EC uppgick vid årsskiftet till 54,2 miljarder kronor (58,7), där kreditriskerna står för huvuddelen av den totala risken. Den av styrelsen fastställda målsättningen är att kvoten mellan AFR och EC ska överstiga 120 procent. Kvoten var vid årsskiftet 269 procent (228), vilket visar att banken är väl kapitaliserad i förhållande till sina totala risker. Finansinspektionen har inom ramen för sin samlade kapitalbedömning av banken kommit till samma slutsats.

Den redovisade risk- och kapitalsituationen är en ögonblicksbild, även om det i riskberäkningarna ingår försiktighetsmarginaler för variationer i konjunkturen. För en slutlig bedömning av koncernens kapitalbehov måste också hänsyn tas till den stress- och scenarioranalys som genomförs inom ramen för bankens kapitalplanering.

Rörlig ersättning	2016	2015
Intjänade rörliga ersättningar ¹ , mkr	79	91
Löner och avreden, mkr	8 103	7 986
Antal personer som har möjlighet att tjäna in rörlig ersättning ²	229	239
Medelantal anställda	11 759	11 819
Intjänad rörlig ersättning som andel av totala löner och avreden, %	1,0	1,1
Antal personer som har möjlighet att tjäna in rörlig ersättning som andel av medelantal anställda, %	1,9	2,0

¹ All rörlig ersättning utgår kontant. Beloppen redovisas exklusive socialavgifter. Beloppen fastställs efter publicering av årsredovisningen.

² Antal personer som tilldelas rörlig ersättning fastställs efter publicering av årsredovisningen. Av de 239 personer som hade möjlighet att tjäna in rörlig ersättning 2015, fick 182 personer tilldelning.

365/479

NOTER | KONCERNEN

K3 Räntenetto

mkr	2018	2015
Ränteintäkter		
Utlåning till kreditinstitut och centralbanker	1 422	1 356
Utlåning till allmänheten	39 333	41 963
Betalningsbara statskultförbindelser m m	229	651
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	783	915
Derivatinstrument	-2 629	-2 386
Övriga ränteintäkter	1 317	1 377
Summa ränteintäkter	40 455	43 876
Varav ränteintäkter redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	505	824
Ränteintäkter enligt resultaträkning	39 950	43 052
Räntekostnader		
Skulder till kreditinstitut och centralbanker	-1 066	-908
In- och upplåning från allmänheten	-1 423	-1 681
Emitterade värdepapper	-17 740	-18 166
Derivatinstrument	10 771	8 364
Efterställda skulder	-1 534	-1 695
Övriga räntekostnader	-1 579	-1 574
Summa räntekostnader	-12 861	-18 880
Varav räntekostnader redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	-584	-548
	-12 007	-18 312
Räntenetto	27 943	27 740

Inkluderar ränteintäkter på osäkra fordringar 80 mkr (107). Totala ränteintäkter på tillgångar bokförda till upplupet anskaffningsvärde samt tillgångar som är tillgängliga för försäljning var 42 172 mkr (44 808). Totala räntekostnader på skulder bokförda till upplupet anskaffningsvärde var 22 178 mkr (23 676).

K4 Provisionsnetto

mkr	2018	2015
Courage och övriga värdepappersprovisioner	916	1 071
Fonder	3 023	2 987
Depå och övrig kapitalförvaltning	623	600
Räddgivning	317	326
Försäkringar	634	639
Betalningar	3 185	3 364
Ut- och inlåning	1 172	1 096
Garantier	422	421
Övrigt	488	471
Summa provisionsintäkter	10 780	10 975
Värdepapper	-260	-244
Betalningar	-1 289	-1 337
Övrigt	-75	-74
Summa provisionskostnader	-1 624	-1 655
Provisionsnetto	9 156	9 320

K5 Nettoresultat av finansiella transaktioner

mkd	2018	2016
Handel, derivat, valutakurseffekter m m	832	1 955
Övriga finansiella instrument till verkligt värde över resultaträkningen	466	-497
varav räntebärande värdepapper	502	-401
varav lån	-36	-96
Finansiella instrument till upplupet anskaffningsvärde	182	53
varav lån	446	452
varav skulder	-264	-429
Finansiella instrument tillgängliga för försäljning	1 689	1 203
Säkringsredovisning		
Säkring av verkligt värde	-8	-53
varav säkringsinstrument	-47	38
varav säkrad post	39	-91
Ineffektivitet på kassaflödessäkringar	5	32
Ineffektivitet på säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet	-	-
Vinst/Årlust på dekomponerade försäkringskontrakt	-100	-95
Summa	3 068	2 608

Handel, derivat, valutakurseffekter med mera
Posten innehåller i huvudsak realiserade och realiserade marknadsvärdessförändringar samt räntor och utdelningar avseende finansiella tillgångar och skulder som innehas för handelsändamål.

Övriga finansiella instrument till verkligt värde över resultaträkningen
Posten består av realiserade och realiserade värdessförändringar på sådana instrument som vid första redovisningstillfället klassificerats att värderas till verkligt värde över resultaträkningen*. Realiserade värdessförändringar på dessa instrument består av ränte- och valuta-effekter samt effekter av ändrad kreditrisk. Den ackumulerade värdessförändring som beror av förändringar av kreditrisk från det första redovisningstillfället av utlåning som klassificerats att värderas till verkligt värde över resultaträkningen uppgår till 1 miljon kronor (2).

Finansiella instrument till upplupet anskaffningsvärde
Posten består av realisationsresultat som uppstår vid förtidslöst utlåning, samt realisationsresultat som genereras vid återköp av egna emitterade värdepapper.

Finansiella instrument tillgängliga för försäljning
Posten består av realiserat resultat avseende sådana finansiella tillgångar som klassificerats som tillgängliga för försäljning. Räntetäckter från dessa tillgångar redovisas i räntenettot och utdelningar på raden Övriga utdelnings-täckter.

Säkringsredovisning
På raden Säkring av verkligt värde redovisas nettoresultatet av realiserade och realiserade förändringar i verkligt värde på säkringsinstrument respektive säkrad riskkomponent i finansiella tillgångar och skulder som ingår i säkringar av verkligt värde. Räntetäckter och räntekostnader som hänför från säkringsinstrument redovisas i räntenettot. Värdessförändringar på säkringsinstrument i kassaflödessäkringar som överstiger värdessförändringar på säkrade framtida kassaflöden redovisas på raden Ineffektivitet på kassaflödessäkringar. Resultat-effekten av ineffektiva delar av säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas på raden Ineffektivitet på säkringar av netto-Investeringar i utlandsverksamhet.

Resultat på dekomponerade försäkringskontrakt
Resultat på dekomponerade försäkringskontrakt motsvaras av det resultat som har uppkommit vid beräkning av garanterad avkastning på den finansiella komponenten i dekomponerade försäkringskontrakt.

* Värdessförändringar som hänför från finansiella instrument som utgör placeringstillgångar i koncernens försäkringsredovisning ingår inte i denna post, utan redovisas i Provisionarnettot.

K6 Riskresultat försäkring

mkd	2018	2016
Premieinkomst	475	499
Utbetalda försäkringsersättningar	-385	-376
Förändring av sättningsreglerade skador	100	11
Övrigt	-48	23
Summa	142	157

K7 Övriga intäkter

mkd	2018	2016
Hyrinntäkter	34	33
Andra rörelseintäkter	169	180
Summa	203	213

NOTER | KONCERNEN

K8 Personalkostnader

mkr	2016	2015
Löner och arvoden	-8 103	-7 986
Socialavgifter	-1 922	-1 874
Pensionskostnader ¹	-1 579	-1 360
Avsättning till vinstandelsstiftelse	-	-858
Andra personalkostnader	-938	-503
Summa	-12 542	-12 581

¹ Komponenterna i redovisade pensionskostnader framgår av tabellen Pensionskostnader.

Löner och arvoden mkr	2016	2015
Ledande befattningshavare ²	-140	-150
Övriga	-7 963	-7 836
Summa	-8 103	-7 986

² Executive Directors och styrelse i moderbolaget samt vd:ar, vice vd:ar och styrelser i dotterbolag (i genomsnitt 55 personer).

Könsfördelning	2016	2015
%	Män Kvinnor	Män Kvinnor
Ledande befattningshavare exklusive styrelser	62 38	67 33
varav i moderbolaget	69 31	79 21
varav i dotterbolag	58 42	54 46
Styrelser	66 34	73 27
varav i moderbolaget	50 50	67 33
varav i dotterbolag	67 33	74 26

Medelantal anställda	2016	Män	Kvinnor	2015	Män	Kvinnor
Sverige	7 046	3 305	3 741	7 263	3 410	3 853
Storbritannien	2 069	1 212	857	1 904	1 129	775
Norge	753	410	343	766	420	346
Danmark	673	340	333	690	361	329
Finland	613	252	361	614	258	356
USA	67	43	24	71	46	25
Nederländerna	218	150	68	170	109	61
Luxemburg	57	35	22	62	36	26
Tyskland	45	23	22	53	30	23
Kina	73	26	47	72	29	43
Polen	41	15	26	42	16	26
Singapore	39	11	28	39	12	27
Övriga länder	65	23	42	73	27	46
Summa	11 760	5 845	5 914	11 819	5 883	5 936

Ersättningar ² över en miljon EUR	2016	2015
Antal personer		
Lönesteg 1,0–1,5 m euro	5	4
Lönesteg 1,5–2,0 m euro	1	1
Lönesteg 2,0–2,5 m euro	-	-
Lönesteg över 2,5 m euro	-	-
Summa	6	5

² Inklusiva pension och andra könsförmåner.

ERSÄTTNINGAR TILL ANSTÄLLDA

Information om ersättningsprinciper till samtliga anställda i Handelsbankenkoncernen beskrivs närmare i bolagsstyrningsrapporten på sidorna 57–58.

Handelsbanken har 2016 antagit en ny ersättningspolicy föranledd av de nya EBA-riktlinjer som gäller från den 1 januari 2017. Den nya ersättningspolicyn innebär även att bankens kriterier vid analys för att identifiera medarbetare vars arbetsuppgifter väsentligen kan påverka bankens riskprofil (i banken benämnda "risktagare") har förändrats. Den analys som genomförts 2016 innebär att det i banken per den 31 december 2016 har identifierats 1 240 risktagare att jämföra med motsvarande 8 101 risktagare den 31 december 2015. I tabellerna redogörs för Handelsbankenkoncernens ersättningar till risktagare enligt upplysningskrav i Finansinspektionens föreskrift FFFS 2011:1. Jämförelsetal avser risktagare såsom om den nya ersättningspolicyn tillämpades även år 2015.

Handelsbanken har för räkenskapsår 2016 inte gjort någon avsättning till resultatandelsystemet Oktogonen. För 2015 avsattes 858 miljoner kronor. Det avsatta beloppet för 2015 fastställdes av styrelsen 2016 och motsvarade 59 863 kronor för en heltidsanställd medarbetare i Sverige, efter avdrag för socialavgifter.

ERSÄTTNINGAR TILL LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Ledande befattningshavare i moderbolaget utgörs av den verkställande direktören, övriga Executive Directors och styrelseledamöter,

vilka återfinns på sidorna 60–63. Ersättningar till ledande befattningshavare i moderbolaget följer av årsstämman 2016 fastställda ersättningsriktlinjer, se även sidorna 57–58.

Upplysningar om ersättningar, pensionsförmåner samt om krediter till och inlåning från ledande befattningshavare i Handelsbanken lämnas på dessa sidor även för dotterbolagens verkställande direktörer, vice verkställande direktörer och styrelseledamöter.

Ersättning till ledande befattningshavare i Handelsbankenkoncernen utgår endast i form av fast lön och avsättning till pension samt sedvanliga förmåner som till exempel tjänstebil. Som en del av ersättningen kan banken även tillhandahålla en tjänstebostad efter särskilt styrelsebeslut. Rörlig ersättning förekommer inte. Ledande befattningshavare som är anställd i banken omfattas av Handelsbankens resultatandelsystem Oktogonen och har rätt att väkta lön till pension på samma villkor som gäller för alla medarbetare.

Styrelseledamöter i Handelsbankens koncern som inte är anställda i banken har endast erhållit arvode enligt årsstämmans beslut.

Styrelseledamöter som är anställda i banken eller dess dotterbolag erhåller ersättning och pensionsförmåner med anledning av sin anställning. Inga ytterligare ersättningar eller pensionsförmåner utgår på grund av styrelsuppdraget. Arvode till styrelseledamöter i moderbolaget återfinns på sidorna 60–61 i bolagsstyrningsrapporten.

Den pensionskostnad som banken anger i nedan ersättningsupplysningar för ledande befattnings-

havare utgörs av service cost enligt IAS19 avseende förmånsbestämda pensioner, avtalad premie för premiebestämda pensioner och eventuell pensionspremie som växlats från lön.

Verkställande direktörens ersättningar och pensionsvillkor

Verkställande direktören, Anders Bouwln, som tillträdde under året, har för perioden från och med den 15 augusti till och med den 31 december 2016 erhållit fast lön om 4,4 miljoner kronor. Övriga löneförmåner utgör 0,1 miljoner kronor och pensionskostnaden uppgick till 1,8 miljoner kronor vilket motsvarar 40,1 procent av lönen. Den verkställande direktören var anställd i banken före tillträdet och behåller de pensionsvillkor han omfattats av sedan år 2002 då han utnämndes till vice verkställande direktör och ingick i bankens ledning. Den förmånsbestämda pensionen intjänas successivt fram till 60 års ålder för att vid denna tidpunkt uppgå till 65 procent av den fasta lönen. Den premiebestämda pensionen uppgår till 2 procent av lönen fram till 60 år. Efter 60 års ålder är pensionen enbart premiebestämd och uppgår då till 35 procent av den fasta lönen. Den förmånsbestämda pensionen skjuts upp för att utbetalas efter att anställningen avslutats och samordnas med lagstadgad försäkring.

Den tidigare verkställande direktören i moderbolaget, Frank Vang-Jensen, har för 2016 erhållit en fast lön om 9,5 miljoner kronor (7,3). Övriga löneförmåner uppgick till 0,5 miljoner kronor (0,9) och bankens pensionskostnad uppgick till 3,8 miljoner kronor (2,9). Pensionen är premie-

NOTER | KONCERNEN

Ersättningar ¹ till risktagare ² , segment	2016		2015	
	Ersättning	Antal personer	Ersättning	Antal personer
mkr				
Handelsbanken Sverige	550	533	581	544
Handelsbanken Storbritannien	421	282	452	268
Handelsbanken Danmark	100	75	95	70
Handelsbanken Finland	71	63	60	55
Handelsbanken Norge	97	67	89	65
Handelsbanken Nederländerna	49	43	40	32
Handelsbanken Capital Markets	210	60	266	82
Övrigt	274	117	201	91
Summa	1 772	1 240	1 784	1 207

Ersättningar ¹ till risktagare ²	2016		2015	
	Verkställande ledning ³	Övriga risktagare	Verkställande ledning ³	Övriga risktagare
Intjänade fasta ersättningar, mkr	137	1 629	158	1 618
Intjänade rörliga ersättningar, mkr	-	6	-	8
Summa	137	1 635	158	1 626
Antal personer som enbart fått fast ersättning	16	1 221	19	1 184
Antal personer som har möjlighet att få både fast och rörlig ersättning	0	3	0	4
Summa antal personer	16	1 224	19	1 188
Garanterade kostnadsfria rörliga ersättningar i samband med nyanställning, mkr	-	-	-	-
Uttäta garanterade rörliga ersättningar i samband med nyanställning, mkr	-	-	-	-

¹ Intjänade ersättningar har kostnadsförts i sin helhet. Rörliga ersättningar tilldelas på individuell nivå under räkenskapsåret efter intjänningen. Årets tilldelade rörliga ersättningar intjänades i sin helhet under 2015 och uppgick till 8 mkr (5) avseende 3 personer (4), varav utbetal 5 mkr (3) och uppskjutet 3 mkr (3). Tilldelade rörliga ersättningar betalas ut eller skjuts upp i enlighet med bankens policy för rörliga ersättningar. Årets ingående uppskjutna rörliga ersättningar uppgick till 13 mkr (6). Under året har 3 mkr (0) av dessa utbetalats och utgående uppskjutna ersättningar uppgår till 13 mkr (13). Förtägnaderätt över uppskjutna ersättningar övergår till den anställda vid utbetalningsfallet. All rörlig ersättning utgår kontant. Beloppen redovisas exklusive socialavgifter. Under året har avgångsvederlag till 21 risktagare kostnadsförts med 24 mkr och utflöts med 31 mkr till 26 risktagare. Det högsta enskilda utflösta avgångsvederlaget uppgår till 3,9 mkr. Garanterad rörlig ersättning förekommer inte.

² Anställda vars arbetsuppgifter i tjänsten väsentligt kan påverka bankens riskprofil enligt kommissionens delegerade förordning (EU) 604/2014. Risktagare eller annan särskilt reglerad personal med rörlig ersättning kan finnas i dotterbolag vars ersättningspolicy följer av annan EU-förordning eller annan av Finansinspektionen publicerad föreskrift.

³ Finansinspektionen använder begreppet verkställande ledning i sina föreskrifter FFFS 2014:22. I Handelsbanken motsvaras detta av bankens Executive Directors.

bestämd. Under uppsägningstiden fram till och med den 30 juni 2017 betalar banken den fasta lönen och upprätthåller övriga köneförmåner inklusive pension, enligt det uppsagda anställningskontraktet.

Ersättningar och pensionsvillkor till övriga ledande befattningshavare i moderbolaget Pensionsvillkor

Av bankens övriga Executive Directors erhåller 5 personer (8) förmånsbestämd ålderspension med som mest 65 procent av lönen vid pensionsnäringsstiftandet samt en pensionspremie uppgående till som mest två procent av lönen. Pensionsåldern är som lägst 60 år⁴ och den förmånsbestämda ålderspensionen intjänas successivt under anställningstiden och är för dessa personer fullt intjänad vid uppnädd pensionsålder.

Premiebestämd pension med 65 års pensionsålder erhålls av 9 Executive Directors (9). Premien är individuell och uppgår som högst till 50 procent av lönen. 6 av dessa personer (5) har i tillägg till premien kollektivavtalad pension enligt BTP och BTPK.

Intjänad förmånsbestämd pension är oantastbar och tryggas i bankens pensionsstiftelse eller försäkras i bankens pensionskassa. Vid avgång ur tjänst före pensionsålder erhålls fribeiv på intjänad förmåns- och/eller premiebestämd pension.

Ersättningar

Vice verkställande direktör Carina Åkerström har år 2016 erhållit fast lön om 4,7 miljoner kronor (4,4). Övriga köneförmåner utgör 0,1 miljoner kronor (0,1) och pensionskostnaden uppgick till 3,0 miljoner kronor (2,4), vilket motsvarar 64,9 procent (53,8) av lönen.

Övriga Executive Directors, i genomsnitt 17 personer (19) under året, har erhållit fasta löner efter växling till pension om 83,9 miljoner kronor (86,2). Övriga köneförmåner utgör 6,6 miljoner kronor (11,0) och pensionskostnaden uppgick till 38,5 miljoner kronor (37,2). Före växling till pension uppgick pensionskostnaden till 37,9 miljoner kronor (36,5) vilket motsvarar 44,7 procent (42,1) av lönen.

Arvoden från externa styrelseuppdrag för bankens räkning har levererats in till banken.

Ersättningar till ledande befattningshavare i dotterbolag

Arvode till styrelseledamöter i dotterbolag, 14 personer (16), vilka inte är anställda i banken eller dess dotterbolag uppgår till 2,8 miljoner kronor (2,1).

Verkställande direktörer och vice verkställande direktörer i dotterbolag, 17 personer (24), har år 2016 erhållit fasta löner efter växling till pension om 36,0 miljoner kronor (36,1). Övriga köneförmåner utgör 2,4 miljoner kronor (1,5) och pensionskostnaden uppgick till 6,8 miljoner kronor (5,4). Före växling till pension uppgick pensionskostnaden till 6,6 miljoner kronor (5,3), vilket motsvarar 18,1 procent (14,6) av lönen.

Ersättning utges inte till verkställande direktörer och vice verkställande direktörer i dotterbolag vilka har en annan huvudsaklig arbetsuppgift i Handelsbanken.

⁴ I nya pensionsvillkor som ingått efter den 1 januari 2012 tillämpas 65 år som pensionsålder.

NOTER | KONCERNEN

K8 Forts

PENSIONSFORPLIKTELSE TILL LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Pensionsförpliktelser** för verkställande direktören, Anders Bouwln, uppgår till 205,3 miljoner kronor per den 31 december 2016. Pensionsförpliktelserna för vice verkställande direktören Carina Åkerström uppgick till 77,2 miljoner kronor (72,2) per den 31 december 2016 och för övriga Executive Directors i moderbolaget, 14 personer (17) den 31 december 2016, till 308,8 miljoner kronor (773,6).

Pensionsförpliktelserna i Handelsbanken-koncernen för samtliga nuvarande och tidigare ledande befattningshavare uppgick till 2 772 miljoner kronor (2 878) per den 31 december 2016. Pensionsförpliktelserna för samtliga nuvarande och tidigare ledande befattningshavare i moderbolaget uppgick till 2 687

miljoner kronor (2 733) per den 31 december 2016. Antal personer som omfattas av dessa förpliktelser är i koncernen 85 (83), varav 60 är pensionärer (53). Motsvarande antal för moderbolaget är 69 (67), varav 53 är pensionärer (48).

KREDITER TILL OCH INLÄNING FRÅN LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Krediter till ledande befattningshavare i moderbolaget uppgick per den 31 december 2016 i moderbolaget till 76,5 miljoner kronor (146,2) och i dotterbolagen till 74,8 miljoner kronor (67,4). Inlåning till moderbolaget från dessa personer uppgick till 568,6 miljoner kronor (662,5). Bankens räntetäckter från dessa personer för krediter i moderbolaget uppgick för 2016 till 0,3 miljoner kronor (1,0) och i dotterbolagen till 0,8 miljoner kronor (0,8). Erlagd ränta till dessa

personer för inlåning i moderbolaget uppgick till 2,0 miljoner kronor (3,9).

Krediter till ledande befattningshavare i dotterbolagen uppgick per den 31 december 2016 i Handelsbankenkoncernen till 106,8 miljoner kronor (131,9).

Vilkor för krediter och inlåning för ledande befattningshavare som är anställda i Handelsbankenkoncernen är i enlighet med samma principer som för alla andra medarbetare i koncernen. Alla krediter beviljas efter kreditprövning.

** Pensionsförpliktelser avser belopp som banken enligt AB 19 reserverar för utbetalning av framtida förmånsbestämda pensioner. Storlek på belopp beror på finansiella och demografiska antaganden vilka kan ändras mellan åren.

Pensionsförpliktelser, netto mkr	2016	2015
Pensionsförpliktelser	29 670	29 150
Förvaltningsutgifter, verkliga värde	27 509	23 836
Pensionsnetto	-2 161	-5 314

Utöver pensionsförpliktelserna och förvaltningsutgifter i tabellen ovan finns inom Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse avsettnings som gjorts under åren 1989-2004 till en särskild kompletterande pension (SKP). I den ingår förvaltningsutgifter vars marknadsvärde uppgår till 11 342 mkr (12 310 mkr). SKP:n medför en utfästelse för banken uppgående till samma belopp som förvaltningsutgifterna.

En del av denna utfästelse, 8 652 mkr (9 768), är villkorad.

I Norge ingår, på grund av lagändringar, inte längre sjukpension i pensionsåtagandet. I övrigt har inga väsentliga planändringar, reduceringar eller regleringar gjorts under året.

Pensionskostnader mkr	2016	2015
Pensioner intjänade under året	-878	-764
Pensioner intjänade under tidigare år	23	0
Ränta på pensionsförpliktelserna	-602	-758
Ränta på förvaltningsutgifter	562	711
Vinstar och förluster från regleringar och reduceringar	-20	-3
Socialavgifter, förmånsbaserade planer	-9	-15
Pensionskostnader, förmånsbaserade planer	-1 014	-829
Pensionskostnader, avgiftsbaserade planer	-531	-518
Socialavgifter, avgiftsbaserade planer	-34	-13
Summa pensionskostnader	-1 570	-1 380

Pensionsförpliktelser mkr	2016	2015
Ingående balans	29 150	24 938
Pensioner intjänade under året	878	764
Pensioner intjänade under tidigare år	-83	0
Ränta på pensionsförpliktelserna	602	758
Betalda förmåner	-809	-763
Vinstar och förluster från regleringar och reduceringar	19	3
Aktuariella vinster (-)/förluster (+)	-10	3 486
Valutaeffekt	-167	-36
Utgående balans	29 670	29 150

Förvaltningsutgifter mkr	2016	2015
Ingående balans	23 836	23 458
Pensioner intjänade under tidigare år	-60	-
Ränta på förvaltningsutgifter	562	711
Tillskjutna medel från arbetsgivaren	169	182
Ersättning till arbetsgivaren	-510	-505
Vinstar och förluster från regleringar och reduceringar	-1	-
Utbetalda medel dräkt till anställda	-364	-319
Aktuariella vinster (-)/förluster (+)	3 283	334
Valutaeffekt	-106	-25
Utgående balans	27 509	23 836

Ärskattning på förvaltningsutgifter mkr	2016	2015
Ränta på förvaltningsutgifter	562	711
Aktuariella vinster (-)/förluster (+)	3 283	334
Verklig ärskattning	4 845	1 045

Fördelning av förvaltningsutgifter mkr	2016	2015
Noterade aktier och andelar	24 788	21 540
Icke-noterade aktier och andelar	847	332
Noterade räntebärande värdepapper	1 826	1 745
Icke-noterade räntebärande värdepapper	263	253
Övriga förvaltningsutgifter	-215	-74
Summa	27 509	23 836

I förvaltningsutgifterna ingår aktier i Svenska Handelsbanken AB (publ) med ett marknadsvärde om 144 mkr (132) på balansdagen den 31 december 2016. Obligationer utgivna av Svenska Handelsbanken AB (publ) ingår med ett marknadsvärde om 515 mkr (531). I övriga förvaltningsutgifter ingår en skuld avseende ännu ej utbetald gottgörelse.

Aktuariella vinster (-)/förluster (+), pensionsförpliktelser mkr	2016	2015
Ändringar i demografiska antaganden	-	-3
Ändringar i finansiella antaganden	41	3 210
Erfarenhetsbaserade justeringar	-51	279
Summa	-10	3 486

NOTER | KONCERNEN

Framtida kassaflöden mkr	Utfall 2016	Prognos 2017
Betalda förmåner	-809	-732
Tillskjutna medel från arbetsgivaren	169	166

Förmånsbestämd pension utgår huvudsakligen för personal i Sverige, Norge och Storbritannien. Av den totala pensionsförpliktsen avser 25 570 mkr (25 665) den svenska planen, 1 110 mkr (1 075) den norska planen och 2 949 mkr (2 374) planen i Storbritannien. Därutöver finns en förmånsbestämd plan i Tyskland av mindre omfattning, som med hänsyn till sin storlek inte anses väsentlig och därför inte redogörs för närmare.

Av de totala förvaltningsutgångarna avser 24 927 mkr (21 395) den svenska planen, 812 mkr (733) den norska planen och 1 763 mkr (1 701) planen i Storbritannien. Därutöver finns förvaltningsutgångar i Tyskland av mindre omfattning, som med hänsyn till sin storlek inte anses väsentlig och därför inte redogörs för närmare.

I Sverige utgår ålderspension från och med 65 års ålder enligt pensionsavtal mellan BAO och Finansförbundet/BAO-förbunden med 10% av årslönen, upp till 7,5 inkomstbasbelopp. På löne- och i inkomstbasbeloppintervall 7,5–20 utgår ålderspension med 65% och i inkomstbasbeloppintervall 20–30 med 32,5% av årslönen. På löne- och i inkomstbasbeloppintervall 30–40 utgår ålderspension med 10% av årslönen. På löne- och i inkomstbasbeloppintervall 40–50 utgår ålderspension med 10% av årslönen. På löne- och i inkomstbasbeloppintervall 50–60 utgår ålderspension med 10% av årslönen. På löne- och i inkomstbasbeloppintervall 60–70 utgår ålderspension med 10% av årslönen. På löne- och i inkomstbasbeloppintervall 70–80 utgår ålderspension med 10% av årslönen. På löne- och i inkomstbasbeloppintervall 80–90 utgår ålderspension med 10% av årslönen. På löne- och i inkomstbasbeloppintervall 90–100 utgår ålderspension med 10% av årslönen.

I Norge utgår ålderspension från och med 67 års ålder. Pensionens storlek beror bland annat på tjänstgöringstid och slutlön upp till 12 grundbelopp. Inklusiva lagstadgad pension förväntas ålderspensionen bli ca 70% av slutlönen upp till 12 grundbelopp.

I Storbritannien utgår förmånsbestämd pension för personal som anställdes innan den 1 januari 2006. För personal som anställdes därefter utgår premiebestämd pension. Normal pensionsålder är 65 år. Maximal ålderspension är ca 67% av pensionarnamätslönen, vilken uppnås efter 40 års tjänstetid. Pensionarnamätslönen begränsas av ett maxbelopp som för närvarande uppgår till 150 600 GBP (2016/2017).

Pensionsplanerna är exakt förordade, där förvaltningsutgångarna innehåller av pensionskassas, stiftelser eller liknande juridiska personer. Dessa verksamheter regleras av nationella bestämmelser och praktiskt även reglerar förhållandet mellan koncernen och förvaltaren (eller motsvarande) av förvaltningsutgångar, samt sätter ram för hur förvaltningsutgångar för placeras. I Sverige är det främst Tyggsäkerhetslagen och Lagen om understödsförsäkringar som är tillämplig. I Norge tillämpas Företagapensionslagen och i Storbritannien standard UK pensions and tax law.

Väsentliga antaganden	Sverige		Norge		Storbritannien	
	2016	2015	2016	2015	2016	2015
Diskonteringsränta, %	2,40	2,25	2,90	2,90	2,70	3,80
Förväntad lönnedgång, %	3,5	3,5	2,3	2,5	5,0	4,8
Pensionsuppräktning, %	2,0	2,0	2,0	2,3	3,4	3,3
Inkomstbasbelopp, %	3,0	3,0	N/A	N/A	N/A	N/A
Inflation, %	2,0	2,0	1,5	1,5	3,7	3,5
Personalomsättning, %	3,0	3,0	0–8 ¹	0–8 ¹	N/A	N/A
Förväntad återstående livslängd vid pension, år	23,1	23,0	23,6	23,4	25,0	25,0
Genomsnittlig duration (Macaulay), år	18,4	17,8	22,3	21,7	22,0	24,0

¹ Åldersberoende trappa: för de yngsta 8% årligen för att sedan successivt gå ner till 0% för de äldre.

Känslighetsanalys	Påverkan på pensionsförpliktsen				
	Ändring i antagande	Ökad pensionsförpliktsen, mkr		Minskad pensionsförpliktsen, mkr	
		2016	2015	2016	2015
Diskonteringsränta, %	0,5	3 102	3 077	-2 693	-2 167
Förväntad lönnedgång, %	1,0	1 649	1 693	-2 176	-1 955
Pensionsuppräktning, %	0,5	1 194	1 149	-1 973	-1 642
Förväntad återstående livslängd vid pension, år	1,0	976	959	-974	-811

Känslighetsanalysen ovan baseras på att ett antagande förändras och övriga antaganden är konstanta. I praktiken är det osannolikt att dessa inträffar och förändringar i vissa antaganden kan vara korrelerade. Vid beräkningen av känsligheten i pensionsförpliktsen av förändringar i väsentliga antaganden, har samma metod använts för att beräkna pensionsförpliktsen som den som använts för den redovisade pensionsförpliktsen. Metoden beskrivs närmare i bankens redovisningsprinciper (se not K1, avsnitt 20). Jämfört med årsredovisningen 2015 har det inte skett några förändringar i de metoder som använts vid upprättandet av känslighetsanalysen.

Genom sina förmånsbestämda pensionsplaner är banken exponerad för ett antal risker. De viktigaste riskerna beskrivs nedan:

Tillgångsvalens risk: Pensionsförpliktsen beräknas med hjälp av en diskonteringsränta som baseras på företagsobligationer. Om förvaltningsutgångar genererar sämre avkastning än diskonteringsräntan, kommer det att skapa ett underskott. I förvaltningsutgångarna ingår en betydande andel aktier, vilket förväntas ge högre avkastning än företagsobligationer på lång sikt, samtidigt som det ger högre volatilitet och risk på kort sikt. Med anledning av pensionsförpliktsens långsiktiga karaktär anser banken att en fortsatt hög andel aktier är lämplig för att hantera planerna effektivt.

Förändringar i obligationens värde: Om företagsobligationsräntorna sjunker så kommer pensionsförpliktsen att öka. Detta kommer dock delvis att kompenseras genom att värdet av de obligationer som ingår i förvaltningsutgångarna kommer att öka.

Inflationens risk: Pensionsförpliktsen är kopplad till inflationen. Högre inflation kommer att leda till att pensionsförpliktsen ökar. Värdet av förvaltningsutgångarna påverkas inte direkt av inflationen i någon väsentlig utsträckning. Om inflationen ökar så kommer det sannolikt att leda till ett ökat underskott i pensionsplanerna.

Förväntad livslängd: Syftet med pensionsplanerna är att generera en pension som sträcker sig över den anställdas livstid. Detta innebär att om den förväntade livslängden ökar så kommer pensionsförpliktsen att öka.

Metoden för tillgångar och skulder: Placering av tillgångar utgår från utfästelsornas sammansättning och förväntade utveckling. Den övergripande målsättningen är att placeringstillgångarnas avkastning på medellång och lång sikt minst ska motsvara pensionsförpliktsens utveckling. Den största andelen av tillgångarna har investerats i aktier, men investeringar har även gjorts i räntebärande instrument och illvida medel. En hög andel aktier anses lämplig för att hantera planerna effektivt.

Fondering: Låga fonderingskrav skiljer sig åt mellan planer men där sådana krav är baserade på kollektivavtal eller internt fastställt policy så är fonderingskravet normalt att pensionsförpliktsen värderas till lokala krav ska täckas fullt ut. Fonderingsnivån övervakas löpande. Banken anser att den nuvarande avgiftsnivån är lämplig.

NOTER | KONCERNEN

K9 Övriga kostnader

mkr	2016	2015
Fastigheter och lokaler	-1 234	-1 243
Externa databaskostnader	-1 608	-1 623
Kommunikation	-317	-342
Resor och marknadsföring	-306	-335
Köpta tjänster	-1 159	-1 027
Materiellansskaffning	-173	-182
Andra omkostnader	-514	-451
Summa	-6 401	-6 203
Värvkostnader avseende operationell leasing		
Minimikassaavgift	-628	-639
Variabel avgift	-80	-74
Summa	-778	-783

Operationell leasing är främst hänförlig till för verksamheten normala avtal avseende kontorslokaler och kontorsutrustning. Hyreskostnader avseende lokaler har normalt en variabel avgift knuten till inflation och fastighetsvärdet. Kostnaden för det enskilt största leasingavtalet uppgick under 2016 till cirka 180 mkr (172). Inget av de största leasingavtalen löper med variabel avgift.

Ersättning till revisorer och revisionsbolag	KPMG		Ernst & Young AB	
	2016	2015	2016	2015
mkr				
Revisionsuppdraget	-13	-13	-4	-4
Revisionsverksamhet utöver revisionsuppdraget	-3	-3	-	-
Skatterådgivning	-	-	-	-
Övriga tjänster	-	-	-	-

Kostnader för internrevision har under året uppgått till 149 mkr (140).

K10 Kreditförluster

mkr	2016	2015
Specifik reservering för individuellt värderade fordringar		
Årets reservering	-1 899	-1 832
Återfört från tidigare gjorda reserveringar	377	372
Summa	-1 522	-1 460
Gruppvis reservering		
Årets nettoreservering för individuellt värderade fordringar	-62	0
Årets nettoreservering för homogena fordringar	-10	-3
Summa	-72	-3
Poster utanför balansräkningen		
Förluster på poster utanför balansräkningen	-16	0
Återföring av förluster på poster utanför balansräkningen	2	0
Förändring i kollektiv avsättning för poster utanför balansräkningen	-26	-33
Summa	-40	-33
Bortskrivningar		
Årets konstaterade kreditförluster	-2 183	-2 664
Utryttad andel av tidigare reserveringar	1 863	659
Återvinningar	230	204
Summa	-90	-101
Kreditförlusters netto	-1 724	-1 597

NOTER | KONCERNEN

Osäkra fordringar m m	2018	2016
Osäkra fordringar	7 746	8 544
Specifika reserveringar för individuellt värderade fordringar	-4 188	-4 444
Reserveringar för gruppvis värderade homogena grupper av fordringar med begränsat värde	-107	-94
Gruppvisa reserveringar för individuellt värderade fordringar	-348	-278
Osäkra fordringar, netto	3 103	4 028
Total reserveringsgrad för osäkra fordringar, %	59,9	54,5
Andel osäkra fordringar, %	0,16	0,21
Reserveringsgrad exkl gruppvisa reserveringar, %	55,4	51,3
Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är osäkra	1 061	1 218
Osäkra fordringar som under året omklassificerats till normala	4	167

Fordringar klassificeras som osäkra om kontrakterade kassaflöden sannolikt inte kommer att fullföljas. Varje fordran som ger upphov till specifik reservering ingår i osäkra fordringar med sitt fulla belopp även om den täcks av säkerheter. Det innebär att reserveringsgraden ej beaktar anslutna säkerheter. För övriga definitioner se sidan 218.

Förändring av reserv för sannolika kreditförluster 2018	Reserv för individuellt värderade fordringar	Gruppvis reserv individuellt värderade fordringar	Reserv gruppvis värderade homogena fordringar	Summa reserv för sannolika kreditförluster
mkr				
Reserv vid årets ingång	-4 444	-278	-94	-4 816
Årets reservering	-1 899	-62	-67	-2 028
Åsatt från tidigare reserveringar	377	-	10	387
Utryttat för konstaterade förluster	1 863		47	1 910
Valutaeffekt m m	-85	-8	-3	-96
Reserv vid årets utgång	-4 188	-348	-107	-4 643

Förändring av reserv för sannolika kreditförluster 2016	Reserv för individuellt värderade fordringar	Gruppvis reserv individuellt värderade fordringar	Reserv gruppvis värderade homogena fordringar	Summa reserv för sannolika kreditförluster
mkr				
Reserv vid årets ingång	-3 734	-284	-93	-4 111
Årets reservering	-1 832	-	-49	-1 881
Åsatt från tidigare reserveringar	372	0	4	376
Utryttat för konstaterade förluster	659		42	701
Valutaeffekt m m	91	6	2	99
Reserv vid årets utgång	-4 444	-278	-94	-4 816

Osäkra fordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 60 dagar, sektors- och branschfördelade 2018	Osäkra fordringar				Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är osäkra
	Brutto	Reserver	Netto ¹	Varav förfallna sedan 60 dagar	
mkr					
Privatpersoner	1 405	-745	660	435	721
Bostadsrättsföreningar	41	-20	21	5	-
Fastighetsförvaltning	1 793	-691	1 102	263	240
Tillverkningsindustri	719	-522	197	26	18
Handel	457	-270	187	45	0
Hotell- och restaurangverksamhet	96	-32	64	64	6
Person- och godstransport till sjöss	1 849	-1 244	605	0	-
Övrig transport och kommunikation	52	-36	16	7	5
Byggnadsverksamhet	269	-161	108	46	13
Elektricitet, gas och vatten	68	-39	29	4	9
Jordbruk, jakt och skogsbruk	53	-31	22	11	2
Övrig serviceverksamhet	214	-113	101	94	18
Holding-, investem-, försäkringsbolag, fonder m m	601	-316	285	30	6
Övrig företagsutlåning	129	-75	54	14	23
Kreditinstitut	-	-	-	-	-
Summa	7 746	-4 295	3 451	1 044	1 061

¹ Redovisat värde efter beaktande av specifika reserveringar för individuellt värderade fordringar och reserveringar för gruppvis värderade fordringar, men exklusive gruppvisa reserveringar för fordringar som värderas individuellt.

NOTER | KONCERNEN

KIO Forts

mkr	Oskilda fordringar			Varav förfallna sedan 60 dagar	Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är oskilda
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Oskilda fordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 60 dagar, sektor- och branschfördelade 2016					
Privatpersoner	1 424	-755	669	494	757
Bostadsrättsföreningar	35	-20	15	1	2
Fastighetsförvaltning	1 943	-697	1 246	410	149
Tillverkningsindustri	2 108	-1 542	561	49	21
Handel	394	-267	127	74	4
Hotell- och restaurangverksamhet	116	-30	86	85	168
Person- och godstransport till sjöss	1 734	-543	1 191	0	-
Övrig transport och kommunikation	78	-60	18	16	8
Byggnadsverksamhet	150	-92	58	40	77
Elektricitet, gas och vatten	73	-52	21	5	-
Jordbruk, jakt och skogsbruk	34	-15	19	3	0
Övrig serviceverksamhet	101	-66	35	27	15
Holding-, investiment-, försäkringsbolag, fonder m.m.	500	-282	218	74	17
Övrig företagsutlåning	159	-117	42	39	0
Kreditkost	-	-	-	-	-
Summa	8 844	-4 538	4 306	1 317	1 218

¹ Redovisat värde efter beaktande av specifika reserveringar för individuellt värderade fordringar och reserveringar för gruppvis värderade fordringar, men exklusive gruppvisa reserveringar för fordringar som värderas individuellt.

mkr	Oskilda fordringar			Varav förfallna sedan 60 dagar	Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är oskilda
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Oskilda fordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 60 dagar, geografiskt fördelade 2016					
Sverige	2 091	-1 218	873	396	346
Norge	510	-315	195	35	225
Finland	880	-599	281	144	238
Danmark	2 872	-1 706	1 166	173	16
Storbritannien	1 108	-326	782	146	205
Nederländerna	3	-1	2	-	-
Övriga Europa	169	-92	77	74	30
Nordamerika	-	-	-	-	-
Asien	113	-38	75	76	-
Summa	7 748	-4 295	3 451	1 044	1 061

mkr	Oskilda fordringar			Varav förfallna sedan 60 dagar	Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är oskilda
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Oskilda fordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 60 dagar, geografiskt fördelade 2015					
Sverige	3 229	-2 156	1 073	445	395
Norge	208	-130	78	46	181
Finland	973	-679	294	199	400
Danmark	2 803	-1 040	1 763	216	18
Storbritannien	1 437	-447	990	307	168
Nederländerna	2	-1	1	-	-
Övriga Europa	192	-85	107	104	53
Nordamerika	-	-	-	-	-
Asien	-	-	-	-	2
Summa	8 844	-4 538	4 306	1 317	1 218

¹ Redovisat värde efter beaktande av specifika reserveringar för individuellt värderade fordringar och reserveringar för gruppvis värderade fordringar, men exklusive gruppvisa reserveringar för fordringar som värderas individuellt.

NOTER | KONCERNEN

Förtälsstruktur avseende förtälna fordringar som inte är osäkra 2016					
mkr	Utlåning till kreditinstitut	Utlåning till allmänheten			Summa
		Hushåll	Företag	Övrigt	
Förtälna ≤ 5 dagar ≤ 1 månad	-	1 486	694	1	2 181
Förtälna > 1 månad ≤ 2 månader	-	253	79	-	332
Förtälna > 2 månader ≤ 3 månader	-	136	80	-	216
Förtälna > 3 månader ≤ 12 månader	-	413	56	-	469
Förtälna > 12 månader	-	329	47	-	376
Summa	-	2 617	956	1	3 574

Förtälsstruktur avseende förtälna fordringar som inte är osäkra 2015					
mkr	Utlåning till kreditinstitut	Utlåning till allmänheten			Summa
		Hushåll	Företag	Övrigt	
Förtälna ≤ 5 dagar ≤ 1 månad	-	1 868	692	1	2 561
Förtälna > 1 månad ≤ 2 månader	-	213	68	-	281
Förtälna > 2 månader ≤ 3 månader	-	141	29	-	170
Förtälna > 3 månader ≤ 12 månader	-	340	107	-	447
Förtälna > 12 månader	-	360	241	-	601
Summa	-	2 922	1 137	1	4 060

Tillgångar övertagna för skyddande av fordran		
mkr	2016	2015
Fastigheter	350	429
Lös egendom	4	19
Aktier och andelar	10	12
Redovisat värde	364	460

Lös egendom består i all väsentligt av återtagna leasingobjekt. Utöver övertagen egendom redovisad i ovanstående tabell redovisas egendom som övertagits för skyddande av fordran i verksamhet under avveckling, se vidare not K12. Värderingsprinciper för tillgångar och skulder som övertagits för skyddande av fordran beskrivs i not K1.

K11 Vinster/förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar

mkr	2016	2015
Inventarer	24	16
Fastigheter	8	-9
Summa	32	7

K12 Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet

mkr	2016	2015
Inträder	971	2 721
Kostnader	-888	-2 469
Rörelseresultat från avvecklad verksamhet	83	252
Örtill hänförlig skatt	-29	-36
Summa	54	216
Nedskrivning	-41	-71
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet	13	145

Rörelseresultat från avvecklade verksamheter består av avkastning från bankens andelar i Plastal-koncernen. Verksamheten i Plastal-koncernen består av tillverkning av olika typer plastkomponenter till fordonindustrin.

Bankens ägande i Plastal Indust AB avyttrades under andra kvartalet och någon avvecklad verksamhet förelåg inte vid periodens slut. Avvecklad verksamhet avser resultatet från dotterföretaget Plastal Indust AB, för tiden före avyttring, samt resultat från avyttring av bolaget.

Då det verkliga värdet av Plastal, med avdrag för försämringskostnader, är lägre än det redovisade värdet på Innehavet så gjordes en nedskrivning 2015. Nedskrivningen motsvarar i all väsentligt årets planerade avskrivningar och påverkar inte årets skattekostnad. Det verkliga värdet av Plastal är framtagit med utgångspunkt från värderingsmodeller, där olika värderingsansatser såsom jämförelse med konkurrerande företag samt kassaflödesvärderingen utförts för att få fram en tillförlig värdering. Underlag till de antaganden som använts vid värderingen hämtas i så stor utsträckning som möjligt från externa marknadsobservationer. Värderingen har ett väsentligt inslag av egna antaganden. I den värderingshänseende som beskrivs i not K40 skulle därför värderingen klassificeras som nivå 3.

En redogörelse för bankens principer för värdering av tillgångar som händer från avvecklad verksamhet framgår av not K1.

NOTER | KONCERNEN

K13 Resultat per aktie

	2016	2015
Årets resultat från kvarvarande verksamhet, mkr	16 232	16 198
varav räntekostnad på konvertibla skuldbrev efter skatt	- 739	- 709
Årets resultat från avvecklad verksamhet, mkr	13	145
varav räntekostnad på konvertibla skuldbrev efter skatt	-	-
Årets resultat från total verksamhet, mkr	16 245	16 343
varav räntekostnad på konvertibla skuldbrev efter skatt	- 739	- 709
Genomsnittligt antal under året konverterade aktier, miljoner	20,0	0,0
Genomsnittligt innehav av egna aktier i handelslager, miljoner	-	-
Genomsnittligt antal utestående aktier, miljoner	1 927,1	1 907,0
Genomsnittlig utspädningsfakti aktier, miljoner	45,6	64,9
Genomsnittligt antal utestående aktier efter utspädning, miljoner	1 972,7	1 971,9
Resultat per aktie, kvarvarande verksamhet, kr	8,42	8,40
efter utspädning	8,30	8,32
Resultat per aktie, avvecklad verksamhet, kr	0,01	0,08
efter utspädning	0,01	0,07
Resultat per aktie, total verksamhet, kr	8,43	8,67
efter utspädning	8,31	8,39

Resultat per aktie efter utspädning beräknas genom att ta hänsyn till effekterna av en konvertering av utestående konvertibla skuldbrev. Det innebär att genomsnittligt antal aktier justeras med potentiella stamaktier och att årets resultat justeras med årets räntekostnad på utestående konvertibla skuldbrev efter skatt.

K14 Övrig utlåning till centralbanker

mkr	2016	2015
Övrig utlåning till centralbanker i svenska kronor	4 821	15 998
Övrig utlåning till centralbanker i utländsk valuta	20 706	18 120
Summa	25 527	34 118
Varav omväxelsrepor	-	-
Medelvolymer		
mkr	2016	2015
Övrig utlåning till centralbanker i svenska kronor	37 654	26 353
Övrig utlåning till centralbanker i utländsk valuta	30 662	40 296
Summa	68 316	66 649
Varav omväxelsrepor	89	1 154

NOTER | KONCERNEN

K15 Utlåning till övriga kreditinstitut

mkd	2018	2015
Utlåning i svenska kronor		
Banker	7 432	2 009
Övriga kreditinstitut	199	552
Summa	7 631	2 561
Utlåning i utländsk valuta		
Banker	15 502	20 706
Övriga kreditinstitut	8 214	26 389
Summa	23 716	47 095
Sannolika kreditförluster	-	-
Summa utlåning till övriga kreditinstitut	31 347	49 656
Varav omvända repor	4 088	23 394
Medskrymmer		
mkd	2018	2015
Utlåning till övriga kreditinstitut i svenska kronor	4 800	8 155
Utlåning till övriga kreditinstitut i utländsk valuta	59 945	80 078
Summa	64 745	88 233
Varav omvända repor	12 828	43 240

K16 Utlåning till allmänheten

mkd	2018	2015
Utlåning i svenska kronor		
Hushåll	760 339	715 563
Företag	460 468	473 845
Riksgälden	982	3 338
Summa	1 221 789	1 192 746
Utlåning i utländsk valuta		
Hushåll	273 618	244 439
Företag	472 858	434 028
Riksgälden	-	-
Summa	746 476	678 467
Sannolika kreditförluster	-4 643	-4 816
Summa utlåning till allmänheten	1 063 622	1 866 467
Varav omvända repor	7 423	7 742
Varav efterställda	71	345
Medskrymmer, exkl Riksgälden		
mkd	2018	2015
Utlåning till allmänheten i svenska kronor	1 218 650	1 170 301
Utlåning till allmänheten i utländsk valuta	718 700	677 029
Summa	1 937 350	1 847 330
Varav omvända repor	14 171	18 458

NOTER | KONCERNEN

K17 Räntebärande värdepapper

	2016			2015		
	Nominellt värde	Verkligt värde	Redovisat värde	Nominellt värde	Verkligt värde	Redovisat värde
milj						
Belåningsbara statssektorförbindelser m m	95 571	97 205	97 205	72 263	74 777	74 777
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	62 020	63 909	63 909	42 602	44 513	44 513
Summa	157 591	161 114	161 114	114 865	119 290	119 290
Värdet omräknade värdepapper		255	255		364	364
Räntebärande värdepapper fördelade på emittent						
	2016			2015		
	Nominellt värde	Verkligt värde	Redovisat värde	Nominellt värde	Verkligt värde	Redovisat värde
milj						
Stat	95 571	97 205	97 205	59 932	62 471	62 471
Kreditinstitut	25 683	25 920	25 920	7 186	9 015	9 015
Beslutsinstitut	33 503	35 024	35 024	29 266	31 560	31 560
Övrigt	2 834	2 865	2 865	18 481	16 244	16 244
Summa	157 591	161 114	161 114	114 865	119 290	119 290
Medelvolymer						
milj				2016	2015	
Räntebärande värdepapper				158 663	140 313	
Räntebärande värdepapper, försäkringsrörelsen				6 758	7 391	
Summa				165 421	147 704	

K18 Aktier och andelar

	2016		2015	
milj				
Innehav värderade till verkligt värde över resultaträkningen				
Noterade	12 937		19 632	
Ikke noterade	5 857		4 174	
Summa	18 794		23 806	
Innehav klassificerade som tillgängliga för försäljning				
Noterade	-		4 667	
Ikke noterade	1 618		1 914	
Summa	1 618		6 581	
Summa aktier och andelar	20 412		30 387	

K19 Andelar i intresseföretag

Handelsbanken har inga enskilda väsentliga innehav i intresseföretag. Det finns vissa företag som anses strategiska för bankverksamheten i koncernen då de utför stödjande verksamheter, såsom exempelvis betalkontjänster. Samtliga innehav är onoterade.

Andelar i intresseföretag mkr	2018	2015
Redovisat värde vid årets början	245	286
Andel av årets resultat	25	17
Skatt	-7	-9
Aktsälgartillskott	19	10
Utdelning	-10	-7
Förvärf	2	-
Avyttringar	-16	-
Nackskrivning	-	-53
Omräkningsskillnader	-3	1
Redovisat värde vid årets slut	255	245

Resultat från intresseföretag mkr	2018	2015
Årets resultat	18	8
Övrigt totalresultat	-1	1
Årets totalresultat	17	9

Intresseföretag	Organisations-nummer	Ställe	Antal aktier	Röstandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2018	2015
Add Value Fund Management BV	19196768	Amsterdam	1 125	45,00	4	-
Bankomat AB	556817-9716	Stockholm	150	20,00	70	52
Bankomatcentralen AB	556197-2265	Stockholm	1 100	21,89	0	0
BOB Bankomas Depå AB	556695-3567	Stockholm	-	-	-	13
BGC Holding AB	556607-0983	Stockholm	25 382	25,38	83	80
Dyson Group plc	163096	Sheffield	122 387 481	29,99	23	29
Finansial ID-teknik BID AB	556630-4928	Stockholm	12 735	28,30	21	23
Fläskompaniet Holding AS	992 999 136	Oslo	2 400	47,00	-	0
Getavish AB	556913-7382	Stockholm	10 000	20,00	9	8
Upplysningscentralen UC AB ¹	556137-5113	Stockholm	2 448	24,48	45	40
Summa					255	245

¹ Avser uppgifter för koncernen.

K20 Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken

mkr	2018	2015
Fond- och depåförsäkringstillgångar	114 721	101 724
Övriga fondtillgångar	3 597	3 422
Ej ägt andel av konsoliderade fonder	328	-
Summa	118 646	105 146

K21 Innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag

mkr	Innehav i fonder	
	2018	2015
Tillgångar		
Aktier och andelar	1 577	398
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	101 359	89 725
Summa innehav i strukturerade företag som inte konsolideras	102 936	90 123

En strukturerat företag är ett företag som har utformats så att röster eller liknande rättigheter inte är den dominerande faktorn vid avgörandet av vem som har det bestämmande inflytandet i företaget, exempelvis när röstströmmen endast avser administrativa uppgifter och relevanta aktiviteter regleras genom avtal. Handelsbankens innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag är begränsade och utgörs av fondandelar. Fondandelar ägs främst genom fondförsäkringsavtal hos Handelsbanken Liv samt liknande avtal i andra länder. Fondandelar som ägs genom fondförsäkringsavtal utgör inte grund för konsolidering, se vidare not K1, och utgör därmed icke-konsoliderade strukturerade företag. Handelsbanken äger vidare fondandelar i egenskap av marknad maker. I den mån dessa innehav inte konsolideras utgör de andelar i icke-konsoliderade strukturerade företag. Den maximala exponeringen för förlust för alla innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag är det redovisade värdet på innehaven. De totala tillgångarna för dessa företag anses inte som meningsfull information för att förstå de relaterade riskerna och därför har de inte presenterats.

NOTER | KONCERNEN

K22 Derivatinstrument

	Nominellt belopp/Köptid			Nominellt belopp		Positiva marknadsvärden		Negativa marknadsvärden	
	upp till 1 år	mer än 1 år upp till 5 år	mer än 5 år	2016	2015	2016	2015	2016	2015
Derivat för handel									
Ränterelaterade kontrakt									
Optioner	21 176	33 053	5 299	59 528	116 610	494	1 341	560	1 403
FRAs/terminter	378 227	237 924	-	616 151	659 941	141	475	123	511
Swappar	388 071	1 073 793	313 501	1 775 365	1 750 861	32 213	34 613	32 838	35 430
Valutarelaterade kontrakt									
Optioner	53 191	1 702	31	54 924	75 879	620	471	764	700
Terminter	95 304	5 316	352	100 972	126 201	1 730	1 689	1 390	1 703
Swappar	426 516	50 877	4 536	481 929	592 755	6 614	7 178	8 176	8 232
Aktierelaterade kontrakt									
Optioner	10 193	17 826	156	28 175	30 611	1 486	2 032	2 007	2 656
Terminter	1 129	-	-	1 129	2 779	13	1	15	32
Swappar	18 311	1 790	29	20 130	56 888	420	1 245	961	1 641
Rävaruselaterade kontrakt									
Optioner	105	329	85	519	2 354	10	250	276	537
Terminter	15 590	3 692	-	19 282	16 696	576	940	601	899
Kreditrelaterade kontrakt									
Swappar	2 360	6 725	546	9 631	9 909	386	458	113	247
Summa	1 410 173	1 438 027	324 635	3 167 735	3 441 484	44 703	60 673	47 824	63 991
Derivat för marknadsvärdesåtkomster									
Ränterelaterade kontrakt									
Optioner	530	5 115	-	5 645	6 785	28	38	-	-
Swappar	-	35 309	1 274	36 583	1 512	51	-	82	1
Summa	530	40 424	1 274	42 228	8 297	79	38	82	1
Derivat för kassafördesåtkomster									
Ränterelaterade kontrakt									
Swappar	88 576	401 635	71 346	561 557	495 135	17 597	20 674	3 699	3 243
Valutarelaterade kontrakt									
Swappar	199 050	256 476	40 988	496 514	338 601	47 308	37 902	5 990	6 908
Summa	287 626	658 111	112 334	1 058 071	833 736	64 905	58 576	9 689	10 241
Summa derivatinstrument	1 698 329	2 131 562	438 143	4 268 034	4 283 617	109 687	109 287	57 595	84 233
Varav börshandlade derivat									
				347 636	233 328	488	490	1 426	1 613
Varav OTC-derivat clearade via CCP									
				1 374 610	1 030 386	12 669	2 106	13 907	1 463
Varav OTC-derivat ej clearade via CCP									
				2 545 788	3 019 803	96 530	106 691	42 172	61 157
Kvittade belopp									
				-1 747 179	-1 414 478	-27 054	-23 940	-25 857	-23 641
Nettobelopp				2 620 855	2 869 039	82 633	85 347	31 738	40 692
Valutafördelning av marknadsvärden									
SEK						-122 101	-37 576	129 900	221 736
USD						319 374	225 036	-33 705	-73 477
EUR						109 364	99 729	-23 918	-53 710
Övriga						-196 950	-177 902	-14 682	-30 316
Summa						109 687	109 287	57 595	84 233

I noten presenteras derivatkontrakt brutto. Kvittade belopp består av det kvittade marknadsvärdet och tillhörande nominella belopp på kontrakt för vilka det finns en legal rätt och avsikt att registrera avtalade kassafördes netto (där bland clearade kontrakt). Dessa kontrakt netto redovisas i balansräkningen per motpart och valuta.

Positiva skillnader mellan det värde som räknats fram med en värderingsmodell vid det första redovisningsöflöppet och transaktionspriset (dag 1-resultat) periodiseras över derivats löptid. Vid årsstämman uppgick sådana ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 585 mkr (539).

K23 Kvittning av finansiella instrument

2016		Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	
mkr	Derivat		Totalt
Finansiella tillgångar som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal			
Bruttolopp	109 687	13 427	123 114
Kvittade belopp	-27 054	-1 030	-28 084
Redovisat värde i balansräkningen	82 633	12 397	95 030
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-20 643	-	-20 643
Mottagna finansiella säkerheter	-42 238	-12 397	-54 635
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-62 881	-12 397	-75 278
Nettolopp	19 752	-	19 752
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal			
Bruttolopp	57 595	1 032	58 627
Kvittade belopp	-25 857	-1 030	-26 887
Redovisat värde i balansräkningen	31 738	2	31 740
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-20 643	-	-20 643
Ställda finansiella säkerheter	-3 907	-2	-3 909
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-24 460	-2	-24 462
Nettolopp	7 288	-	7 288
2015		Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	
mkr	Derivat		Totalt
Finansiella tillgångar som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal			
Bruttolopp	109 287	31 815	141 102
Kvittade belopp	-23 940	-	-23 940
Redovisat värde i balansräkningen	85 347	31 815	117 162
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-25 660	-	-25 660
Mottagna finansiella säkerheter	-35 678	-31 815	-67 493
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-61 338	-31 815	-93 153
Nettolopp	24 009	-	24 009
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal			
Bruttolopp	64 233	290	64 523
Kvittade belopp	-23 641	-	-23 641
Redovisat värde i balansräkningen	40 592	290	40 882
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-25 660	-	-25 660
Ställda finansiella säkerheter	-6 614	-290	-6 904
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-32 274	-290	-32 564
Nettolopp	8 318	-	8 318

Derivatinstrument kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera derivat. Återköpsavtal och omvända återköpsavtal mot centrala clearingmotparter kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera avtal. Det inträffar när banken har både en avtalsmässig rätt och avsikt att reglera avtalade kassaflöden netto. Den kvarvarande motpartsrisken i derivat redu-

ceras genom avtal om nettningsavtal vid betalningsinställelse, det vill säga nettningsavtal om positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart i en konkursituation. Banken har som policy att teckna nettningsavtal med alla bankmotparter. Nettningsavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen. I huvudsak används kontanter som säkerhet, men även statspapper förekommer. Säkerheter för återköpsavtal samt

in- och utlåning av värdepapper utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper.

I det kvittade beloppet för derivattillgångar ingår kvittade kontantsäkerheter om 3 585 miljoner kronor (964) vilka härrör från balansräkningsposten In- och upplåning från allmänheten. I det kvittade beloppet för derivatskulder ingår kvittade kontantsäkerheter om 2 367 miljoner kronor (664) vilka härrör från balansräkningsposten Utlåning till allmänheten.

NOTER | KONCERNEN

K24 Immateriella tillgångar

2016					
mkr	Goodwill	Varumärken och andra rättigheter	Kund-kontrakt	Internt utvecklad programvara	Totalt 2016
Anskaffningsvärde vid ingången av året	6 460	65	410	1 943	8 878
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	147	124	388	558	1 217
Avyttringar och utgångar	-	-	-	-89	-89
Valutaeffekt	154	-7	-21	-9	117
Anskaffningsvärde vid utgången av året	6 761	182	777	2 403	10 123
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-	-32	-89	-503	-624
Avyttringar och utgångar	-	-	-	89	89
Årets avskrivningar	-	-20	-26	-152	-198
Årets nedskrivningar	-	-	-	-1	-1
Valutaeffekt	-	4	1	-1	4
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-	-48	-114	-568	-730
Redovisat värde	6 761	134	663	1 835	9 393

2015					
mkr	Goodwill	Varumärken och andra rättigheter	Kund-kontrakt	Internt utvecklad programvara	Totalt 2015
Anskaffningsvärde vid ingången av året	6 507	64	408	1 581	8 650
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	-	-	-	455	455
Avyttringar och utgångar	-	-	-	-89	-89
Valutaeffekt	-137	1	2	-4	-138
Anskaffningsvärde vid utgången av året	6 460	65	410	1 943	8 878
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-	-19	-70	-429	-518
Avyttringar och utgångar	-	-	-	89	89
Årets avskrivningar	-	-13	-21	-147	-181
Årets nedskrivningar	-	-	-	-17	-17
Valutaeffekt	-	0	2	1	3
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-	-32	-89	-503	-624
Redovisat värde	6 460	33	321	1 440	8 254

	Goodwill		Immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod	
mkr	2016	2015	2016	2015
Handelsbanken Sverige	3 331	3 331	-	-
Handelsbanken Storbritannien	160	178	-	-
Handelsbanken Finland	16	16	-	-
Handelsbanken Danmark	2 401	2 290	-	-
Handelsbanken Norge	697	635	-	-
Handelsbanken Nederländerna	146	-	-	-
Handelsbanken Capital Markets	10	10	3	3
Summa	6 761	6 460	3	3

Nedskrivningsprövning av goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod

Redovisad koncerngoodwill hänför till övervägande del från traditionell bankverksamhet på Handelsbankens hemmamarknader. Goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod prövas för nedskrivning årligen i samband med årsbokslutet. Vid nedskrivningsprövningen beräknas nyttjandevärdet för de enheter till vilka goodwill fördelats ut genom diskontering av estimerade framtida kassaflöden samt slutvärde. I tabellen har goodwill fördelats ut på rörelsesegment. Goodwill som följs upp internt på en lägre nivå än rörelsesegment prövas på den lägre nivån.

Estimerade framtida kassaflöden bygger de första fem åren på prognoser på riskvägda

volym, intäkter, kostnader samt kreditförluster. Prognoserna baseras främst på en intern bedömning av den framtida intäkt- och kostnadsutvecklingen, konjunkturläge, förväntad ränteutveckling samt förväntade effekter av kommande regelverk. Efter den första femårsperioden görs en prognos baserad på ett antagande om långsiktig tillväxttakt. Antagandet om kassaflödestillväxt baseras på historisk real BNP-utveckling samt Riksbankens långsiktiga inflationsmål. Årets nedskrivningsprövning bygger på ett antagande om en långsiktig tillväxttakt på 2 procent (2). Den totala prognosperioden är 20 år. Som slutvärde används det prognostiserade subansvärdet för den prövade enheten. Estimerade kassaflöden har diskonterats med en ränta som baseras på riskfri ränta samt riskjustering motsvarande mark-

nadens genomsnittliga avkastningskrav. Diskonteringsräntan uppgick vid årets nedskrivningsprövning till 5,9 procent (6,3) efter skatt. Motsvarande ränta före skatt uppgick till 8,8 procent (9,2).

Vid årets nedskrivningsprövning bedömdes avståndet mellan återvinningsvärde och bokfört värde på goodwill vara betryggande. Det beräknade nyttjandevärdet på goodwill är känsligt för ett antal olika variabler som har betydelse för förväntade kassaflöden samt diskonteringsräntan. De variabler som har störst betydelse för beräkningen är antaganden om ränte- och konjunkturutveckling, framtida marginaler och kostnadseffektivitet. Ingen rimligt möjlig förändring av viktiga antaganden skulle påverka det redovisade värdet på goodwill.

NOTER | KONCERNEN

K25 Fastigheter och inventarier

Fastigheter och inventarier mkr	2018	2015
Inventarier	712	631
Fastigheter	1 321	1 269
Egendom övertagen för skyddande av fordran	354	448
Summa	2 387	2 348

I posten Egendom övertagen för skyddande av fordran ingår fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde i enlighet med koncernens redovisningsprinciper för tillgångar som övertagits för skydd av fordran, se not K1. Det verkliga värdet på fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 350 mkr (420). Orsakerade värdeförändringar på dessa fastigheter har påverkat årets resultat med 1 mkr (5). Värdering av privatbostäder bygger i all väsentligt på marknadsobservationer av jämförbara fastighetsköp på den aktuella orten. Värdering av kommersiella fastigheter bygger på diskontering av framtida kassaflöden och baseras på antaganden om bland annat hyresnivå, vakansgrad, drift- och underhållskostnader, direktavkastningsränta och kalkylränta. I värderingen tas även hänsyn till fastighetens skick, åge samt alternativanvändning. Banken har som princip att alltid använda en oberoende, godkänd värderingsman vid värdering av affärs- och kontorfastigheter samt industrifastigheter. Värdering som enbart bygger på marknadsobservationer (330 mkr) klassificeras som nivå 2 i den värderingshierarki som beskrivs i not K40. Värdering som har ett väsentligt inslag av egna antaganden (10 mkr) klassificeras som nivå 3 i värderingshierarkin. Orsakerade värdeförändringar i nivå 3 avseende fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde har påverkat årets resultat med 5 mkr (4). Årets försäljning av fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 62 mkr (167) varav 2 mkr (8) var klassade som nivå 3 innan försäljningen. Nya fastigheter har tillkommit under året med 40 mkr (140) varav 0 mkr (0) klassats som nivå 3.

Inventarier mkr	2018	2015
Anskaffningsvärde vid ingången av året	1 654	1 399
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	360	318
Förändring genom rörelseförvärv under året	16	-
Omklassificering från annan balanspost	-	195
Avyttringar och utrangeringar	-26	-221
Valutaeffekt	-1	-37
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 003	1 684
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-1 023	-931
Akkumulerade avskrivningar genom rörelseförvärv under året	-14	-
Omklassificering från annan balanspost	-	-83
Årets avskrivningar enligt plan	-269	-253
Avyttringar och utrangeringar	23	217
Valutaeffekt	-8	27
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-1 291	-1 023
Redovisat värde	712	631

Fastigheter mkr	2018	2015
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 160	2 155
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	-	-
Förändring genom rörelseförvärv under året	54	-
Ny- och ombyggnation	60	41
Avyttringar och utrangeringar	-22	-29
Valutaeffekt	9	-7
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 261	2 160
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-891	-856
Akkumulerade avskrivningar genom rörelseförvärv under året	-17	-
Årets avskrivningar enligt plan	-35	-38
Årets nedskrivningar	0	-
Avyttringar och utrangeringar	4	4
Valutaeffekt	-1	-1
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-940	-891
Redovisat värde	1 321	1 269

K26 Övriga tillgångar

mkr	2018	2015
Fondlikvidförordningar	2 357	4 565
Övrigt	3 258	4 322
Summa	5 615	8 887

NOTER | KONCERNEN

K27 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter

mkr	2016	2015
Upplupna ränteläntäcker	3 684	3 785
Övriga upplupna intäkter	1 062	2 319
Förutbetalda kostnader	546	143
Summa	5 292	6 247

K28 Skulder till kreditinstitut

mkr	2016	2015
Skulder i svenska kronor		
Banker	29 082	16 722
Övriga kreditinstitut	7 527	8 271
Summa	36 609	24 993
Skulder i utländsk valuta		
Banker	141 529	138 194
Övriga kreditinstitut	643	583
Summa	142 172	138 777
Summa skulder till kreditinstitut	178 781	163 770
Värdvapor	-	290

Medelvolymer	2016	2015
mkr		
Skulder till kreditinstitut i svenska kronor	40 440	44 483
Skulder till kreditinstitut i utländsk valuta	221 398	295 991
Summa	261 838	281 474
Värdvapor	552	2 915

K29 In- och upplåning från allmänheten

Inlåning från allmänheten	2016	2015
mkr		
Inlåning i svenska kronor		
Hushåll	294 119	260 849
Företag	183 451	174 979
Riksgälden	-	-
Summa	477 570	435 828
Inlåning i utländsk valuta		
Hushåll	92 716	74 640
Företag	205 517	178 904
Riksgälden	-	-
Summa	298 233	253 544
Summa inlåning från allmänheten	775 803	689 372
Upplåning från allmänheten		
mkr		
Upplåning i svenska kronor	26 320	29 846
Upplåning i utländsk valuta	27 213	34 637
Summa	53 533	64 483
Värdvapor	-	-
Värdvapor/försäkringsrörelsen	8 360	8 879
Summa in- och upplåning från allmänheten	829 336	753 855

Medelvolymer	2016	2015
mkr		
Inlåning från allmänheten		
Inlåning från allmänheten i svenska kronor	480 276	417 509
Inlåning från allmänheten i utländsk valuta	293 497	293 480
Summa	783 773	710 989
Upplåning från allmänheten		
Upplåning i svenska kronor	32 535	36 511
Upplåning i svenska kronor, försäkringsrörelsen	8 587	9 425
Upplåning i utländsk valuta	189 857	250 208
Summa	230 979	296 144
Värdvapor	7 706	8 552

K30 Skulder där kunden står värdeförändringsrisken

mkr	2016	2015
Fond- och depåförsäkringskulder	114 720	101 724
Övriga fondskulder	3 697	3 501
Ej ägd andel av konsoliderade fonder	328	-
Summa	118 745	105 225

NOTER | KONCERNEN

K31 Emitterade värdepapper

mkr	2018		2018	
	Nominellt belopp	Redovisat värde	Nominellt belopp	Redovisat värde
Certifikat				
Certifikat i svenska kronor	3 409	3 701	6 371	6 594
Värav				
till upplupet enskattningvärde	-	-	400	400
för handel	3 409	3 701	5 971	6 194
Certifikat i utländsk valuta	356 665	361 868	356 682	365 002
Värav				
till upplupet enskattningvärde	354 094	359 807	355 240	363 306
för handel	1 671	2 061	1 442	1 696
Summa	360 074	365 569	363 053	371 696
Obligationsskuld				
Obligationsskuld i svenska kronor	442 500	460 004	418 572	439 281
Värav				
till upplupet enskattningvärde	442 500	460 004	418 572	439 281
för marknadsvärdesändringar	-	-	-	-
Obligationsskuld i utländsk valuta	436 519	436 192	434 221	434 490
Värav				
till upplupet enskattningvärde	436 519	436 192	434 221	434 490
för marknadsvärdesändringar	-	-	-	-
Summa	879 019	896 196	862 793	873 771
Summa emitterade värdepapper	1 239 093	1 261 765	1 215 846	1 245 367

mkr	2018	2018
Emitterade värdepapper vid årets ingång	1 245 367	1 212 613
Emitterade	1 250 093	1 142 907
Återköpta	-52 372	-72 680
Förändringar	-1 205 320	-1 043 828
Valutasäkringar m.m.	23 997	6 355
Emitterade värdepapper vid årets utgång	1 261 765	1 245 367

Modervolymer	2018	2018
mkr		
Svenska kronor	464 861	456 539
Utländsk valuta	633 146	775 075
Summa	1 298 007	1 231 614

K32 Korta positioner

mkr	2018	2018
Korta positioner värderade till verkligt värde		
Aktier	1 346	1 499
Räntebärande värdepapper	226	917
Summa	1 572	2 416

Modervolymer	2018	2018
mkr		
Svenska kronor	13 701	17 879
Utländsk valuta	312	263
Summa	14 013	18 142

K33 Försäkringsskulder

mkr	2018	2018
Skuld för sjukvård	176	235
Skuld för livsförsäkring	213	162
Skuld för andra oreglerade skador	171	196
Skuld för förbetalda premier	14	14
Summa	574	607

NOTER | KONCERNEN

K34 Skatter

Uppskjutna skattefordringar mkr	2016	2015
Säkringsinstrument	238	206
Immateriella tillgångar	4	7
Fastigheter och inventarier	13	20
Pensioner	646	1 252
Övrigt	61	4
Summa	962	1 489

Uppskjutna skattekulder mkr	2016	2015
Utlåning till allmänheten ¹	5 685	6 116
Säkringsinstrument	1 717	2 408
Immateriella tillgångar	258	72
Fastigheter och inventarier	28	21
Pensioner	-	-
Övrigt	117	157
Summa	7 805	8 844

Netto uppskjutna skattekulder	6 913	7 365

Förändring av uppskjutna skatter 2016 mkr	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valutaeffekt	Utgående balans
Utlåning till allmänheten ¹	6 116	-431	-	-	5 685
Säkringsinstrument	2 202	-1	-723	1	1 479
Immateriella tillgångar	65	59	127	3	254
Fastigheter och inventarier	71	7	7	-	85
Pensioner	-1 252	-290	876	20	-646
Övrigt	153	-94	-9	6	56
Summa	7 366	-760	278	30	6 913

Förändring av uppskjutna skatter 2015 mkr	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valutaeffekt	Utgående balans
Utlåning till allmänheten ¹	6 471	-355	-	-	6 116
Säkringsinstrument	2 393	6	-197	-	2 202
Immateriella tillgångar	68	-6	0	3	65
Fastigheter och inventarier	58	12	1	-	71
Pensioner	-370	-189	-688	-5	-1 252
Övrigt	200	-48	0	1	153
Summa	8 820	-580	-884	-1	7 365

Redovisade skattekostnader i resultaträkningen mkr	2016	2015
Aktuell skatt		
Årets skattekostnad	-4 922	-4 820
Justering av skatt hänförlig till tidigare år	-229	-37
Uppskjuten skatt		
Förändringar i temporära skillnader	750	580
Summa	-4 401	-4 277

Nominal skattesats i Sverige, %	22,0	22,0
Avvikelser		
Annan skattesats i försäkringsprövning	-0,6	-0,6
Bj skattepliktiga intäkter o/ av dragsgilla kostnader	-1,2	-0,7
Skatt avseende tidigare år	1,1	0,2
Effektiv skattesats, %	21,3	20,9

¹ Varav leasing 5 686 mkr (6 116).

NOTER | KONCERNEN

K35 Avsättningar

mkr	Avsättning för omstrukturering	Avsättning för garantifraganden	Övriga avsättningar	Summa 2016	Summa 2015
Avsättningar vid årets ingång	-	40	73	113	68
Avsatt under året	700	37	83	820	45
Anspråktaget	-197	-	-2	-199	-
Åsatt	-	-	-3	-3	-
Avsättningar vid årets utgång	603	77	151	731	113

Avsättningen för omstruktureringsskostnader avser främst kostnader för förtida pensioneringar. Merparten av det resterande avsättningsbeloppet förväntas regleras under 2017. Avsättning för garantifraganden består av avsättningar för ett antal poster utanför balansräkningen.

Under Övriga avsättningar redovisas de belopp som avsatts för reglering av de anspråk som rikts mot bolag inom koncernen.

K36 Övriga skulder

mkr	2016	2015
Fondlikvidskulder	2 533	6 524
Övrigt	6 894	7 682
Summa	9 427	14 206

K37 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter

mkr	2016	2015
Upplupna räntekostnader	11 525	12 148
Övriga upplupna kostnader	1 801	4 302
Förutbetalda intäkter	1 254	1 135
Summa	14 680	17 685

K38 Efterställda skulder

mkr	2016	2015
Förstagslån i svenska kronor	8 230	10 519
Förstagslån i utländsk valuta	25 170	23 697
Summa	33 400	34 216

Modellvolym

mkr	2016	2015
Förstagslån i svenska kronor	9 284	10 510
Förstagslån i utländsk valuta	24 323	28 144
Summa	33 607	38 654

Specification, förlagslån		Ursprungligt nominellt belopp av		
Emissionsår/förfall	Valuta	respektive valuta	Räntesats, %	Utsattande belopp
I SVENSKA KRONOR				
Svenska förlagslån ¹		10 825		8 230
Summa				8 230
I UTLÄNDSK VALUTA				
2014/lådsbunden ²	EUR	1 500	2,656	14 355
2015/evigt ³	USD	1 200	5,250	10 815
Summa				25 170
Summa offentliggjorda skulder				33 400

¹ Svenska förstagslån understödd av ett och ett för sig 10% av de totala efterställda skulderna. I summan ingår ett evigt förstagslån till rörlig ränta, vilket är ett konvertibelt förstagslån på nominellt 3,2 mkr riktat till koncernens anställda på marknadsmissiv villkor. Lånet har ingen status som regleringsmässigt kapital men kan omvandlas till Handelsbankens aktier. Banken har rätt att begära konvertering när som helst och innehavaren har rätt att begära konvertering mellan den 1 maj och den 30 november 2019 till den justerade konverteringskursen 114,40 kr. Den initiala konverteringskursen har justerats för utdelningar och aktiesplit under löptiden. Om kärnprimärkapitalkalkulationen för banken eller beräknad enligt den konsoliderade situationen faller under 7% sker automatisk konvertering. För uppgifter om avseende övriga svenska förstagslån, se not K51.

² För ytterligare uppgifter om förstagslån i EUR, se not K51.

³ För ytterligare uppgifter om förstagslån i USD, se not K51.

NOTER | KONCERNEN

K39 Klasificering av finansiella tillgångar och skulder

2016	Värderat till verkligt värde i RR uppdelat på		Derivat identifierat som säkringsinstrument	Investeringar som hålls till förfall	Lån och andra fordringar	Finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning	Övriga finansiella skulder	Summa redovisat värde	Verkligt värde
mkr	Innehav för handel	Övrigt ¹							
Tillgångar									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					199 362			199 362	199 362
Övrig utlåning till centralbanker					25 527			25 527	25 527
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	13 000	89 458				7 47		97 205	97 205
Utlåning till övriga kreditinstitut					31 347			31 347	31 148
Utlåning till allmänheten		925			1 952 696			1 953 622	1 978 894
Värdeförändring på ränteskrädd post i portföljsäkring					35			35	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	22 328	36 117				5 464		63 909	63 909
Aktier och andelar	17 727	1 067				1 618		20 412	20 412
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken		118 588			58			118 646	118 646
Derivatinstrument	19 742		62 891					82 633	82 633
Övriga tillgångar	32				5 584			5 616	5 616
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	170	520			5 528	4		6 222	6 222
Summa finansiella tillgångar	72 999	240 676	62 891		2 290 137	7 833		2 614 636	2 629 514
Andelar i intresseföretag								255	
Övriga icke finansiella tillgångar								12 789	
Summa tillgångar								2 627 680	
Skulder									
Skulder till kreditinstitut							178 781	178 781	180 648
In- och upplåning från allmänheten							829 336	829 336	829 303
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		118 687					58	118 745	118 745
Emitterade värdepapper	5 763						1 256 002	1 261 765	1 280 523
Derivatinstrument	23 272		8 466				31 738	31 738	31 738
Korta positioner	1 572						1 572	1 572	1 572
Övriga skulder	21						9 407	9 428	9 428
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	2						14 578	14 580	14 580
Etablerade skulder							33 400	33 400	35 330
Summa finansiella skulder	30 630	118 687	8 468				2 321 662	2 470 345	2 501 867
Övriga icke finansiella skulder								11 854	
Summa skulder								2 482 199	

¹ Klassificerats utifrån värde till verkligt värde.

NOTER | KONCERNEN

2016	Värderat till verkligt värde i FR uppdelat på		Derivat identifierat som säkringsinstrument	Investeringar som hålls till förfall	Lån och andra fordringar	Finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning	Övriga finansiella skulder	Summa redovisat värde	Verkligt värde
	Innehav för handel	Övrigt ¹							
Tillgångar									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					202 630			202 630	202 630
Övrig utlåning till centralbanker					34 118			34 118	34 118
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	33 286	30 717		752	0	1 022		74 777	74 777
Utlåning till övriga kreditinstitut					40 656			40 656	40 445
Utlåning till allmänheten		1 619			1 864 848			1 866 467	1 878 810
Värdeförändring på räntesäkrad post i portföljsäkling					27			27	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	7 788	32 996		250		3 479		44 513	44 513
Aktier och andelar	22 757	1 040				6 581		30 387	30 387
Tillgångar där kunden står värdeförändringssken		105 077			69			105 146	105 146
Derivatinstrument	30 997		54 350					85 347	85 347
Övriga tillgångar	10				8 877			8 887	8 887
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	211	642			5 392	2		6 247	6 247
Summa finansiella tillgångar	95 040	181 100	54 350	1 002	2 185 617	11 084		2 508 292	2 520 307
Andelar i intressaförslag								245	
Övriga icke finansiella tillgångar								13 686	
Summa tillgångar								2 522 133	
Skulder									
Skulder till kreditinstitut							163 770	163 770	165 587
In- och upplåning från allmänheten							753 855	753 855	753 825
Skulder där kunden står värdeförändringssken		105 156					69	105 225	105 225
Emitterade värdepapper	7 890						1 237 477	1 245 367	1 267 460
Derivatinstrument	31 628		8 899					40 592	40 592
Korta positioner	2 416							2 416	2 416
Övriga skulder	16						14 190	14 206	14 206
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	6						17 579	17 585	17 585
Efterbetalda skulder							34 216	34 216	37 191
Summa finansiella skulder	42 021	105 156	8 899				2 221 156	2 377 232	2 404 087
Övriga icke finansiella skulder								16 633	
Summa skulder								2 393 865	

¹ Klassificerats att värderas till verkligt värde.

Omklassificerade finansiella tillgångar	2016		2016	
	Omklassificerat från innehav för handel (trading)	Omklassificerat från tillgängligt för försäljning	Omklassificerat från innehav för handel (trading)	Omklassificerat från tillgängligt för försäljning
Redovisat värde	10	1 230	11	4 092
Verkligt värde	10	1 209	11	4 078
Redovisad värdeförändring i resultaträkningen	-	0	-	11
Redovisad värdeförändring i övrigt totalresultat	1	94	1	109
Värdeförändring som skulle redovisats i resultaträkningen om tillgångarna inte hade klassificerats om	0	0	-1	11
Värdeförändring som skulle redovisats i övrigt totalresultat om tillgångarna inte hade klassificerats om	-	5	-	12
Intäktstörd ränta	0	41	0	49

Samtliga innehav presenterade ovan omklassificerades till lån den 1 juli 2008.

NOTER | KONCERNEN

K40 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2016				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m				
Innehav för handel	12 927	73	-	13 000
Klassificerade att värderas till verkligt värde	81 837	1 621	-	83 458
Tillgängliga för försäljning	747	-	-	747
Utlåning till allmänheten	-	909	17	926
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Innehav för handel	21 610	718	-	22 328
Klassificerade att värderas till verkligt värde	34 996	1 121	-	36 117
Tillgängliga för försäljning	4 908	556	-	5 464
Aktier och andelar				
Innehav för handel	10 723	7 004	-	17 727
Klassificerade att värderas till verkligt värde	805	-	262	1 067
Tillgängliga för försäljning	-	43	1 575	1 618
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	117 826	-	762	118 588
Derivatinstrument	408	82 225	-	82 633
Summa	288 787	94 270	2 816	385 873
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	117 925	-	762	118 687
Emitterade värdepapper	-	5 763	-	5 763
Derivatinstrument	443	31 295	-	31 738
Korta positioner	1 097	475	-	1 572
Summa	119 465	37 533	762	157 760

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2015				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m				
Innehav för handel	33 284	2	-	33 286
Klassificerade att värderas till verkligt värde	37 875	1 842	-	39 717
Tillgängliga för försäljning	1 022	-	-	1 022
Utlåning till allmänheten	-	1 609	10	1 619
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Innehav för handel	6 027	1 761	-	7 788
Klassificerade att värderas till verkligt värde	31 988	1 008	-	32 996
Tillgängliga för försäljning	3 479	-	-	3 479
Aktier och andelar				
Innehav för handel	18 964	3 799	-	22 763
Klassificerade att värderas till verkligt värde	667	-	382	1 049
Tillgängliga för försäljning	4 666	1 014	901	6 581
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	104 345	-	732	105 077
Derivatinstrument	275	85 072	-	85 347
Summa	242 662	98 101	2 025	342 788
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	104 424	-	732	105 156
Emitterade värdepapper	-	7 890	-	7 890
Derivatinstrument	786	39 806	-	40 592
Korta positioner	2 036	318	-	2 354
Summa	107 246	48 014	732	156 000

NOTER | KONCERNEN

Värderingshierarkin

Finansiella instrument värderade till verkligt värde har i tabellerna kategoriserats med avseende på hur de värderats och graden av marknadsdata som använts vid värderingen. Kategoriseringen framgår som nivå 1–3 i tabellerna. Finansiella instrument som värderas till aktuellt marknadspris kategoriseras som nivå 1. Dessa finansiella instrument består främst av statspapper och andra räntebärande värdepapper som handlas aktivt, noterade aktier samt korta positioner i motsvarande tillgångar. I nivå 1 ingår även merparten av de fondandelar och andra tillgångar som är kopplade till fondförsäkringskontrakt och liknande avtal samt motsvarande skulder. Finansiella instrument som värderas med värderingsmodeller som i allt väsentligt bygger på marknadsdata kategoriseras som nivå 2. I nivå 2 ingår främst räntebärande värdepapper samt ränte- och valutarelaterade derivat. Finansiella instrument vars värdering i väsentlig utsträckning påverkas av data som inte går att verifiera med externa marknadsuppgifter kategoriseras som nivå 3.

Som grund för indelningen ligger den värderingsmetod som använts på balansdagen. Om kategorin för ett specifikt instrument har förändrats i jämförelse med föregående balansdag (2015-12-31) har instrumentet flyttat mellan nivåerna i tabellen. Under räkenskapsåret har vissa volymer flyttats mellan nivå 1 och nivå 2 till

följd av en ny bedömning av marknadsaktiviteten. På tillgångssidan har räntebärande värdepapper till ett värde av 835 mkr flyttats från nivå 2 till nivå 1. På skuldsidan har derivat till ett värde av 190 mkr flyttats från nivå 1 till nivå 2 och derivat till ett värde av 265 mkr flyttats från nivå 2 till nivå 1. Årets förändringar av innehav i nivå 3 redovisas i en separat tabell.

Innehav i nivå 3 består främst av onoterade aktier och innehav i riskkapitalfonder. Innehav i riskkapitalfonder värderas med värderingsmodeller som huvudsakligen bygger på relativvärdering av jämförbara noterade företag i samma bransch. Det resultatmått som jämförelsen bygger på justeras för faktorer som stör jämförelsen mellan investeringen och jämförelsebolaget. Därefter beräknas värdet på basis av vinstmultiplar, exempelvis P/E-tal. Merparten av dessa innehav utgör placeringsstillgångar i koncernens försäkringsrörelse. Värdeförändringar på placeringsstillgångarna ingår i underlaget för beräkning av avkastningsdelning i försäkringsrörelsen och redovisas därmed inte direkt i resultaträkningen.

Koncernens innehav av onoterade aktier består till övervägande del av bankens andelar av olika typer av gemensamägd verksamhet med anknytning till bankens affär. Det kan exempelvis röra sig om andelar i clearing-organisationer och infrastruktursamarbeten på Handelsbankens hemmamarknader. Sådana

innehav värderas i regel till bankens andel av substansvärdet i bolaget, alternativt till det pris den senaste transaktionen genomfördes till. Onoterade aktier är i allt väsentligt klassificerade som tillgängliga för försäljning. Värdeförändringar på dessa innehav redovisas därmed i övrigt totalresultat.

Årets realiserade värdeförändringar på finansiella instrument i nivå 3 uppgår till 65 miljoner kronor (-179), varav 70 miljoner kronor (-186) ingår i underlaget för beräkning av avkastningsdelning i försäkringsrörelsen. Resterande belopp har redovisats i nettoresultat av finansiella transaktioner.

Skilnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell

Som framgår av redovisningsprinciperna i not K1 periodiseras väsentliga positiva skilnader mellan det värde som räknats fram vid det första redovisningstillfället och transaktionspriset (så kallat dag 1-resultat) vid modellvärdering av derivat. Principen innebär att en periodiserings-effekt om 143 miljoner kronor (126) redovisats i nettoresultat av finansiella transaktioner under året. Vid utgången av året uppgick sammanlagda ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 585 miljoner kronor (539).

Förändring av innehav i nivå 3 2016

mkr	Aktier och andelar	Derivat, nettoposition	Utlåning till allmänheten	Tillgångar där kunden står värdeförändringseken	Skulder där kunden står värdeförändringseken	Emitterade värdepapper
Redovisat värde vid årets ingång	1 283	-	10	732	-732	-
Nyanskaffningar	14	-	-	-	-	-
Återköp/avyttrat	-90	-	-	-	-	-
Förfallat	-	-	-2	-	-	-
Realiserad värdeförändring i resultaträkningen	-55	-	-	30	-30	-
Realiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	685	-	1	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	-	8	-	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	-	-	-	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	1 837	-	17	762	-762	-

Förändring av innehav i nivå 3 2015

mkr	Aktier och andelar	Derivat, nettoposition	Utlåning till allmänheten	Tillgångar där kunden står värdeförändringseken	Skulder där kunden står värdeförändringseken	Emitterade värdepapper
Redovisat värde vid årets ingång	1 405	-	13	698	-698	-94
Nyanskaffningar	57	-	-	-	-	94
Återköp/avyttrat	-142	-	-	-	-	-
Förfallat	-	-	-5	-	-	-
Realiserad värdeförändring i resultaträkningen	-116	-	-	34	-34	-
Realiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	82	-	-	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	-	2	-	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-3	-	-	-	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	1 283	-	10	732	-732	-

NOTER | KONCERNEN

K40 Forts

Principer för upplysningar om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till anskaffningsvärde eller upplupet anskaffningsvärde

Upplysningar om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till anskaffningsvärde eller upplupet anskaffningsvärde lämnas i not K39 och i tabellen nedan. Dessa instrument består i allt väsentligt av utlåning samt in- och upplåning. För betalningsmedel samt kortfristiga fordringar och skulder har det redovisade värdet bedömts vara en godtagbar estimering av det verkliga värdet. Fordringar och skulder med förfallodag alternativt tidpunkt för näst-

kommande ränteomsättning som infaller inom 30 dagar, har definierats som kortfristiga.

Värderingen av utlåning till fast ränta baseras på aktuell marknadsränta med justering för antagande om marknadsmässig kredit- och likviditetsriskpremie. Premien har antagits vara lika med genomsnittlig marginal för nyutlåning vid måttidpunkten. Räntebärande värdepapper har värderats till aktuellt marknadspris i den mån ett sådant funnits tillgängligt. Upplåning samt räntebärande värdepapper för vilka marknadsprisinformation inte funnits har värderats med en värderingsmodell som bygger på marknadsdata i form av priser eller räntor för liknande instrument.

I tabellen har den värdering som ligger till grund för uppgifterna om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till anskaffningsvärde eller upplupet anskaffningsvärde kategoriserats i den värderingshierarki som beskrivits ovan.

Betalningsmedel samt inlåning har likställts med kontanter och kategoriserats som nivå 1. I nivå 1 redovisas även räntebärande värdepapper (tillgångar och skulder) för vilka det finns ett aktuellt marknadspris. Utlåning för vilken antagandet om kredit- och likviditetspremie väsentligt påverkat upplysningen om verkligt värde har kategoriserats som nivå 3. Övriga instrument är kategoriserade som nivå 2.

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till anskaffningsvärde eller upplupet anskaffningsvärde 2016				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	199 362	-	-	199 362
Övrig utlåning till centralbanker	20 269	5 258	-	25 527
Betalningsbara statsskuldförbindelser m.m.	-	-	-	-
Utlåning till övriga kreditinstitut	11 927	18 228	993	31 148
Utlåning till allmänheten	1 310	12 230	1 964 368	1 977 908
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	-	-	-	-
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	-	58	-	58
Summa	232 868	35 774	1 065 361	2 234 003
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	110 885	69 763	-	180 648
In- och upplåning från allmänheten	771 416	57 887	-	829 303
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	-	58	-	58
Emitterade värdepapper	765 371	509 390	-	1 274 761
Efterställda skulder	-	35 330	-	35 330
Summa	1 647 672	672 428	-	2 320 100

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till anskaffningsvärde eller upplupet anskaffningsvärde 2015				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	202 630	-	-	202 630
Övrig utlåning till centralbanker	15 653	18 465	-	34 118
Betalningsbara statsskuldförbindelser m.m.	752	-	-	752
Utlåning till övriga kreditinstitut	14 852	33 452	1 141	49 445
Utlåning till allmänheten	6 981	1 828	1 868 382	1 877 191
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	250	-	-	250
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	-	69	-	69
Summa	241 118	53 814	1 869 623	2 164 455
Skulder				
Skulder till kreditinstitut	57 422	108 165	-	165 587
In- och upplåning från allmänheten	688 286	65 539	-	753 825
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	-	69	-	69
Emitterade värdepapper	706 337	553 233	-	1 259 570
Efterställda skulder	-	37 191	-	37 191
Summa	1 452 045	764 197	-	2 216 242

K41 Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar

För egna skulder ställda säkerheter mkr	2018	2016
Kontanter	17 411	22 017
Statspapper och obligationer	33 561	25 920
Utlåning till allmänheten	662 920	617 726
Aktier	1 003	933
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	114 771	102 382
Övrigt	10 316	10 856
Summa	830 982	770 834
Varav pantar som fritt kan återkallas av banken	20 145	17 672

Övriga ställda säkerheter mkr	2018	2016
Kontanter	457	953
Statspapper och obligationer	23 486	18 609
Utlåning till allmänheten	3 788	3 820
Aktier	5 644	10 196
Övrigt	0	-
Summa	33 375	33 488
Varav pantar som fritt kan återkallas av banken	27 136	22 345

Med Övriga ställda säkerheter avses säkerheter som ställs för förpliktelser som ej redovisas i balansräkningen.

Ställda säkerheter

Ställda säkerheter i form av räntebärande värdepapper består i huvudsak av värdepapper som ställs som säkerhet i centralbanker och andra kreditinstitut, för betalningssystem, värdepappershandel och clearing samt värdepapper som sålts under bindande återköpsavtal (repör). Ställda säkerheter i form av aktier består av utlånade aktier och aktier i försäkringsrörelsen.

Utlåning till allmänheten som ställs som säkerhet utgörs till största delen av den registrerade säkerhetsmassan till förmån för innehavare av säkerställda obligationer emitterade av Stadshypotek. Säkerhetsmassan består av hypotekslån som lämnats mot pant i huvudsakligen småhus, fritidshus, flerbostadshus och bostadsrätter med belåningsgrad inom 75 procent av marknadsvärdet. I händelse av bolagets obestånd har innehavarna av de säkerställda obligationerna förmånsrätt enligt lagen om säkerställda obligationer och förmånsrättslagen i de pantförskrivna tillgångarna. Om tillgångarna i säkerhetsmassan vid tiden för ett konkursbeslut uppfyller de villkor som uppställts i lagen ska de hållas åtskilda från konkursboets övriga tillgångar och skulder. Innehavarna av obligationerna erhåller då fortsatt kontraktseftliga betalningar enligt obligationsvillkoren fram till förfall.

Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken består i huvudsak av fondandelar under fondförsäkringsavtal i Handelsbanken Liv i vilka försäkringstagarna har förmånsrätt.

Mottagna säkerheter

Vid omvända återköpsavtal och aktielån mottas värdepapper som kan säljas eller pantsättas vidare till tredje part. Sådana värdepapper redovisas inte i balansräkningen. Det verkliga värdet av mottagna värdepapper under omvända återköpsavtal och avtal om aktielån uppgick till 19 976 miljoner kronor (24 327) vid räkenskapsårets slut, varav säkerheter till ett värde av 5 519 miljoner kronor (8 933) sålts eller pantsatts vidare. Information om mottagna pantar för utlåning och andra mottagna säkerheter framgår av not K2.

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen

Överförda finansiella tillgångar är tillgångar för vilka rätten till framtida kassaflöden direkt eller indirekt överförs till en extern motpart. Merparten av de överförda finansiella tillgångar som redovisas i balansräkningen består av räntebärande värdepapper som sålts under bindande återköpsavtal samt utlånade aktier. I normalfallet regleras villkoren för bindande återköp och aktielån i ramavtal som ingåtts mellan banken och respektive motpart.

Bindande återköpsavtal innebär försäljning av ett värdepapper med förbindelse om återköp till ett fastställt pris vid en förutbestämd framtida tidpunkt. Säljaren av värdepappret är därmed fortsatt exponerad för risken för värdeförändringar under avtalets löptid. Sålida värdepapper under återköpsavtal kvarstår till marknadsvärde i balansräkningen under avtalets löptid.

Mottagen köpeskilling redovisas som skuld till motparten. Enligt standardvillkoren i återköpsavtal övergår äganderätten till det sålda värdepappret helt från säljare till köpare, vilket innebär att köparen har rätt att vidareföra, återpantsätta eller på annat sätt förfoga över de köpta värdepappren.

Enligt standardavtalen för aktielån kvarstår exponeringen för värdeförändring i den utlånade aktien hos långivaren. Utlånade aktier kvarstår därmed i balansräkningen under lånets löptid. Säkerheter för utlånade aktier utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper. Mottagen kontantsäkerhet redovisas som skuld i balansräkningen. På samma sätt som för återköpsavtal innebär det standardavtal som används för aktielån att låntagaren under lånets löptid har rätt att vidareföra, återpantsätta eller på annat sätt förfoga över de lånade aktierna.

Som övriga överförda finansiella tillgångar redovisas statspapper, obligationer och aktier som ställs som säkerhet för värdepappershandel, clearing med mera och där förfoganderätten över värdepappret övergått till mottagaren. Som överförda finansiella tillgångar redovisas även vissa tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken. Posten består av portföljer av finansiella instrument till vilka banken har formell äganderätt, men där de risker som är förknippade med tillgångarna liksom rätten till framtida kassaflöden överförs till en tredje part. Värderingen av dessa tillgångar speglar värderingen av den motsvarande skuldposten.

NOTER | KONCERNEN

K41 Forts

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen	2016		2015	
	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld
<i>mk</i>				
Aktier värdepappersutlåning	6 002	340 ¹	220	83 ¹
Aktier, övrigt	-	-	10 195	-
Statspapper och obligationer, repon	928	2	290	290
Statspapper och obligationer, övrigt	710	-	-	-
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	824	824	1 162	1 162
Summa	8 464	1 166	11 868	1 535

¹ Mottagen kontantsäkerhet.

K42 Eventualförpliktelser

<i>mk</i>	2016	2015
Garantförbindelser, krediter	9 543	9 750
Garantförbindelser, övriga	63 108	61 274
Obligatoriska rembours	4 237	4 287
Övrigt	1 542	2 145
Summa	78 830	77 457

Ansvarsförbindelser

Ansvarsförbindelserna består i huvudsak av olika typer av garantförbindelser. Kreditgarantier ges till kunder för att garantera åtaganden i andra kredit- och pensionsinrätt. Övriga garantier utgörs främst av kommersiella garantier såsom anbudsgarantier, garantier avseende försäkringsbetalningar, garantier under ansvartiden och exportrelaterade garantier. Ansvarsförbindelser omfattar också outnyttjade obliigatoriska importrembours och bekräftade exportrembours. Dessa transaktioner ingår i bankens tjänster och är till stöd för bankens kunder. I tabellen anges garantiernas nominella belopp.

Tvister

Belag inom koncernen är föremål för krav i ett antal tvistemål som drivs i allmän domstol. Bedömning är att tvistemålen i allt väsentligt kommer att uttala till vår fördel. Tvistebeloppen bedöms inte kunna få en väsentlig inverkan på koncernens ställning eller resultat.

K43 Övriga åtaganden

<i>mk</i>	2016	2015
Kreditförläning	272 729	267 200
Outnyttjad del av beviljade räkningskrediter	128 967	129 216
Övrigt	23 571	24 441
Summa	425 267	420 857

Avtalade, ej upplågbare, framtida operationella leasingavgifter fördelade på förfallotidpunkter

<i>mk</i>	2016	2015
Inom 1 år	781	774
Mellan 1 och 5 år	2 031	2 172
Senare än 5 år	1 128	1 250
Summa	3 940	4 196

Operational leasing är främst hänförlig till för verksamheten normala avtal avseende kontorlokaler och kontorsutrustning.

NOTER | KONCERNEN

K44 Leasing

Uppgift om bruttoinvestering och nuvärdet av fordran avseende framtida minimileasavgifter mkr	2018	2016
Bruttoinvestering	35 411	37 180
Nuvärdet av fordran avseende framtida minimileasavgifter per balansdagen	35 008	35 985

Fördelning av bruttoinvestering och minimileasavgifter på förtäktstidpunkter mkr	Inom 1 år	Mellan 1 och 5 år	Senare än 5 år	Summa
2018				
Fördelning av bruttoinvestering	3 823	16 322	15 266	35 411
Fördelning av nuvärdet av framtida minimileasavgifter	3 810	16 113	15 085	35 008
2016				
Fördelning av bruttoinvestering	4 379	16 442	16 359	37 180
Fördelning av nuvärdet av framtida minimileasavgifter	4 360	16 198	15 427	35 985

Ej intjänade finansiella intäkter mkr	2018	2016
Ej intjänade finansiella intäkter	403	1 195

I samtliga finansiella leasingavtal är koncernen leasegivare. Samtliga leasingavtal har garanterade restvärden. Bokförd reserv för osäkra fordringar avseende minimileasavgifter uppgår till 0 mkr (0,2). Den variabla delen av leasingintäkter som ingår i årets resultat uppgår till 89 mkr (151). Minskningen beror på det låga ränteläget samt lägre volymer.

Vid utgången av året fanns i koncernen fem leasingengagemang som varit och ett enskilt hade ett redovisat värde överstigande 1 mkr. Engagemangen riktar sig mot branscherna transport och energi.

NOTER | KONCERNEN

K45 Segmentinformation

mkr	Hemmamarknader							Justeringar och eliminerings		Kvarvarande verksamhet
	Sverige	Storbritannien	Danmark	Finland	Norge	Nederländerna	Capital Markets	Övrigt		
Räntanetto	15 519	4 414	1 686	1 218	3 355	438	557	756		27 943
Provisionsnetto	4 233	519	379	419	381	75	3 081	69		9 156
Nettoreultat av finansiella transaktioner	725	219	75	87	114	5	984	857		3 066
Ränteresultat försäkring							142			142
Andelar i intresseföretags resultat						2		23		25
Övriga intäkter	47	3	15	10	81	1	8	256		431
Summa intäkter	20 524	5 155	2 156	1 734	3 931	521	4 772	1 071		40 783
Personalkostnader	-3 671	-1 849	-655	-380	-676	-210	-2 368	-2 335	-398	-12 542
Övriga kostnader	-1 153	-463	-194	-210	-206	-60	-871	-2 244		-5 401
Internt köpta och sålda tjänster	-2 645	-545	-287	-239	-379	-77	-56	4 228		
Av- och nadsbetygningar av materiella och immateriella tillgångar	-67	-46	-14	-14	-8	-7	-76	-248	-15	-495
Summa kostnader	-7 536	-2 903	-1 150	-843	-1 269	-364	-3 371	-969	-413	-18 438
Resultat före kreditförluster	12 988	2 252	1 006	891	2 662	167	1 401	1 372	-413	22 325
Kreditförluster, netto	-416	-160	-716	-36	-347	0	-49			-1 724
Vinstförluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	0	2	7	0	0	-	0	23		32
Rörelseresultat	12 572	2 094	268	855	2 315	167	1 352	1 395	-413	20 633
Resultatutdelning	997	35	85	131	91	3	-1 342	-		
Rörelseresultat efter resultatutdelning	13 569	2 129	353	986	2 406	170	10	1 395	-413	20 633
Interna intäkter ¹	116	-1 195	-334	-262	-2 463	-210	-2 851	7 199		
KPI-fot, %	35,0	55,9	51,3	45,2	31,6	67,6	98,3			45,2
Kreditförlustnivå, %	0,03	0,08	0,85	0,03	0,17	0,00	0,10			0,09
Tillgångar	1 572 446	316 732	108 299	178 132	246 940	35 293	279 905	1 810 638	-1 920 805	2 627 580
Skulder	1 494 646	305 306	102 078	171 880	231 057	34 042	274 872	1 810 638	-1 933 320	2 491 199
Allokerat kapital	77 800	11 426	6 221	6 252	15 883	1 251	5 033		12 515	136 381
Räntabilitet på allokerat kapital, %	14,7	15,4	4,8	13,0	13,3	12,5	0,2			13,1
Årets investeringar i icke-finansiella anläggningstillgångar	66	155	4	20	17	13	295	403		973
Årets investeringar i intresseföretag								19		19
Medelantal anställda	4 293	1 959	624	491	668	206	1 678	1 840		11 759

¹ Interna intäkter som ingår i summa intäkter består av intäkter från transaktioner med andra rörelsesegment. Eftersom räntaresultat och räntekostnader redovisas netto som en intäkt innebär det att interna intäkter bland annat innehåller nettot av intern finansieringskostnad mellan segmenten.

Rörelsesegmenten redovisas i enlighet med IFRS 8 Rörelsesegment, vilket innebär att segmentinformationen presenteras på motsvarande sätt som tillämpas internt i styrelsessyfte. Handelsbankens verksamhet presenteras uppdelat på segmenten Sverige, Storbritannien, Danmark, Finland, Norge och Nederländerna samt Capital Markets. Kontorsrörelsen i Handelsbanken, vars verksamhet består av att tillhandahålla ett fullsortiment av banktjänster, var under 2016 uppdelad i fjorton regionbanker, varav fem stycken svenska och nio stycken belägna utanför Sverige. Varje regionbank styrs av en regionbankschef och följs upp som en fristående resultatenheter. Segmentet Capital Markets är bankens investmentbank vilket bland annat inbegriper värdepappershandel

och investeringsrådgivning. I verksamheten ingår även kapitalförvaltning, försäkringsverksamhet samt bankens internationella verksamhet utanför hemmamarknaderna.

Segmentens resultat visas före och efter intern resultatutdelning. Den interna resultatutdelningen innebär att kundansvarig enhet tilldelas allt resultat som härrör från dess kunders transaktioner med banken oavsett inom vilket segment transaktionen är genomförd. Dessutom redovisas intäkter och kostnader för internt utförda tjänster netto på raden internt köpta och sålda tjänster. Transaktioner mellan segmenten redovisas huvudsakligen enligt självkostnadsprincipen. I kolumnerna Övrigt samt Justeringar och eliminerings visas poster som inte hör till något specifikt segment eller eliminerar på

koncernnivå. I kolumnen Övrigt ingår finansförvaltning och centrala stabssavdelningar samt kostnaden för avsättningen till Oktogonen som uppgår till 0 miljoner kronor (858). I kolumnen Justeringar och eliminerings redovisas bland annat justeringar för personalkostnader. I justeringar för personalkostnader ingår skillnaden mellan koncernens pensionskostnader beräknade enligt IAS 19 Ersättningar till anställda och lokalt beräknade pensionskostnader.

Interna intäkter består främst av interna räntor och provisioner. I segmentens resultaträkningar ingår dessutom interna poster i form av ersättningar för interna tjänster. Interndebitering sker huvudsakligen enligt självkostnadsprincipen. I kontorsrörelsen består tillgångarna till största delen av utlåning till allmänheten och skulderna

NOTER | KONCERNEN

Segmentinformation 2015	Hemmarknader							Justeringar och elimineringar		Kvarvarande verksamhet
	Sverige	Storbritannien	Danmark	Finland	Norge	Nederländerna	Capital Markets			
mkr								Övrigt		
Räntenetto	15 278	4 570	1 678	1 361	3 248	328	641	636		27 740
Provisionsnetto	4 619	452	436	387	395	23	2 972	36		9 320
Nettoreultat av finansiella transaktioner	383	194	77	60	94	5	1 226	569		2 608
Risikoresultat försäkring							157			157
Andelar i intresseföretags resultat								17		17
Övriga intäkter	61	7	17	23	31	-	10	345		494
Summa intäkter	20 341	5 223	2 208	1 831	3 768	356	6 008	1 608		40 336
Personalkostnader	-3 620	-1 870	-629	-369	-713	-158	-2 447	-2 651	-124	-12 581
Övriga kostnader	-1 163	-429	-178	-161	-207	-37	-857	-2 171		-5 203
Internt köpta och sålda tjänster	-2 595	-455	-279	-247	-370	-84	-86	4 116		
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-88	-30	-15	-11	-13	-3	-79	-248		-487
Summa kostnader	-7 466	-2 784	-1 101	-788	-1 303	-282	-3 469	-964	-124	-18 271
Resultat före kreditförluster	12 875	2 439	1 107	1 043	2 465	74	1 537	640	-124	22 065
Kreditförluster, netto	-763	-224	-299	-83	-222	-2	-4			-1 597
Vinstskriftslustar vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	-2	-12	8	0	6	-	0	7		7
Rörelseresultat	12 110	2 203	816	960	2 249	72	1 533	656	-124	20 475
Resultatutdelning	935	34	72	110	57	0	-1 209	1		
Rörelseresultat efter resultatutdelning	13 045	2 237	888	1 070	2 306	72	324	657	-124	20 475
Interna intäkter ¹	46	-1 481	-295	-367	-2 805	-175	-2 347	7 424		
Kr-fal, %	35,1	53,0	48,3	40,6	34,1	79,2	91,4			45,3
Kreditförlustnivå, %	0,07	0,13	0,37	0,07	0,11	0,01	0,01			0,09
Tillgångar	1 488 781	302 077	94 037	168 403	211 360	24 514	284 166	1 777 015	-1 828 220	2 522 133
Skulder	1 416 887	291 625	87 818	162 217	198 394	23 663	278 495	1 777 015	-1 842 240	2 393 865
Allokerat kapital	71 894	10 452	6 219	6 186	12 966	851	5 671		14 029	128 268
Räntabilitet på allokerat kapital, %	14,7	16,8	11,2	13,8	13,6	6,4	4,5			13,4
Årets investeringar i icke-finansiella anläggningstillgångar	59	364	3	27	20	17	273	246		1 009
Årets investeringar i intresseföretag								10		10
Medelantal anställda	4 468	1 794	631	496	676	159	1 766	1 829		11 819

¹ Interna intäkter som ingår i summa intäkter består av intäkter från transaktioner med andra rörelsesegment. Eftersom räntaintäkter och räntekostnader redovisas netto som en intäkt innebär det att interna intäkter bland annat innehåller nettot av intern finansieringskostnad mellan segmenten.

av inlåning från allmänheten samt intern upplåning. I segmentet Capital Markets består tillgångarna främst av värdepapper som förvaltas inom ramen för kapitalförvaltning och försäkringsverksamheten. Tillgångarna i kolumnen Övrigt består till övervägande del av internutlåning till de olika segmenten medan skulderna framförallt består av extern upplåning. Det allokerade kapitalet för segmenten överensstämmer med kapitalfördelningen enligt den interna styrmodellen.

Intäkter per produktområde mkr		
	2016	2015
Investmentbank	4 811	4 722
Bankinlåning och utlåning företag	10 228	10 430
Finansbolags tjänster	1 705	2 026
Bankinlåning och utlåning privatpersoner	3 050	3 807
Hypotek	12 825	12 069
Pension och försäkring	1 104	1 115
Kapitalmarknad	3 114	3 050
Handelsfinansiering	460	462
Övrig verksamhet	3 466	2 615
Summa	40 783	40 336

NOTER | KONCERNEN

K46 Geografisk information

Geografisk information 2016 mkr	Intäkter	Rörelseresultat	Skatt	Tillgångar
Sverige	26 212	15 288	-3 458	2 211 192
Storbritannien	5 027	1 851	-474	296 449
Norge	3 624	1 917	-393	261 574
Danmark	2 219	180	-72	124 624
Finland	1 981	973	-199	230 654
USA	670	422	-130	289 126
Nederländerna	544	179	-43	35 667
Luxemburg	169	25	-22	19 597
Tyskland	109	-3	-	14 935
Kina	59	-47	1	8 438
Frankrike	55	8	-2	10 194
Polen	42	-49	0	3 400
Singapore	27	-76	-2	13 366
Estland	14	-13	-	1 533
Österrike	6	-3	-	330
Lettland	4	-8	-	303
Litauen	1	-9	-	90
Brazilien	0	-2	-	0
Elimineringar	0	0	394	-893 892
Koncernen	40 783	20 633	-4 400	2 627 590

Intäkter, kostnader och tillgångar som presenteras i den geografiska informationen består av de interna och externa intäkterna, kostnaderna och tillgångarna i respektive land. Den geografiska fördelningen av intäkter och kostnader är baserad på det land där affären är genomförd och är inte jämförbar med redovisningen av segmentinformation. Med skatt avses aktuell och uppskjuten skatt. Ytterligare geografisk information lämnas i not M16 avseende koncernföretag och deras söka samt i not K8 avseende medelantal anställda per land.

Geografisk information 2015 mkr	Intäkter	Rörelseresultat	Skatt	Tillgångar
Sverige	25 461	14 305	-3 120	2 113 877
Storbritannien	5 290	2 069	-479	308 207
Norge	3 708	2 005	-563	234 455
Danmark	2 209	600	-169	107 358
Finland	2 111	1 106	-232	165 847
USA	647	358	-37	319 268
Nederländerna	341	57	-13	25 094
Luxemburg	190	58	-19	33 266
Tyskland	114	-11	0	10 768
Kina	74	-31	-17	8 813
Singapore	69	9	-3	12 313
Frankrike	54	5	0	5 136
Polen	42	-33	0	2 653
Estland	14	-12	-	1 405
Österrike	7	-5	-	342
Lettland	4	-10	-	272
Litauen	1	-15	-	220
Brazilien	0	0	-	0
Elimineringar	0	0	375	-827 161
Koncernen	40 936	20 476	-4 277	2 822 138

NOTER | KONCERNEN

K47 Tillgångar och skulder i valuta

2016 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodoavande hos centralbanker	140	99 547	6 199	102	61 774	30 463	1 137	199 362
Övrig utlåning till centralbanker	4 820	-	-	20 269	394	-	44	25 527
Utlåning till övriga kreditinstitut	7 630	6 983	360	5	976	14 127	1 266	31 347
Utlåning till almänheten	1 220 175	187 649	232 704	92 299	192 953	28 636	9 206	1 963 622
varav företag	460 084	128 416	159 985	36 741	128 371	28 413	8 287	930 297
varav hushåll	760 091	59 233	92 719	55 558	64 582	23	919	1 033 325
Balanseringsbara statsskuldförbindelser m m	72 683	6 431	-	11	-	17 344	736	97 205
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	43 464	2 181	1 329	-	1 701	15 234	-	63 909
Övriga ej valutafördelade poster	246 608	-	-	-	-	-	-	246 608
Summa tillgångar	1 695 620	302 791	240 692	112 688	257 798	105 804	12 389	2 627 690
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	36 630	73 200	4 454	17 700	4 775	27 768	14 254	178 781
In- och upplåning från almänheten	503 890	78 736	59 761	34 733	122 374	23 181	6 661	829 336
varav företag	192 720	61 542	38 662	19 051	86 076	21 003	6 170	425 324
varav hushåll	311 170	17 194	21 099	15 682	36 298	2 178	491	404 112
Emitterade värdepapper	463 704	240 231	30 826	324	84 338	405 285	37 056	1 261 765
Efterställda skulder	8 230	14 355	-	-	-	10 815	-	33 400
Övriga ej valutafördelade poster, inkl eget kapital	324 298	-	-	-	-	-	-	324 298
Summa skulder och eget kapital	1 336 762	408 622	95 041	52 767	211 487	487 080	57 971	2 627 690
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)	-	109 917	-145 964	-59 815	-46 342	361 349	45 650	-
Nettoposition i valuta	-	186	187	114	-31	103	68	627

Bankens syn på valutariislaggande framgår av not K2 på sidan 80.

2016 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodoavande hos centralbanker	153	45 633	6 094	99	55 540	24 654	457	202 630
Övrig utlåning till centralbanker	15 908	-	2 103	15 653	364	-	0	34 118
Utlåning till övriga kreditinstitut	2 561	8 692	207	115	1 285	33 337	3 459	49 656
Utlåning till almänheten	1 190 747	174 047	190 881	78 738	195 097	27 213	9 744	1 866 467
varav företag	475 424	122 999	110 217	31 446	131 228	27 024	8 758	907 086
varav hushåll	715 323	51 048	80 664	47 292	63 869	189	986	959 371
Balanseringsbara statsskuldförbindelser m m	36 606	6 402	-	7	-	30 744	1 018	74 777
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	39 770	2 726	716	2	1 282	17	-	44 513
Övriga ej valutafördelade poster	249 972	-	-	-	-	-	-	249 972
Summa tillgångar	1 635 807	237 800	200 001	94 614	253 698	185 985	14 678	2 622 133
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	25 008	53 015	19 818	14 977	13 142	29 439	8 371	163 770
In- och upplåning från almänheten	465 675	64 535	46 741	29 709	109 464	30 587	7 144	753 855
varav företag	184 145	49 670	28 813	15 870	84 067	28 209	6 709	397 423
varav hushåll	281 530	14 865	17 928	13 839	25 397	2 378	435	356 432
Emitterade värdepapper	445 875	232 006	18 512	367	91 366	420 752	36 489	1 245 367
Efterställda skulder	10 519	13 717	-	-	-	9 980	-	34 216
Övriga ej valutafördelade poster, inkl eget kapital	324 925	-	-	-	-	-	-	324 925
Summa skulder och eget kapital	1 272 002	363 273	85 071	45 063	213 972	490 788	52 004	2 622 133
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)	-	125 716	-114 803	-49 492	-39 555	304 831	37 406	-
Nettoposition i valuta	-	-57	127	69	41	38	80	298

NOTER | KONCERNEN

K48 Upplysningar om närstående

Fordringar på och skulder till närstående	Intresseföretag		Övriga närstående	
	2018	2015	2018	2015
<i>mkr</i>				
Utlåning till almanstaden	849	815	-	-
Övriga tillgångar	59	64	515	544
Summa	908	879	515	544
In- och upplåning från almanstaden	223	222	604	526
Efterställda skulder	-	-	681	687
Övriga skulder	0	0	58	56
Summa	223	222	1 343	1 269

Närstående – intäkter och kostnader	Intresseföretag		Övriga närstående	
	2018	2015	2018	2015
<i>mkr</i>				
Ränta-intäkter	13	10	1	0
Räntekostnader	0	0	-71	-93
Provisionsintäkter	1	4	-	-
Provisionskostnader	-237	-216	-18	-36
Nettorekultat av finansiella poster värderade till verkligt värde	0	0	-	1 207
Övriga intäkter	1	1	15	19
Övriga kostnader	-39	-33	-53	-51
Summa	-261	-234	-128	1 046

Specifikation över intresseföretagen samt information om aktieägarintäkt till intresseföretag finns i not K10. Intresseföretagens verksamhet består i allt utföra olika typer av tjänster som har anknytning till bankens verksamhet. I gruppen Övriga närstående ingår följande företag: Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Svenska Handelsbankens Personalstiftelse och Pensionskassan SHB, Försäkringsförening (pensionskassan). Företagen anlitar Svenska Handelsbanken AB för sedvanliga bank- och rådgivningstjänster.

Moderbolagets svenska dotterbolag har betalat pensionspremier avseende förmånsbestämda pensioner till pensionskassan uppgående till 52 mkr (51). Pensionskassans utbetalningar till anställda i dotterbolag garanteras av moderbolaget, det vill säga om pensionskassan inte skulle kunna betala sina åtaganden så är moderbolaget skyldigt att ta över och betala åtagandet. Pensionskassans förpliktelser uppgår till 6 099 mkr (5 585). Svenska Handelsbanken AB har begärt ersättning av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse uppgående till 510 mkr (505) avseende pensionskostnader och 465 mkr (480) avseende särskild kompletterande pension samt av Svenska Handelsbankens Personalstiftelse uppgående till 25 mkr (20) för personalförändring åtgärder.

Information om krediter till ledande befattningshavare samt om ledande befattningshavares villkor och ersättningar i övrigt framgår av not K8.

K49 Händelser efter balansdagen

Inga väsentliga händelser har inträffat efter balansdagen.

K50 Rörelseförvärv

Den 1 september 2016 förvärvade Svenska Handelsbanken AB 100 procent av aktierna i Optmix Vermogensbeheer N.V (Optmix). Därigenom har Optmix blivit ett helägt dotterbolag i Handelsbanken. Motivet till förvärvet är att banken genom förvärvet adderar kvalificerade kapitalförvaltnings tjänster till bankens kunderbjudande och skapar en plattform för den nederländska kontorsrörelsens tillväxt inom kapital- och förmögenhetsförvaltning. Optmix förvaltar cirka 2 miljarder EUR och har cirka 35 anställda. Bolaget har verksam-

het i Amsterdam, Groningen och Vught och erbjuder diskretionär förmögenhetsförvaltning.

Den goodwill som uppstod vid förvärvet består främst av synergieffekter med Handelsbankens etablerade verksamhet i Nederländerna samt personalrelaterade resurser.

Optmix har sedan förvärvet bidragit med 54 miljoner kronor till årets intäkter. Eldraget till årets resultat är endast marginellt. Om Optmix hade ingått i koncernräkenskaper från ingången av 2016 hade bolaget bidragit med

128 miljoner kronor till koncernens intäkter. Påverkan på årets resultat hade endast varit marginell.

Balansposterna för att fastställa förvärvsanalysen är preliminära. För att kunna fastställa en förvärvsanalys måste all relevant information finnas tillgänglig. Exempel på sådan information är slutligt förvärvspris och slutlig öppningsbalans, vilka kan kvarstå som preliminära.

Delar av köpeskillingen är villkorad. Det slutliga beloppet är avhängigt av resultatutvecklingen i bolaget under de närmaste tre åren.

	Redovisat i koncernen vid förvärvstidpunkten
akt	
Utlåning till övriga kreditinstitut	50
Immateriella tillgångar	512
Fastigheter och inventarer	39
Uppskjutna skattefordringar	3
Övriga tillgångar	261
Summa tillgångar	865
Uppskjutna skattekulder	135
Övriga skulder	261
Summa skulder	396
Dotterbolagets nettotillgångar	469
Anskaffningsvärde, kontanter	408
Anskaffningsvärde, preliminär skuld villkorad köpeskilling	208
Goodwill	147
Kassaflöde	
Likvida medel i det förvärvade företaget	0
Anskaffningsvärde, kontanter	408
Netto	408

K51 Kapitaltäckning

KAPITALPOLICY

Banken har som mål att upprätthålla en betryggande kapitalnivå som svarar mot de risker som koncernens verksamhet innebär och som överstiger de minimikrav som lagen föreskriver. En god kapitalnivå behövs för att kunna hantera situationer med finansiell påfrestning, men även andra händelser såsom förvärv och kraftigt volymtillväxt.

KAPITALKRAVSREGLER

Enligt kapitaltäckningsreglerna, förordning nr 575/2013/EU (CRR) som trädde i kraft inom EU den 1 januari 2014 och direktiv 2013/36/EU (CRD IV) som genomfördes i Sverige den 2 augusti 2014, ska banken ha kärnprimärkapital, primärkapital och en total kapitalbas som minst motsvarar de enskilda kraven i förhållande till det totala riskvägda exponeringsbeloppet för kreditrisker, marknadsrisker och operativa risker. Utöver att hålla kapital enligt minimikravet ska banken dessutom hålla kärnprimärkapital för att uppfylla det kombinerade buffertkravet som i Sverige utgörs av summan av en kapitalkonserveringsbuffert, en cyklickalibreringsbuffert

samt en systemriskbuffert. Banken ska dessutom göra en intern kapitalutvärdering. Handelsbankens kapitalpolicy – senast fastställd under 2016 – anger riktlinjerna för den interna kapitalutvärderingen. Banken omfattas även av ett kapitalkrav på nivån finansiellt konglomerat enligt lagen (2008:531) om särskild tillsyn över finansiella konglomerat, se vidare kapitaltäckning för det finansiella konglomeratet nedan. Sedan 1 februari 2016 gäller även att resolutionsmyndigheten, som i Sverige är Riksgäldskontoret, ska fastställa ett minimikrav på nedskrivningsbara skulder (så kallad MREL) för banken. Banken har under 2016, med god marginal, uppfyllt samtliga de lagstadgade minimi- och buffertnivåerna. Detaljerad information om bankens kapitalbas och kapitalkrav finns i not K2, Risk- och kapitalhantering, samt i Handelsbankens dokument Risk och kapitalhantering – information enligt Pelare 3, se handelsbanken.se/r.

BESKRIVNING AV KONSOLIDERAD SITUATION

Den regleringsmässiga konsolideringen (konsoliderad situation) består av moderbolaget samt

dotter- och intresseföretag som också ingår i koncernens redovisning, se tabell på sidan 145. De bolag som ingår i koncernredovisningen och som inte ingår i den konsoliderade situationen framgår även av tabell på sidan 145. Precis som i koncernredovisningen konsolideras intresseföretag enligt kapitalandelsmetoden i den regleringsmässigt konsoliderade situationen. Vidare konsolideras dotterbolag enligt förvärvsmetoden. Samtliga dotterbolag som omfattas av regelverket ingår i konsoliderad situation. Handelsbanken har inga dotterbolag där den faktiska kapitalbasen underskrider föreskriven kapitalbas.

BESKRIVNING AV KAPITALBASEN FÖR KONSOLIDERAD SITUATION

Kapitalbasen består av primärt respektive supplementärt kapital. Det primära kapitalet delas in i kärnprimärkapital samt övrigt primärkapital. Kärnprimärkapitalet utgörs i huvudsak av aktiekapital, upparbetade vinstermedel samt övriga reserver i de bolag som ingår i konsolideringen. Övrigt primärkapital utgörs av utgivna primärkapitaltillskott. Det supplementära kapitalet består

NOTER | KONCERNEN

KSI Forts

huvudsakligen av förlagslån. Från kapitalbasen görs därefter vissa avdrag. Avdragen görs huvudsakligen från kärnprimärkapitalet. För bankens riskhantering är det viktigt att såväl koncernen som den regleringsmässiga konsolideringen riskmässigt kan ses som en enhet. För att risker ska kunna hanteras effektivt i koncernen kan kapital behöva omfördelas mellan de olika företagen i koncernen. Banken har generellt sett möjlighet att omfördela kapital mellan koncernens bolag, inom ramen för de begränsningar som följer av lagstiftning, till exempel kapitaltäckningskrav och bolagsrättsliga begränsningar. Banken ser i övrigt inga materiella eller rättsliga hinder för en snabb överföring av medel ur kapitalbasen eller återbetalning av skulder mellan moderbolaget och dess dotterföretag.

Primärkapital

Primärkapitalet utgörs av kärnprimärkapital respektive övrigt primärkapital.

Kärnprimärkapital

Kärnprimärkapitalet utgörs till största delen av aktiekapital, upparbetade vinstmedel samt övriga reserver i de bolag som ingår i den regleringsmässiga konsolideringen, i och med att koncernens försäkringsbolag inte ingår i konsolideringen ingår inte upparbetade vinstmedel i dessa bolag i kärnprimärkapitalet. De poster som ska exkluderas från kärnprimärkapitalet är främst goodwill och andra immateriella tillgångar samt kapitaltillskott till försäkringsbolag i koncernen eller vissa uppskjutna skattefordringar som överstiger 10 procent av kärnprimärkapitalet. Summan av kapitaltillskott och uppskjutna skattefordringar får heller inte överstiga 15 procent av kärnprimärkapitalet. Eftersom varken kapitaltillskotten till försäkringsbolagen i koncernen eller de uppskjutna skattefordringarna överstiger tröskelvärdet, belastar dessa inte kärnprimärkapitalet. Neutralitetsjustering görs för påverkan som kassaföresäkringar har haft på eget kapital. Dessutom ska en prisjustering beräknas och vid behov göras för förskottlig värdering av instrument som värderas till verkligt värde. Institut som har tillstånd att använda interna riskklassificeringsmodeller ska göra ett avdrag för skillnaden mellan förväntad kreditförlust enligt intermetoden och gjorda reserveringar för sannolika kreditförluster i det fall de förväntade kreditförlusterna överstiger gjorda reserveringar. Avdrag ska även göras för nettovärdet av redovisade övervärden i pensionsstillgångar. Avdraget får emellertid minskas med ett belopp som motsvarar bankens rätt till ersättning för pensionskostnader från Handelsbankens Pensionsstiftelse. Slutligen ska även avdrag göras för tillstånd att innehålla egna aktier i egenskap av marknadsgarant. Avdraget ska motsvara det högsta marknadsvärde tillståndet omfattar.

Övrigt primärkapital

Övrigt primärkapital utgörs av instrument som uppfyller kraven för primärkapitaltillskott. Dessa

är bland annat att tillskotten ska ha evig löptid och kunna förtidsinlösas tidigast efter fem år och först efter att tillstånd fått från tillsynsmyndigheten. Det nominella värdet ska kunna skrivas ned eller konverteras till aktier för att skapa kärnprimärkapital vid en förutbestämd nivå på kärnprimärkapitalet samt räntebetalningarna ska ovillkorligen kunna ställas in.

Bankens samtliga primärkapitaltillskott uppgår till 13,2 miljarder kronor. Av dessa emitterades under 2015 primärkapitaltillskott om 10,8 miljarder kronor som uppfyller kraven enligt CRR. Bankens övriga utestående primärkapitaltillskott är emellertid emitterade efter tillstånd enligt tidigare regelverk och inkluderas därmed i enlighet med övergångsregler i CRR. Dessa uppgår till 2,4 miljarder kronor och utgörs av så kallade enhanced primärkapitaltillskott. För enhanced primärkapitaltillskott, gäller att banken har rätt att omvandla instrumenten till eget kapital redan tidigare för att undvika att bryta mot regleringsmässiga krav. I händelse av likvidation skuldförs instrumenten, även till den del som sedan tidigare omvandlats till eget kapital och har då lika rätt till utskiftning av bolagets medel. Denna rätt är efterställd alla andra fordringshavare. Det är endast aktieägarna som har en sämre rätt till utskiftning. För enhanced primärkapitaltillskott har banken en ovillkorlig rätt att ställa in kupongbetalningar, det vill säga räntebetalning kan ställas in när som helst. I det fall utdelningsbara medel saknas måste kupongutbetalningar ställas in för båda typer av tillskott.

Supplementärkapital

Det supplementära kapitalet utgörs av förlagslån med en löptid om minst fem år. Avdrag görs för förlagslånetillskott till försäkringsbolagen inom koncernen.

KAPITALKRAV

Kreditrisk

Kapitalkravet för kreditrisk beräknas enligt schablonmetoden och intermetoden enligt CRR. För intermetoden återfinns två olika metoder: intermetoden utan egna skattningar av LGD och KF och intermetoden med egna skattningar av LGD och KF.

I intermetoden utan egna skattningar av LGD och KF beräknar banken med en egen metod sannolikheten för att kunden ska falla inom ett år (PD), medan övriga parametrar är givna i regelverket CRR. I intermetoden med egna skattningar av LGD och KF använder banken egna metoder för att beräkna förlust givet fallissemang (LGD) och exponeringsbeloppet.

Handelsbanken tillämpar intermetoden utan egna skattningar av LGD och KF för exponeringar mot institut, samt för vissa produkt- och säkerhetstyper avseende företagsexponeringar för hela regionbanksrörelsen samt i dotterbolagen Stadshypotek AB, Handelsbanken Finans AB, Handelsbanken Finans (Shanghai) Financial Leasing Co. Ltd och Rahotus Oy.

Intermetoden med egna skattningar av LGD och KF tillämpas för merparten av exponeringarna mot stora företag, medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar i regionbanksrörelsen (exklusive Nederländerna), Handelsbanken Capital Markets, Stadshypotek AB och Handelsbanken Finans AB, samt hushållsexponeringar i Sverige, Norge, Finland och Danmark samt i dotterbolagen Stadshypotek AB, Handelsbanken Finans AB och Rahotus Oy.

Intermetoden omfattade vid årsskiftet 79 procent (80) av det totala riskvägda exponeringsbeloppet för kreditrisk. För resterande kreditriskexponeringar beräknas kapitalkravet enligt schablonmetoden. Sifferuppgifter som redovisas i detta avsnitt avser minimikapitalkraven enligt Pelare 1 i kapitaltäckningsreglerna, CRR och CRD IV. När det i tabellerna står CRR är utgångspunkten hur minimikapitalkraven ser ut efter det att övergångsreglerna upphört att gälla. Övergångsreglerna gäller till vidare.

I tabellen Kreditexponeringar godkända för intermetoden sämredovisas repor och värdepapperslån eftersom dessa ger upphov till mycket låga kapitalkrav samtidigt som volymerna varierar betydligt över tiden. Det låga kapitalkravet beror på att exponeringen presenteras brutto och att exponeringen är säkerställd.

Den totala genomsnittliga riskvikten för exponeringar godkända för intermetoden minskade under året och uppgick till 14,3 procent (15,5). Minskningen beror främst på förändrad fördelning i kreditportföljen mellan företag, bostadsrättsföreningar och hushåll samt att den genomsnittliga riskvikten för företagsexponeringar har minskat. Detta i sin tur beror främst på ökad kreditvolym under året till motparter med relativt sett låga riskvikter samtidigt som volymen till motparter med relativt sett höga riskvikter minskat.

Kreditkvaliteten är god. Av Handelsbankens företagsexponeringar var 97 procent (97) kunder med en bedömd återbetalningsförmåga som var normal, eller bättre än normal, det vill säga hade en riskklassificering mellan 1 och 5 i bankens tiogradiga skala för riskklassificering. Intermetoden baseras på historiska förluster från såväl de senaste årens finanskras som den svenska bankkrisen i början av 1990-talet. Riskvikterna speglar det faktum att Handelsbanken under lång tid uppväsat låga kreditförluster. De tillämpade riskmått innehåller förskottlighetsmarginaler för att säkerställa att risken inte underskattas.

Nivån på riskvikten för företagsexponeringar återspeglar portföljsammansättningen och hur olika lån klassificeras till olika exponeringsklasser. Kapitalkravet för aktieexponeringar i intermetoden beräknas enligt förenklad riskviktsmetod.

För närmare information om förändringar under året hänvisas till bankens delårsrapporter under 2016 samt till bankens publikation Risk och kapitalhantering – information enligt Pelare 3.

NOTER | KONCERNEN

Marknadsrisker

Kapitalkravet för marknadsrisker beräknas för bankens konsoliderade situation. Kapitalkravet för ränterisker och aktiekursrisker beräknas dock endast för positioner i handelslagret. Vid beräkning av kapitalkravet för marknadsrisker tillämpas schablonmetoden.

Operativ risk

Handelsbanken använder schablonmetoden för att beräkna kapitalkravet för operativa risker. Kapitalkravet enligt schablonmetoden beräknas genom att en i regelverket bestämd faktor multipliceras med den genomsnittliga rörelseintäkten under de tre senaste verksamhetsåren. Olika faktorer tillämpas för olika affärssegment.

KAPITALTÄCKNING FÖR DET FINANSIELLA KONGLOMERATET

Institut och försäkringsbolag som ingår i det finansiella konglomeratet ska ha en kapitalbas som är tillräckligt stor för att uppfylla konglomeratets kapitalkrav. Kapitalbasen för det finansiella konglomeratet har beräknats med hjälp av en kombination av sammanläggnings- och avräkningsmetoden och konsolideringsmetoden. Detta innebär att kapitalbasen för konsoliderad situation har lagts samman med kapitalbasen för Handelsbanken Liv AB Försäkringsgrupp. För att beräkna kravet för konglomeratet har på motsvarande sätt kapitalkravet för konsoliderad situation adderats med solvenskraven för försäkringsgruppen.

Företag som ingår i konsoliderad situation	Ägarandel, %	Organisationsnummer	Ställe
Handelsbanken AB (publ)¹		502007-7862	Stockholm
KONCERNFÖRETAG			
Handelsbanken Finans AB¹	100	556053-0841	Stockholm
Kredit-Inkasso AB	100	556060-3185	Stockholm
Handelsbanken Rahotius Oy	100	0112308-8	Helsingfors
Kredit-Inkasso AS	100	955074203	Frederikstad
Handelsbanken Finans (Shanghai) Financial Leasing Co., Ltd	100	310101717882194	Shanghai
Stadshypotek AB¹	100	556450-6715	Stockholm
Svenska Intacknings Garanti AB Sigsb (inaktiv)	100	556432-7285	Stockholm
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	100	556070-0683	Stockholm
Handelsbanken Fonder AB	100	556418-8851	Stockholm
Handelsinvest Investeringsförvaltning A/S	100	12303879	Köpenhamn
Handelsbanken Fondbolag Ab	100	1105019-3	Helsingfors
Handelsbanken Kapitalförvaltning AS	100	973194960	Oslo
Xact Kapitalförvaltning AB	100	556997-8140	Stockholm
AB Handel och Industri	100	556013-5336	Stockholm
Heartwood Wealth Management Limited	100	04132340	London
Heartwood Nominees Limited (inaktiv)	100	2259877	London
Heartwood Second Nominees Limited (inaktiv)	100	3193458	London
Private Office Limited (inaktiv)	100	4532528	London
Optimix Vermogensbeheer N.V.	100	33194359	Amsterdam
Optimix Beheer en Belegging B.V. (inaktiv)	100	33186584	Amsterdam
Övriga dotterbolag			
Ejendomsselskabet af 1. maj 2009 A/S ¹	100	59173812	Hillerød
Forva AS	100	945812141	Oslo
Handelsbanken Markets Securities, Inc. ¹	100	11-3257438	New York
Lokaborg A/S	62,79	78488018	Hillerød
Rådstruplass 4 AS	100	910508423	Bergen
SL (Nominees) Limited (inaktiv)	100	1932320	London
Svenska Property Nominees Limited (inaktiv)	100	2308524	London
Ulla stugan i Stockholm AB (inaktiv)	100	556993-9084	Stockholm
Ecster AB (inaktiv)	100	556993-2311	Stockholm
Blå stugan i Stockholm (inaktiv)	100	556993-9357	Stockholm
Dotterbolag till Handelsbanken Liv Försäkrings AB			
Handelsbanken Fastigheter AB	100	556873-0021	Stockholm
INTRESSEFÖRETAG			
Bankomatcentralen AB	20	556197-2265	Stockholm
BGC Holding AB	25,38	556607-0933	Stockholm
Bankgöcentralen BGC AB ²	100	556047-3521	Stockholm
Bankgöret Business Transactions Sweden AB ²	100	556564-5404	Stockholm
Finansiell ID-teknik BID AB	28,3	556630-4928	Stockholm
UC AB	24,48	556137-5113	Stockholm
UC Affärsfakta AB ²	100	556613-0042	Stockholm
UC Marknadsinformation AB ²	100	556948-5518	Stockholm
UC Arkivadministration AB ²	100	556951-2079	Stockholm
UC Bostadsvärdering AB ²	100	556576-7133	Stockholm
UC ställbolag AB ²	100	556730-7367	Stockholm
Bankomat AB	20	556817-9716	Stockholm
BCB Bankamas Cap AB ²	100	556696-3567	Stockholm
Galswäh AB	20	556913-7382	Stockholm
Add Value Fund Management B.V.	45	19196768	Amsterdam
¹ Kreditinstitut.			
² Avser ägande i dotterbolag samt intressebolag.			
Företag som inte ingår i konsoliderad situation	Ägarandel, %	Organisationsnummer	Ställe
Handelsbanken Liv Försäkring AB (förmönan exkl Handelsbanken Fastigheter AB)	100	516401-8284	Stockholm
Svenska Re S.A.	100	RCS Lux B-32053	Luxemburg
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	100	516401-6767	Stockholm
Dyson Group plc	44,5	163036	Sheffield
ERN Ekonomikanalen AB	100	556930-1608	Stockholm
SHB Liv Försäkringsaktieföretag	100	2478149-7	Helsingfors
Svenska RKA International Insurance Services AB (inaktiv)	100	556324-2954	Stockholm

NOTER | KONCERNEN

KSI Forts

Balansräkning	2018		2018	
	Konsoliderad situation	Koncern	Konsoliderad situation	Koncern
mkr				
TILLGÅNGAR				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	199 362	199 362	202 630	202 630
Övrig utlåning till centralbanker	25 527	25 527	34 118	34 118
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	94 247	97 205	71 441	74 777
Utlåning till övriga kreditinstitut	31 347	31 347	49 597	49 656
Utlåning till allmänheten	1 964 751	1 963 622	1 867 846	1 866 467
Värdeförändring på ränteskrivad post i portföljsättning	35	35	27	27
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	60 311	63 909	40 977	44 513
varav räntebärande instrument klassificerade som tillgängliga för försäljning (redovisat värde)	5 454	5 454	3 479	3 479
varav räntebärande instrument klassificerade som tillgängliga för försäljning, ackumulerad värdeförändring	-62	-107	-100	-194
Aktier och andelar	19 345	20 412	29 338	30 387
varav aktier klassificerade som tillgängliga för försäljning (redovisat värde)	1 678	1 678	6 581	6 581
varav aktier klassificerade som tillgängliga för försäljning, ackumulerad värdeförändring	1 041	1 041	2 268	2 268
Andelar i intresseföretag	6 510	255	6 626	245
Tillgångar där kunden står för värdeförändringsrisken	4 500	118 646	3 422	105 146
Derivatinstrument	82 632	82 633	85 347	85 347
varav klassificerade skulder	2 487	2 487	4 940	4 940
Återförädlingsföretag	-	9	-	10
Immateriella tillgångar	9 288	9 393	8 179	8 254
Fastigheter och inventarer	2 387	2 387	2 348	2 348
Aktuella skattefordringar	26	38	143	143
Uppskjutna skattefordringar	962	962	1 489	1 489
varav relaterade till klassificerade skulder	-	-	-	-
varav relaterade till räntebärande instrument klassificerade som tillgängliga för försäljning	22	22	37	37
Pensionsföretag	-	-	-	-
Tillgångar som innehas för försäljning	1	1	-	1 442
Övriga tillgångar	5 358	5 615	8 796	8 887
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	6 153	6 222	6 164	6 247
Summa tillgångar	2 812 722	2 827 080	2 418 478	2 822 133
SKULDER OCH EGET KAPITAL				
Skulder till kreditinstitut	178 734	178 781	163 770	163 770
In- och upplåning från allmänheten	826 274	829 336	754 164	753 885
Skulder där kunden står för värdeförändringsrisken	4 599	118 745	3 501	105 225
Emitterade värdepapper	1 261 765	1 261 765	1 245 367	1 245 367
Derivatinstrument	31 745	31 738	40 595	40 592
varav klassificerade skulder	-	-	-	-
Korta positioner	1 572	1 572	2 416	2 416
Försäkringsskulder	-	574	-	607
Aktuella skatteskulder	488	514	970	996
Uppskjutna skatteskulder	7 832	7 875	8 799	8 844
varav relaterade till klassificerade skulder	702	702	1 393	1 393
varav relaterade till aktier klassificerade som tillgängliga för försäljning	6	6	130	130
Avsättningar	719	731	101	113
Pensionskulder	2 121	2 161	5 263	5 314
Skulder hänförliga till tillgångar som innehas för försäljning	-	-	-	759
Övriga skulder	9 210	9 427	13 854	14 206
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	14 412	14 580	17 440	17 585
Efferställda skulder	33 400	33 400	34 216	34 216
varav primärkapitallån	13 167	13 167	12 332	12 332
varav lån med återstående löptid > 5 år	17 354	17 354	16 706	16 706
varav lån med återstående löptid < 5 år	-	-	2 420	2 420
varav övriga lån	2 879	2 879	2 758	2 758
Summa skulder	2 372 871	2 491 199	2 290 457	2 363 886
Minoritetsintresse	6	6	4	4
Aktiekapital	3 013	3 013	2 956	2 956
innehav egna aktier	-	-	-	-
Överkursfond	5 628	5 628	3 204	3 204
varav eget kapital från sammansatta finansiella instrument	1 045	1 045	1 045	1 045
Andra reserver	9 273	9 268	8 557	8 440
Balanserad vinst	101 857	102 222	97 705	97 322
Årets resultat, tillhörande aktieägare i Svenska Handelsbanken AB	20 074	16 244	15 595	16 342
Summa eget kapital	139 851	136 381	128 021	128 288
Summa skulder och eget kapital	2 812 722	2 827 080	2 418 478	2 822 133

NOTER | KONCERNEN

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet resvårde enligt förordningen (EU) nr 575/2013	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet resvårde enligt förordningen (EU) nr 575/2013
mk	2016	2016
Kärnprimärkapital instrument och reserver		
Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	7 597	5 832
varav aktiekapital	7 597	5 760
varav konvertibler		72
Ej utdelade vinstmedel	101 857	97 705
Akkumulerat annat totalresultat (och andra reserver för att inkludera realiserade vinster och förluster enligt tillämpliga redovisningsstandarder)	10 084	8 556
Reserveringar för allmänna risker i bankbranschen		
Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 484.3 och tillhörande överkursfonder som omfattas av utfasning från kärnprimärkapitalet		
Kapitaltillskott från den offentliga sektorn för vilka sådana regler för tillämpas till den 1 januari 2016		
Minoritetsintressen (tillåtet belopp i konsoliderat kärnprimärkapital)	-	-
Resultat netto efter avdrag för förutsebara kostnader och utdelningar som har verifiserats av personer som har en oberoende ställning	10 352	4 153
Kärnprimärkapital före lagstiftningsjusteringar	120 800	116 248
Kärnprimärkapital lagstiftningsjusteringar		
Ytterligare värdejusteringar (negativt belopp)	-645	-553
Immateriella tillgångar (netto efter minskning för tillhörande skatteskulder) (negativt belopp)	-9 355	-8 246
(ej relevant i EU-förordningen)		
Uppskjutna skattefordringar som är beroende av framtida lönsamhet, utom sådana som uppstår till följd av temporära skillnader (netto efter minskning för tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllda) (negativt belopp)	-	-
Reserver i verkligt värde relaterade till vinster eller förluster på kassaflödessattingar	-2 487	-4 940
Negativa belopp till följd av beräkningen av förväntade förlustbelopp	-1 527	-1 395
Eventuell ökning i eget kapital till följd av värdepappersutvärderingar (negativt belopp)	-	-
Vinster eller förluster på skulder som värderas till verkligt värde och som beror på ändringar av institutets egen kreditstatus	-	-
Föräldrabestämda pensionsplaner (negativt belopp)	-	-
Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna kärnprimärkapitalinstrument (negativt belopp)	-636	-577
Innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn med vilka institutet har ett korrelat ägande som är avsett att på konstlad väg öka institutets kapitalbas (negativt belopp)	-	-
Institutets direkta och indirekta innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp över bröskvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-	-
Institutets direkta, indirekta och symmetriska innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp över bröskvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-	-
(ej relevant i EU-förordningen)	-	-
Exponeringsbelopp för tillämpliga poster som är kvalificerade för en riskvikt på 1 250% när institutet väljer alternativet med avdrag	-	-
varav kvalificerade innehav utanför den finansiella sektorn (negativt belopp)	-	-
varav värdepappersutvärderingspositioner (negativt belopp)	-	-
varav transaktioner utan samtidig motposition (negativt belopp)	-	-
Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp över bröskvärdet på 10%, netto efter minskning av tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllda) (negativt belopp)	-	-
Belopp som överskrider bröskvärdet på 15% (negativt belopp)	-	-
varav institutets direkta och indirekta innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn när institutet har en väsentlig investering i de enheterna	-	-
(ej relevant i EU-förordningen)	-	-
varav uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader	-	-
Förluster för innevarande räntekapital (negativt belopp)	-	-
Förutsebara skatter som är relaterade till kärnprimärkapitalposter (negativt belopp)	-	-
Lagstiftningsjusteringar som tillämpas på kärnprimärkapital med avseende på belopp som omfattas av behandling som föreskrivs i lagstiftningsföreskrifterna för kapitaltillskottsordningen		
Lagstiftningsjusteringar som avser realiserade vinster och förluster i enlighet med artiklarna 467 och 468		
varav tillägg för realiserad vinst, aktier kvalificerade som tillgängliga för försäljning		
Belopp som ska dras av från eller läggas till kärnprimärkapital med avseende på ytterligare tillägg och avdrag som krävs enligt bestämmelserna för kapitaltillskottsordningen		
Avdrag från kvalificerade primärkapitaltillskott som överskrider institutets primärkapitaltillskott (negativt belopp)	-	-
Sammanlagda lagstiftningsjusteringar av kärnprimärkapital	-14 660	-15 711
Kärnprimärkapital	116 240	100 636

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | KONCERNEN

KSI Forts

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller förskrivet restvärde enligt förordningen (EU) nr 575/2013		Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller förskrivet restvärde enligt förordningen (EU) nr 575/2013	
2018	2018	2018	2018	2018
Primerkapitaltillskott: Instrument				
Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	10 815		9 981	
varav klassificerade som eget kapital enligt tillämpliga redovisningsstandarder				
varav klassificerade som skulder enligt tillämpliga redovisningsstandarder	10 815		9 981	
Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 484.4 och tillhörande överkursfonder som omfattas av uttänning från primerkapitaltillskottet	2 353	2 353	2 351	2 351
Kapitaltillskott från den offentliga sektorn för vilka äldre regler får tillämpas till den 1 januari 2018				
Kvalificerade primerkapital som ingår i konsoliderat primerkapitaltillskott (inbegripet minoritetsintressen som inte tas med i rad 5) som utfärdats av dotterföretag och innehågs av tredje part	-		-	
varav instrument som utfärdats av dotterföretag och som omfattas av uttänning				
Primerkapitaltillskott före lagstiftningsjusteringar	13 168		12 332	
Primerkapitaltillskott: lagstiftningsjusteringar				
Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna primerkapitaltillskottsinstrument (negativt belopp)	-400	-400	-399	-399
Innehav av primerkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn med vilka institutet har ett korrekst ägande som är avsett att på konstad väg öka institutets kapitalbas (negativt belopp)	-		-	
Direkta och indirekta innehav av primerkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-		-	
Institutets direkta och indirekta innehav av primerkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-		-	
Lagstiftningsjusteringar som tillämpas på primerkapitaltillskott med avseende på belopp som omfattas av behandling som föreskrivs i lagstiftningen före kapitaltäckningsförordningen och övergångsbehandlingen som omfattas av uttänning i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (jfrs restvärde enligt kapitaltäckningsförordningen)				
Restvärden som dras av från primerkapitaltillskottet med avseende på avdrag från kärnprimerkapital under övergångsperioden i enlighet med artikel 472 i förordning (EU) nr 575/2013				
varav poster skräddarsys ned för ned, t ex väsentliga delårsförluster netto, immateriella tillgångar, underskott i avsättningar i förhållande till förväntade förluster osv				
Restvärden som dras av från primerkapitaltillskottet med avseende på avdrag från supplementärkapital under övergångsperioden i enlighet med artikel 475 i förordning (EU) nr 575/2013				
varav poster skräddarsys ned för ned, t ex korrekst ägande av supplementärkapitalinstrument, direkta innehav av icke-väsentliga investeringar i kapital i hos andra enheter i den finansiella sektorn osv				
Belopp som ska dras av från eller läggas till primerkapitaltillskottet med avseende på ytterligare tillägg och avdrag som krävs enligt bestämmelserna före kapitaltäckningsförordningen				
Avdrag från kvalificerade supplementärkapital som överskrider institutets supplementärkapital (negativt belopp)				
Summa lagstiftningsjusteringar av primerkapitaltillskott	-400		-399	
Primerkapitaltillskott	12 768		11 933	
Primerkapital (primerkapital = kärnprimerkapital + primerkapitaltillskott)	128 008		112 468	
Supplementärkapital: Instrument och avdragsringar				
Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	17 354		17 150	444
Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 484.5 och tillhörande överkursfonder som omfattas av uttänning från supplementärkapitalet				
Kapitaltillskott från den offentliga sektorn för vilka äldre regler får tillämpas till den 1 januari 2018				
Kvalificerade kapitalbasinstrument som ingår i konsoliderat supplementärkapital (inbegripet minoritetsintressen och primerkapitaltillskottsinstrument som inte tas med i raderna 5 eller 34) som utfärdats av dotterföretag och innehågs av tredje part	-		-	
varav instrument som utfärdats av dotterföretag och som omfattas av uttänning				
Kreditjusteringar	-		-	
Supplementärkapital före lagstiftningsjusteringar	17 354		17 150	

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | KONCERNEN

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet reservvärde enligt förordningen (EU) nr 575/2013	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet reservvärde enligt förordningen (EU) nr 575/2013
2016	2016	2016
Supplementärkapital: lagstiftningsjusteringar		
Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna supplementärkapitalinstrument och efterställda lån (negativt belopp)	-	-
Innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har ett korvrat ägande som är avsett att på konstadad väg öka institutets kapitalbas (negativt belopp)	-	-
Direkta och indirekta innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp över bröskvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-	-
varav nya innehav som inte omfattas av övergångsarrangemang	-	-
varav innehav som finns före den 1 januari 2013 och som omfattas av övergångsarrangemang	-	-
Institutets direkta och indirekta innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-1 129	-1 129
Lagstiftningsjusteringar som tillämpats på supplementärkapital med avseende på belopp som omfattas av behandling som föreskrivs i lagstiftningen före kapitaltäckningsförordningen och övergångsbehandling som omfattas av uttänning i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (dvs reservvärde enligt kapitaltäckningsförordningen)		
Reservvärdet som dras av från supplementärkapital med avseende på avdrag från kärnprimärkapital under övergångsperioden i enlighet med artikel 472 i förordning (EU) nr 575/2013		
varav poster ska redovisas ned för ned, t ex väsentliga delårsförluster, netto, immateriella tillgångar, underskott i avsättningar i förhållande till förväntade förluster osv		
Reservvärdet som dras av från supplementärkapital med avseende på avdrag från primärkapitalförlust under övergångsperioden i enlighet med artikel 475 i förordning (EU) nr 575/2013		
varav poster ska redovisas ned för ned, t ex korvrat ägande av primärkapitalförlustinstrument, direkta innehav av icke-väsentliga investeringar i kapital hos andra enheter i den finansiella sektorn osv		
Belopp som ska dras av från eller läggas till supplementärkapital med avseende på ytterligare förluster och avdrag som krävs enligt de bestämmelser som tillämpades före kapitaltäckningsförordningen		
Summa lagstiftningsjusteringar av supplementärkapital	-1 129	-1 129
Supplementärkapital	16 021	16 021
Totalt kapital (totalt kapital = primärkapital + supplementärkapital)	144 233	128 480
Risikvägda tillgångar med avseende på belopp som omfattas av behandling som föreskrivs i de bestämmelser som tillämpades före kapitaltäckningsförordningen och övergångsbehandling som omfattas av uttänning i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (dvs reservvärde enligt kapitaltäckningsförordningen)	458 787	473 132
varav kapitalförlust till förädlingsbolag (inom koncernen som inte dragits av från kärnprimärkapital i reservvärdet enligt förordning (EU) nr 575/2013)	15 633	15 633
varav uppskjutna skattefordringar som inte dragits av från kärnprimärkapital (reservvärdet enligt förordning (EU) nr 575/2013)	1 856	3 220
Poster som inte dragits av från supplementärkapitalinstrument (reservvärdet enligt förordning (EU) nr 575/2013) (poster ska redovisas ned för ned, t ex indirekta innehav av egna supplementärkapitalinstrument, innehav av icke-väsentliga investeringar i kapital hos andra enheter i den finansiella sektorn, indirekta innehav av väsentliga investeringar i kapital hos andra enheter i den finansiella sektorn osv)	-	-
Summa risikvägda tillgångar	458 787	473 132
Kapitalrelationer och buffertar		
Kärnprimärkapital (som procentandel av det risikvägda exponeringsbeloppet)	25,1	21,2
Primärkapital (som procentandel av det risikvägda exponeringsbeloppet)	27,9	23,8
Totalt kapital (som procentandel av det risikvägda exponeringsbeloppet)	31,4	27,2
Institutspecifika buffertkrav (krav på kärnprimärkapital i enlighet med artikel 92.1 a plus krav på kapitalkonserveringsbuffert och kontracyklisk kapitalbuffert, plus systemriskbuffert, plus buffert för systemkritiska institut (buffert för globala systemkritiska institut eller andra systemkritiska institut) uttryckt som en procentandel av det risikvägda exponeringsbeloppet)	6,4	6,1
varav krav på kapitalkonserveringsbuffert	2,5	2,5
varav krav på kontracyklisk kapitalbuffert	0,9	0,6
varav krav på systemriskbuffert	3,0	3,0
varav buffert för globalt systemkritiskt institut eller för annat systemkritiskt institut	0	0
Kärnprimärkapital tillgängligt att användas som buffert (som procentandel av det risikvägda exponeringsbeloppet)	20,6	16,7
(ej relevant i EU-förordningen)		
(ej relevant i EU-förordningen)		
(ej relevant i EU-förordningen)		

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | KONCERNEN

KSI Forts

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet nedvärde enligt förordningen (EU) nr 575/2013	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet nedvärde enligt förordningen (EU) nr 575/2013
2018	2015	
mikr		
Kapitalrelationer och buffertar		
Direkta och indirekta innehav av kapital i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner)	0	3
Institutets direkta och indirekta innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner)	-	-
[ej relevant i EU-förordningen]		
Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter minskning av tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllda) (negativt belopp)	-743	-1 288
Tak som ska tillämpas på inkludering av avsättningar i supplementärkapital		
Kreditriskjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av schablonmetoden (före tillämpningen av taket)		
Tak för inkludering av kreditriskjusteringar i supplementärkapitalet enligt schablonmetoden		
Kreditriskjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av internmetoden (före tillämpningen av taket)		
Tak för inkludering av kreditriskjusteringar i supplementärkapitalet enligt internmetoden		
Kapitalinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang (för endast tillämpas mellan den 1 januari 2013 och den 1 januari 2022)		
Nuvarande tak för kärnprimärkapitalinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang	174	203
Belopp som utesluts från kärnprimärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)		
Nuvarande tak för primärkapitaltillskottsinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang	7 335	8 558
Belopp som utesluts från primärkapitaltillskott på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)		
Nuvarande tak för supplementärkapitalinstrument som omfattas av utfasningsarrangemang	4 444	5 185
Belopp som utesluts från supplementärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inlösen och förfallodagar)		

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | KONCERNEN

De viktigaste delarna i kärnprimärkapitalinstrument		
Emittant	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB
Unik identifieringskod (t.ex. identifieringskod från Cusip, Isin eller Bloomberg för privata placeringar)	SE0000193120	SE0000152084
Reglerade lag(ar) för instrument	Svensk rätt	Svensk rätt
Rättslig behandling		
Övergångsbestämmelser enligt kapitalkravsförordningen	Kärnprimärkapital	Kärnprimärkapital
Bestämmelser enligt kapitalkravsförordningen efter övergångsperioden	Kärnprimärkapital	Kärnprimärkapital
Godtagbara på individuellt/ grupp (undergruppsnivå)/individuellt och grupp (undergruppsnivå)	Individuellt och grupp (undergruppsnivå)	Individuellt och grupp (undergruppsnivå)
Instrumenttyp (typar ska specificeras av varje jurisdiktion)	Aktiekapital, serie A	Aktiekapital, serie B
Belopp som redovisas i lagstadgat kapital (valutan i miljoner, enligt senaste rapporteringsdatum)	7 445 mkr	152 mkr
Instrumentets nominella belopp	2 958 mkr	55 mkr
Emissionspris	7 445 mkr	152 mkr
Införspris	N/A	N/A
Redovisningsklassificering	Eget kapital	Eget kapital
Ursprungligt emissionsdatum	1871	1920
Eviga eller tidsbestämda	Evigt	Evigt
Ursprunglig förfallodag	N/A	N/A
Emitterns införsenhet omfattas av krav på förhandsförfallnad från tillsynsmyndigheten	N/A	N/A
Valfritt införsdatum, villkorade införsdatum och införsbelopp	N/A	N/A
Efterföljande införsdatum, i förekommande fall	N/A	N/A
Kuponger/Utdelningar		
Fast eller rörlig utdelning/kupong	N/A	N/A
Kupongränta och eventuellt tillhörande index	N/A	N/A
Förekomst av utdelningsstopp	N/A	N/A
Helt skönmässigt, delvis skönmässigt eller obligatoriskt (fråga om tidpunkt)	N/A	N/A
Helt skönmässigt, delvis skönmässigt eller obligatoriskt (fråga om belopp)	N/A	N/A
Förekomst av step-up eller annat incitament för återinförsen	N/A	N/A
Icke-kumulativa eller kumulativa	N/A	N/A
Konvertibla eller icke-konvertibla	Ej konvertibelt	Ej konvertibelt
Om konvertibla, konverteringsrättighet(s)	N/A	N/A
Om konvertibla, helt eller delvis	N/A	N/A
Om konvertibla, omräkningskurs	N/A	N/A
Om konvertibla, obligatorisk eller frivillig konvertering	N/A	N/A
Om konvertibla, ange typ av instrument som konvertering görs till	N/A	N/A
Om konvertibla, ange emittent för det instrument som konverteringen görs till	N/A	N/A
Nedskrivningsdalar	N/A	N/A
Om nedskrivning, nedskrivningsutlösare(s)	N/A	N/A
Om nedskrivning, fullständig eller delvis	N/A	N/A
Om nedskrivning, permanent eller tillfällig	N/A	N/A
Om nedskrivningen är tillfällig, beskriv uppskrivningsmekanismen	N/A	N/A
Position i prioriteringshierarkin för likvidation (ange typ av instrument som är direkt högre i rangordning)	Lägst, närmast högre är primärkapitalförlisett	Lägst, närmast högre är primärkapitalförlisett
Dalar från övergångsperioden som inte uppfyller kraven	N/A	N/A
Om ja, ange vilka dalar som inte uppfyller kraven	N/A	N/A

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | KONCERNEN

KBI Forts

De viktigaste delarna i primärkapitalinstrument

Emittent	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB
Unik identifieringskod (i ex identifieringskod från Cusip, Isin eller Bloomberg för privata placeringar)	BE0002450601	XS0406264092	XS1194054166
Reglerade lag(ar) för instrument	Svensk rätt	Huvudsakligen engelsk rätt, svensk insolvensrätt	Huvudsakligen engelsk rätt, svensk insolvensrätt
Rättslig behandling			
Övergångsbestämmelser enligt kapitalkravsförordningen	Primärkapitalillskott	Primärkapitalillskott	Primärkapitalillskott
Bestämmelser enligt kapitalkravsförordningen efter övergångsperioden	Ej godtagbart	Supplementärkapital	Primärkapital
Godtagbara på individuell/grupp (undergruppsnivå)/individuell och grupp (undergruppsnivå)	Individuell och grupp (undergruppsnivå)	Individuell och grupp (undergruppsnivå)	Individuell och grupp (undergruppsnivå)
Instrumenttyp (typer ska specificeras av varje jurisdiktion)	Primärkapitalillskott	Primärkapitalillskott	Primärkapitalillskott
Belopp som redovisas i lagstadgat kapital (valutan i miljoner, enligt senaste rapporteringsdatum)	3 mkr	2 350 mkr	10 815 mkr
Instrumentets nominella belopp	3 mkr	2 350 mkr	1 200 mUSD
Emissionspris	100%	100%	100%
Infösenspris	100%	100%	100%
Redovisningsklassificering	Skuld – upplupet anskaffningsvärde	Skuld – upplupet anskaffningsvärde	Skuld – upplupet anskaffningsvärde
Ursprungligt emissionsdatum	2008-06-12	2008-12-19	2015-02-25
Eviga eller tidsbestämda	Evigt	Evigt	Evigt
Ursprunglig förfallodag	Ingen förfallodag	Ingen förfallodag	Ingen förfallodag
Emittentens infösensrätt omfattas av krav på förhandsställstånd från tillsynsmyndigheten	Ja	Ja	Ja
Valfritt infösensdatum, vilkorade infösensdatum och infösensbelopp	2013-05-21	2019-03-19	2021-03-01
Efterföljande infösensdatum, i förekommande fall	Infösensbart löpande med 40 dagars karenstid	Infösensbart vid varje påföljande räntebetalningsdag efter första infösensdatum	Infösensbart vid varje påföljande räntebetalningsdag efter första infösensdatum
Kuponger/utdelningar			
Fast eller rörlig utdelning/kupong	Rörlig	Fast	Fast
Kupongränta och eventuellt tillhörande index	0,18%	11,00%	5,25%
Förakomst av utdelningsstopp	Ja	Ja	Ja
Helt skönämssäigt, delvis skönämssäigt eller obligatoriskt (i fråga om tidpunkt)	Delvis skönämssäigt	Delvis skönämssäigt	Helt skönämssäigt
Helt skönämssäigt, delvis skönämssäigt eller obligatoriskt (i fråga om belopp)	Delvis skönämssäigt	Delvis skönämssäigt	Helt skönämssäigt
Förakomst av stop-up eller annat incitament för återinfös	Ja	Ja	Nej
Icke-kumulativa eller kumulativa	Icke-kumulativa	Icke-kumulativa	Icke-kumulativa
Konvertibla eller icke-konvertibla	Konvertibelt	Ej konvertibelt	Ej konvertibelt
Om konvertibla, konverteringsströmmen(s)	Helt skönämssäigt	N/A	N/A
Om konvertibla, helt eller delvis	Helt eller delvis	N/A	N/A
Om konvertibla, omräkningskurs	62,52 kr per aktie	N/A	N/A
Om konvertibla, obligatorisk eller frivillig konvertering	Frivilligt	N/A	N/A
Om konvertibla, ange typ av instrument som konvertering görs till	Aktiekapital, serie A	N/A	N/A
Om konvertibla, ange emittent för det instrument som konverteringen görs till	Svenska Handelsbanken AB	N/A	N/A
Nedskrivningsdalar	Ja	Ja	Ja
Om nedskrivning, nedskrivningsutlösare(s)	Förväntat brott mot kapitalkrav	Förväntat brott mot kapitalkrav	Känpriärkapitalrelation 8% konsoliderat, 5,125% moderbolag
Om nedskrivning, fullständig eller delvis	Fullständig eller delvis	Fullständig eller delvis	Fullständig eller delvis
Om nedskrivning, permanent eller tillfällig	Tillfällig	Tillfällig	Tillfällig
Om nedskrivningen är tillfällig, beskriv uppskrivningsmekanismen	Fullt diskretionär	Fullt diskretionär	Fullt diskretionär
Position i prioriteringshierarkin för likvidation (ange typ av instrument som är direkt högre i rangordningen)	Efterställt alla instrument utom aktier, närmast högre är förlagslån	Efterställt alla instrument utom aktier, närmast högre är förlagslån	Efterställt alla instrument utom aktier, närmast högre är förlagslån
Dalar från övergångsperioden som inte uppfyller kraven	Ja	Ja	N/A
Om ja, ange vilka dalar som inte uppfyller kraven	Stop-up samt utdelningsstopp	Stop-up samt utdelningsstopp	N/A

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | KONCERNEN

De viktigaste delarna i supplementärkapitalinstrument

Emittent	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB	Svenska Handelsbanken AB
Unik identifieringskod (i ex identifieringskod från Cusip, Isin eller Bloomberg för privata placeringar)	XS1014674227	XS0842167719	XS0842167552
Reglerade lag(ar) för instrument	Huvudsakligen engelsk rätt, svensk insolvensrätt	Huvudsakligen engelsk rätt, svensk insolvensrätt	Huvudsakligen engelsk rätt, svensk insolvensrätt
Rättslig behandling			
Övergångsbestämmelser enligt kapitalavstörningen	Supplementärkapital	Supplementärkapital	Supplementärkapital
Bestämmelser enligt kapitalavstörningen efter övergångsperioden	Supplementärkapital	Supplementärkapital	Supplementärkapital
Godtagbara på individuell/grupp (undergruppsnivå)/individuall och grupp (undergruppsnivå)	Individuell och grupp (undergruppsnivå)	Individuell och grupp (undergruppsnivå)	Individuell och grupp (undergruppsnivå)
Instrumenttyp (typer ska specificeras av varje jurisdiktion)	Förätagstill	Förätagstill	Förätagstill
Belopp som redovisas i lagstadgat kapital (valutan i miljoner, enligt senaste rapporteringsdatum)	14 355 mkr	1 749 mkr	1 250 mkr
Instrumentets nominella belopp	1 500 mEUR	1 750 mkr	1 250 mkr
Emissionspris	100%	100%	100%
Inlösenpris	100%	100%	100%
Redovisningsklassificering	Skuld – upplupet anskaffningsvärde	Skuld – upplupet anskaffningsvärde	Skuld – upplupet anskaffningsvärde
Ursprungligt emissionsdatum	2014-01-15	2012-10-12	2012-10-12
Eviga eller tidsbestämda	Tidsbestämt	Tidsbestämt	Tidsbestämt
Ursprunglig förlösdag	2024-01-15	2022-10-12	2022-10-12
Emittentens inlösenrätt omfattas av krav på förhands tillstånd från tillsynsmyndigheten	Ja	Ja	Ja
Valfritt inlösendatum, vilkade inlösendatum och inlösenbelopp	2019-01-15	2017-10-12	2017-10-12
Efterföljande inlösendatum, i förekommande fall	Inlösenbart vid varje påföljande räntebetalningsdag efter första inlösendatum	Inlösenbart vid varje påföljande räntebetalningsdag efter första inlösendatum	Inlösenbart vid varje påföljande räntebetalningsdag efter första inlösendatum
Kuponger/utdelningar			
Fast eller rörlig utdelning/kupon	Fast	Fast	Rörlig
Kupongränta och eventuellt tillhörande index	2,66%	4,47%	2,38%
Förkomst av utdelningsstopp	Nej	Nej	Nej
Helt skönmässigt, delvis skönmässigt eller obligatoriskt (i fråga om tidpunkt)	Obligatoriskt	Obligatoriskt	Obligatoriskt
Helt skönmässigt, delvis skönmässigt eller obligatoriskt (i fråga om belopp)	Obligatoriskt	Obligatoriskt	Obligatoriskt
Förkomst av step-up eller annat incitament för återinlösen	Nej	Nej	Nej
Icke-kumulativa eller kumulativa	Icke-kumulativa	Icke-kumulativa	Icke-kumulativa
Konvertibla eller icke-konvertibla	Ej konvertibelt	Ej konvertibelt	Ej konvertibelt
Om konvertibla, konverteringstrigger(s)	N/A	N/A	N/A
Om konvertibla, helt eller delvis	N/A	N/A	N/A
Om konvertibla, omräkningskurs	N/A	N/A	N/A
Om konvertibla, obligatorisk eller frivillig konvertering	N/A	N/A	N/A
Om konvertibla, ange typ av instrument som konvertering görs till	N/A	N/A	N/A
Om konvertibla, ange emittent för det instrument som konverteringen görs till	N/A	N/A	N/A
Nadskrivningsdalar	Nej	Nej	Nej
Om nadskrivning, nadskrivningsrätt(ggen)	N/A	N/A	N/A
Om nadskrivning, fullständig eller delvis	N/A	N/A	N/A
Om nadskrivning, permanent eller tillfällig	N/A	N/A	N/A
Om nadskrivningen är tillfällig, beskriv uppskrivningsmekanismen	N/A	N/A	N/A
Position i prioriteringshierarkin för likvidation	Efterställt all senior utlåning	Efterställt all senior utlåning	Efterställt all senior utlåning
(ange typ av instrument som är direkt högre i rangordningen)			
Dalar från övergångsperioden som inte uppfyller kraven	Nej	Nej	Nej
Om ja, ange vilka dalar som inte uppfyller kraven	N/A	N/A	N/A

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | KONCERNEN

KSI Forts

Kapitalkrav och totala riskvägda exponeringsbelopp	2016		2015	
	Totalt riskvägdt exponeringsbelopp	Kapitalkrav	Totalt riskvägdt exponeringsbelopp	Kapitalkrav
mikr				
Kreditrisk exklusive motpartsrisk	364 568	29 166	376 980	30 159
varav schablonmetoden	80 361	6 429	80 085	6 408
varav informationmetoden	284 207	22 737	296 895	23 751
varav aktis exponeringar	4 059	397	15 815	1 265
varav positioner i värdepappersinstrument	24	2	2	0
varav systemriskvärderingsmetoden	24	2	2	0
Motpartsrisk	15 698	1 256	18 736	1 499
varav beräknad med marknadsvärderingsmetoden	15 698	1 256	18 736	1 499
Avvecklingsrisk	0	0	0	0
Kreditvärdighetsjusteringsrisk (CVA)	7 429	594	8 911	713
Marknadsrisk	10 910	873	10 318	825
varav schablonmetoden	10 910	873	10 318	825
Operativ risk	60 182	4 815	58 187	4 655
varav schablonmetoden	60 182	4 815	58 187	4 655
Summa	488 787	38 704	473 132	37 881
Justering enligt Basel I-golv		61 531		56 982
Kapitalkrav, Basel I-golv		98 235		94 863
Summa kapitalbas Basel I-golv		145 760		129 884

Kapitalkrav marknaderisker	2016	2015
mikr		
Positionsrisk i handelslagret	854	819
Ränterisk	855	804
varav generell risk	598	512
varav specifik risk	256	290
varav positioner i värdepappersinstrument	-	-
varav lösa-dollarrisk	1	2
Aktiekursrisk	9	15
varav generell risk	1	1
varav specifik risk	8	4
varav fonder	0	2
varav lösa-dollarrisk	5	8
Valutakursrisk	-	-
varav lösa-dollarrisk	-	-
Rävarrisk	9	6
varav lösa-dollarrisk	0	0
Avvecklingsrisk	0	0
Summa kapitalkrav för marknaderisker	873	826

Kapitalökning finansiella konglomerat	2016	2015
mikr		
Kapitalbas efter avdrag och justeringar	145 971	129 660
Kapitalkrav	102 557	95 729
Överskott	43 414	33 931

Kapitaltäckningsanalys, %	2016	2015
Känpriärkapitalrelation, CRR	25,1	21,2
Primärkapitalrelation, CRR	27,9	23,8
Total kapitalrelation, CRR	31,4	27,2
Totalt riskvägdt exponeringsbelopp, CRR, mikr	488 787	473 132
Kapitalbas i förhållande till kapitalkrav enligt Basel I-golv	148,0	137,0
Institutionspecifika buffertkrav	6,4	6,1
varav krav på kapitalkonserveringsbuffert	2,5	2,5
varav krav på kontraptyktisk buffert	0,0	0,6
varav krav på systemrisk buffert	3,0	3,0
Känpriärkapital tillgängligt att användas som buffert	20,6	16,7

Förändring kapitalbas	2016	2015
mikr		
Känpriärkapital – ingående balans	100 535	98 084
Periodens vinst	20 074	15 595
Utdelning	-9 721	-11 442
Konverteringar	2 518	91
Minoritetsintressen	0	0
Uppskjuten skatt	-545	1 155
Kapitalökning utanför konsoliderad situation	0	0
Positioner i värdepappersinstrument	0	0
Goodwill och immateriella tillgångar	-1 109	-124
Prisjusteringar för positioner värderade till verkligt värde	-91	-552
Egna aktier (innehav)	-193	-110
IRK-avdrag	-132	708
Poster som påverkat via övrigt totalresultat		
AFS aktier	40	2 138
AFS ränta	53	21
Pensioner (IAS 19)	3 797	-3 573
Valutakurspåverkan	1 247	-1 303
Nettoinvesteringssäkringar	-111	-307
Övrigt, inkl innehavsförändringar	-1 122	154
Känpriärkapital – utgående balans	115 240	100 836
Övrigt primärkapital – ingående balans	11 983	8 043
Primärkapital skatt		
Emissioner	0	9 981
Förfall	0	-5 521
Valutakurspåverkan	837	-169
Konverteringar	-1	-2
Regelverkjusteringar kapital	-1	-399
Övrigt primärkapital – utgående balans	12 788	11 983
Summa primärkapital	128 028	112 488
Supplementärkapital – ingående balans	16 021	16 731
Supplementärkapitalinstrument		
Emissioner	0	0
Valutakurspåverkan	648	-457
Löptidsjustering	-444	-253
Supplementärkapital – utgående balans	16 225	16 021
Summa kapitalbas	144 253	128 489

NOTER | KONCERNEN

Kreditriskexponeringar godkända för internmetoden	Exponeringsbelopp		Riskvägt exponeringsbelopp		Kapitalkrav		Genomsnittlig riskvikt i %	
	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015
mikr								
Företagsexponeringar	821 000	821 705	104 850	204 181	15 572	16 334	23,7	24,8
Företagsutlåning	798 330	796 198	190 709	192 470	15 257	15 957	23,9	25,1
varav övrig utlåning, internmetod utan egna skattningar av LGD och RF	116 048	124 239	35 946	37 805	2 876	3 024	31	30,3
varav övrig utlåning, internmetod med egna skattningar av LGD och RF	682 282	671 259	154 763	161 665	12 381	12 933	22,7	24,1
varav stora företag	126 774	137 749	57 176	61 130	4 574	4 890	45,1	44,4
varav medelstora företag	81 640	76 639	32 486	32 888	2 520	2 631	39,8	42,9
varav fastighetsbolag	473 868	456 871	65 101	67 647	5 208	5 412	13,7	14,8
Motpartsrisk	22 670	25 597	3 941	4 711	315	377	17,4	18,4
Bostadsrättsföreningar	187 897	170 587	7 855	6 248	604	600	4	3,7
Hushållsexponeringar	982 270	918 324	72 368	66 245	5 792	5 300	7,4	7,2
Privatpersoner	955 346	891 487	65 258	58 841	5 221	4 707	6,8	6,6
varav fastighetskrediter	874 253	810 312	48 178	43 517	3 854	3 481	5,5	5,4
varav övriga	81 093	81 175	17 080	15 324	1 367	1 226	21,1	18,9
Små företag	26 924	26 837	7 140	7 404	571	593	26,5	27,6
varav fastighetskrediter	7 650	7 541	1 706	2 016	137	161	22,3	26,7
varav övriga	19 274	19 296	5 434	5 388	434	432	23,2	27,9
Institutsexponeringar	105 185	117 283	17 307	20 471	1 362	1 638	16,6	17,5
Institutsutlåning	20 066	19 203	6 175	6 767	494	541	30,8	35,2
Motpartsrisk	85 119	98 080	11 222	13 704	898	1 096	13,2	14
varav repor och värdepapperslån	14 070	31 143	631	424	50	34	4,5	1,4
varav derivat	71 049	66 937	10 591	13 280	848	1 062	14,0	19,8
Aktieexponeringar	1 340	6 229	4 099	16 816	397	1 285	370	302,4
varav börsnoterade aktier	-	4 418	-	12 811	-	1 025	-	290
varav övriga aktier	1 340	811	4 099	3 004	397	260	370	370
Motpartslosta exponeringar	2 387	2 348	2 387	2 348	191	188	100	100
Positioner i värdepappersförsäkring	22	28	24	2	2	0	105,9	7,4
varav traditionell värdepappersförsäkring	22	28	24	2	2	0	105,9	7,4
varav syntetisk värdepappersförsäkring	-	-	-	-	-	-	-	-
Summa internmetoden	2 100 101	2 035 574	299 370	315 310	23 950	25 225	14,3	15,5

Kreditriskexponeringar enligt schablonmetoden ¹	Exponeringsvärde		Riskvägt exponeringsbelopp		Kapitalkrav		Genomsnittlig riskvikt i %	
	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015
mikr								
Stater och centralbanker	255 748	270 402	77	72	6	6	0	0
Kommuner	54 908	58 231	22	18	2	1	0	0
Multilaterala utvecklingsbanker	636	649	0	0	0	0	0	0
Internationella organisationer	49	1	0	0	0	0	0	0
Institut	4 215	4 162	343	603	27	48	8,1	14,5
Företag	10 640	12 232	10 017	11 570	801	926	94,1	94,6
Hushåll	17 042	22 417	12 737	16 774	1 019	1 342	74,7	74,8
Säkerheter i fastigheter	92 087	70 925	33 316	25 367	2 665	2 029	36,2	35,8
Oreglerade poster	199	229	258	319	21	25	139,6	139,2
Aktier	6 796	7 978	16 126	17 308	1 250	1 385	237,3	216,9
varav börsnoterade aktier	0	249	0	249	0	20	0,0	100,0
varav övriga aktier	6 796	7 729	16 126	17 059	1 250	1 365	237,3	220,7
Övriga poster	8 571	9 034	8 000	8 375	641	671	93,4	92,7
Summa schablonmetoden	489 891	458 280	80 806	80 408	6 472	6 433	17,9	17,6

¹ Uppgifter om kapitalkrav för exponeringsklasser där det förekommer exponeringar.

NOTER | KONCERNEN

KSI Forts

Bruttosoliditetsgrad – gemensam upplysning	2016	2015
netto		
Exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat och transaktioner för värdepappersfinansiering)		
Poster i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och förvaltnings tillgångar)	2 417 175	2 299 796
Tilläggsbelopp som dragits av för att fastställa kärnprimärkapital	-14 650	-15 710
Sammanlagda exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och förvaltnings tillgångar)	2 402 525	2 284 086
Derivatexponeringar		
Återanskaffningskostnad förbunden med samtliga derivattransaktioner (dvs netto av medräkningarbar kontantvariationsmarginal)	30 213	17 624
Tilläggsbelopp för potentiellt framtida exponering förbunden med samtliga derivattransaktioner (marknadsvärderingar)	30 758	30 597
Exponering fastställd enligt ursprunglig åtagandemetod	-	-
Gross-up för derivatsäkerhet vid avdrag från tillgångar i balansräkningen i enlighet med den tillämpliga redovisningsramen	-	-
Avdrag för fordringar på kontantvariationsmarginal i derivattransaktioner	-6 917	0
Undantagen central motpartsdel i handelsexponeringar som är clearade med denna motpart	-	-
Justerat effektivt teoretiskt belopp för skriftliga kreditderivat	8 917	0
Justerat effektivt teoretiskt kompensations och tilläggsavdrag för skriftliga kreditderivat	-679	0
Sammanlagda derivatexponeringar	62 292	48 221
Exponeringar i transaktioner för värdepappersfinansiering		
Bruttotillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering (utan godkännande av netting) efter justering för försämringstransaktioner	12 914	32 172
Nettade belopp för kontantsskuld och kontantfordringar i bruttotillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering	-	-
Motpartens kreditrisik exponering mot tillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering	4 436	4 786
Undantag för transaktioner för värdepappersfinansiering: Motpartens kreditrisik exponering i enlighet med artikel 429 b 4 och artikel 222 i förordning (EU) nr 575/2013	-	-
Exponeringar mot förmedlade transaktioner	-	-
Undantagen central motpartsdel av exponeringar mot transaktioner för värdepappersfinansiering som är clearade med motparten	-	-
Sammanlagda exponeringar i transaktioner för värdepappersfinansiering	17 350	36 958
Andra poster utanför balansräkningen		
Poster utanför balansräkningen i teoretiska bruttobelopp	492 788	483 859
Justeringar för konvertering till kreditrisk valutor	-314 413	-303 538
Övriga exponeringar utanför balansräkningen	178 376	180 321
Undantagna exponeringar		
Undantag för exponeringar inom gruppen (individuellt nivå) i enlighet med artikel 429.7 i förordning (EU) nr 575/2013 (j och utanför balansräkningen)	-	-
Undantagna exponeringar i enlighet med artikel 429.14 i förordning (EU) nr 575/2013 (j och utanför balansräkningen)	-	-
Kapital- och sammanlagda exponeringar		
Primärkapital	128 008	112 468
Sammanlagda exponeringar i bruttosoliditetsgrad	2 660 542	2 540 587
Bruttosoliditetsgrad		
Bruttosoliditetsgrad	4,6%	4,4%
Val av övergångsarrangemang och belopp för förvaltningsposter som har tagits bort från balansräkningen		
Val av övergångsarrangemang för definitionen av kapitalmätet	Transitional	Transitional
Belopp för förvaltningsposter som har tagits bort från balansräkningen i enlighet med artikel 429.13 i förordning (EU) nr 575/2013	0	-1 162

NOTER | KONCERNEN

Sammanfattande avstämning av redovisningstillgångar och exponeringar i bruttosolditetsgrad mkr	2016	2015
Sammanlagda tillgångar enligt offentliga finansiella rapporter	2 627 580	2 522 133
Justering för enheter som har konsoliderats för redovisningsändamål men som inte omfattas av konsolidering under tillsyn	-114 859	-103 655
Justering för förvalningstillgångar som redovisas i balansräkningen i enlighet med den tillämpliga redovisningsramen, men som är undantagna från exponeringsmålet för bruttosolditetsgrad i enlighet med artikel 429.13 i förordning (EU) nr 575/2013	0	-1 162
Justeringar för finansiella derivatinstrument	-20 341	-37 126
Justeringar för transaktioner för värdepappersfinansiering	4 436	4 786
Justering för poster utanför balansräkningen (dvs konvertering till kostfaktavalerier för exponeringar utanför balansräkningen)	178 375	180 321
Justering för exponeringar inom gruppen som inte omfattas av exponeringsmålet för bruttosolditetsgrad i enlighet med artikel 429.7 i förordning (EU) nr 575/2013	-	-
Justering för exponeringar inom gruppen som inte omfattas av exponeringsmålet för bruttosolditetsgrad i enlighet med artikel 429.14 i förordning (EU) nr 575/2013	-	-
Andra justeringar	-14 650	-15 710
Summa exponeringsmål för bruttosolditetsgrad	2 680 542	2 549 887

Uppdelning av exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och undantagna exponeringar) mkr	2016	2015
Sammanlagda exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och undantagna exponeringar) varav:	2 402 525	2 284 086
Exponeringar i handelslagret	175 292	147 900
Exponeringar utanför handelslagret	2 227 233	2 136 786
varav säkerställda obligationer	5 019	2 081
varav exponeringar som hanteras som exponeringar mot nationella regeringar	297 369	312 267
varav exponeringar mot delstatliga självstyrelseorgan, multilaterala utvecklingsbanker, internationella organisationer och offentliga organ som inte behandlas som exponeringar mot nationella regeringar	107	63
varav institut	11 625	12 462
varav säkrade genom pantbrett / fastigheter	1 606 730	1 487 863
varav hushållsexponeringar	81 816	84 262
varav förslag	199 532	209 144
varav föllande exponeringar	4 833	5 898
varav övriga exponeringar (t.ex. aktier, värdepappersfutures och övriga motpartslösa tillgångar)	20 072	21 846

RESULTATRÄKNING TOTALRESULTAT | MODERBOLAGET

Resultaträkning Moderbolaget

mk		2016	2015
Räntesintäcker	Not M3	21 997	23 392
Leasingintäcker	Not M3	79	-
Räntekostnader	Not M3	-7 065	-8 142
Erhållna utdelningar	Not M4	17 045	11 978
Provisionsintäcker	Not M5	8 297	8 631
Provisionskostnader	Not M5	-1 788	-1 853
Nettoreultat av finansiella transaktioner	Not M6	3 076	2 349
Övriga rörelseintäcker	Not M7	1 647	1 644
Summa rörelseintäcker		43 288	37 000
Allmänna administrationskostnader			
Personal kostnader	Not M8	-10 427	-10 904
Övriga administrationskostnader	Not M9	-5 224	-5 040
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar	Not M10, M20	-591	-507
Summa kostnader före kreditförluster		-16 242	-16 451
Resultat före kreditförluster		27 046	21 548
Kreditförluster, netto	Not M10	-1 730	-1 614
Nedskrivning av finansiella tillgångar		-20	-15
Rörelseresultat		25 296	19 919
Bokslutsdispositioner	Not M11	-193	100
Resultat före skatter		25 103	20 019
Skatter	Not M27	-4 503	-4 176
Årets resultat		20 600	15 843

Totalresultat Moderbolaget

mk		2016	2015
Årets resultat		20 600	15 843
Övrigt totalresultat			
Kassafördosäkringar		-1 882	195
Instrument tillgängliga för försäljning		-1 152	694
Årets omräkningsdifferenser		387	-1 155
varav säkring av nettoutgifter i utlandsverksamhet		-65	-444
Skatt hänförlig till övrigt totalresultat		538	73
varav kassafördosäkringar		414	-43
varav instrument tillgängliga för försäljning		110	18
varav säkring av nettoutgifter i utlandsverksamhet		14	98
Summa övrigt totalresultat		-2 109	-193
Årets totalresultat		18 491	15 650

Periodens omklassificeringar till resultaträkningen framgår av Förändring i eget kapital.

BALANSRÄKNING | MODERBOLAGET

Balansräkning Moderbolaget

mkr		2016	2015
TILLGÅNGAR			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		120 362	202 630
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	Not M14	94 236	71 436
Utlåning till kreditinstitut	Not M12	523 125	596 441
Utlåning till allmänheten	Not M13	763 567	733 988
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not M14	60 311	40 974
Aktier och andelar	Not M15	19 339	29 309
Aktier i koncern- och intressföretag	Not M16	46 363	45 815
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken		4 172	3 422
Derivatinstrument	Not M17	87 061	89 491
Immateriella tillgångar	Not M19	2 268	1 962
Fastigheter och inventarier	Not M20	2 970	1 150
Uppskjutna skattefordringar	Not M27	425	328
Övriga tillgångar	Not M21	16 713	18 290
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	Not M22	4 792	4 813
Summa tillgångar	Not M33	1 804 704	1 840 088
SKULDER OCH EGET KAPITAL			
Skulder till kreditinstitut	Not M23	182 176	173 533
In- och upplåning från allmänheten	Not M24	827 753	755 066
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		4 271	3 501
Emitterade värdepapper m m	Not M25	648 977	676 950
Derivatinstrument	Not M17	54 401	61 109
Korta positioner	Not M26	1 572	2 416
Aktuella skatteskulder		184	847
Uppskjutna skatteskulder	Not M27	1 066	1 521
Avsättningar	Not M28	429	96
Övriga skulder	Not M29	8 786	13 751
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	Not M30	7 164	9 370
Efterställda skulder	Not M31	33 400	34 216
Summa skulder	Not M33	1 777 260	1 732 376
Obeskattade reserver	Not M32	793	670
Aktiekapital		3 013	2 956
Överkursfond		5 628	3 204
Andra fonder		9 242	9 585
Balanserad vinst		78 159	75 524
Årets resultat		20 600	15 843
Summa eget kapital		116 642	107 112
Summa skulder och eget kapital		1 804 704	1 840 088

Förändring i eget kapital

Moderbolaget

mkr	Bundet eget kapital			Fritt eget kapital					Totalt
	Aktiekapital	Reservfond	Fond för internt utvecklad programvara	Överkurs-fond	Säkrings-reserv ¹	Verkligt värde-reserv ¹	Omräknings-reserv ¹	Balanserade vinstmedel	
Ingående eget kapital 2016	2 956	2 682		3 204	1 349	2 016	3 538	91 367	107 112
Årets resultat								20 600	20 600
Övrigt totalresultat					-1 468	-1 042	401		-2 109
Årets totalresultat					-1 468	-1 042	401	20 600	18 491
Utdelning								-11 442	-11 442
Effekter av konvertibla förlagslån	57			2 424					2 481
Fond för internt utvecklad programvara			1 766					-1 766	
Utgående eget kapital 2018	3 013	2 682	1 766	5 628	-119	974	3 939	98 759	116 642

mkr	Bundet eget kapital			Fritt eget kapital					Totalt
	Aktiekapital	Reservfond		Överkurs-fond	Säkrings-reserv ¹	Verkligt värde-reserv ¹	Omräknings-reserv ¹	Balanserade vinstmedel	
Ingående eget kapital 2015	2 956	2 682		3 203	1 197	1 304	4 595	86 648	102 585
Årets resultat								15 843	15 843
Övrigt totalresultat					152	712	-1 057		-193
Årets totalresultat					152	712	-1 057	15 843	15 650
Utdelning								-11 124	-11 124
Effekter av konvertibla förlagslån	0			1					1
Utgående eget kapital 2016	2 956	2 682		3 204	1 349	2 016	3 538	91 367	107 112

¹ Ingår i fond för verkligt värde.

Under perioden januari-december 2016 hade konvertibla till ett nominellt värde av 2 513 mkr (!) avseende 2008 och 2011 års konvertibla förlagslån konverterats till 37 105 318 A-aktier (18 925). Vid räkenskapsårets slut uppgick antalet egna aktier i handelslaget till 0 aktier (0).

Specifikation av förändringar i eget kapital

Förändring av säkringsreserv		
mkr	2016	2015
Säkringsreserv vid årets ingång	1 349	1 197
Orealiserade värdeförändringar under året	-1 468	152
Omräkningsreserv till resultaträkningen ¹	-	-
Säkringsreserv vid årets utgång	-119	1 349
Förändring av verkligt värdereserv		
mkr	2016	2015
Verkligt värdereserv vid årets ingång	2 016	1 304
Orealiserad marknadsvärdeförändring under året för kvarvarande samt nya innehav	706	745
Omräkningsreserv till resultaträkningen ²	-1 748	-33
Verkligt värdereserv vid årets utgång	974	2 016
Förändring av omräkningsreserv		
mkr	2016	2015
Omräkningsreserv vid årets ingång	3 538	4 595
Förändring av omräkningsdifferens hänförlig till filialer	403	-1 059
Omräkningsreserv till resultaträkningen ³	-2	2
Omräkningsreserv vid årets utgång	3 939	3 538

¹ Skatt som omräkningsreserv till resultaträkningen hänförlig till denna post - (-).

² Skatt som omräkningsreserv till resultaträkningen hänförlig till denna post 121 mkr (63).

³ Skatt som omräkningsreserv till resultaträkningen hänförlig till denna post 0 mkr (0).

KASSAFLÖDESANALYS | MODERBOLAGET

Kassaflödesanalys Moderbolaget

mkr	2016	2015
LÖPANDE VERKSAMHET		
Rörelseresultat	25 206	19 919
varav inbetalda räntor	22 016	29 830
varav utbetalda räntor	-7 118	-8 688
varav inbetalda utdelningar	17 045	11 278
Justering för ej kassaflödespåverkande poster i rörelseresultatet		
Kreditförluster	1 841	1 708
Orsakade värdeförändringar	-2 563	1 418
Av- och nedskrivningar	501	507
Koncernbidrag att erhålla	-12 220	-10 971
Betalda inkomstskatter	-5 281	-4 221
Förändring i den löpande verksamhetens tillgångar och skulder		
Utlåning till kreditinstitut	3 367	-27 847
Utlåning till allmänheten	-31 416	1 722
Räntebärande värdepapper och aktier	-35 879	34 040
Skulder till kreditinstitut	12 303	-35 224
In- och upplåning från allmänheten	75 936	-267 237
Emitterade värdepapper	-27 973	43 823
Derivatinstrument, nettopositioner	-3 578	3 875
Korta positioner	-1 006	-18 187
Fondlikvidförändringar och fondlikvidskulder	-1 781	2 094
Övrigt	-1 924	-30 874
Kassaflöde från löpande verksamhet	-4 197	-286 485
INVESTERINGSVERKSAMHET		
Förvärf av dotterföretag	-408	-
Förvärf av och tillskott till intresseföretag	-19	-62
Förstärkning av aktier och andelar	5 456	3 670
Förstärkning av räntebärande värdepapper	1 000	-
Förvärf av materiella anläggningstillgångar	-2 344	-633
Avyttring av materiella anläggningstillgångar	87	218
Förvärf av immateriella anläggningstillgångar	-508	-447
Avyttring av immateriella anläggningstillgångar	0	-
Kassaflöde från investeringsverksamhet	3 174	2 786
FINANSIERINGSVERKSAMHET		
Amortering efterställda skulder	-2 512	-5 690
Emission efterställda skulder	-	10 082
Utbetalad utdelning	-11 442	-11 124
Utsattningar från koncernföretag	10 971	8 727
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-2 983	1 995
Årets kassaflöde	-4 006	-280 704
Likvida medel vid årets början	202 630	454 532
Kassaflöde från löpande verksamhet	-4 197	-286 455
Kassaflöde från investeringsverksamhet	3 174	2 756
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-2 983	1 995
Kursdifferens i likvida medel	738	28 802
Likvida medel vid årets slut	199 382	202 630

5-årsöversikt Moderbolaget

Resultaträkning mkr	2016	2015	2014	2013	2012
Räntenetto	15 011	15 250	16 082	15 962	16 431
Erhållna utdelningar	17 045	11 978	9 664	8 995	9 152
Provisionsnetto	6 509	6 778	6 112	5 649	5 724
Nettorisultat av finansiella transaktioner	3 076	2 349	1 117	589	3 994
Övriga rörelseintäkter	1 647	1 644	2 188	1 953	758
Summa rörelseintäkter	43 288	37 999	35 163	33 148	36 059
Allmänna administrationskostnader					
Personalkostnader	-10 427	-10 904	-10 441	-9 977	-9 806
Övriga administrationskostnader	-5 224	-5 040	-5 006	-5 075	-5 157
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar	-591	-507	-478	-498	-518
Summa kostnader före kreditförluster	-16 242	-16 451	-15 925	-15 550	-15 483
Resultat före kreditförluster	27 046	21 548	19 238	17 598	20 576
Kreditförluster, netto	-1 730	-1 614	-1 825	-1 189	-1 154
Nedskrivning av finansiella tillgångar	-20	-15	-	-29	-820
Rörelseresultat	25 296	19 919	17 413	16 380	18 602
Bokslutsdispositioner	-193	100	111	4 267	-4 065
Resultat före skatt	25 103	20 019	17 524	20 647	14 537
Skatter	-4 503	-4 176	-3 823	-4 619	-2 985
Årets resultat	20 600	15 843	13 701	16 028	11 552
Utdelning för året	9 721 ¹	11 442	11 124	10 488	6 804
¹ Enligt styrelsens förslag					
Totalresultat mkr	2016	2015	2014	2013	2012
Årets resultat	20 600	15 843	13 701	16 028	11 552
Övrigt totalresultat					
Kassafördelsåtkomster	-1 882	195	3 249	-3 009	2 522
Instrument tillgängliga för försäljning	-1 152	694	295	534	983
Årets omräkningsdifferens	387	-1 155	5 634	879	-10
varav säkring av nett obliggångar i utlandsverksamhet	-65	-444	2 675	907	487
Skatt hänförlig till övrigt totalresultat	538	73	-1 311	307	-962
varav kassafördelsåtkomster	474	-43	-700	656	-808
varav instrument tillgängliga för försäljning	170	78	-14	-67	-248
varav säkring av nett obliggångar i utlandsverksamhet	74	98	-588	-758	-706
Summa övrigt totalresultat	-2 109	-193	7 867	-1 109	2 633
Årets totalresultat	18 491	15 650	21 568	14 920	14 085

5-ÅRSÖVERSIKT | MODERBOLAGET

5-årsöversikt Moderbolaget, forts

Balansräkning mkr	2016	2015	2014	2013	2012
Tillgångar					
Utlåning till allmänheten	763 567	733 988	737 483	685 372	731 967
Utlåning till kreditinstitut	593 125	596 441	568 589	475 440	422 897
Räntebärande värdepapper	154 547	112 410	134 014	112 728	108 198
Övriga tillgångar	363 465	397 219	695 709	533 321	461 704
Summa tillgångar	1 874 704	1 840 058	2 135 796	1 806 861	1 724 768
Skulder och eget kapital					
In- och upplåning från allmänheten	827 753	755 066	1 020 962	814 227	668 683
Skulder till kreditinstitut	189 176	173 533	210 099	226 631	243 332
Emitterade värdepapper	648 977	676 950	633 128	532 607	531 284
Efterställda skulder	33 400	34 216	30 289	15 965	21 167
Övriga skulder	77 963	92 611	138 033	125 900	173 090
Obeskattade reserver	793	570	699	773	5 038
Eget kapital	116 642	107 112	102 585	90 758	82 232
Summa skulder och eget kapital	1 874 704	1 840 058	2 135 796	1 806 861	1 724 768
Nyckeltal	2016	2015	2014	2013	2012
Reserveringsgrad för osäkra fordringar, %	60,1	54,3	46,6	58,0	56,0
Andel osäkra fordringar, %	0,23	0,30	0,36	0,24	0,28
Känpåmarknadsrelation, % enligt CRR	23,4	19,9	18,5		
Primärkapitalrelation, % enligt Basel II				20,5	19,0
Primärkapitalrelation, % enligt CRR	26,3	22,6	20,2		
Kapitaltäckningsgrad, % enligt Basel II				21,4	20,6
Total kapitalrelation, % enligt CRR	30,0	26,1	23,9		
Räntabilitet på totalt kapital, %	0,99	0,74	0,70	0,91	0,64

För definitioner av alternativa nyckeltal hänvisas till sidan 218 och för beräkning av dessa nyckeltal hänvisas till Faldaboken som finns tillgänglig på handelsbanken.se/it.

Noter Moderbolaget

M1 Redovisningsprinciper

Lag- och föreskriftsenlighet

Moderbolagets årsredovisning är upprättad i enlighet med lagen 1995:1559 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅRKL) och Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd FFFS 2008:25 Årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Moderbolaget tillämpar också RFR 2 Redovisning för juridiska personer samt uttalanden från Rådet för finansiell rapportering. I enlighet med Finansinspektionens allmänna råd tillämpar moderbolaget så kallad lagbegränsad IFRS. Det innebär att de internationella redovisningsstandarder och tolkningar av dessa standarder som har antagits av EU har tillämpats i den utsträckning som det är möjligt inom ramen för nationella lagar och föreskrifter samt sambandet mellan redovisning och beskattning.

Sambandet mellan moderbolagets och koncernens redovisningsprinciper

Moderbolagets redovisningsprinciper överensstämmer i stora delar med koncernens. I det följande redogörs endast för de områden där moderbolagets principer skiljer sig från koncernens. I allt övrigt hänvisas till redovisningsprinciperna för koncernen i not K1.

Förändrade redovisningsprinciper

Den 1 januari 2016 trädde föreskrifter (FFFS 2015:20) om ändring i Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd (FFFS 2008:25) om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag ikraft. Den största skillnaden är att belopp motsvarande periodens internt utvecklad programvara överförs från fritt eget kapital till bundet eget kapital i posten Fond för internt utvecklad programvara.

I övrigt är moderbolagets redovisningsprinciper i allt väsentligt desamma som tillämpades för räkenskapsåret 2015.

Presentation

Moderbolaget tillämpar de uppställningsformer för resultat- och balansräkning som följer av ÅRKL och Finansinspektionens föreskrifter. Det innebär främst följande skillnader i förhållande till den uppställning som tillämpas av koncernen:

- Fordringar på centralbanker som är direkt disponibla på anmodan, som i koncernens balansräkning redovisas i posten Övrig utlåning till centralbanker, redovisas i moderbolagets balansräkning som Utlåning till kreditinstitut.
- Broker- och börskostnader redovisas i moderbolaget som Provisionskostnader.

- Erhållna utdelningar redovisas på särskild rad i moderbolagets resultaträkning.
- Resultat vid avyttring av materiella och immateriella anläggningstillgångar redovisas i moderbolaget som övrig intäkt/kostnad.
- Obeskattade reserver, som i koncernen delas upp i egen kapitalandel respektive skatteskuld, redovisas i moderbolaget i en egen balanspost.

Tillgångar och skulder i utländsk valuta

Lån i moderbolaget som säkrar nettolnvesteringar i utlandsverksamhet värderas till historisk anskaffningskurs.

Tillgångar som innehas för försäljning och avvecklad verksamhet

Någon särredovisning av Nettoresultat efter skatt från avvecklad verksamhet sker inte i moderbolagets resultaträkning. I balansräkningen görs inte heller någon särskild uppdelning av Tillgångar som innehas för försäljning.

Aktier och andelar i dotter- och intresseföretag

Aktier och andelar i dotterföretag och intresseföretag värderas till anskaffningsvärde. Varje balansdag prövas alla innehav med avseende på indikationer om nedskrivningsbehov. I de fall värdet har minskat sker nedskrivning till koncernmässigt värde. Eventuella nedskrivningskostnader klassificeras i resultaträkningen som Nedskrivning av finansiella tillgångar. Utdelningar på aktier i dotter- och intresseföretag redovisas som intäkt i resultaträkningen i posten Erhållna utdelningar.

Finansiella garantier

Finansiella garantier i form av borgensförbindelser till förmån för dotter- och intresseföretag, redovisas i moderbolaget som en avsättning i balansräkningen i den utsträckning moderbolaget har ett beifalligt åtagande och betalning sannolikt erfordras för att reglera åtagandet.

Immateriella tillgångar

I moderbolaget görs avskrivningar på Inkrämsgoodwill och andra immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod i enlighet med bestämmelserna i ÅRKL. De kundrelationer som förvärvat gett upphov till, och därmed nyttjandeperioden för Inkrämsgoodwill, är erfarenhetsmässigt mycket långa. Avskrivningstiden är satt till 20 år.

Leasingobjekt

Moderbolaget redovisar finansiella leasingavtal som operationella leasingavtal. Det innebär att tillgångarna redovisas som leasingobjekt med

avskrivningar inom Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar i resultaträkningen. Hyresintäkter redovisas som leasingintäkter inom Räntanettot i resultaträkningen.

Leasingobjekten består huvudsakligen av fordon och maskiner. Leasingobjekten skrivs av under leasingavtalets löptid enligt annuitetsmetoden.

Utdelningar

I posten Erhållna utdelningar redovisas alla erhållna utdelningar i moderbolaget, inklusive utdelningar från dotterföretag och intresseföretag, samt erhållna koncernbidrag. Anticiperad utdelning redovisas endast om moderbolaget har beslutanderätt avseende utdelningens storlek och beslutet har fattats innan publiceringen av de finansiella rapporterna.

Redovisning av pensioner

Moderbolaget tillämpar inte bestämmelserna IAS 19 om redovisning av förmånsbestämda planer. Istället sker beräkning av kalkylmässig pensionskostnad i moderbolaget enligt Tryggandelagens bestämmelser och Finansinspektionens föreskrifter. Det innebär framförallt skillnader i fråga om hur diskonteringsräntan fastställs och att beräkningen av framtida förpliktelse inte tar hänsyn till antaganden om framtida löneökningar. Redovisad nettokostnad för pensioner beräknas som utbetalda pensioner, pensionspremier samt avsättning till pensionsstiftelse, med avräkning för eventuell gottgörelse från pensionsstiftelse. Årets nettokostnad för pensioner redovisas som Personalkostnad i moderbolagets resultaträkning.

Överskjutande belopp till följd av att förvalningstillgångarnas värde överstiger beräknade pensionsförpliktelser redovisas inte som en tillgång i moderbolagets balansräkning. Underskott redovisas som en skuld.

Pensionskassans utfästelser till anställda i dotterbolag garanteras av moderbolaget, det vill säga om Pensionskassan inte skulle kunna betala sina åtaganden så är banken skyldig att ta över och betala åtagandet.

Skatter

I moderbolaget redovisas obeskattade reserver som en egen post i balansräkningen. Obeskattade reserver består av en komponent som utgör uppehålls skatteskuld och en komponent som utgör eget kapital.

NOTER | MODERBOLAGET

M2 Risk- och kapitalhantering

Handelsbankens riskhantering beskrivs i not K2. Specifika uppgifter om moderbolagets risker presenteras nedan. För definitioner se sidan 218.

Kreditrisk

Kreditriskexponeringar mkr	2016	2015
Utlåning till allmänheten ¹	763 567	733 988
varav omvända repor	7 493	7 742
Utlåning till övriga kreditinstitut	567 598	562 323
varav omvända repor	4 088	23 632
Bekräftade statskuldförbindelser m m	94 236	71 436
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	60 311	40 974
Derivatinstrument ²	87 961	89 491
Eventuallåneförbindelser	120 238	120 002
varav garantiförbindelser, krediter	46 633	48 486
varav garantiförbindelser, övriga	69 207	66 860
varav dokumentkrediter	4 398	4 656
Övriga åtaganden	466 044	489 646
varav utnyttjad del av beviljade räkningsskrediter	137 289	128 969
varav kreditförlust	269 583	263 966
varav övrigt	65 172	96 721
Summa	2 189 066	2 107 880
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	199 362	202 630
Övrig utlåning till centralbanker	25 527	34 118
Summa	2 383 944	2 344 608

¹ Av dessa belopp består 926 mkr (1 619) av utlåning som vid första redovisningsstillfället kategoriserats som värderad till verkligt värde via resultaträkningen.

² Avser summa positiva marknadsvärden. Om rättsligt hållbara nettningsavtal beaktas, uppgår exponeringen till 69 963 mkr (83 759).

Utlåning till allmänheten, fördelat på bransch och motpartssektör mkr	2016			2015		
	Utlåning före beaktande av reserveringar	Reserveringar för sannolika kreditförluster	Utlåning efter beaktande av reserveringar	Utlåning före beaktande av reserveringar	Reserveringar för sannolika kreditförluster	Utlåning efter beaktande av reserveringar
Privatpersoner	170 717	-572	170 145	164 386	-605	163 781
Bostadsrättsföreningar	30 181	-8	30 173	21 531	-13	21 518
Fastighetsförvaltning	378 240	-689	377 551	346 029	-690	345 339
Tillverkningsindustri	25 621	-522	25 099	30 766	-1 542	29 224
Handel	19 916	-270	19 646	22 127	-267	21 860
Hotell- och restaurangverksamhet	7 679	-32	7 647	8 061	-29	8 032
Person- och godstransport till sjöss	8 513	-1 244	7 269	9 307	-543	8 764
Övrig transport och kommunikation	7 048	-36	7 012	7 253	-60	7 193
Byggnadsverksamhet	15 321	-161	15 160	12 780	-92	12 688
Elektricitet, gas och vatten	15 514	-39	15 475	16 359	-52	16 307
Jordbruk, jakt och skogsbruk	4 233	-31	4 202	5 281	-15	5 266
Övrig serviceverksamhet	16 310	-113	16 197	16 346	-66	16 280
Holding-, investem-, försäkringsbolag, fonder m m	51 954	-316	51 638	54 707	-282	54 425
Stat, kommun och kommun	1 864	0	1 864	3 012	0	3 012
Övrig företagsutlåning	14 891	-74	14 817	20 651	-93	20 558
Summa utlåning till allmänheten före beaktande av gruppvisa reserveringar	788 002	-4 107	783 895	738 696	-4 340	734 247
Gruppvisa reserveringar för individuellt värderade fordringar			-328			-259
Summa utlåning till allmänheten			783 567	738 696		733 988

Utlåning till allmänheten, fördelat per säkerhet mkr	2016		Kreditriskexponering on balance, fördelat per säkerhet mkr	2016	
	2016	2015		2016	2015
Bostadsrättsigheter ¹	242 297	216 487	Bostadsrättsigheter ¹	242 297	216 487
varav privatpersoner	120 252	107 846	varav privatpersoner	120 252	107 846
Övriga fastigheter	256 283	237 558	Övriga fastigheter	256 283	237 558
Stat, kommun och landsting ²	16 817	12 627	Stat, kommun och landsting ²	244 967	256 477
Borgen ³	9 910	8 025	Borgen ³	10 424	8 518
Finansiella säkerheter	16 963	16 777	Finansiella säkerheter	22 848	40 612
Objektsäkerheter	1 702	0	Objektsäkerheter	1 702	0
Övriga säkerheter	18 689	21 446	Övriga säkerheter	18 689	21 446
Blanko	200 906	221 058	Blanko	752 034	738 927
Summa utlåning till allmänheten	783 667	733 988	Total kreditriskexponering	1 649 244	1 620 026

¹ Inklusiva bostadsrätter.

² Avser direkta statsexponeringar och statagaranter.

³ Inkluderar ej statagaranter.

¹ Inklusiva bostadsrätter.

² Avser direkta statsexponeringar och statagaranter.

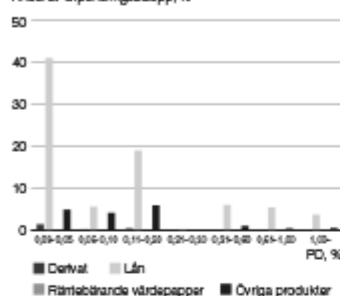
³ Inkluderar ej statagaranter.

NOTER | MODERBOLAGET

Kreditkvalitet

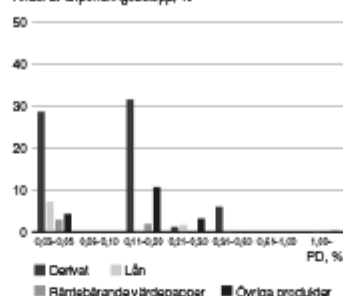
Andel av exponeringsbelopp per produkttyp per PD-intervall exklusive fallerade krediter – Företagsexponeringar

Andel av exponeringsbelopp, %



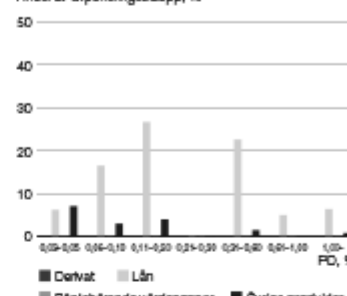
Andel av exponeringsbelopp per produkttyp per PD-intervall exklusive fallerade krediter – Institutexponeringar

Andel av exponeringsbelopp, %



Andel av exponeringsbelopp per produkttyp per PD-intervall exklusive fallerade krediter – Hushållsexponeringar

Andel av exponeringsbelopp, %



Marknadsrisk

Marknadsrisker

mkr	2016	2015
Ränterisk	1 292	1 192
Valutakursrisk ¹	115	36
Aktiekursrisk	152	651
Råvaruprisk	6	5

¹ Värsta utfall av +/-5% förändring av SEK.

Likviditetsrisk

Förtälsanalys för finansiella tillgångar och skulder 2016

Örskningslagens för näringsinsatser utgående och inkommande 2016 mkr	Upp till 1 månad	1-6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Opspecif erad löptid	Summa
Kassa och tillgodehavanden i centralbanker	222 401	-	-	-	-	-	-	222 401
Betalningsbara statskultförbindelser ¹	94 476	-	-	-	-	-	-	94 476
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	60 718	-	-	-	-	-	-	60 718
Utlåning till kreditinstitut	73 131	153 920	98 143	49 894	171 893	34 061	-	581 042
varav omvända repor	4 091	-	-	-	-	-	-	4 091
Utlåning till allmänheten	47 505	141 884	101 594	106 522	210 639	188 853	-	796 997
varav omvända repor	7 493	-	-	-	-	-	-	7 493
Övrigt	21 644	-	-	-	-	-	162 459	184 103
varav aktier och andelar	19 339	-	-	-	-	-	-	19 339
varav fördringar på fondaktier	2 305	-	-	-	-	-	-	2 305
Summa tillgångar	619 875	295 804	199 737	156 416	382 532	222 914	162 459	1 930 737
Skulder till kreditinstitut	97 843	47 403	4 183	311	880	7 044	35 054	192 718
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	0
varav inlåning från centralbanker	30 732	34 439	1 488	-	-	-	1 868	68 587
In- och upplåning från allmänheten	22 495	20 784	5 296	2 817	555	104	775 788	827 839
varav repor	2	-	-	-	-	-	-	2
Emitterade värdepapper ³	101 494	252 762	68 977	43 271	169 063	35 589	-	671 156
varav säkerställda obligationer	-	-	-	-	-	-	-	0
varav certifikat och andra värdepapper med ursprunglig löptid understigande ett år	100 359	219 193	25 088	-	-	-	-	344 640
varav senare obligationer och andra värdepapper med ursprunglig löptid överstigande ett år	1 135	35 569	43 889	43 271	169 063	35 589	-	326 516
Efterställda skulder	389	840	3 059	1 228	32 808	-	-	38 324
Övrigt	4 058	-	-	-	-	-	191 342	195 400
varav korta positioner	1 574	-	-	-	-	-	-	1 574
varav fondlikviditetskulder	2 484	-	-	-	-	-	-	2 484
Summa skulder	228 279	321 789	81 515	47 627	203 306	42 737	1 002 184	1 925 437
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelöften	466 044							

Derivat 2016 mkr	Upp till 1 månad	1-6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Summa
Summa derivat, inflöde	273 083	447 009	87 868	126 283	361 061	118 061	1 413 365
Summa derivat, utflöde	271 713	441 476	85 406	119 385	339 897	114 972	1 372 849
Netto	1 370	6 533	2 462	6 898	21 164	3 089	40 516

¹ Av beloppet (exklusive räntor) har 67 214 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

² Av beloppet (exklusive räntor) har 10 136 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

³ Av beloppet (exklusive räntor) har 415 972 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

För inlåningsvolym avser kolumn "Opspecificerad löptid" inlåning som är betalbar på anfordran. Tabellen innehåller räntelöshetsrisk innebär att balansraderna inte är avstämmningsbara mot moderbolagets balansräkning.

NOTER | MODERBOLAGET

M2 Forts

Förhållande för finansiella tillgångar och skulder 2016 mkr	Upp till 1 månad	1-6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Ospecificerad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	236 752	-	-	-	-	-	-	236 752
Betalningsbara statsskuldförbindelser ¹	71 831	-	-	-	-	-	-	71 831
Obligationer och andra räntebärande värdepapper ²	41 371	-	-	-	-	-	-	41 371
Utlåning till kreditinstitut	116 614	181 433	104 419	73 047	58 721	40 277	-	574 511
varav omvända repor	14 586	8 833	-	-	-	-	-	23 419
Utlåning till allmänheten	47 153	117 069	96 341	115 802	212 769	186 158	-	776 182
varav omvända repor	7 742	-	-	-	-	-	-	7 742
Övrigt	33 874	-	-	-	-	-	160 715	194 589
varav aktier och andelar	29 309	-	-	-	-	-	-	29 309
varav fordringar på fondkivider	4 565	-	-	-	-	-	-	4 565
Summa tillgångar	547 605	290 302	200 780	188 840	271 400	226 436	160 715	1 805 236
Skulder till kreditinstitut	70 184	67 827	1 467	744	903	7 765	28 836	177 726
varav repor	290	-	-	-	-	-	-	290
varav inlåning från centralbanker	13 066	55 291	-	5	-	-	7 333	69 695
In- och upplåning från allmänheten	11 412	44 749	7 666	1 118	716	133	689 421	755 215
varav repor	-	-	-	-	-	-	-	0
Emitterade värdepapper ³	96 520	305 495	51 161	61 908	139 179	45 241	-	699 504
varav säkerställda obligationer	-	-	-	-	-	-	-	0
varav certifikat och andra värdepapper med ursprunglig löptid understigande ett år	95 126	264 533	7 591	-	-	-	-	367 250
varav seniors obligationer och andra värdepapper med ursprunglig löptid överstigande ett år	1 394	40 962	43 570	61 908	139 179	45 241	-	332 254
Efterställda skulder	374	825	2 566	4 226	21 791	10 416	-	40 198
Övrigt	8 946	-	-	-	-	-	191 353	200 299
varav korta positioner	24,22	-	-	-	-	-	-	24,22
varav fondkividskulder	6 524	-	-	-	-	-	-	6 524
Summa skulder	187 436	418 808	62 860	67 908	162 880	63 656	909 610	1 872 042
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelöften	489 646							
Deltat 2016	Upp till	1-6	6-12					
mkr	1 månad	månader	månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Summa	
Summa delvat inflöde	270 753	408 773	77 344	142 412	343 064	135 278		1 377 624
Summa delvat utflöde	270 590	406 014	76 564	138 827	330 024	132 591		1 354 610
Netto	163	2 759	780	3 586	13 040	2 687		23 014

¹ Av beloppet (exklusive räntor) har 25 294 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

² Av beloppet (exklusive räntor) har 6 021 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

³ Av beloppet (exklusive räntor) har 446 340 mkr en återstående löptid som understiger ett år.

För inlåningavolymer avser kolumn "Ospecifierad löptid" inlåning som är betalbar på anfordran. Tabellen innehåller ränteflöden vilket innebär att balansraderna inte är avstämmningsbara mot moderbolagets balansräkning.

NOTER | MODERBOLAGET

M3 Rantenetto

mkr	2016	2015
Räntetäckningar		
Utlåning till kreditinstitut och centralbanker	4 513	4 425
Utlåning till allmänheten	18 424	19 376
Befäringbara statskuldförbindelser m m	229	651
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	783	914
Derivatinstrument	-2 629	-2 387
Övriga räntetäckningar	1 183	1 237
Summa räntetäckningar	22 603	24 216
Varav räntetäckningar redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	506	824
Räntetäckningar enligt resultaträkning	21 097	23 392
Låneintäkter	70	-
Räntekostnader		
Skulder till kreditinstitut och centralbanker	-1 121	-941
In- och upplåning från allmänheten	-1 452	-1 898
Emitterade värdepapper	-9 261	-7 732
Derivatinstrument	7 269	5 188
Efterställda skulder	-1 534	-1 605
Övriga räntekostnader	-1 550	-1 612
Summa räntekostnader	-7 649	-8 600
Varav räntekostnader redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	-584	-548
Räntekostnader enligt resultaträkning	-7 065	-8 142
Räntanetto före avskrivningar enligt plan för finansiella leasingavtal	15 011	15 250
Avskrivningar enligt plan för finansiella leasingavtal	-70	-
Räntanetto efter avskrivningar enligt plan för finansiella leasingavtal	14 941	15 250

Inkluderar räntetäckningar på osäkra fordringar 77 mkr (105). Totala räntetäckningar på tillgångar bokförda till upplupet anskaffningsvärde samt tillgångar som är tillgängliga för försäljning var 24 219 mkr (25 149). Totala räntekostnader på skulder bokförda till upplupet anskaffningsvärde var 14 334 mkr (13 330).

M4 Erhållna utdelningar

mkr	2016	2015
Utdelningar på aktier och andelar	315	705
Utdelningar från intressöfretag	10	8
Utdelningar från koncernöfretag	4 500	294
Erhållna koncernbidrag	12 220	10 971
Summa	17 045	11 978

NOTER | MODERBOLAGET

M5 Provisionsnetto

mkr	2016	2015
Courtage och övriga värdepappersprovisioner	901	1 065
Fonder	1 750	1 837
Dagå och övrig kapitalförvaltning	375	386
Rådgivning	287	276
Betalningar	3 143	3 313
Ut och inlåning	911	849
Garantier	422	421
Övrigt	508	484
Summa provisionsintäkter	8 297	8 831
Värdepapper	-447	-465
Betalningar	-1 286	-1 331
Övrigt	-55	-57
Summa provisionskostnader	-1 788	-1 853
Provisionsnetto	6 509	6 778

M6 Nettoresultat av finansiella transaktioner

mkr	2016	2015
Handel, derivat, valutakursaffärd m.m.	794	1 424
Övriga finansiella instrument till verkligt värde över resultaträkningen	466	-497
varav räntebärande värdepapper	502	-401
varav lån	-36	-95
Finansiella instrument till upplupet omsättningsvärde	134	111
varav lån	174	178
varav skulder	-40	-67
Finansiella instrument tillgängliga för försäljning	1 676	1 203
Säkeringsredovisning		
Säkring av verkligt värde	3	78
varav säkringsinstrument	-29	-59
varav säkrad post	32	137
Ineffektivitet på kassaflödessäkringar	3	30
Summa	3 078	2 340

M7 Övriga rörelseintäkter

mkr	2016	2015
Hyrinntäkter	21	21
Andra rörelseintäkter	1 626	1 623
Summa	1 647	1 644

NOTER | MODERBOLAGET

M8 Personalkostnader

mkr	2016	2015
Löner och avoden	-7 481	-7 340
Socialavgifter	-1 775	-1 710
Pensionskostnader ¹	-546	-573
Avättning till vinstandelsförsäkring	14	-816
Andra personalkostnader	-639	-465
Summa	-10 427	-10 904

¹ Uppgift om pensionskostnaderna visas i not M3B.

Löner och avoden mkr	2016	2015
Ledande befattningshavare ² , 26 personer (28)	-101	-112
Övriga	-7 380	-7 228
Summa	-7 481	-7 340

² Executive Directors och styrelsen.

Könsfördelning %	2016		2015	
	Män	Kvinnor	Män	Kvinnor
Styrelse	50	50	67	33
Executive Directors	69	31	79	21

Medeltal anställda	2016	Män	Kvinnor	2015	Män	Kvinnor
Sverige	6 575	3 078	3 497	6 759	3 166	3 593
Storbritannien	1 940	1 145	795	1 779	1 060	719
Norge	729	403	326	744	415	329
Danmark	652	330	322	673	354	319
Finland	534	215	309	527	219	308
USA	60	38	22	71	46	25
Nederländerna	207	140	67	170	109	61
Luxemburg	55	33	22	62	36	26
Tyskland	43	22	21	53	30	23
Kina	71	26	45	70	29	41
Polen	40	14	26	41	15	26
Singapore	40	11	29	39	12	27
Övriga länder	56	20	36	73	27	46
Summa	10 992	5 478	5 517	11 081	5 518	5 563

Information om principer avseende anställningar till ledande befattningshavare i moderbolaget framgår av not K8.

M9 Övriga administrationskostnader

mkr	2016	2015
Fastigheter och lokaler	-1 372	-1 374
Externa datakostnader	-1 625	-1 540
Kommunikation	-293	-317
Resor och marknadsföring	-264	-289
Köpta tjänster	-1 032	-898
Materialanskaffning	-160	-168
Andra omkostnader	-478	-445
Summa	-5 224	-5 040
Värdkostnader avseende operationell leasing		
Minimileasingavgift	-584	-571
Variabel avgift	-78	-74
Summa	-762	-745

Operational leasing är främst hänförligt till för verksamheten normala avtal avseende kontorslokaler och kontorsutrustning. Hyreskostnader avseende lokaler har normalt en variabel avgift knuten till inflation och fastighetsskatt. Kostnaden för det enskilt största leasingavtalet uppgick under 2016 till cirka 180 mkr (172), inget av de största leasingavtalen köper med variabel avgift.

Erättning till revisorer och revisionsbolag mkr	KPMG		Ernst & Young AB	
	2016	2015	2016	2015
Revisionsuppdraget	-9	-9	-4	-4
Revisionsverksamhet utöver revisionsuppdraget	-3	-2	-	-
Skattberedning	-	-	-	-
Övriga tjänster	-	-	-	-

NOTER | MODERBOLAGET

M10 Kreditförluster

mkr	2016	2015
Specifik reservering för individuellt värderade fordringar		
Årets reservering	-1 861	-1 798
Återfört från tidigare gjorda reserveringar	362	321
Summa	-1 499	-1 477
Gruppvis reservering		
Årets nettoreservering för individuellt värderade fordringar	-62	1
Årets nettoreservering för homogena fordringar	-	-
Summa	-62	1
Poster utanför balansräkningen		
Förluster på poster utanför balansräkningen	-27	-24
Återfört av förluster på poster utanför balansräkningen	7	40
Förändring i kollektiv avsättning för poster utanför balansräkningen	-26	-33
Summa	-46	-17
Bortskrivningar		
Årets konstaterade kreditförluster	-2 061	-851
Utryttad andel av tidigare reserveringar	1 828	633
Återvinningar	110	97
Summa	-123	-121
Kreditförluster, netto	-1 730	-1 614
Osäkra fordringar m m		
mkr	2016	2015
Osäkra fordringar	7 381	8 480
Specifika reserveringar för individuellt värderade fordringar	-4 107	-4 349
Reserveringar för gruppvis värderade homogena grupper av fordringar med begränsat värde	-	-
Gruppvisa reserveringar för individuellt värderade fordringar	-328	-259
Osäkra fordringar, netto	2 946	3 872
Total reserveringsgrad för osäkra fordringar, %	60,1	54,3
Andel osäkra fordringar, %	0,23	0,30
Reserveringsgrad avseende gruppvisa reserveringar, %	55,6	51,3
Fordringar förbalkade sedan mer än 60 dagar, som inte är osäkra	731	866
Osäkra fordringar som under året omklassificerats till normalån	4	167

Fordringar klassificeras som osäkra om kontrollerade kassaflöden sannolikt inte kommer att fullgöras. Varje fordran som ger upphov till specifik reservering ingår i osäkra fordringar med sitt fulla belopp även om delar täcks av säkerheter. Det innebär att reserveringsgraden ej beaktar erhållna säkerheter. För övriga definitioner se sidan 218.

Förändring av reserv för sannolika kreditförluster 2016				
mkr	Reserv för individuellt värderade fordringar	Gruppvis reserv för individuellt värderade fordringar	Reserv gruppvis värderade homogena fordringar	Summa reserv för sannolika kreditförluster
Reserv vid årets ingång	-4 340	-259	-	-4 608
Årets reservering	-1 861	-62	-	-1 923
Återfört från tidigare reserveringar	362	-	-	362
Utryttat för konstaterade förluster	1 828	-	-	1 828
Valutaeffekt m m	-87	-7	-	-94
Reserv vid årets utgång	-4 107	-328	-	-4 435
Förändring av reserv för sannolika kreditförluster 2015				
mkr	Reserv för individuellt värderade fordringar	Gruppvis reserv för individuellt värderade fordringar	Reserv gruppvis värderade homogena fordringar	Summa reserv för sannolika kreditförluster
Reserv vid årets ingång	-3 504	-266	-	-3 860
Årets reservering	-1 798	-	-	-1 798
Återfört från tidigare reserveringar	321	1	-	322
Utryttat för konstaterade förluster	633	-	-	633
Valutaeffekt m m	89	6	-	95
Reserv vid årets utgång	-4 340	-259	-	-4 608

NOTER | MODERBOLAGET

Odelräfordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 60 dagar, sektor- och branschfördelade 2016 mkr	Odelräfordringar			Varav förfallna sedan 60 dagar	Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är odelrä
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Privatpersoner	1 076	-572	504	232	413
Bostadslånefordringar	13	-8	5	5	-
Fachighetsförvaltning	1 786	-689	1 097	259	220
Tillverkningsindustri	719	-522	197	26	18
Handel	457	-270	187	45	0
Hotell- och restaurangverksamhet	96	-32	64	63	6
Person- och godstransport till sjöss	1 849	-1 244	605	0	-
Övrig transport och kommunikation	52	-36	16	7	5
Byggnadsverksamhet	269	-161	108	47	13
Elektricitet, gas och vatten	68	-39	29	4	8
Jordbruk, jakt och skogsbruk	53	-31	22	11	2
Övrig serviceverksamhet	214	-113	101	94	18
Holding-, investment-, försäkringsbolag, fonder m m	601	-316	285	30	6
Övrig finlagsutlåning	128	-74	54	14	22
Kreditinstitut	-	-	-	-	-
Summa	7 381	-4 107	3 274	807	731

Odelräfordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 60 dagar, sektor- och branschfördelade 2016 mkr	Odelräfordringar			Varav förfallna sedan 60 dagar	Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är odelrä
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Privatpersoner	1 100	-605	495	330	427
Bostadslånefordringar	14	-13	1	1	2
Fachighetsförvaltning	1 926	-690	1 236	400	127
Tillverkningsindustri	2 103	-1 542	561	49	21
Handel	394	-267	127	74	4
Hotell- och restaurangverksamhet	116	-29	87	85	168
Person- och godstransport till sjöss	1 734	-543	1 191	0	-
Övrig transport och kommunikation	78	-60	18	16	8
Byggnadsverksamhet	149	-92	57	40	77
Elektricitet, gas och vatten	73	-52	21	5	-
Jordbruk, jakt och skogsbruk	34	-15	19	3	0
Övrig serviceverksamhet	101	-66	35	27	15
Holding-, investment-, försäkringsbolag, fonder m m	500	-282	218	74	17
Övrig finlagsutlåning	158	-93	65	39	0
Kreditinstitut	-	-	-	-	-
Summa	8 480	-4 349	4 131	1 143	886

¹ Redovisat värde efter beaktande av specifika reserveringar för individuellt värderade fordringar och reserveringar för gruppvis värderade fordringar, men exklusive gruppvisa reserveringar för fordringar som värderas individuellt.

Odelräfordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 60 dagar, geografiskt fördelade 2016 mkr	Odelräfordringar			Varav förfallna sedan 60 dagar	Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är odelrä
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Sverige	1 889	-1 092	797	347	87
Norge	510	-315	195	36	200
Finland	723	-539	184	46	199
Danmark	2 866	-1 704	1 162	173	9
Storbritannien	1 108	-326	782	146	206
Nordtyskland	3	-1	2	-	-
Övriga Europa	169	-92	77	74	30
Nordamerika	-	-	-	-	-
Asien	113	-38	75	75	-
Summa	7 381	-4 107	3 274	807	731

Odelräfordringar och fordringar som är förfallna sedan mer än 60 dagar, geografiskt fördelade 2016 mkr	Odelräfordringar			Varav förfallna sedan 60 dagar	Fordringar förfallna sedan mer än 60 dagar, som inte är odelrä
	Brutto	Reserver	Netto ¹		
Sverige	3 019	-2 014	1 005	376	124
Norge	208	-130	78	46	159
Finland	826	-637	189	96	343
Danmark	2 797	-1 035	1 762	214	17
Storbritannien	1 436	-447	989	307	168
Nordtyskland	2	-1	1	-	-
Övriga Europa	192	-85	107	104	53
Nordamerika	-	-	-	-	-
Asien	-	-	-	-	2
Summa	8 480	-4 349	4 131	1 143	886

¹ Redovisat värde efter beaktande av specifika reserveringar för individuellt värderade fordringar och reserveringar för gruppvis värderade fordringar, men exklusive gruppvisa reserveringar för fordringar som värderas individuellt.

NOTER | MODERBOLAGET

M10 Forts

Förtälningsstruktur avseende förtälningsfordringar som inte är osäkra 2016	Utlåning till kreditinstitut	Utlåning till allmänheten			Summa
		Hushåll	Företag	Övrigt	
mkr					
Förtälnings ≥ 5 dagar ≤ 1 månad	-	454	458	-	912
Förtälnings > 1 månad ≤ 2 månader	-	122	59	-	181
Förtälnings > 2 månader ≤ 3 månader	-	48	79	-	127
Förtälnings > 3 månader ≤ 12 månader	-	288	63	-	351
Förtälnings > 12 månader	-	330	58	-	388
Summa	-	1 242	717	-	1 959

Förtälningsstruktur avseende förtälningsfordringar som inte är osäkra 2015	Utlåning till kreditinstitut	Utlåning till allmänheten			Summa
		Hushåll	Företag	Övrigt	
mkr					
Förtälnings ≥ 5 dagar ≤ 1 månad	-	554	447	-	1 001
Förtälnings > 1 månad ≤ 2 månader	-	92	58	-	150
Förtälnings > 2 månader ≤ 3 månader	-	56	18	-	74
Förtälnings > 3 månader ≤ 12 månader	-	184	103	-	287
Förtälnings > 12 månader	-	269	236	-	505
Summa	-	1 155	862	-	2 017

Tillgångar övertagna för skyddande av fordran	mkr		2016	2015
Fartigheter			343	429
Lös egendom			-	-
Aktier och andelar			-	-
Redovisat värde			343	429

M11 Bokslutsdispositioner

mkr	2016	2015
Förändring av överavskrivning inventarer och leasingobjekt	-306	-12
Förändring av överavskrivning inköpsgoodwill	113	112
Summa	-193	100

M12 Utlåning till kreditinstitut

mkr	2016	2015
Utlåning i svenska kronor		
Banker	12 205	18 007
Övriga kreditinstitut	326 012	374 441
Summa	407 217	392 448
Utlåning i utländsk valuta		
Banker	35 997	38 630
Övriga kreditinstitut	149 911	165 363
Summa	185 908	203 993
Sannolika kreditförluster	-	-
Summa utlåning till kreditinstitut	593 125	596 441
Varav omvända repor	4 088	23 632
Varav efterställda	21 778	20 778
Medskrymmer		
mkr	2016	2015
Utlåning till kreditinstitut i svenska kronor	456 108	402 776
Utlåning till kreditinstitut i utländsk valuta	188 329	223 201
Summa	644 437	625 977
Varav omvända repor	19 986	44 394

NOTER | MODERBOLAGET

M13 Utlåning till allmänheten

mk	2016	2015
Utlåning i svenska kronor		
Hushåll	41 651	45 414
Förstag	159 437	160 665
Riksgälden	982	3 338
Summa	202 070	218 417
Utlåning i utländsk valuta		
Hushåll	151 342	130 295
Förstag	414 591	380 884
Riksgälden	-	-
Summa	565 933	510 179
Sannolika kreditförluster	-4 436	-4 606
Summa utlåning till allmänheten	763 567	733 988
Värav omvärmda repor	7 423	7 742
Värav efterställda	1 200	1 129
Modervolymer, exkl Riksgälden		
mk	2016	2015
Utlåning till allmänheten i svenska kronor	223 046	238 526
Utlåning till allmänheten i utländsk valuta	547 871	519 176
Summa	770 917	747 702
Värav omvärmda repor	14 171	18 458

M14 Räntebärande värdepapper

mk	2016			2015		
	Nominalt värde	Verkligt värde	Redovisat värde	Nominalt värde	Verkligt värde	Redovisat värde
Bekräftade värdepapper emitterade av stat	92 735	94 236	94 236	56 715	59 135	59 135
Bekräftade värdepapper emitterade av andra	-	-	-	12 326	12 301	12 301
Summa bekräftade statsskuldförbindelser m m	92 735	94 236	94 236	69 041	71 436	71 436
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	58 606	60 311	60 311	39 252	40 974	40 974
Summa räntebärande värdepapper	151 341	154 547	154 547	108 293	112 410	112 410
Värav onoterade värdepapper		255	255		364	364
Räntebärande värdepapper fördelade på emittent	2016			2015		
mk	Nominalt värde	Verkligt värde	Redovisat värde	Nominalt värde	Verkligt värde	Redovisat värde
Stat	92 735	94 236	94 236	56 715	59 135	59 135
Kreditinstitut	24 351	24 602	24 602	5 994	7 756	7 756
Bostadsinstitut	32 026	33 418	33 418	27 638	29 803	29 803
Övrigt	2 229	2 291	2 291	17 946	15 716	15 716
Summa	151 341	154 547	154 547	108 293	112 410	112 410
Modervolymer						
mk	2016			2015		
Räntebärande värdepapper	158 658			140 304		

M15 Aktier och andelar

mk	2016	2015
Innehav värderade till verkligt värde över resultaträkningen		
Noterade	12 126	18 964
Ikke noterade	5 595	3 792
Summa	17 721	22 756
Innehav klassificerade som tillgängliga för försäljning		
Noterade	-	4 667
Ikke noterade	1 618	1 886
Summa	1 618	6 553
Summa aktier och andelar	19 339	29 309

NOTER | MODERBOLAGET

M16 Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag

Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag mkr	2018	2015
Intresseföretag, lika-noterade	117	104
Koncernföretag, lika-noterade	46 246	45 711
Summa	46 363	45 815

Intresseföretag	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Ägarandel %	Redovisat värde, mkr	
					2018	2015
Bankomat AB	556817-9716	Stockholm	150	20,00	67	55
Bankomatcentralen AB	556197-2265	Stockholm	1 100	21,89	0	0
BDB Bankernas Depå AB	556695-3567	Stockholm				7
BGC Holding AB	556607-0993	Stockholm	25 382	25,38	4	4
Finansial ID-teknik BID AB	556630-4028	Stockholm	12 735	28,30	24	24
Getawish AB	556913-7382	Stockholm	10 000	20,00	21	13
Upplysningscentralen UC AB	556137-5113	Stockholm	2 448	24,48	1	1
Summa					117	104

Koncernföretag	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Ägarandel %	Redovisat värde, mkr	
					2018	2015
Handelsbanken Finans AB ¹	556053-0841	Stockholm	1 550 000	100	11 672	11 672
Kredit-Inkasso AB	556069-3185	Stockholm		100		
Handelsbanken Rahotus Oy	0112308-8	Helsingfors		100		
Kredit-Inkasso AB	955074203	Frederikstad		100		
Handelsbanken Finans (Shanghai) Financial Leasing Co., Ltd	310101717882194	Shanghai		100		
Stadshypotek AB ¹	556459-6715	Stockholm	162 000	100	26 870	26 870
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB	556070-0683	Stockholm	10 000	100	1	1
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	Stockholm		100		
Handelsinvest Investeringsförvaltning A/S	12990879	Köpenhamn		100		
Handelsbanken Fondbolag Ab	1105019-3	Helsingfors		100		
Handelsbanken Kapitalförvaltning AB	973194860	Oslo		100		
Xact Kapitalförvaltning AB	556997-8140	Stockholm		100		
Handelsbanken Liv Försäkrings AB	516401-8284	Stockholm	100 000	100	6 189	6 189
SHB Liv Försäkringsaktieföretag	2478149-7	Helsingfors		100		
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	Stockholm		100		
AB Handel och Industri	556013-5336	Stockholm	100 000	100	104	104
Heartwood Wealth Management Limited	4132340	London	1 319 206	100	492	548
Optimix Vermogensbeheer N.V	33194359	Amsterdam	10 209	100	613	
Övriga dotterbolag						
EPN Ekonomikanalen AB	556990-1608	Stockholm	100	100	0	0
Ejendomsselskabet af 1. maj 2009 A/S	59173812	Hillared	2 700 000	100	200	200
Fowa AS	945812141	Oslo	4 000 000	100	1	1
Handelsbanken Markets Securities, Inc. ¹	11-3257438	New York	1 000	100	37	57
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	Stockholm	1 500	100	31	31
Lokalbolig A/S	78488018	Hillared	540 000	62,79	1	1
Rådshusplads 4 AS	910508423	Bergen	40 000	100	0	0
SL (Nominees) Limited	1932320	London	100	100	-	-
Svenska Handelsbanken Representações (Brasil) Ltda	15.367.073/001-93	São Paulo				2
Svenska Property Nominees Limited	2308524	London	100	100	-	-
Svenska Ra S.A.	RCS Lux B-32053	Luxemburg	20 000	100	35	35
Lila stugan i Stockholm AB	556993-9084	Stockholm	50	100	0	0
Blå stugan i Stockholm AB	556993-9357	Stockholm	50	100	0	0
Ecster AB	556993-2311	Stockholm	50	100	0	0
Summa					46 246	45 711

Förteckningen över koncernföretag omfattar direktägda dotterbolag samt större dotterbolag till dessa.

¹ Kreditinstitut.

M17 Derivatinstrument

mkr	Nominellt belopp/Köptid			Nominellt belopp		Positiva marknadsvärden		Negativa marknadsvärden	
	upp till 1 år	mer än 1 år upp till 5 år	mer än 5 år	2016	2015	2016	2015	2016	2015
Derivat för handel									
Ränterelaterade kontrakt									
Optioner	22 293	43 403	5 299	70 995	130 609	522	1 378	589	1 435
FRA/terminer	386 466	237 927	-	624 393	708 932	141	476	123	510
Swappar	465 867	1 449 534	374 307	2 289 708	2 191 650	42 281	46 427	42 904	47 249
Valutarelaterade kontrakt									
Optioner	53 191	1 702	31	54 924	75 879	620	471	764	700
Terminar	95 304	5 316	352	100 972	126 202	1 730	1 669	1 390	1 703
Swappar	478 857	232 375	47 287	758 519	859 588	23 692	19 982	25 262	20 973
Aktierelaterade kontrakt									
Optioner	10 193	17 826	156	28 175	30 611	1 486	2 032	2 006	2 656
Terminar	1 129	-	-	1 129	2 779	13	1	15	32
Swappar	18 311	1 790	29	20 130	56 888	420	1 245	961	1 641
Råvarurelaterade kontrakt									
Optioner	105	329	85	519	2 354	10	250	276	537
Terminar	15 590	3 692	-	19 282	16 696	576	940	601	899
Kreditrelaterade kontrakt									
Swappar	2 360	6 725	546	9 631	9 909	386	458	113	247
Summa	1 649 688	2 000 619	428 062	3 978 377	4 212 047	71 877	76 329	76 004	78 682
Derivat för marknadsvärdesräkningar									
Ränterelaterade kontrakt									
Swappar	-	35 309	1 274	36 583	1 512	50	-	82	1
Summa	-	35 309	1 274	36 583	1 512	50	-	82	1
Derivat för kassaflödesräkningar									
Ränterelaterade kontrakt									
Swappar	49 678	213 770	40 942	304 390	274 755	8 919	10 114	2 313	1 990
Valutarelaterade kontrakt									
Swappar	173 028	165 727	19 612	358 367	205 834	33 269	27 988	2 949	4 177
Summa	222 706	379 497	60 554	662 757	480 589	42 188	38 102	5 262	6 167
Summa derivatinstrument	1 772 372	2 416 425	489 620	4 677 717	4 694 148	114 115	113 431	80 348	84 780
Varav börshandlade derivat				347 442	233 328	488	490	1 426	1 673
Varav OTC-derivat clearade via CCP				1 374 610	1 030 386	12 669	2 106	13 997	1 463
Varav OTC-derivat ej clearade via CCP				2 955 665	3 430 434	100 958	110 835	64 925	81 674
Kvittade belopp				-1 747 179	-1 414 478	-27 054	-23 940	-25 857	-23 641
Nettobelopp				2 930 538	3 279 670	87 061	89 491	54 491	61 139
Valuterördelning av marknadsvärden									
SEK						-104 444	1 216	26 934	143 198
USD						326 911	223 628	7 608	-43 334
EUR						97 397	76 434	60 462	8 840
Övriga						-205 739	-187 847	-14 656	-23 954
Summa						114 115	113 431	80 348	84 780

I noten presenteras derivatkontrakt brutto. Kvittade belopp består av del kvittade marknadsvärden och tillhörande nominella belopp på kontrakt för vilka det finns en legal rätt och avsikt att reglera avtalade kassaflöden netto (därjämte clearade kontrakt). Dessa kontrakt nettoredo visas i balansräkningen per motpart och valuta.

Positiva skillnader mellan det värde som räknats fram med en värderingsmodell vid det första redovisningsstillfället och transaktionspriset (dag 1-resultat) periodiseras över derivatets köptid. Vid årsskiftet uppgick sådana ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 585 mkr (539).

NOTER | MODERBOLAGET

M18 Kvittning av finansiella instrument

2016 mkr	Deltat	Återköpsavtal samt ut- låning av värdepapper	Totalt
Finansiella tillgångar som är föremål för kvittning, nettingsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	114 115	13 427	127 542
Kvittade belopp	-27 054	-1 030	-28 084
Redovisat värde i balansräkningen	87 061	12 397	99 458
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettingsavtal	-20 643	-	-20 643
Mottagna finansiella säkerheter	-42 238	-12 397	-54 635
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-62 881	-12 397	-75 278
Nettobelopp	24 180	-	24 180
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettingsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	80 348	1 032	81 380
Kvittade belopp	-25 857	-1 030	-26 887
Redovisat värde i balansräkningen	54 491	2	54 493
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettingsavtal	-20 643	-	-20 643
Ställda finansiella säkerheter	-3 807	-2	-3 809
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-24 450	-2	-24 452
Nettobelopp	30 041	-	30 041

2015 mkr	Deltat	Återköpsavtal samt ut- låning av värdepapper	Totalt
Finansiella tillgångar som är föremål för kvittning, nettingsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	113 431	32 053	145 484
Kvittade belopp	-23 940	-	-23 940
Redovisat värde i balansräkningen	89 491	32 053	121 544
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettingsavtal	-25 660	-	-25 660
Mottagna finansiella säkerheter	-35 678	-31 815	-67 493
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-61 338	-31 815	-93 153
Nettobelopp	28 153	238	28 391
Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettingsavtal eller liknande avtal			
Bruttobelopp	84 750	290	85 040
Kvittade belopp	-23 641	-	-23 641
Redovisat värde i balansräkningen	61 109	290	61 399
Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen			
Finansiella instrument, nettingsavtal	-25 660	-	-25 660
Ställda finansiella säkerheter	-6 614	-290	-6 904
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-32 274	-290	-32 564
Nettobelopp	28 835	-	28 835

M19 Immateriella tillgångar

2016 mkr	Inköps- goodwill	Internt utvecklad programvara	Totalt 2016
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 068	1 816	3 884
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	85	513	598
Avyttringar och utgångar	-	-88	-88
Valutaeffekt	128	-10	118
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 281	2 231	4 512
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-1 510	-412	-1 922
Avyttringar och utgångar	-	88	88
Årets avskrivningar enligt plan	-172	-140	-312
Årets nedskrivningar	-	-1	-1
Valutaeffekt	-97	0	-97
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-1 779	-465	-2 244
Redovisat värde	502	1 766	2 268

2015 mkr	Inköps- goodwill	Internt utvecklad programvara	Totalt 2015
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 170	1 460	3 630
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar	-	447	447
Avyttringar och utgångar	-	-88	-88
Valutaeffekt	-102	-3	-105
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 068	1 816	3 884
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-1 471	-354	-1 825
Avyttringar och utgångar	-	88	88
Årets avskrivningar enligt plan	-113	-130	-243
Årets nedskrivningar	-	-17	-17
Valutaeffekt	74	1	75
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-1 510	-412	-1 922
Redovisat värde	508	1 404	1 912

NOTER | MODERBOLAGET

M20 Fastigheter, inventarier och leasingobjekt

Fastigheter, inventarier och leasingobjekt mkr	2018	2016
Inventarier	681	598
Fastigheter	125	123
Leasingobjekt	1 821	-
Egendom överlragen för skyddande av fordran	343	429
Summa	2 970	1 150

I posten Egendom överlragen för skyddande av fordran ingår fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde i enlighet med koncernens redovisningsprinciper för tillgångar som övertagits för skydd av fordran, se not K1. Det verkliga värdet på fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 343 mkr (429). Omräknade värdeförändringar på dessa fastigheter har påverkat årets resultat med -7 mkr (5). Värdering av privatboende bygger i all väsentlighet på marknadsobservationer av jämförbara fastighetsköp på den aktuella orten. Värdering av kommersiella fastigheter bygger på diskontering av framtida kassaflöden och baseras på antaganden om bland annat hyresnivå, vakansgrad, drift- och underhållskostnader, direktavkastningskrav och kalkyltänk. I värderingen tas även hänsyn till fastighetens skick, ålder och alternativanvändning. Banken har som princip att alltid använda en oberoende godkänd värderingsman vid värdering av affärs- och kontorfastigheter samt industrifastigheter. Värdering som enbart bygger på marknadsobservationer (330 mkr) klassificeras som nivå 2 i den värderingshierarkin som beskrivs i not K40. Värdering som har ett väsentligt inslag av egna antaganden (3 mkr) klassificeras som nivå 3 i värderingshierarkin. Omräknade värdeförändringar i nivå 3 avseende fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde har påverkat årets resultat med -2 mkr (4). Årets försäljning av fastigheter som återkommande värderas till verkligt värde uppgår till 82 mkr (167) varav 2 mkr (8) var klassade som nivå 3 innan försäljningen. Nya fastigheter har tillkommit under året med 40 mkr (142) varav 0 mkr (3) klassats som nivå 3.

Inventarier mkr	2018	2016
Anskaffningsvärde vid ingången av året	1 562	1 332
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	352	290
Omklassifisering från annan balanspost	-	195
Avyttringar och utrangeringar	-22	-218
Valutaeffekt	4	-37
Anskaffningsvärde vid utgången av året	1 896	1 562
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-964	-880
Årets avskrivningar enligt plan	-250	-246
Omklassifisering från annan balanspost	-	-83
Avyttringar och utrangeringar	20	217
Valutaeffekt	-11	28
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-1 215	-964
Redovisat värde	681	598

Fastigheter mkr	2018	2016
Anskaffningsvärde vid ingången av året	203	190
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	-	-
Ny- och ombyggnation	8	14
Avyttringar och utrangeringar	-1	-1
Anskaffningsvärde vid utgången av året	210	203
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-80	-75
Årets avskrivningar enligt plan	-6	-5
Årets nedskrivningar	0	-
Avyttringar och utrangeringar	1	0
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-85	-80
Redovisat värde	125	123

Leasingobjekt mkr	2018	2016
Anskaffat genom rörelseförvärv under året	3 352	-
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	100	-
Avyttringar och utrangeringar	-64	-
Valutaeffekt	-99	-
Anskaffningsvärde vid utgången av året	3 289	-
Akkumulerade avskrivningar genom rörelseförvärv under året	-1 482	-
Årets avskrivningar enligt plan	-72	-
Årets nedskrivningar	-	-
Avyttringar och utrangeringar	42	-
Valutaeffekt	44	-
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-1 468	-
Redovisat värde	1 821	-

Fördelning av framtida minimileasavgifter på förfallotidpunkter mkr	Inom 1 år	Mellan 1 och 5 år	Senare än 5 år	Summa
2018				
Fördelning av framtida minimileasavgifter	146	1 503	472	2 121

NOTER | MODERBOLAGET

M21 Övriga tillgångar

mk	2016	2015
Fondlikvidfordringar	2 305	4 565
Övrigt	14 408	13 734
Summa	16 713	18 299

M22 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter

mk	2016	2015
Upplupna räntesintäkter	2 799	2 784
Övriga upplupna intäkter	1 421	1 882
Förutbetalda kostnader	582	147
Summa	4 792	4 813
Varav offertställda	27	31

M23 Skulder till kreditinstitut

mk	2016	2015
Skulder i svenska kronor		
Banker	29 082	16 705
Övriga kreditinstitut	13 623	14 408
Summa	42 706	31 203
Skulder i utländsk valuta		
Banker	141 478	138 209
Övriga kreditinstitut	4 993	4 121
Summa	146 471	142 330
Summa skulder till kreditinstitut	189 178	173 533
Varav repor	-	290
Modelvolymer		
mk	2016	2015
Skulder till kreditinstitut i svenska kronor	123 664	119 605
Skulder till kreditinstitut i utländsk valuta	145 425	156 387
Summa	269 089	276 002
Varav repor	562	2 915

NOTER | MODERBOLAGET

M24 In- och upplåning från allmänheten

Inlåning från allmänheten mkr	2016	2015
Inlåning i svenska kronor		
Hushåll	294 104	260 839
Förstag	189 434	184 483
Riksgälden	-	-
Summa	483 538	445 322
Inlåning i utländsk valuta		
Hushåll	92 717	74 640
Förstag	206 325	179 500
Riksgälden	-	-
Summa	299 042	254 140
Summa inlåning från allmänheten	782 580	699 462
Upplåning från allmänheten mkr	2016	2015
Upplåning i svenska kronor	17 959	20 967
Upplåning i utländsk valuta	27 213	34 637
Summa	45 172	55 604
Vänav repor	-	-
Summa in- och upplåning från allmänheten	827 752	755 066
Modervolymer mkr	2016	2015
Inlåning från allmänheten		
Inlåning från allmänheten i svenska kronor	467 410	426 374
Inlåning från allmänheten i utländsk valuta	294 284	294 120
Summa	761 694	720 494
Upplåning från allmänheten		
Upplåning från allmänheten i svenska kronor	32 535	36 511
Upplåning från allmänheten i utländsk valuta	189 857	250 208
Summa	222 392	286 719
Vänav repor	7 706	8 552

NOTER | MODERBOLAGET

M25 Emitterade värdepapper

mkr	2018		2018	
	Nominellt belopp	Redovisat värde	Nominellt belopp	Redovisat värde
Certifikat				
Certifikat i svenska kronor	3 400	3 701	6 371	6 594
Varav				
till upplupet anskaffningsvärde	-	-	400	400
för handels	3 400	3 701	5 971	6 194
Certifikat i utländsk valuta	356 665	361 868	355 748	364 060
Varav				
till upplupet anskaffningsvärde	354 094	359 807	354 306	362 373
för handels	1 671	2 061	1 442	1 686
Summa	360 074	365 569	362 119	370 654
Obligationsskuld				
Obligationsskuld i svenska kronor	17 113	17 021	18 472	18 234
Varav				
till upplupet anskaffningsvärde	17 113	17 021	18 472	18 234
för marknadsvärdesökningar	-	-	-	-
Obligationsskuld i utländsk valuta	266 537	266 387	268 201	268 053
Varav				
till upplupet anskaffningsvärde	266 537	266 387	268 201	268 053
för marknadsvärdesökningar	-	-	-	-
Summa	283 650	283 408	306 673	306 287
Summa emitterade värdepapper	643 724	648 977	668 792	676 941

mkr	2018	2018
Emitterade värdepapper vid årets ingång	676 950	633 128
Emitterade	1 094 335	971 633
Återköpta	-10 440	-15 839
Förtälna	-1 137 150	-931 645
Valutaeffekter m.m.	25 282	19 673
Emitterade värdepapper vid årets utgång	648 977	676 941

Måttvolymen	2018	2018
mkr		
Svenska kronor	22 981	26 993
Utländsk valuta	670 628	628 679
Summa	693 609	655 672

M26 Korta positioner

mkr	2018	2018
Korta positioner värderade till verkligt värde		
Aktier	1 346	1 499
Räntelärande värdepapper	226	917
Summa	1 572	2 416

Måttvolymen	2018	2018
mkr		
Svenska kronor	13 701	17 879
Utländsk valuta	312	263
Summa	14 013	18 142

M27 Skatter

Uppskjutna skattefordringar mkr	2016	2015
Fastigheter och inventarier	11	16
Säkringsinstrument	221	202
Övrigt	193	106
Summa	425	324

Uppskjutna skattekulder mkr	2016	2015
Fastigheter och inventarier	16	16
Säkringsinstrument	983	1 392
Övrigt	67	113
Summa	1 066	1 521
Netto uppskjutna skattekulder	641	1 193

Förändring av uppskjutna skatter 2016 mkr	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Utgående balans
Fastigheter och inventarier	-2	7	0	5
Säkringsinstrument	1 190	0	-428	762
Övrigt	5	-122	-9	-126
Summa	1 193	-115	-437	641

Förändring av uppskjutna skatter 2015 mkr	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Utgående balans
Fastigheter och inventarier	-15	11	2	-2
Säkringsinstrument	1 238	7	-55	1 190
Övrigt	65	-80	-	5
Summa	1 308	-62	-53	1 193

Redovisade skattekostnader i resultaträkningen mkr	2016	2015
Aktuell skatt		
Årets skattekostnad	-4 424	-4 219
Justering av skatt hänförlig till tidigare år	-194	-19
Uppskjuten skatt		
Förändringar i temporära skillnader	115	62
Summa	-4 503	-4 176

Nominal skattesats i Sverige, %	22,0	22,0
Avvikelse		
Ej skattepliktiga intäkter/avdragsgilla kostnader	-4,7	-1,2
Skatt avseende tidigare år	0,6	0,1
Effektiv skattesats, %	17,9	20,9

M28 Avsättningar

mkr	Avsättning för omstrukturering	Avsättning för garantiförsäkringen	Övriga avsättningar	Summa 2016	Summa 2015
Avsättningar vid årets ingång	-	40	56	96	87
Avsätt under året	420	37	81	538	36
Anspråkstagat	-194	-	-17	-201	-
Åsatt	-	-	-4	-4	-27
Avsättningar vid årets utgång	226	77	116	429	96

Avsättningen för omstrukturering kostnader avser främst kostnader för förtida pensioneringar. Merparten av de reserverande avsättningsbeloppet förväntas regleras under 2017.
Avsättning för garantiförsäkringen består av avsättningar för ett antal poster utanför balansräkningen.

Under Övriga avsättningar redovisas de belopp som avsatts för reglering av de anspråk som rikställ mot banken.

NOTER | MODERBOLAGET

M29 Övriga skulder

mkr	2016	2015
Fondlikvidskulder	2 484	6 524
Övrigt	6 302	7 227
Summa	8 786	13 751

M30 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter

mkr	2016	2015
Upplupna räntekostnader	4 795	4 884
Övriga upplupna kostnader	1 447	3 675
Förutbetalda intäkter	922	811
Summa	7 164	9 370

M31 Efterställda skulder

mkr	2016	2015
Förtagsslån i svenska kronor	8 230	10 519
Förtagsslån i utländsk valuta	25 170	23 697
Summa	33 400	34 216

Medelvolymer		
mkr	2016	2015
Förtagsslån i svenska kronor	9 362	10 510
Förtagsslån i utländsk valuta	24 324	28 144
Summa	33 686	38 654

Specifikation, förtagsslån		Ursprungligt nominellt belopp av respektive valuta	Räntesats, %	Utslående belopp
Emissionsår/förfall	Valuta			
I SVENSKA KRONOR				
Svenska förtagsslån ¹		10 825		8 230
Summa				8 230
I UTLÄNDSK VALUTA				
2014/fidsundens ²	EUR	1 500	2,656	14 355
2015/avgift ³	USD	1 200	5,250	10 815
Summa				25 170
Summa efterställda skulder				33 400

¹ Svenska förtagsslån understiger vart och ett för sig 10% av de totala efterställda skulderna. I summan ingår ett övrigt förtagsslån till rörlig ränta, vilket är ett konvertibelt förtagsslån på nominellt 3,2 mkr riksdal till koncernens anställda på marknadsmissliga villkor. Lånet har ingen status som regleringsmässigt kapital men kan omvandlas till Handelsbankenaktier. Banken har rätt att begära konvertering när som helst och innehavaren har rätt att begära konvertering mellan den 1 maj och den 30 november 2019 till den justerade konverteringskursen 114,40 kr. Den initiala konverteringskursen har justerats för utdelningar och aktiesplit under löptiden. Om kärnprimärkapitalrelationen för banken eller berördnad enligt den konsoliderade situationen faller under 7% sker automatisk konvertering. För upplysningar avseende övriga svenska förtagsslån, se not K51.

² För ytterligare upplysning av förtagsslån i EUR, se not K51.

³ För ytterligare upplysning av förtagsslån i USD, se not K51.

M32 Obeskattade reserver

mkr	2016	2015
Ackumulerade överavskrivningar inventarier och leasingobjekt	318	12
Ackumulerade överavskrivningar inretningsgoodwill	475	558
Summa	793	570

M33 Klassificering av finansiella tillgångar och skulder

2016	Värderat till verkligt värde i RR uppdelat på		Derivat identifierat som säkringsinstrument	Investeringar som hålls till förtull	Lån och andra fordringar	Finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning	Övriga finansiella skulder	Summa redovisat värde	Verkligt värde
milj	Innehav för handel	Övrigt ¹							
Tillgångar									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					190 362			190 362	190 362
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	13 000	80 500				736		94 236	94 236
Utlåning till kreditinstitut					593 125			593 125	602 852
Utlåning till allmänheten		926			762 641			763 567	765 473
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	22 328	32 519				5 464		60 311	60 311
Aktier och andelar	17 721					1 618		19 339	19 339
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken		4 114			58			4 172	4 172
Derivatinstrument	46 916		40 145					87 061	87 061
Övriga tillgångar	32				16 681			16 713	16 713
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	170	474			4 144	4		4 792	4 792
Summa finansiella tillgångar	100 167	118 533	40 145		1 678 011	7 822		1 842 678	1 854 311
Aktier och andelar i koncern- och intressföretag								46 363	
Övriga icke finansiella tillgångar								5 663	
Summa tillgångar								1 894 704	
Skulder									
Skulder till kreditinstitut							189 176	189 176	191 052
In- och upplåning från allmänheten							827 753	827 753	827 720
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		4 213					58	4 271	4 271
Emitterade värdepapper	5 763						643 214	648 977	657 001
Derivatinstrument	50 452		4 039					54 491	54 491
Korta positioner	1 572							1 572	1 572
Övriga skulder	21						8 785	8 786	8 786
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	2						7 162	7 164	7 164
Efterställda skulder							33 400	33 400	35 330
Summa finansiella skulder	67 810	4 213	4 039				1 709 828	1 775 590	1 787 387
Övriga icke finansiella skulder								1 679	
Summa skulder								1 777 269	

2015	Värderat till verkligt värde i RR uppdelat på		Derivat identifierat som säkringsinstrument	Investeringar som hålls till förtull	Lån och andra fordringar	Finansiella tillgångar tillgängliga för försäljning	Övriga finansiella skulder	Summa redovisat värde	Verkligt värde
milj	Innehav för handel	Övrigt ¹							
Tillgångar									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					202 630			202 630	202 630
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	33 287	36 382		750		1 017		71 436	71 436
Utlåning till kreditinstitut					506 441			506 441	602 507
Utlåning till allmänheten		1 619			732 369			733 988	733 443
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	7 786	29 459		250		3 479		40 974	40 974
Aktier och andelar	22 756					6 553		29 309	29 309
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken		3 353			69			3 422	3 422
Derivatinstrument	55 653		33 838					89 491	89 491
Övriga tillgångar	10				18 289			18 299	18 299
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	211	581			4 019	2		4 813	4 813
Summa finansiella tillgångar	110 703	71 304	33 838	1 000	1 653 817	11 051		1 790 803	1 798 324
Aktier och andelar i koncern- och intressföretag								45 815	
Övriga icke finansiella tillgångar								3 440	
Summa tillgångar								1 840 058	
Skulder									
Skulder till kreditinstitut							173 533	173 533	175 349
In- och upplåning från allmänheten							755 066	755 066	755 046
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		3 432					69	3 501	3 501
Emitterade värdepapper	7 890						669 060	676 950	689 165
Derivatinstrument	56 284		4 825					61 109	61 109
Korta positioner	2 416							2 416	2 416
Övriga skulder	16						13 735	13 751	13 751
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	6						9 364	9 370	9 370
Efterställda skulder							34 216	34 216	37 189
Summa finansiella skulder	66 812	3 432	4 825				1 655 043	1 729 912	1 748 866
Övriga icke finansiella skulder								2 464	
Summa skulder								1 732 376	

¹ Klassificerade att värderas till verkligt värde.
Redogörelse för tillämpade principer för värdering till verkligt värde återfinns i not K40.

NOTER | MODERBOLAGET

M33 Forts

Omklassificerade finansiella tillgångar	2016		2015	
	Omklassificerat från innehav för handel (trading)	Omklassificerat från tillgängligt för försäljning	Omklassificerat från innehav för handel (trading)	Omklassificerat från tillgängligt för försäljning
mkr				
Redovisat värde	10	1 290	11	4 092
Verkligt värde	10	1 209	11	4 078
Redovisad värdeförändring i resultaträkningen	-	0	-	11
Redovisad värdeförändring i övrigt totalresultat	1	94	1	109
Värdeförändring som skulle redovisats i resultaträkningen om tillgångarna inte hade klassificerats om	0	0	-1	11
Värdeförändring som skulle redovisats i övrigt totalresultat om tillgångarna inte hade klassificerats om	-	5	-	12
Intäktstörd ränta	0	41	0	49

Samtliga innehav presenterade ovan omklassificerades till den 1 juli 2008.

M34 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2016				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m				
Innehav för handel	12 927	73	-	13 000
Klassificerade att värderas till verkligt värde	80 500	-	-	80 500
Tillgängliga för försäljning	736	-	-	736
Utlåning till allmänheten	-	909	17	926
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Innehav för handel	21 610	718	-	22 328
Klassificerade att värderas till verkligt värde	32 519	-	-	32 519
Tillgängliga för försäljning	4 908	556	-	5 464
Aktier och andelar				
Innehav för handel	10 717	7 004	-	17 721
Klassificerade att värderas till verkligt värde	-	-	-	-
Tillgängliga för försäljning	-	43	1 575	1 618
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	3 352	-	762	4 114
Derivatinstrument	407	86 654	-	87 061
Summa	167 678	95 957	2 384	265 967
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	3 451	-	762	4 213
Emitterade värdepapper	-	5 763	-	5 763
Derivatinstrument	443	54 048	-	54 491
Korta positioner	1 097	475	-	1 572
Summa	4 991	60 286	762	66 039
Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2015				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m				
Innehav för handel	33 285	2	-	33 287
Klassificerade att värderas till verkligt värde	36 382	-	-	36 382
Tillgängliga för försäljning	1 017	-	-	1 017
Utlåning till allmänheten	-	1 609	10	1 619
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Innehav för handel	6 025	1 761	-	7 786
Klassificerade att värderas till verkligt värde	29 459	-	-	29 459
Tillgängliga för försäljning	3 479	-	-	3 479
Aktier och andelar				
Innehav för handel	18 963	3 793	-	22 756
Klassificerade att värderas till verkligt värde	-	-	-	-
Tillgängliga för försäljning	4 666	1 006	881	6 553
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	2 621	-	732	3 353
Derivatinstrument	275	89 216	-	89 491
Summa	136 172	97 387	1 623	235 182
Skulder				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	2 700	-	732	3 432
Emitterade värdepapper	-	7 890	-	7 890
Derivatinstrument	785	60 324	-	61 109
Korta positioner	2 098	318	-	2 416
Summa	5 583	68 532	732	74 847

Redogörelse för tillämpade principar återfinns i not K40.

NOTER | MODERBOLAGET

Förändring av innehav i nivå 3 2016						
mkr	Aktier och andelar	Derivat, nettoposition	Utlåning till allmänheten	Tillgångar där kun- den står värdeför- ändringsrisken	Skulder där kun- den står värdeför- ändringsrisken	Emitterade värdepapper
Redovisat värde vid årets ingång	881	-	10	732	-732	-
Nyanskaffningar	9	-	-	-	-	-
Årsavskrivning	-	-	-	-	-	-
Förskott	-	-	-1	-	-	-
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	-	-	-	30	-30	-
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	685	-	-	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	-	8	-	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	-	-	-	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	1 575	-	17	762	-762	-

Förändring av innehav i nivå 3 2015						
mkr	Aktier och andelar	Derivat, nettoposition	Utlåning till allmänheten	Tillgångar där kun- den står värdeför- ändringsrisken	Skulder där kun- den står värdeför- ändringsrisken	Emitterade värdepapper
Redovisat värde vid årets ingång	851	-	13	698	-698	-94
Nyanskaffningar	45	-	-	-	-	94
Årsavskrivning	-94	-	-	-	-	-
Förskott	-	-	-5	-	-	-
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	-	-	-	34	-34	-
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	82	-	-	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	-	2	-	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-3	-	-	-	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	881	-	10	732	-732	-

Värdigt värde på finansiella instrument redovisade till anskaffningsvärde eller upplupet anskaffningsvärde 2016				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	199 362	-	-	199 362
Balansräkningar, statsskuldforbindelser m m	-	-	-	-
Utlåning till kreditinstitut	32 111	569 748	993	602 852
Utlåning till allmänheten	1 310	13 620	749 616	764 546
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	-	-	-	-
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	-	58	-	58
Summa	232 783	583 426	760 609	1 566 818

Skulder				
Skulder till kreditinstitut	126 410	64 642	-	191 052
In- och upplåning från allmänheten	773 856	53 864	-	827 720
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	-	58	-	58
Emitterade värdepapper	212 474	438 764	-	651 238
Efterskilda skulder	-	35 330	-	35 330
Summa	1 112 740	592 608	-	1 705 348

Värdigt värde på finansiella instrument redovisade till anskaffningsvärde eller upplupet anskaffningsvärde 2015				
mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
Tillgångar				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	202 630	-	-	202 630
Balansräkningar, statsskuldforbindelser m m	750	-	-	750
Utlåning till kreditinstitut	30 414	570 952	1 141	602 507
Utlåning till allmänheten	6 981	3 256	721 587	731 824
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	250	-	-	250
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	-	69	-	69
Summa	241 025	574 277	722 728	1 538 030

Skulder				
Skulder till kreditinstitut	68 795	106 554	-	175 349
In- och upplåning från allmänheten	689 618	65 428	-	755 046
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	-	69	-	69
Emitterade värdepapper	192 257	489 018	-	681 275
Efterskilda skulder	-	37 189	-	37 189
Summa	960 670	698 208	-	1 658 878

NOTER | MODERBOLAGET

M35 Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar

För egna skulder ställda säkerheter mkr	2016	2015
Kontanter	9 146	10 451
Statspapper och obligationer	27 004	19 051
Utlåning till allmänheten	-	-
Aktier	358	220
Övrigt	380	463
Summa	36 888	30 185
Varav: pentar som fört kan återkallas av banken	20 145	17 672
Övriga ställda säkerheter mkr	2016	2015
Kontanter	456	863
Statspapper och obligationer	23 486	18 610
Utlåning till allmänheten	3 788	3 820
Aktier	5 644	10 126
Övrigt	83	31
Summa	33 457	33 520
Varav: pentar som fört kan återkallas av banken	27 136	22 345

Med Övriga ställda säkerheter avses säkerheter som ställts för förpliktelser som ej redovisas i balansräkningen.

Mottagna säkerheter

Som en del av ingångna omvända återköpsavtal och värdepapperslån har koncernen accepterat säkerheter som kan säljas eller pantsättas vidare till tredje part. Det verkliga värdet av sådana accepterade säkerheter uppgick till 19 976 mkr (24 565) vid räkenskapsårets slut, varav säkerheter till ett värde av 5 519 mkr (8 933) var sålda eller pantsatta till tredje part.

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen mkr	2016		2015	
	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld
Aktier, värdepappersutlåning	6 002	340 ¹	220	83 ¹
Aktier, övrigt	-	-	10 196	-
Statspapper och obligationer, repor	928	2	290	290
Statspapper och obligationer, övrigt	710	-	-	-
Tillgångar där kunden står värdepapperskursrisken	824	824	1 162	1 162
Summa	8 464	1 168	11 888	1 535

¹ Mottagen kontantsäkerhet.**M36** Eventualförpliktelser

mkr	2016	2015
Garantiförbindelser, krediter	46 633	48 486
Garantiförbindelser, övriga	69 207	66 860
Oåterkallliga rembursar	4 237	4 287
Övrigt	161	369
Summa	120 238	120 002

Ansvarsförbindelser

Ansvarsförbindelserna består i huvudsak av olika typer av garantiförbindelser. Kreditgarantier ges till kunder för att garantera åtaganden i andra kredit- och pensionsinstitut. Övriga garantier utgörs främst av kommersiella garantier såsom anbudsgarantier, garantier avseende forskottsbetalningar, garantier under ansvaretiden och exportrelaterade garantier. Ansvarsförbindelser omfattar också outnyttjade obekräftade importrembursar och bekräftade exportrembursar. Dessa transaktioner ingår i bankens tjänster och är till stöd för bankens kunder. I tabellen anges garantiernas nominella belopp.

Tvister

Handelsbanken är föremål för krav i ett antal tvistemål som drivs i allmän domstol. Bankens bedömning är att tvistemålen i allt väsentligt kommer att utgå till bankens fördel. Tvistebeloppen bedöms inte kunna få en väsentlig inverkan på bankens ställning eller resultat.

M37 Övriga åtaganden

mkr	2016	2015
Kreditöfrian	269 583	263 956
Outnyttjad del av beviljade räkningskrediter	131 289	128 969
Övrigt	65 172	56 721
Summa	466 044	450 646

I raden Övrigt ingår inlämnade livsförsäkringsgarantier till dotterbolag på 40 418 mkr (71 393).

Avtalade, ej uppsägsbara, framtida operationella leasingavgifter fördelade på förfallotidpunkter mkr	2016	2015
Inom 1 år	755	751
Mellan 1 och 5 år	1 933	2 090
Senare än 5 år	945	1 181
Summa	3 633	4 022

Operational leasing är främst hänförlig till för verksamheten normala avtal avseende kontorslokaler och kontorsutrustning.

M38 Pensjonsförpliktelser

mkr	2016	2015
Förvaltningsstillgångarnas verkliga värde	27 051	25 680
Pensionsförpliktelser	30 680	28 150
Pensionsnetto ¹	-3 629	-2 470

Pensionsförpliktelser har beräknats enligt Finansinspektionens föreskrifter, vilket innebär att skuld i Sverige är beräknad enligt Tyggsandlagen och motsvarande utländska förpliktelser har beräknats utifrån lokal reglering. Förvaltningsstillgångarna innehas av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Pensionskassan SHB, Försäkringsförening och liknande juridiska personer avseende utfästelser i bankens filialer i Storbritannien, Norge och Tyskland. Då varken Pensionskassan SHB, Försäkringsförening eller försäkringsaktuariell avsättning finns fördelad på arbetsgivare som har försäkring hos Pensionskassan ingår ingen av dessa i tabellen ovan. I Pensionskassan SHB, Försäkringsförening uppgår pensionsförpliktelserna till 6 090 mkr (5 586) och marknadsvärdet av tillgångarna till 11 581 mkr (10 241). Överskottet i Pensionskassan SHB, Försäkringsförening uppgår alltså till 5 491 mkr (4 655).

Av det verkliga värdet på förvaltningsstillgångarna i Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse avser 11 342 mkr (12 310) avsättningar som gjorts under åren 1989–2004 till en särskild kompletterande pension (SKP). I förpliktelserna ingår utfästelse avseende SKP med samma belopp som förvaltningsstillgångarnas verkliga värde.

En del av denna utfästelse, 8 652 mkr (8 766), är villkorad.

¹ Med hänvisning till att överskottet i Pensionskassan SHB, Försäkringsförening kan utnyttjas för att täcka moderbolagets pensionsförpliktelser, samt att delar av utfästelsen är villkorad, redovisas inte ett underskott som en skuld i balansräkningen för 2016.

Pensionskostnader mkr	2016	2015
Utbetalda pensioner	-441	-439
Pensionspremier	-572	-503
Socialavgifter	-15	-13
Ersättning från pensionsstiftelse	510	505
Avsättning till pensionsstiftelse	-28	-33
Redovisad pensionskostnad i resultaträkningen	-646	-673

Nästa års förväntade utbetalda pensioner avseende förmånsbestämda pensionsplaner uppgår till 529 mkr. Kostnaderna för pensionspremier innehåller premier för BTPK (avgiftsbestämd pension) med 85 mkr (85).

Förvaltningsstillgångar mkr	2016	2015
Ingående balans	25 680	25 108
Avkastning	1 853	1 044
Avsättning till pensionsstiftelse	28	33
Ersättning från pensionsstiftelse	-510	-505
Utgående balans	27 051	25 680
Procentuell avkastning på förvaltningsstillgångar	7%	4%

Pensionsförpliktelser mkr	2016	2015
Ingående balans	28 150	25 615
Teknisk avgift	624	646
Ränta	308	267
Värdesänkning	0	-
Förda pensionering	153	154
Utbetalda pensioner	-441	-439
Ändrade antaganden ²	3 062	1 614
Värdeförändring villkorad förpliktelser	-1 115	240
Annan förändring av kapitalvärdet	-61	53
Utgående balans	30 680	28 150

² Avser effekt av ändrad diskonteringsränta enligt Finansinspektionens anvisningar.

Fördelning av förvaltningsstillgångar mkr	2016	2015
Aktier och andelar	25 325	20 991
Räntebärande värdepapper	1 600	4 713
Övriga förvaltningsstillgångar ³	126	-24
Summa	27 051	25 680

I Sverige utgår ålderspension från och med 65 års ålder enligt pensionsavtal mellan BAD och Finansförbundet/SACO-förbundet med 10% av årslönen, upp till 7,5 inkomstbasbelopp. På lönebelopp i inkomstbasbeloppintervall 7,5–20 utgår ålderspension med 65% och i inkomstbasbeloppintervall 20–30 med 32,5% av årslönen. På lönebelopp överstigande 30 inkomstbasbelopp utgår ingen ålderspension. Värdet av pensionsförpliktelserna beräknas årligen, per balansdagen, på försäkringsaktuariella grunder.

I Norge utgår ålderspension från och med 67 års ålder. Pensionens storlek beror bland annat på tjänstgöringstid och slutlön upp till 12 grundbelopp. Inklusive lagstadgad pension förväntas ålderspensionen bli ca 70% av slutlönen upp till 12 grundbelopp.

I Storbritannien utgår förmånsbestämd pension för personal som anställdes innan den 1 januari 2006. För personal som anställdes därefter utgår premiebestämd pension. Normal pensionsålder är 65 år. Maximal ålderspension är ca 67% av pensionsmedförande lön, vilken uppnås efter 40 års tjänstetid. Pensionsmedförande lön begränsas av ett maxbelopp som för närvarande uppgår till 150 600 GBP (2016/2017).

I Sverige är de mest väsentliga beräkningsantagandena dödligheten och diskonteringsräntan. Dödlighetsantagandet och diskonteringsräntan följer antagandena i Tyggsandlagens grunder. Diskonteringsräntan är 0,5% (1,4%) efter skatt och antaganden om omkostnader. Pensionsförpliktelserna i de utländska filialerna är beräknade enligt lokala redovisningskrav.

³ I övriga förvaltningsstillgångar ingår en skuld avseende ännu ej utbetald gottgörelse.

NOTER | MODERBOLAGET

M39 Tillgångar och skulder i valuta

2016 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	140	99 547	6 199	102	61 774	30 463	1 137	199 362
Utlåning till kreditinstitut	407 217	59 713	49 430	58 739	2 459	14 066	1 501	598 125
Utlåning till allmänheten	200 577	126 909	151 774	54 795	191 846	28 629	9 037	763 567
varav företag	159 147	91 519	120 447	36 266	127 264	28 406	8 118	571 167
varav hushåll	41 430	35 390	31 327	18 529	64 582	229	919	192 400
Betalningsbara stats-skuldförbindelser m.m.	69 724	6 431	-	1	-	17 344	736	94 236
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	39 866	2 181	1 329	-	1 701	15 234	-	60 311
Övriga ej valutafördelade poster	184 103							184 103
Summa tillgångar	901 627	294 781	208 732	113 637	267 780	105 736	12 411	1 894 704
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	42 694	73 622	5 843	20 238	4 781	27 770	14 228	189 176
In- och upplåning från allmänheten	501 497	79 139	60 068	34 828	122 376	23 184	6 661	827 753
varav företag	199 564	61 945	38 969	19 146	86 078	21 006	6 170	426 878
varav hushåll	307 933	17 194	21 099	15 682	36 298	2 178	491	400 875
Emitterade värdepapper	20 722	141 884	2 305	324	80 485	37 157	32 100	648 977
Efterställda skulder	8 230	14 355	-	-	-	10 815	-	33 400
Övriga ej valutafördelade poster, inkl eget kapital	195 398							195 398
Summa skulder och eget kapital	768 541	309 000	68 218	65 360	207 642	432 928	52 989	1 894 704
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		14 407	-140 321	-58 133	-50 169	327 259	40 646	
Nettoposition i valuta		188	195	114	-31	109	68	637

2015 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
Tillgångar								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	153	45 633	6 094	99	55 540	94 654	457	202 630
Utlåning till kreditinstitut	392 448	64 993	52 441	47 135	2 547	33 275	3 602	596 441
Utlåning till allmänheten	216 540	114 955	122 702	48 630	194 258	27 201	9 702	733 988
varav företag	171 366	87 515	99 865	31 036	130 389	27 012	8 716	549 899
varav hushåll	45 174	27 440	28 837	17 594	63 869	189	986	184 089
Betalningsbara stats-skuldförbindelser m.m.	33 270	6 402	-	2	-	30 744	1 018	71 436
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	36 234	2 726	716	-	1 281	17	-	40 974
Övriga ej valutafördelade poster	194 589							194 589
Summa tillgångar	873 234	234 709	181 983	95 868	253 638	185 891	14 779	1 840 068
Skulder								
Skulder till kreditinstitut	31 217	53 339	20 647	17 153	13 287	29 436	8 454	173 533
In- och upplåning från allmänheten	466 291	64 790	47 004	29 781	109 464	30 592	7 144	755 066
varav företag	188 268	49 865	29 076	15 942	84 067	28 214	6 710	402 142
varav hushåll	278 023	14 925	17 928	13 839	25 397	2 378	434	352 924
Emitterade värdepapper	24 828	148 862	2 121	367	81 793	389 107	29 872	676 950
Efterställda skulder	10 519	13 716	-	-	-	9 981	-	34 216
Övriga ej valutafördelade poster, inkl eget kapital	200 293							200 293
Summa skulder och eget kapital	738 148	280 707	69 772	47 301	204 544	459 116	46 470	1 840 068
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		45 941	-112 051	-48 496	-49 041	273 263	30 771	
Nettoposition i valuta		-57	130	69	41	38	80	301

Bankens syn på valutartestlaganda framgår av not K2 på sidan 80.

M40 Upplysningar om närstående

Fordringar på och skulder till närstående	Dotterbolag		Intresseföretag		Övriga närstående	
mk	2016	2015	2016	2015	2016	2015
Utlåning till kreditinstitut	536 510	512 863	-	-	-	-
Utlåning till allmänheten	1 151	1 202	849	815	-	-
Derivat	4 429	4 145	-	-	-	-
Övriga tillgångar	13 011	11 612	59	64	515	544
Summa	555 101	529 822	908	879	515	544
Skulder till kreditinstitut	15 066	15 849	-	-	-	-
In- och upplåning från allmänheten	7 301	9 413	223	222	604	526
Derivat	22 753	20 512	-	-	-	-
Efterställda skulder	-	-	-	-	681	687
Övriga skulder	98	163	0	0	58	56
Summa	45 218	45 937	223	222	1 343	1 269
Beslutstillfälligheter	46 744	49 383	-	-	6 099	5 585
Derivat, nominella värden	398 353	405 554	-	-	-	-

Närstående – intäkter och kostnader	Dotterbolag		Intresseföretag		Övriga närstående	
mk	2016	2015	2016	2015	2016	2015
Räntesintäkter	3 110	3 091	13	10	1	0
Räntekostnader	-200	-232	0	0	-71	-93
Provisionsintäkter	21	22	1	4	-	-
Provisionskostnader	-	-	-229	-210	-	-
Nettorensultat av finansiella poster värderade till verkligt värde	-	-	0	0	-	1 207
Övriga intäkter	1 478	1 409	1	-	15	19
Övriga kostnader	-299	-297	-39	-31	-	-
Summa	4 110	4 083	-225	-227	-55	1 133

Specifikation över dotterbolagen och intresseföretagen finns i not M16. Intresseföretagens verksamhet består av att utföra olika typer av tjänster i anknytning till de finansiella marknaderna. I gruppen övriga närstående ingår följande företag: Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Svenska Handelsbankens Personalförsäkring och Pensionskassan SH-B, Försäkringsförening (pensionskassan). Företagen ansluter Svenska Handelsbanken AB för sedvanliga bank- och redovisningstjänster. Upplysningar om aktieägarintäkter till koncern- och intresseföretag lämnas i not M16.

Pensionskassans utbetalningar till anställda i dotterbolag garanteras av moderbolaget, det vill säga om pensionskassan inte skulle kunna betala sina åtaganden så är moderbolaget skyldigt att ta över och betala åtagandet. Pensionskassans förpliktisier uppgår till 6 099 mkr (5 585). Svenska Handelsbanken AB har begärt ersättning av Svenska Handelsbankens Personalförsäkring uppgående till 510 mkr (505) avseende pensionskostnader och 465 mkr (480) avseende särskild kompletterande pension samt av Svenska Handelsbankens Personalförsäkring uppgående till 25 mkr (20) för personalnärstående åtaganden.

Information om krediter till ledande befattningshavare samt om ledande befattningshavares villkor och ersättningar i övrigt framgår av not K8.

M41 Förslag till vinstdisposition

Styrelsen föreslår en utdelning om 5,00 kronor (5,00 kronor varav 4,50 kronor i ordinarie utdelning) per aktie.
Styrelsens förslag till vinstdisposition finns på sidan 150.

M42 Aktieinformation

31 december 2016

Aktieslag	Antal	% av kapital	% av röster	Aktiekapital	Kvotvärde
Serie A	1 908 900 071	98,19	99,82	2 958 795 110	1,55
Serie B	35 251 329	1,81	0,18	54 639 560	1,55
	1 944 151 400	100,00	100,00	3 013 434 670	

M43 Händelser efter balansdagen

Inga väsentliga händelser har inträffat efter balansdagen.

NOTER | MODERBOLAGET

M44 Kapitaltäckning

Handelsbankenkoncernens kapiteltäckning beskrivs i not K51. Specifika upplysningar över kapiteltäckningen för moderbolaget presenteras nedan. För definitioner se sidan 218.

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet reservårde enligt förordningen (EU) nr 575/2013		Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet reservårde enligt förordningen (EU) nr 575/2013	
mkr	2018	förordningen (EU) nr 575/2013	2016	förordningen (EU) nr 575/2013
Känpriärkapital: instrument och reserver				
Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	7 597		5 832	
varav: aktiekapital	7 597		5 760	
varav: konvertiblar			72	72
Ej utdelade vinstmedel	82 606		78 206	
Akkumulerat årensl totalresultat (och andra reserver, för att inkludera orrealiserade vinster och förluster enligt tillämpliga redovisningsstandarder)	5 605		6 904	
Reserveringar för allmänna risker i banktjänster				
Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 484.3 och tillhörande överkursfonder som omfattas av utfasning från känpriärkapitalet				
Kapitaltillskott från den offentliga sektorn för vilka äldre regler får tillämpas till den 1 januari 2018				
Minoritetsintressen (tillåtet belopp i konsoliderat känpriärkapital)	-		-	
Deltärsresultat netto efter avdrag för förutsebara kostnader och utdelningar som har veriferats av personer som har en oberoende ställning	10 879		4 400	
Känpriärkapital före lagstiftningsjusteringar	106 887		96 342	
Känpriärkapital: lagstiftningsjusteringar				
Ytterligare värdejusteringar (negativt belopp)	-354		-354	
Immateriella tillgångar (netto efter minskning för tillhörande skatteskulder) (negativt belopp)	-1 793		-1 404	
[se relevant i EU-förordningen]				
Uppskjutna skattefordringar som är beroende av framtida lönsamhet, utom sådana som uppstår till följd av temporära skillnader (netto efter minskning för tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllda) (negativt belopp)	-		-	
Reserver i verkligt värde relaterade till vinster eller förluster på kassaflödesstörningar	119		-1 349	
Negativa belopp till följd av beräkningen av förväntade förlustbelopp	-1 140		-1 024	
Eventuell ökning i eget kapital till följd av värdepappersärsade tillgångar (negativt belopp)	-		-	
Vinster eller förluster på skulder som värderas till verkligt värde och som beror på ändringar av institutets egen kreditstatus	-		-	
Förmånsbestämda pensionsplaner (negativt belopp)	-		-	
Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna känpriärkapitalinstrument (negativt belopp)	-636		-577	
Innehav av känpriärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn med vilka institutet har ett konvikt ägande som är avsett att på konstad väg öka institutets kapitalbas (negativt belopp)	-		-	
Institutets direkta och indirekta innehav av känpriärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp över förskälvärde på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-		-	
Institutets direkta, indirekta och synletiska innehav av känpriärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp över förskälvärde på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-		-	
[se relevant i EU-förordningen]				
Exponeringsbelopp för följande poster som är kvalificerade för en riskvid på 1 250% när institutet väljer alternativet med avdrag	-		-	
varav: kvalificerade innehav utanför den finansiella sektorn (negativt belopp)	-		-	
varav: värdepappersärspositionspositioner (negativt belopp)	-		-	
varav: transaktioner utan samtidig motprestation (negativt belopp)	-		-	
Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp över förskälvärde på 10%, netto efter minskning av tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllda) (negativt belopp)	-		-	
Belopp som överstiger förskälvärde på 15% (negativt belopp)	-		-	
varav: institutets direkta och indirekta innehav av känpriärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn när institutet har en väsentlig investering i de enheterna	-		-	
[se relevant i EU-förordningen]				
varav: uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader	-		-	
Förluster för innevarande räkningsår (negativt belopp)	-		-	
Förutsebara skatter som är relaterade till känpriärkapitalposter (negativt belopp)	-		-	
Lagstiftningsjusteringar som tillämpas på känpriärkapital med avseende på belopp som omfattas av behandling som föreskrivs i lagstiftningen för kapiteltäckningsförordningen				
Lagstiftningsjusteringar som avser orrealiserade vinster och förluster i enlighet med artiklarna 467 och 468				
varav: tiller för orrealiserad vinst, aktier klassificerade som tillgängliga för försäljning				
Belopp som ska dras av från eller läggas till känpriärkapital med avseende på ytterligare tiller och avdrag som krävs enligt bestämmelserna för kapiteltäckningsförordningen				
Avdrag från kvalificerade primärkapitaltillskott som överstiger institutets primärkapitaltillskott (negativt belopp)	-		-	
Sammanlagda lagstiftningsjusteringar av känpriärkapital	-3 804		-4 718	
Känpriärkapital	102 883		90 624	

Uppställning i enlighet med kravet i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | MODERBOLAGET

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet reservvärde enligt förordningen (EU) nr 575/2013		Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet reservvärde enligt förordningen (EU) nr 575/2013	
milj	2016		2015	
Primärkapitaltillskott: Instrument				
Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	10 815		9 981	
varav klassificerade som eget kapital enligt tillämpliga redovisningsstandarder				
varav klassificerade som skulder enligt tillämpliga redovisningsstandarder	10 815		9 981	
Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 484.4 och tillhörande överkursfonder som omfattas av utfasning från primärkapitaltillskottet	2 353	2 353	2 351	2 351
Kapitaltillskott från den offentliga sektorn för vilka äldre regler får tillämpas till den 1 januari 2018				
Kvalificerade primärkapital som ingår i konsoliderat primärkapitaltillskott (inbegripet minoritetsintressen som inte tas med i rad 5) som utfärdats av dotterföretag och innehågs av tredje part	-		-	
varav instrument som utfärdats av dotterföretag och som omfattas av utfasning				
Primärkapitaltillskott före lagstiftningsjusteringar	13 168		12 332	
Primärkapitaltillskott: lagstiftningsjusteringar				
Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna primärkapitaltillskottsinstrument (negativt belopp)	-400	-400	-399	-399
Innehav av primärkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn med vilka institutet har ett korrelat ägande som är avsett att på konstad väg öka institutets kapitalbas (negativt belopp)	-		-	
Direkta och indirekta innehav av primärkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-		-	
Institutets direkta och indirekta innehav av primärkapitaltillskottsinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-		-	
Lagstiftningsjusteringar som tillämpas på primärkapitaltillskottet med avseende på belopp som omfattas av behandling som föreskrivs i lagstiftningen före kapitaltäckningsförordningen och övergångsbehandling som omfattas av utfasning i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (jfr reservvärde enligt kapitaltäckningsförordningen)				
Reservvärdet som dras av från primärkapitaltillskottet med avseende på avdrag från kärnprimärkapital under övergångsperioden i enlighet med artikel 47.2 i förordning (EU) nr 575/2013				
varav poster ska redovisas ned för ned, t ex väsentliga delårsförluster netto, immateriella tillgångar, underskott i avsättningar i förhållande till förväntade förluster osv				
Reservvärdet som dras av från primärkapitaltillskottet med avseende på avdrag från supplementärkapital under övergångsperioden i enlighet med artikel 47.5 i förordning (EU) nr 575/2013				
varav poster ska redovisas ned för ned, t ex korrelat ägande av supplementärkapitalinstrument, direkta innehav av icke-väsentliga investeringar i kapitalet hos andra enheter i den finansiella sektorn osv				
Belopp som ska dras av från eller läggas till primärkapitaltillskottet med avseende på ytterligare tillägg och avdrag som krävs enligt bestämmelserna före kapitaltäckningsförordningen				
Avdrag från kvalificerade supplementärkapital som överskrider institutets supplementärkapital (negativt belopp)				
Summa lagstiftningsjusteringar av primärkapitaltillskottet	-400		-399	
Primärkapitaltillskott	12 768		11 933	
Primärkapital (primärkapital = kärnprimärkapital + primärkapitaltillskott)	115 681		102 957	
Supplementärkapital: Instrument och avsättningar				
Kapitalinstrument och tillhörande överkursfonder	17 354	0	17 150	444
Belopp för kvalificerade poster som avses i artikel 484.5 och tillhörande överkursfonder som omfattas av utfasning från supplementärkapitalet				
Kapitaltillskott från den offentliga sektorn för vilka äldre regler får tillämpas till den 1 januari 2018				
Kvalificerade kapitalbasinstrument som ingår i konsoliderat supplementärkapital (inbegripet minoritetsintressen och primärkapitaltillskottsinstrument som inte tas med i raderna 5 eller 34) som utfärdats av dotterföretag och innehågs av tredje part	-		-	
varav instrument som utfärdats av dotterföretag och som omfattas av utfasning				
Kreditriskjusteringar	-		-	
Supplementärkapital före lagstiftningsjusteringar	17 354		17 150	

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | MODERBOLAGET

M44 Ports

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller Kretsriktet resvårde enligt förordningen (EU) nr 575/2013	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller Kretsriktet resvårde enligt förordningen (EU) nr 575/2013
2018	2018	2015
Supplementärkapital: lagstiftningsjusteringar		
Ett instituts direkta och indirekta innehav av egna supplementärkapitalinstrument och efterställda lån (negativt belopp)	-	-
Innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn med vilka institutet har ett korsettligt ägande som är avsett att på konstad väg öka institutets kapitalbas (negativt belopp)	-	-
Direkta och indirekta innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet inte har någon väsentlig investering (belopp över tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-	-
Varav nya innehav som inte omfattas av övergångsarrangemang	-	-
Varav innehav som fanns före den 1 januari 2013 och som omfattas av övergångsarrangemang	-	-
Institutets direkta och indirekta innehav av supplementärkapitalinstrument och efterställda lån i enheter i den finansiella sektorn i vilka institutet har en väsentlig investering (netto efter godtagbara korta positioner) (negativt belopp)	-1 129	-1 129
Lagstiftningsjusteringar som tillämpas på supplementärkapital med avseende på belopp som omfattas av behandling som föreskrivs i lagstiftningen före kapitaltäckningsförordningen och övergångsbehandling som omfattas av utfasning i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (dvs resvårde enligt kapitaltäckningsförordningen)		
Resvärden som dras av från supplementärkapital med avseende på avdrag från kärnprimärkapital under övergångsperioden i enlighet med artikel 472 i förordning (EU) nr 575/2013		
Varav poster skreddarats ned för rad, t ex väsentliga delårsförluster netto, immateriella tillgångar, underskott i avsättningar i förhållande till förväntade förluster osv		
Resvärden som dras av från supplementärkapital med avseende på avdrag från primärkapitalisktillskott under övergångsperioden i enlighet med artikel 475 i förordning (EU) nr 575/2013		
Varav poster skreddarats ned för rad, t ex korsettligt ägande av primärkapitalisktillskottsinstrument, direkta innehav av icke-väsentliga investeringar i kapital hos andra enheter i den finansiella sektorn osv		
Belopp som ska dras av från eller läggas till supplementärkapital med avseende på ytterligare tillägg och avdrag som krävs enligt de bestämmelser som tillämpades före kapitaltäckningsförordningen		-
Summa lagstiftningsjusteringar av supplementärkapital	-1 129	-1 129
Supplementärkapital	16 226	16 021
Totalt kapital (totalt kapital = primärkapital + supplementärkapital)	131 876	118 578
Risvägda tillgångar		
Risvägda tillgångar med avseende på belopp som omfattas av behandling som föreskrivs i de bestämmelser som tillämpades före kapitaltäckningsförordningen och övergångsbehandling som omfattas av utfasning i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (dvs resvårde enligt kapitaltäckningsförordningen)	430 657	454 661
Varav kapitaltäckningsförluster från försäkringsbolag inom koncernen som inte dragits av från kärnprimärkapital (resvärden enligt förordning (EU) nr 575/2013)	15 633	15 633
Varav uppskjutna skattefordringar som inte dragits av från kärnprimärkapital (resvärden enligt förordning (EU) nr 575/2013)	512	395
Poster som inte dragits av från supplementärkapitalinstrument (resvärden enligt förordning (EU) nr 575/2013) (poster ska redovisas ned för rad, t ex indirekta innehav av egna supplementärkapitalinstrument, innehav av icke-väsentliga investeringar i kapital hos andra enheter i den finansiella sektorn, indirekta innehav av väsentliga investeringar i kapital hos andra enheter i den finansiella sektorn osv)	-	-
Totala risvägda tillgångar	430 657	454 661
Kapitalrelationer och buffertar		
Kärnprimärkapital (som procentandel av det risvägda exponeringsbeloppet)	23,4	19,9
Primärkapital (som procentandel av det risvägda exponeringsbeloppet)	26,3	22,6
Totalt kapital (som procentandel av det risvägda exponeringsbeloppet)	30,0	26,1
Institutspecifika buffertkrav (enav på kärnprimärkapital i enlighet med artikel 92.1 a plus krav på kapitalkonserveringsbuffert och kontracyklisk kapitalbuffert, plus systemriskbuffert, plus buffert för systemriskiga institut (buffert för globala systemriskiga institut eller andra systemriskiga institut) uttryckt som en procentandel av det risvägda exponeringsbeloppet)	3,4	3,1
Varav krav på kapitalkonserveringsbuffert	2,5	2,5
Varav krav på kontracyklisk kapitalbuffert	0,9	0,6
Varav krav på systemriskbuffert	0,0	0,0
Varav buffert för globalt systemriskigt institut eller för annat systemriskigt institut	0,0	0,0
Kärnprimärkapital tillgängligt att användas som buffert (som procentandel av det risvägda exponeringsbeloppet)	18,9	15,4
[ej relevant i EU-förordningen]		
[ej relevant i EU-förordningen]		
[ej relevant i EU-förordningen]		

Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

NOTER | MODERBOLAGET

Kapitalbas under övergångsperioden	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet nedvärde enligt förordningen (EU) nr 575/2013	Belopp som omfattas av bestämmelser om behandling som tillämpades före förordningen (EU) nr 575/2013 eller föreskrivet nedvärde enligt förordningen (EU) nr 575/2013
mkr	2018	2015
Kapitalrelationer och buffertar		
Direkta och indirekta innehav av kapital i enheter i den finansiella sektorn i vilka Institutet inte har någon väsentlig investering (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner)	0	3
Institutets direkta och indirekta innehav av kärnprimärkapitalinstrument i enheter i den finansiella sektorn i vilka Institutet har en väsentlig investering (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter godtagbara korta positioner)	-	-
(ej relevant i EU-förordningen)		
Uppskjutna skattefordringar som uppstår till följd av temporära skillnader (belopp under tröskelvärdet på 10%, netto efter minskning av tillhörande skatteskuld när villkoren i artikel 38.3 är uppfyllda) (negativt belopp)	- 205	- 126
Tak som ska tillämpas på inkludering av avskattningar i supplementärkapital		
Kreditriskjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av schablonmetoden (före tillämpningen av taket)		
Tak för inkludering av kreditriskjusteringar i supplementärkapitalet enligt schablonmetoden		
Kreditriskjusteringar som inkluderas i supplementärkapitalet med avseende på exponeringar som omfattas av internmetoden (före tillämpningen av taket)		
Tak för inkludering av kreditriskjusteringar i supplementärkapitalet enligt internmetoden		
Kapitalinstrument som omfattas av utfästingsarrangemang (för endast tillämpas mellan den 1 januari 2013 och den 1 januari 2022)		
Nuvarande tak för kärnprimärkapitalinstrument som omfattas av utfästingsarrangemang	174	232
Belopp som utesluts från kärnprimärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inkösen och förfallodagar)		
Nuvarande tak för primärkapitallikviditetsinstrument som omfattas av utfästingsarrangemang	7 335	8 558
Belopp som utesluts från primärkapitallikviditet på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inkösen och förfallodagar)		
Nuvarande tak för supplementärkapitalinstrument som omfattas av utfästingsarrangemang	4 444	5 185
Belopp som utesluts från supplementärkapital på grund av tak (överskjutande belopp över taket efter inkösen och förfallodagar)		

Vad gäller redovisning av de viktigaste delarna i kapitalinstrument, se not K51 samt publikationen Risk och kapitalhantering – Information enligt Paragraf 3. Uppställning i enlighet med kraven i Genomförandeförordningen (EU) nr 1423/2013.

Kapitalkrav och totala relevanta exponeringsbelopp	2018		2015	
mkr	Totalt relevant exponeringsbelopp	Kapitalkrav	Totalt relevant exponeringsbelopp	Kapitalkrav
Kreditrisk exklusive motpartsrisk	363 055	29 044	374 971	29 998
varav schablonmetoden	140 182	11 214	138 674	11 094
varav internmetoden	222 873	17 830	236 297	18 904
varav aktieexponeringar	9 753	780	17 953	1 436
varav positioner i värdepappersfonder i bantig värksamhet	24	2	2	-
varav aktieminskavärderingsmetoden	24	2	2	-
Motpartsrisk	15 698	1 257	18 736	1 499
varav beräknad med marknadsvärderingsmetoden	15 698	1 257	18 736	1 499
Avvecklingsrisk	0	0	0	0
Kreditvärderingsjusteringsrisk (CVA)	7 429	594	8 911	713
Marknadsrisk	10 910	873	10 318	825
varav schablonmetoden	10 910	873	10 318	825
Operativ risk	42 565	3 405	41 725	3 338
varav schablonmetoden	42 565	3 405	41 725	3 338
Summa	439 687	36 173	464 661	36 373
Justering enligt Basel I-golv		16 010		14 150
Kapitalkrav, Basel I-golv		51 183		50 523
Summa kapitalbas Basel I-golv		133 016		119 602

NOTER | MODERBOLAGET

M44. Forts

Kapitalkrav marknadersteker	2016	2015
mkr		
Positionrisk i handelslagret	864	819
Ränterisk	855	804
varav generall risk	598	572
varav specifik risk	256	230
varav positioner i värdepappersutlåningsinstrument	-	-
varav icke-delta risk	1	2
Aktierisk	9	15
varav generall risk	1	1
varav specifik risk	8	4
varav fonder	0	2
varav icke-delta risk	5	8
Valutarisk	-	-
varav icke-delta risk	-	-
Rävarisk	9	6
varav icke-delta risk	0	0
Avvecklingsrisk	0	0
Summa kapitalkrav för marknadersteker	873	805
Kapitaltäckningsanalys		
%	2016	2015
Känpriärkapitalrelation, CRR	23,4	19,9
Priärkapitalrelation, CRR	26,3	22,6
Total kapitalrelation, CRR	30,0	26,1
Totalt riskvägt exponeringsbelopp, CRR, mkr	439 657	454 661
Kapitalbas i förhållande till kapitalkrav enligt Basel I-goiv	260	237
Institutspecifika buffertkrav	3,4	3,1
varav krav på kapitalkonserveringsbuffert	2,5	2,5
varav krav på kontracyklisk buffert	0,9	0,6
varav krav på systemriskbuffert		
Känpriärkapital tillgängligt att användas som buffert	18,9	15,4

NOTER | MODERBOLAGET

Kreditriskexponeringar godkända för internmetoden	Exponeringsbelopp		Riskvägt exponeringsbelopp		Kapitalkrav		Genomsnittlig riskvikt i %	
mk	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015
Företagsexponeringar	684 184	683 914	177 877	188 944	14 214	14 096	28,8	28,2
Företagsutlåning	641 514	638 317	173 736	182 233	13 899	14 579	27,1	28,6
varav övrig utlåning, internmetod utan egna skattningar av LGO och KF	115 418	124 220	35 658	37 474	2 853	2 998	30,9	30,2
varav övrig utlåning, internmetod med egna skattningar av LGO och KF	526 096	514 097	138 078	144 759	11 046	11 581	26,2	28,2
varav stora företag	126 610	137 556	57 124	61 046	4 570	4 894	45,1	44,4
varav medelstora företag	70 884	67 328	30 345	31 135	2 428	2 491	42,8	45,8
varav fastighetsbolag	328 602	308 613	50 600	52 578	4 040	4 206	15,4	17,0
Motpartsrisk	22 670	25 597	3 941	4 711	315	377	17,4	18,4
Boetadsrättsföreningar	32 672	24 116	3 724	2 876	298	208	11,4	10,7
Hushållsexponeringar	180 281	188 145	28 313	28 618	2 285	2 049	17,7	18,2
Privatpersoner	140 322	138 235	22 350	19 303	1 788	1 544	15,9	14,0
varav fastighetskrediter	76 311	75 658	10 155	9 044	812	723	13,3	12,0
varav övriga	64 011	62 577	12 195	10 260	976	821	15,1	16,4
Små företag	19 929	19 910	5 963	6 315	477	505	29,9	31,7
Instituts-exponeringar	108 184	117 281	17 307	20 480	1 302	1 838	16,8	17,8
Institutsutlåning	20 065	19 201	6 175	6 766	494	542	30,8	35,2
Motpartsrisk	85 119	98 080	11 222	13 703	898	1 096	13,2	14,0
varav repor och värdepapperslån	14 070	31 143	631	424	50	34	4,5	1,4
varav derivat	71 049	66 917	10 591	13 279	848	1 062	14,0	19,8
Aktie-exponeringar	2 638	6 907	9 783	17 663	780	1 436	370	300,1
varav börsnoterade aktier	-	4 418	-	12 811	-	1 025	-	290
varav övriga aktier	2 638	1 389	9 783	5 141	780	411	370	370
Motpartsloša exponeringar	1 149	1 180	1 149	1 180	92	92	100	100
Positioner i värdepappersföring	22	28	24	2	2	0	105,9	7,4
varav traditionell värdepappersföring	22	28	24	2	2	0	105,9	7,4
varav syntetisk värdepappersföring	-	-	-	-	-	-	-	-
Summa internmetoden	968 099	970 420	238 036	254 712	19 043	20 377	24,6	26,2

Kreditriskexponeringar enligt schablonmetoden ¹	Exponeringsvärde		Riskvägt exponeringsbelopp		Kapitalkrav		Genomsnittlig riskvikt i %	
mk	2016	2015	2016	2015	2016	2015	2016	2015
Stater och centralbanker	252 304	265 818	77	72	6	6	0	0
Kommuner	27 630	28 595	22	18	2	1	0	0
Multilaterala utvecklingsbanker	636	649	0	0	0	0	0	0
Internationella organisationer	49	1	0	0	0	0	0	0
Institut	550 741	526 344	799	1 010	64	81	0,1	0,2
Företag	10 413	11 557	9 789	10 696	783	872	94,0	94,3
Hushåll	16 902	22 032	12 633	16 487	1 011	1 319	74,7	74,8
Säkerheter i fastigheter	92 087	70 925	33 316	25 367	2 665	2 029	36,2	35,8
Oreglerade poster	199	226	258	316	21	25	129,6	139,4
Aktier	67 063	67 279	76 392	76 609	6 111	6 129	113,9	113,9
varav börsnoterade aktier	0	249	0	249	0	20	0,0	100,0
varav övriga aktier	67 063	67 030	76 392	76 360	6 111	6 109	113,9	113,9
Övriga poster	7 999	8 880	7 431	8 221	505	658	92,9	92,6
Summa schablonmetoden	1 028 023	1 002 308	140 717	138 098	11 258	11 120	13,7	13,9

¹ Uppgifter om kapitalkrav för exponeringsklasser där det förekommer exponeringar.

NOTER | MODERBOLAGET

M44 Forts

Bruttosolldittetsgrad – gemensam upplysning		
mkr	2016	2015
Exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat och transaktioner för värdepappersfinansiering)		
Poster i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och förvaltningsåtgångar)	1 794 728	1 716 619
Tillgångsbelopp som dragits av för att fastställa kärnprimärkapital	-3 803	-4 718
Sammanlagda exponeringar i balansräkningen (med undantag för derivat, transaktioner för värdepappersfinansiering och förvaltningsåtgångar)	1 790 925	1 711 901
Derivatexponeringar		
Återanskaffningskostnad förbunden med samtliga derivattransaktioner (dvs netto av medräkningsbar kontantvariationsmarginal)	34 618	21 598
Tilläggsbelopp för potentiell framtida exponering förbunden med samtliga derivattransaktioner (marknadsvärdering)	38 297	38 337
Exponering fastställd enligt ursprunglig åtagandemetod	-	-
Gross-up för derivatsäkerhet vid avdrag från tillgångar i balansräkningen i enlighet med den tillämpliga redovisningsramen	-	-
Avdrag för fordringar på kontantvariationsmarginal i derivattransaktioner	-6 917	0
Undantagen central motpartsdel i handelsexponeringar som är clearade med denna motpart	-	-
Justerat effektivt teoretiskt belopp för skriftliga kreditderivat	8 917	0
Justerat effektivt teoretiskt kompensations och tilläggsavdrag för skriftliga kreditderivat	-679	0
Sammanlagda derivatexponeringar	74 236	60 935
Exponeringar i transaktioner för värdepappersfinansiering		
Bruttotillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering (utan godkännande av netting) efter justering för försämringstransaktioner	12 915	32 786
Nettade belopp för kontantsskuld och kontantfordringar i bruttotillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering	-	-
Motpartens kreditrisikexponering mot tillgångar i transaktioner för värdepappersfinansiering	4 440	4 792
Undantag för transaktioner för värdepappersfinansiering: Motpartens kreditrisikexponering i enlighet med artikel 429b 4 och artikel 222 i förordning (EU) nr 575/2013	-	-
Exponeringar mot förmedlade transaktioner	-	-
Undantagen central motpartsdel av exponeringar mot transaktioner för värdepappersfinansiering som är clearade med motparten	-	-
Sammanlagda exponeringar i transaktioner för värdepappersfinansiering	17 356	37 578
Andra poster utanför balansräkningen		
Poster utanför balansräkningen i teoretiska bruttobelopp	539 468	530 343
Justeringar för konvertering till kreditriskvalutar	-348 431	-338 334
Övriga exponeringar utanför balansräkningen	191 037	192 009
Undantagna exponeringar		
Undantag för exponeringar inom gruppen (individuellt nivå) i enlighet med artikel 429.7 i förordning (EU) nr 575/2013 (j och utanför balansräkningen)	-568 393	-
Undantagna exponeringar i enlighet med artikel 429.14 i förordning (EU) nr 575/2013 (j och utanför balansräkningen)	-	-
Kapital- och sammanlagda exponeringar		
Primärkapital	1 115 651	102 557
Sammanlagda exponeringar i bruttosolldittetsgrad	1 505 220	2 001 423
Bruttosolldittetsgrad		
Bruttosolldittetsgrad	7,7%	5,1%
Val av övergångsarrangemang och belopp för förvaltningsposter som har tagits bort från balansräkningen		
Val av övergångsarrangemang för definitionen av kapitalmålet	Transitional	Transitional
Belopp för förvaltningsposter som har tagits bort från balansräkningen i enlighet med artikel 429.13 i förordning (EU) nr 575/2013	0	-1 162
Sammanfattande avstämning av redovisningsåtgångar och exponeringar i bruttosolldittetsgrad		
mkr	2016	2015
Sammanlagda tillgångar enligt offentliga finansiella rapporter	1 894 704	1 840 058
Justering för enheter som har konsoliderats för redovisningsändamål men som inte omfattas av konsolidering under tillägg	0	0
Justering för förvaltningsåtgångar som redovisas i balansräkningen i enlighet med den tillämpliga redovisningsramen, men som är undantagna från exponeringsmålet för bruttosolldittetsgrad i enlighet med artikel 429.13 i förordning (EU) nr 575/2013	0	-1 162
Justeringar för finansiella derivatinstrument	-12 825	-29 556
Justeringar för transaktioner för värdepappersfinansiering	4 440	4 792
Justering för poster utanför balansräkningen (dvs konvertering till kreditriskvalutar för exponeringar utanför balansräkningen)	191 037	192 009
Justering för exponeringar inom gruppen som inte omfattas av exponeringsmålet för bruttosolldittetsgrad i enlighet med artikel 429.7 i förordning (EU) nr 575/2013	-568 393	-
Justering för exponeringar inom gruppen som inte omfattas av exponeringsmålet för bruttosolldittetsgrad i enlighet med artikel 429.14 i förordning (EU) nr 575/2013	-	-
Andra justeringar	-3 803	-4 718
Summa exponeringsmål för bruttosolldittetsgrad	1 505 220	2 001 423

STYRELSENS OCH VD:S UNDERSKRIFTER

Styrelsens och vd:s underskrifter

Härmed försäkras att koncernredovisningen har upprättats i enlighet med de internationella redovisningsstandarder som avses i Europaparlamentets och rådets förordning (EG) nr 1606/2002 av den 18 juli 2002 om tillämpning av internationella redovisningsstandarder, att moderbolagets årsredovisning har upprättats i enlighet med god redovisningssed för aktiemarknadsbolag, att års- och koncernredovisningen ger en rättvisande bild av koncernens och moderbolagets ställning och resultat samt att förvaltningsberättelsen ger en rättvisande översikt över utvecklingen av moderbolagets och koncernens verksamhet, ställning och resultat samt beskriver väsentliga risker och osäkerhetsfaktorer som moderbolaget och de övriga företag som ingår i koncernen står inför.

STOCKHOLM DEN 7 FEBRUARI 2017

Pär Boman
styrelseordförande

Fredrik Lundberg

Karl-Axel Apelman

Jon-Fredrik Baksaas

Tommy Bylund

Kerstin Heesius

Ole Johansson

Lise Kaae

Bente Rathe

Charlotte Skog

Anders Bouvin
verkställande direktör

2【主な資産・負債及び収支の内容】

上記「第6-1-(1) 連結財務書類」及び「第6-1-(2) 個別財務書類」の注記を参照のこと。

3【その他】

(1)訴訟及び規制手続

該当事項なし。

(2)後発事象

該当事項なし。

4【IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違】

当行グループの連結財務書類は欧州委員会により承認されている国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)及び国際財務報告委員会解釈指針委員会による基準の解釈指針に準拠して作成されている。さらに、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年第1559号)及びスウェーデン金融監督庁が発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告にも従っている。連結財務書類には企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、並びにスウェーデン財務報告審議会による意見書も適用されている。

親会社の財務書類は、スウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法(1995年第1559号)、スウェーデン金融監督庁が発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告、スウェーデン財務報告審議会の勧告RFR第2号「事業体に関する会計処理」及びスウェーデン財務報告審議会による意見書に準拠して作成されている。金融監督庁の推奨に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれらの基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り採用されていることを意味する。

以下の記述は、当行グループが適用する会計基準のうち重要と考えられるものと日本の会計原則の差異を概説したものである。当行グループは、連結財務書類並びに親会社の個別財務書類及び関連注記に関して、日本の会計原則との間の比較表を作成しておらず、その差異を定量化していない。したがって、以下の記述が日本の会計原則との差異を網羅している保証はない。

(1) 連結

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、親会社に直接又は間接的に支配されている企業(子会社)はすべて連結される。親会社は企業への投資から生じるリターンの変動性にさらされているか、又はそのリターンに対する権利を有しており、かつ、その企業に対するパワーによりそのリターンに影響を及ぼすことができる場合に、その企業を直接支配しているとみなされるため連結する。

親会社は、類似の状況における同様の取引及び他の事象に関し、統一された会計方針を用いて、連結財務諸表を作成しなければならない。

日本の会計原則

日本の会計原則でも、親会社は支配しているすべての会社を連結することが求められている。一定の特
別目的会社については、一定の要件を満たす場合に子会社に該当しないものと推定され、連結することが
求められない。

親会社及び子会社が連結財務書類を作成するために採用する会計原則は、原則として統一されなければ
ならない。「連結財務書類作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」によれば、在外子
会社の所在地国の会計原則に準拠して作成された財務書類は原則として親会社の会計方針(日本の会計原
則)に修正する必要があるが、在外子会社の財務書類がIFRS又は米国会計基準に準拠して作成されている
場合は、のれんの償却、退職給付会計における数理計算上の差異の会計処理、研究開発費の会計処理、投
資不動産の時価評価及び固定資産の再評価の会計処理等の一定の項目の修正を除き、これを連結決算手続
上利用できることと規定されている。

(2) 企業結合及びのれん

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、企業結合は取得法で会計処理されている。のれんは当初取得原価で計上され、その後は減損
損失累計額を控除後の取得原価で計上される。のれんについては年一回、及び減損の兆候がある場合には
いつでも減損テストが実施される。

IAS第38号によると、のれん及び耐用年数を確定できない無形固定資産は連結財務書類において償却さ
れない。親会社において、耐用年数を確定出来ないその他の無形固定資産の取得は年次報告法の規定に準
拠して償却される。通常、買収により取得したのれんは20年で償却される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、企業結合は原則としてパーチェス法により会計処理される。また、のれんは20年
以内の期間にわたり定額法その他の合理的方法により定期的に償却され、減損の兆候が認められた場合に
減損テストの対象となる。

(3) 非金融資産の減損

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、確定可能な耐用年数を有する無形資産は、資産に減損の兆候がある場合に減損について検証
が行われる。不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。その
ような兆候が存在する場合、当該資産の回収可能価額が見積られ、必要な場合に減損損失が損益に認識さ
れる。減損損失は、IAS第36号の要件を満たす場合には損益に戻入ることができるが、戻入後に増加
する資産額は、減損処理前の価格を超えてはならない。

日本の会計原則

日本の会計原則では、減損の兆候が認められ、かつ割引前で見積り将来キャッシュ・フロー総額(20年
以内の合理的な期間に基づく)が帳簿価額を下回ると見積られる場合において、回収可能価額と帳簿価額
の差額につき減損損失を計上する。減損損失の戻入は認められない。

(4) ヘッジ会計

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

一定の条件が満たされた場合は、下記の種類のヘッジ関係に係るヘッジ会計が認められている。

- ・ 公正価値ヘッジ(すなわち、特定のリスクに起因し、損益に影響を与える可能性がある、認識済みの
資産又は負債の公正価値の変動に対するエクスポージャーのヘッジ) — ヘッジ会計上、ヘッジ手段

の損益は損益計算書に計上されている。また、ヘッジされたリスクに起因するヘッジ対象の損益はヘッジ対象の帳簿価額により調整され、これもまた損益計算書に計上されている。

- ・ キャッシュフロー・ヘッジ(すなわち、認識済み資産又は負債に係る特定のリスク又は発生の可能性の高い予定取引に起因し、損益に影響を与える可能性がある、キャッシュ・フローの変動可能性に対するエクスポージャーのヘッジ) — ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益計算書に計上される。
- ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ — ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益に計上されている。

IFRSでは、類似の資産、負債、発生可能性の非常に高い予定取引又は在外営業活動体に対する純投資のポートフォリオをヘッジ対象とすることができる。このため、IAS第39号は類似した項目のみを1つのポートフォリオにグループ化することを認めている。次の両方に該当する場合、項目は類似していると考えられる。a)ヘッジされるリスクを共有していること、b)ヘッジされるリスクに起因する個々の項目の公正価値の変動は、ヘッジされるリスクに起因するポートフォリオの公正価値の全体の変動におおむね比例すると見込まれること。

日本の会計原則

日本の会計原則では、デリバティブ金融商品について、会計基準により定められたヘッジ会計の要件を満たす場合には、原則として、「繰延ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を貸借対照表の「純資産の部」に計上し、ヘッジ対象が損益計上されるのと同じ会計期間に損益に計上する。)が適用されるが、売却可能有価証券については、「時価ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を発生時に計上するとともに、同一の会計期間にヘッジ対象の損益も計上する。)を適用できる。

日本の会計原則では、共通したリスク要因(金利リスク、為替リスク等)、かつ、リスクに対する反応が同一グループ内の個々の資産又は負債との間でほぼ同様である場合に、ポートフォリオに対するヘッジ指定ができる。

(5) 退職後給付

IFRS

確定給付型制度において年金債務は数理的手法に基づき測定されるが、ここでは予測単位積増方式を用いて、給付が割り引かれている。制度資産は、公正価値で測定されている。当該制度資産が制度負債を超える場合は資産(超過額)として、不足する場合は負債(不足額)として、それぞれ貸借対照表に計上されている。制度資産からの期待収益は、正味確定給付債務(資産)の算定に使用される割引率を適用することで計算される。数理計算上の損益は、リサイクリングされず、その発生年度においてその他包括利益に計上される。

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わり、年金費用は年金債務保護法の規定及びスウェーデン金融監督庁の規定に準拠して親会社の年金数理計算を基に計算される。これは主に割引率の設定方法、親会社の年金債務の計算における将来債務の計算に将来の昇給が考慮されないこと、年金数理差損益は発生時に全額が認識されること(改訂IAS第19号と類似しているが、旧IAS第19号とは異なる。)に関して差異があることを意味する。認識された正味年金費用は、支払給付金及び年金拠出金から年金基金支給額を控除したものとされる。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積もり年金債務を超過したことによる超過額は親会社の財務書類において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

日本の会計原則

日本の会計原則でも、確定給付型年金制度は、退職給付債務から年金資産の額を控除した額が貸借対照表に計上される。数理計算上の差異は、各期の発生額について平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理(その他包括利益からリサイクリング)することとされており、また、発生時に費用処理する方法も認められている。

利息費用は退職給付債務に割引率を乗じて算定され、制度資産からの期待収益は、期首の年金資産の額に長期期待運用収益率を乗じて計算される。

(6) 金融資産の認識の中止

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

金融資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が消滅し、又は金融資産が譲渡され、かつ、その譲渡が認識の中止の要件を満たす場合、金融資産の認識は中止される。

譲渡においては、報告企業は、資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を移転すること、又は資産のキャッシュ・フローの権利を留保するが、そのキャッシュ・フローを第三者に支払う契約上の義務を引受けることのいずれかを要求される。譲渡に際して、会社は、譲渡した資産の所有に係るリスクと経済価値がどの程度留保されているかを評価する。実質的にすべてのリスクと経済価値が留保されている場合は、その資産は引続き貸借対照表(財政状態計算書)で認識される。実質的にすべてのリスクと経済価値が移転された場合は、当該資産の認識は中止される。

実質的にすべてのリスクと経済価値が留保も移転もされない場合は、会社はその資産の支配を引続き留保しているかどうかについて評価をする。支配を留保していない場合は、当該資産の認識は中止される。一方、会社が支配を留保している場合、継続関与の程度に応じて、引続きその資産を認識する。

日本の会計原則

日本の会計原則では、「金融商品に係る会計基準」により、金融資産は金融資産の契約上の権利を行使したとき、権利を喪失したとき、又は権利に対する支配が他に移転したときに認識が中止される。金融資産の契約上の権利に対する支配が他に移転するのは、(a)譲渡された金融資産に対する譲渡人の契約上の権利が譲渡人及びその債権者から法的に隔離され、(b)譲受人が譲渡された金融資産の契約上の権利を直接又は間接に享受でき、(c)譲渡人が譲渡した金融資産を当該金融資産の満期前に買戻す又は償還する権利及び義務を有していない場合である。

(7) 公正価値オプション

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

一定の場合に、金融資産又は金融負債を最初の認識時に「損益計算書を通じて公正価値で測定する」項目に分類することを選択できるが、当該オプションを事後に取消すことはできない。

日本の会計原則

日本の会計原則では、金融商品の公正価値オプションは認められていない。

(8) 非継続事業及び売却目的で保有する非流動資産

IFRS

売却目的に分類された非流動資産又は処分予定の資産及び負債は、貸借対照表(財政状態計算書)上、他の資産及び負債と区分して表示しなければならない。これら資産及び負債は相殺されず、1つの区分として表示される。また、売却目的保有として分類した非流動資産(又は処分予定の資産)に関連してその他包括利益で認識された収益又は費用の累計額を区分して表示しなければならない。(IFRS第5号)

日本の会計原則

資産又は負債を売却目的保有あるいは処分予定の資産及び負債へ分類する基準、並びに非継続事業の区分表示に関する基準はない。

(9) 保険契約

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRS第4号「保険契約」の定義を満たす保険契約及び裁量権のある有配当性のある金融商品に対してIFRS第4号が適用される。IFRS第4号における「保険契約」とは、「一方の当事者(保険者)が、他方の当事者(保険契約者)から、特定の不確実な将来事象(保険事故)が保険契約者に不利益を与えた場合に保険契約者に補償を行うことを同意することにより、重要な保険リスクを引き受ける契約」と定義されている。

日本の会計原則

日本においては、IFRS第4号のような「保険契約」の定義はないが、保険業者が「保険契約」として当局の許認可を受けた契約は「保険契約」とされている。保険契約には保険業法による会計処理が適用される。

(10) 保険契約における預り金要素の区分(アンバンドリング)

IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

保険契約の中には保険要素と預り金要素の両方を有するものがある。場合によっては、保険者は、それらの構成要素をアンバンドリングすることを要求又は許容される。

- (a) 次の要件をいずれも満たす場合には、預り金要素のアンバンドリングが要求される。
 - (i) 保険者が当該預り金要素(すべての組込解約オプションを含む)を分離して(すなわち、保険要素を考慮することなく)測定することが可能である。
 - (ii) 当該保険者の会計方針が、預り金要素から生じるすべての義務及び権利を認識することを特に要求していない。
- (b) 保険者が預り金要素を(a)(i)に記述のように分離して測定することが可能であるが、会計方針が預り金要素から生じるすべての義務及び権利を認識することを求めている場合には、権利及び義務の測定に使用される基礎に関係なく、アンバンドリングは許容されるが要求はされない。
- (c) 保険者が預り金要素を(a)(i)のように分離して測定することができない場合には、アンバンドリングは禁止される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、保険契約における預り金要素のアンバンドリングを扱った基準はない。

(11) グループ利益分配

信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

スウェーデンにおいては、連結税務申告は認められていない。

子会社から受領したグループ利益分配は、すべて親会社の損益計算書において受取配当金として報告される。このグループ利益分配は、親会社の貸借対照表において子会社持分の価値の増加として報告される。

日本の会計原則

日本の会計原則では、税金費用の最適化目的で行うグループ利益分配についての基準はない。

第7【外国為替相場の推移】

1【最近5年間の事業年度別為替相場の推移】

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

事業年度	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
決算月日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
最高	13.33	16.19	16.20	15.24	14.25
最低	10.74	13.28	14.72	13.62	11.36
平均	11.79	15.00	15.43	14.35	12.71
期末	13.33	16.19	15.41	14.39	12.81

出典：株式会社三菱東京UFJ銀行「1990年以降の外国為替相場一覧表」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

2【最近6月間の月別最高・最低為替相場】

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

月別	2016年12月	2017年1月	2017年2月	2017年3月	2017年4月	2017年5月
最高	12.81	13.00	12.94	12.87	12.72	12.89
最低	12.32	12.67	12.40	12.51	11.98	12.60
平均	12.58	12.83	12.71	12.66	12.29	12.78

出典：株式会社三菱東京UFJ銀行「1990年以降の外国為替相場一覧表」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

3【最近日の為替相場】

1スウェーデン・クローネ＝12.69円（2017年6月22日）

出典：株式会社三菱東京UFJ銀行「1990年以降の外国為替相場一覧表」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

第8【本邦における提出会社の株式事務等の概要】

該当事項なし。

第9【提出会社の参考情報】

1【提出会社の親会社等の情報】

該当事項なし。

2【その他の参考情報】

2016年1月1日以降、本書の提出日までの間に、提出された書類及び提出日は以下のとおりである。

- (1) 有価証券報告書及びその添付書類
2016年6月27日 関東財務局長に提出
- (2) 発行登録書(募集)及びその添付書類
2016年6月27日 関東財務局長に提出
- (3) 発行登録書(売出し)及びその添付書類
2016年6月27日 関東財務局長に提出
- (4) 臨時報告書及びその添付書類
2016年8月29日 金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第1項及び第2項第9号の規定に基づき、関東財務局長に提出
- (5) 訂正発行登録書
2016年8月29日 上記(2)記載の発行登録書の訂正発行登録書を関東財務局長に提出
- (6) 訂正発行登録書
2016年8月29日 上記(3)記載の発行登録書の訂正発行登録書を関東財務局長に提出
- (7) 半期報告書及びその添付書類
2016年9月27日 関東財務局長に提出
- (8) 臨時報告書及びその添付書類
2017年3月30日 金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第1項及び第2項第9号の4の規定に基づき、関東財務局長に提出
- (9) 訂正発行登録書
2017年3月30日 上記(2)記載の発行登録書の訂正発行登録書を関東財務局長に提出
- (10) 訂正発行登録書
2017年3月30日 上記(3)記載の発行登録書の訂正発行登録書を関東財務局長に提出

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

第1【保証会社情報】

該当事項なし。

第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

第3【指数等の情報】

該当事項なし。

(翻訳)

監査報告書

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (企業識別番号502007-7862号)

定時株主総会御中

年次財務諸表及び連結財務諸表における報告

監査意見

私たちは、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの2016年度の年次財務諸表及び連結財務諸表の監査を行った。当社の年次財務諸表は本書の7-201ページ（訳注：原文のページ数である。以下同様）に含まれている。

私たちの意見では、年次財務諸表は信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されており、また、親会社の2016年12月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の財務成績及びキャッシュフローの状況は、同法に準拠し、すべての重要な点において適正に表示されているものと認める。連結財務諸表は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されており、また、当行グループの2016年12月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の財務成績及びキャッシュフローの状況は、同法及びEUが採択した国際財務報告基準（以下、「IFRS」という。）に準拠し、すべての重要な点において適正に表示されているものと認める。

コーポレート・ガバナンス報告書が作成されているが、法定の経営報告書及びコーポレート・ガバナンス報告書は年次財務諸表及び連結財務諸表のその他の部分と整合している。また、コーポレート・ガバナンス報告書は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠している。

したがって、私たちは、定時株主総会に対し親会社及び当行グループ損益計算書及び貸借対照表の承認を勧告する。

監査意見の基礎

私たちは、国際監査基準（以下、「ISA」という。）及びスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して監査を行った。本基準における私たちの責任は「監査人の責任」項目で詳述されている。私たちは、スウェーデンの職業倫理に関する規定の下で、親会社及び当行グループから独立しており、当該倫理基準に関する規定で定められているその他の責任を果たした。

私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査上の主要な事項

監査上の主要な事項とは、私たちの職業的専門家としての判断において、当年度の年次財務諸表及び連結財務諸表で最も重要な事項である。これらの事項は、年次財務諸表及び連結財務諸表全体に対する監査及び監査意見の形成において対応したものであり、私たちはこれらの個別項目に対する意見を表明しない。

信用リスク及び貸倒損失引当金

監査上の主要な事項の詳細情報及び説明は、年次財務諸表及び連結財務諸表に示されている。信用リスクエクスポージャー及び信用リスク管理は82ページ以降の注記G2において説明されている。貸倒損失の報告額は注記G10に記載されている。親会社に関する情報は注記P2及びP10に記載されている。関連する当行グループの会計方針は、74ページの注記G1のセクション9で説明されている。親会社の貸倒損失引当金に関する会計方針は、注記P1で示されており、当行グループの会計方針と一致している。

監査上の主要な事項の説明

ハンデルスバンケンのビジネスモデルはリテール向け与信を中心としたものである。このモデルにおいて当行グループは、リスク制限アプローチに準拠しない信用リスクを引き受けない。当行グループは、市場リスク及び流動性リスクといったその他のリスクが、すべて制限範囲内に収めるよう努める。2016年12月31日現在の親会社の信用ポートフォリオの金額は1,710,601百万クローネであり、これは当社の総資産の90%であった。親会社の全体的な信用リスクエクスポージャーの金額は、オフバランスシートを含めて2,383,944百万スウェーデ

ン・クローネであった。これは当社の総資産の126%に相当する。親会社の貸倒損失引当金の金額は-1,730百万スウェーデン・クローネであった。

2016年12月31日現在の当行グループの信用ポートフォリオの金額は2,380,972百万クローネであり、これは連結総資産の91%であった。当行グループの信用リスクエクスポージャーの合計金額は、オフバランスシートを含めて2,967,402百万スウェーデン・クローネであった。これは当行グループ総資産の113%に相当する。当行グループの貸倒損失引当金の金額は-1,724百万スウェーデン・クローネであった。

親会社及び当行グループの貸倒引当金は、期末日の貸出金ポートフォリオに含まれる潜在的な損失発生額に関する経営陣の最善の見積りに相当する。この引当金は延滞貸出金を個別に、又は類似した貸出金を集合的に計算される。親会社及び当行グループで計上された貸倒損失の95%及び94%は、個別に評価された債権に対する個別引当金で構成されている。

親会社及び当行グループの大部分の事業が与信管理で構成されていることから、信用リスクエクスポージャーが親会社及び当行グループの主要リスクを構成しており、貸倒損失引当金に内在する不確実性、また、将来キャッシュフローの見積りを含む多くの内部及び外部の観察による評価に基づいていること、及びこれらのキャッシュフローの評価に係る不確実性により、この領域はハンデルスバンケンの最も重要な監査上の事項とされている。

監査上の対応

私たちは、親会社及び当行グループの与信プロセスにおけるキーコントロールのデザイン及び有効性テストを実施した。これには、与信承認、与信レビュー、格付区分、引当を要する与信の識別及び決定が含まれる。テストしたコントロールには、アプリケーションシステムにおけるマニュアルコントロール及び自動コントロールが含まれる。私たちはまた、これらシステムのアクセス管理を含むIT全般統制をテストした。私たちは、支店長、地域銀行の経営陣、中央与信部及び当社の経営陣が個別引当金を計上した個別評価貸出金に関する将来キャッシュフローの回収可能価額の評価を批判的に検討した。

集合的引当金モデルで評価された貸出金については、このモデルにおける前提条件を批判的に検討した。私たちは、このモデルにおけるインプットデータ及び計算の正確性をサンプルベースで検証した。

私たちは、財務諸表で開示された事実及び経営陣による仮定の説明に関する情報の適切性を評価した。

私たちはまた、ハンデルスバンケンの内部監査による監査作業のレビューを実施した。

市場価格が入手不能な金融商品の評価

監査上の主要な事項の詳細情報及び説明は、年次財務諸表及び連結財務諸表に示されている。公正価値で測定される金融商品について、当行グループについては注記G40、親会社については注記P34で説明されている。関連する当行グループの会計方針は、75ページの注記G1のセクション9で説明されている。親会社の公正価値で測定される金融商品に関する会計方針は、注記P1で示されており、当行グループの会計方針と一致している。

監査上の主要な事項の説明

ハンデルスバンケンは損益を通じて公正価値で測定する金融商品を保有しているが、そのうち、最新の市場価格が入手不能なため、市場データに基づく評価モデルを利用して公正価値を決定したものがある。これらの金融商品はIFRSの評価ヒエラルキーのレベル2に区分される。ハンデルスバンケンの評価モデルを使用して公正価値が決定される金融商品で、その評価が外部の市場データによる裏付け不能なインプットデータに影響されるものは限定されている。これらの金融商品はIFRSの公正価値評価ヒエラルキーのレベル3に区分される。

親会社は、95,957百万スウェーデン・クローネ及び60,286百万スウェーデン・クローネのレベル2の金融資産及び金融負債を保有している。レベル3の金融資産及び負債の金額は、それぞれ2,354百万スウェーデン・クローネ及び762百万スウェーデン・クローネである。レベル2の金融資産及び負債は、合計で当社の総資産の8%に相当する。一方、レベル3の金融資産及び負債は総資産の0.2%に相当する。

当行グループにおいて、レベル2の金融資産及び金融負債の金額は、それぞれ94,270百万スウェーデン・クローネ及び37,533百万スウェーデン・クローネである。また、レベル3の金融資産及び金融負債の金額はそれぞれ、2,616百万スウェーデン・クローネ及び762百万スウェーデン・クローネである。したがって、レベル2の金融資産及び金融負債は、合計で総資産の5%に相当する。一方、レベル3の金融資産及び負債は総資産の0.1%に相当する。

当行グループの、金利スワップ及びその他の種類の線形通貨デリバティブを含むデリバティブの大部分及び社債はレベル2の金融商品である。レベル2の社債及びデリバティブは、市場金利及びその他の市場価格に基づく評価モデルを使用して評価される。レベル3の金融商品は比較的金額が小さく、主にハンデルスバンケンの事業に関係するジョイントベンチャーの非上場株式及び保険事業における投資（保険事業の利回分割計算に含まれるために損益計算書に直接報告されないもの）で構成される。

レベル2金融商品の評価はモデルを利用しているため、この評価には経営陣による見積りが含まれる。したがって、これらの金融商品は監査上の主要な事項とされた。

監査上の対応

私たちは、経営陣の仮定及びモデルベースの計算で使用された手法、データの質の検証及び内部評価モデルの取扱の変更を含めた、評価プロセスにおけるキーコントロールをテストした。テストしたコントロールには、アプリケーションシステムにおけるマニュアルコントロール及び自動コントロールが含まれる。私たちはまた、これらシステムのアクセス管理を含むIT全般統制をテストした。

私たちは、このモデル及び評価で使用された仮定（市場価格が入手不能なもの）に対応するため、私たちの評価専門家を利用した。

私たちは、評価モデルにおける手法を評価ガイダンス及び業界慣行と比較して評価した。

私たちはまた、ハンデルスバンケンの内部監査による監査作業のレビューを実施した。

年次財務諸表及び連結財務諸表以外の情報

印刷版の年次報告書には、正式な年次財務諸表及び連結財務諸表以外の情報（1-5ページ及び218-219ページに記載されている。）も含まれている。取締役及び最高経営責任者はその他の情報について責任を負っている。

年次財務諸表及び連結財務諸表における私たちの意見は、その他の情報を対象としていない。また、私たちは当該その他の情報に関していかなる形式の保証も表明しない。

私たちの年次財務諸表及び連結財務諸表監査に関連する私たちの責任は、上記で特定された情報の通読及びその情報と年次財務諸表及び連結財務諸表に重要な不整合があるか否かを検討することである。この手続きにおいて、私たちは監査の過程で得た知識から、この情報に重要な虚偽表示があるか否かについても評価した。当該情報に関する私たちの監査手続に基づいて、当該その他の情報に重要な虚偽表示があると結論づけられた場合、私たちはその事実の報告が求められる。

この件について私たちからの報告事項はない。

取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役及び最高経営責任者は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して適正に表示された年次財務諸表の作成、及びEUに採択されたIFRSに準拠して適正に表示された連結財務諸表を作成する責任がある。取締役及び最高経営責任者はまた、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない年次財務諸表及び連結財務諸表の作成に必要と考える内部統制に対する責任がある。年次財務諸表及び連結財務諸表の作成において、取締役及び最高経営責任者は、当社及び当行グループが継続企業として存続する能力を評価する責任がある。該当する場合には、継続企業及び継続企業を前提とした会計に関する事項について開示される。継続企業を前提とした会計は、取締役及び最高経営責任者が当社の清算、事業を終了する意思がある場合、または現実的にそれ以外の代替手段がない場合には適用されない。監査委員会は、取締役の責任及び全般的な作業に影響を及ぼさず、特に当社の財務報告プロセスを監視する。

監査人の責任

私たちの監査の目的は、全体としての年次財務諸表及び連結財務諸表に、不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、意見を含めた監査報告書を発行することにある。合理的な保証は高い水準の保証であるが、国際監査基準（以下、「ISA」という。）及びスウェーデンにおける一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査が、存在するすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確約するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集計すると、年次財務諸表及び連結財務諸表利用者の経済的意思決定に影響することが合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。ISAに準拠した監査の過程を通じて、私たちは職表的専門家としての判断を行使し、職業的専門家としての懐疑心を保持する他、以下を実施した。

- ・不正又は誤謬による年次財務諸表及び連結財務諸表の重要な虚偽表示リスクの識別及び評価、これらリスクに対応した監査手続の立案及び実施、並びに私たちの監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手した。不正には、共謀、文書の偽造、取引等の記録からの除外、虚偽の陳述、及び内部統制の無効化を伴うため、不正による重要な虚偽表示リスクを発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。
- ・状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を理解する。ただし、これは、企業の内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。
- ・適用されている会計方針の適切性、並びに取締役及び最高経営責任者によって行われた会計上の見積り及び関連する開示の妥当性を評価した。
- ・取締役及び最高経営責任者が、継続企業を前提とした会計に基づく年次財務諸表及び連結財務諸表を作成することの適切性について結論を得た。私たちは、入手した監査証拠に基づいて当社及び当行グループの事業継続能力に重要な疑義を生じさせるような事象または状況に関する重要な不確実性が認められるかどうかについて結論に達した。重要な不確実性が認められる場合、私たちは、監査報告書において年次財務諸表及び連結財務諸表関連の開示に注意喚起することが求められる。また、その開示が不適切である場合は、年次財務諸表及び連結財務諸表に対して除外事項付意見を表明する。私たちの結論は監査報告書の日付までに入手した以下の監査証拠に基づいている。しかしながら、将来の事象又は状況により企業及び企業グループは継続企業として存続できなくなる場合がある。

- ・年次財務諸表及び連結財務諸表全体の表示、構成及び内容について評価した。ここには年次財務諸表及び連結財務諸表が基礎となる取引及び事象を適正に表示しているか否かの評価が含まれる。
- ・連結財務諸表に対する意見表明のための、当行グループ内の企業活動及び事業活動の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手した。私たちはグループ監査を指示、監督及び実施する責任がある。私たちは監査意見について単独で責任を負う。私たちは、その他の事項とともに、監査の範囲及び時期に関する監査計画について取締役에게報告する。私たちはまた、私たちが識別した内部統制の重要な不備を含む重要な監査上の発見事項について報告が求められる。

私たちはまた、取締役に対して私たちが独立性に関する倫理規定に準拠している旨の宣誓書を提示する。また、取締役に対して、私たちの独立性に影響することが合理的に考えられる関係及びその他の事項のすべてを報告すること、また、該当する場合には関連するセーフガードを通知する。

私たちは、取締役に報告された事項の中で、年次財務諸表及び連結財務諸表監査において最も重要と考える事項を決定した。ここには、最も重要と評価された重要な虚偽表示リスクが含まれており、したがって、これが監査上の主要な事項となる。私たちは、これらの事項について法令により公表が禁止されている、あるいは、極端にまれな状況であるが、監査報告書に記載することにより生じる不利益が公共の利益を上回ることが合理的に予想され、当該事項を監査報告書に記載すべきでないとして私たちが決定しない限り、これらの事項を監査報告書において説明している。

法令等が要求するその他の事項に関する報告

監査意見

私たちは、年次財務諸表及び連結財務諸表の監査に加えて、2016年度のスヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの取締役及び最高経営責任者の業務及び当社の利益処分案も監査した。

私たちは、定時株主総会に対して、法定経営報告書に記載されている提案に従った利益処分、及び当事業年度について取締役会のメンバー及び最高経営責任者の責任解除を勧告する。

監査意見の基礎

私たちはスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して監査を実施した。本基準における私たちの責任は、「監査人の責任」項目に詳述されている。私たちは、スウェーデンの職業倫理に関する規定の下で、親会社及び当行グループから独立しており、当該倫理基準に関する規定で定められているその他の責任を果たした。私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会は、当社の利益処分案について責任がある。配当案において、当社及び当行グループの事業区分、規模に存在するリスク、並びに親会社及び当行グループの資本、連結要件、流動性及び全般的な財政の規模に対する要件を考慮して、配当が正当なものであるか否かの評価が含まれている。

取締役は当社の組織及び業務について責任がある。ここでは、特に当社及び当社グループの財政状態の継続評価、また、当社の経理、資産管理及び財政状況を適切な方法で管理されるよう組織設計されていることの確認が含まれる。

最高経営責任者は、「取締役ガイドライン及びインストラクション」及び、法令に準拠した会計処理、また適切な資産管理に必要な方法に従って継続業務を管理しなければならない。

監査人の責任

業務監査に関する私たちの目的、責任解除に関する私たちの意見は、取締役会のメンバーまたは最高経営責任者のだれかに以下の重要な点があるか否かについて合理的な保証を得るために監査証拠を入手することである。

- ・必要な処置を取っていたか、あるいは当社対して損害をもたらすような不作為の責任があるのかどうか
- ・会社法、銀行及び金融業法、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法又は定款に違反するような行為があったかどうか

当社の利益処分案の監査及び監査意見に関する私たちの目的は、利益処分案が会社法に準拠しているか否かについて合理的な保証を得るために評価することにある。

合理的な保証は高い水準の保証であるが、スウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査が、当社に不利益をもたらすような行為又は不作為があること、あるいは利益処分案が会社法に準拠していないことを常に発見することを確約するものではない。

スウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査の過程を通じて、私たちは職業的専門家としての判断を行使し、職業的懐疑心を保持する。業務及び当社の利益処分案の調査は主に決算書の監査に基づいている。追加の監査手続は、リスク及び重要性をスタートにした職業的専門家としての判断に基づいて実施された。これは、事業への影響が高く、逸脱及び違反が会社にとって重大となる行為、領域、及び関連性の検査に私たちが注目したことを意味する。私たちは、行使された意思決定、意思決定に対するサポート、実施された行動及び私たちの責任の解除に関する意見に影響するその他の状況について検証及びテストを実施した。取締役による当社の利益処分案に対する監査意見の基礎として、私たちは、利益処分案が会社法に準拠しているかどうかを評価するために取締役の陳述書及び選択された裏付証拠を検証した。

ストックホルム、2017年2月16日

ケーピーエムジーエービー	アーnst・アンド・ヤング・エービー
アンデルス・ベックストレーム	ジェスパー・ニルソン
公認会計士	公認会計士

[次へ](#)

Revisionsberättelse

Till bolagsstämman i Svenska Handelsbanken AB (publ), org. nr 502007-7862

Rapport om årsredovisningen och koncernredovisningen

Uttalanden

Vi har utfört en revision av årsredovisningen och koncernredovisningen för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2016. Bolagets årsredovisning och koncernredovisning ingår på sidorna 7-201 i detta dokument.

Enligt vår uppfattning har årsredovisningen upprättats i enlighet med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och ger en i alla väsentliga avseenden rättvisande bild av moderbolagets finansiella ställning per den 31 december 2016 och av dess finansiella resultat och kassaflöde för året enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Koncernredovisningen har upprättats i enlighet med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och ger en i alla väsentliga avseenden rättvisande bild av koncernens finansiella ställning per den 31 december 2016 och av dess finansiella resultat och kassaflöde för året enligt International Financial Reporting Standards (IFRS), så som de antagits av EU, och lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. En bolagsstyrningsrapport har upprättats. Förvaltningsberättelsen och bolagsstyrningsrapporten är förenliga med årsredovisningens och koncernredovisningens övriga delar, och bolagsstyrningsrapporten är i överensstämmelse med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag.

Vi tillstyrker därför att bolagsstämman fastställer resultaträkningen och balansräkningen för moderbolaget och för koncernen.

Grund för uttalanden

Vi har utfört revisionen enligt International Standards on Auditing (ISA) och god revisionssed i Sverige. Vårt ansvar enligt dessa standarder beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till moderbolaget och koncernen enligt god revisorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav.

Vi anser att de revisionsbevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för våra uttalanden.

Särskilt betydelsefulla områden

Särskilt betydelsefulla områden för revisionen är de områden som enligt vår professionella bedömning var de mest betydelsefulla för revisionen av årsredovisningen och koncernredovisningen för den aktuella perioden. Dessa områden behandlades inom ramen för revisionen av, och i vårt ställningstagande till, årsredovisningen och koncernredovisningen som helhet, men vi gör inga separata uttalanden om dessa områden.

Kreditrisker och reservering för kreditförluster

Detaljerade upplysningar och beskrivning av området lämnas i årsredovisningen och koncernredovisningen. Kreditriskexponeringar och dess hantering beskrivs i not K2 från sid 82. Redovisade kreditförluster specificeras i not K10. Upplysningar avseende moderbolaget finns i not M2 och M10. För området relevanta redovisningsprinciper för koncernen beskrivs i not K1, avsnitt 9 på sid 74. Av not M1 framgår att moderbolagets redovisningsprinciper avseende kreditgivning och reserveringar för kreditförluster överensstämmer med koncernens redovisningsprinciper.

Beskrivning av området

Hur området har beaktats i revisionen

Handelsbankens affärsmodell fokuserar på att ta kreditrisker i kontorsrörelsen. Av modellen följer att koncernen endast tar kreditrisker som är i linje med koncernens restriktiva syn på risk. Alla övriga risker, som till exempel marknadsrisker och likviditetsrisker, eftersträvar koncernen att så långt som möjligt begränsa.

Moderbolagets kreditportfölj uppgår till 1 710 601 mkr per 31 december 2016, vilket motsvarar 90 procent av moderbolagets totala tillgångar. Moderbolagets totala kreditriskexponering, inklusive åtaganden utanför balansräkningen, uppgår till 2 383 944 mkr, vilket motsvarar 126 procent av moderbolagets totala tillgångar. Moderbolagets reservering för kreditförluster uppgår till —1 730 mkr.

Koncernens kreditportfölj uppgår till 2 380 972 mkr per 31 december 2016, vilket motsvarar 91 procent av koncernens totala tillgångar. Koncernens totala kreditriskexponering, inklusive åtaganden utanför balansräkningen, uppgår till 2 967 402 mkr och motsvarar 113 procent av koncernens totala tillgångar. Koncernens reservering för kreditförluster uppgår till —1 724 mkr.

Reservering för kreditförluster i moderbolaget och koncernen motsvarar företagsledningens bästa uppskattning av potentiellt uppkomna förluster i kreditportföljerna per balansdagen. Reserveringen beräknas antingen på individuell basis för förfallna krediter eller på kollektiv basis för grupper med likartade krediter. 95 procent respektive 94 procent av redovisade kreditförluster utgörs av specifika reserveringar för individuellt värderade fordringar i moderbolaget respektive koncernen.

Till följd av att den största delen av moderbolagets och koncernens verksamhet utgörs av kredithantering och att kreditriskexponering utgör moderbolagets och koncernens dominerande risk samt till följd av den inneboende osäkerhet som finns i redovisning av avsättningar för kreditförluster då de bygger på bedömningar av företagsledningens av ett stort antal interna och externa observationer inklusive uppskattningar av framtida kassaflöden och den osäkerhet som är kopplat till bedömningen av dessa kassaflöden, har detta område bedömts vara det mest betydelsefulla området i revisionen av Handelsbanken.

Värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas

Detaljerade upplysningar och beskrivning av området lämnas i årsredovisningen och koncernredovisningen. Finansiella instrument värderade till verkligt värde beskrivs i not K40 för koncernen och M34 för moderbolaget. För området relevanta redovisningsprinciper för koncernen beskrivs i not K1, avsnitt 8 på sid 73. Av not M1 framgår att moderbolagets redovisningsprinciper avseende finansiella instrument värderade till verkligt värde överensstämmer med koncernens redovisningsprinciper.

Vi har testat utformning och effektivitet i moderbolagets och koncernens nyckelkontroller i kreditprocessen inklusive kreditbeslut, kreditgranskning, ratingklassificering samt identifiering och fastställande av krediter som ska reserveras för. Testade kontroller utgörs av såväl manuella kontroller som automatiska kontroller i applikationssystem. Vi har även testat generella IT-kontroller inklusive behörighetshantering för dessa system.

Vi har utmanat de bedömningar av återvinningsvärdet av framtida kassaflöden för specifika reserveringar gjorda för individuellt värderade krediter som gjorts av kontorschefer, regionbankschefer, centrala kreditavdelningen och företagsledningen.

För krediter som är värderade med kollektiva reserveringsmodeller har vi utmanat antagandena i modellerna. Vi har också stickprovsvis kontrollerat indata i modellerna och riktigheten i beräkningarna.

Vi har bedömt de omständigheter som presenteras i upplysningarna i årsredovisningen och koncernredovisningen och om informationen är tillräckligt omfattande som beskrivning av företagsledningens bedömningar.

Vi har också utvärderat det granskningsarbete som genomförs av Handelsbankens internrevision.

Beskrivning av området

Hur området har beaktats i revisionen

Handelsbanken har finansiella instrument som värderas till verkligt värde via resultaträkningen, där aktuella marknadspriser saknas varför verkligt värde bestäms utifrån värderingsmodeller som bygger på marknadsdata. Dessa finansiella instrument kategoriseras i nivå 2 enligt IFRS värderingshierarki.

Handelsbanken har i begränsad omfattning finansiella instrument vars värdering till verkligt värde bestäms utifrån värderingsmodeller där värdet påverkas av indata som inte går att verifiera med externa marknadsuppgifter. Dessa finansiella instrument kategoriseras i nivå 3 enligt IFRS värderingshierarki.

Moderbolaget har finansiella tillgångar och finansiella skulder i nivå 2 om 95 957 mkr respektive 60 286 mkr. Finansiella tillgångar och skulder i nivå 3 uppgår till 2 354 mkr respektive 762 mkr. Finansiella tillgångar och skulder i nivå 2 motsvarar sammanlagt 8 procent av moderbolagets totala tillgångar medan finansiella tillgångar och skulder i nivå 3 motsvarar 0,2 procent av totala tillgångar.

I koncernen uppgår motsvarande belopp till 94 270 mkr respektive 37 533 mkr avseende finansiella tillgångar och finansiella skulder i nivå 2 och 2 616 mkr respektive 762 mkr avseende finansiella tillgångar och finansiella skulder i nivå 3. Finansiella tillgångar och skulder i nivå 2 motsvarar därmed sammanlagt 5 procent av koncernens totala tillgångar medan finansiella tillgångar och skulder i nivå 3 motsvarar 0,1 procent av totala tillgångar.

Merparten av koncernens derivatkontrakt, däribland ränteswappar och olika typer av linjära valutaderivat, samt företagsobligationer utgör finansiella instrument i nivå 2. Företagsobligationer och derivatkontrakt i nivå 2 värderas med värderingsmodeller som bygger på marknadsräntor och andra marknadspriser.

Finansiella instrument i nivå 3 vilka uppgår till relativt låga belopp utgörs främst av onoterade aktier i gemensamägda verksamheter med anknytning till Handelsbankens affärsverksamhet och placeringstillgångar i försäkringsrörelsen som ingår i underlaget för beräkning av avkastningsdelning i försäkringsrörelsen och redovisas därmed inte direkt i resultaträkningen.

Värderingen av finansiella instrument i nivå 2 innefattar bedömningar av företagsledningen, eftersom de värderas med hjälp av modeller. Mot denna bakgrund har dessa finansiella instrument bedömts vara ett särskilt betydelsefullt område.

Annan information än årsredovisningen och koncernredovisningen

Det tryckta årsredovisningsdokumentet innehåller även annan information än den formella årsredovisningen och koncernredovisningen och återfinns på sidorna 1-5 och 218-219. Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för denna andra information.

Vårt uttalande avseende årsredovisningen och koncernredovisningen omfattar inte denna information och vi gör inget uttalande med bestyrkande avseende denna andra information.

I samband med vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen är det vårt ansvar att läsa den information som identifieras ovan och överväga om informationen i väsentlig utsträckning är oförenlig med årsredovisningen och koncernredovisningen. Vid denna genomgång beaktar vi även den kunskap vi i övrigt inhämtat under revisionen samt bedömer om informationen i övrigt verkar innehålla väsentliga felaktigheter.

Om vi, baserat på det arbete som har utförts avseende denna information, drar slutsatsen att den andra informationen innehåller en väsentlig felaktighet, är vi skyldiga att rapportera detta. Vi har inget att rapportera i det avseendet.

Styrelsens och verkställande direktörens ansvar

Vi har testat nyckelkontroller i värderingsprocessen, innefattande företagsledningens fastställande och godkännande av antaganden och metoder som använts i modellbaserade beräkningar, kontroller av datakvalitet samt förändringshantering avseende interna värderingsmodeller. Testade kontroller utgörs av såväl manuella kontroller som automatiska kontroller i applikationssystem. Vi har även testat generella IT-kontroller inklusive behörighetshantering för dessa system.

Vi har engagerat våra interna värderingsspecialister i syfte att utmana de metoder och antaganden som använts vid värderingen av finansiella instrument där marknadsvärden saknas.

Vi har bedömt metoderna i värderingsmodellerna mot värderingsriktlinjer och branschpraxis.

Vi har jämfört använda antaganden med lämpliga referensvärden och priskällor och undersökt betydande avvikelser. Vi har också kontrollerat riktigheten i beräkningarna genom att stickprovsvis utfört egna oberoende värderingar.

Vi har bedömt de omständigheter som presenteras i upplysningarna i årsredovisningen och koncernredovisningen och om informationen är tillräckligt omfattande som beskrivning av företagsledningens bedömningar.

Vi har också utvärderat det granskningsarbete som genomförs av Handelsbankens internrevision.

Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för att årsredovisningen och koncernredovisningen upprättas och att de ger en rättvisande bild enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och, vad gäller koncernredovisningen, enligt IFRS så som de antagits av EU. Styrelsen och verkställande direktören ansvarar även för den interna kontroll som de bedömer är nödvändig för att upprätta en årsredovisning och koncernredovisning som inte innehåller några väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller på fel.

Vid upprättandet av årsredovisningen och koncernredovisningen ansvarar styrelsen och verkställande direktören för bedömningen av bolagets och koncernens förmåga att fortsätta verksamheten. De upplyser, när så är tillämpligt, om förhållanden som kan påverka förmågan att fortsätta verksamheten och att använda antagandet om fortsatt drift. Antagandet om fortsatt drift tillämpas dock inte om styrelsen och verkställande direktören avser att likvidera bolaget, upphöra med verksamheten eller inte har något realistiskt alternativ till att göra något av detta.

Styrelsens revisionsutskott ska, utan att det påverkar styrelsens ansvar och uppgifter i övrigt, bland annat övervaka bolagets finansiella rapportering.

Revisorns ansvar

Våra mål är att uppnå en rimlig grad av säkerhet om huruvida årsredovisningen och koncernredovisningen som helhet inte innehåller några väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller på fel, och att lämna en revisionsberättelse som innehåller våra uttalanden. Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men är ingen garanti för att en revision som utförs enligt ISA och god revisionssed i Sverige alltid kommer att upptäcka en väsentlig felaktighet om en sådan finns. Felaktigheter kan uppstå på grund av oegentligheter eller fel och anses vara väsentliga om de enskilt eller tillsammans rimligen kan förväntas påverka de ekonomiska beslut som användare fattar med grund i årsredovisningen och koncernredovisningen.

Som del av en revision enligt ISA använder vi professionellt omdöme och har en professionellt skeptisk inställning under hela revisionen. Dessutom:

- identifierar och bedömer vi riskerna för väsentliga felaktigheter i årsredovisningen och koncernredovisningen, vare sig dessa beror på oegentligheter eller på fel, utformar och utför granskningsåtgärder bland annat utifrån dessa risker och inhämtar revisionsbevis som är tillräckliga och ändamålsenliga för att utgöra en grund för våra uttalanden. Risken för att inte upptäcka en väsentlig felaktighet till följd av oegentligheter är högre än för en väsentlig felaktighet som beror på fel, eftersom oegentligheter kan innefatta agerande i maskopi, förfalskning, avsiktliga utelämnanden, felaktig information eller åsidosättande av intern kontroll.
- skaffar vi oss en förståelse av den del av bolagets interna kontroll som har betydelse för vår revision för att utforma granskningsåtgärder som är lämpliga med hänsyn till omständigheterna, men inte för att uttala oss om effektiviteten i den interna kontrollen.
- utvärderar vi lämpligheten i de redovisningsprinciper som används och rimligheten i styrelsens och verkställande direktörens uppskattningar i redovisningen och tillhörande upplysningar.
- drar vi en slutsats om lämpligheten i att styrelsen och verkställande direktören använder antagandet om fortsatt drift vid upprättandet av årsredovisningen och koncernredovisningen. Vi drar också en slutsats, med grund i de inhämtade revisionsbevisen, om huruvida det finns någon väsentlig osäkerhetsfaktor som avser sådana händelser eller förhållanden som kan leda till betydande tvivel om bolagets och koncernens förmåga att fortsätta verksamheten. Om vi drar slutsatsen att det finns en väsentlig osäkerhetsfaktor, måste vi i revisionsberättelsen fästa uppmärksamheten på upplysningarna i årsredovisningen och koncernredovisningen om den väsentliga osäkerhetsfaktorn eller, om sådana upplysningar är otillräckliga, modifiera uttalandet om årsredovisningen och koncernredovisningen. Våra slutsatser baseras på de revisionsbevis som inhämtas fram till datumet för revisionsberättelsen. Dock kan framtida händelser eller förhållanden göra att ett bolag och en koncern inte längre kan fortsätta verksamheten.

- utvärderar vi den övergripande presentationen, strukturen och innehållet i årsredovisningen och koncernredovisningen, däribland upplysningarna, och om årsredovisningen och koncernredovisningen återger de underliggande transaktionerna och händelserna på ett sätt som ger en rättvisande bild.

- inhämtar vi tillräckliga och ändamålsenliga revisionsbevis avseende den finansiella informationen för enheterna eller affärsaktiviteterna inom koncernen för att göra ett uttalande avseende koncernredovisningen. Vi ansvarar för styrning, övervakning och utförande av koncernrevisionen. Vi är ensamt ansvariga för våra uttalanden.

Vi har en skyldighet att informera styrelsen om bland annat revisionens planerade omfattning och inriktning samt tidpunkten för den. I förekommande fall har vi också en skyldighet att informera om betydelsefulla iakttagelser under revisionen, däribland de eventuella betydande brister i den interna kontrollen som vi identifierat.

Vi måste också förse styrelsen med ett uttalande om att vi har följt relevanta yrkesetiska krav avseende oberoende, och ta upp alla relationer och andra förhållanden som rimligen kan påverka vårt oberoende, samt i tillämpliga fall tillhörande motåtgärder.

Av de områden som kommuniceras med styrelsen fastställer vi vilka av dessa områden som varit de mest betydelsefulla för revisionen av årsredovisningen och koncernredovisningen, inklusive de viktigaste bedömda riskerna för väsentliga felaktigheter, och som därför utgör de för revisionen särskilt betydelsefulla områdena. Vi beskriver dessa områden i revisionsberättelsen såvida inte lagar eller andra författningar förhindrar upplysning om frågan eller när, i ytterst sällsynta fall, vi bedömer att en fråga inte ska kommuniceras i revisionsberättelsen på grund av att de negativa konsekvenserna av att göra det rimligen skulle väntas vara större än allmänintresset av denna kommunikation.

Rapport om andra krav enligt lagar och andra författningar

Uttalanden

Utöver vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen har vi även utfört en revision av styrelsens och verkställande direktörens förvaltning för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2016 samt av förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust.

Vi tillstyrker att bolagsstämman disponerar vinsten enligt förslaget i förvaltningsberättelsen och beviljar styrelsens ledamöter och verkställande direktören ansvarsfrihet för räkenskapsåret.

Grund för uttalanden

Vi har utfört revisionen enligt god revisionssed i Sverige. Vårt ansvar enligt denna beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till moderbolaget och koncernen enligt god revisorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav.

Vi anser att de revisionsbevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för våra uttalanden.

Styrelsens och verkställande direktörens ansvar

Det är styrelsen som har ansvaret för förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust. Vid förslag till utdelning innefattar detta bland annat en bedömning av om utdelningen är försvarlig med hänsyn till de krav som bolagets och koncernens verksamhetsart, omfattning och risker ställer på storleken av moderbolagets och koncernens egna kapital, konsolideringsbehov, likviditet och ställning i övrigt.

Styrelsen ansvarar för bolagets organisation och förvaltningen av bolagets angelägenheter. Detta innefattar bland annat att fortlöpande bedöma bolagets och koncernens ekonomiska situation och att tillse att bolagets organisation är utformad så att bokföringen, medelsförvaltningen och bolagets ekonomiska angelägenheter i övrigt kontrolleras på ett betryggande sätt.

Den verkställande direktören ska sköta den löpande förvaltningen enligt styrelsens riktlinjer och anvisningar och bland annat vidta de åtgärder som är nödvändiga för att bolagets bokföring ska fullgöras i överensstämmelse med lag och för att medelsförvaltningen ska skötas på ett betryggande sätt.

Revisorns ansvar

Vårt mål beträffande revisionen av förvaltningen, och därmed vårt uttalande om ansvarsfrihet, är att inhämta revisionsbevis för att med en rimlig grad av säkerhet kunna bedöma om någon styrelseledamot eller verkställande direktören i något väsentligt avseende:

- företagit någon åtgärd eller gjort sig skyldig till någon försummelse som kan föranleda ersättningsskyldighet mot bolaget, eller
- på något annat sätt handlat i strid med aktiebolagslagen, lagen om bank- och finansieringsrörelse, lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag eller bolagsordningen.

Vårt mål beträffande revisionen av förslaget till dispositioner av bolagets vinst eller förlust, och därmed vårt uttalande om detta, är att med rimlig grad av säkerhet bedöma om förslaget är förenligt med aktiebolagslagen.

Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men ingen garanti för att en revision som utförs enligt god revisionssed i Sverige alltid kommer att upptäcka åtgärder eller försummelser som kan föranleda ersättningsskyldighet mot bolaget, eller att ett förslag till dispositioner av bolagets vinst eller förlust inte är förenligt med aktiebolagslagen.

Som en del av en revision enligt god revisionssed i Sverige använder vi professionellt omdöme och har en professionellt skeptisk inställning under hela revisionen. Granskningen av förvaltningen och förslaget till dispositioner av bolagets vinst eller förlust grundar sig främst på revisionen av räkenskaperna. Vilka tillkommande granskningsåtgärder som utförs baseras på vår professionella bedömning med utgångspunkt i risk och väsentlighet. Det innebär att vi fokuserar granskningen på sådana åtgärder, områden och förhållanden som är väsentliga för verksamheten och där avsteg och överträdelser skulle ha särskild betydelse för bolagets situation. Vi går igenom och prövar fattade beslut, beslutsunderlag, vidtagna åtgärder och andra förhållanden som är relevanta för vårt uttalande om ansvarsfrihet. Som underlag för vårt uttalande om styrelsens förslag till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust har vi granskat styrelsens motiverade yttrande samt ett urval av underlagen för detta för att kunna bedöma om förslaget är förenligt med aktiebolagslagen.

Stockholm den 16 februari 2017

KPMG AB

Ernst & Young AB

Anders Bäckström

Jesper Nilsson

Auktoriserad revisor

Auktoriserad revisor

(※) 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものです。その原本は本有価証券報告書提出会社が別途保管しております。